

平成 27 年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の
在り方に関する調査研究事業

報 告 書

平成 28 (2016) 年 3 月

一般社団法人 日本慢性期医療協会

<目 次>

序 事業の概要	1
1. 背景	1
2. 目的	2
3. 調査の実施要領	3
(1) アンケート調査	3
(2) ヒアリング調査	5
I アンケート調査の結果	6
1. 調査の実施と回収状況	6
2. 施設の概要	7
(1) 開設主体	7
(2) 回答施設の規模	8
(3) 回答施設の病床種別の概要	9
(4) 回答施設の入院患者の状態と退出経路	15
3. 「療養機能強化型」の算定にかかる状況	21
(1) 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者	21
(2) 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施状況	25
(3) ターミナルケアの取組	30
(4) リハビリテーション（リハビリ）の取組	36
(5) 地域に貢献する活動の取組	60
4. 「療養機能強化型」の算定について	62
(1) 各要件を満たすうえで困難と考えられること	62
(2) 算定を行うにあたり取り組んだこと	65
(3) 今後の届出の変更予定	66
(4) 「療養機能強化型」の算定要件への意見	67
5. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割	68
(1) 積極的に受け入れる患者像	68
(2) 地域包括ケアシステムの圏域内の他の地域資源との連携	80
(3) 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割への意見	81
II ヒアリング調査の結果	82
1. ヒアリング調査の実施概要	82
2. ヒアリング調査のまとめ	83
(1) ターミナルケアの提供について	83
(2) 介護療養及び医療療養の相違点について	85
(3) 地域包括ケアシステムにおける療養病床の役割について	86
III 総括	88
参考資料	
資料1. 在宅復帰率、平均在院日数と認知症高齢者の受け入れについて	1
資料2. ターミナルケアの提供割合の算出について	8
資料3. 1人1日当たりの平均単位数とリハビリの目的及び内容について	9
資料4. 病床規模別の分析	18
資料5. 一般病床の有無別の分析	26

資料6．地域別の分析	36
資料7．医療療養病床が療養機能強化型の要件を満たす件数について	73
資料8．アンケート調査における自由回答全文	74
(1)「地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割」についての自由回答	74
(2)「“療養機能強化型”介護療養型医療施設の算定要件等」についてのご意見	84
資料9．ヒアリング調査結果概要	88
資料10．アンケート調査票	110

本事業の実施にあたり、一般社団法人日本慢性期医療協会に調査研究委員会を設置し、事業の企画、実施、検討を行った。

日本慢性期医療協会 医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方に関する調査 調査研究委員会

[研究代表者]

武久 洋三 日本慢性期医療協会 会長

[研究特別委員]

小山 秀夫 兵庫県立大学大学院 教授

中村 春基 日本作業療法士協会 会長

[委員]

○清水 紘 嵯峨野病院

桑名 斉 信愛病院

熊谷 頼佳 京浜病院

吉岡 充 上川病院

飯田 達能 永生病院

田野倉 浩治 永生病院

森松 静 大久野病院

猿原 孝行 和恵会ケアセンター

池端 幸彦 池端病院

仲井 培雄 芳珠記念病院

福本 京子 有吉病院

○は委員長、敬称略

[事務局]

一般社団法人 日本慢性期医療協会

[業務一部委託先]

みずほ情報総研株式会社

小松 紗代子 社会政策コンサルティング部 コンサルタント

田中 秀明 社会政策コンサルティング部 コンサルタント

近藤 拓弥 社会政策コンサルティング部 リサーチアナリスト

1. 背景

平成 27 年度介護報酬改定では、介護療養型医療施設の報酬体系のひとつとして「療養機能強化型」が新設され、医療ニーズや看取りへの対応が充実した施設を重点的に評価する仕組みが整えられた。

「療養機能強化型」の要件を満たした介護療養型医療施設を一定数確保することは、今後増加すると考えられる医療ニーズの高い長期療養高齢者の受け皿を確保するという観点や、長期療養高齢者の看取りの場所を確保するという観点から重要であると考えられる。また、地域包括ケアシステムの観点からも、医療ニーズの高い在宅療養を行う高齢者の後方支援病棟として、「療養機能強化型」が担う役割は大きいと推測される。

本調査と並行して開催されていた「療養病床の在り方等に関する検討会」では平成 28 年 1 月に「療養病床・慢性期医療の在り方の検討に向けて～サービス提供体制の新たな選択肢の提案について～」がとりまとめられた。この提案には、「介護療養病床と医療療養病床（25 対 1）の設置期限である平成 29 年度末を迎えることとなっており、地域医療構想の実現のためにも、対応方針を早期に示すことが求められている」とある。

その基本的な考え方として、

- 新たな選択肢を検討するに当たっては、これらの利用者像と、それに即した機能（サービス）の明確化が必要である。
- 現行の介護療養病床及び医療療養病床（25 対 1）が長期療養の場となり、そこで亡くなる者が多いことに鑑みると、長期間の利用継続に対応する「住まい」の視点を踏まえることが重要である。
- そのため、今後、「医療」「介護」のニーズを併せ持ち、長期の療養が必要となる高齢者に対して、これまでの類型にはない、日常的な医学的管理、一定程度の介護に加え、「住まい」の機能を同時に満たす新たな類型が必要である。
- したがって、新たな類型には、
 - ・利用者の生活様式に配慮し、長期に療養生活を送るのにふさわしい、プライバシーの尊重、家族や地域住民との交流が可能となる環境整備
 - ・経管栄養や喀痰吸引等を中心とした日常的・継続的な医学管理や、充実した看取りやターミナルケアを実施する体制が求められる。

また、これらの機能を確保する際には、厳しい財政状況も踏まえ、効率的な運営体制の実現に向けた配慮が必要である。

なお、介護療養病床においては、身体拘束ゼロに向けた取組や医師も含めたケアカンファレンスによる多職種連携など、サービスの質の向上に向けた取組が行われてきたところであり、こうした取組は、新たな類型でも引き続き実現されていくことが重要である。

が示されたところである。

平成 30 年 4 月には、診療報酬・介護報酬の同時改定が控えていることから、本調査では、

介護療養病床、医療療養病床の利用者像及び担っている機能を明確にし、その上で医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方の検討を行う必要があると考えられる。

2. 目的

上記の背景を踏まえて、本年度の調査研究では、次の3点を目的とする。

- 1) 平成27年度介護報酬改定において創設された「療養機能強化型介護療養型医療施設」の実態を把握するとともに、「療養機能強化型」でない介護療養型医療施設や医療療養病床との差異についても検証する。
- 2) 介護療養型医療施設や医療療養病床が地域包括ケアシステムの中で担っている役割について検証を行う。
- 3) 地域包括ケアシステムを構築する過程で医療が必要な要介護高齢者を受け入れる施設の在り方について探求する。

3. 調査の実施要領

本事業では、(1) アンケート調査、(2) ヒアリング調査の2つの調査を行った。以下にそれぞれの概要を説明する。

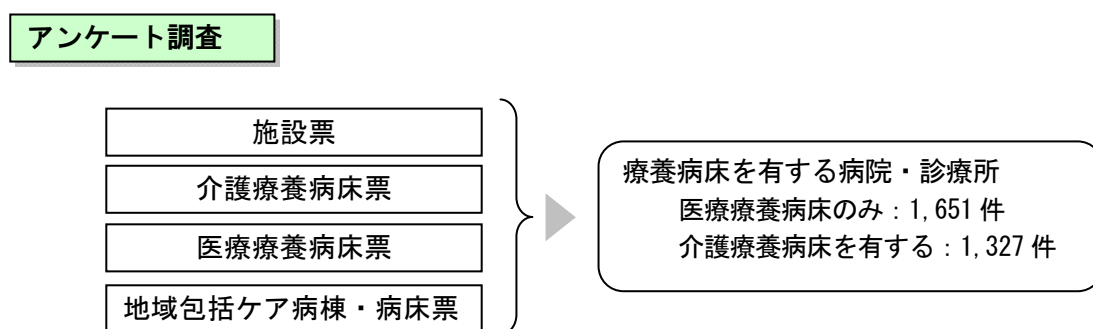
(1) アンケート調査

本調査では、介護療養病床を有する全ての医療機関、および全国から無作為抽出された医療療養病床を有する医療機関、計 2,978 施設に郵送によるアンケート調査を実施し、調査結果の取りまとめを行った。

調査票は、「施設票」、「介護療養病床票」、「医療療養病床票」、「地域包括ケア病棟・病床票 (以下、地域包括ケア病棟票)」の4種類を作成し、全調査票を調査対象施設に郵送した。各医療機関が有する病床種別に合わせて、該当する調査票のすべてに回答を求めた。

調査名簿は、介護療養病床を有する医療機関では介護サービス公表情報システムの情報を基に作成し、得られた 1,327 件をすべて調査対象とした。医療療養病床を有する医療機関では地方厚生局の届出名簿を基に作成し、介護療養病床を有する医療機関を除いた上で層化無作為抽出を行い、1,651 件を調査対象とした。

図表 調査の構成



本調査では、療養病床全体の共通点と相違点を把握するため、介護療養病床票、医療療養病床票、地域包括ケア病棟票の3種の調査票において、①「療養機能強化型」の算定要件にかかる状況、②地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養機能の担う役割について共通の調査項目とした。次頁に主な調査項目を示す。

なお、構成割合 (%) は四捨五入しているため、内訳の合計が 100%に合わない場合がある。複数の選択肢の割合の合計値についても、図表と本文で合致しない場合がある。

図表 主な調査項目

<p>施設票</p>	<p>I. 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設形態 ・開設主体 ・病床種別毎の許可病床数 ・PT、OT、ST、MSW の職員数 <p>II. 地域に貢献する活動の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に貢献する活動の取組内容 ・取組に従事している職種 ・取組の実施を始めた時期 <p>III. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地域資源との連携の程度 ・地域包括ケアシステムの構築にあたって療養病床の担う役割
<p>介護療養病床票 医療療養病床票 地域包括ケア病棟票</p>	<p>I. 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・許可病床数 ・平均在院日数 ・入院患者数 ・在宅復帰率 ・PT、OT、ST、MSW の職員数 ・要介護度別、認知症高齢者の日常生活自立度別、医療区分別の入院患者数 ・総退院患者数と退院先の内訳 <p>II. 「療養機能強化型」の算定要件にかかる状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者に当てはまる入院患者数 ・喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射を実施している入院患者数 ・喀痰吸引の実施頻度の内訳 ・経管栄養の実施内容と経緯の内訳 ・ターミナルケアを提供している入院患者数、延べ入院日数 ・ターミナル期のケアの取組状況 ・リハビリテーションの延べ対象人数、延べ単位数（請求の有無別） ・リハビリに取り組む場合のプロセス ・リハビリの内容（請求の有無別） ・リハビリの目的 <p>III. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者像別の現在の受け入れ状況、今後の方針 <p>IV. 療養機能強化型の算定について（介護療養病床票のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養機能強化型の算定要件を満たす上での困難 ・算定を行うにあたり取り組んだこと ・介護療養病床の届出の変更予定 ・療養機能強化型の算定要件へのご意見

(2) ヒアリング調査

介護療養病床を有する医療機関に、個別にヒアリング調査への協力を依頼し協力可能と回答いただいた 6 医療機関に対し、ヒアリング調査を実施した。

アンケート調査前に実施したヒアリング調査にて得られた結果は、アンケート調査の調査項目の検討に用いた。また、全 6 件のヒアリングにて得られた情報を、療養病床の実態及び課題等に関する具体的な内容として、報告書にとりまとめた。

具体的なヒアリング記録は資料編にまとめている。

I アンケート調査の結果

1. 調査の実施と回収状況

調査期間は平成 27 年 11 月 2 日～平成 27 年 12 月 11 日であった。

調査票の回収数は施設票が 946 件（回収率 31.8%）、介護療養病床票が 499 件（回収率 37.6%）、医療療養病床票が 897 件（回収率 33.9%）、地域包括ケア病棟票が 111 件であった。このうち、白紙回答であったもの（ほぼ白紙を含む）、療養病床への入院患者がいなかった医療機関の施設票、配布した調査票のうち調査時点に当該病床への入院患者がいなかった調査票を無効票とし、有効回答数を以下のように算出した。

なお、介護療養病床、医療療養病床、地域包括ケア病棟・病床のうち、複数を有している医療機関においては、該当する調査票のすべてに回答を求めた。調査名簿の作成時点では、介護療養病床か医療療養病床のいずれかを有していることを条件に抽出しているため、地域包括ケア病棟・病床の母数、施設サービス費および病床種別ごとの母数が不明であり、有効回答率は算出していない。

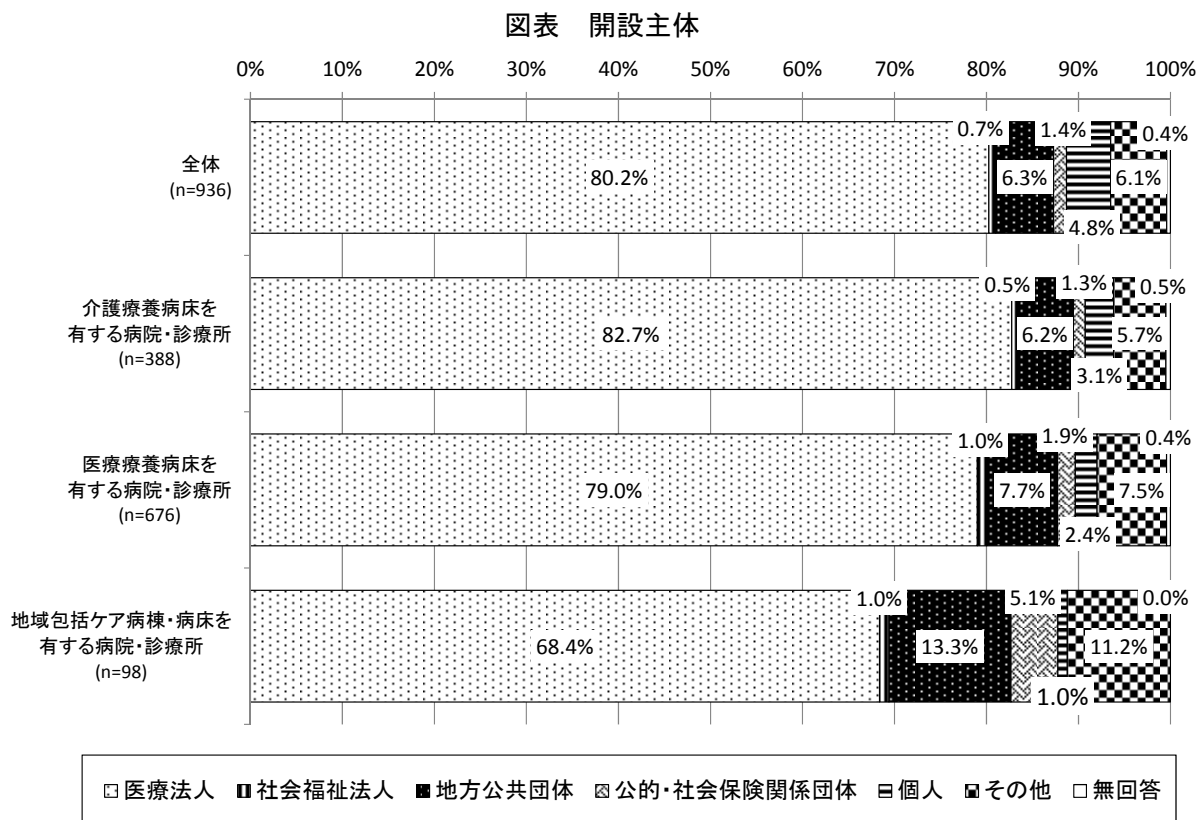
図表 調査票の回収状況

票種	発送数	有効回答数	有効回答率
施設票	2978	936	31.4%
介護療養病床票	1327	489	36.9%
療養機能強化型 A	-	170	-
療養機能強化型 B	-	36	-
その他（病院）	-	183	-
療養機能強化型（診療所）	-	29	-
その他（診療所）	-	70	-
医療療養病床票	2646	880	33.3%
医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	-	153	-
医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	-	325	-
医療療養病床（25:1）	-	268	-
医療療養病床（診療所）	-	127	-
地域包括ケア病棟・病床票	-	111	-
地域包括ケア病棟・病床 1（医療療養）	-	8	-
地域包括ケア病棟・病床 2（医療療養）	-	1	-
地域包括ケア病棟・病床 1（一般病床）	-	88	-
地域包括ケア病棟・病床 2（一般病床）	-	8	-

2. 施設の概要

(1) 開設主体

回答施設の開設主体は、介護療養病床を有する病院・診療所では「医療法人」が 82.7%、医療療養病床を有する病院・診療所では「医療法人」が 79.0%、地域包括ケア病棟・病床を有する病院・診療所では「医療法人」が 68.4%といずれも多数を占めた。



(2) 回答施設の規模

回答施設の規模について、介護療養病床を有する病院における当該病床の平均病床数は58.2床、医療療養病床を有する病院における当該病床の平均病床数は64.1床であった。

介護療養病床を有する病院では、当該病床を「20～49床」有する病院が40.6%で最多、医療療養病床を有する病院では、当該病床を「20～49床」有する病院が40.7%で最多、地域包括ケア病棟・病床を有する病院では、当該病床を「1～19床」有する病院が53.2%で最多となっていた。

図表 病床数の分布【病院】

■総病床数 回答医療機関数

		病院		うち介護療養病床を有する病院		うち医療療養病床を有する病院		うち地域包括ケア病棟・病床を有する病院	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
総病床数	20～49床	44	5.9%	20	5.4%	40	6.0%	0	0.0%
	50～74床	106	14.3%	54	14.6%	89	13.3%	2	1.8%
	75～99床	127	17.1%	61	16.4%	118	17.6%	25	22.7%
	100～149床	167	22.5%	80	21.6%	148	22.1%	27	24.5%
	150～199床	145	19.5%	69	18.6%	133	19.9%	32	29.1%
	200～299床	88	11.8%	48	12.9%	80	11.9%	11	10.0%
	300～399床	37	5.0%	23	6.2%	35	5.2%	8	7.3%
	400～499床	13	1.7%	3	0.8%	12	1.8%	3	2.7%
	500～599床	6	0.8%	5	1.3%	5	0.7%	0	0.0%
	600床以上	10	1.3%	8	2.2%	10	1.5%	2	1.8%
	計	743	100.0%	371	100.0%	670	100.0%	110	100.0%

■介護療養病床数別 回答医療機関数

		介護療養病床を有する病院	
		施設数	%
介護療養病床数	1～19床	45	12.0%
	20～49床	152	40.6%
	50～74床	88	23.5%
	75～99床	30	8.0%
	100～149床	36	9.6%
	150～199床	15	4.0%
	200～299床	5	1.3%
	300～399床	2	0.5%
	400床以上	1	0.3%
	計	374	100.0%

■医療療養病床数別 回答医療機関数

		医療療養病床を有する病院	
		施設数	%
医療療養病床数	1～19床	45	6.7%
	20～49床	274	40.7%
	50～74床	188	27.9%
	75～99床	60	8.9%
	100～149床	62	9.2%
	150～199床	28	4.2%
	200～299床	10	1.5%
	300～399床	4	0.6%
	400床以上	2	0.3%
	計	673	100.0%

(3) 回答施設の病床種別の概要

① 許可病床数と入院患者数

病床種別別に平成27年10月31日24時時点の許可病床数についてみると、1施設あたりの病床数は、介護療養病床で50.0床、医療療養病床で53.3床、地域包括ケア病棟・病床で25.5床であった。

入院患者数についてみると、1施設あたりの入院患者数は介護療養病床で45.4人、医療療養病床で47.1人、地域包括ケア病棟・病床で20.2人であった。病床100床あたりの入院患者数は、介護療養病床では90.8人、医療療養病床では88.3人、地域包括ケア病棟・病床では79.3人となっていた。

図表 1施設あたりの病床数・入院患者数（平成27年10月31日時点）

	施設数	入院患者数の合計	1施設あたり病床数	1施設あたり入院患者数	病床100床あたり入院患者数
介護療養病床 全体	481	21,850	50.0	45.4	90.8
療養機能強化型A	170	11,066	70.4	65.1	92.5
療養機能強化型B	36	2,215	68.5	61.5	89.8
その他(病院)	179	7,670	47.9	42.8	89.5
療養機能強化型(診療所)	28	239	10.2	8.5	83.9
その他(診療所)	67	657	11.5	9.8	85.5
医療療養病床 全体	855	40,270	53.3	47.1	88.3
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	152	8,268	60.9	54.4	89.3
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	324	19,056	64.5	58.8	91.2
医療療養病床(25:1)	267	11,637	51.7	43.6	84.3
医療療養病床(診療所)	106	749	9.7	7.1	72.9
地域包括ケア病棟・病床 全体	110	2,224	25.5	20.2	79.3
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	211	30.5	26.4	86.5
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	23	30.0	23.0	76.7
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	87	1,752	25.5	20.1	79.1
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	96	16.8	12.0	71.6

※地域包括ケア病棟・病床の病床種別の内訳では、「地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)」等、回答数が少ない病床種別がある。回答数の少ないものについては、参考に留め置きたい。(以下、同様)

②平均在院日数

病床種別別に平成 27 年 10 月 31 日時点の平均在院日数の回答をみると、介護療養病床で 601.3 日、医療療養病床で 304.2 日であった。療養機能強化型 A、B では平均在院日数が 600 日を上回る一方で、在宅復帰機能強化加算を算定している医療療養病床（20:1）では 200 日を下回っていた。

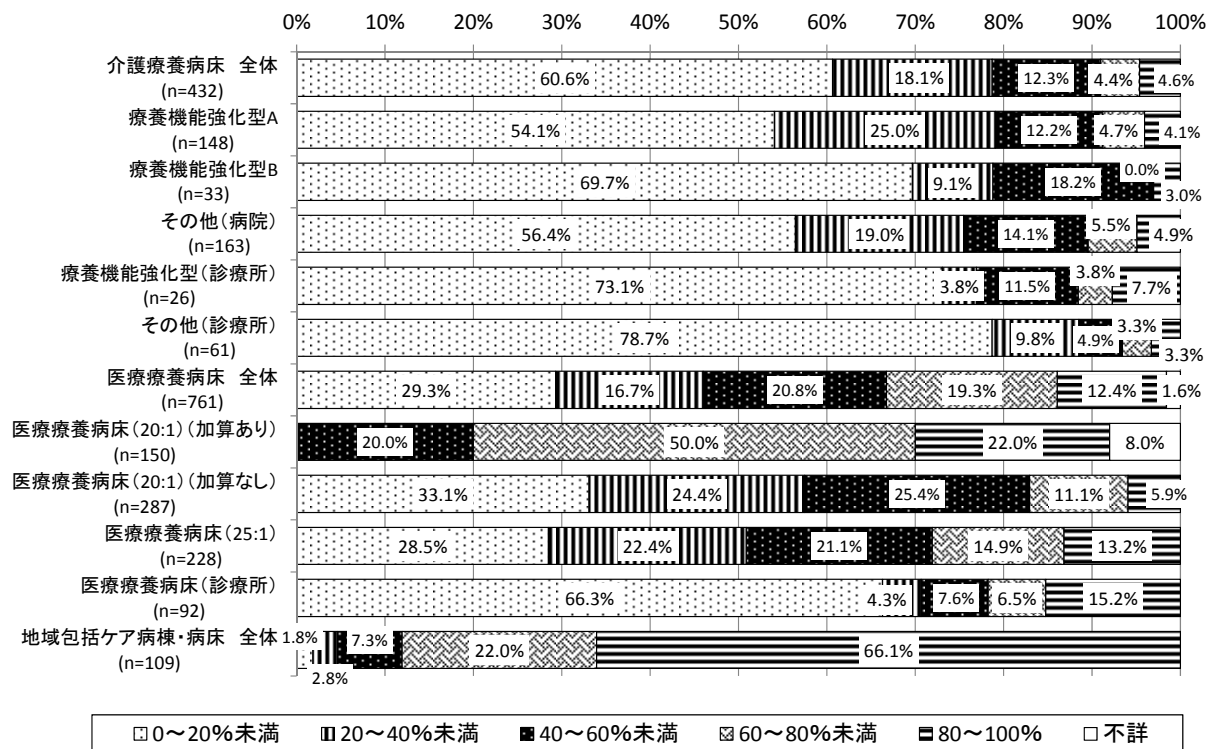
図表 平均在院日数（平成 27 年 10 月 31 日時点）

	施設数	平均在院日数	最大値	最小値
介護療養病床 全体	437	601.3	7,743	5.5
療養機能強化型A	156	646.2	7,743	19
療養機能強化型B	35	635.4	1,714	33.7
その他(病院)	166	585.0	2,604	5.5
療養機能強化型(診療所)	24	476.5	1,411	14
その他(診療所)	55	539.4	2,176	22
医療療養病床 全体	798	304.2	5,900	1.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	150	197.3	1,407	33.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	306	375.7	5,900	15
医療療養病床(25:1)	245	256.1	1,383	13.4
医療療養病床(診療所)	93	365.9	2,800	1.5
地域包括ケア病棟・病床 全体	103	33.7	517	13
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	31.3	43	16.6
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	40.5	41	40.5
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	84	33.8	517	13
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	36.0	49	19

③在宅復帰率

平成27年5月～10月の在宅復帰率*について病床種別ごとの分布をみると、介護療養病床では、「0～20%未満」が60.6%を占めていた。医療療養病床では、在宅復帰機能強化加算を算定している医療療養病床（20:1）の「60～80%未満」の回答が50.0%であったが、それ以外の病床種別では、40%未満の施設が過半数を占めていた。

図表 在宅復帰率の施設別分布（平成27年10月31日時点）



※医療療養病床（20:1）の「加算あり」「加算なし」は「在宅復帰機能強化加算」の有無を示す（以下、同様）。

※「在宅復帰機能強化加算」の要件は在宅復帰率50%以上であるため、医療療養病床（20:1）の「加算あり」において調査票の記述が40%を下回るものを、不詳として扱う。

*在宅復帰率は以下の定義とした。

在宅復帰率＝Bに掲げる数÷Aに掲げる数×100

A. 「直近6月間における退院患者数（当該病棟に入院した期間が1月以上の患者のうち、再入院患者、死亡退院患者を除く）」

B. 「Aのうち、在宅に退院した患者の中で、退院した患者の在宅での生活が1月以上継続する見込みであることが確認できた患者数」

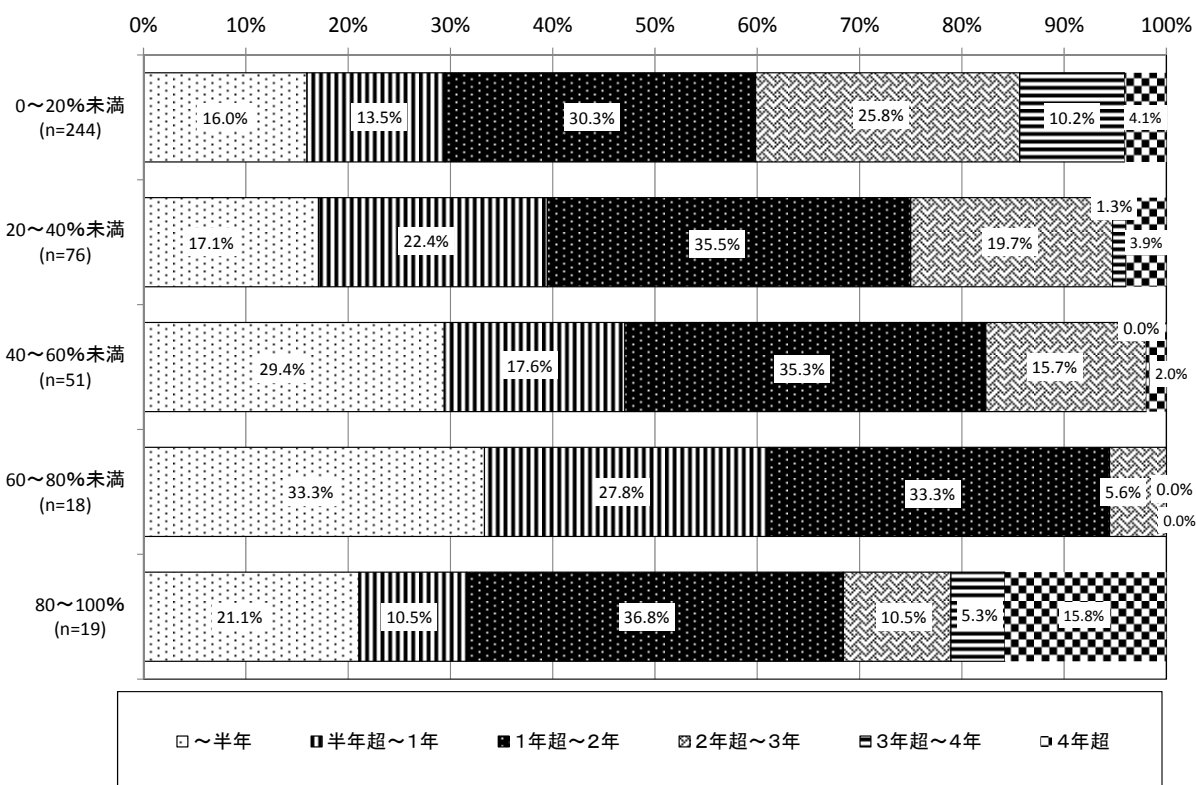
なお、在宅は「自宅」、「特別養護老人ホーム」、「居住系施設（特養を除く）」を指す。

平成 27 年 5 月～10 月の在宅復帰率と平均在院日数のクロス集計を行った。在宅復帰率の高い施設ほど平均在院日数が短くなる傾向にあった。その傾向は特に医療療養病床において顕著であった。

図表 在宅復帰率別 平均在院日数の施設別分布（平成 27 年 10 月 31 日時点）

		施設数	平均在院日数						
			～半年	半年超～1年	1年超～2年	2年超～3年	3年超～4年	4年超	
在宅復帰率	介護療養病床全体	0～20%未満	244	16.0%	13.5%	30.3%	25.8%	10.2%	4.1%
		20～40%未満	76	17.1%	22.4%	35.5%	19.7%	1.3%	3.9%
		40～60%未満	51	29.4%	17.6%	35.3%	15.7%	0.0%	2.0%
		60～80%未満	18	33.3%	27.8%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%
		80～100%	19	21.1%	10.5%	36.8%	10.5%	5.3%	15.8%
	医療療養病床全体	0～20%未満	213	31.0%	29.1%	27.2%	7.0%	1.4%	4.2%
		20～40%未満	132	34.8%	36.4%	25.0%	1.5%	1.5%	0.8%
		40～60%未満	154	50.0%	29.2%	16.9%	3.2%	0.6%	0.0%
		60～80%未満	144	55.6%	34.7%	6.9%	2.8%	0.0%	0.0%
		80～100%	94	58.5%	24.5%	9.6%	5.3%	2.1%	0.0%

図表 在宅復帰率別 平均在院日数の施設別分布（介護療養病床 全体）
（平成 27 年 10 月 31 日時点）



④医療ソーシャルワーカーの職員数

病床種別別の「医療ソーシャルワーカー」の職員数について、「専従」、「他病棟との兼務（当該病床への従事換算人数）」別に回答を求めた。

「専従＋兼務」の職員数についてみると、介護療養病床では1施設あたり0.5人、病床100床あたり1.0人となっていた。医療療養病床では1施設あたり0.7人、病床100床あたり1.3人となっていた。

「専従」の職員数についてみると、介護療養病床では1施設あたり0.2人、病床100床あたり0.4人となっていた。医療療養病床では1施設あたり0.3人、病床100床あたり0.6人となっていた。

図表 医療ソーシャルワーカーの職員数（専従＋兼務、専従）（平成27年10月31日時点）

	医療ソーシャルワーカー(専従＋兼務)			医療ソーシャルワーカー(専従)		
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数
介護療養病床 全体	450	0.5	1.0	450	0.2	0.4
療養機能強化型A	164	0.7	1.1	164	0.3	0.4
療養機能強化型B	36	0.8	1.1	36	0.3	0.4
その他(病院)	177	0.5	1.0	177	0.2	0.4
療養機能強化型(診療所)	21	0.2	1.9	21	0.1	0.9
その他(診療所)	52	0.0	0.4	52	0.0	0.2
医療療養病床 全体	806	0.7	1.3	806	0.3	0.6
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	148	0.9	1.5	148	0.4	0.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	307	0.8	1.3	307	0.3	0.5
医療療養病床(25:1)	247	0.7	1.3	247	0.3	0.6
医療療養病床(診療所)	100	0.1	0.6	100	0.0	0.4
地域包括ケア病棟・病床 全体	111	0.8	3.1	111	0.3	1.4
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	2.3	7.4	8	0.9	2.9
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1.0	3.3	1	1.0	3.3
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	88	0.7	2.7	88	0.3	1.0
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	0.4	2.4	8	0.3	1.5

※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーの専従、兼務別の職員数のうち、いずれかに0以上の記入がある調査票を集計対象とした。

平成 27 年 5 月～10 月の在宅復帰率と病床 100 床あたりの医療ソーシャルワーカーの職員数のクロス集計を行った。介護療養病床、医療療養病床ともに 80～100%の施設を除き、在宅復帰率の高い施設ほど医療ソーシャルワーカーの職員数が多くなる傾向にあった。

図表 在宅復帰率別 病床 100 床あたり医療ソーシャルワーカーの職員数（専従＋兼務）
（平成 27 年 10 月 31 日時点）

		施設数	病床100床あたり医療ソーシャルワーカー職員数(専従+兼務)					
			0人	0超～1人	1超～2人	2超～3人	3超	
在宅 復 帰 率	介護療養病床 全体	0～20%未満	239	66.9%	10.5%	10.5%	5.4%	6.7%
		20～40%未満	78	47.4%	25.6%	15.4%	3.8%	7.7%
		40～60%未満	49	51.0%	10.2%	22.4%	4.1%	12.2%
		60～80%未満	19	42.1%	21.1%	10.5%	5.3%	21.1%
		80～100%	18	55.6%	16.7%	11.1%	5.6%	11.1%
	医療療養病床 全体	0～20%未満	210	60.5%	10.5%	13.8%	5.2%	10.0%
		20～40%未満	128	35.2%	22.7%	22.7%	7.0%	12.5%
		40～60%未満	150	46.0%	16.7%	18.7%	6.0%	12.7%
		60～80%未満	137	39.4%	12.4%	21.2%	10.2%	16.8%
		80～100%	88	55.7%	6.8%	18.2%	8.0%	11.4%

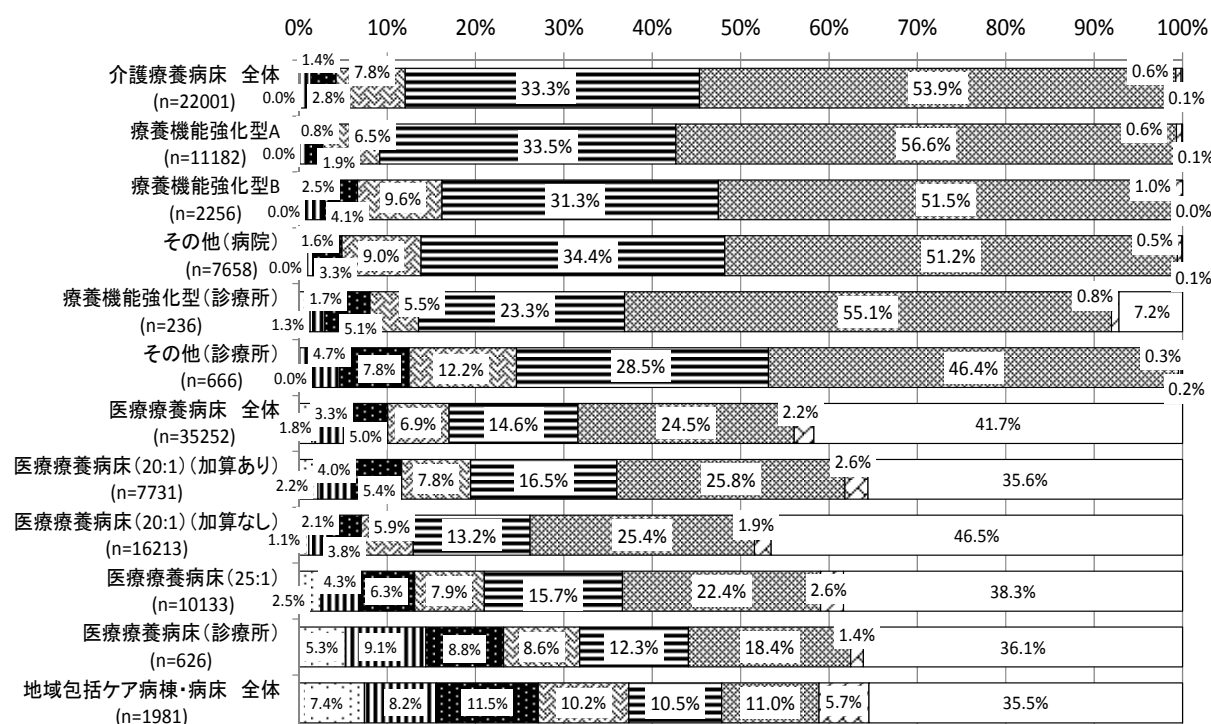
(4) 回答施設の入院患者の状態と退出経路

①要介護度

病床種別別の要介護度についてみると、「要介護5」の割合が最も高いのは療養機能強化型Aであり、56.6%を占めていた。次いで療養機能強化型を算定している診療所で55.1%を占めていた。介護療養病床、医療療養病床のいずれの施設サービス費の種類、病床種別においても「要介護5」が最も構成割合の高い区分となっていた。

図表 要介護度別入院患者数（平成27年10月31日時点）

	施設数	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	不明・未申請
介護療養病床 全体	481	3	305	618	1,723	7,326	11,860	135	31
療養機能強化型A	170	—	90	210	727	3,744	6,334	69	8
療養機能強化型B	36	—	57	93	216	705	1,162	22	1
その他(病院)	178	—	123	251	686	2,631	3,923	40	4
療養機能強化型(診療所)	28	3	4	12	13	55	130	2	17
その他(診療所)	68	—	31	52	81	190	309	2	1
医療療養病床 全体	764	651	1,147	1,751	2,444	5,143	8,624	786	14,706
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	142	169	312	419	604	1,277	1,997	201	2,752
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	290	184	336	624	956	2,144	4,117	307	7,545
医療療養病床(25:1)	234	255	434	640	798	1,586	2,270	264	3,886
医療療養病床(診療所)	92	33	57	55	54	77	115	9	226
地域包括ケア病棟・病床 全体	103	147	162	228	203	208	218	112	703
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	9	24	28	30	31	43	5	41
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	2	1	5	5	4	4	2	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	82	124	128	185	154	159	155	101	620
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	5	6	5	11	9	8	4	15



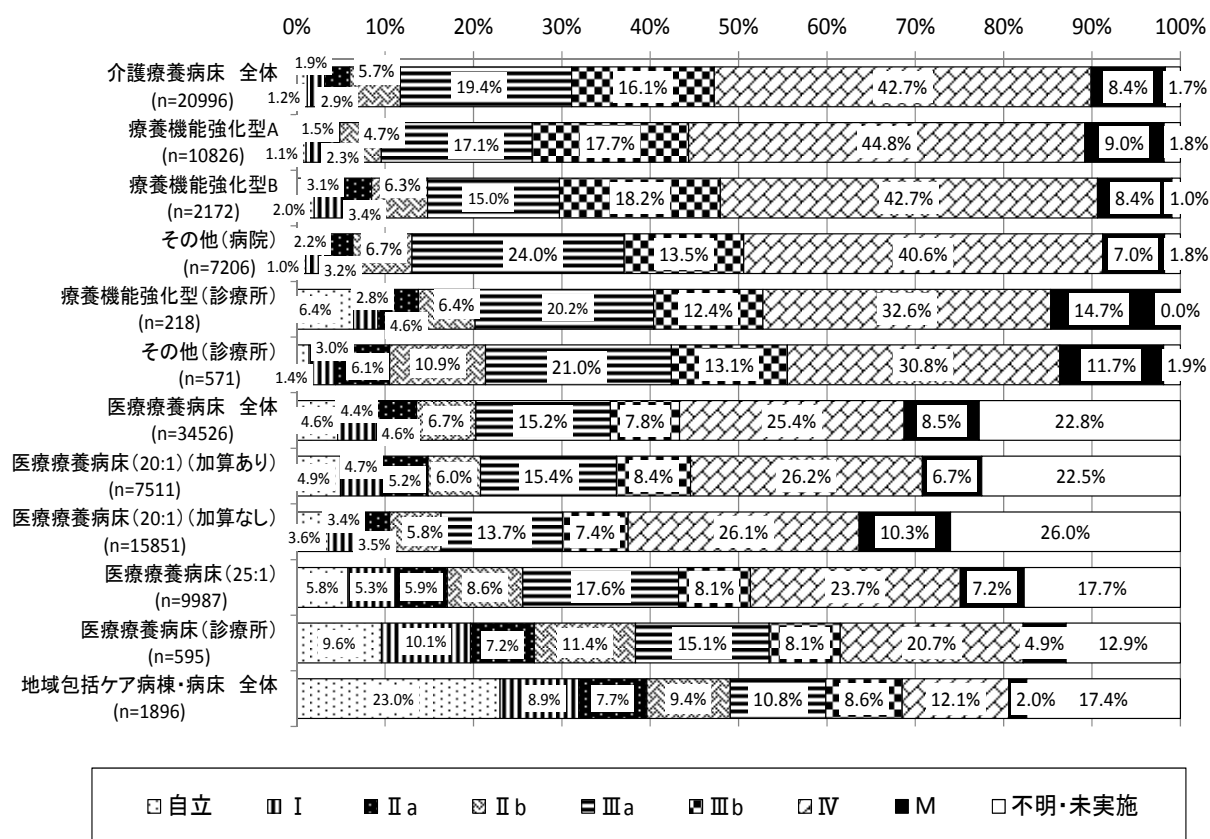
□ 要支援1・2 □ 要介護1 ■ 要介護2 ▨ 要介護3 ▩ 要介護4 ▤ 要介護5 ▧ 申請中 □ 不明・未申請

②認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度のうち、ランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する患者の割合についてみると、療養機能強化型Aが最も高く71.5%を占めており、介護療養病床全体では67.2%であった。医療療養病床では、在宅復帰機能強化加算を算定していない医療療養病床(20:1)が最も高く43.9%を占めていた。

図表 認知症高齢者の日常生活自立度別入院患者数(平成27年10月31日時点)

	施設数	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明・未実施
介護療養病床 全体	445	250	408	599	1,204	4,069	3,389	8,956	1,759	362
療養機能強化型A	162	114	162	250	508	1,849	1,918	4,853	972	200
療養機能強化型B	34	43	67	74	137	325	395	927	183	21
その他(病院)	164	71	156	230	483	1,730	974	2,927	505	130
療養機能強化型(診療所)	25	14	6	10	14	44	27	71	32	—
その他(診療所)	59	8	17	35	62	120	75	176	67	11
医療療養病床 全体	742	1,599	1,507	1,575	2,314	5,250	2,705	8,779	2,929	7,868
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	139	371	353	391	448	1,154	630	1,971	503	1,690
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	283	570	545	549	922	2,179	1,180	4,143	1,638	4,125
医療療養病床(25:1)	229	578	533	589	855	1,759	813	2,371	721	1,768
医療療養病床(診療所)	84	57	60	43	68	90	48	123	29	77
地域包括ケア病棟・病床 全体	100	436	169	146	179	205	164	229	38	330
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	25	19	12	20	30	10	37	5	35
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	2	1	5	2	6	—	6	1	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	79	358	141	122	136	161	127	137	31	278
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	20	2	4	10	5	5	10	1	6

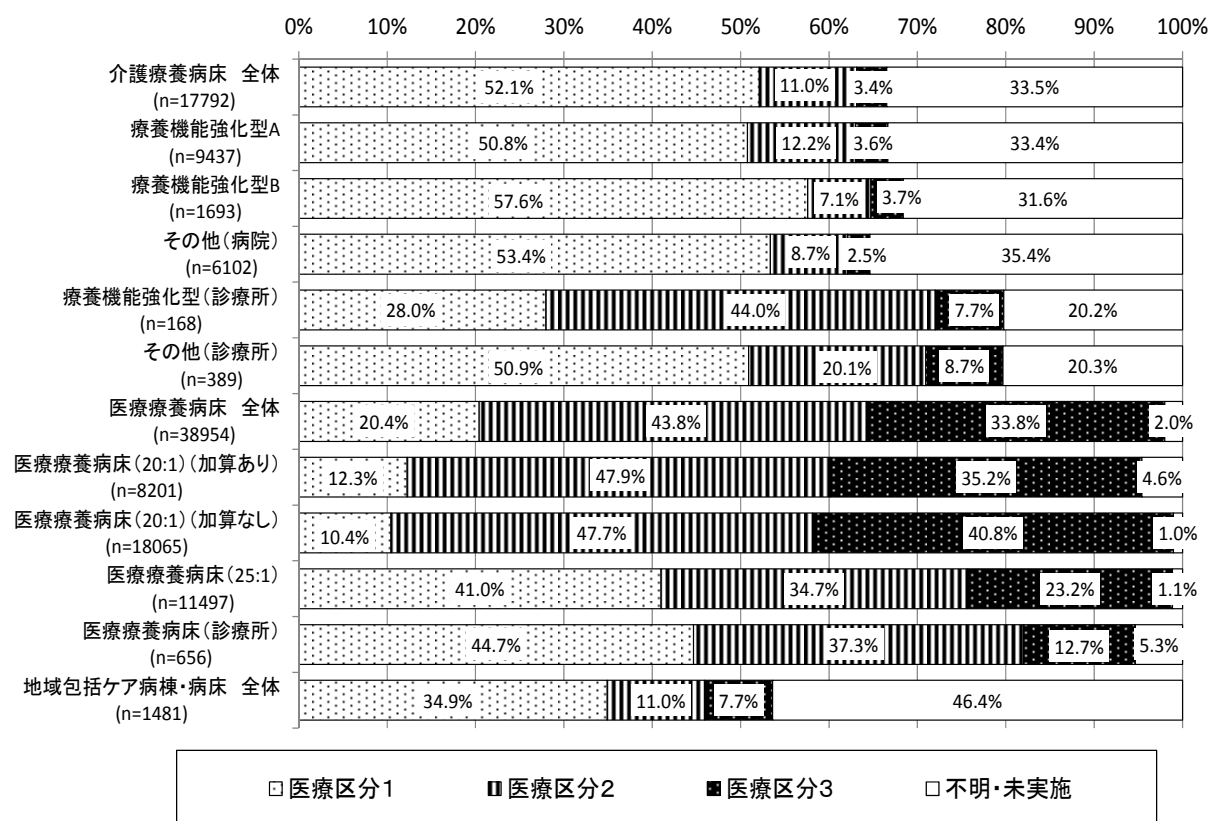


③医療区分

医療区分2・3に該当する患者の割合についてみると、在宅復帰機能強化加算を算定していない医療療養病床(20:1)が最も高く、88.6%を占めており、医療療養病床全体では77.6%であった。一方、介護療養病床では14.4%であった。

図表 医療区分別入院患者数(平成27年10月31日時点)

	施設数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
介護療養病床 全体	370	9,270	1,960	608	5,954
療養機能強化型A	140	4,791	1,154	344	3,148
療養機能強化型B	27	975	121	62	535
その他(病院)	140	3,257	532	155	2,158
療養機能強化型(診療所)	21	47	74	13	34
その他(診療所)	41	198	78	34	79
医療療養病床 全体	818	7,952	17,072	13,149	781
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	147	1,007	3,927	2,890	377
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	312	1,884	8,622	7,375	184
医療療養病床(25:1)	261	4,711	3,992	2,663	131
医療療養病床(診療所)	93	293	245	83	35
地域包括ケア病棟・病床 全体	78	517	163	114	687
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	30	36	20	128
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	4	4	15	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	61	437	111	73	542
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	27	3	5	9



④入院患者の退院先

平成27年5月～10月の退院患者について退院先別の内訳をみると、介護療養病床では、「死亡」での退院が42.7%と最も多く、次いで「院内転棟」が22.0%となっていた。医療療養病床では、「死亡」での退院が37.2%と最も多く、次いで「自宅」が25.0%となっていた。

「自宅」への退院が総退院患者に占める割合についてみると、介護療養病床の病院では、療養機能強化型Aで6.5%、療養機能強化型Bで13.4%と低かったが、療養機能強化型の診療所では55.7%を占めていた。医療療養病床でも病院より診療所の割合が高かった。

「死亡」での退院が総退院患者に占める割合についてみると、介護療養病床では療養機能強化型Aの51.2%が最も高かった。医療療養病床では、在宅復帰機能強化加算を算定していない医療療養病床(20:1)の48.3%が最も高かった。

なお、本調査では、退院患者の算出方法として診療報酬上の「在宅復帰率」の定義に合わせ、「当該病棟の入院期間が1ヶ月以上の患者のうち、再入院患者を除く」としている。平成25年に日本慢性期医療協会が実施した退院患者個別調査によると、在宅復帰者のうち、医療療養病床(20:1)で52.7%、医療療養病床(25:1)で25.4%、介護療養病床で31.9%が1ヶ月以内の退院となっており、本調査では入院期間を1ヶ月以上と限定しているため、これら1ヶ月以内に退院した在宅復帰者の割合が含まれていない点に留意が必要である。

図表 退院先別退院患者数(平成27年5月～10月)

	施設数	総退院患者数	院内転棟	(院外)回復期リハビリテーション病棟	(院外)地域包括ケア病棟	(院外)療養病棟	(院外)その他の病棟
介護療養病床 全体	460	9,174	22.0%	0.1%	0.0%	0.9%	7.7%
療養機能強化型A	169	4,594	18.9%	0.0%	0.0%	1.0%	8.3%
療養機能強化型B	35	850	24.8%	—	0.1%	0.8%	9.1%
その他(病院)	179	3,273	27.2%	0.1%	0.0%	0.9%	6.0%
療養機能強化型(診療所)	23	210	6.7%	—	—	—	6.7%
その他(診療所)	53	244	13.5%	—	—	2.0%	13.1%
医療療養病床 全体	820	34,532	12.9%	0.2%	0.1%	1.5%	7.3%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	151	8,345	10.5%	0.0%	0.0%	1.1%	6.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	316	12,505	15.1%	0.1%	0.1%	2.0%	8.1%
医療療養病床(25:1)	260	12,410	12.4%	0.4%	0.0%	1.4%	6.4%
医療療養病床(診療所)	86	867	6.5%	0.2%	—	0.8%	7.8%
地域包括ケア病棟・病床 全体	107	10,401	12.6%	0.1%	0.0%	0.8%	2.5%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	990	22.0%	0.1%	—	1.2%	3.7%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	25	40.0%	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	85	8,533	10.6%	0.1%	0.0%	0.8%	2.1%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	540	26.9%	—	—	0.6%	6.3%

	施設数	総退院患者数	自宅	特別養護老人ホーム	居住系施設(特養を除く)	介護老人保健施設	その他	死亡
介護療養病床 全体	460	9,174	12.3%	6.6%	2.0%	6.2%	1.0%	42.7%
療養機能強化型A	169	4,594	6.5%	6.0%	2.2%	5.3%	1.0%	51.2%
療養機能強化型B	35	850	13.4%	5.6%	1.2%	5.2%	0.7%	39.6%
その他(病院)	179	3,273	17.1%	7.5%	1.9%	8.3%	0.9%	32.7%
療養機能強化型(診療所)	23	210	55.7%	5.2%	2.4%	0.5%	2.4%	21.9%
その他(診療所)	53	244	16.0%	9.4%	3.3%	3.3%	3.7%	46.3%
医療療養病床 全体	820	34,532	25.0%	4.5%	4.5%	6.5%	0.8%	37.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	151	8,345	27.5%	6.1%	7.1%	5.0%	0.7%	35.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	316	12,505	15.0%	3.6%	3.3%	5.4%	0.6%	48.3%
医療療養病床(25:1)	260	12,410	31.9%	4.5%	4.0%	8.8%	0.9%	29.0%
医療療養病床(診療所)	86	867	51.8%	3.5%	3.7%	4.8%	1.7%	17.6%
地域包括ケア病棟・病床 全体	107	10,401	61.7%	5.0%	6.4%	5.5%	0.7%	4.8%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	990	38.9%	7.3%	11.2%	8.5%	0.6%	6.5%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	25	32.0%	4.0%	16.0%	8.0%	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	85	8,533	65.4%	5.0%	5.8%	5.3%	0.4%	4.8%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	540	44.8%	4.4%	8.9%	2.0%	1.1%	5.0%

平成 27 年 5 月～10 月の在宅復帰率および平均在院日数と退院先別患者数のクロス集計を行った。

介護療養病床では、在宅復帰率が高い施設ほど「自宅」への退院が総退院患者に占める割合が高くなる一方で、在宅復帰率が低い施設ほど「死亡」の割合が高くなっていた。介護療養病床の機能として在宅復帰へのワンステップの場合、もしくは看取りの場のいずれかの機能を発揮していることが示唆された。特に、療養機能強化型 A では「死亡」の割合が高く、「自宅」の割合は、在宅復帰率が「80～100%」の群でも 13.4%と小さい。一方、その他の病院では、療養機能強化型 A に比べて「死亡」の割合が低いが、「自宅」や「特別養護老人ホーム」の割合が高く、在宅復帰を重視していると推測される。

また、平均在院日数でも同様の傾向がみられ、平均在院日数が長い施設ほど「自宅」の割合が低くなり、「死亡」の割合が高くなる傾向がみられた。

図表 在宅復帰率別 退院先別退院患者数（平成 27 年 5 月～10 月）

		施設数	総退院患者数	院内転棟	(院外)回復期リハビリテーション病棟	(院外)地域包括ケア病棟	(院外)療養病棟	(院外)その他の病棟	
在宅復帰率	介護療養病床全体	0～20%未満	241	3,878	27.7%	0.1%	0.1%	0.7%	8.4%
		20～40%未満	78	1,865	18.5%	—	—	1.7%	8.7%
		40～60%未満	53	1,128	13.0%	—	0.1%	0.9%	5.9%
		60～80%未満	19	702	17.7%	—	—	2.3%	7.3%
		80～100%	20	557	5.0%	—	—	—	4.8%
	療養機能強化型A	0～20%未満	80	1,845	20.4%	0.1%	0.1%	0.7%	7.9%
		20～40%未満	37	1,072	14.3%	—	—	1.6%	9.4%
		40～60%未満	18	459	9.6%	—	—	0.2%	6.5%
		60～80%未満	7	412	23.1%	—	—	3.4%	10.4%
		80～100%	6	186	5.4%	—	—	—	10.8%
	その他(病院)	0～20%未満	90	1,297	40.0%	0.3%	0.1%	0.5%	7.5%
		20～40%未満	31	663	25.6%	—	—	2.1%	6.5%
		40～60%未満	23	390	19.2%	—	—	1.0%	4.1%
		60～80%未満	9	233	7.7%	—	—	0.9%	3.4%
	医療療養病床全体	80～100%	8	337	5.0%	—	—	—	2.1%
		0～20%未満	199	5,283	21.5%	0.1%	0.1%	1.3%	7.5%
		20～40%未満	130	5,875	17.1%	0.2%	0.0%	2.0%	9.4%
		40～60%未満	158	7,954	12.8%	0.3%	0.1%	1.7%	8.5%
		60～80%未満	146	7,626	9.2%	0.1%	0.1%	1.1%	6.2%
		80～100%	94	4,770	5.9%	0.1%	0.0%	0.7%	3.9%

		施設数	総退院患者数	自宅	特別養護老人ホーム	居住系施設(特養を除く)	介護老人保健施設	その他	死亡	
在宅復帰率	介護療養病床全体	0～20%未満	241	3,878	5.0%	4.5%	1.0%	7.1%	1.5%	46.2%
		20～40%未満	78	1,865	9.1%	8.8%	2.6%	8.0%	0.5%	43.9%
		40～60%未満	53	1,128	22.0%	9.5%	3.3%	5.3%	0.9%	39.1%
		60～80%未満	19	702	21.1%	7.7%	3.7%	2.7%	1.4%	36.2%
		80～100%	20	557	52.4%	7.5%	2.7%	1.3%	0.2%	26.0%
	療養機能強化型A	0～20%未満	80	1,845	4.0%	3.5%	0.7%	6.3%	1.8%	55.1%
		20～40%未満	37	1,072	6.0%	9.0%	2.5%	5.8%	0.7%	51.1%
		40～60%未満	18	459	13.1%	7.6%	4.8%	5.0%	0.7%	52.5%
		60～80%未満	7	412	13.1%	6.8%	3.6%	2.2%	—	37.4%
		80～100%	6	186	13.4%	11.8%	5.4%	1.1%	—	52.2%
	その他(病院)	0～20%未満	90	1,297	4.3%	5.0%	1.5%	9.2%	1.2%	34.2%
		20～40%未満	31	663	12.7%	8.9%	2.6%	13.0%	0.2%	33.0%
		40～60%未満	23	390	14.4%	15.1%	2.3%	6.9%	0.3%	36.4%
		60～80%未満	9	233	24.9%	10.3%	3.0%	4.3%	3.9%	41.6%
	医療療養病床全体	80～100%	8	337	78.0%	5.9%	0.9%	1.5%	0.3%	6.2%
		0～20%未満	199	5,283	9.2%	2.4%	1.9%	7.3%	0.6%	48.9%
		20～40%未満	130	5,875	12.4%	3.4%	3.3%	6.6%	1.2%	43.5%
		40～60%未満	158	7,954	25.4%	4.4%	4.5%	7.7%	0.9%	34.1%
		60～80%未満	146	7,626	30.7%	6.2%	6.6%	5.6%	0.5%	33.7%
		80～100%	94	4,770	49.7%	5.6%	5.8%	3.8%	0.5%	26.5%

図表 平均在院日数別 退院先別退院患者数（平成27年5月～10月）

		施設数	総退院患者数	院内転棟	(院外)回復期リハビリテーション病棟	(院外)地域包括ケア病棟	(院外)療養病棟	(院外)その他の病棟	
平均在院日数	介護療養病床全体	～半年	80	1,909	26.6%	—	—	0.6%	5.6%
		半年超～1年	66	1,494	25.6%	—	—	2.3%	8.8%
		1年超～2年	138	3,041	18.3%	0.1%	0.0%	0.7%	8.7%
		2年超～3年	90	1,391	22.0%	0.1%	0.1%	0.6%	6.8%
		3年超～4年	30	518	15.8%	—	—	1.2%	14.1%
		4年超	18	150	18.7%	—	—	—	4.0%
	療養機能強化型A	～半年	24	735	29.3%	—	—	0.5%	8.6%
		半年超～1年	25	922	22.0%	—	—	3.3%	10.1%
		1年超～2年	55	1,579	14.4%	—	—	0.4%	9.5%
		2年超～3年	34	702	12.4%	0.1%	0.1%	0.6%	4.6%
		3年超～4年	11	196	7.7%	—	—	0.5%	14.8%
		4年超	7	70	30.0%	—	—	—	4.3%
	その他(病院)	～半年	31	786	29.1%	—	—	0.9%	2.4%
		半年超～1年	27	479	35.3%	—	—	0.8%	5.8%
		1年超～2年	54	1,024	22.0%	0.3%	—	1.1%	8.6%
		2年超～3年	36	517	36.4%	0.2%	—	0.2%	9.9%
		3年超～4年	11	159	13.8%	—	—	0.6%	1.9%
		4年超	6	71	9.9%	—	—	—	—
	医療療養病床全体	～半年	335	18,198	13.1%	0.2%	0.0%	1.7%	6.1%
		半年超～1年	236	9,228	11.9%	0.1%	0.1%	1.4%	8.5%
		1年超～2年	140	4,626	12.6%	0.1%	0.1%	0.9%	8.9%
		2年超～3年	36	682	16.0%	—	—	1.0%	9.4%
		3年超～4年	9	174	26.4%	—	0.6%	1.1%	4.0%
		4年超	9	40	40.0%	—	—	—	10.0%

		施設数	総退院患者数	自宅	特別養護老人ホーム	居住系施設(特養を除く)	介護老人保健施設	その他	死亡	
平均在院日数	介護療養病床全体	～半年	80	1,909	29.8%	6.9%	2.3%	7.4%	0.4%	20.4%
		半年超～1年	66	1,494	9.0%	8.4%	2.9%	6.8%	0.9%	38.8%
		1年超～2年	138	3,041	8.6%	6.9%	1.7%	5.2%	1.2%	50.2%
		2年超～3年	90	1,391	4.7%	5.6%	1.7%	4.6%	2.2%	52.3%
		3年超～4年	30	518	2.9%	3.1%	1.7%	9.7%	0.8%	54.1%
		4年超	18	150	3.3%	3.3%	1.3%	—	—	68.0%
	療養機能強化型A	～半年	24	735	13.2%	6.1%	3.4%	7.9%	0.3%	30.6%
		半年超～1年	25	922	8.5%	6.3%	2.7%	5.9%	0.9%	41.9%
		1年超～2年	55	1,579	4.7%	7.1%	1.8%	4.4%	1.2%	56.5%
		2年超～3年	34	702	4.3%	5.6%	2.0%	5.4%	2.1%	62.7%
		3年超～4年	11	196	4.1%	3.1%	1.0%	1.0%	1.0%	70.4%
		4年超	7	70	4.3%	5.7%	—	—	—	51.4%
	その他(病院)	～半年	31	786	40.2%	7.3%	1.4%	7.5%	0.1%	10.9%
		半年超～1年	27	479	10.0%	12.5%	2.3%	8.8%	0.2%	32.4%
		1年超～2年	54	1,024	11.0%	7.2%	1.9%	7.8%	1.2%	43.1%
		2年超～3年	36	517	3.3%	5.2%	1.9%	3.3%	2.5%	36.6%
		3年超～4年	11	159	1.9%	3.1%	3.8%	28.3%	0.6%	52.2%
		4年超	6	71	—	—	—	—	—	84.5%
	医療療養病床全体	～半年	335	18,198	33.3%	4.9%	5.4%	7.2%	0.7%	27.3%
		半年超～1年	236	9,228	16.1%	4.3%	4.0%	5.8%	0.9%	47.4%
		1年超～2年	140	4,626	12.5%	3.4%	2.8%	5.2%	0.7%	54.3%
		2年超～3年	36	682	14.8%	2.9%	2.1%	2.1%	0.3%	56.5%
		3年超～4年	9	174	11.5%	6.9%	2.3%	1.1%	—	51.1%
		4年超	9	40	—	—	10.0%	—	—	35.0%

3. 「療養機能強化型」の算定にかかる状況

以下では、平成27年4月に創設された「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件にかかる状況について回答を求めた。療養病床全体の共通点と相違点を把握するため、介護療養病床票に加えて、医療療養病床票、地域包括ケア病棟票にも共通の設問を設けた。

(1) 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者

「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件に定める「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」の各基準に該当する入院患者数について、回答を求めた。なお、算定要件上は同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方のみ含めるものとなっているが、本調査では入院患者の状態像を詳細に把握するため、該当する基準の全てでカウントすることとした。

有効回答のあった施設の総入院患者に占める各基準に該当する入院患者の割合を算出した。介護療養病床では、「身体合併症を有する認知症高齢者」の「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する者」が65.3%で最も多かった。医療療養病床でも、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する者」が最多であったが、36.8%と介護療養病床全体より低い割合であった。

一方、「Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態」、「連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態」、「認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病に診断された者」では、医療療養病床が介護療養病床より高い割合となっていた。

図表 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の各基準に該当する患者の割合（平成27年10月31日時点）（複数回答）

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者						
			NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	常時低血圧（収縮時血圧が90mmHg以下）	透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	
介護療養病床 全体	408	20,287	5.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
療養機能強化型A	163	10,705	6.4%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	
療養機能強化型B	35	2,190	7.7%	1.6%	—	—	—	—	
その他(病院)	147	6,746	4.4%	0.5%	0.0%	—	—	0.0%	
療養機能強化型(診療所)	20	183	15.8%	1.1%	—	—	—	—	
その他(診療所)	42	460	1.7%	0.7%	—	—	—	—	
医療療養病床 全体	672	33,526	4.4%	4.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	128	6,742	5.1%	5.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	278	16,529	4.0%	5.5%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	
医療療養病床(25:1)	208	9,303	4.6%	1.4%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	
医療療養病床(診療所)	51	392	5.9%	1.3%	1.3%	0.8%	0.5%	0.8%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	60	1,466	2.7%	1.1%	0.1%	0.2%	0.1%	—	
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	4	120	15.0%	4.2%	0.8%	1.7%	0.8%	—	
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	50	1,203	1.8%	0.8%	—	0.1%	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	49	—	2.0%	—	—	—	—	

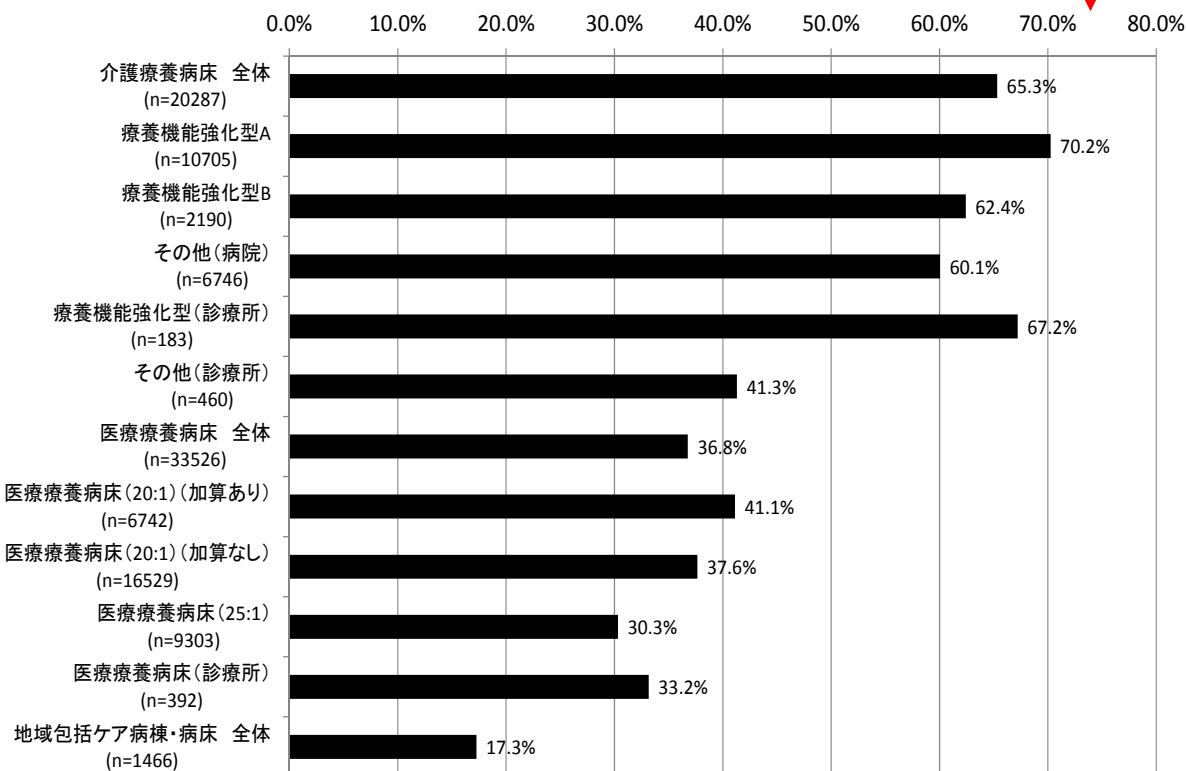
※前頁図表の続き

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者				身体合併症を有する認知症高齢者		
			Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	現に経口より食事を取っている者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病(※)と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者
介護療養病床 全体	408	20,287	0.2%	3.7%	0.0%	1.6%	3.3%	1.9%	65.3%
療養機能強化型A	163	10,705	0.2%	3.9%	—	1.9%	3.6%	1.9%	70.2%
療養機能強化型B	35	2,190	0.1%	1.4%	—	0.7%	3.0%	1.4%	62.4%
その他(病院)	147	6,746	0.1%	4.1%	0.1%	1.6%	2.9%	1.9%	60.1%
療養機能強化型(診療所)	20	183	—	6.0%	—	1.6%	3.8%	4.4%	67.2%
その他(診療所)	42	460	0.2%	2.6%	—	1.3%	3.7%	3.0%	41.3%
医療療養病床 全体	672	33,526	0.3%	7.5%	0.2%	1.2%	2.8%	5.7%	36.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	128	6,742	0.4%	7.3%	0.4%	0.8%	3.4%	5.6%	41.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	278	16,529	0.3%	9.6%	0.1%	1.1%	2.7%	6.6%	37.6%
医療療養病床(25:1)	208	9,303	0.4%	4.2%	0.1%	1.5%	2.6%	4.0%	30.3%
医療療養病床(診療所)	51	392	—	2.8%	0.3%	3.8%	3.8%	8.2%	33.2%
地域包括ケア病棟・病床 全体	60	1,466	0.2%	1.5%	0.1%	1.7%	2.7%	1.8%	17.3%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	4	120	—	3.3%	—	8.3%	1.7%	4.2%	5.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	50	1,203	0.2%	1.3%	0.1%	0.8%	3.0%	1.7%	18.1%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	49	2.0%	—	—	6.1%	—	—	22.4%

※：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指す。

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

■ 認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者の割合【再掲】

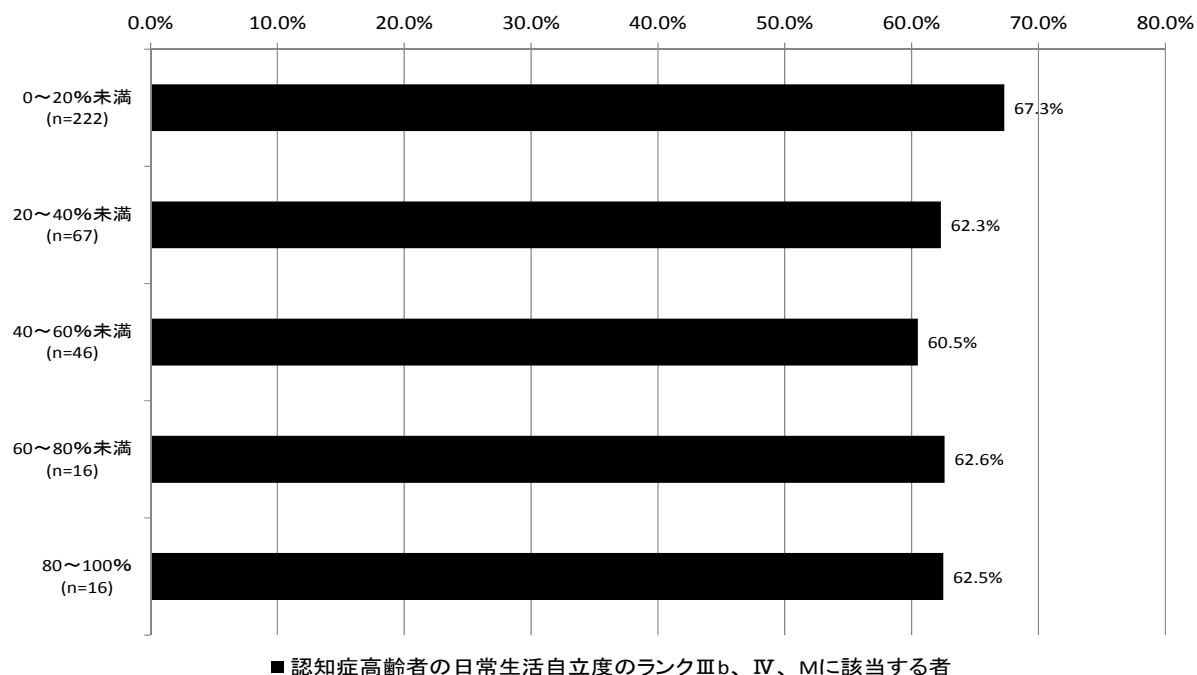


■ 認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者

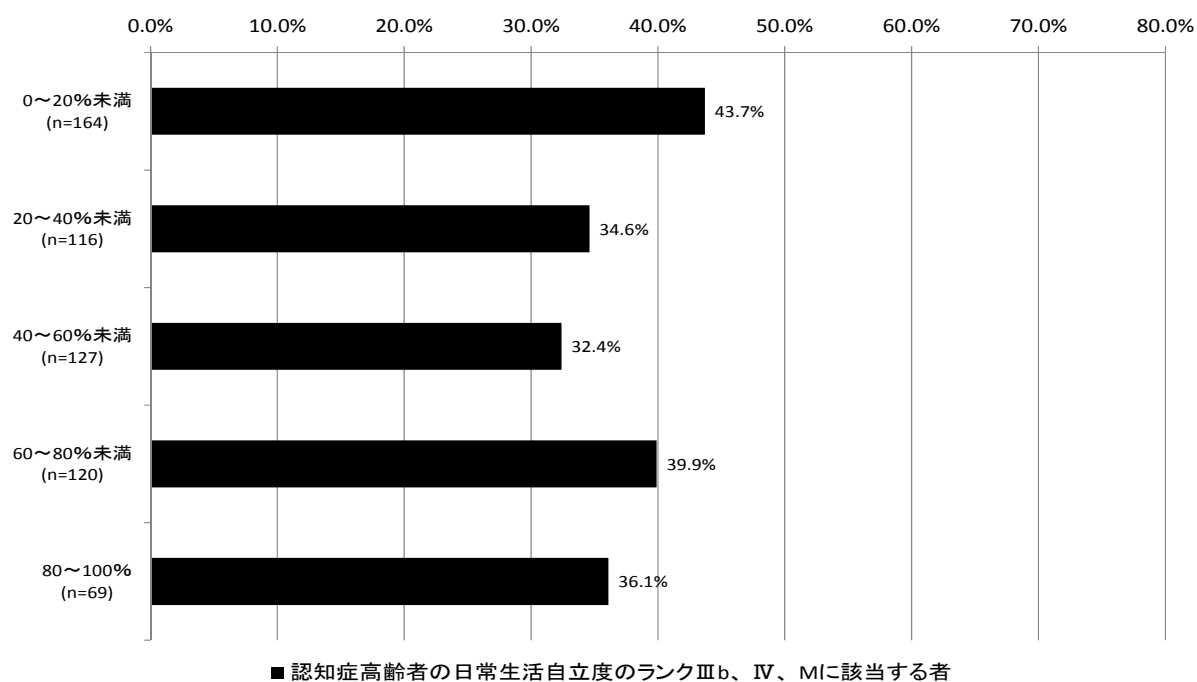
在宅復帰率と認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者の総入院患者に占める割合のクロス集計を行った。

介護療養病床、医療療養病床ともに、在宅復帰率と認知症高齢者の割合の間に関連はみられなかった。

■在宅復帰率別認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者の割合
(介護療養病床 全体)



■在宅復帰率別認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者の割合
(医療療養病床 全体)



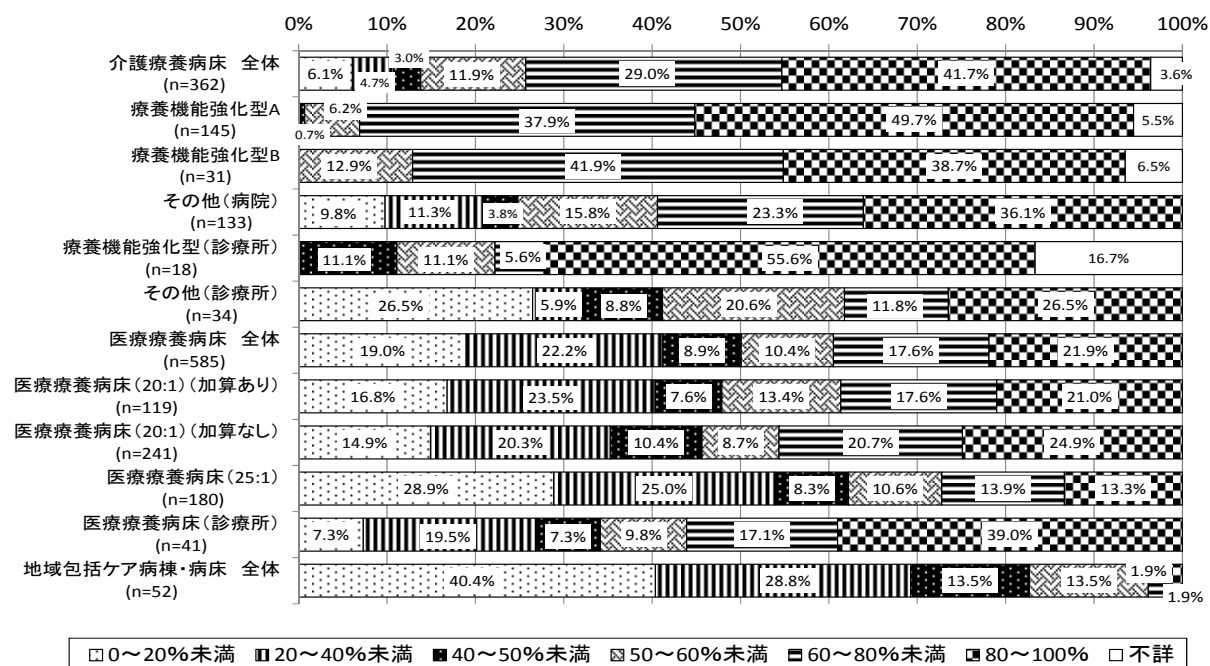
算定要件の各基準に該当する入院患者数に加えて、「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」に該当する入院患者の実人数について回答を求めた。

有効回答のあった施設の総入院患者に占める該当患者の実人数の割合を算出した。介護療養病床では 70.8%、医療療養病床では 49.0%であった。各施設の当該割合別の分布をみると、介護療養病床では 50%以上の施設が約 8 割を占めた。一方、医療療養病床では約 5 割であった。

図表 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者に該当する患者の実人数の割合（平成 27 年 10 月 31 日時点）

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	総入院患者に占める該当する入院患者の実人数の割合
介護療養病床 全体	362	18,445	70.8%
療養機能強化型A	145	9,678	75.6%
療養機能強化型B	31	2,115	71.0%
その他(病院)	133	6,096	64.8%
療養機能強化型(診療所)	18	175	63.4%
その他(診療所)	34	378	47.6%
医療療養病床 全体	585	29,746	49.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	119	6,493	52.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	241	14,424	51.0%
医療療養病床(25:1)	180	8,035	40.1%
医療療養病床(診療所)	41	326	52.8%
地域包括ケア病棟・病床 全体	52	1,263	23.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	3	107	25.2%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	44	1,097	22.8%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	49	32.7%

図表 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者に該当する患者の実人数の割合別分布（平成 27 年 10 月 31 日時点）



※「療養機能強化型」の要件は 50%以上もしくは 40%以上であるため、「療養機能強化型」において調査票の記述が 40%を下回るものを、不詳として扱った。

(2) 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施状況

① 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施を必要とする入院患者数

「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件に定める「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について、「喀痰吸引を実施している者」、「喀痰吸引の実施に相当する者」、「経管栄養（経鼻経管、胃ろう、腸ろう、中心静脈栄養）を実施している者」、「経管栄養の実施に相当する者」、「インスリン注射の実施（自ら実施する者は除く）」に該当する入院患者数について、回答を求めた。

有効回答のあった施設の総入院患者に占める各処置に該当する入院患者の割合を算出した。介護療養病床では、「喀痰吸引を実施している者・喀痰吸引の実施に相当する者」は42.1%、「経管栄養を実施している者・経管栄養の実施に相当する者」は62.2%、「インスリン注射を実施している者」は3.3%であった。医療療養病床では、「喀痰吸引を実施している者・喀痰吸引の実施に相当する者」は54.1%、「経管栄養を実施している者・経管栄養の実施に相当する者」は63.3%、「インスリン注射を実施している者」は7.4%であった。

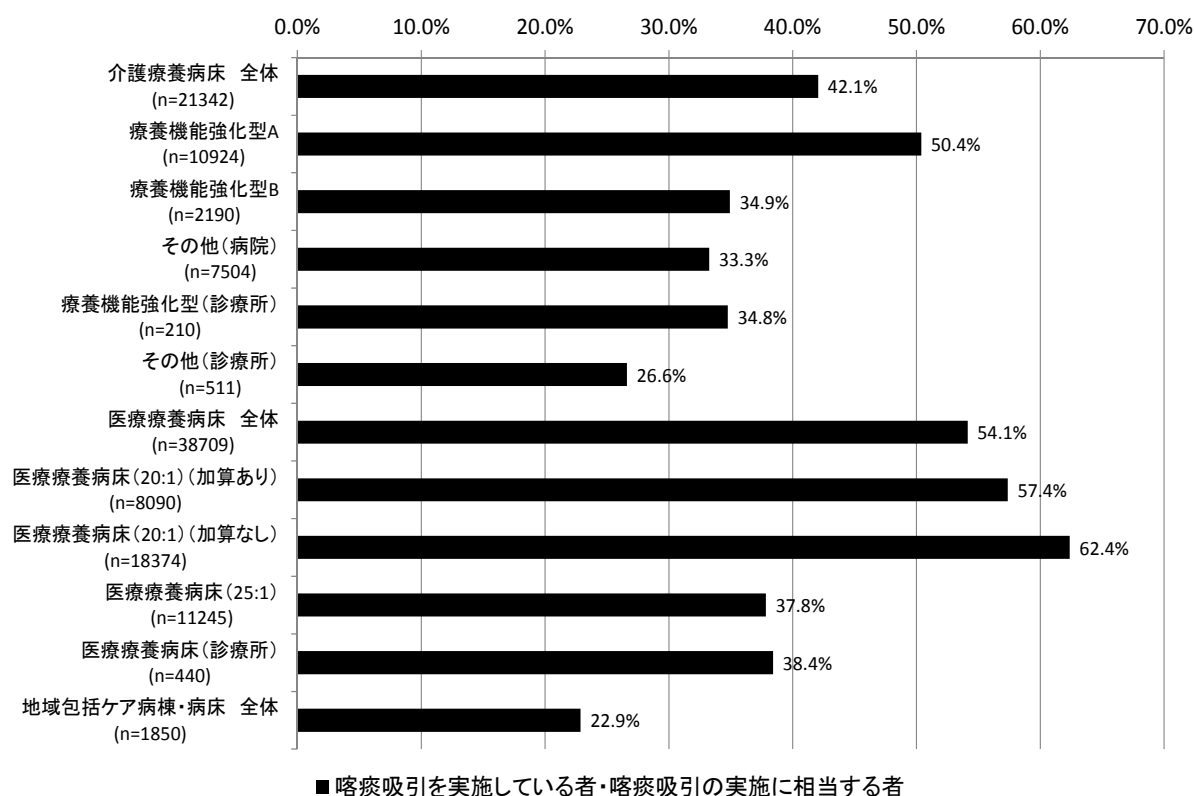
療養機能強化型Aでは、「喀痰吸引を実施している者・喀痰吸引の実施に相当する者」は50.4%、「経管栄養を実施している者・経管栄養の実施に相当する者」は71.9%であり、喀痰吸引は医療療養病床より若干低く、経管栄養は医療療養病床より高い割合となっていた。また、療養機能強化型Bでは「喀痰吸引を実施している者・喀痰吸引の実施に相当する者」は34.9%、「経管栄養を実施している者・経管栄養の実施に相当する者」は43.0%であり、特に経管栄養において療養機能強化型AがBを大幅に上回っていた。

図表 総入院患者に占める各処置が必要な入院患者の割合（平成27年10月31日時点）
（複数回答）

	施設数	有効回答のあった施設 の入院患者 数の合計	喀痰吸引を 実施している者	喀痰吸引の 実施に相当 する者	経管栄養（経鼻 経管、胃ろう、 腸ろう、中心静 脈栄養）を実施 している者	経管栄養の 実施に相当 する者	インスリン注 射の実施（自 ら実施する 者は除く）
介護療養病床 全体	447	21,342	31.1%	11.0%	43.8%	18.4%	3.3%
療養機能強化型A	169	10,924	36.3%	14.1%	49.3%	22.6%	3.5%
療養機能強化型B	35	2,190	25.9%	9.0%	35.8%	7.1%	3.0%
その他(病院)	170	7,504	25.9%	7.4%	38.8%	17.0%	3.1%
療養機能強化型(診療所)	22	210	26.7%	8.1%	37.6%	7.1%	2.4%
その他(診療所)	50	511	21.7%	4.9%	34.8%	3.9%	2.0%
医療療養病床 全体	780	38,709	45.5%	8.6%	49.4%	13.8%	7.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	149	8,090	46.9%	10.5%	48.4%	14.5%	8.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	309	18,374	52.5%	9.9%	56.8%	16.9%	8.2%
医療療養病床(25:1)	252	11,245	32.8%	5.1%	37.8%	9.0%	5.2%
医療療養病床(診療所)	63	440	30.0%	8.4%	30.9%	6.8%	5.9%
地域包括ケア病棟・病床 全体	77	1,850	17.4%	5.5%	12.1%	5.5%	4.5%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	4	119	49.6%	13.4%	41.2%	10.1%	3.4%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	23	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	63	1,513	14.9%	3.3%	10.1%	3.4%	4.4%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	82	22.0%	30.5%	14.6%	34.1%	7.3%

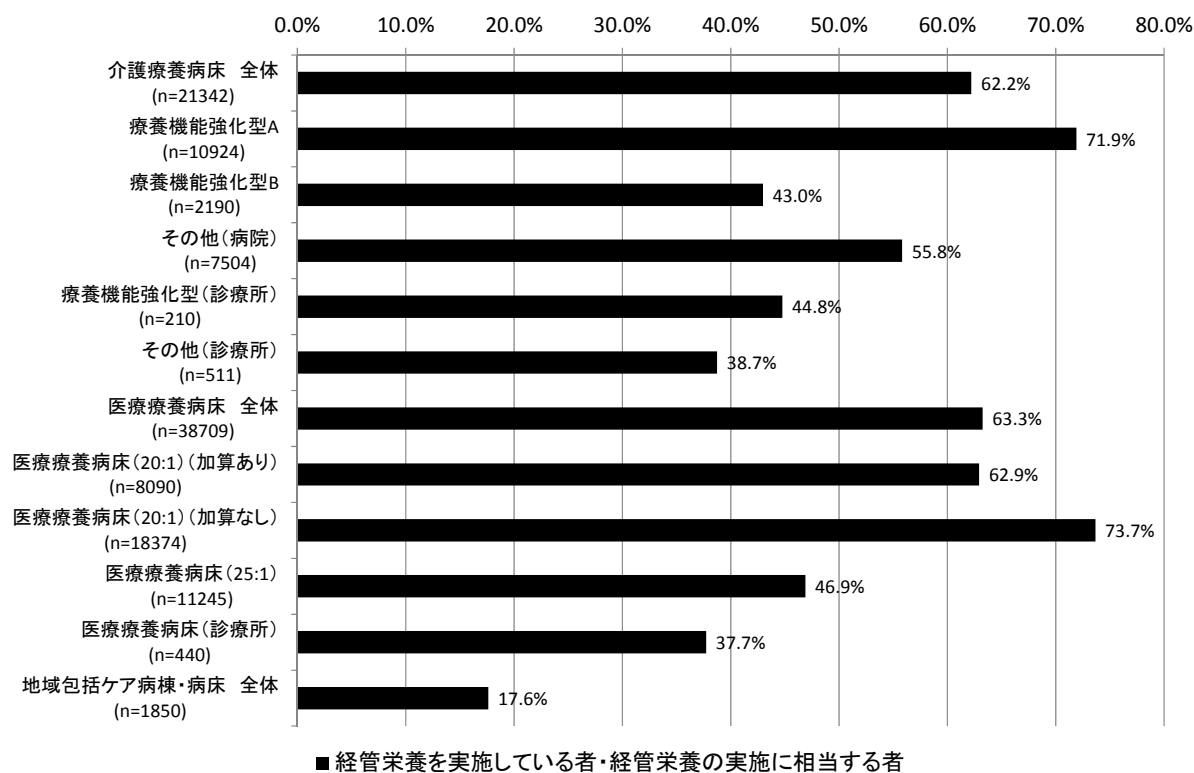
■総入院患者に占める喀痰吸引を実施している者・喀痰吸引の実施に相当する者の割合

【再掲】



■総入院患者に占める経管栄養を実施している者・経管栄養の実施に相当する者の割合

【再掲】

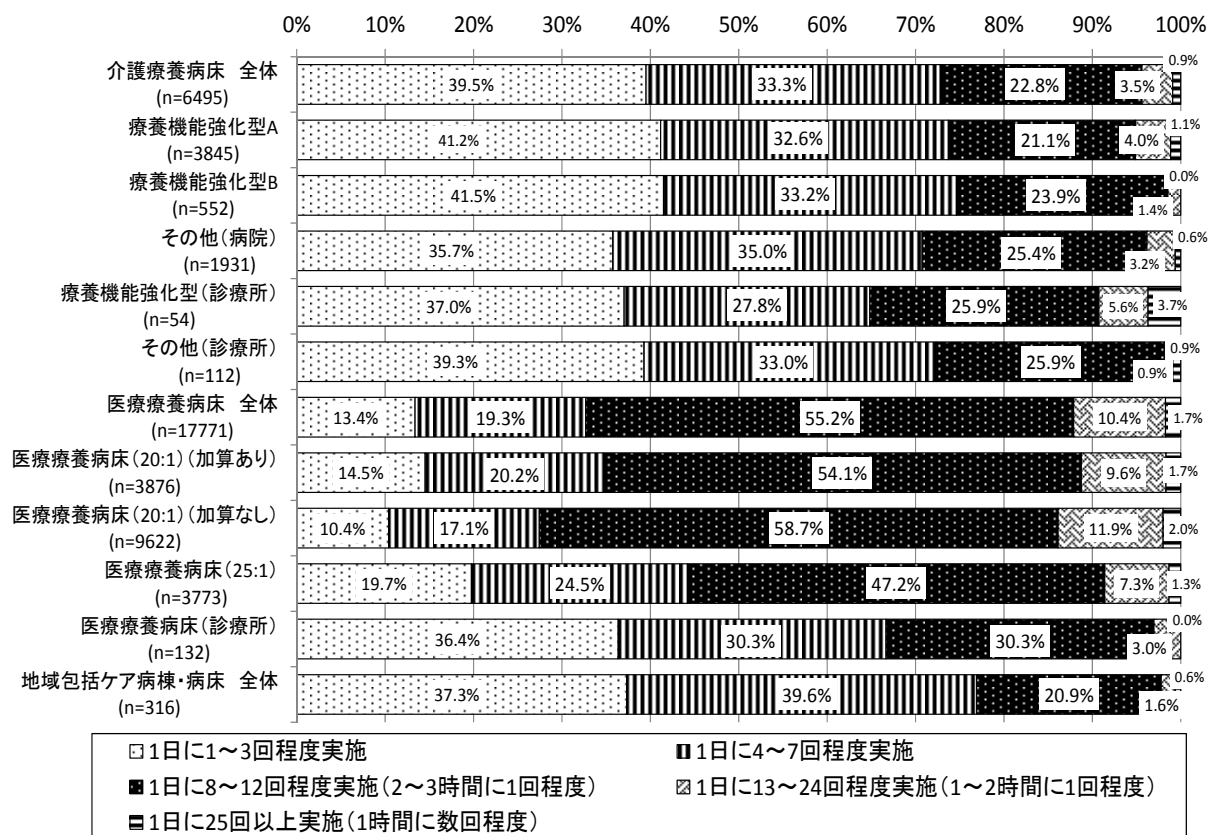


②喀痰吸引の実施頻度

前頁設問の「喀痰吸引を実施している者」の実施頻度を、「1日に1～3回程度実施」、「1日に4～7回程度実施」、「1日に8～12回程度実施（2～3時間に1回程度）」、「1日に13～24回程度実施（1～2時間に1回程度）」、「1日に25回以上実施（1時間に数回程度）」別に尋ねた。

喀痰吸引を実施している者に占める各実施頻度に該当する患者の割合は、介護療養病床では、「1日に1～3回程度実施」が最も高く39.5%、次いで「1日に4～7回程度実施」が33.3%となっていた。医療療養病床では、「1日に8～12回程度実施（2～3時間に1回程度）」が最も高く55.2%と過半数を占めた。

図表 喀痰吸引を実施している者の実施頻度別分布（平成27年10月31日時点）

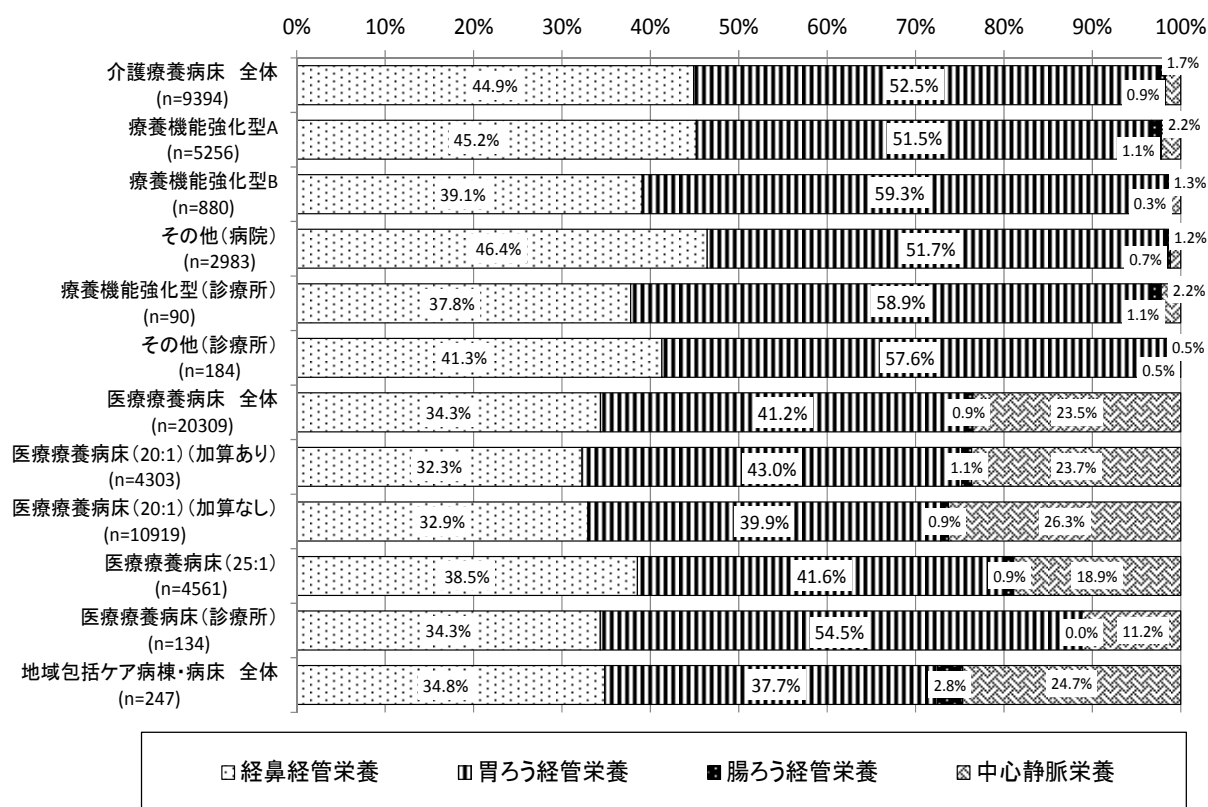


③経管栄養の実施内容と経緯の内訳

「経管栄養を実施している者」の実施内容を、「経鼻経管栄養」、「胃ろう経管栄養」、「腸ろう経管栄養」、「中心静脈栄養」別に尋ねた。

経管栄養を実施している患者のうち、介護療養病床では「胃ろう経管栄養」を実施している患者が最も高く 52.5%、次いで「経鼻経管栄養」を実施している患者が 44.9%を占めた。医療療養病床では、「胃ろう経管栄養」を実施している患者が最も高く 41.2%、次いで「経鼻経管栄養」を実施している患者が 34.3%であった。「中心静脈栄養」は、介護療養病床での実施はわずかであるが、医療療養病床では 23.5%の実施がみられた。

図表 経管栄養を実施している者の実施内容別分布（平成 27 年 10 月 31 日時点）



「経管栄養」の実施の経緯について、「当該病床に入院する前からの継続実施」、「当該病床に入院した後に開始」別に尋ねた。

「経鼻経管栄養」、「胃ろう経管栄養」では介護療養病床、医療療養病床ともに約 8 割が「現在の病棟に入院する前からの継続実施」であった。「中心静脈栄養」は介護療養病床では実施している人数が少ないものの、74.4%が現在の病棟に入院後に実施を開始していた。

図表 経管栄養を実施している者の実施経緯の割合（平成 27 年 10 月 31 日時点）

	有効回答数	経鼻経管栄養			胃ろう経管栄養		
		実施している入院患者数	現在の病棟に入院する前からの継続実施	現在の病棟に入院した後に開始	実施している入院患者数	現在の病棟に入院する前からの継続実施	現在の病棟に入院した後に開始
介護療養病床 全体	435	4,216	80.6%	19.4%	4,929	85.1%	14.9%
療養機能強化型A	166	2,376	85.4%	14.6%	2,707	87.7%	12.3%
療養機能強化型B	36	344	76.2%	23.8%	522	73.4%	26.6%
その他(病院)	168	1,385	74.7%	25.3%	1,541	85.3%	14.7%
療養機能強化型(診療所)	20	34	35.3%	64.7%	53	77.4%	22.6%
その他(診療所)	44	76	76.3%	23.7%	106	77.4%	22.6%
医療療養病床 全体	743	6,976	76.5%	23.5%	8,368	79.8%	20.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	147	1,388	70.7%	29.3%	1,850	76.4%	23.6%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	305	3,597	80.8%	19.2%	4,357	82.0%	18.0%
医療療養病床(25:1)	241	1,758	71.7%	28.3%	1,899	76.9%	23.1%
医療療養病床(診療所)	44	46	65.2%	34.8%	73	84.9%	15.1%
地域包括ケア病棟・病床 全体	60	86	77.9%	22.1%	93	94.6%	5.4%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	4	21	71.4%	28.6%	20	95.0%	5.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	47	50	80.0%	20.0%	65	93.8%	6.2%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	10	80.0%	20.0%	2	100.0%	—

	有効回答数	腸ろう経管栄養			中心静脈栄養		
		実施している入院患者数	現在の病棟に入院する前からの継続実施	現在の病棟に入院した後に開始	実施している入院患者数	現在の病棟に入院する前からの継続実施	現在の病棟に入院した後に開始
介護療養病床 全体	435	85	84.7%	15.3%	164	25.6%	74.4%
療養機能強化型A	166	58	82.8%	17.2%	115	24.3%	75.7%
療養機能強化型B	36	3	66.7%	33.3%	11	9.1%	90.9%
その他(病院)	168	22	90.9%	9.1%	35	37.1%	62.9%
療養機能強化型(診療所)	20	1	100.0%	—	2	—	100.0%
その他(診療所)	44	1	100.0%	—	1	—	100.0%
医療療養病床 全体	743	188	69.1%	30.9%	4,777	51.2%	48.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	147	47	83.0%	17.0%	1,018	50.2%	49.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	305	95	67.4%	32.6%	2,870	53.3%	46.7%
医療療養病床(25:1)	241	42	59.5%	40.5%	862	45.4%	54.6%
医療療養病床(診療所)	44	0	—	—	15	40.0%	60.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	60	7	85.7%	14.3%	61	62.3%	37.7%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	4	2	100.0%	—	11	9.1%	90.9%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	47	3	66.7%	33.3%	39	69.2%	30.8%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	0	—	—	0	—	—

(3) ターミナルケアの取組

①ターミナルケアを提供している入院患者数

ターミナルケアの提供状況を把握するため、「ターミナルケアを提供している入院患者」の「人数」、「入院延べ日数」、加えて「全ての入院患者の入院延べ日数」について回答を求めた。

「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件となる「ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合（以下、ターミナルケアを提供している患者の入院日数割合）」を算出した。介護療養病床では 12.1%、医療療養病床では 4.0%となっており、介護療養病床の方がターミナルケアを提供している患者の入院日数割合が高かった。また、介護療養病床のうち療養機能強化型 A、療養機能強化型 B では、ターミナルケアを提供している患者の入院日数割合がそれぞれ 20.8%、11.0%であるのに対し、その他の介護療養病床の病院では 1.1%となっていた。診療所においても、療養機能強化型を算定している診療所では 28.5%であるのに対し、その他の介護療養病床の診療所では 1.5%であり、療養機能強化型の算定の有無によって、ターミナルケアを提供している患者の入院日数割合に大幅な差がみられた。

病床 100 床あたりのターミナルケア提供者数は、介護療養病床では 13.7 人、医療療養病床では 4.7 人となっていた。

なお、本調査では「ターミナルケアを提供している患者の入院延べ日数」、「全ての入院患者の入院延べ日数」について回答を求めたが、療養機能強化型の算定要件では、「前 3 月間のターミナルケア対象者延べ日数」、「前 3 月間の入院患者延べ日数」を基準としている。前 3 月間に限定する処理を行い、ターミナルケアを提供している患者の入院日数割合を算出したが、傾向に大きな違いはみられなかった。詳細は、参考資料 2 に掲載している。

図表 ターミナルケアを提供している入院患者数（平成 27 年 10 月 31 日時点）

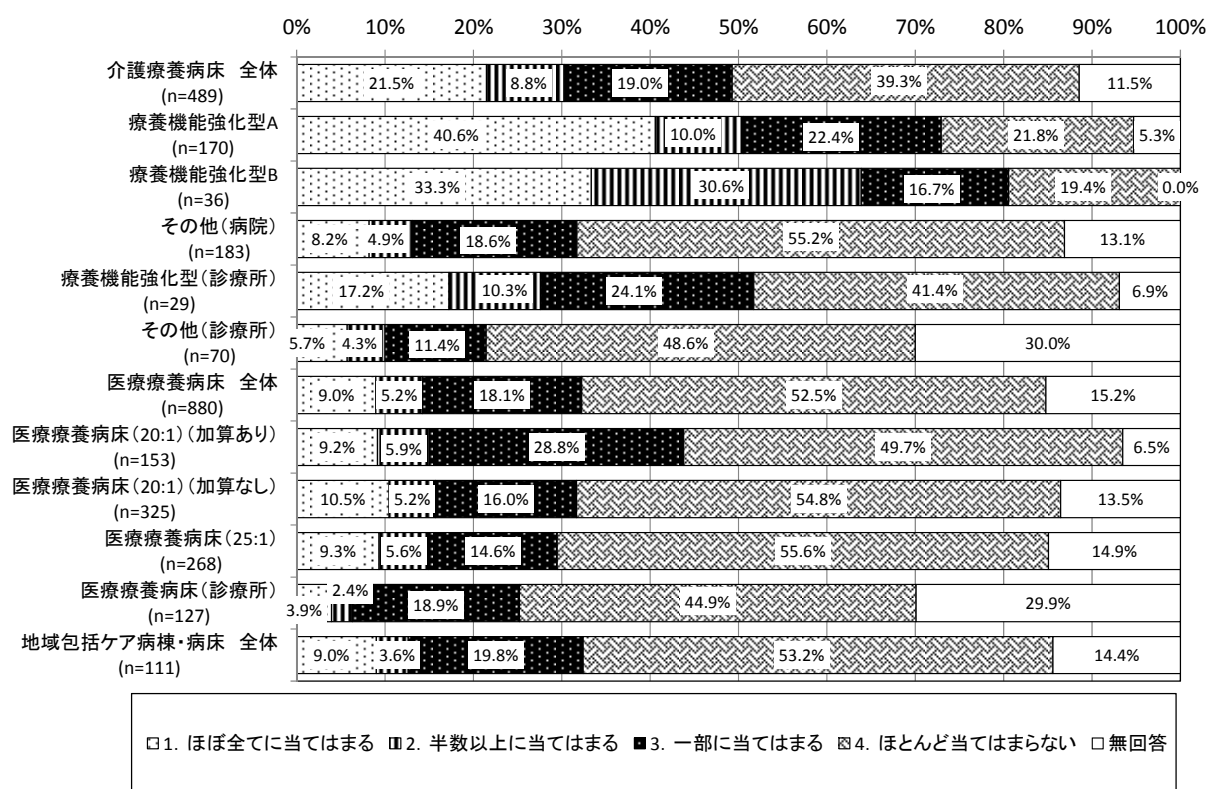
	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数
介護療養病床 全体	422	3,080	12.1%	7.3	13.7
療養機能強化型A	169	2,502	20.8%	14.8	21.2
療養機能強化型B	36	286	11.0%	7.9	11.6
その他(病院)	155	228	1.1%	1.5	3.0
療養機能強化型(診療所)	22	57	28.5%	2.6	24.1
その他(診療所)	40	7	1.5%	0.2	1.6
医療療養病床 全体	715	1,833	4.0%	2.6	4.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	140	631	4.6%	4.5	7.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	274	656	3.3%	2.4	3.7
医療療養病床(25:1)	221	480	4.3%	2.2	4.2
医療療養病床(診療所)	75	35	8.6%	0.5	4.7
地域包括ケア病棟・病床 全体	89	56	3.4%	0.6	2.3
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	4	4.2%	0.6	2.0
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0	—	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	71	47	3.4%	0.7	2.4
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	4	1.1%	1.0	4.1

②ターミナルケアの取組状況

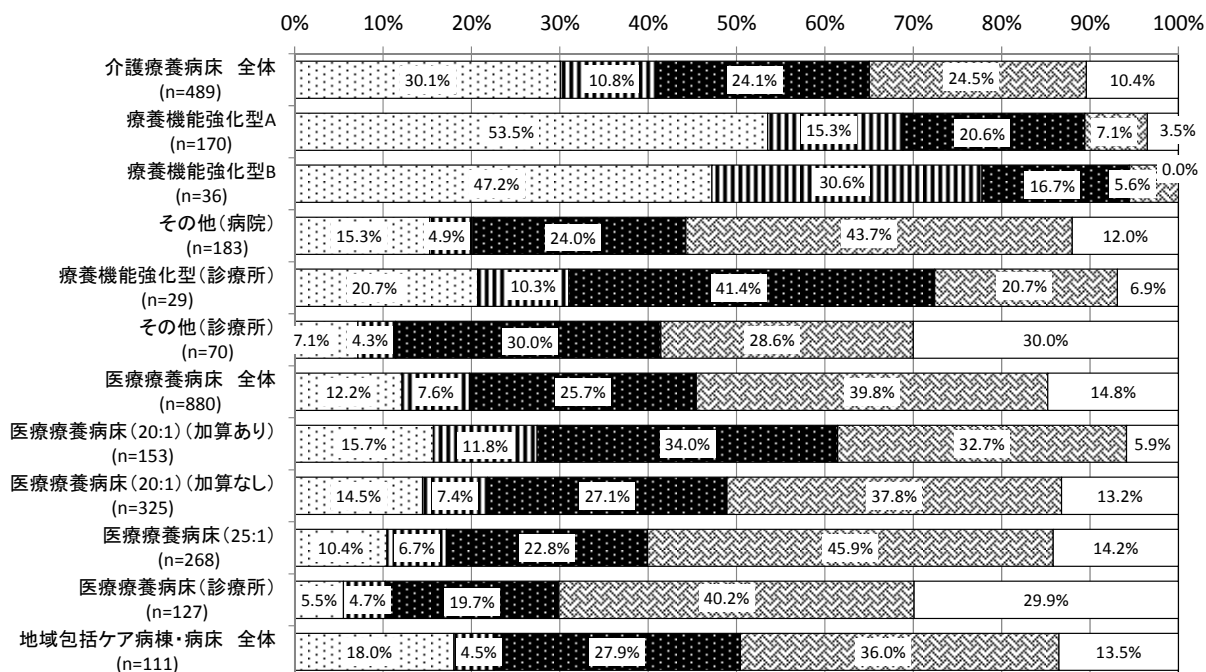
ターミナルケアの取組状況として、「ターミナル期のケアや看取りを実施する上で、病院として特定のガイドラインを使用している」、「多職種によるターミナル期のケアのカンファレンスを実施している」、「ターミナル期のケアに係る独立した計画等の書式を整えている」、「スタッフに対してターミナル期のケアや看取りに関する教育の場を提供している」、「ターミナル期のケアや看取り等に応じて、院内のスタッフの配置を調整している」、「看取りの方針について、患者・家族との連絡調整を密に行っている」、「在宅療養中の患者のターミナル期の受け入れを行っている（レスパイトを含む）」、「患者の死亡後に患者・家族への特別なケア（死に水をとる、死化粧を施す、お別れの会を開催する等）を実施している」、「死亡退院後のデス・カンファレンスを実施している」の9項目について、当てはまる程度の回答を求めた。

「ほぼ全てに当てはまる」、「半数以上に当てはまる」と回答した施設の割合についてみると、「特定のガイドラインの使用」、「多職種によるカンファレンスの実施」、「独立した計画等の書式の整備」、「スタッフへの教育の場の提供」、「患者・家族との連絡調整を行っている」において、介護療養病床が医療療養病床を上回っていた。特に、療養機能強化型A、療養機能強化型Bでは、上述の5項目において、他の病床種別を大きく上回っていた。

図表 病院として特定のガイドラインを使用している

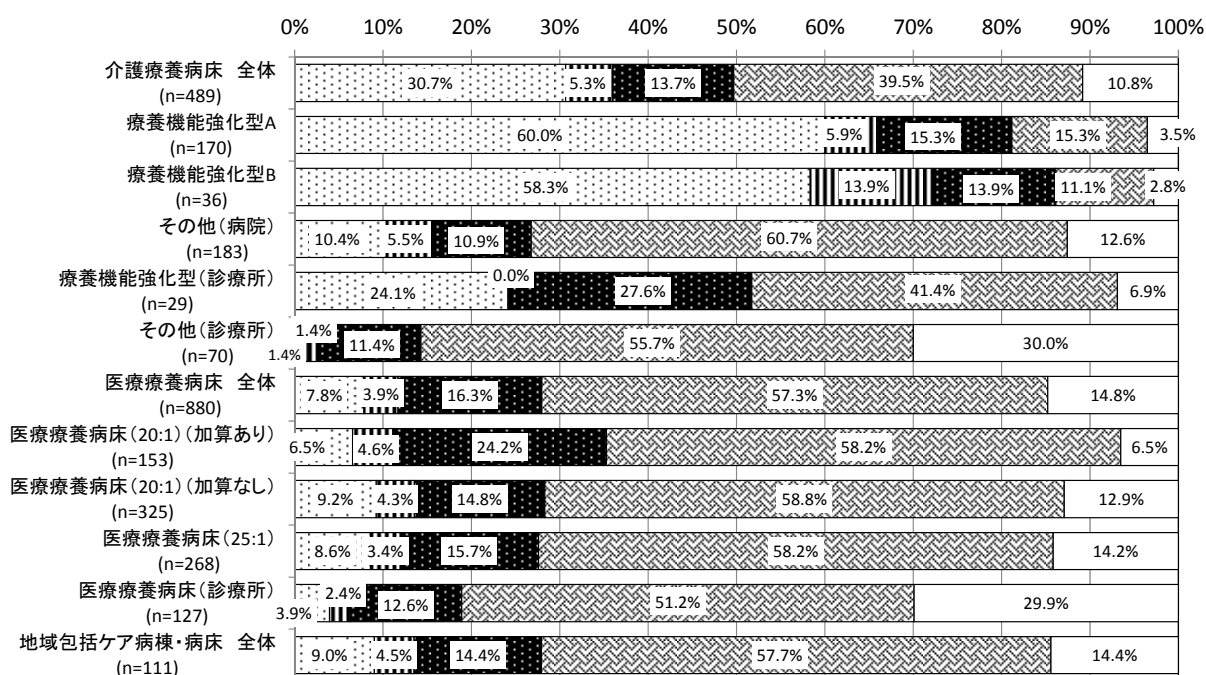


図表 多職種によるターミナル期のケアのカンファレンスを実施している



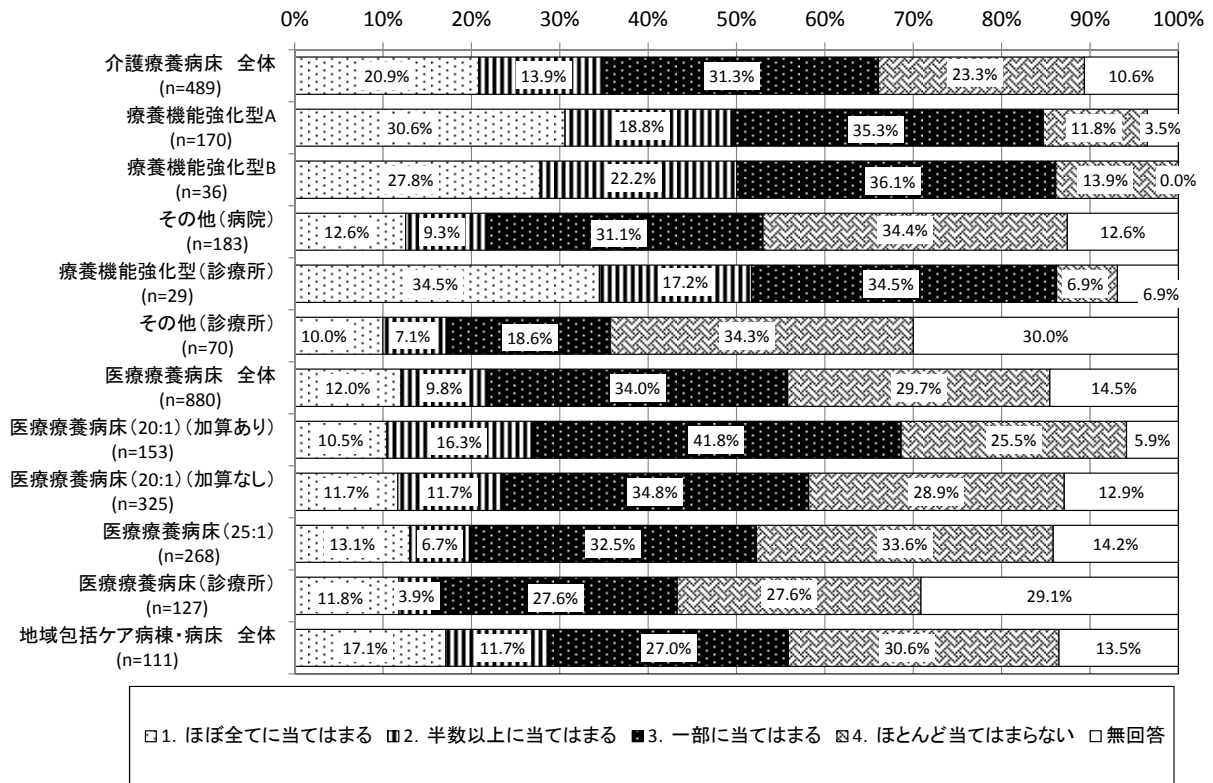
□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

図表 ターミナル期のケアに係る独立した計画等の書式を整えている

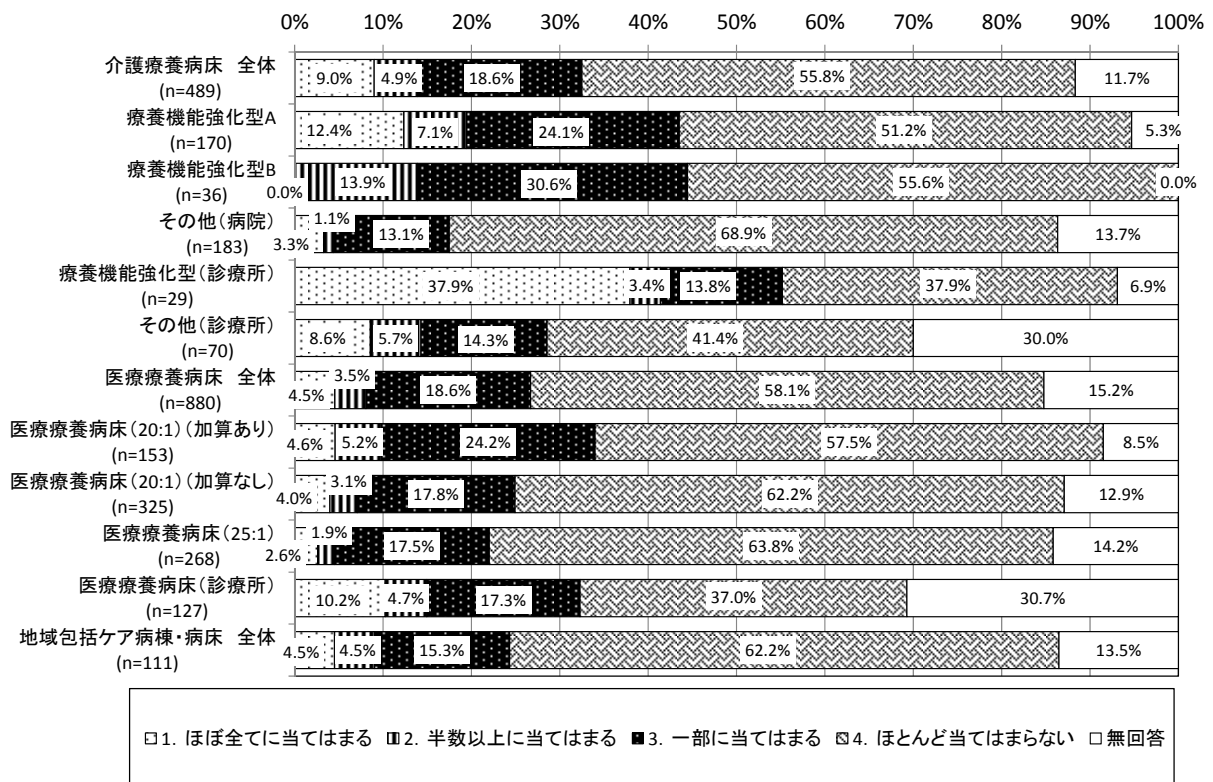


□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

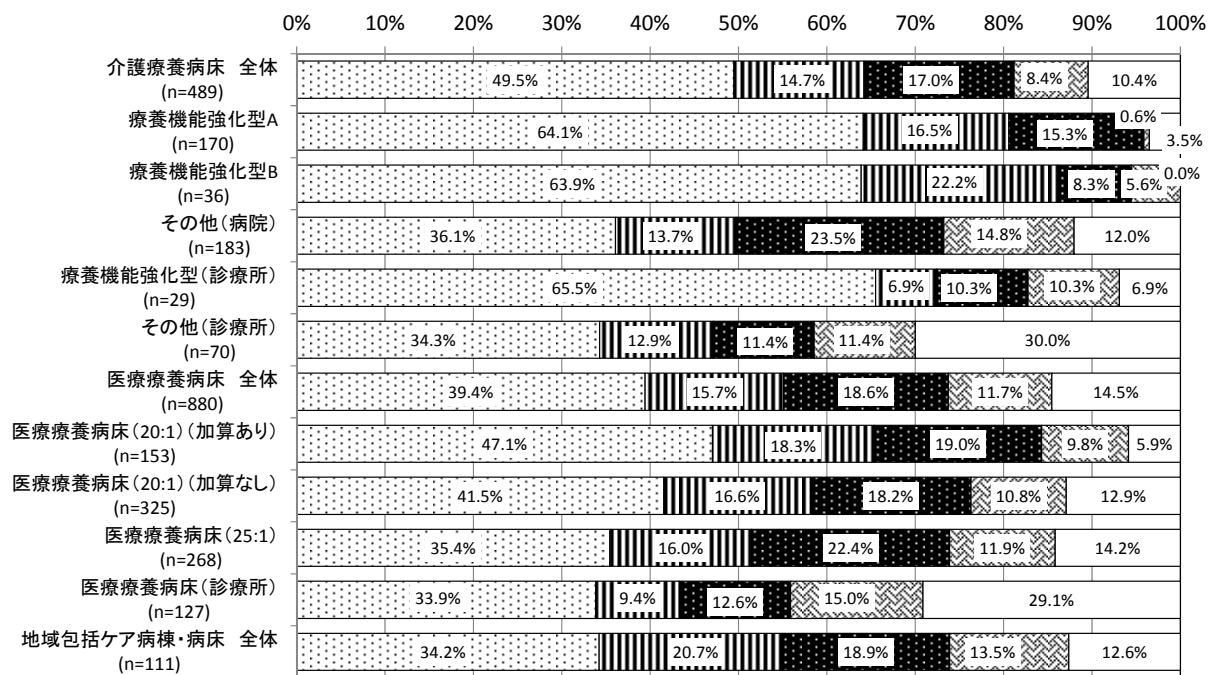
図表 スタッフに対してターミナル期のケアや看取りに関する教育の場を提供している



図表 ターミナル期のケアや看取り等に応じて、院内のスタッフの配置を調整している

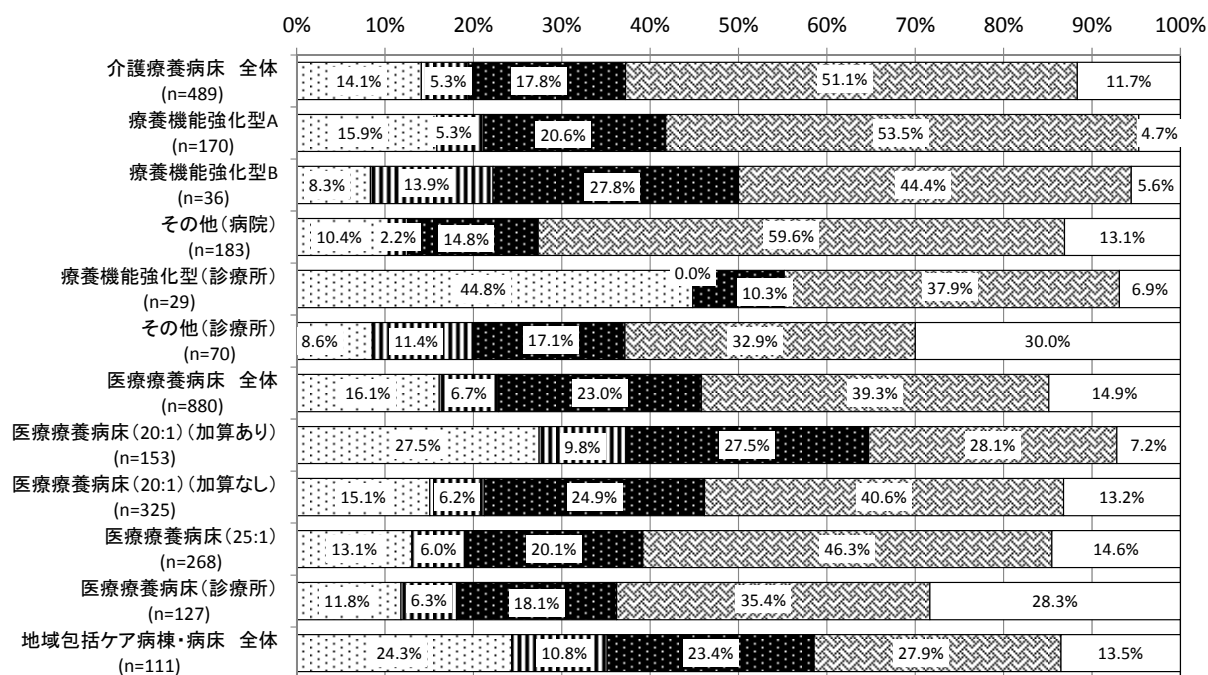


図表 看取りの方針について、患者・家族との連絡調整を密に行っている



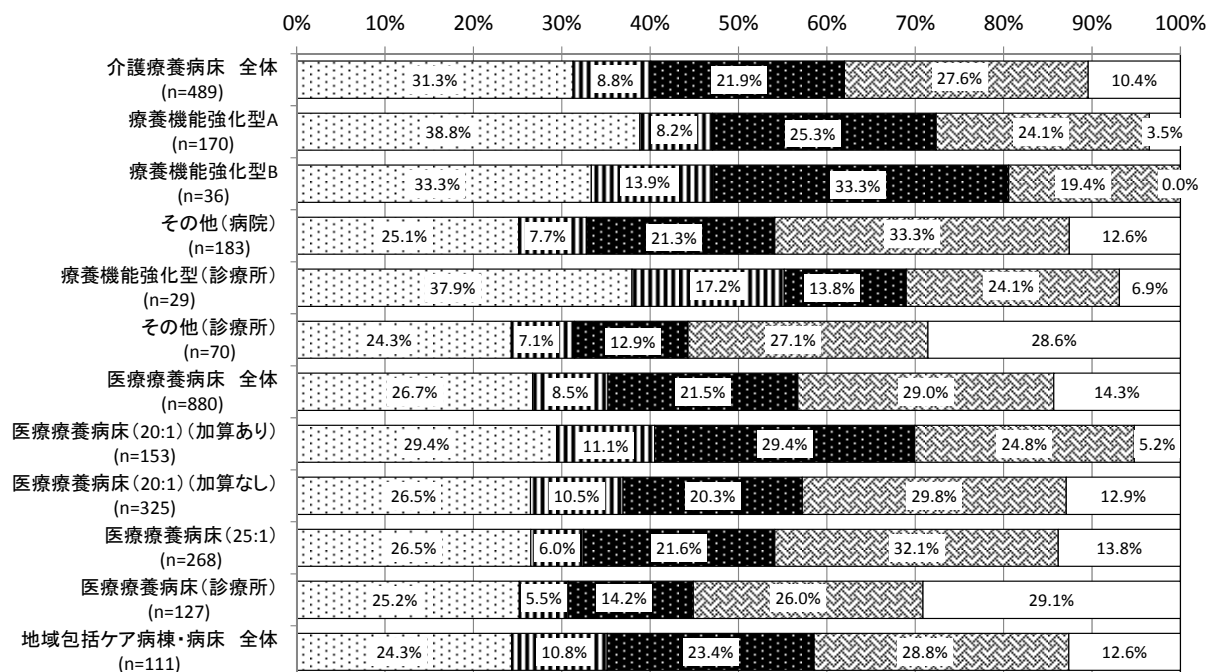
□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

図表 在宅療養中の患者のターミナル期の受け入れを行っている(レスパイトを含む)



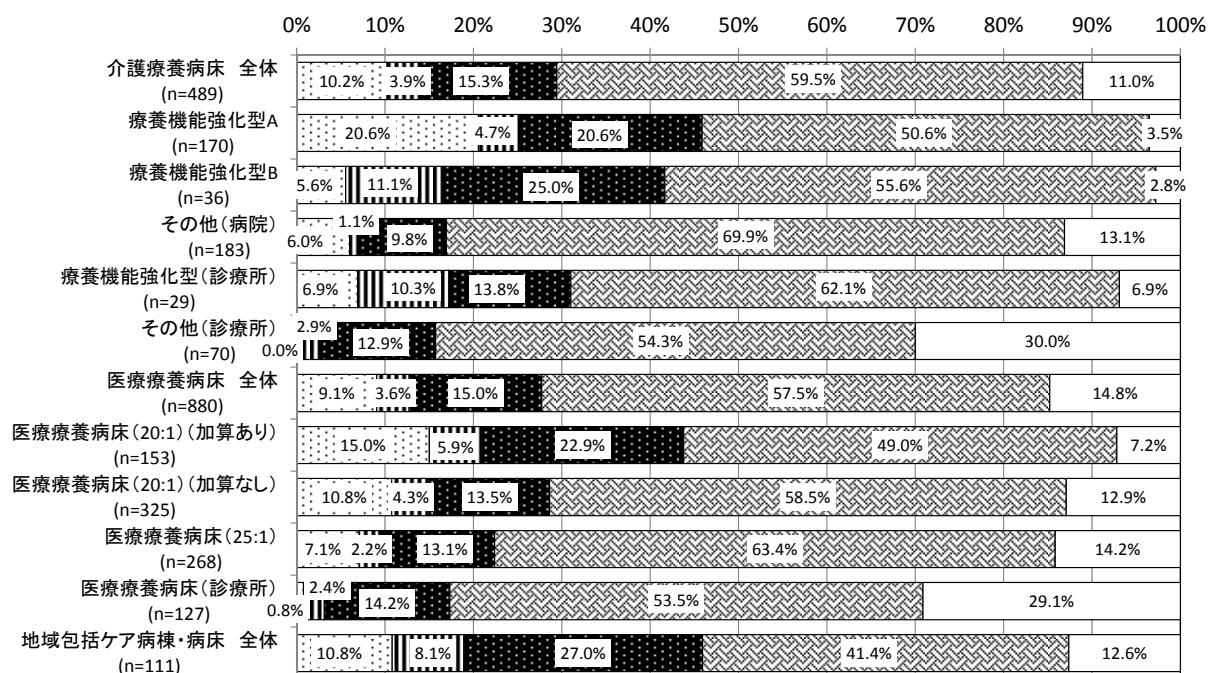
□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

図表 患者の死亡後に患者・家族への特別なケアを実施している



□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

図表 死亡退院後のデス・カンファレンスを実施している



□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

(4) リハビリテーション（リハビリ）の取組

①回答施設全体のリハビリに係る職種の職員数

回答施設全体の「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」の職員数について、「常勤」、「非常勤」、非常勤職員の「常勤換算」別に回答を求めた。

「常勤+常勤換算」の平均職員数についてみると、「理学療法士」は 11.1 人、「作業療法士」は 8.2 人、「言語聴覚士」は 4.4 人となっていた。

図表 回答施設全体のリハビリに係る職種の職員数

		施設数	平均職員数	最大値	最小値
理学療法士	常勤	700	8.6	86.0	0.5
	非常勤	171	1.6	9.0	0.2
	常勤換算	365	5.6	128.0	0.1
	常勤+常勤換算	730	11.1	140.0	0.1
作業療法士	常勤	517	6.3	52.0	1.0
	非常勤	113	1.4	8.0	0.2
	常勤換算	257	4.3	36.1	0.1
	常勤+常勤換算	537	8.2	72.1	0.1
言語聴覚士	常勤	364	3.4	41.0	0.5
	非常勤	62	1.2	2.0	0.5
	常勤換算	165	2.6	22.1	0.1
	常勤+常勤換算	379	4.4	44.1	0.1

※「常勤」、「非常勤」、「常勤換算」別に 0 より大きい数値の記入がある場合を集計対象とした。「常勤+常勤換算」は足した数値が 0 より大きい場合を集計対象とした。

②病床種別のリハビリに係る職種の職員数

病床種別別の「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」の職員数について、「専従」、「他病棟との兼務（当該病床への従事換算人数）」別に回答を求めた。

「専従+兼務」の職員数についてみると、介護療養病床では「理学療法士」は病床 100 床あたり 3.7 人、「作業療法士」は 1.7 人、「言語聴覚士」は 0.8 人となっていた。医療療養病床では「理学療法士」は 5.0 人、「作業療法士」は 2.4 人、「言語聴覚士」は 1.1 人となっていた。

「専従」の病床 100 床あたりの職員数についてみると、介護療養病床では「理学療法士」は 1.7 人、「作業療法士」は 0.7 人、「言語聴覚士」は 0.3 人となっていた。医療療養病床では「理学療法士」は 2.4 人、「作業療法士」は 1.1 人、「言語聴覚士」は 0.4 人となっていた。

図表 病床種別別のリハビリに係る職種の職員数（専従＋兼務）

	理学療法士(専従＋兼務)			作業療法士(専従＋兼務)			言語聴覚士(専従＋兼務)		
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数
介護療養病床 全体	450	1.9	3.7	450	0.9	1.7	450	0.4	0.8
療養機能強化型A	164	2.6	3.7	164	1.3	1.9	164	0.6	0.9
療養機能強化型B	36	3.2	4.6	36	1.8	2.6	36	1.0	1.5
その他(病院)	177	1.6	3.3	177	0.6	1.3	177	0.3	0.6
療養機能強化型(診療所)	21	0.8	7.8	21	0.3	2.8	21	0.2	1.9
その他(診療所)	52	0.5	4.6	52	0.0	0.3	52	0.0	0.4
医療療養病床 全体	806	2.7	5.0	806	1.3	2.4	806	0.6	1.1
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	148	3.7	6.0	148	1.7	2.8	148	0.8	1.2
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	307	3.1	4.7	307	1.6	2.5	307	0.8	1.2
医療療養病床(25:1)	247	2.5	4.9	247	1.2	2.2	247	0.4	0.8
医療療養病床(診療所)	100	0.6	6.0	100	0.1	1.1	100	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床 全体	111	3.1	12.4	111	1.3	5.3	111	0.6	2.2
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	8.4	27.6	8	3.7	12.0	8	2.1	6.8
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1.0	3.3	1	1.0	3.3	1	0.5	1.7
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	88	2.8	11.0	88	1.2	4.7	88	0.4	1.7
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	3.1	18.4	8	1.5	9.0	8	0.8	4.6

※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーの専従、兼務別の職員数のうち、いずれかに0以上の記入がある場合を集計対象とした。

図表 病床種別別のリハビリに係る職種の職員数（専従）

	理学療法士(専従)			作業療法士(専従)			言語聴覚士(専従)		
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数
介護療養病床 全体	450	0.9	1.7	450	0.4	0.7	450	0.2	0.3
療養機能強化型A	164	1.0	1.4	164	0.5	0.7	164	0.2	0.3
療養機能強化型B	36	1.3	1.9	36	0.8	1.2	36	0.5	0.7
その他(病院)	177	0.8	1.7	177	0.3	0.6	177	0.1	0.2
療養機能強化型(診療所)	21	0.7	7.1	21	0.3	2.8	21	0.2	1.9
その他(診療所)	52	0.4	3.7	52	0.0	0.2	52	0.0	0.4
医療療養病床 全体	806	1.3	2.4	806	0.6	1.1	806	0.2	0.4
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	148	1.5	2.4	148	0.7	1.1	148	0.3	0.4
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	307	1.5	2.2	307	0.7	1.1	307	0.3	0.5
医療療養病床(25:1)	247	1.3	2.5	247	0.6	1.1	247	0.2	0.4
医療療養病床(診療所)	100	0.4	4.4	100	0.0	0.4	100	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床 全体	111	1.1	4.2	111	0.3	1.1	111	0.1	0.2
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	2.9	9.4	8	1.3	4.1	8	0.6	2.0
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1.0	3.3	1	1.0	3.3	1	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	88	0.9	3.6	88	0.2	0.9	88	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	1.0	6.0	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0

※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーの専従、兼務別の職員数のうち、いずれかに0以上の記入がある場合を集計対象とした。

「専従」の職員の配置のあった施設は、介護療養病床では「理学療法士」で35.6%、「作業療法士」で19.0%、「言語聴覚士」で10.6%であった。医療療養病床では、「理学療法士」で33.6%、「作業療法士」で20.9%、「言語聴覚士」で11.9%であった。

図表 病床種別別 専従配置のある医療機関数

	有効回答数	理学療法士(専従)		作業療法士(専従)		言語聴覚士(専従)	
介護療養病床 全体	489	174	35.6%	93	19.0%	52	10.6%
療養機能強化型A	170	73	42.9%	47	27.6%	25	14.7%
療養機能強化型B	36	17	47.2%	12	33.3%	10	27.8%
その他(病院)	183	68	37.2%	32	17.5%	15	8.2%
療養機能強化型(診療所)	29	4	13.8%	1	3.4%	1	3.4%
その他(診療所)	70	12	17.1%	1	1.4%	1	1.4%
医療療養病床 全体	880	296	33.6%	184	20.9%	105	11.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	153	63	41.2%	46	30.1%	26	17.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	325	121	37.2%	80	24.6%	51	15.7%
医療療養病床(25:1)	268	92	34.3%	52	19.4%	28	10.4%
医療療養病床(診療所)	127	19	15.0%	5	3.9%	0	0.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	111	97	87.4%	15	13.5%	3	2.7%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	8	6	75.0%	3	37.5%	2	25.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	88	77	87.5%	10	11.4%	1	1.1%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	8	8	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

③リハビリの目的

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、その5名に対して実施したリハビリの目的について回答を求めた。リハビリの目的の選択肢として「生活習慣の維持のため」、「ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため」、「社会性（他者との交流等）維持、改善のため」、「IADLの向上のため」、「機能の回復が見込まれるため」、「介護負担軽減のため」、「福祉用具の安全な使用を定着させるため」、「記憶、認知機能の維持、向上のため」、「BPSDの軽減、適応のため」、「その他」の10項目を挙げた。

リハビリの目的の各項目に該当する施設の割合についてみると、介護療養病床、医療療養病床ともに「理学療法士」では「生活習慣の維持のため」、「ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため」、「介護負担軽減のため」が高い割合を示していた。「作業療法士」では「生活習慣の維持のため」、「ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため」、「介護負担軽減のため」、「記憶、認知機能の維持、向上のため」、「言語聴覚士」では「記憶、認知機能の維持、向上のため」が高い割合を示していた。

介護療養病床と医療療養病床の差に着目すると、三職種のすべてで「機能の回復が見込まれるため」において医療療養病床が介護療養病床を上回っている一方で、「記憶、認知機能の維持、向上のため」では介護療養病床が医療療養病床を上回っていた。リハビリ目的の差には入院患者像の違いが反映されていると考えられ、医療療養病床では身体機能の回復により在宅復帰が見込める患者を、介護療養病床では身体合併症のある認知症高齢者など在宅復帰が困難な患者を多く受け入れているためと考えられる。

リハビリの目的を三職種間で比較すると、「作業療法士」、「言語聴覚士」で「社会性（他者との交流等）維持、改善のため」、「記憶、認知機能の維持、向上のため」、「BPSDの軽減、適応のため」の割合が高い特徴がみられた。

図表 リハビリの目的（理学療法士）（複数回答）

	施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他
介護療養病床 全体	361	79.5%	96.4%	39.1%	13.6%	57.6%	83.9%	32.4%	40.7%	17.2%	4.2%
療養機能強化型A	149	80.5%	96.0%	41.6%	18.8%	56.4%	85.2%	35.6%	44.3%	17.4%	4.7%
療養機能強化型B	36	83.3%	100.0%	36.1%	8.3%	69.4%	83.3%	33.3%	41.7%	19.4%	2.8%
その他(病院)	150	78.7%	97.3%	37.3%	9.3%	56.0%	84.7%	30.0%	37.3%	17.3%	4.7%
療養機能強化型(診療所)	8	75.0%	75.0%	50.0%	37.5%	62.5%	87.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%
その他(診療所)	18	72.2%	94.4%	33.3%	5.6%	55.6%	66.7%	22.2%	38.9%	11.1%	0.0%
医療療養病床 全体	686	77.0%	97.5%	43.1%	19.1%	79.6%	85.9%	42.0%	36.4%	15.6%	3.5%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	146	77.4%	97.3%	39.7%	17.8%	82.9%	91.1%	52.1%	31.5%	14.4%	1.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	282	77.7%	96.5%	44.7%	18.1%	75.9%	85.8%	34.0%	37.2%	15.2%	5.7%
医療療養病床(25:1)	217	75.6%	98.6%	42.9%	21.2%	82.9%	86.2%	45.2%	38.7%	17.1%	2.3%
医療療養病床(診療所)	36	77.8%	100.0%	44.4%	16.7%	75.0%	61.1%	36.1%	36.1%	16.7%	2.8%
地域包括ケア病棟・病床 全体	104	76.9%	100.0%	51.0%	38.5%	97.1%	82.7%	66.3%	37.5%	17.3%	4.8%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	85.7%	100.0%	57.1%	28.6%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	28.6%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	83	75.9%	100.0%	48.2%	37.3%	97.6%	79.5%	65.1%	37.3%	16.9%	3.6%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	71.4%	100.0%	71.4%	42.9%	85.7%	85.7%	57.1%	28.6%	28.6%	28.6%

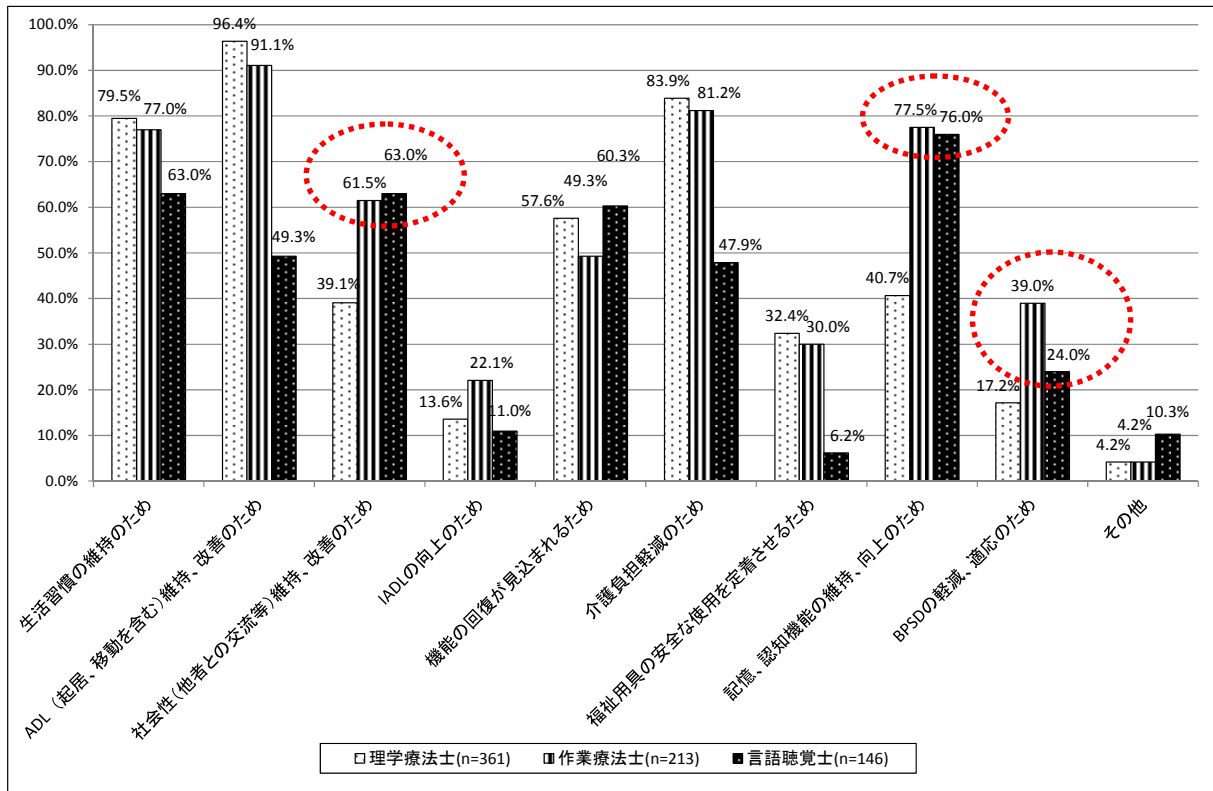
図表 リハビリの目的（作業療法士）（複数回答）

	施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他
介護療養病床 全体	213	77.0%	91.1%	61.5%	22.1%	49.3%	81.2%	30.0%	77.5%	39.0%	4.2%
療養機能強化型A	115	80.0%	91.3%	60.9%	22.6%	49.6%	79.1%	30.4%	82.6%	39.1%	3.5%
療養機能強化型B	23	78.3%	87.0%	65.2%	17.4%	52.2%	82.6%	21.7%	82.6%	47.8%	4.3%
その他(病院)	71	76.1%	91.5%	62.0%	23.9%	46.5%	84.5%	32.4%	69.0%	38.0%	5.6%
療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	492	78.9%	93.9%	58.9%	33.9%	74.8%	81.3%	35.0%	72.4%	31.9%	4.3%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	121	79.3%	95.9%	57.9%	33.9%	77.7%	81.0%	38.0%	77.7%	34.7%	1.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	207	77.8%	93.2%	58.5%	30.4%	70.5%	79.7%	30.0%	72.5%	30.4%	6.8%
医療療養病床(25:1)	144	80.6%	92.4%	61.1%	41.0%	78.5%	86.1%	38.9%	70.1%	32.6%	3.5%
医療療養病床(診療所)	15	73.3%	100.0%	53.3%	20.0%	73.3%	53.3%	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	83	77.1%	98.8%	57.8%	60.2%	91.6%	77.1%	62.7%	67.5%	37.3%	2.4%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	83.3%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	83.3%	83.3%	83.3%	50.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	67	76.1%	98.5%	53.7%	55.2%	91.0%	76.1%	61.2%	65.7%	35.8%	1.5%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	80.0%	60.0%	80.0%	40.0%	20.0%

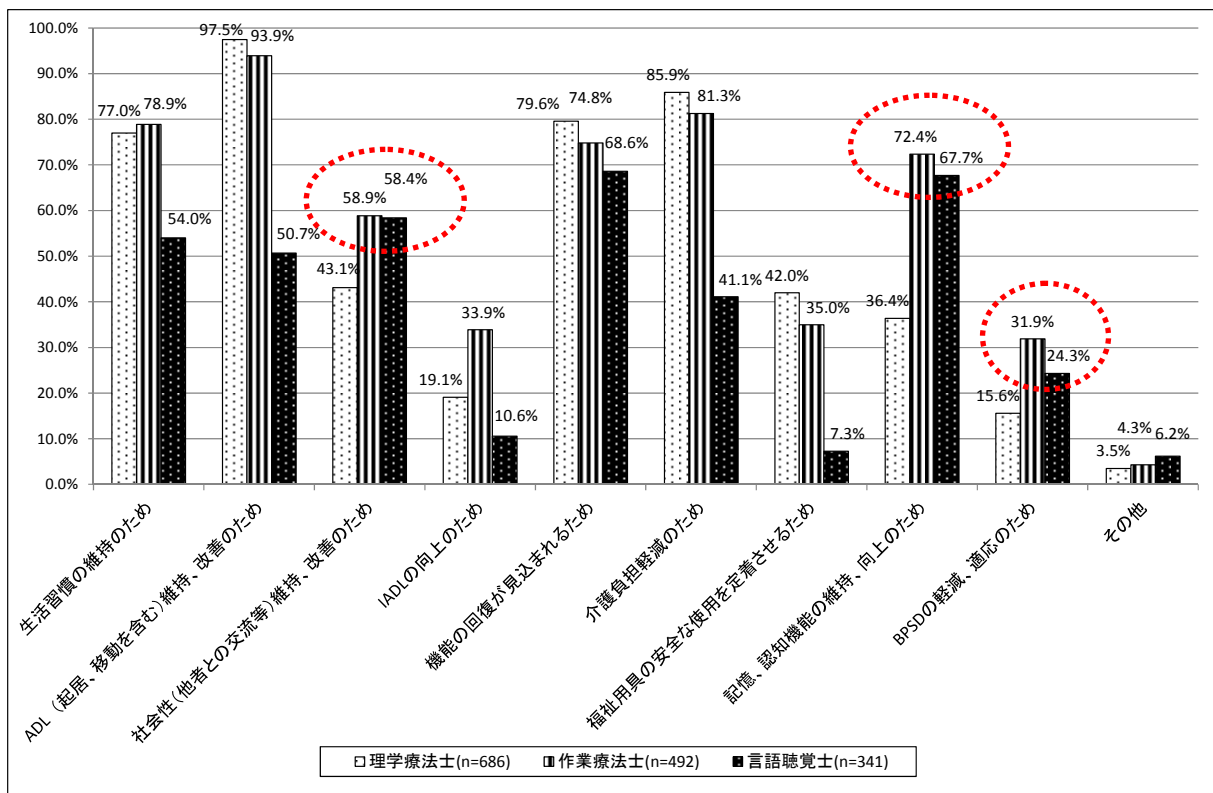
図表 リハビリの目的（言語聴覚士）（複数回答）

	施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他
介護療養病床 全体	146	63.0%	49.3%	63.0%	11.0%	60.3%	47.9%	6.2%	76.0%	24.0%	10.3%
療養機能強化型A	82	72.0%	52.4%	65.9%	12.2%	63.4%	56.1%	6.1%	80.5%	22.0%	8.5%
療養機能強化型B	18	61.1%	38.9%	66.7%	11.1%	55.6%	50.0%	5.6%	61.1%	27.8%	16.7%
その他(病院)	44	47.7%	50.0%	54.5%	9.1%	54.5%	34.1%	6.8%	72.7%	27.3%	9.1%
療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	2	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%
医療療養病床 全体	341	54.0%	50.7%	58.4%	10.6%	68.6%	41.1%	7.3%	67.7%	24.3%	6.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	101	46.5%	50.5%	52.5%	9.9%	67.3%	35.6%	4.0%	71.3%	25.7%	5.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	150	59.3%	50.7%	59.3%	10.0%	67.3%	46.7%	10.0%	66.7%	23.3%	6.7%
医療療養病床(25:1)	84	50.0%	50.0%	63.1%	10.7%	76.2%	35.7%	7.1%	65.5%	25.0%	4.8%
医療療養病床(診療所)	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	58	48.3%	44.8%	48.3%	12.1%	79.3%	37.9%	6.9%	63.8%	20.7%	12.1%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	16.7%	83.3%	33.3%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	45	44.4%	40.0%	42.2%	6.7%	77.8%	33.3%	4.4%	62.2%	22.2%	13.3%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%

図表 リハビリの目的（三職種間の比較）（介護療養病床 全体）（複数回答）【再掲】



図表 リハビリの目的（三職種間の比較）（医療療養病床 全体）（複数回答）【再掲】



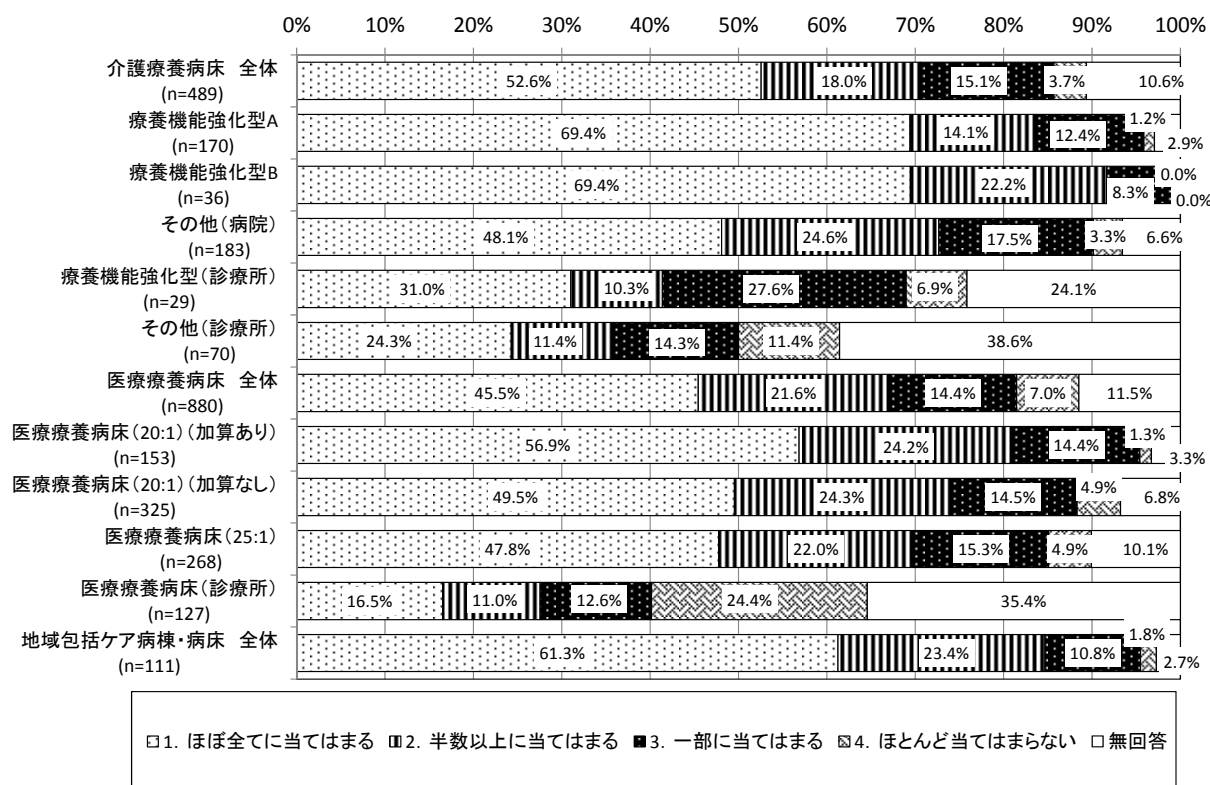
④リハビリに取り組む場合のプロセス

リハビリに取り組む場合のプロセスについて「リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している」、「リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している」、「定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している」、「退院先となる自宅や介護施設、ケアマネジャー等と連携している」、「リハビリ実施後の患者・家族の満足度を把握している」の5項目について、当てはまる程度の回答を求めた。

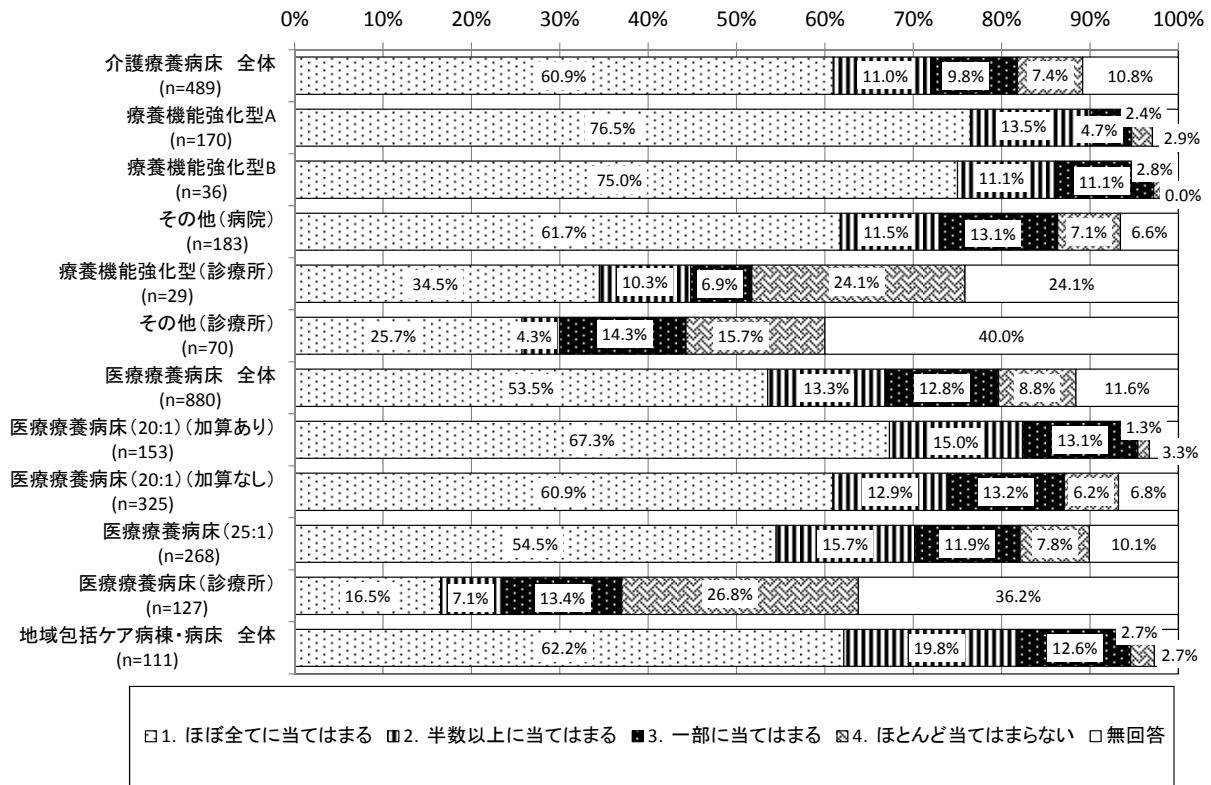
「ほぼ全てに当てはまる」、「半数以上に当てはまる」と回答した施設の割合について、介護療養病床と医療療養病床を比較すると、5項目とも両者に大きな差はみられなかった。

介護療養病床の施設サービス費の種類別に比較すると「リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している」、「リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している」、「定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している」において、療養機能強化型 A、B の割合が高く、リハビリの内容を丁寧なプロセスを経て決定していることがうかがえる。

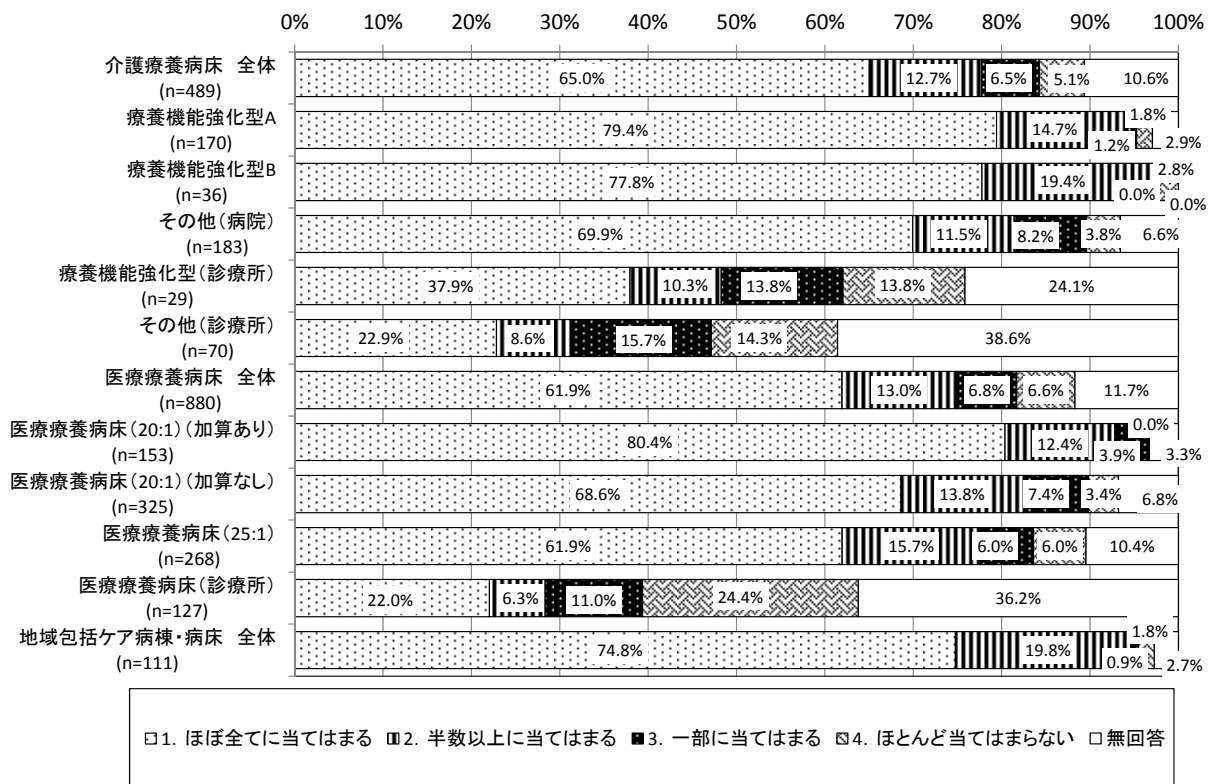
図表 リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している



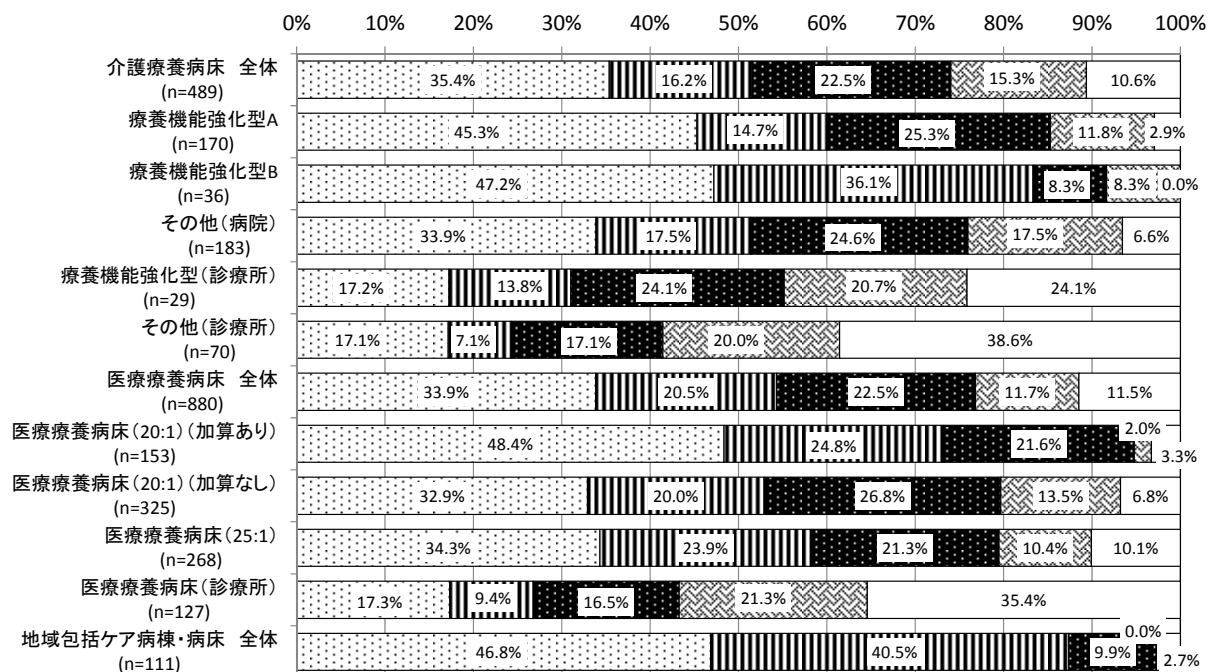
図表 リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している



図表 定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している

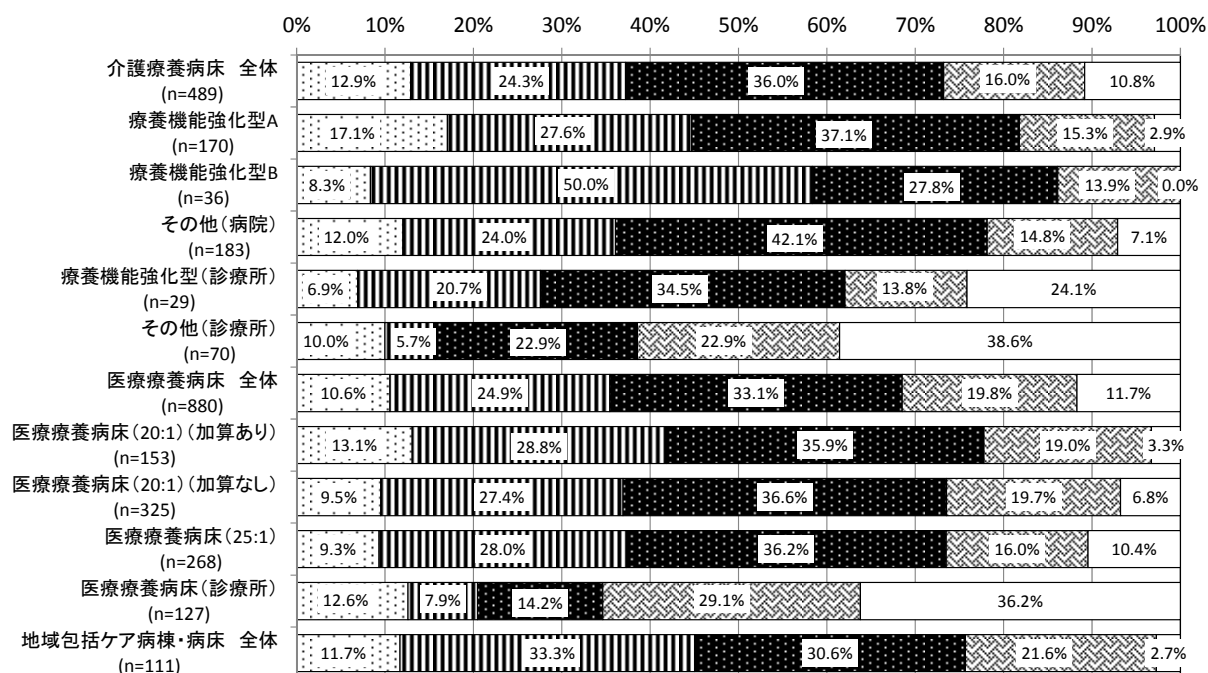


図表 退院先となる自宅や介護施設、ケアマネジャー等と連携している



□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

図表 リハビリ実施後の患者・家族の満足度を把握している



□1. ほぼ全てに当てはまる □2. 半数以上に当てはまる ■3. 一部に当てはまる □4. ほとんど当てはまらない □無回答

⑤リハビリの内容

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、その5名に対して実施したリハビリの内容について回答を求めた。リハビリの内容の選択肢として、「関節可動域訓練」、「筋力増強訓練」、「筋緊張緩和（ストレッチ等）」、「持久力訓練」、「バランス練習」、「起居/立位動作練習」、「移乗動作訓練」、「歩行訓練」、「体操」、「摂食・嚥下訓練」、「言語訓練」、「トイレ訓練」、「入浴訓練」、「その他 ADL 練習」、「IADL 練習（家事・調理・買い物等）」、「用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）」、「在宅生活の模擬的訓練」、「記憶機能に関する訓練」、「認知機能に関する訓練」、「趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）」、「介助方法の指導」、「その他」の22項目を挙げた。

介護療養病床と医療療養病床を比較すると、「理学療法士」では「持久力訓練」、「歩行訓練」、「在宅生活の模擬的訓練」において医療療養病床で実施した施設割合が介護療養病床を上回っていた。「作業療法士」では「歩行訓練」、「トイレ訓練」、「IADL 練習（家事・調理・買い物等）」、「在宅生活の模擬的訓練」において医療療養病床が介護療養病床を上回っていた。「言語聴覚士」では大きな差はみられなかった。

リハビリの実施内容を三職種間で比較すると、「理学療法士」では「歩行訓練」など基本的動作に関する項目の割合が高く、「作業療法士」では基本的動作に加え「その他 ADL 訓練」、「記憶機能に関する訓練」、「認知機能に関する訓練」、「趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）」の割合が、「言語聴覚士」では「摂食・嚥下訓練」、「言語訓練」、「記憶機能に関する訓練」、「認知機能に関する訓練」の割合が高かった。

図表 リハビリの実施内容（理学療法士）（複数回答）

	施設数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和(ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練
介護療養病床 全体	364	97.0%	90.1%	83.8%	49.5%	60.7%	83.2%	74.7%	77.7%	23.9%	8.8%	3.8%
療養機能強化型A	150	98.7%	90.7%	87.3%	57.3%	60.7%	86.0%	77.3%	72.7%	24.7%	6.7%	3.3%
療養機能強化型B	36	97.2%	88.9%	77.8%	44.4%	63.9%	80.6%	77.8%	91.7%	19.4%	8.3%	2.8%
その他(病院)	150	96.7%	92.0%	84.0%	47.3%	59.3%	84.0%	72.7%	81.3%	23.3%	10.7%	4.7%
療養機能強化型(診療所)	10	80.0%	60.0%	60.0%	10.0%	40.0%	50.0%	50.0%	50.0%	10.0%	30.0%	0.0%
その他(診療所)	18	94.4%	88.9%	77.8%	33.3%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	38.9%	0.0%	5.6%
医療療養病床 全体	684	98.4%	93.0%	86.8%	62.3%	70.0%	89.5%	80.4%	88.0%	24.0%	7.0%	3.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	146	97.9%	97.9%	88.4%	68.5%	77.4%	92.5%	84.2%	95.9%	24.7%	5.5%	2.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	278	99.6%	92.1%	89.2%	59.4%	68.7%	89.6%	78.4%	82.0%	23.7%	5.0%	2.5%
医療療養病床(25:1)	217	98.6%	93.5%	84.3%	62.2%	68.7%	90.8%	81.1%	92.6%	20.7%	9.7%	3.7%
医療療養病床(診療所)	38	89.5%	78.9%	76.3%	57.9%	60.5%	71.1%	73.7%	78.9%	39.5%	13.2%	5.3%
地域包括ケア病棟・病床 全体	103	100.0%	100.0%	87.4%	76.7%	80.6%	93.2%	87.4%	98.1%	24.3%	7.8%	1.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	85.7%	100.0%	42.9%	14.3%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	82	100.0%	100.0%	86.6%	75.6%	79.3%	92.7%	87.8%	97.6%	22.0%	7.3%	2.4%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	100.0%	100.0%	71.4%	42.9%	85.7%	100.0%	85.7%	100.0%	28.6%	14.3%	0.0%

	施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習(家事・調理・買い物等)	用具の適応訓練(車いす、杖、補聴器等)	在宅生活の模擬的訓練	記憶機能に関する訓練	認知機能に関する訓練	趣味活動(手工芸、園芸、編み物等)	介助方法の指導	その他
介護療養病床 全体	364	28.8%	2.7%	28.3%	1.4%	27.2%	8.0%	12.1%	22.8%	4.4%	23.9%	4.7%
療養機能強化型A	150	30.0%	3.3%	29.3%	0.7%	29.3%	9.3%	12.7%	24.7%	3.3%	28.7%	6.0%
療養機能強化型B	36	38.9%	0.0%	25.0%	5.6%	33.3%	11.1%	8.3%	27.8%	8.3%	22.2%	5.6%
その他(病院)	150	24.0%	1.3%	28.7%	1.3%	21.3%	6.0%	13.3%	22.7%	5.3%	20.7%	2.7%
療養機能強化型(診療所)	10	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%
その他(診療所)	18	33.3%	5.6%	16.7%	0.0%	38.9%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
医療療養病床 全体	684	32.6%	5.3%	32.3%	3.7%	35.8%	18.6%	8.8%	17.0%	4.7%	28.9%	7.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	146	32.9%	6.8%	29.5%	0.7%	43.8%	21.9%	7.5%	13.0%	4.8%	34.2%	6.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	278	29.5%	4.3%	32.7%	3.6%	29.9%	18.3%	9.4%	18.3%	5.4%	27.0%	7.6%
医療療養病床(25:1)	217	35.9%	5.1%	31.8%	5.5%	35.9%	18.9%	8.8%	18.0%	3.7%	28.1%	6.5%
医療療養病床(診療所)	38	31.6%	5.3%	42.1%	2.6%	44.7%	2.6%	7.9%	15.8%	5.3%	21.1%	10.5%
地域包括ケア病棟・病床 全体	103	57.3%	17.5%	49.5%	10.7%	59.2%	57.3%	12.6%	19.4%	1.9%	46.6%	3.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	100.0%	14.3%	42.9%	28.6%	71.4%	71.4%	14.3%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	82	52.4%	15.9%	48.8%	8.5%	57.3%	53.7%	11.0%	17.1%	1.2%	43.9%	1.2%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	42.9%	14.3%	57.1%	14.3%	57.1%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%

図表 リハビリの実施内容（作業療法士）（複数回答）

	施設数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和(ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練
介護療養病床 全体	215	90.2%	74.4%	75.3%	39.1%	45.1%	68.8%	65.6%	44.2%	31.6%	11.2%	6.0%
療養機能強化型A	115	93.9%	74.8%	77.4%	37.4%	45.2%	67.8%	67.8%	40.9%	32.2%	12.2%	6.1%
療養機能強化型B	23	82.6%	60.9%	52.2%	30.4%	30.4%	69.6%	60.9%	30.4%	30.4%	8.7%	4.3%
その他(病院)	73	87.7%	78.1%	80.8%	45.2%	49.3%	69.9%	64.4%	53.4%	31.5%	11.0%	6.8%
療養機能強化型(診療所)	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	495	94.3%	82.0%	77.6%	44.8%	53.1%	74.9%	69.5%	55.4%	28.5%	9.1%	6.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	120	93.3%	88.3%	80.8%	42.5%	60.0%	72.5%	70.0%	57.5%	30.0%	5.8%	2.5%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	208	97.1%	82.7%	81.7%	43.8%	51.0%	76.9%	67.8%	49.5%	30.8%	8.2%	7.7%
医療療養病床(25:1)	144	92.4%	75.7%	69.4%	46.5%	49.3%	72.9%	70.1%	60.4%	21.5%	13.2%	9.0%
医療療養病床(診療所)	18	83.3%	83.3%	66.7%	50.0%	66.7%	77.8%	72.2%	66.7%	33.3%	11.1%	5.6%
地域包括ケア病棟・病床 全体	84	95.2%	94.0%	77.4%	59.5%	64.3%	78.6%	71.4%	66.7%	29.8%	9.5%	1.2%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	100.0%	100.0%	83.3%	50.0%	83.3%	100.0%	66.7%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	68	95.6%	94.1%	79.4%	61.8%	61.8%	77.9%	70.6%	64.7%	27.9%	10.3%	1.5%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	80.0%	80.0%	60.0%	40.0%	60.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%

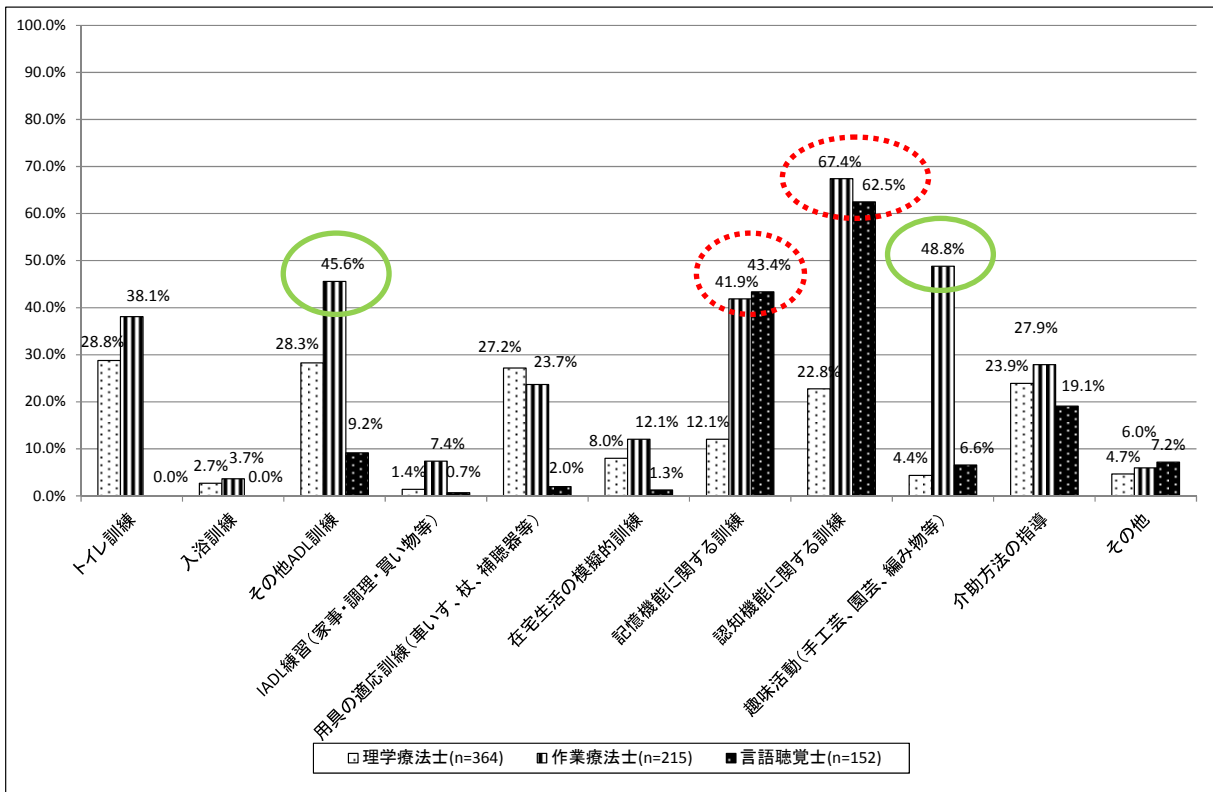
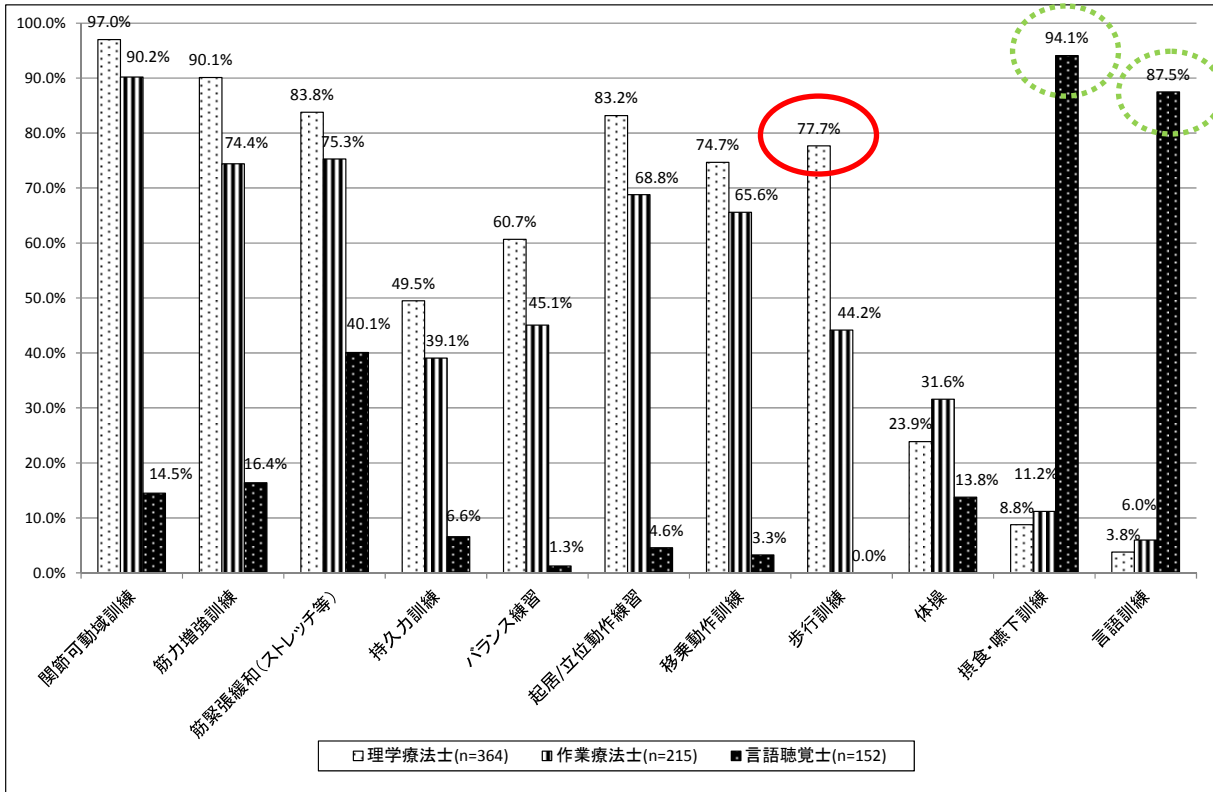
	施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習(家事・調理・買い物等)	用具の適応訓練(車いす、杖、補聴器等)	在宅生活の模倣的訓練	記憶機能に関する訓練	認知機能に関する訓練	趣味活動(手工芸、園芸、編み物等)	介助方法の指導	その他
介護療養病床 全体	215	38.1%	3.7%	45.6%	7.4%	23.7%	12.1%	41.9%	67.4%	48.8%	27.9%	6.0%
療養機能強化型A	115	37.4%	4.3%	51.3%	5.2%	24.3%	9.6%	43.5%	68.7%	47.8%	29.6%	6.1%
療養機能強化型B	23	56.5%	0.0%	34.8%	17.4%	8.7%	21.7%	39.1%	73.9%	65.2%	26.1%	13.0%
その他(病院)	73	34.2%	4.1%	42.5%	8.2%	28.8%	13.7%	41.1%	65.8%	46.6%	26.0%	2.7%
療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他(診療所)	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
医療療養病床 全体	495	51.5%	11.3%	51.9%	20.2%	27.9%	24.0%	38.0%	59.8%	44.0%	26.7%	6.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	120	58.3%	12.5%	58.3%	22.5%	27.5%	30.0%	40.0%	64.2%	41.7%	27.5%	5.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	208	47.6%	8.7%	49.5%	19.2%	24.5%	21.6%	38.9%	62.5%	47.1%	26.9%	7.2%
医療療養病床(25:1)	144	55.6%	16.0%	52.8%	21.5%	31.9%	25.7%	36.8%	55.6%	45.1%	26.4%	5.6%
医療療養病床(診療所)	18	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	27.8%	0.0%	16.7%	33.3%	11.1%	16.7%	22.2%
地域包括ケア病棟・病床 全体	84	67.9%	31.0%	76.2%	44.0%	41.7%	57.1%	40.5%	57.1%	46.4%	36.9%	4.8%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	50.0%	33.3%	50.0%	33.3%	50.0%	66.7%	50.0%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	68	67.6%	30.9%	77.9%	42.6%	39.7%	52.9%	39.7%	54.4%	42.6%	33.8%	4.4%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	60.0%	20.0%	80.0%	60.0%	60.0%	80.0%	40.0%	80.0%	80.0%	60.0%	0.0%

図表 リハビリの実施内容（言語聴覚士）（複数回答）

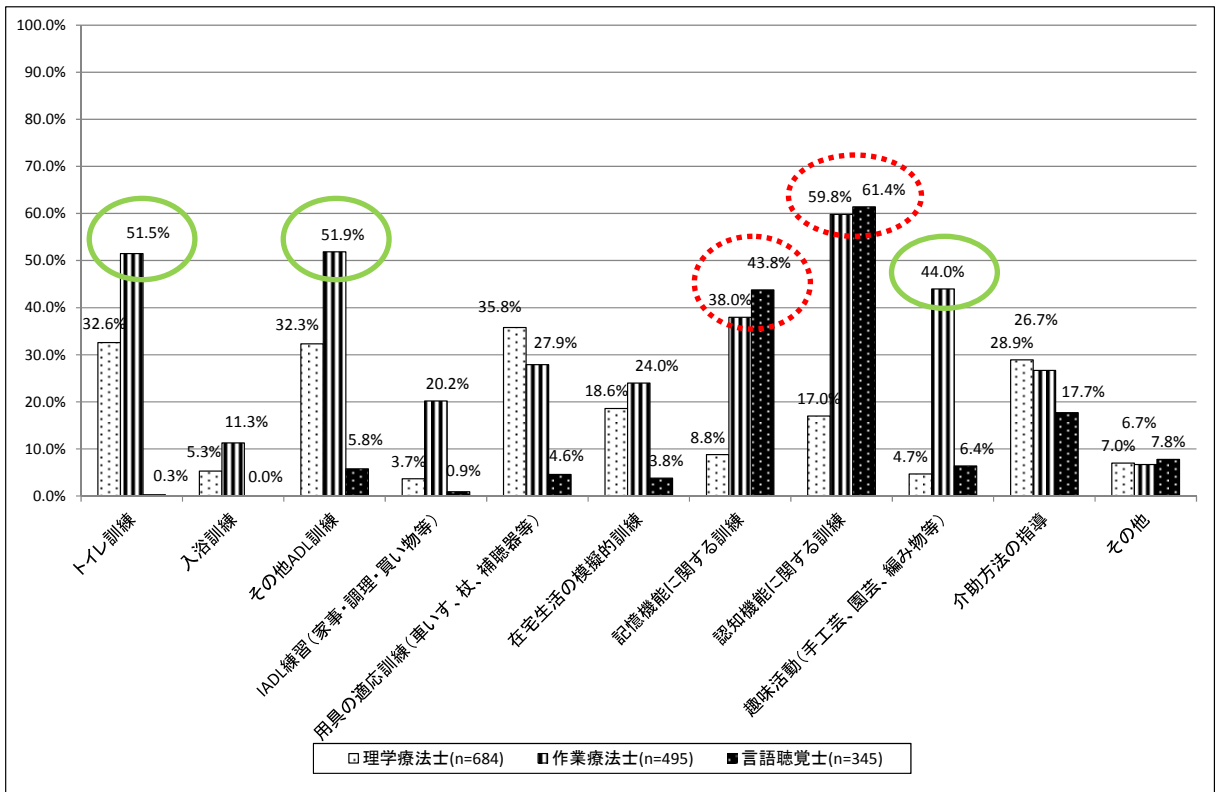
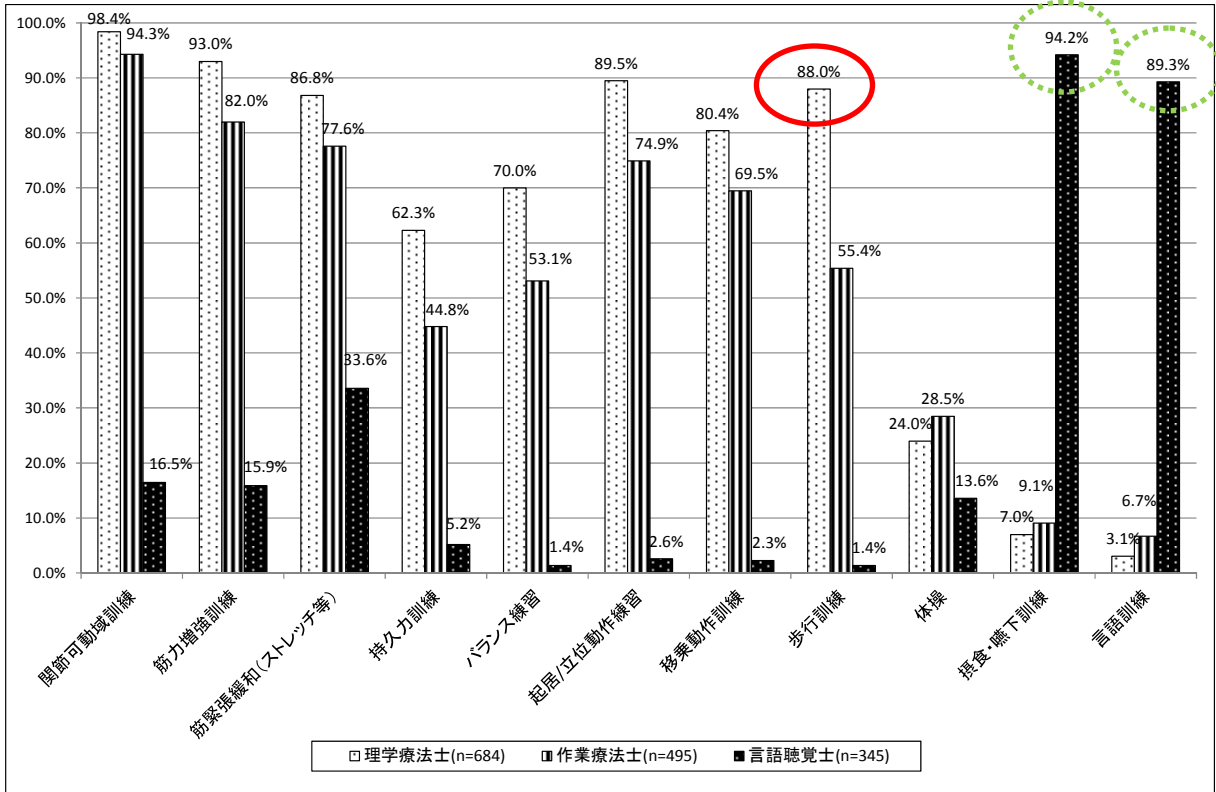
	施設数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和(ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練
介護療養病床 全体	152	14.5%	16.4%	40.1%	6.6%	1.3%	4.6%	3.3%	0.0%	13.8%	94.1%	87.5%
療養機能強化型A	85	16.5%	17.6%	40.0%	8.2%	0.0%	7.1%	4.7%	0.0%	15.3%	92.9%	87.1%
療養機能強化型B	18	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%	100.0%
その他(病院)	46	13.0%	17.4%	39.1%	6.5%	4.3%	2.2%	2.2%	0.0%	15.2%	95.7%	87.0%
療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%
医療療養病床 全体	345	16.5%	15.9%	33.6%	5.2%	1.4%	2.6%	2.3%	1.4%	13.6%	94.2%	89.3%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	101	17.8%	18.8%	36.6%	4.0%	0.0%	3.0%	2.0%	0.0%	14.9%	96.0%	88.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	150	13.3%	15.3%	34.7%	7.3%	2.0%	4.0%	2.7%	2.0%	15.3%	94.0%	91.3%
医療療養病床(25:1)	86	17.4%	12.8%	27.9%	3.5%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	10.5%	95.3%	90.7%
医療療養病床(診療所)	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	61	16.4%	9.8%	31.1%	6.6%	1.6%	3.3%	3.3%	1.6%	14.8%	91.8%	77.0%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	33.3%	33.3%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	83.3%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	47	12.8%	6.4%	25.5%	6.4%	2.1%	4.3%	4.3%	2.1%	10.6%	89.4%	74.5%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%

	施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習(家事・調理・買い物等)	用具の適応訓練(車いす、杖、福祉器等)	在宅生活の模擬的訓練	記憶機能に関する訓練	認知機能に関する訓練	趣味活動(手工芸、園芸、編み物等)	介助方法の指導	その他
介護療養病床 全体	152	0.0%	0.0%	9.2%	0.7%	2.0%	1.3%	43.4%	62.5%	6.6%	19.1%	7.2%
療養機能強化型A	85	0.0%	0.0%	14.1%	0.0%	2.4%	1.2%	41.2%	63.5%	7.1%	23.5%	5.9%
療養機能強化型B	18	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	38.9%	55.6%	0.0%	11.1%	11.1%
その他(病院)	46	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	50.0%	65.2%	8.7%	15.2%	4.3%
療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
医療療養病床 全体	345	0.3%	0.0%	5.8%	0.9%	4.6%	3.8%	43.8%	61.4%	6.4%	17.7%	7.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	101	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	3.0%	4.0%	43.6%	64.4%	7.9%	17.8%	8.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	150	0.7%	0.0%	8.7%	0.7%	6.0%	4.7%	45.3%	61.3%	6.0%	18.7%	5.3%
医療療養病床(25:1)	86	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%	3.5%	2.3%	41.9%	59.3%	5.8%	15.1%	8.1%
医療療養病床(診療所)	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	61	1.6%	0.0%	8.2%	0.0%	3.3%	4.9%	36.1%	57.4%	3.3%	18.0%	4.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	83.3%	16.7%	50.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	47	2.1%	0.0%	8.5%	0.0%	2.1%	4.3%	31.9%	53.2%	2.1%	17.0%	4.3%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 リハビリの実施内容（三職種間の比較）（介護療養病床 全体）（複数回答）【再掲】



図表 リハビリの実施内容（三職種間の比較）（医療療養病床 全体）（複数回答）【再掲】

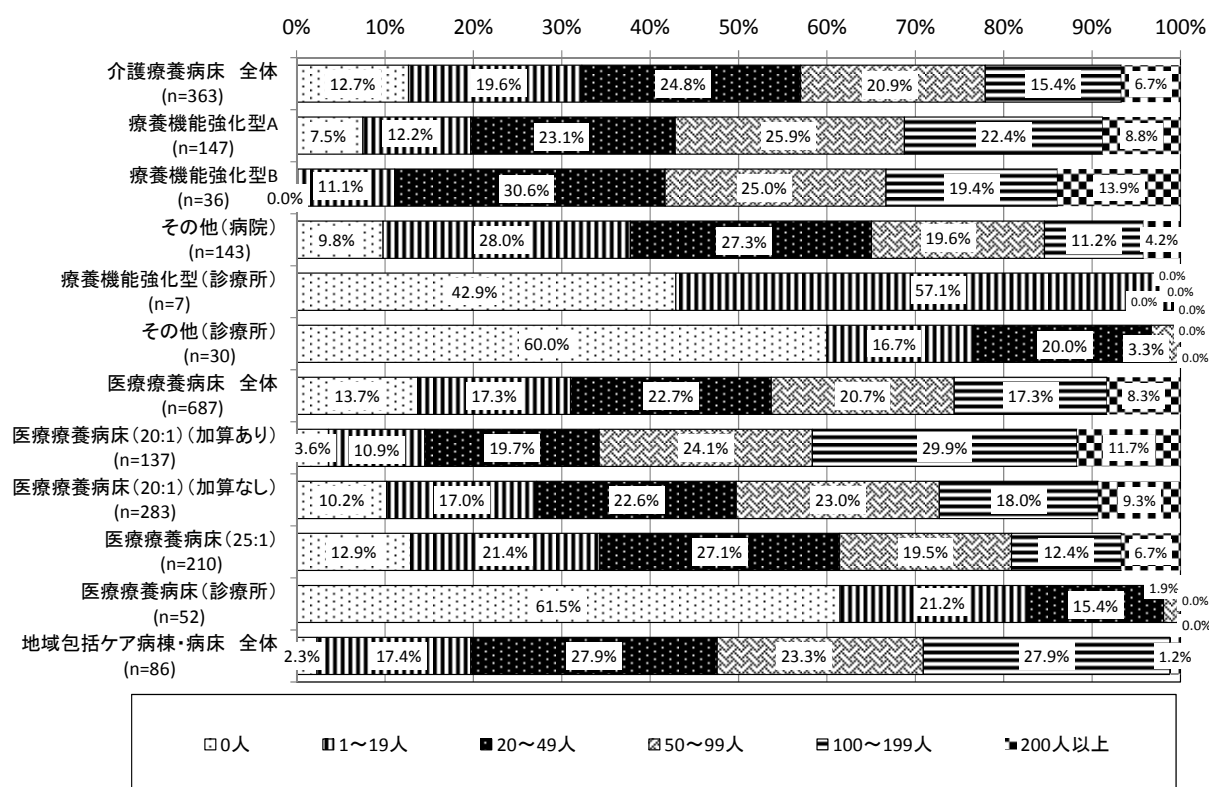


⑥介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1週間の延べ対象人数

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリ*の「1週間の延べ対象人数」について「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」別に回答を求めた。

介護療養病床についてみると、リハビリの「1週間の延べ対象人数」は「理学療法士」では「20～49人」が施設の割合が最多となっていたが、「作業療法士」、「言語聴覚士」では「0人」が最多であった。医療療養病床についてみると、「理学療法士」では「20～49人」が最多となっていたが、「作業療法士」、「言語聴覚士」では「0人」の施設の割合が最多であった。

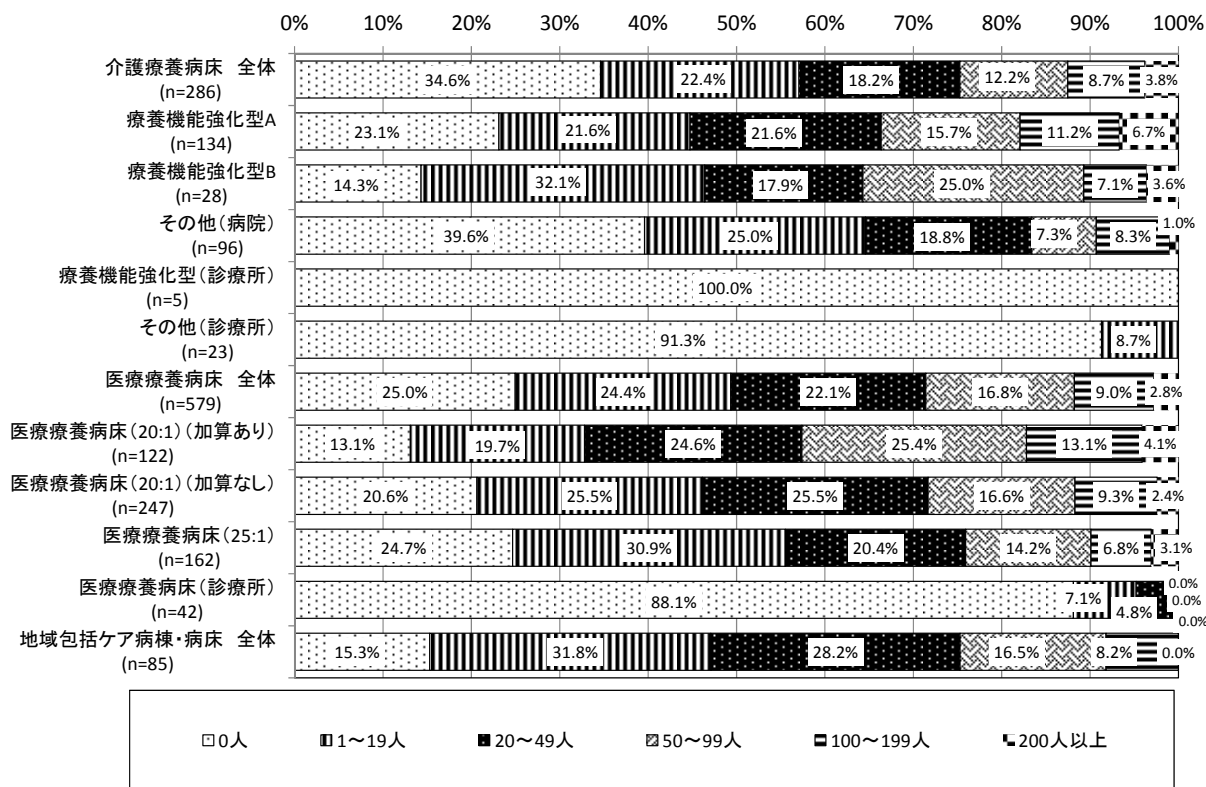
図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1週間の延べ対象人数別分布（理学療法士）



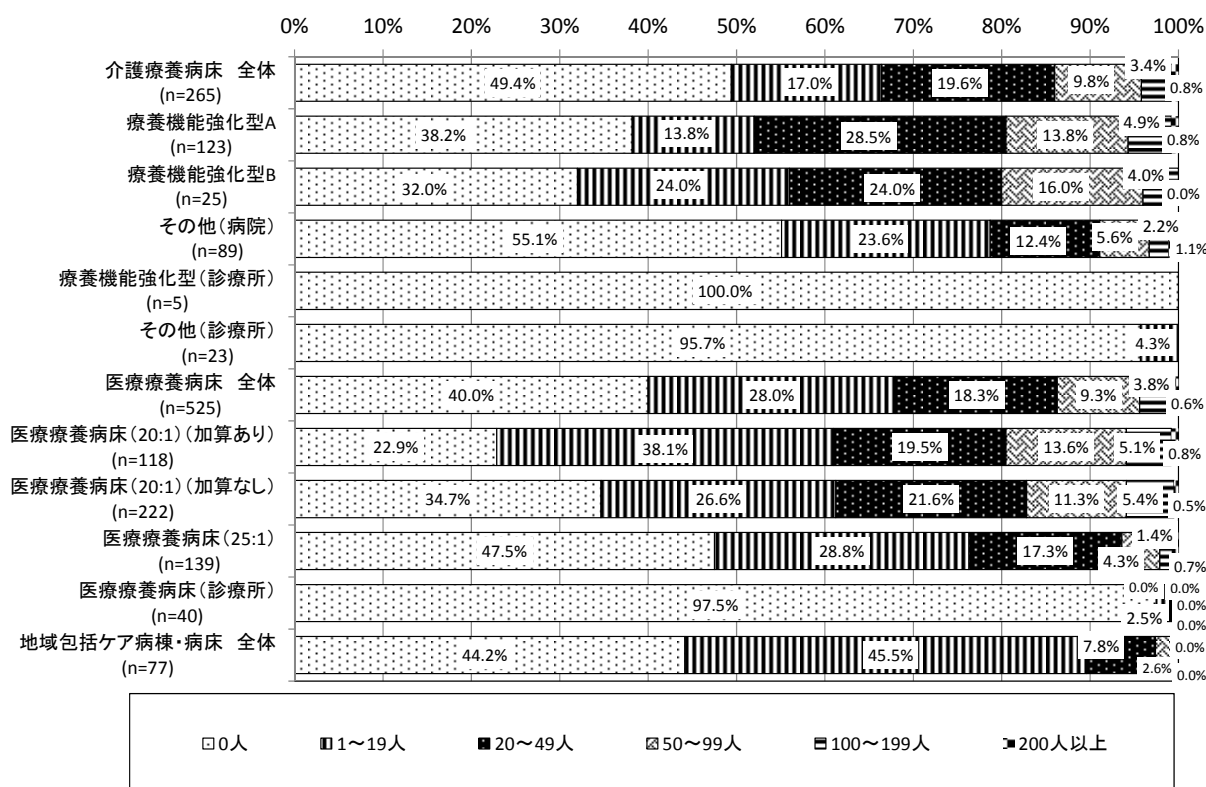
※介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1週間の延べ対象人数に0以上の値の記入がある場合を集計対象とした。

*「介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリ」は、介護療養病床票では「特定診療費として請求したリハビリ」、医療療養病床票では「特掲診療料として請求したリハビリ」、地域包括ケア病棟票では「疾患別・がん患者リハビリ」とした。

図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1週間の延べ対象人数別分布（作業療法士）



図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1週間の延べ対象人数別分布（言語聴覚士）

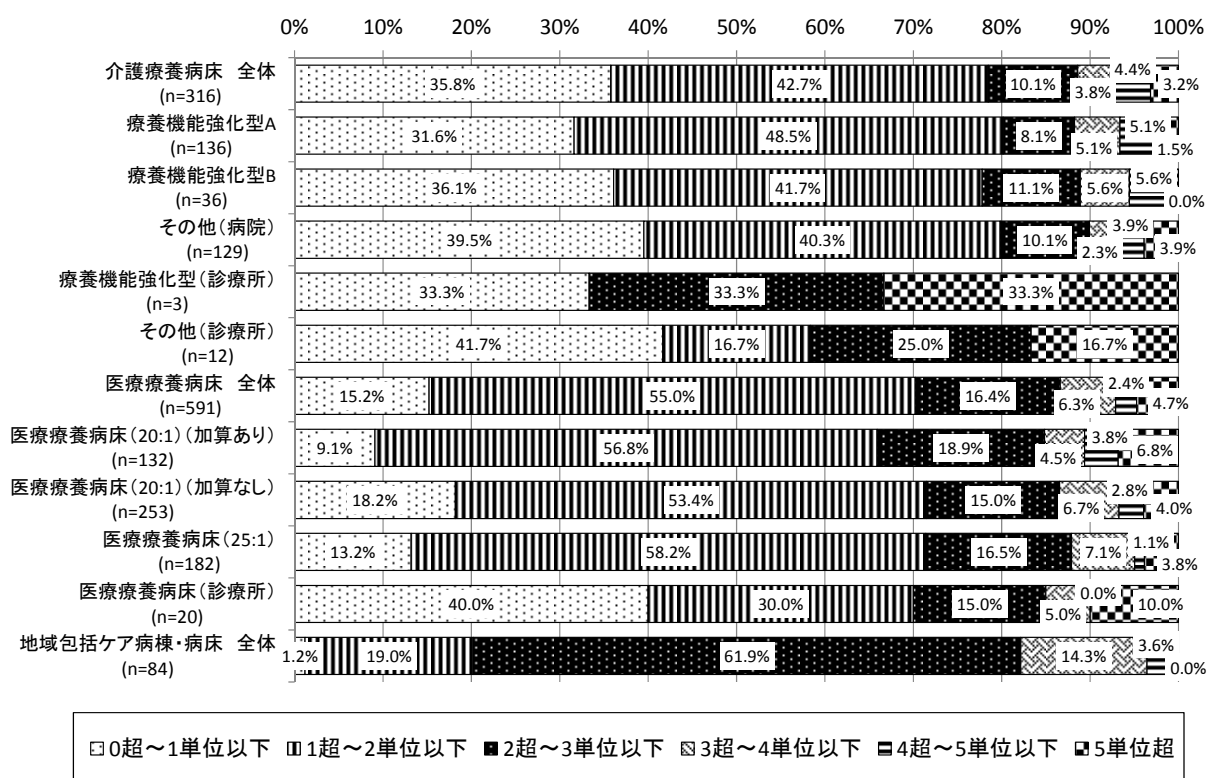


⑦介護報酬又は診療報酬を請求したりハビリの1人1日当たり平均単位数

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したりハビリのうち、介護報酬又は診療報酬を請求したりハビリの「1週間の延べ単位数」について「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」別に回答を求めた。「1週間の延べ単位数」を「1週間の延べ対象人数」で割り、「1人1日当たり平均単位数」を算出した。

「1人1日当たり平均単位数」の平均値を職種別にみると、介護療養病床では「理学療法士」1.7単位、「作業療法士」1.7単位、「言語聴覚士」1.6単位であった。医療療養病床では「理学療法士」2.0単位、「作業療法士」1.9単位、「言語聴覚士」1.8単位であった。

図表 介護報酬又は診療報酬を請求したりハビリの1人1日当たり平均単位数別分布 (理学療法士)

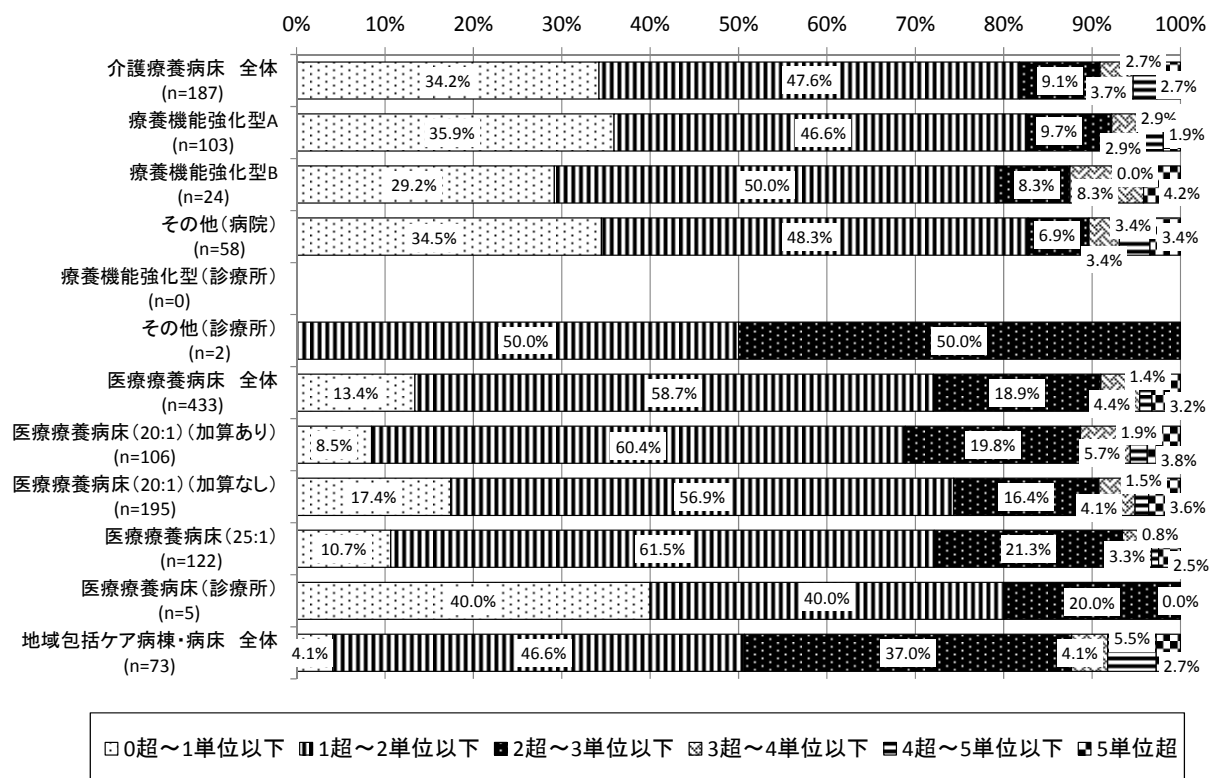


※理学療法士の単位数に0より大きい値の記入がある場合に集計対象とした。(以下、同様)

図表 介護報酬又は診療報酬を請求したりハビリの1人1日当たり平均単位数の平均値 (理学療法士)

	施設数	平均値
介護療養病床 全体	316	1.7
療養機能強化型A	136	1.7
療養機能強化型B	36	1.7
その他(病院)	129	1.7
療養機能強化型(診療所)	3	3.1
その他(診療所)	12	2.3
医療療養病床 全体	591	2.0
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	132	2.1
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	253	1.9
医療療養病床(25:1)	182	1.9
医療療養病床(診療所)	20	2.0
地域包括ケア病棟・病床 全体	84	2.6
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	5	3.0
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	68	2.6
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	2.6

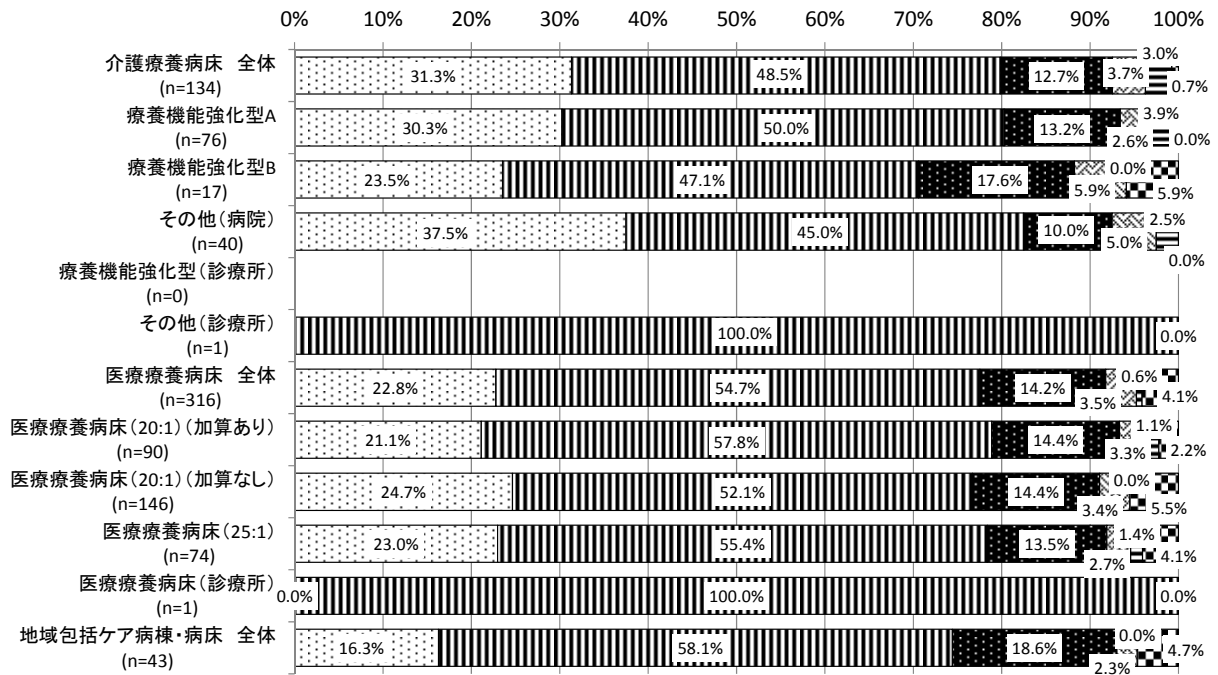
図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1人1日当たり平均単位数別分布
(作業療法士)



図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1人1日当たり平均単位数の平均値
(作業療法士)

	施設数	平均値
介護療養病床 全体	187	1.7
療養機能強化型A	103	1.6
療養機能強化型B	24	1.8
その他(病院)	58	1.7
療養機能強化型(診療所)	0	—
その他(診療所)	2	2.2
医療療養病床 全体	433	1.9
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	106	2.0
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	195	1.8
医療療養病床(25:1)	122	1.9
医療療養病床(診療所)	5	1.7
地域包括ケア病棟・病床 全体	73	2.3
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	5	2.3
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	7.1
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	60	2.3
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	1.9

図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1人1日当たり平均単位数別分布
(言語聴覚士)



□0超~1単位以下 ■1超~2単位以下 ■2超~3単位以下 ▨3超~4単位以下 ▩4超~5単位以下 ▤5単位超

図表 介護報酬又は診療報酬を請求したリハビリの1人1日当たり平均単位数の平均値
(言語聴覚士)

施設名	施設数	平均値
介護療養病床 全体	134	1.6
療養機能強化型A	76	1.6
療養機能強化型B	17	1.9
その他(病院)	40	1.6
療養機能強化型(診療所)	0	—
その他(診療所)	1	1.6
医療療養病床 全体	316	1.8
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	90	1.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	146	1.8
医療療養病床(25:1)	74	1.9
医療療養病床(診療所)	1	1.2
地域包括ケア病棟・病床 全体	43	2.0
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	2.7
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	2.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	30	2.0
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	1.5

⑧請求を行っていないリハビリの内容

平成27年10月25日～31日の1週間に実施した「請求を行っていないリハビリ」について、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、実施したリハビリの内容の回答を求めた。実施したリハビリの内容の選択肢として、「患者個人に対し病棟で行うADL等の指導」、「集団で行う活動・指導等」、「他職種へのポジショニング等の指導」、「家族への指導」、「その他」を挙げた。また、請求を行っていないリハビリを実施していない施設が多いことから「請求を行っていないリハビリは実施していない」を設けた。

介護療養病床についてみると、「請求を行っていないリハビリは実施していない」を除く各項目では、「理学療法士」、「作業療法士」で「患者個人に対し病棟で行うADL等の指導」、「他職種へのポジショニング等の指導」の割合が高く、「言語聴覚士」では「患者個人に対し病棟で行うADL等の指導」、「他職種へのポジショニング等の指導」、「家族への指導」の割合が高かった。介護療養病床と医療療養病床の間で内容に大きな差はみられなかった。

図表 請求を行っていないリハビリの内容（理学療法士）（複数回答）

	有効回答数	請求を行っていないリハビリは実施していない	患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	集団で行う活動・指導等	他職種へのポジショニング等の指導	家族への指導	その他
介護療養病床 全体	353	58.4%	36.5%	6.5%	38.8%	17.8%	5.4%
療養機能強化型A	146	63.7%	34.2%	2.7%	47.3%	20.5%	3.4%
療養機能強化型B	35	51.4%	28.6%	14.3%	34.3%	8.6%	8.6%
その他(病院)	146	56.8%	36.3%	8.9%	36.3%	17.8%	7.2%
療養機能強化型(診療所)	8	25.0%	87.5%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
その他(診療所)	18	55.6%	50.0%	5.6%	5.6%	11.1%	0.0%
医療療養病床 全体	661	57.8%	35.1%	4.7%	33.0%	24.4%	8.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	138	58.7%	35.5%	2.9%	34.8%	25.4%	7.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	272	58.8%	32.0%	4.8%	34.9%	23.5%	10.3%
医療療養病床(25:1)	207	58.9%	34.8%	5.3%	30.9%	25.1%	9.2%
医療療養病床(診療所)	40	42.5%	57.5%	7.5%	22.5%	20.0%	5.0%
地域包括ケア病棟・病床 全体	101	45.5%	58.4%	7.9%	41.6%	50.5%	7.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	28.6%	85.7%	42.9%	57.1%	57.1%	14.3%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	80	51.3%	53.8%	3.8%	36.3%	50.0%	8.8%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	7	28.6%	71.4%	0.0%	71.4%	42.9%	0.0%

図表 請求を行っていないリハビリの内容（作業療法士）（複数回答）

	有効回答数	請求を行っていないリハビリは実施していない	患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	集団で行う活動・指導等	他職種へのポジショニング等の指導	家族への指導	その他
介護療養病床 全体	215	60.0%	30.7%	10.7%	34.9%	20.0%	7.4%
療養機能強化型A	117	61.5%	32.5%	9.4%	40.2%	20.5%	6.0%
療養機能強化型B	23	56.5%	21.7%	21.7%	17.4%	13.0%	4.3%
その他(病院)	72	58.3%	30.6%	9.7%	33.3%	22.2%	11.1%
療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	483	65.0%	30.6%	7.5%	27.3%	24.0%	5.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	117	66.7%	38.5%	5.1%	32.5%	25.6%	4.3%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	204	66.7%	25.0%	9.3%	26.0%	21.6%	5.9%
医療療養病床(25:1)	139	64.0%	31.7%	7.2%	24.5%	25.2%	6.5%
医療療養病床(診療所)	19	47.4%	36.8%	5.3%	26.3%	26.3%	5.3%
地域包括ケア病棟・病床 全体	82	52.4%	51.2%	9.8%	34.1%	41.5%	4.9%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	66	59.1%	48.5%	6.1%	30.3%	40.9%	6.1%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	5	20.0%	80.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%

図表 請求を行っていないリハビリの内容（言語聴覚士）（複数回答）

	有効回答数	請求を行っていないリハビリは実施していない	患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	集団で行う活動・指導等	他職種へのポジショニング等の指導	家族への指導	その他
介護療養病床 全体	153	62.1%	24.2%	9.2%	21.6%	19.6%	12.4%
療養機能強化型A	86	60.5%	31.4%	5.8%	26.7%	23.3%	12.8%
療養機能強化型B	18	66.7%	11.1%	11.1%	16.7%	22.2%	11.1%
その他(病院)	47	63.8%	17.0%	12.8%	14.9%	12.8%	12.8%
療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	352	64.2%	23.9%	5.1%	19.0%	23.0%	8.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	100	62.0%	30.0%	3.0%	18.0%	25.0%	9.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	156	65.4%	19.2%	8.3%	20.5%	25.0%	10.3%
医療療養病床(25:1)	86	62.8%	26.7%	2.3%	17.4%	18.6%	5.8%
医療療養病床(診療所)	6	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
地域包括ケア病棟・病床 全体	61	45.9%	27.9%	1.6%	24.6%	42.6%	16.4%
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	6	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	47	48.9%	27.7%	2.1%	17.0%	40.4%	21.3%
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

⑨請求を行っていないリハビリの1週間の延べ対象人数

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、「請求を行っていないリハビリの1週間の延べ対象人数」について回答を求めた。

介護療養病床と医療療養病床のいずれにおいても、「請求を行っていないリハビリ」の対象人数は「0人」の割合が最も高かった。人数の回答があったものは大半が「1～19人」の範囲内であり、介護療養病床で「1～19人」の回答であったのは、「理学療法士」19.3%、「作業療法士」13.9%、「言語聴覚士」11.0%であった。医療療養病床で「1～19人」の回答であったのは、「理学療法士」23.9%、「作業療法士」14.5%、「言語聴覚士」14.0%であった。

介護療養病床の約2割では「理学療法士」、「作業療法士」が、約1割では「言語聴覚士」が「請求を行っていないリハビリ」を提供していた。

図表 請求を行っていないリハビリの1週間の延べ対象人数別分布

		請求を行っていないリハビリ		
		1週間の延べ対象人数		
		理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
介護療養病床 全体	0人	76.1%	83.5%	87.2%
	1～19人	19.3%	13.9%	11.0%
	20～49人	3.2%	2.2%	1.4%
	50人以上	1.4%	0.4%	0.5%
	施設数	280	230	218
療養機能 強化型A	0人	84.5%	84.3%	85.6%
	1～19人	13.6%	12.7%	12.4%
	20～49人	1.8%	2.0%	1.0%
	50人以上	0.0%	1.0%	1.0%
	施設数	110	102	97
療養機能 強化型B	0人	78.3%	86.4%	81.8%
	1～19人	17.4%	13.6%	13.6%
	20～49人	4.3%	0.0%	4.5%
	50人以上	0.0%	0.0%	0.0%
	施設数	23	22	22
その他(病院)	0人	68.6%	77.6%	88.3%
	1～19人	23.7%	18.8%	10.4%
	20～49人	4.2%	3.5%	1.3%
	50人以上	3.5%	0.0%	0.0%
	施設数	118	85	77
療養機能強化型 (診療所)	0人	33.3%	100.0%	100.0%
	1～19人	66.7%	0.0%	0.0%
	20～49人	0.0%	0.0%	0.0%
	50人以上	0.0%	0.0%	0.0%
	施設数	6	4	4
その他(診療所)	0人	82.6%	100.0%	94.4%
	1～19人	13.0%	0.0%	5.6%
	20～49人	4.3%	0.0%	0.0%
	50人以上	0.0%	0.0%	0.0%
	施設数	23	17	18
医療療養病床 全体	0人	69.3%	83.9%	85.3%
	1～19人	23.9%	14.5%	14.0%
	20～49人	3.4%	1.1%	0.2%
	50人以上	3.3%	0.5%	0.5%
	施設数	522	442	421
医療療養病床 (20:1)(在宅復帰 機能強化加算あり)	0人	67.6%	86.8%	80.4%
	1～19人	29.4%	12.1%	18.5%
	20～49人	1.0%	0.0%	0.0%
	50人以上	2.0%	1.1%	1.1%
	施設数	102	91	92
医療療養病床 (20:1)(在宅復帰 機能強化加算なし)	0人	71.0%	85.0%	84.9%
	1～19人	21.4%	13.4%	15.1%
	20～49人	3.8%	1.6%	0.0%
	50人以上	3.8%	0.0%	0.0%
	施設数	210	187	179
医療療養病床 (25:1)	0人	66.9%	80.2%	86.0%
	1～19人	25.0%	17.5%	12.3%
	20～49人	4.4%	1.6%	0.9%
	50人以上	3.8%	0.8%	0.9%
	施設数	160	126	114
医療療養病床 (診療所)	0人	74.5%	85.7%	100.0%
	1～19人	19.1%	14.3%	0.0%
	20～49人	4.3%	0.0%	0.0%
	50人以上	2.1%	0.0%	0.0%
	施設数	47	35	33
地域包括ケア病棟・ 病床票	0人	59.5%	69.7%	63.1%
	1～19人	17.6%	12.1%	29.2%
	20～49人	9.5%	12.1%	6.2%
	50～99人	6.8%	3.0%	1.5%
	100～199人	4.1%	3.0%	0.0%
	200人以上	2.7%	0.0%	0.0%
施設数	74	66	65	

⑩請求を行っていないリハビリの1日1人あたりの平均実施時間

平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、「請求を行っていないリハビリの1日1人あたりの平均実施時間」についての回答を求めた。

介護療養病床では、40分未満が大半を占めていた。医療療養病床では、40分未満の割合が高いものの、「60分以上」と回答した施設が「理学療法士」で8.3%、「作業療法士」で12.7%、「言語聴覚士」で9.7%を占めていた。

図表 請求を行っていないリハビリの1日1人あたりの平均実施時間別分布

		1日1人あたりの平均実施時間					1日1人あたりの平均実施時間		
		理学療法士	作業療法士	言語聴覚士			理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
介護療養病床 全体	1～19分	37.3%	42.1%	46.4%	医療療養病床 全体	1～19分	36.3%	43.7%	37.1%
	20～39分	56.7%	52.6%	39.3%		20～39分	47.1%	40.8%	45.2%
	40～59分	3.0%	2.6%	10.7%		40～59分	8.3%	2.8%	8.1%
	60分以上	3.0%	2.6%	3.6%		60分以上	8.3%	12.7%	9.7%
	施設数	67	38	28		施設数	157	71	62
療養機能 強化型A	1～19分	52.9%	43.8%	50.0%	医療療養病床 (20:1)(在宅復帰 機能強化加算あり)	1～19分	28.1%	41.7%	33.3%
	20～39分	41.2%	50.0%	42.9%		20～39分	43.8%	50.0%	55.6%
	40～59分	5.9%	6.3%	7.1%		40～59分	15.6%	0.0%	5.6%
	60分以上	0.0%	0.0%	0.0%		60分以上	12.5%	8.3%	5.6%
	施設数	17	16	14		施設数	32	12	18
療養機能 強化型B	1～19分	20.0%	0.0%	0.0%	医療療養病床 (20:1)(在宅復帰 機能強化加算なし)	1～19分	42.4%	39.3%	44.4%
	20～39分	80.0%	100.0%	75.0%		20～39分	42.4%	39.3%	37.0%
	40～59分	0.0%	0.0%	0.0%		40～59分	6.8%	3.6%	3.7%
	60分以上	0.0%	0.0%	25.0%		60分以上	8.5%	17.9%	14.8%
	施設数	5	3	4		施設数	59	28	27
その他(病院)	1～19分	32.4%	47.4%	66.7%	医療療養病床 (25:1)	1～19分	34.0%	52.0%	25.0%
	20～39分	59.5%	47.4%	22.2%		20～39分	50.9%	36.0%	50.0%
	40～59分	2.7%	0.0%	11.1%		40～59分	7.5%	4.0%	18.8%
	60分以上	5.4%	5.3%	0.0%		60分以上	7.5%	8.0%	6.3%
	施設数	37	19	9		施設数	53	25	16
療養機能強化型 (診療所)	1～19分	25.0%	—	—	医療療養病床 (診療所)	1～19分	33.3%	20.0%	—
	20～39分	75.0%	—	—		20～39分	66.7%	60.0%	—
	40～59分	0.0%	—	—		40～59分	0.0%	0.0%	—
	60分以上	0.0%	—	—		60分以上	0.0%	20.0%	—
	施設数	4	0	0		施設数	12	5	0
その他(診療所)	1～19分	50.0%	—	0.0%	地域包括ケア病棟・ 病床 全体	1～19分	16.7%	25.0%	12.5%
	20～39分	50.0%	—	0.0%		20～39分	43.3%	50.0%	70.8%
	40～59分	0.0%	—	100.0%		40～59分	23.3%	20.0%	8.3%
	60分以上	0.0%	—	0.0%		60分以上	16.7%	5.0%	8.3%
	施設数	4	0	1		施設数	30	20	24

(5) 地域に貢献する活動の取組

①地域に貢献する活動の内容

施設票において、各医療機関で実施している地域に貢献する活動の内容を尋ねた。活動の内容の選択肢として、「地域住民への健康教室（介護予防を含む）の実施」、「地域住民への介護教室の実施」、「地域住民からの健康相談の受付」、「認知症カフェの運営」、「地域住民を招いてのイベント（お祭り等）の開催」、「地域住民ボランティアによるイベント（コンサート等）の開催」、「地域で開催されるイベント（お祭り等）への参加・協力」、「地域の小中高生へ職業体験等の場の提供」、「地域包括ケアセンターの開催する地域ケア会議への出席」、「その他」を挙げた。また、地域に貢献する活動を実施していない施設があることから、「“地域に貢献する活動”は特に実施していない」の選択肢を設けた。

地域に貢献する活動の内容は「地域の小中高生へ職業体験等の場の提供」が 65.1%で最多、次いで「地域で開催されるイベント（お祭り等）への参加・協力」が 47.4%であった。

「地域包括ケアセンターの開催する地域ケア会議への出席」は 39.9%の医療機関が取り組んでいた。「地域に貢献する活動を特に実施していない」医療機関は 8.1%であった。

図表 地域に貢献する活動の取組内容

	施設数	地域住民への健康教室(介護予防を含む)の実施	地域住民への介護教室の実施	地域住民からの健康相談の受付	認知症カフェの運営	地域住民を招いてのイベント(お祭り等)の開催	地域住民ボランティアによるイベント(コンサート等)の開催	地域で開催されるイベント(お祭り等)への参加・協力	地域の小中高生へ職業体験等の場の提供	地域包括ケアセンターの開催する地域ケア会議への出席	“地域に貢献する活動”は特に実施していない	その他
全体	915	40.1%	12.6%	29.0%	2.7%	34.6%	31.8%	47.4%	65.1%	39.9%	8.1%	7.4%
介護療養病床を有する病院・診療所	384	44.5%	15.1%	27.3%	3.4%	42.4%	40.1%	51.0%	69.0%	38.3%	5.2%	8.6%
医療療養病床を有する病院・診療所	666	45.9%	14.4%	29.6%	3.2%	40.1%	34.5%	51.1%	71.8%	41.6%	5.6%	7.1%
地域包括ケア病棟・病床を有する病院・診療所	98	63.3%	23.5%	38.8%	3.1%	51.0%	41.8%	60.2%	86.7%	59.2%	0.0%	4.1%

②地域に貢献する活動の取組の従事者

施設票において、各医療機関で実施している地域に貢献する活動の従事者を尋ねた。活動従事者の選択肢として「医師」、「看護職員」、「薬剤師」、「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」、「管理栄養士」、「介護福祉士」、「生活相談員」、「事務職員」、「その他」を挙げた。

調査回答医療機関全体の結果をみると、「看護職員」が活動に従事している医療機関の割合が85.3%で最多、次いで「事務職員」が59.3%、「医師」が59.1%であった。リハビリテーションの三職種では「理学療法士」が活動に従事している医療機関の割合が最も高く50.8%だった。

図表 地域に貢献する活動の従事者

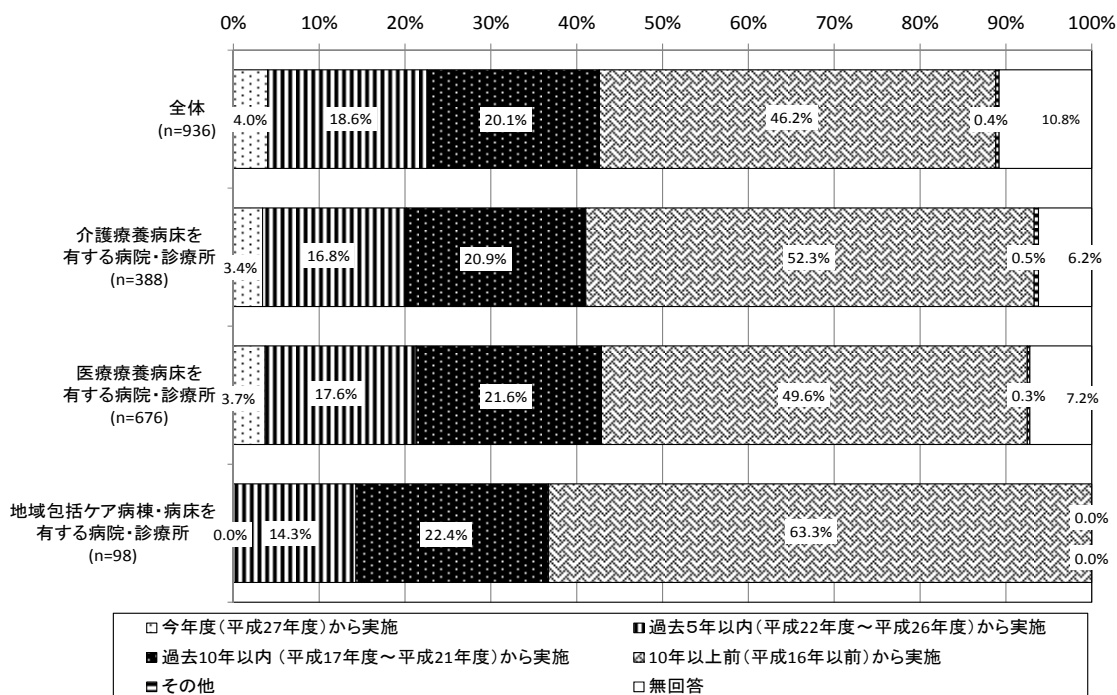
	施設数	医師	看護職員	薬剤師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	介護福祉士	生活相談員	事務職員	その他
全体	846	59.1%	85.3%	28.0%	50.8%	36.5%	19.7%	38.9%	40.4%	24.9%	59.3%	17.0%
介護療養病床を有する病院・診療所	364	54.7%	88.5%	31.9%	54.7%	38.7%	20.3%	43.1%	52.5%	27.5%	65.1%	17.3%
医療療養病床を有する病院・診療所	628	56.2%	88.1%	33.4%	58.6%	43.0%	24.2%	43.9%	42.2%	28.7%	63.4%	18.8%
地域包括ケア病棟・病床を有する病院・診療所	98	65.3%	91.8%	39.8%	64.3%	52.0%	30.6%	59.2%	33.7%	23.5%	64.3%	21.4%

③地域に貢献する活動を開始した時期

施設票において、各医療機関で実施している地域に貢献する活動を開始した時期を尋ねた。時期の選択肢として、「今年度（平成27年度）から実施」、「過去5年以内（平成22年度～平成26年度）から実施」、「過去10年以内（平成17年度～平成21年度）から実施」、「10年以上前（平成16年以前）から実施」、「その他」を挙げた。

介護療養病床を有する病院・診療所についてみると、「10年以上前（平成16年以前）から実施」が52.3%と最多であった。療養機能強化型が新設された「今年度（平成27年度）から実施」した医療機関は、3.4%と少数であった。

図表 地域に貢献する活動を開始した時期



4. 「療養機能強化型」の算定について

以下では、介護療養病床のみを対象に、「療養機能強化型 A の各要件を満たすうえで困難と考えられること」、「療養機能強化型の算定を行うにあたり取り組んだこと」、「介護療養病床の届出の今後の変更予定」について回答を求めた。

(1) 各要件を満たすうえで困難と考えられること

療養機能強化型 A 介護療養型医療施設の要件「入院患者等のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の占める割合が 100 分の 50 以上であること」、「入院患者等のうち、喀痰吸引、経管栄養又はインスリン注射が実施された者の占める割合が 100 分の 50 以上であること」、「入院患者等のうち、ターミナルケアを提供している者の占める割合が 100 分の 10 以上であること」、「生活機能を維持改善するリハビリテーションを行っていること」、「地域に貢献する活動を行っていること」のそれぞれについて、困難と考えられることとして該当するもの全てに回答を求めた*。

「療養機能強化型 A」の回答をみると、「重篤な身体疾患を有する者及び認知症高齢者」、「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」、「リハビリの提供」では「要件を満たすことに困難はない」に 7 割～8 割の回答があったのに対し、「ターミナルケアの提供」では「要件を満たすことに困難はない」の回答が 63.0%と相対的に低くなっていた。「ターミナルケアの提供」において困難と考えられることとしては、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいない）」が 28.4%で最多となっており、「ターミナルケアの提供」の要件が実態と合致していない可能性が示唆された。

療養機能強化型 B の施設に対しても、療養機能強化型 A の算定要件を満たす上で困難と考えられることを尋ねた。療養機能強化型 B における「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施について困難と考えられること」の回答は、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいない）」が 39.4%と高くなっていた。

「その他（病院）」の回答をみると、「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」、「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」、「ターミナルケアの提供」において、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいない）」、「要件となる患者を受け入れることが、夜勤の人員体制上厳しい」とも高い割合となっていた。「リハビリの提供」では、「生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者がいない」、「生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士がいない」とも高い数値を示していた。

*病院は療養機能強化型 A の算定要件を、診療所は療養機能強化型の診療所の算定要件を、満たす上で困難と考えられることについて、回答を求めた。

図表 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の要件について
困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが難しい(夜勤帯の人員体制上厳しい)	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
介護療養病床 全体	415	48.2%	31.6%	33.7%	20.0%	20.5%	3.1%	1.9%
療養機能強化型A	162	72.2%	19.8%	17.9%	11.7%	8.0%	1.2%	1.9%
療養機能強化型B	33	63.6%	27.3%	18.2%	9.1%	12.1%	0.0%	6.1%
その他(病院)	157	27.4%	43.3%	45.9%	28.0%	31.2%	3.8%	1.3%
療養機能強化型(診療所)	22	59.1%	22.7%	31.8%	22.7%	13.6%	4.5%	4.5%
その他(診療所)	41	14.6%	41.5%	63.4%	29.3%	39.0%	9.8%	0.0%

図表 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが難しい(夜勤帯の人員体制上厳しい)	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
介護療養病床 全体	416	56.0%	29.3%	26.4%	11.3%	17.3%	1.4%	2.2%
療養機能強化型A	162	80.2%	13.6%	16.0%	8.6%	6.8%	0.0%	0.6%
療養機能強化型B	33	45.5%	39.4%	6.1%	6.1%	15.2%	0.0%	12.1%
その他(病院)	158	38.0%	41.1%	36.1%	13.9%	26.6%	2.5%	1.9%
療養機能強化型(診療所)	22	63.6%	18.2%	31.8%	18.2%	13.6%	0.0%	4.5%
その他(診療所)	41	34.1%	43.9%	43.9%	12.2%	26.8%	4.9%	0.0%

図表 ターミナルケアの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが難しい(夜勤帯の人員体制上厳しい)	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他
介護療養病床 全体	415	40.5%	36.4%	24.3%	12.0%	15.7%	2.2%	9.2%	5.1%
療養機能強化型A	162	63.0%	28.4%	12.3%	8.0%	5.6%	0.6%	6.2%	3.1%
療養機能強化型B	33	33.3%	45.5%	12.1%	6.1%	15.2%	0.0%	15.2%	9.1%
その他(病院)	157	17.8%	45.9%	37.6%	16.6%	23.6%	3.8%	14.0%	7.0%
療養機能強化型(診療所)	22	63.6%	22.7%	13.6%	18.2%	18.2%	0.0%	4.5%	9.1%
その他(診療所)	41	31.7%	31.7%	36.6%	12.2%	24.4%	4.9%	0.0%	0.0%

図表 リハビリの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションの範囲がわからない	その他
介護療養病床 全体	406	67.5%	11.1%	17.2%	9.4%	3.2%
療養機能強化型A	158	85.4%	5.7%	3.2%	7.0%	2.5%
療養機能強化型B	33	90.9%	3.0%	6.1%	6.1%	3.0%
その他(病院)	154	59.1%	17.5%	18.2%	13.0%	3.9%
療養機能強化型(診療所)	21	28.6%	4.8%	57.1%	14.3%	9.5%
その他(診療所)	40	30.0%	17.5%	57.5%	5.0%	0.0%

図表 地域に貢献する活動について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	地域に貢献する活動を必要とされていない	地域に貢献する活動を実施することが、人員体制上厳しい	地域に貢献する活動の範囲がわからない	その他
介護療養病床 全体	411	53.8%	3.4%	33.8%	23.4%	3.6%
療養機能強化型A	162	69.8%	1.9%	19.8%	19.1%	3.1%
療養機能強化型B	33	81.8%	3.0%	15.2%	12.1%	3.0%
その他(病院)	155	37.4%	3.9%	48.4%	30.3%	3.9%
療養機能強化型(診療所)	21	42.9%	0.0%	38.1%	28.6%	4.8%
その他(診療所)	40	35.0%	10.0%	47.5%	20.0%	5.0%

「ターミナルケアの提供」について、地域別に集計を行った。南関東、近畿では、「要件を満たすことに困難はない」と回答した施設が半数以上あり、その要因として、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいらない）」を選択した施設の割合が低いことが考えられる。一方、北陸、東海、中国では、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいらない）」を選択した施設の割合が半数以上あり、療養病床を取り巻く環境に地域差があることがうかがえる。地域別集計の詳細は、資料 6 に掲載している。

図表 地域別 ターミナルケアの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件となる割合								
		要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいらない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上難しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上難しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他	
北海道	介護療養病床 全体	22	45.5%	36.4%	18.2%	13.6%	18.2%	4.5%	4.5%	9.1%
	療養機能強化型A	10	70.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	療養機能強化型B	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	その他(病院)	6	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	療養機能強化型(診療所)	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
東北	介護療養病床 全体	22	45.5%	27.3%	36.4%	18.2%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%
	療養機能強化型A	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	0.0%	50.0%	83.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
その他(診療所)	6	50.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	33.3%	40.7%	25.9%	11.1%	11.1%	3.7%	7.4%	14.8%
	療養機能強化型A	5	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	その他(病院)	16	25.0%	43.8%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	18.8%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
南関東 東京23区	介護療養病床 全体	40	50.0%	17.5%	20.0%	10.0%	7.5%	2.5%	12.5%	7.5%
	療養機能強化型A	24	62.5%	12.5%	12.5%	4.2%	8.3%	0.0%	8.3%	12.5%
	療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	13	23.1%	23.1%	38.5%	23.1%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護療養病床 全体	8	50.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
	療養機能強化型A	7	57.1%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(病院)	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
北陸	介護療養病床 全体	38	34.2%	50.0%	21.1%	18.4%	15.8%	0.0%	13.2%	0.0%
	療養機能強化型A	14	50.0%	35.7%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	19	21.1%	63.2%	10.5%	15.8%	21.1%	0.0%	15.8%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
東海	介護療養病床 全体	34	38.2%	52.9%	17.6%	5.9%	14.7%	0.0%	14.7%	5.9%
	療養機能強化型A	13	53.8%	46.2%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%
	療養機能強化型B	4	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	その他(病院)	13	30.8%	53.8%	30.8%	0.0%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
近畿	介護療養病床 全体	45	60.0%	20.0%	20.0%	6.7%	6.7%	4.4%	4.4%	4.4%
	療養機能強化型A	25	88.0%	4.0%	12.0%	4.0%	0.0%	4.0%	8.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	13	7.7%	46.2%	46.2%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
中国	介護療養病床 全体	40	37.5%	55.0%	20.0%	7.5%	5.0%	2.5%	10.0%	2.5%
	療養機能強化型A	15	60.0%	53.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	20	15.0%	60.0%	35.0%	5.0%	10.0%	5.0%	20.0%	5.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
四国	介護療養病床 全体	51	35.3%	27.5%	29.4%	7.8%	29.4%	5.9%	7.8%	3.9%
	療養機能強化型A	18	66.7%	27.8%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	21	4.8%	28.6%	52.4%	9.5%	47.6%	14.3%	19.0%	9.5%
	療養機能強化型(診療所)	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(診療所)	6	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
九州	介護療養病床 全体	96	34.4%	38.5%	29.2%	17.7%	21.9%	0.0%	9.4%	4.2%
	療養機能強化型A	34	55.9%	35.3%	20.6%	11.8%	8.8%	0.0%	2.9%	2.9%
	療養機能強化型B	10	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%
	その他(病院)	30	20.0%	46.7%	43.3%	26.7%	33.3%	0.0%	13.3%	6.7%
	療養機能強化型(診療所)	9	22.2%	44.4%	22.2%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%
その他(診療所)	13	38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	

(2) 算定を行うにあたり取り組んだこと

療養機能強化型を算定している病院・診療所を対象に、算定を行うにあたり取り組んだこととして該当するもの全てに回答を求めた。取り組んだことを選択肢として、「特に何も取り組んでいない（昨年度以前の入院患者の状態が既に算定要件を満たしていた）」、「医療ニーズの低い患者の退院促進」、「医療ニーズの高い患者の受入促進」、「職員配置の見直し」、「ターミナルケアに係る計画の作成」、「生活機能を維持改善するリハビリテーションの取組」、「地域に貢献する活動の導入」、「その他」の8項目を挙げた。

療養機能強化型 A では「ターミナルケアに係る計画の作成」が 82.9%で最多、次いで「医療ニーズの高い患者の受入促進」が 36.6%となっていた。療養機能強化型 B では「ターミナルケアに係る計画の作成」が 81.8%で最多、次いで「地域に貢献する活動の導入」が 39.4%となっていた。療養機能強化型（診療所）では、「医療ニーズの高い患者の受入促進」が 45.0%で最多、次いで「ターミナルケアに係る計画の作成」、「生活機能を維持改善するリハビリテーションの取組」が 35.0%となっていた。

図表 算定を行うにあたり取り組んだこと（複数回答）

	施設数	特に何も取り組んでいない	医療ニーズの低い患者の退院促進	医療ニーズの高い患者の受入促進	職員配置の見直し	ターミナルケアに係る計画の作成	生活機能を維持改善するリハビリテーションの取組	地域に貢献する活動の導入	その他
療養機能強化型A	164	14.6%	14.6%	36.6%	12.8%	82.9%	26.8%	27.4%	1.2%
療養機能強化型B	33	21.2%	6.1%	33.3%	6.1%	81.8%	15.2%	39.4%	0.0%
療養機能強化型(診療所)	20	30.0%	20.0%	45.0%	10.0%	35.0%	35.0%	20.0%	0.0%

(3) 今後の届出の変更予定

介護療養病床のみを対象に、今後の介護療養病床の届出を変更する予定について回答を求めた。届出の変更先の選択肢として、「現在の算定を継続する」、「療養機能強化型 A」、「療養機能強化型 B」、「療養機能強化型（診療所）」、「医療療養（20:1）」、「医療療養（25:1）」、「介護療養型老人保健施設」、「従来型介護老人保健施設」、「その他」の9項目を挙げた。

療養機能強化型 A、療養機能強化型（診療所）、その他（診療所）は、それぞれ 85.0%、81.0%、83.3%の施設が、「現在の算定を継続する」を選択した。療養機能強化型 B の回答は「現在の算定を継続する」が 74.3%、「療養機能強化型 A」が 14.3%であった。その他（病院）の回答は「現在の算定を継続する」が 62.2%、「療養機能強化型 A」が 11.5%、「療養機能強化型 B」が 9.0%であった。

転換予定がある場合の変更先としては、医療療養病床への転換は一定数みられたが、介護療養型老人保健施設及び従来型老人保健施設への転換はごく少数であった。

図表 今後の介護療養病床の届出の変更予定（複数回答）

	施設数	今後の届出予定								
		現在の算定を継続する	療養機能強化型A	療養機能強化型B	療養機能強化型(診療所)	医療療養(20:1)	医療療養(25:1)	介護療養型老人保健施設	従来型介護老人保健施設	その他
現在	療養機能強化型A	160	85.0%	0.0%	0.0%	10.0%	3.8%	1.9%	0.6%	5.0%
	療養機能強化型B	35	74.3%	14.3%	0.0%	5.7%	11.4%	2.9%	0.0%	2.9%
	その他(病院)	156	62.2%	11.5%	9.0%	5.8%	10.9%	3.2%	0.6%	10.9%
	療養機能強化型(診療所)	21	81.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%
	その他(診療所)	48	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	4.2%

(4) 「療養機能強化型」の算定要件への意見

「“療養機能強化型”介護療養型医療施設の算定要件等」について自由回答で意見を求めたところ、「要件が厳しい、実態に合っていない」、「要件が不明確である」といった意見が多くあげられた。

「要件が厳しい、実態に合っていない」では、特に「重篤な身体疾患を有する者」に関する回答が多かった。「要件が不明確である」では、「ターミナルケアの提供」、「リハビリテーションの実施」、「地域に貢献する活動の実施」に関する回答がみられた。

図表 意見の要約

1. 要件が厳しい、実態に合っていない

- 例)・喀痰吸引、経管栄養などの医療処置には対応できる体制にはあるが、重篤な身体疾患に対しては、人員配置、設備の面から受け入れが難しいと考える。
- ・重篤な身体疾患を有する患者の算定要件について、現実的には重篤であれば様々な治療が必要となり医療の要素が増えてしまう為一般病棟に転棟しているケースが多い。また重篤な状態の患者を介護療養病棟で対応する場合には比較的早期に死亡退院に至るケースが多い。以上から、現状では常時要件となる割合まで患者を集めることが困難である。

2. 要件が不明確である

- 例)・ターミナルケア、リハビリ、地域貢献の各要件の具体的なガイドラインを提示していただきたい。現在のところ、明確な基準や考え方が示されておらず、機関の自主的な判断で実施している実情がある。
- ・生活機能を維持改善するリハビリテーションにおける作業療法士の配置要件が明確でない。
 - ・療養機能強化型Aの算定要件である”地域に貢献する活動”の必要について違和感を感じる。重篤者・認知症・ターミナルケア等の患者割合数を高めることとの関連性が不明である。

※自由回答の全文は資料編に掲載している。

5. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割

(1) 積極的に受け入れる患者像

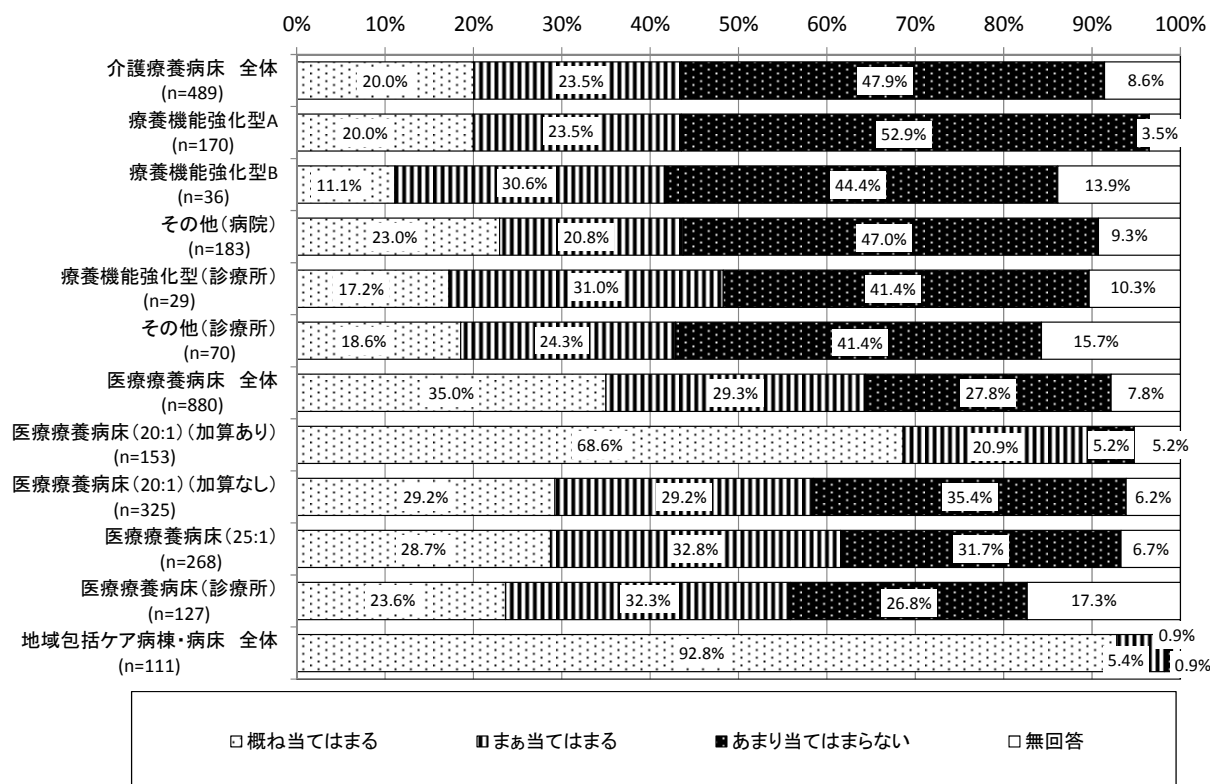
患者像別に、当該病床において積極的に受け入れている状況として当てはまる程度を、「現在の受け入れ状況」と「今後の方針」に分けて回答を求めた。患者像の選択肢として、「在宅復帰を目指す患者」、「リハビリを必要とする患者」、「BPSD が現れている認知症高齢者」、「身体合併症を有する認知症高齢者」、「麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者」、「人工呼吸器を必要とする患者」、「経管栄養を必要とする患者」、「在宅・介護施設等からの救急搬送患者」、「他院（他病棟）で救急搬送後の処置を終えた患者」、「在宅療養患者の急変時」、「ターミナル期の患者」の 11 項目を挙げた。

「概ね当てはまる」と「まあ当てはまる」を選んだ施設の割合についてみると、介護療養病床の「現在の受け入れ状況」では、「経管栄養を必要とする患者」、「ターミナル期の患者」、「身体合併症を有する認知症高齢者」、「他院（他病棟）で救急処置を終えた患者」、「リハビリを必要とする患者」が高い数値を示していた。また、「今後の方針」でも同様の傾向がみられた。

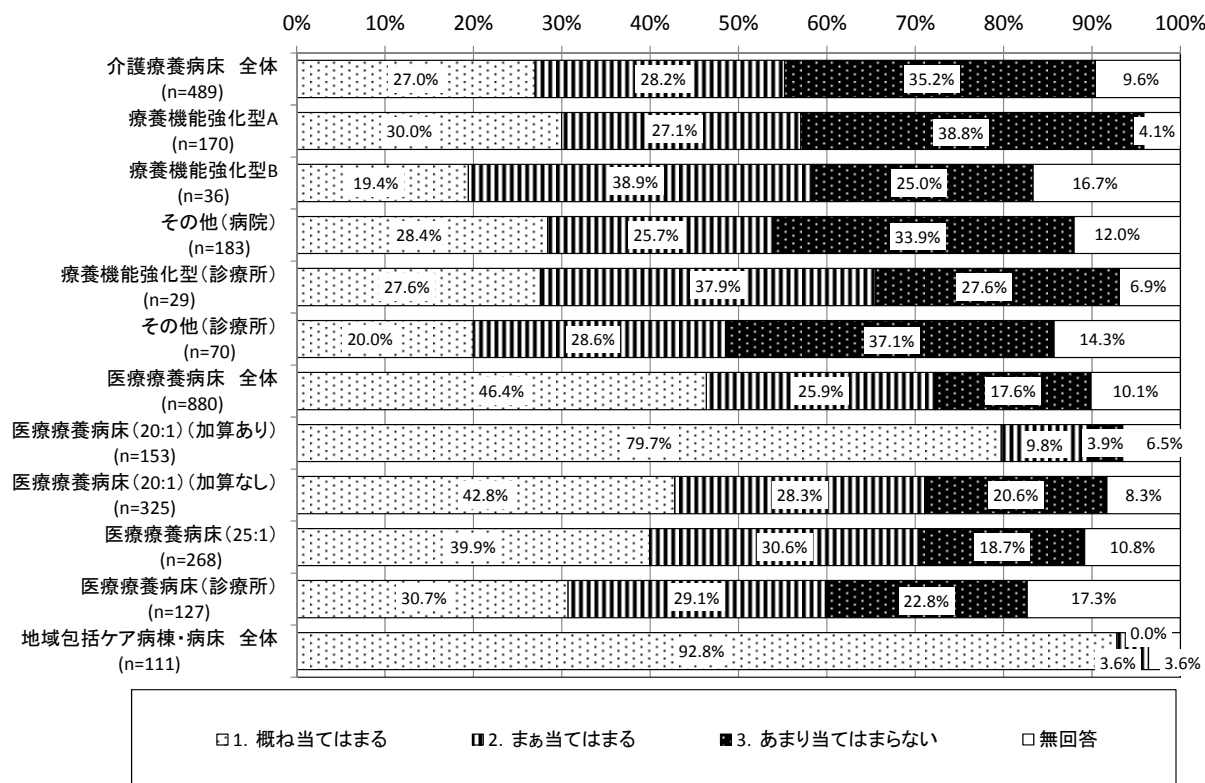
「現在の受け入れ状況」と「今後の方針」の「概ね当てはまる」と「まあ当てはまる」を選んだ施設の割合を比較すると、療養機能強化型 A において今後「在宅療養患者の急変時に積極的に受け入れる」とする施設の割合が 32.9%から 47.6%へ拡大している。全体的にみると、今後の方針が拡大はするものの、受け入れの方針に大きな変動はみられなかった。

図表 在宅復帰を目指す患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

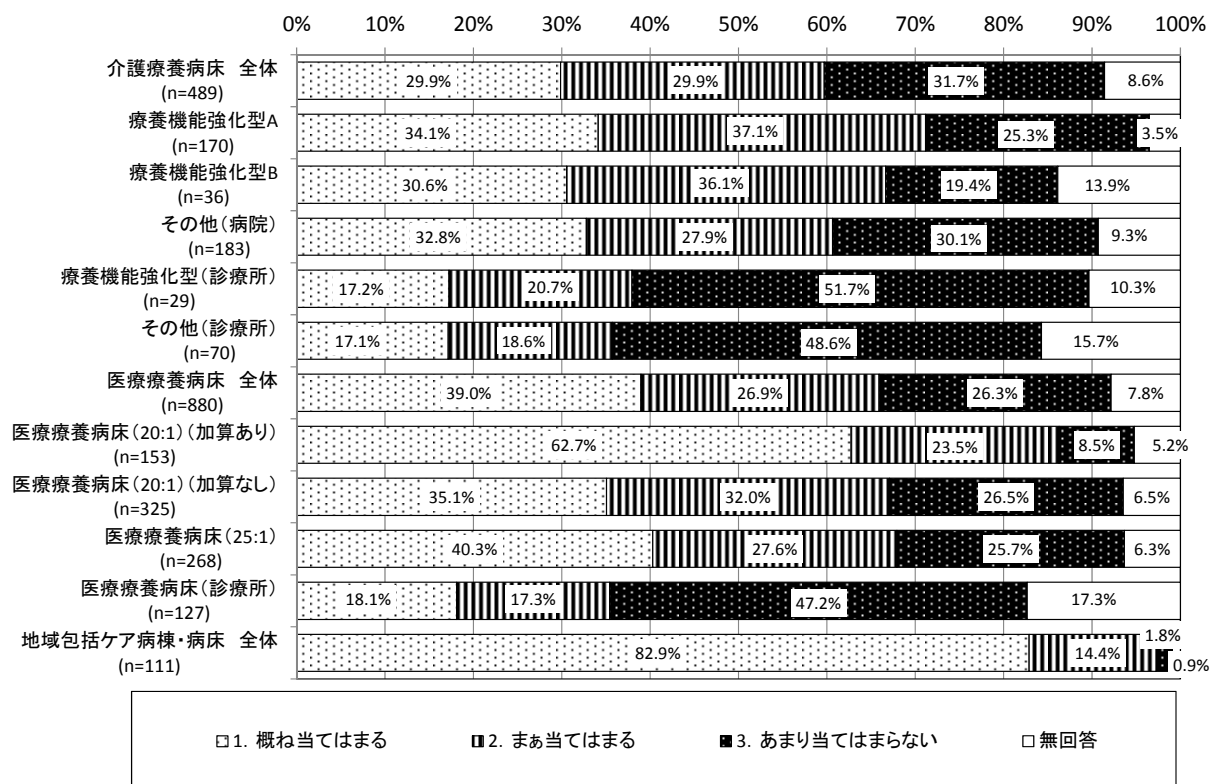


■今後の方針

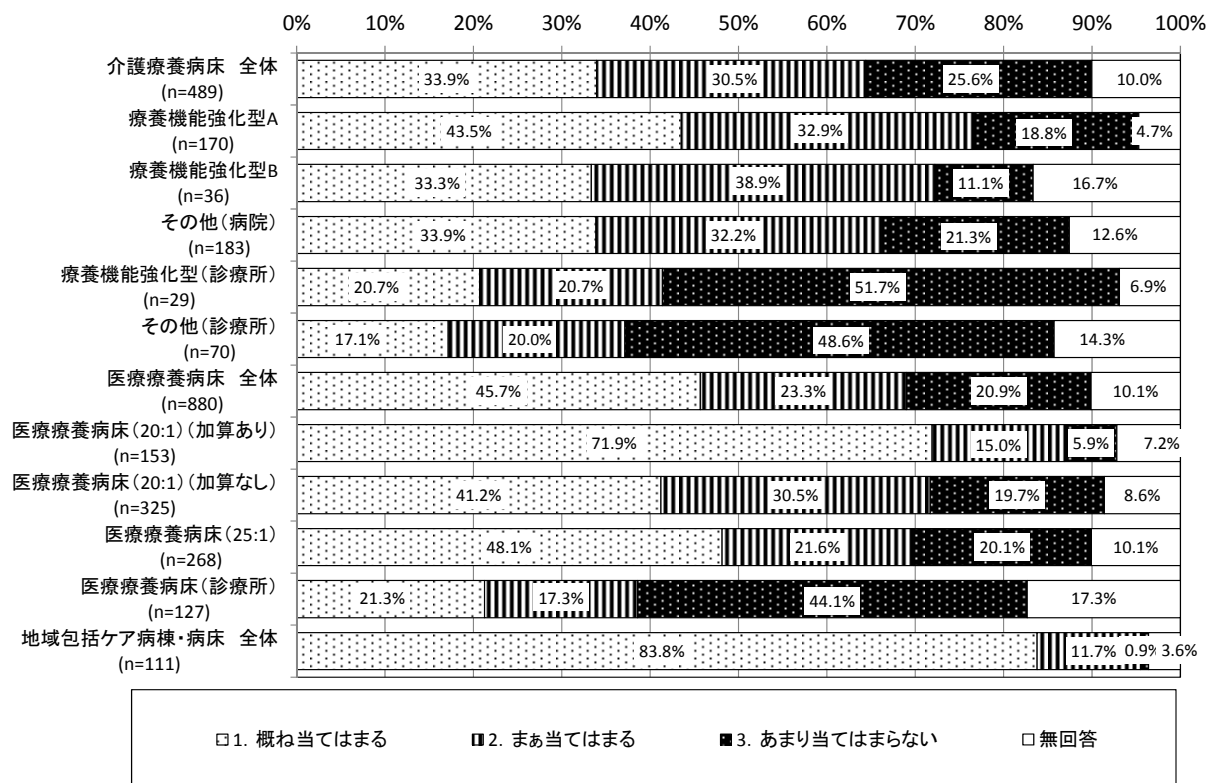


図表 リハビリを必要とする患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

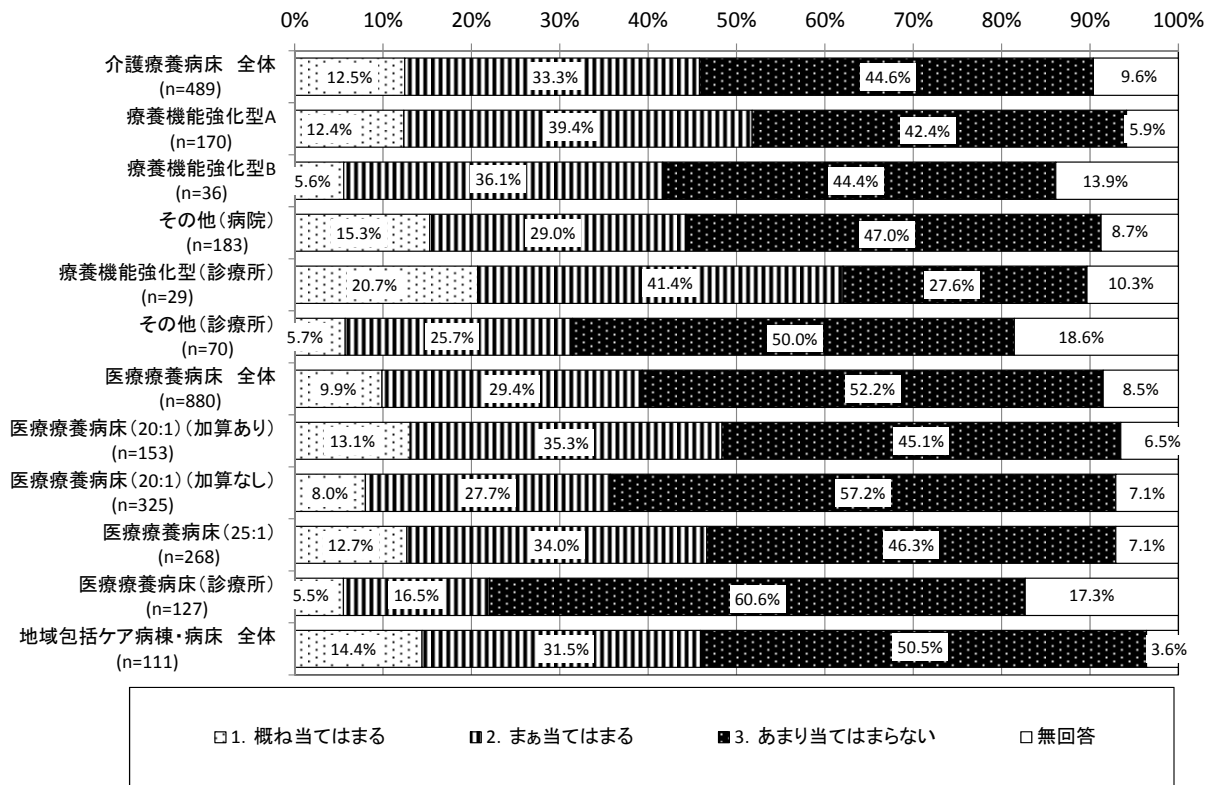


■今後の方針

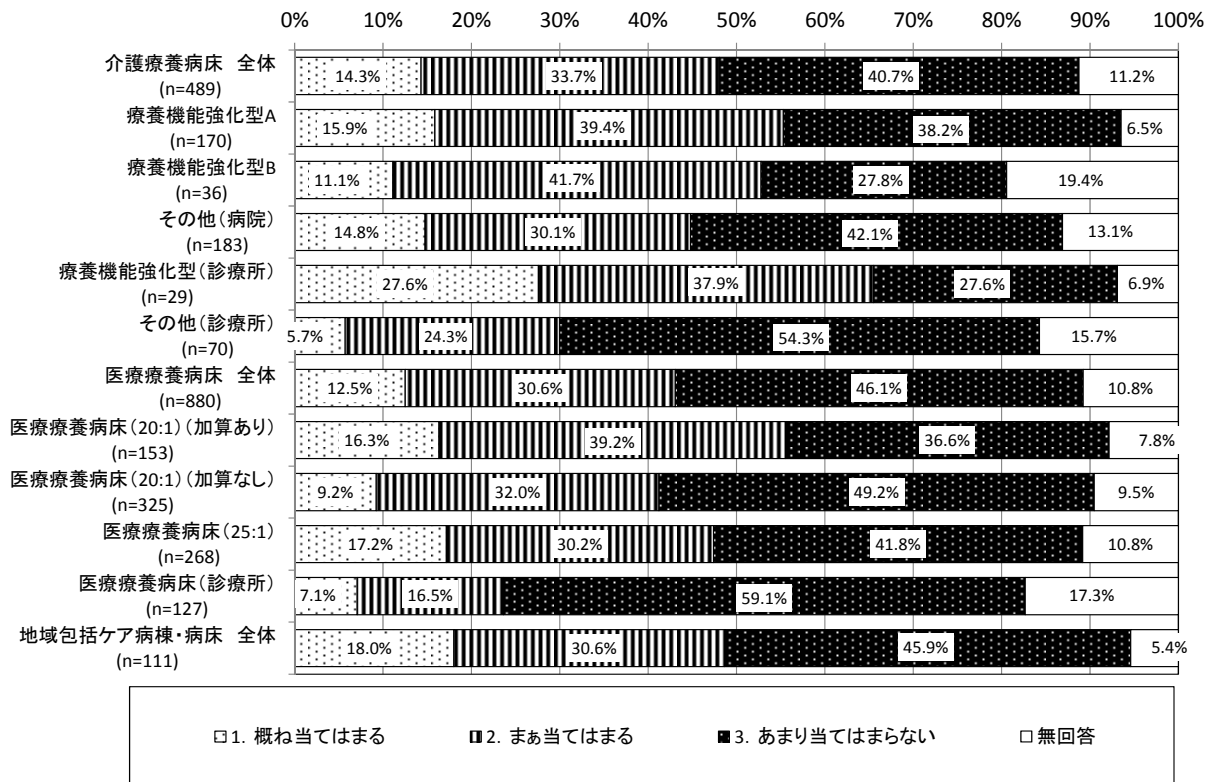


図表 BPSD が現れている認知症高齢者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

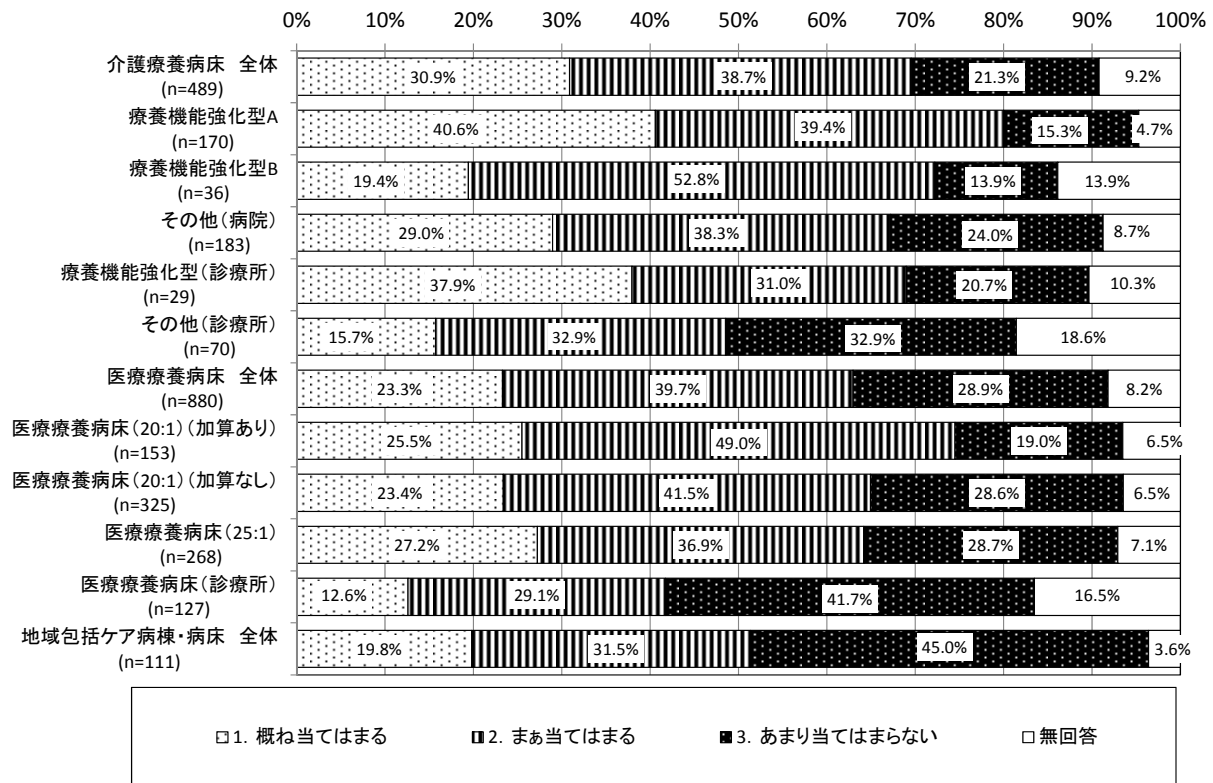


■今後の方針

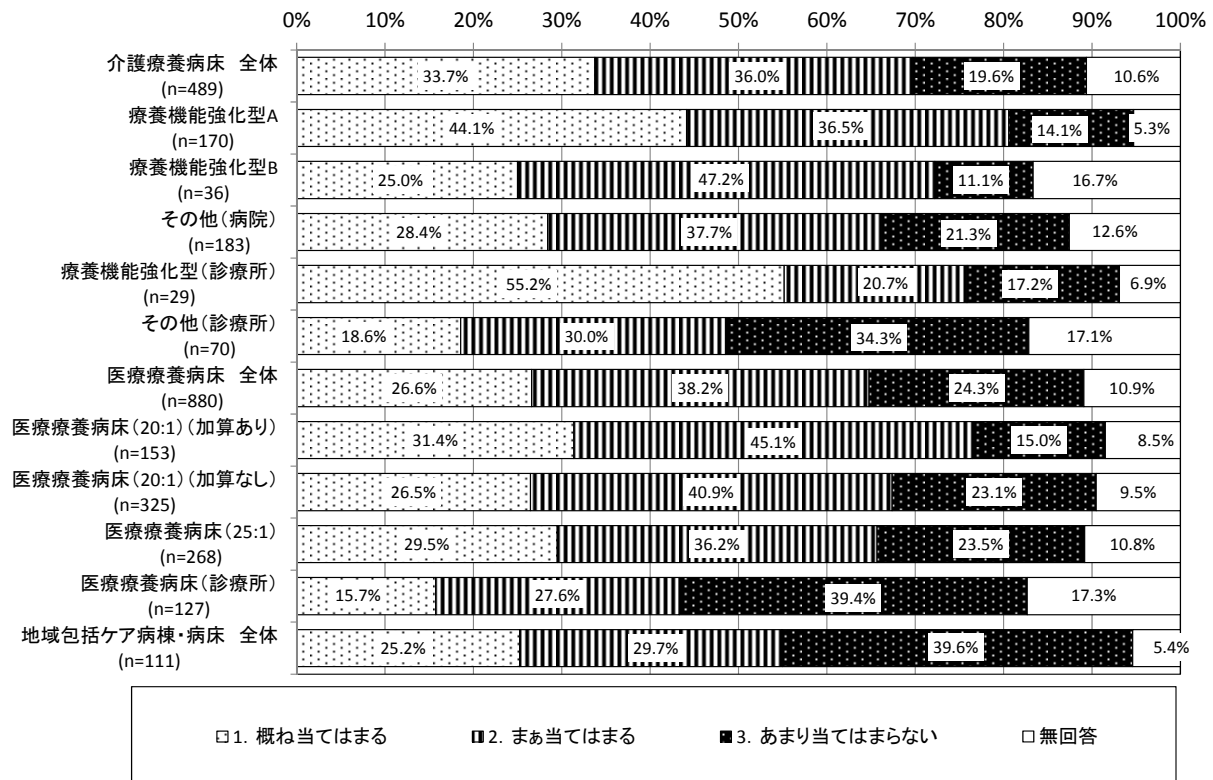


図表 身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

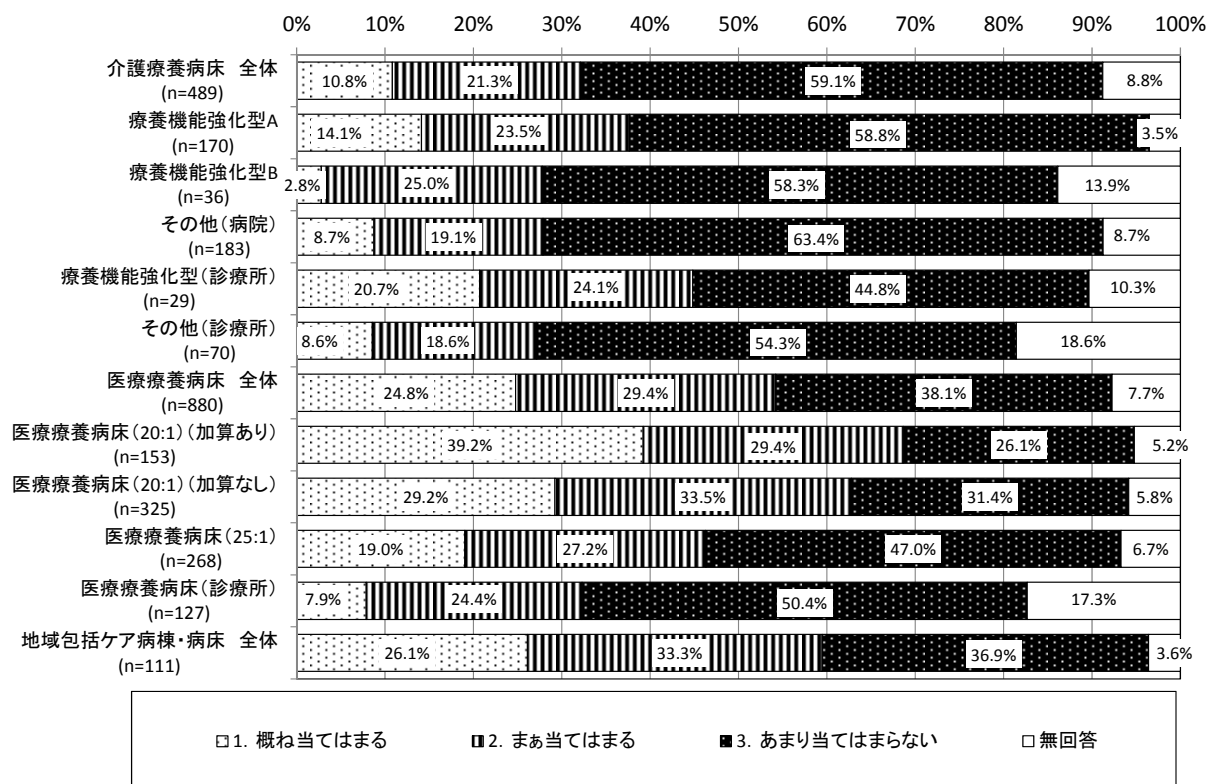


■今後の方針

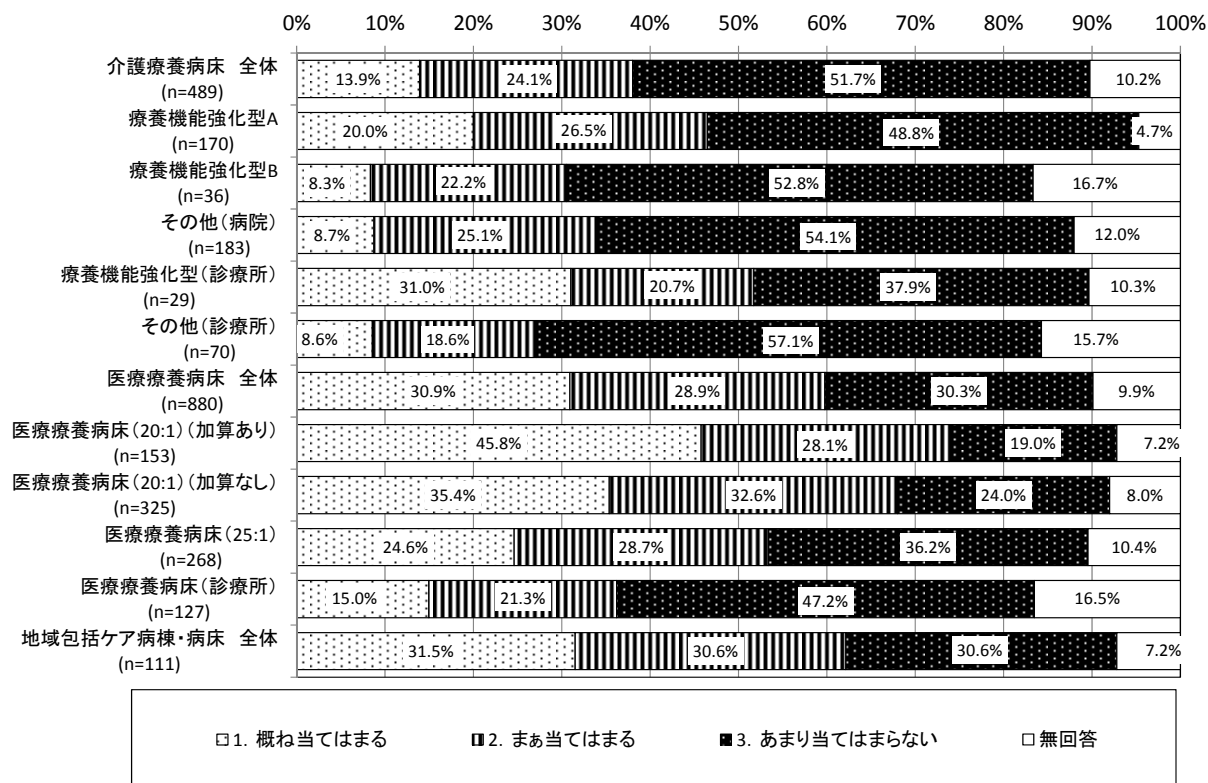


図表 麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

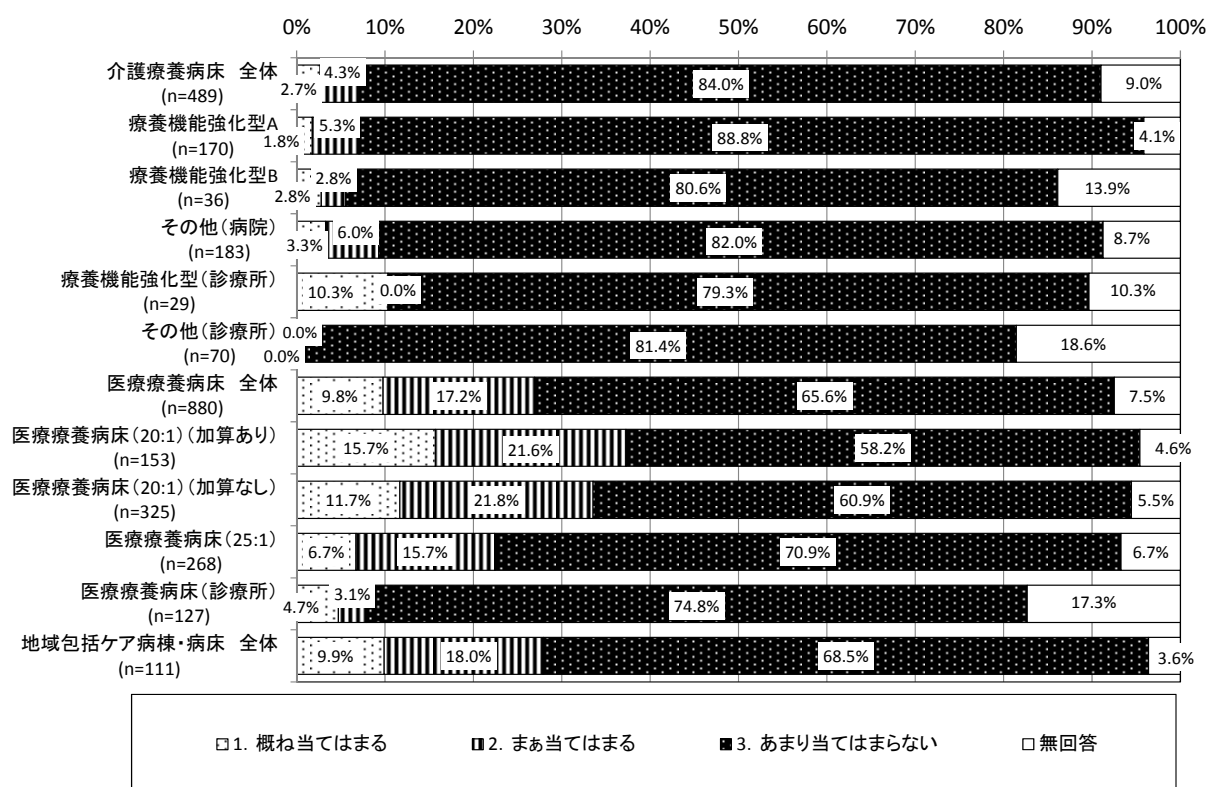


■今後の方針

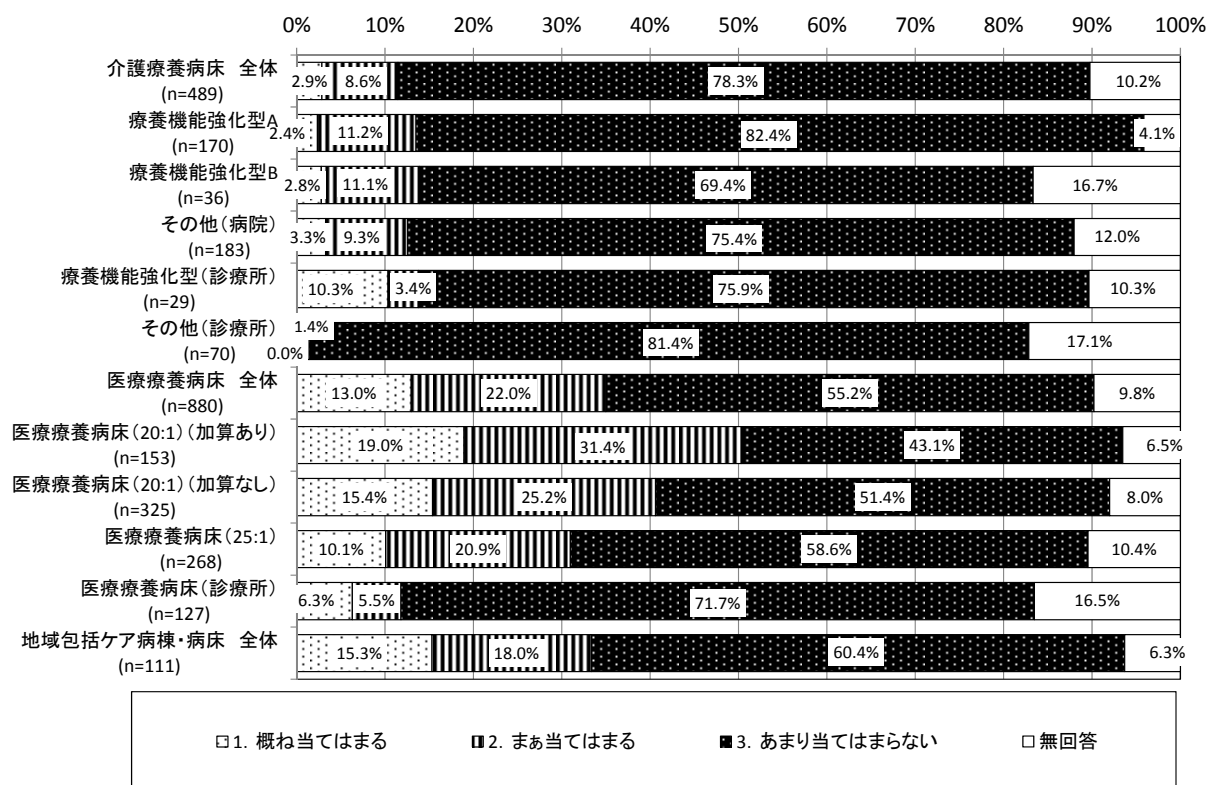


図表 人工呼吸器を必要とする患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

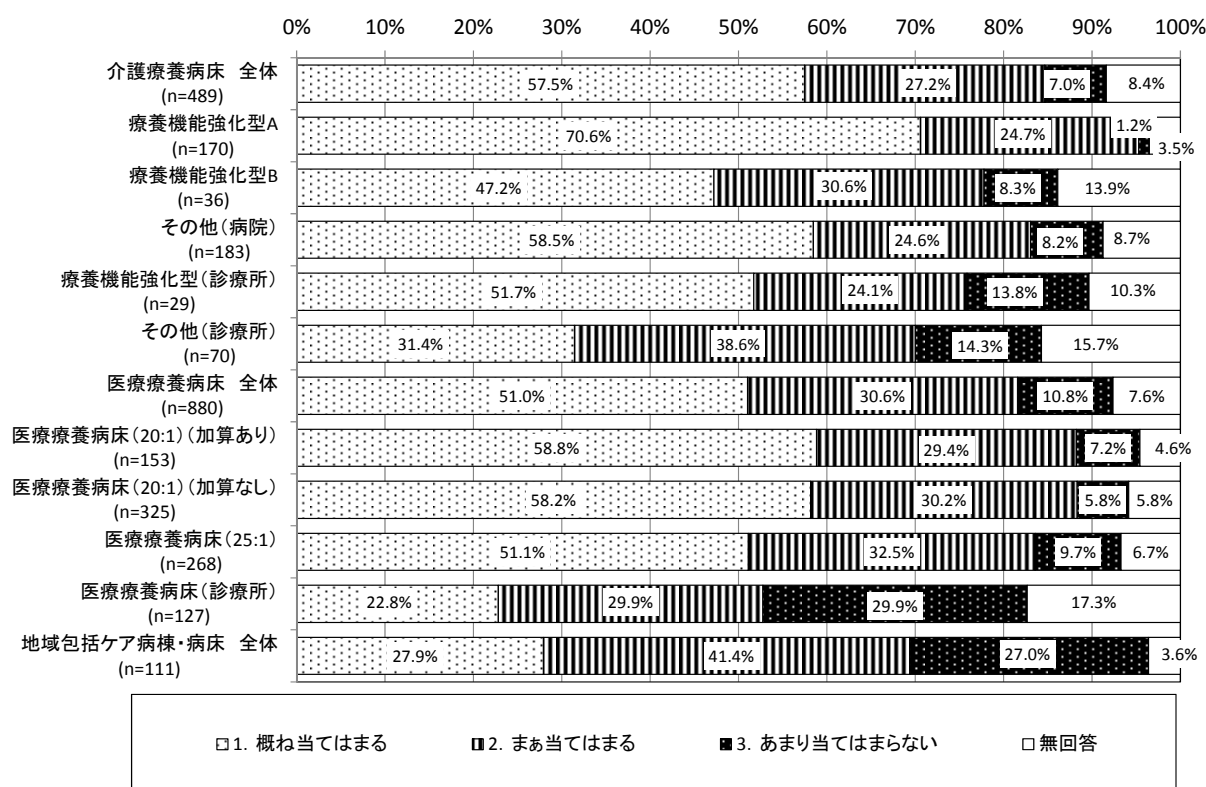


■今後の方針

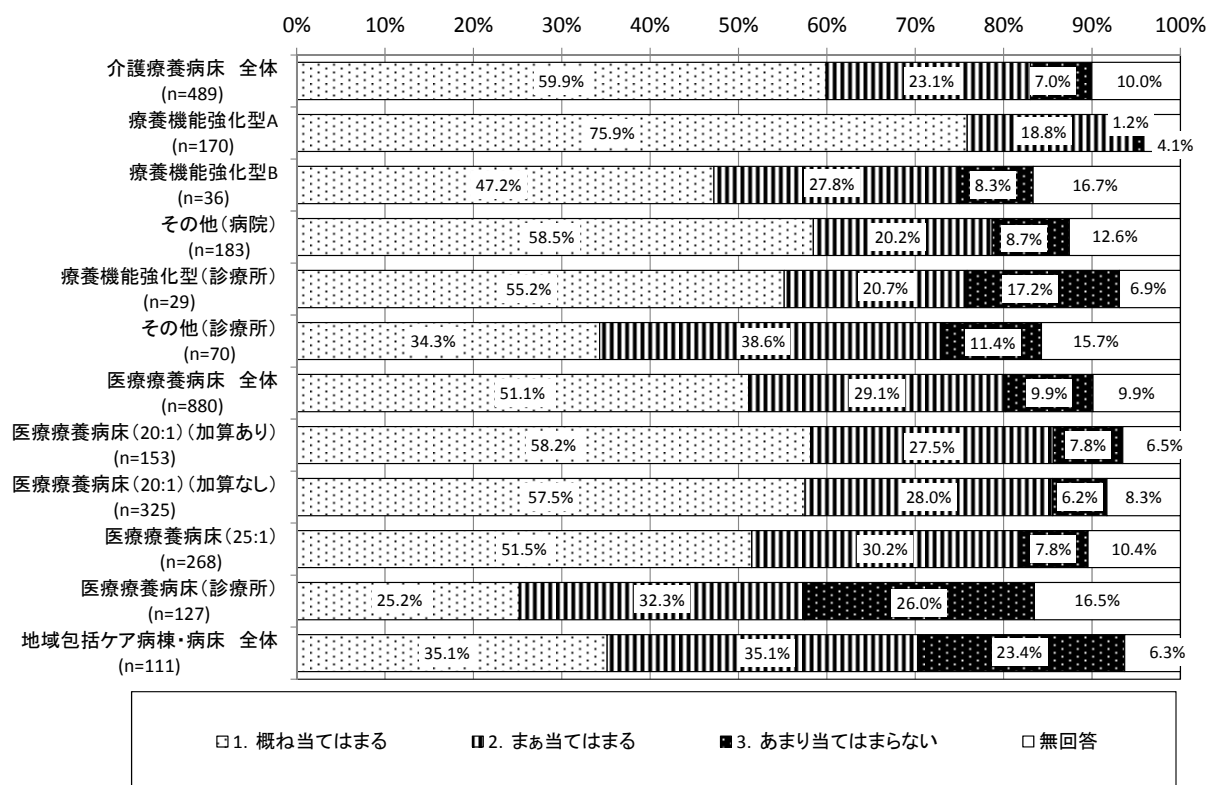


図表 経管栄養を必要とする患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

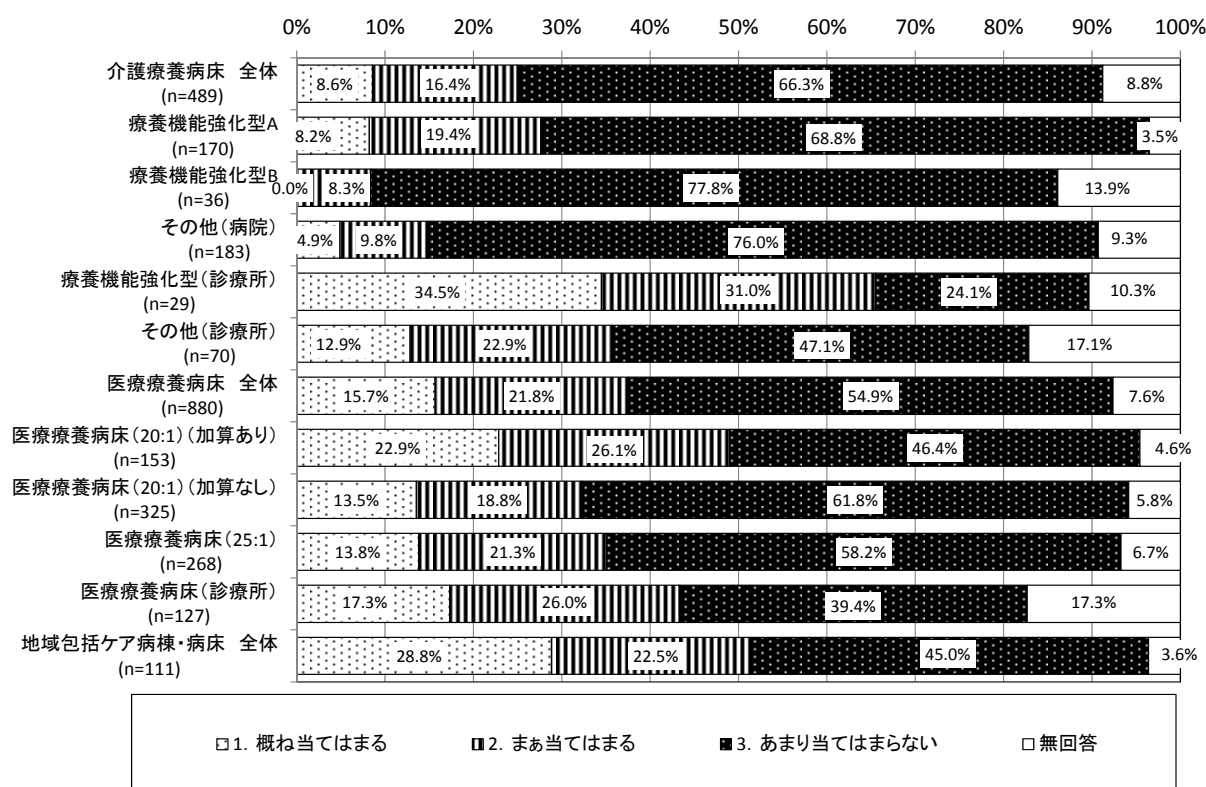


■今後の方針

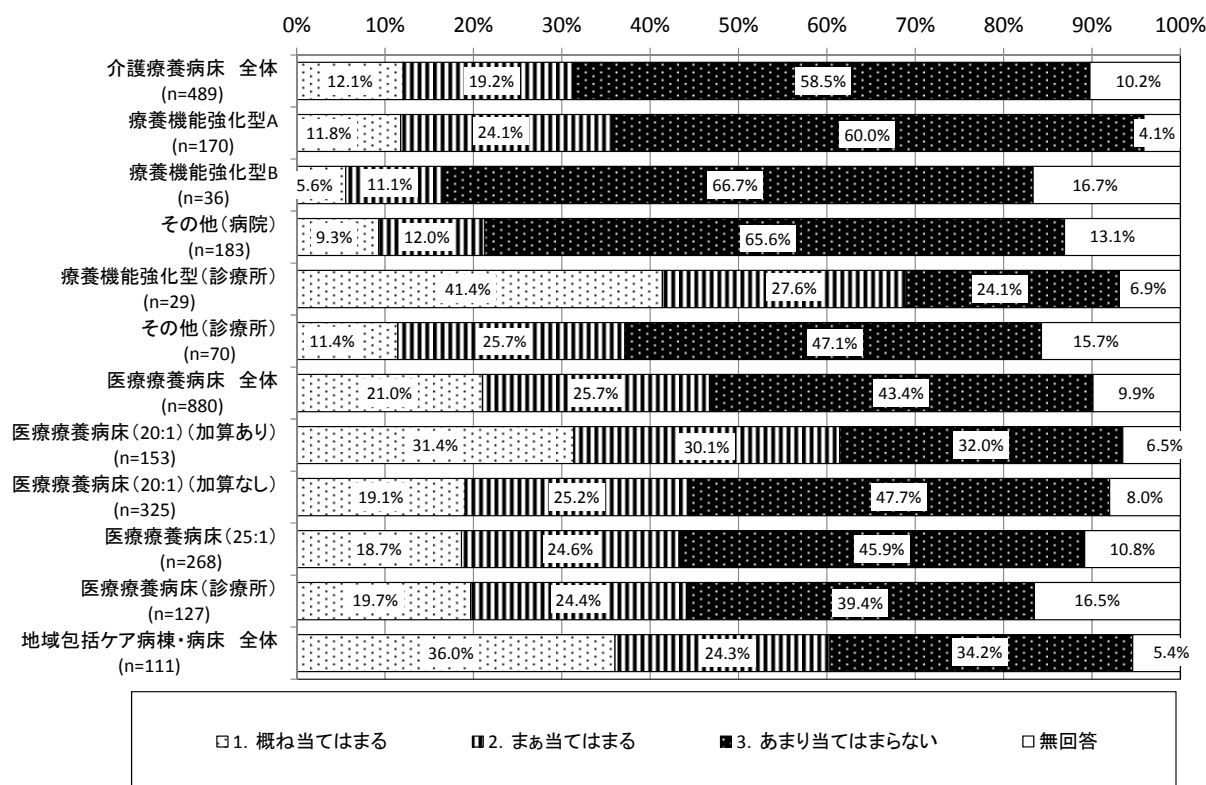


図表 在宅・介護施設からの救急搬送患者を直接受け入れる

■現在の受け入れ状況

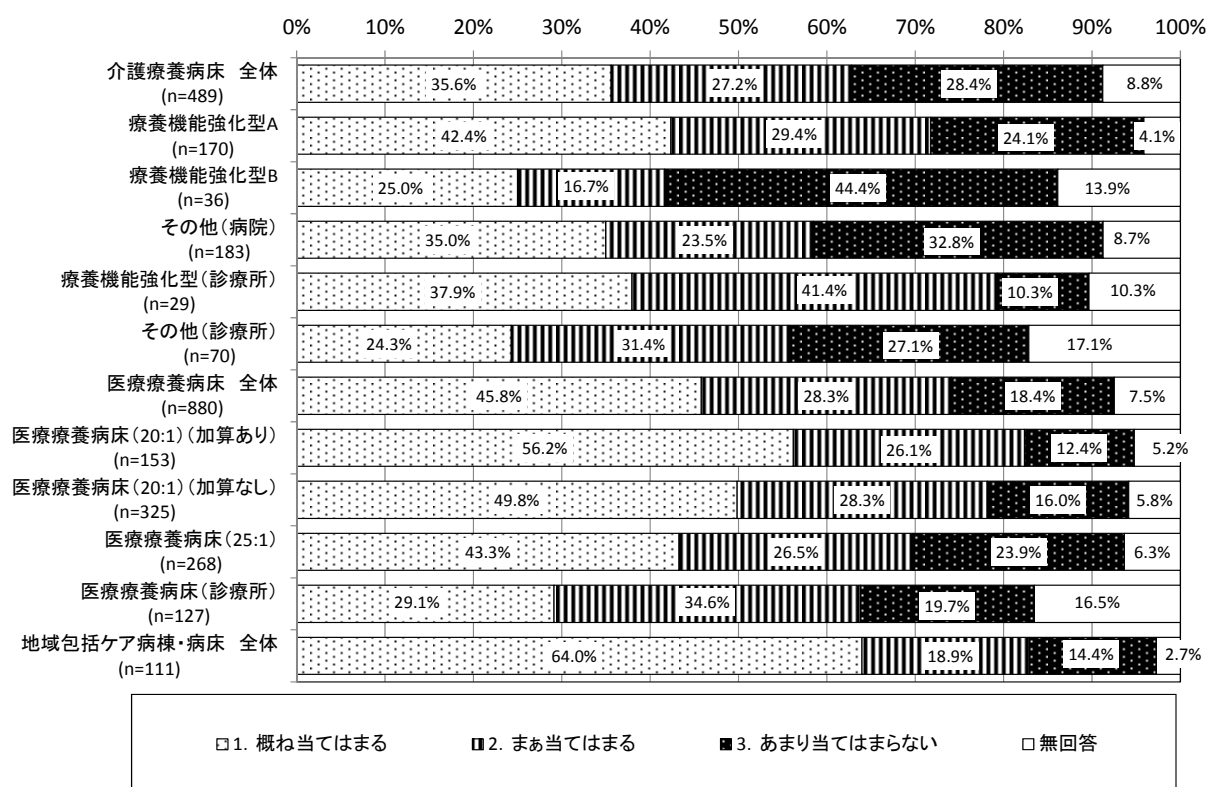


■今後の方針

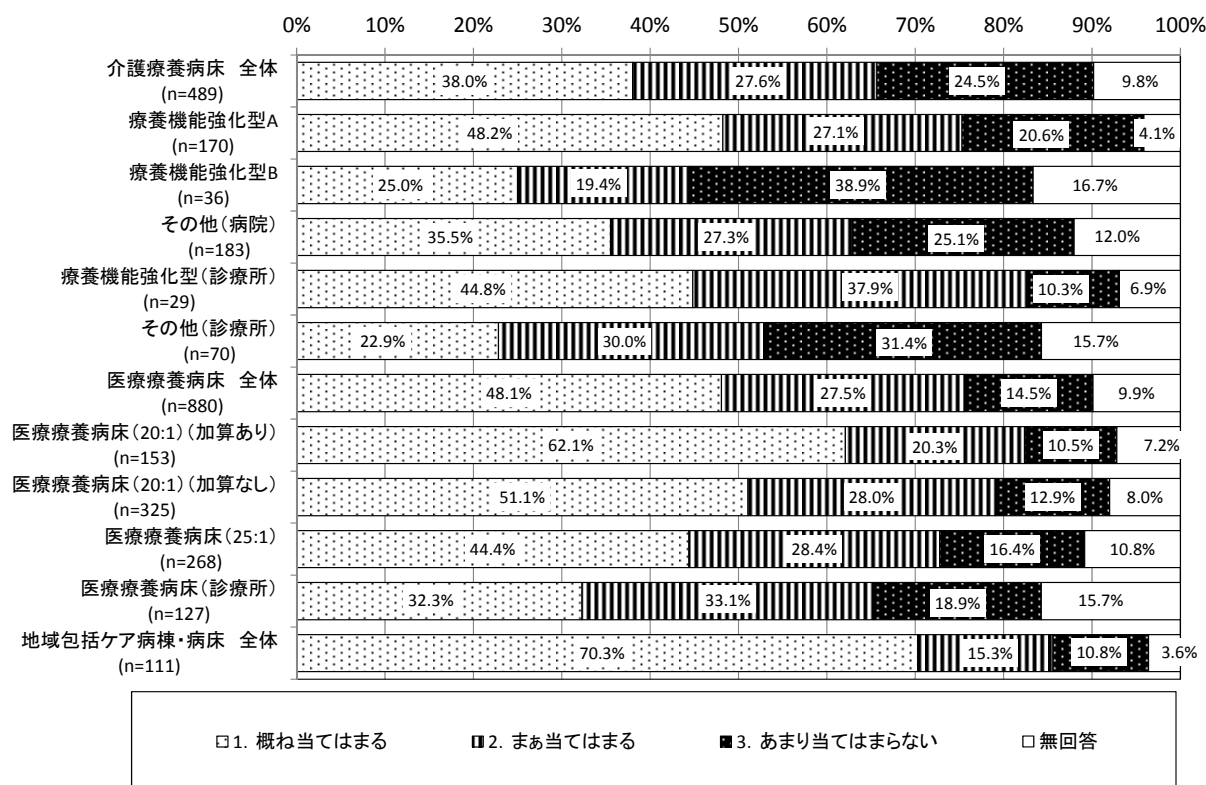


図表 他院（他病棟）で救急搬送後の処置を終えた患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

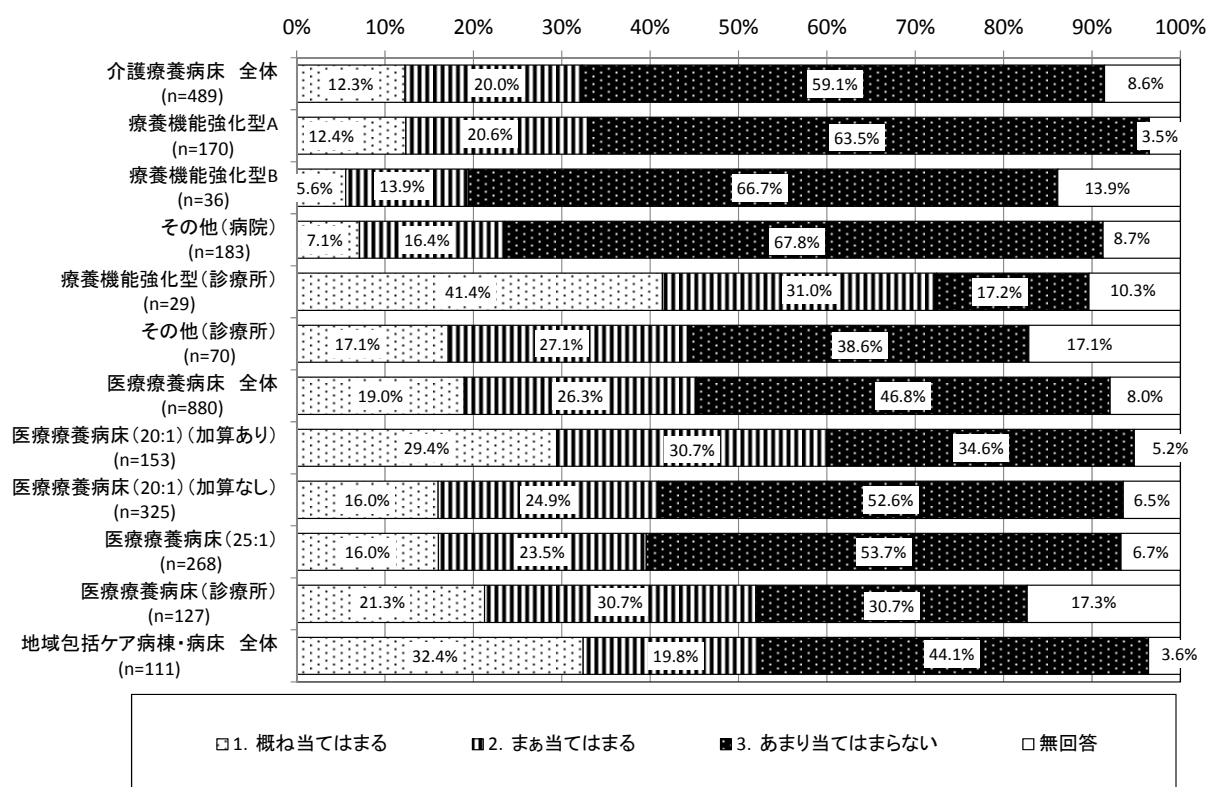


■今後の方針

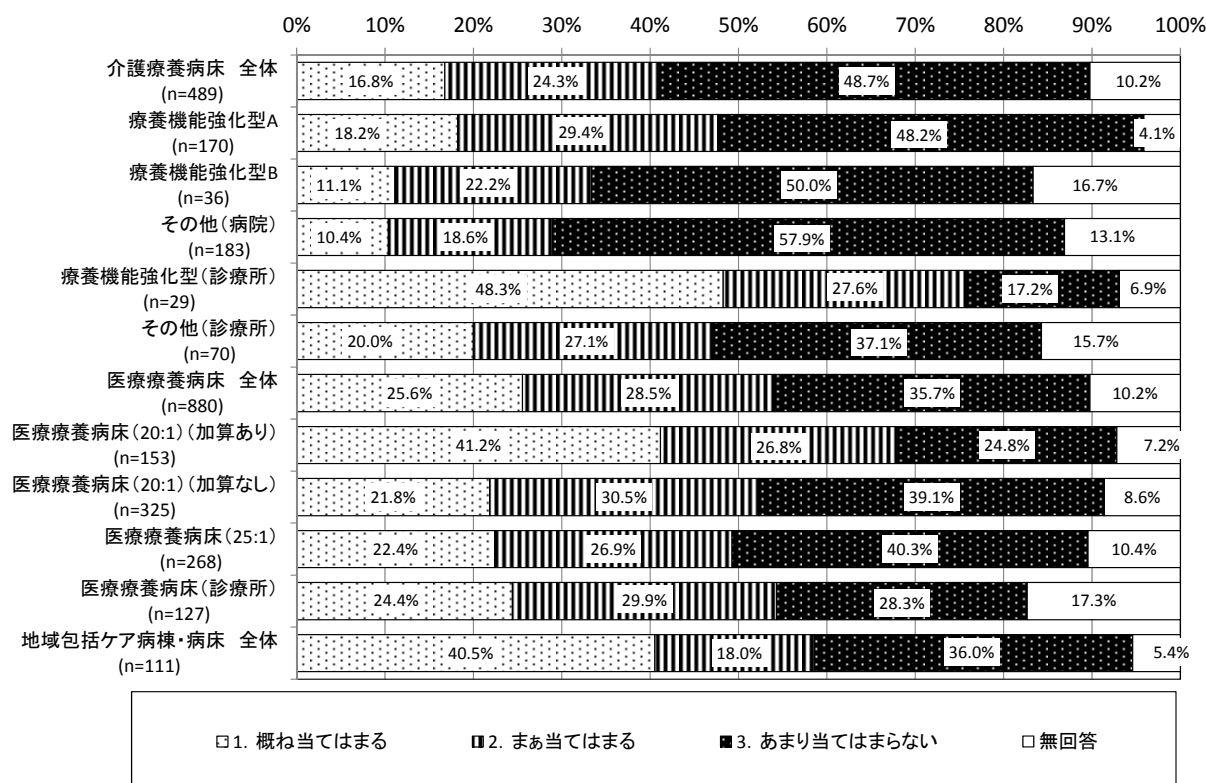


図表 在宅療養患者の急変時に積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況

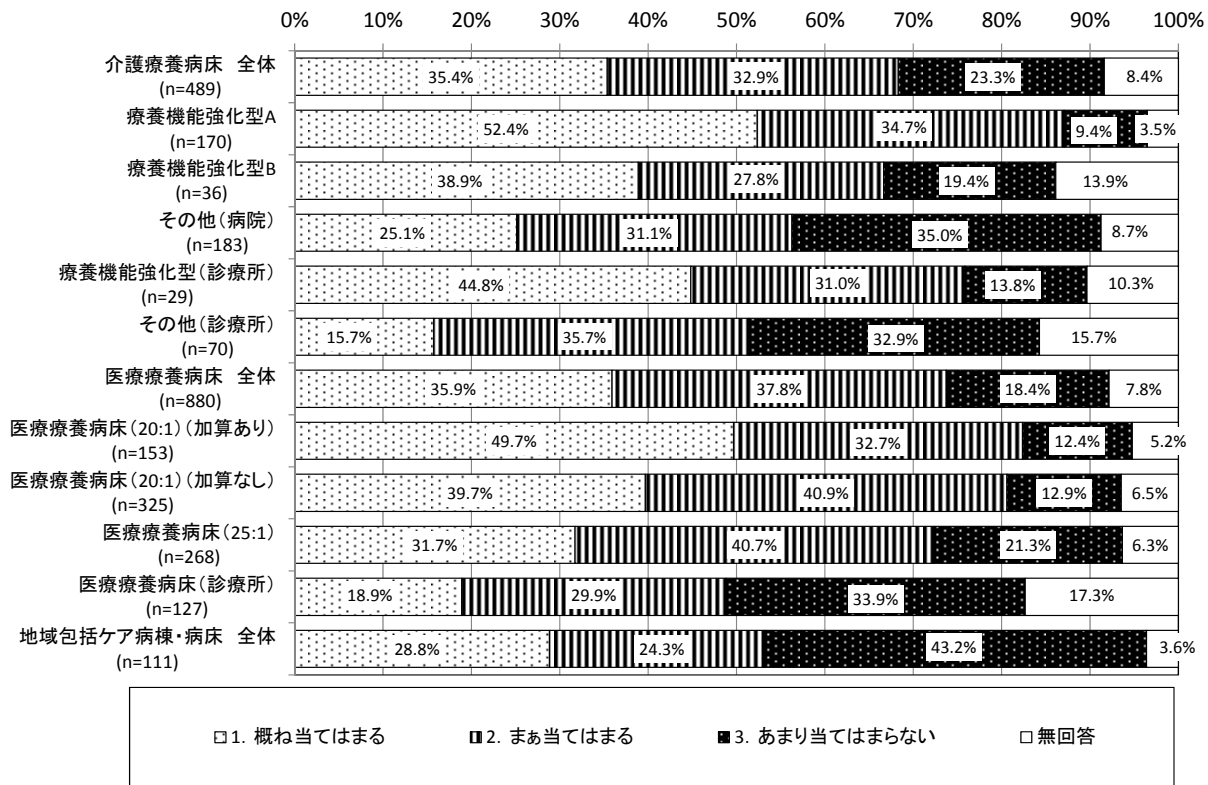


■今後の方針

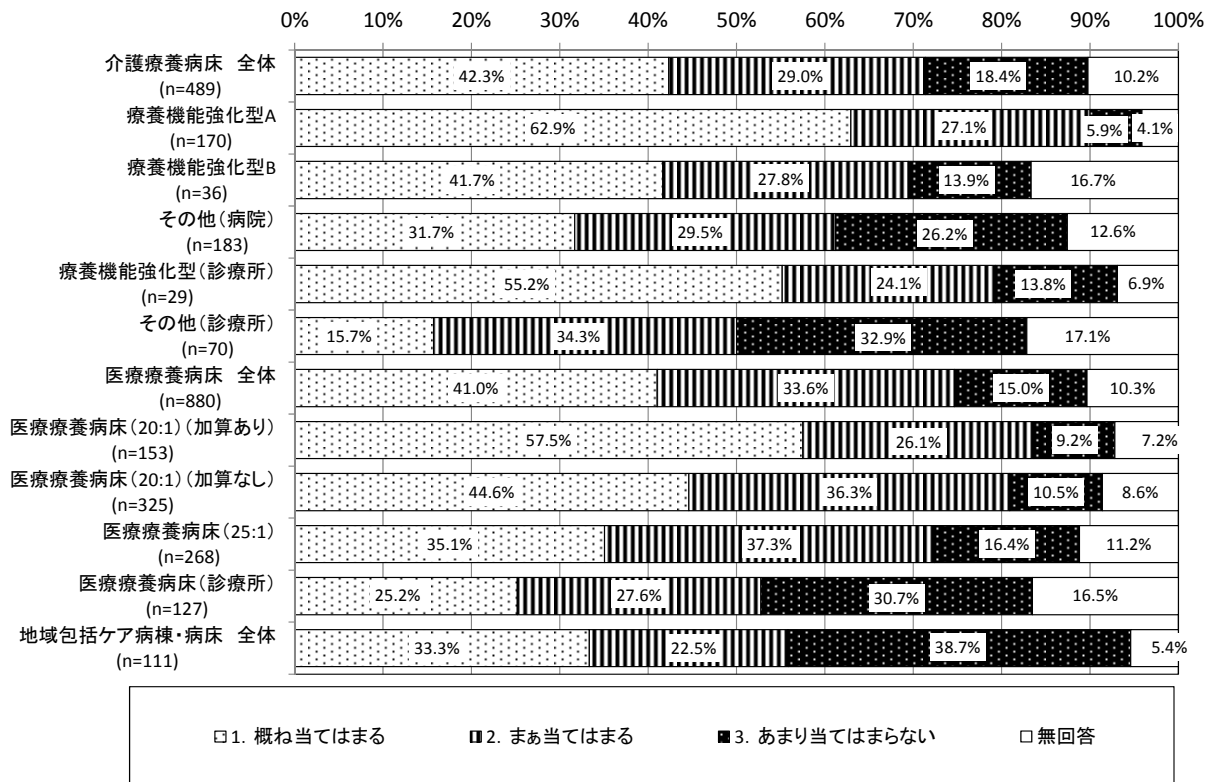


図表 ターミナル期の患者を積極的に受け入れる

■現在の受け入れ状況



■今後の方針



(2) 地域包括ケアシステムの圏域内の他の地域資源との連携

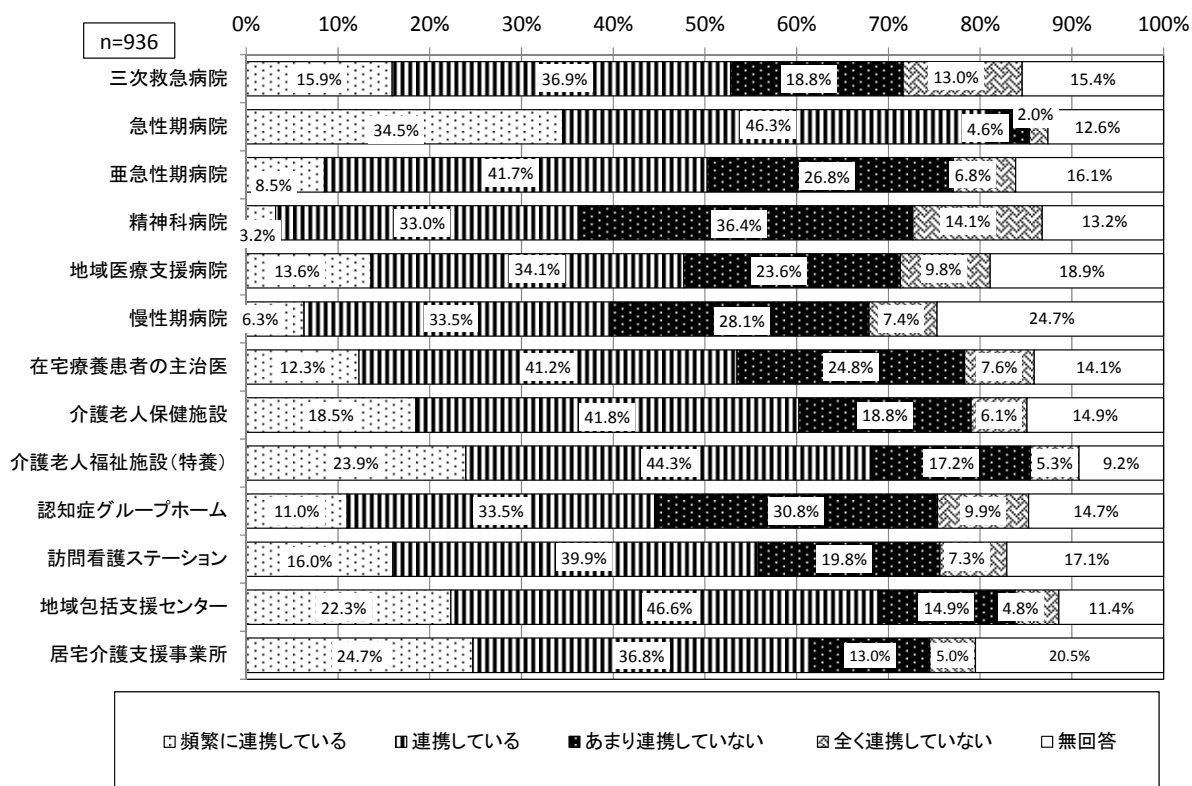
施設票において、他の地域資源（他法人）との連携について当てはまる程度を尋ねた。連携先の選択肢として「三次救急病院（救命救急センター・高度救命救急センター）」、「急性期病院」、「亜急性期（回復期）病院」、「精神科病院（病床）」、「地域医療支援病院」、「慢性期病院（療養病床）」、「在宅療養患者の主治医（診療所）」、「介護老人保健施設（老健）」、「介護老人福祉施設（特養）」、「認知症グループホーム」、「訪問看護ステーション」、「地域包括支援センター」、「居宅介護支援事業所」の13項目を挙げた。

「頻繁に連携している」と「連携している」を選んだ施設の割合についてみると、「急性期病院」が80.8%で最多、次いで「地域包括支援センター」が68.9%、「介護老人福祉施設（特養）」が68.3%であった。

また、各連携先について「自院（自法人）が有している」、「地域に該当する資源がない」の選択肢も設けた。

「あまり連携していない」、「全く連携していない」を選んだ施設を対象に、「自院（自法人）が有している」、「地域に該当する資源がない」と選択した割合を集計したところ、「慢性期病院（療養病床）」を除く各連携先において、選択があったのは「自院（自法人）が有している」、「地域に該当する資源がない」ともに1割程度もしくは1割を下回る程度であり、「あまり連携していない」、「全く連携していない」理由は「自院（自法人）が有している」、「地域に該当する資源がない」以外にあることが示唆された。

図表 他の地域資源との連携状況



(3) 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割への意見

「地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割」について自由回答で意見を求めたところ、「他の介護施設や在宅での療養が困難な患者の受け皿」、「急性期病院退院後の在宅復帰までのワンステップの場」、「看取り」、「他の介護施設や在宅療養患者の病状悪化時の受け入れ（レスパイトケアを含む）」といった役割が多くあげられた。

図表 意見の要約

<p>1. 他の介護施設や在宅での療養が困難な患者の受け皿</p> <p>例)・在宅療養支援のサービスを充実させても、在宅療養が継続できない医療依存度の高い患者は出てくる。その為、療養病床は必要だと考える。</p>
<p>2. 急性期病院退院後の在宅復帰までのワンステップの場</p> <p>例)・在宅患者は急病や体調不良時に三次救急病院や急性期病院に入院となりますが、急性期療養が一段落したが直ぐに在宅医療に移行するにはリスクを伴う患者や身体機能回復の前に一度リハビリテーションを実施して在宅へ移行する間の橋渡しの医療を担うものとして考えています。</p>
<p>3. 看取り</p> <p>例)・医療ニーズの高い重度患者の看取りやターミナルケアを中心とした在宅療養や介護施設で対応困難な型の受入施設。</p> <p>・療養病床は今後も急性期病床などからの受け皿として必要。その上で、「医療療養」は医療必要度の高い患者、「介護療養」は一定の医療処置が必要であり、かつターミナルケアを必要とする患者の受け皿となるのではないか。</p>
<p>4. 他の介護施設や在宅療養患者の病状悪化時の受け入れ（レスパイトケアを含む）</p> <p>例)・これからの療養病床は、急性期医療から在宅医療への移行がスムーズに行われるための、医療を提供する機能が求められると思います。また、在宅患者が入院医療を必要になったときは、患者の状況により受け入れできる機能を備えた療養病床を築くことが、地域包括ケアシステムにおける役割と考えます。このような役割を担い質のある医療提供できる療養病棟は、急性期病床と在宅療養の中間に位置付けられると考えます。</p> <p>・在宅患者、有料老人ホーム等の在宅型施設への後方支援。(レスパイト入院や医療介入が必要な時の日中、夜間、休日問わず緊急的な対応)</p>

※自由回答の全文は資料編に掲載している。

Ⅱ ヒアリング調査の結果

1. ヒアリング調査の実施概要

平成27年9月3日～平成28年1月29日の期間に6箇所のヒアリング調査を実施した。
 ヒアリング調査の所要時間は1時間～1時間半であった。
 ヒアリング対象先の属性は下記のとおりである。

図表 ヒアリング調査先の概要

病院名	調査対象区分		エリア	実施日	対応
	介護療養	医療療養			
A 病院	162 床 (強化型 A)	150 床 (20:1)	首都圏近郊 (南関東)	2015 年 9 月 3 日	Dr × 2、Ns × 2、 PT × 2、事務 × 1
B 病院	169 床 (強化型 A)	—	地方都市 (政令市) (東海)	2015 年 9 月 16 日	Dr × 1、事務 × 2
C 病院	104 床 (その他)	—	首都圏近郊 (南関東)	2015 年 10 月 6 日	Dr × 2、Ns × 1、 事務 × 1
D 病院	100~150 床	150~200 床 (20:1)	地方都市	2015 年 10 月 28 日	Dr × 2、Ns × 1、PT × 1、 MSW × 1、事務 × 3
E 病院	81 床 (その他)	71 床 (20:1)	東京都心 (南関東)	2016 年 1 月 28 日	Dr × 1、Ns × 1、 事務 × 1
F 病院	60 床 (強化型 A)	91 床 (20:1)	地方都市 (四国)	2016 年 1 月 29 日	Dr × 1、 Ns × 1

2. ヒアリング調査のまとめ

ヒアリング調査の報告は資料編に詳細に紹介しているが、下記では調査項目別に得られた内容を簡潔にまとめている。

(1) ターミナルケアの提供について

	事例の抜粋
A 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアのカンファレンスの参加職種は、本人（参加できる場合）、家族、医師、看護師、リハビリ職（理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST））、介護職など、病棟で患者に関わる全職種である。ケースによっては病棟外から、医療相談員、薬剤師、管理栄養士などの職種が参加する。 ・以前は介護療養の患者がターミナル期に入ると医療療養へ転棟させていた。それは介護療養を在宅への復帰を目指す病棟と位置づけていたためである。しかし、医療処置を多く必要としない介護メインの患者であっても他の介護施設等ではターミナル期の対応が難しいこと、また、積極的治療ではなく自然な形での看取りの要望が増えていることから、介護療養でも看取りを担うようになった。
B 病院 【介】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と話し合いをした上で、ターミナルケアに係る計画をケアプランに追加している。家族との話し合いには院内の関係する職種もすべて参加している。 ・近隣の特養や老健では、施設内のすべての患者の看取りに対応することが難しいような印象を受けている。介護療養病床はターミナルケアを支える拠点となりうるのではないか。
C 病院 【介】	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルの定義は病院ごとに異なる。C 病院では、経口食が不可能となった時点でターミナルとする場合が多いが、経口で摂食できず経管栄養を実施していた患者で三食経口食が可能にまで回復した症例もあり、家族との話し合いや多職種でのカンファレンスを経て、個々のケースでターミナルケアを開始する時期を判断している。
D 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアプラン作成時には、各入院患者のサービス担当者会議に院内の関係職種と家族が集まりケアカンファレンスを実施している。その際に、家族の意向を聞きケアプランに反映させている。 ・ターミナルケアの定義があいまいであり、患者及びその家族に「回復の見込みがない」ことをどのように説明するかに困難を感じている。また、看取りや経管栄養に関する国民の理解が進む必要があると考えている。D 病院では健康セミナー等を開催するなかで、地域住民に対して終末期についても情報提供しているが、それだけでは死生観が十分に根付くことはないと感じている。国全体として、診療報酬・介護報酬等で病院に取り組みを促すだけでなく、もっと国民にターミナルの迎え方等について理解を深めさせるような取り組みを進めてほしい。

<p>E 病院 【介】 【医】</p>	<p>・医療療養には BPSD 等の症状が重度で E 病院しか受け入れ先がなかった者が入院を希望してくるケースが多い。入院時には差額のある個室でも入院を希望されることが多いが、E 病院での治療を経て症状が落ち着くと費用がさらに安い特養等の介護施設に退院していく。退院後に再度重度化し、再入院後 E 病院で看取りまで行う場合も多い。</p>
<p>F 病院 【介】 【医】</p>	<p>・ターミナルケアの提供を開始する際には多職種によるカンファレンスで話し合い、家族に説明を行う。家族へはリハビリの提供状況や病状の急変等、日頃から患者の状態像を連絡しているため、スムーズなコミュニケーションがとれている。</p>

(2) 介護療養及び医療療養の相違点について

	事例の抜粋
A 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・医療療養には重篤な身体疾患を有する者が多く、介護療養には重い認知症や身体合併症を有する認知症高齢者が多いという特徴がある。 ・医療療養と介護療養では、ケアの視点が違う。医療療養では医療行為、看護行為、治療行為にウェイトをおいた療養を行っている。介護療養では、ケア、介護、メンタル的なサポートなどにウェイトをおいた療養を行っている。したがって、強化型 A を算定しており医療行為を多く行っている介護療養であっても、介護の面のウェイトの方が大きい患者が介護療養に入院している。
B 病院 【介】	<ul style="list-style-type: none"> ・B 病院には医療療養病床がないため、重症な患者も介護療養に入院している。しかし、もし医療療養を持っていた場合、重症な患者を医療療養に転棟させることが考えられるため、療養機能強化型 A の算定は厳しくなると考えられる。
D 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・医療療養と介護療養の入院患者の相違点は、医療区分 2・3 の該当の有無にあり、ADL に大きな違いはない。したがって、介護療養の入院患者も病状が悪化し医療区分が上がった場合には、医療療養の入院対象となる。 ・療養病棟入院基本料 1 の算定には医療区分 2・3 の入院患者の割合が 8 割以上である必要があるため、医療療養では IVH 管理、神経難病、酸素療法、気管切開術後のケア、喀痰吸引 1 日 8 回以上、血糖測定等の医療処置が必要な患者が多い。D 病院の医療療養では、入院患者のうち 9 割以上が医療区分 2・3 に該当している。一方、介護療養では、経管栄養、点滴、ゼリー食等の摂食に関する対応が必要な患者が多い。
E 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・介護療養のみで運営していた頃は、体制上の理由から、外来患者や他の介護施設の入所者の急変時の受け入れを断っていたが、片方を医療療養に転換後は急変患者を受け入れているため、患者像が大きく変わった。また、在宅医からの紹介が増え、BPSD が現れている認知症高齢者や身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れている。 ・BPSD の重症度が高い患者は医療療養に入院している。BPSD が治まっても認知症は継続しているため介護は必要であり、家族が在宅で看られない患者を介護療養で受け入れる場合が多い。
F 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の患者は環境の変化に弱く、介護療養では同じ環境での長期療養が可能であるため、病状が安定しやすい。医療療養では患者の受け入れの際に性別への配慮や急変時の対応、個室への移動等、病室を移動する場合があります。環境の変化が生まれやすい。

(3) 地域包括ケアシステムにおける療養病床の役割について

	事例の抜粋
A 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進行により、高齢者の救急搬送が増加している。そのため、急性期の病棟がパンクしないように、すぐに退院できない患者は早めに療養病床に転院・転棟させ、療養病床でリハビリを行い、在宅復帰を目指す仕組みが必要である。急性期と慢性期の病院が連携し、病状が落ち着いたら早めに療養病床で受け入れるという、循環型の仕組みの一端を療養病床が担う。 ・在宅療養中の患者の容態が悪化した際に、救急病院ではなく、療養病床が直接入院を受け入れて在宅支援のサポートをするという慢性期救急の役割を担うことも重要と考える。
B 病院 【介】	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急入院（相談を受けてから 48 時間以内に受け入れを行うことと定義）を介護療養の一つの役割として捉えて取り組みを強化している。緊急入院総数は、平成 21 年度の 7 人に対し、平成 26 年度は 52 人へと増加しており、平成 27 年度も増加傾向は継続する見込みである。 ・特養の入所者が救急病院や急性期病院に救急搬送されると、無事退院できたとしても、元の特養には戻れず B 病院に入院するというケースが多い。そもそも、特養からの救急搬送は、経口で摂食が出来ない場合や肺炎の場合など、相対的に軽症な場合が多い。患者にとっての負担を考えると、軽症な疾患の場合には、特養から救急病院を経ることなく、直接紹介を受けて B 病院で受け入れたほうが良いのではないかと考えている。 ・また、急性期病院から退院の流れをスムーズに進めることも重要である。急性期病院から元の特養や在宅にスムーズに退院できない場合、急性期病院に長期入院することになりがちである。急性期病院では高齢患者の全身管理という観点が弱いいため、長期入院により褥瘡ができる割合が高いという印象をもっている。また、急性期病院自体も他の救急が受け入れられなくなる等の問題を抱えることとなる。
C 病院 【介】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築にあたり、その前段階として法人内での包括ケアの構築に取り組んでいる。C 病院の立地市内には同法人の運営する特養、老人ホーム、サ高住、グループホーム、デイケアセンター、在宅介護支援センターがあり、これらの利用者への途切れのない介護、医療の提供を目指し、その中心として C 病院は機能している。 ・地域包括ケアシステム構築の視点では、地域住民への健康相談や健診を通じて地域住民の病院への間口を広げ、市内の慢性期患者を多く受け入れることで、地域包括ケアシステムの一翼を担う方針である。
D 病院 【介】 【医】	<ul style="list-style-type: none"> ・療養病床の役割としては、急性期病院からの受け入れ、在宅や介護施設等からの急病者の受け入れ、ターミナルケア、難病や身体合併症を有する認知症高齢者へのケア、維持期のリハビリ、医師による医療観察、医療処置を必要とする重度の要介

	<p>護者の療養、が挙げられる。以上の役割を果たすにあたり、D 病院では在宅療養の支援や在宅、介護施設等からの急病者の受け入れの充実が課題になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けては、急性期、回復期、慢性期、在宅の医療機能分化の推進と円滑な情報共有の仕組みづくりを進める中で、紹介元と紹介先をどのように活用するかが重要になると考えている。
<p>E 病院 【介】 【医】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の患者が安心して入院できる施設が少ないのが課題である。E 病院では近隣の急性期病院と連携し、急性期病院で認知症患者の処置を実施後、速やかに E 病院で受け入れている。急性期病院は受け入れ先が確保できているため、認知症患者の救急を安心して受け入れることができる。また、E 病院としても急性期病院での処置が必要な際には、急性期病院に依頼し、処置後は再度受け入れるというギブアンドテイクの関係を構築している。
<p>F 病院 【介】 【医】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・F 病院の役割は、身体合併症を有する認知症患者の受け入れと、ターミナルケアの提供であると考えている。特に認知症患者の急変時への対応は療養病床の役割であると考えている。 ・関連法人の特養の入所者の急変時には、直接の受け入れ、夜間対応を含めた連携体制を構築している。 ・他法人の老健、特養の入所者の急変時には、急性期病院での処置後に受け入れを行い、F 病院で療養後、紹介元の特養に退院させる機能を担っている。

Ⅲ 総括

本調査は、以下の3点を検証することを目的としていた。

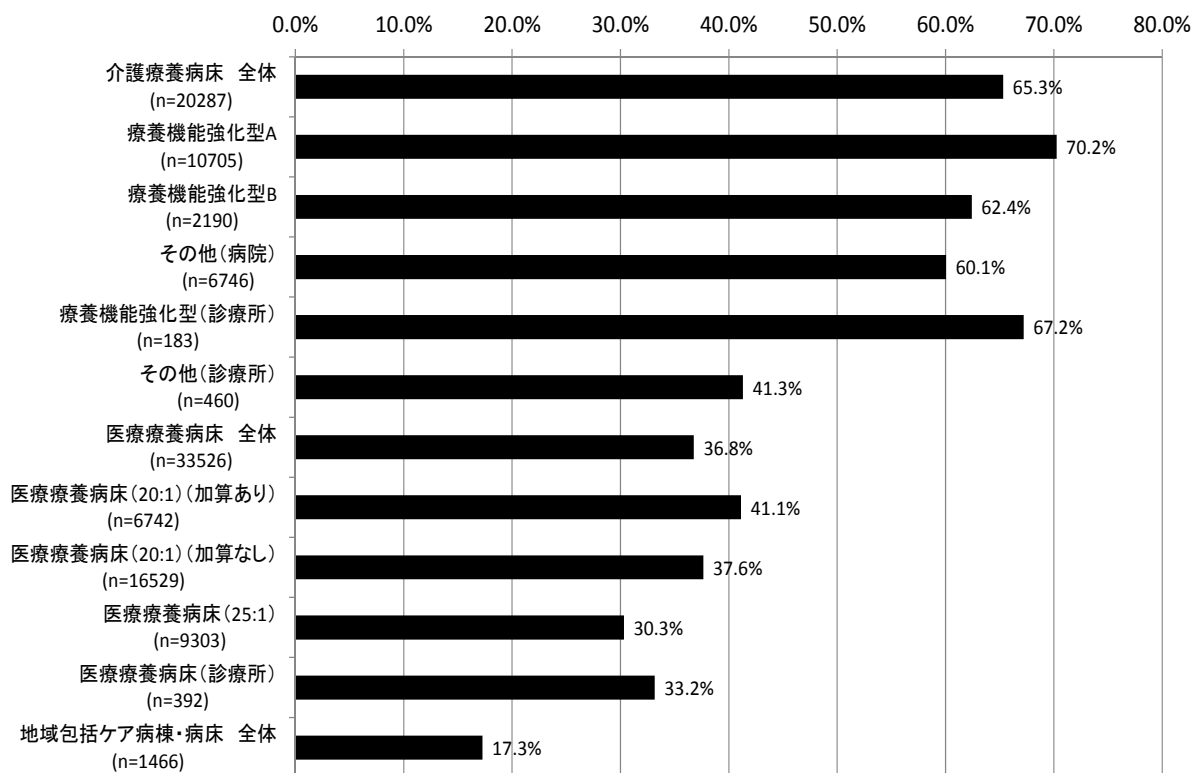
- 1) 平成27年度介護報酬改定において創設された「療養機能強化型介護療養型医療施設」の実態を把握するとともに、「療養機能強化型」でない介護療養型医療施設や、医療療養病床との差異についても検証する。
- 2) 介護療養型医療施設や医療療養病床が地域包括ケアシステムの中で担っている役割について検証を行う。
- 3) 地域包括ケアシステムを構築する過程で医療が必要な要介護高齢者を受け入れる施設の在り方について探求する。

■身体合併症を有する認知症高齢者について

介護療養病床では、身体合併症を有する認知症高齢者、特に「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者」が入院患者の65.3%を占めていた。一方、医療療養病床では36.8%であり、介護療養病床が医療療養病床より当該患者を多く受け入れていた。

積極的に受け入れる患者像においても「身体合併症を有する認知症高齢者」は「現在の受け入れ状況」、「今後の方針」とともに介護療養病床が医療療養病床を上回っており、「身体合併症を有する認知症高齢者」の受け入れは、介護療養病床の特色の一つといえる。

■認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Mに該当する者の割合【p. 22より再掲】



■ 認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者

介護療養病床では、療養機能強化型 A、B、その他の病院、療養機能強化型（診療所）で「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴ に該当する者」の割合が、算定要件の基準である 50%を上回っていた。また、その他の診療所でも算定要件の 40%を上回っており、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の要件は、療養機能強化型の算定の可否に大きな影響を与える要件ではないことが示された。

■リハビリテーションの取組について

リハビリテーションに係る取組の病床 100 床あたり職員数は、介護療養病床、医療療養病床ともに「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」の順に多く、いずれの職種でも医療療養病床の方が介護療養病床より多かった。リハビリテーションの 1 週間の延べ対象人数も医療療養病床の方が介護療養病床より多かった。さらに介護療養病床では、1 週間の延べ対象人数が「0 人」の施設が「理学療法士」で約 1 割、「作業療法士」で約 3 割、「言語聴覚士」で約 5 割であることから、多様なリハビリ専門職によるリハビリの提供が困難であることが示唆された。

また、リハビリテーションの実施内容を三職種間で比較すると、「理学療法士」では「歩行訓練」の割合が高く、「作業療法士」では「その他 ADL 訓練」、「記憶機能に関する訓練」、「認知機能に関する訓練」、「趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）」の割合が、「言語聴覚士」では「摂食・嚥下訓練」、「言語訓練」、「記憶機能に関する訓練」、「認知機能に関する訓練」の割合が高いという特徴がみられた。また、リハビリテーションの実施目的を三職種間で比較すると、「社会性（他者との交流等）維持、改善のため」、「記憶、認知機能の維持、向上のため」、「BPSD の軽減、適応のため」が「作業療法士」、「言語聴覚士」で割合が高かった。

介護療養病床では認知症高齢者の入院患者が多いことから、ADL の維持、改善はもちろんのこと、今後は認知機能の維持、向上に着目したリハビリの普及を検討する必要があるのではないかと。

■ターミナルケアの提供について

介護療養病床では、「全ての入院患者の延べ入院日数に占めるターミナルケアを提供している入院患者の延べ入院日数の割合」が 12.1%であった。一方、医療療養病床では 4.0%であった。また、「病床 100 床あたりのターミナルケア提供者数」でも、介護療養病床が 13.7 人、医療療養病床が 4.7 人であり、介護療養病床が医療療養病床より多くの患者にターミナルケアを提供していることが示された。

介護療養病床の施設類型別にみると、療養機能強化型 A、B、療養機能強化型（診療所）では、「全ての入院患者の延べ入院日数に占めるターミナルケアを提供している入院患者の延べ入院日数の割合」が 20.8%、11.0%、28.5%であるのに対し、療養機能強化型を算定していない病院、診療所では 1.1%、1.5%となっていた。療養機能強化型の算定にあたり、「ターミナルケアの提供」が大きな壁となっていると考えられる。

図表 ターミナルケアを提供している入院患者数（平成 27 年 10 月 31 日時点）
【p. 30 より再掲】

	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数
介護療養病床 全体	422	3,080	12.1%	7.3	13.7
療養機能強化型A	169	2,502	20.8%	14.8	21.2
療養機能強化型B	36	286	11.0%	7.9	11.6
その他(病院)	155	228	1.1%	1.5	3.0
療養機能強化型(診療所)	22	57	28.5%	2.6	24.1
その他(診療所)	40	7	1.5%	0.2	1.6
医療療養病床 全体	715	1,833	4.0%	2.6	4.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	140	631	4.6%	4.5	7.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	274	656	3.3%	2.4	3.7
医療療養病床(25:1)	221	480	4.3%	2.2	4.2
医療療養病床(診療所)	75	35	8.6%	0.5	4.7
地域包括ケア病棟・病床 全体	89	56	3.4%	0.6	2.3
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	4	4.2%	0.6	2.0
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0	—	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	71	47	3.4%	0.7	2.4
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	4	1.1%	1.0	4.1

療養機能強化型を算定していない病院、診療所の「ターミナルケアの提供について困難と考えられること」についてみると、病院、診療所ともに「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいない）」、「要件となる患者を受け入れることが夜勤の人員体制上厳しい」が高い数値を示しており、ターミナルケアを必要とする患者がいない点、夜勤の人員体制が不足している点が、ターミナルケア提供の阻害要因となっていた。

療養機能強化型 A の「療養機能強化型の各要件を満たす上で困難と考えられること」をみると、「ターミナルケアの提供」について「要件を満たすことに困難はない」への回答が「重篤な身体疾患を有する者及び認知症高齢者」、「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」、「リハビリの提供」に比べて低かった。「ターミナルケアの提供」において困難と考えられることとしては、「要件となる割合まで患者を集めることが難しい（該当する患者がいない）」が最多となっており、要件の基準が実態と合っていない可能性が示唆された。

図表 ターミナルケアの提供について困難と考えられること（複数回答）
【p. 63 より再掲】

	施設数	要件を満たすことが困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他
介護療養病床 全体	415	40.5%	36.4%	24.3%	12.0%	15.7%	2.2%	9.2%	5.1%
療養機能強化型A	162	63.0%	28.4%	12.3%	8.0%	5.6%	0.6%	6.2%	3.1%
療養機能強化型B	33	33.3%	45.5%	12.1%	6.1%	15.2%	0.0%	15.2%	9.1%
その他(病院)	157	17.8%	45.9%	37.6%	16.6%	23.6%	3.8%	14.0%	7.0%
療養機能強化型(診療所)	22	63.6%	22.7%	13.6%	18.2%	18.2%	0.0%	4.5%	9.1%
その他(診療所)	41	31.7%	31.7%	36.6%	12.2%	24.4%	4.9%	0.0%	0.0%

ターミナルケアの取組状況では、特に「特定のガイドラインの使用」、「多職種によるカンファレンスの実施」、「独立した計画等の書式の整備」、「スタッフへの教育の場の提供」、「患者・家族との連絡調整を行っている」の 5 項目において介護療養病床が医療療養病床を上回っており、介護療養病床はターミナルケアに熱心に取り組んでいることがうかがえる。逆に医療療養病床では、上記 5 項目のうち、「特定のガイドラインの使用」、「多職種によるカンファレンスの実施」、「独立した計画等の書式の整備」、「スタッフへの教育の場の提供」の 4 項目において、「ほぼ全てに当てはまる」、「半数以上に当てはまる」と回答した割合が約 1 割～

2割と低い傾向がみられた。

調査研究委員会では、ターミナルケアについて、介護療養病床と医療療養病床では質や提供している内容が異なる可能性について意見があった。具体的には、介護療養病床では、ケアに重点をおいた療養を行っているため、看取りに向けた準備としてのターミナルケアの提供割合が高いと推測され、医療療養病床では医療行為、看護行為、治療行為に重点をおいた療養を行っているため、終末期医療行為としてのターミナルケアが行われているのではないかというものである。

■各病床種別が受け入れている患者像について

療養機能強化型 A は、認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者の割合が高い。喀痰吸引を入院患者の約 5 割に、経管栄養を約 7 割に提供している。ターミナルケアの提供割合は 20.8%であり、病床 100 床あたりのターミナルケア提供者数は 21.2 人である。総退院患者に占める「死亡」の割合が 51.2%であり、「看取り」の場としての機能を発揮している。

療養機能強化型 B は、認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者の割合が高いが、喀痰吸引を入院患者の 34.9%に、経管栄養を 43.0%に提供しており、療養機能強化型 A と比較すると、医療処置の実施が少なく、ターミナルケアの提供では、A より少ないものの、要件を満たす割合のターミナルケアを提供しており、該当する患者を集めることに苦戦しているものの、夜勤帯の人員体制を組むことができている。

その他の介護療養病床（病院）は、認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者の割合、喀痰吸引、経管栄養は療養機能強化型 B と大きな差はないが、ターミナルケアの提供に困難を抱えている。一方、在宅復帰率が高くなるほど、「自宅」や「特別養護老人ホーム」への退院が増加することから、在宅復帰へのワンステップの場としての機能を発揮している病院もあると考えられる。

在宅復帰機能強化加算を算定している医療療養病床（20:1）では、認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者の割合は低いが、平均在院日数が 200 日を下回っている。医療療養では、要介護度が不明・未申請の割合が高くなっており、この要因として介護保険サービスを利用していない高齢者の急性期・亜急性期への対応を行い、短期間の入院を経て退院させることがあると推測される。

在宅復帰機能強化加算を算定していない医療療養病床（20:1）では、喀痰吸引を入院患者の 62.4%に、経管栄養を入院患者の 73.7%に実施しており、介護療養病床や他の医療療養病床に比べると医療処置の割合が高い。医療区分 2・3 の患者を 8 割以上受け入れているが、平均在院日数は在宅復帰機能強化加算を算定している医療療養病床（20:1）より長く、介護療養病床より短い 375.7 日である。

医療療養（25:1）は、認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者の割合は低く、喀痰吸引、経管栄養の実施割合は介護療養病床に近い。一方、医療区分 2・3 に該当する患者を約 6 割受け入れており、平均在院日数が 256.1 日と介護療養病床と比べて短いのが特徴である。

■地域包括ケアシステムの中で療養病床が担っている役割について

今回の調査対象病院についてみると、地域包括ケアシステムの圏域内の他の地域資源との連携では、急性期病院との連携の割合が高く、急性期病院での治療を終えた患者を積極的に受け入れていることがわかる。

介護療養病床が積極的に受け入れている患者像としては、「経管栄養を必要とする患者」、「ターミナル期の患者」、「身体合併症を有する認知症高齢者」、「他院（他病棟）で救急処置を終えた患者」、「リハビリを必要とする患者」の回答が多かった。一方、医療療養病床では「在宅復帰を目指す患者」、「麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者」、「人工呼吸器を必要とする患者」の受け入れについて、介護療養病床より積極的であった。

以上から、介護療養病床、医療療養病床ともに経管栄養等の医療処置が必要な急性期病院での治療を終えた患者を積極的に受け入れている。高齢化の進行により、高齢者の救急搬送が増加しており、今後も増加することが見込まれる。そのため、急性期の病棟がパンクしないように、すぐに退院できない患者は早めに療養病床に転院・転棟させ、療養病床でリハビリを行い、在宅復帰を目指すという、急性期と慢性期の病院が連携した、循環型の仕組みの一端を療養病床が担っている。

また、介護療養病床、医療療養病床ともに「ターミナル期の患者」の受け入れに積極的であり、看取りにおける役割も大きいと考えられる。介護療養病床は医療療養病床と比較してターミナルケアの提供割合が高く、ターミナルケアの各取組に熱心に取り組んでおり、ケアに重点をおいた看取りを提供していることがうかがえる。

■地域包括ケアシステムを構築する過程で医療が必要な要介護高齢者を受け入れる施設の在り方について

地域包括ケアシステムを構築するためには、今後とも一層各種の施策や工夫が必要であると考えられる。今回の調査結果から、常時医療行為を必要とする中重度要介護者及び重篤な長期高齢入院患者のターミナルケアを提供できる医療体制の地域における確保が必要不可欠である。

調査結果から介護療養病床が実質的に担っている「経管栄養を必要とする患者」、「ターミナル期の患者」、「身体合併症を有する認知症高齢者」、「他院（他病棟）で救急処置を終えた患者」、「リハビリを必要とする患者」の受け入れという役割を今後とも確保するために、例えば医療療養病床あるいはこれらの機能を代替できる施設および在宅システムを準備する必要がある。このような施策やシステムが確保できないのであれば、地域包括ケアシステム自体の円滑な展開は困難とならざるをえない。さらに、在宅療養患者や他の介護施設入所者の救急搬送の増加が見込まれることから、「在宅療養患者の主治医」、「介護老人保健施設」、「介護老人福祉施設（特養）」等との連携の強化は不可欠である。今後こういった連携を推進するには、医療ソーシャルワーカーの配置を増やすなどの対応が望まれる。

参考資料

目次

資料1	在宅復帰率、平均在院日数と認知症高齢者の受け入れについて……………	資-1
資料2	ターミナルケア提供割合の算出について……………	資-8
資料3	1人1日当たりの平均単位数とリハビリの目的及び内容について……………	資-9
資料4	病床規模別の分析……………	資-18
資料5	一般病床の有無別の分析……………	資-26
資料6	地域別の分析……………	資-36
資料7	医療療養病床が療養機能強化型の要件を満たす件数について……………	資-73
資料8	アンケート調査における自由回答全文……………	資-74
資料9	ヒアリング調査結果概要……………	資-88
資料10	アンケート調査票	
	・施設票……………	資-110
	・介護療養病床票……………	資-114
	・医療療養病床票……………	資-124
	・地域包括ケア病棟票……………	資-132

資料1. 在宅復帰率、平均在院日数と認知症高齢者の受け入れについて

在宅復帰率、平均在院日数、認知症高齢者の受け入れ、他の地域資源との連携についてクロス集計を行った。

なお、回答数の少ないものについては、参考に留め置きたい。

図表 在宅復帰率別 平均在院日数の施設別分布（平成27年10月31日時点）

		施設数	平均在院日数						
			～半年	半年超～1年	1年超～2年	2年超～3年	3年超～4年	4年超	
在宅 復帰 率	介護療養病床 全体	0～20%未満	244	16.0%	13.5%	30.3%	25.8%	10.2%	4.1%
		20～40%未満	76	17.1%	22.4%	35.5%	19.7%	1.3%	3.9%
		40～60%未満	51	29.4%	17.6%	35.3%	15.7%	0.0%	2.0%
		60～80%未満	18	33.3%	27.8%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%
		80～100%	19	21.1%	10.5%	36.8%	10.5%	5.3%	15.8%
	療養機能 強化型A	0～20%未満	77	15.6%	16.9%	31.2%	22.1%	11.7%	2.6%
		20～40%未満	36	11.1%	11.1%	41.7%	25.0%	2.8%	8.4%
		40～60%未満	18	16.7%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	5.6%
		60～80%未満	7	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
		80～100%	6	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	療養機能 強化型B	0～20%未満	22	22.7%	4.5%	31.8%	18.2%	13.6%	9.1%
		20～40%未満	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		40～60%未満	6	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
		60～80%未満	0	—	—	—	—	—	—
		80～100%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他 (病院)	0～20%未満	88	9.1%	11.4%	30.7%	33.0%	11.4%	4.5%
		20～40%未満	30	20.0%	33.3%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%
		40～60%未満	21	42.9%	14.3%	33.3%	9.5%	0.0%	0.0%
		60～80%未満	9	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能 強化型 (診療所)	0～20%未満	7	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%
		20～40%未満	17	23.5%	23.5%	29.4%	17.6%	5.9%	0.0%
		40～60%未満	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		60～80%未満	3	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他 (診療所)	60～80%未満	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		80～100%	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		0～20%未満	40	25.0%	12.5%	27.5%	25.0%	5.0%	5.0%
		20～40%未満	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	40～60%未満	3	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		60～80%未満	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		80～100%	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		0～20%未満	213	31.0%	29.1%	27.2%	7.0%	1.4%	4.2%
	医療療養病床 (20:1) (加算あり)	20～40%未満	132	34.8%	36.4%	25.0%	1.5%	1.5%	0.8%
		40～60%未満	154	50.0%	29.2%	16.9%	3.2%	0.6%	0.0%
		60～80%未満	144	55.6%	34.7%	6.9%	2.8%	0.0%	0.0%
		80～100%	94	58.5%	24.5%	9.6%	5.3%	2.1%	0.0%
		0～20%未満	7	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 (20:1) (加算なし)	20～40%未満	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		40～60%未満	29	58.6%	24.1%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		60～80%未満	75	57.3%	41.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		80～100%	33	54.5%	36.4%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%
0～20%未満		92	22.8%	34.8%	28.3%	8.7%	1.1%	4.3%	
医療療養病床 (25:1)	20～40%未満	70	32.9%	32.9%	27.1%	2.9%	2.9%	1.4%	
	40～60%未満	72	37.5%	37.5%	19.4%	4.2%	1.4%	0.0%	
	60～80%未満	30	40.0%	40.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	
	80～100%	17	35.3%	17.6%	41.2%	0.0%	5.9%	0.0%	
	0～20%未満	61	23.0%	34.4%	32.8%	8.2%	1.6%	0.0%	
医療療養病床 (診療所)	20～40%未満	51	35.3%	41.2%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40～60%未満	46	63.0%	21.7%	13.0%	2.2%	0.0%	0.0%	
	60～80%未満	33	69.7%	15.2%	9.1%	6.1%	0.0%	0.0%	
	80～100%	30	76.7%	20.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	
	0～20%未満	52	51.9%	13.5%	19.2%	3.8%	1.9%	9.6%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	20～40%未満	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40～60%未満	7	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	
	60～80%未満	6	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	80～100%	14	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	
	0～20%未満	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	20～40%未満	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40～60%未満	8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60～80%未満	21	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	80～100%	69	98.6%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 在宅復帰率別 退院先別退院患者数（平成27年5月～10月）

		施設数	総退院患者数	院内転棟	(院外)回復期リハビリテーション病棟	(院外)地域包括ケア病棟	(院外)療養病棟	(院外)その他の病棟	
在宅復帰率	介護療養病床全体	0～20%未満	241	3,878	27.7%	0.1%	0.1%	0.7%	8.4%
		20～40%未満	78	1,865	18.5%	—	—	1.7%	8.7%
		40～60%未満	53	1,128	13.0%	—	0.1%	0.9%	5.9%
		60～80%未満	19	702	17.7%	—	—	2.3%	7.3%
		80～100%	20	557	5.0%	—	—	—	4.8%
	療養機能強化型A	0～20%未満	80	1,845	20.4%	0.1%	0.1%	0.7%	7.9%
		20～40%未満	37	1,072	14.3%	—	—	1.6%	9.4%
		40～60%未満	18	459	9.6%	—	—	0.2%	6.5%
		60～80%未満	7	412	23.1%	—	—	3.4%	10.4%
		80～100%	6	186	5.4%	—	—	—	10.8%
	療養機能強化型B	0～20%未満	22	544	27.9%	—	—	0.6%	11.2%
		20～40%未満	3	72	27.8%	—	—	—	4.2%
		40～60%未満	6	165	13.3%	—	0.6%	2.4%	6.7%
		60～80%未満	0	—	—	—	—	—	—
		80～100%	1	26	3.8%	—	—	—	—
	その他(病院)	0～20%未満	90	1,297	40.0%	0.3%	0.1%	0.5%	7.5%
		20～40%未満	31	663	25.6%	—	—	2.1%	6.5%
		40～60%未満	23	390	19.2%	—	—	1.0%	4.1%
		60～80%未満	9	233	7.7%	—	—	0.9%	3.4%
		80～100%	8	337	5.0%	—	—	—	2.1%
	療養機能強化型(診療所)	0～20%未満	13	44	18.2%	—	—	—	9.1%
		20～40%未満	1	8	—	—	—	—	12.5%
		40～60%未満	3	92	1.1%	—	—	—	9.8%
		60～80%未満	1	43	11.6%	—	—	—	—
		80～100%	2	2	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0～20%未満	36	148	11.5%	—	—	2.7%	10.8%
		20～40%未満	6	50	4.0%	—	—	—	28.0%
		40～60%未満	3	22	22.7%	—	—	4.5%	—
		60～80%未満	2	14	42.9%	—	—	—	—
		80～100%	2	3	—	—	—	—	—
	医療療養病床全体	0～20%未満	199	5,283	21.5%	0.1%	0.1%	1.3%	7.5%
		20～40%未満	130	5,875	17.1%	0.2%	0.0%	2.0%	9.4%
		40～60%未満	158	7,954	12.8%	0.3%	0.1%	1.7%	8.5%
		60～80%未満	146	7,626	9.2%	0.1%	0.1%	1.1%	6.2%
		80～100%	94	4,770	5.9%	0.1%	0.0%	0.7%	3.9%
	医療療養病床(20:1)(加算あり)	0～20%未満	7	329	33.1%	—	—	—	8.5%
		20～40%未満	4	151	5.3%	—	—	2.6%	25.2%
		40～60%未満	30	1,995	14.4%	0.1%	—	1.5%	10.0%
		60～80%未満	75	3,936	9.3%	—	0.0%	1.0%	6.1%
		80～100%	33	1,834	5.2%	—	0.1%	0.8%	3.7%
	医療療養病床(20:1)(加算なし)	0～20%未満	93	2,731	18.9%	0.0%	0.1%	1.9%	8.9%
		20～40%未満	69	2,989	17.9%	0.1%	0.0%	2.6%	9.4%
		40～60%未満	73	3,158	13.5%	0.0%	0.2%	1.6%	7.4%
		60～80%未満	31	1,847	8.7%	0.2%	0.2%	1.1%	5.8%
80～100%		17	645	15.2%	—	—	1.2%	2.6%	
医療療養病床(25:1)	0～20%未満	61	1,960	20.1%	0.3%	—	0.9%	5.6%	
	20～40%未満	51	2,491	17.7%	0.4%	—	1.3%	7.5%	
	40～60%未満	48	2,696	11.3%	0.9%	—	2.1%	8.4%	
	60～80%未満	34	1,781	9.5%	0.1%	0.1%	1.2%	6.5%	
	80～100%	30	1,950	4.4%	0.2%	—	0.3%	4.2%	
医療療養病床(診療所)	0～20%未満	36	159	24.5%	—	—	—	8.8%	
	20～40%未満	4	33	15.2%	—	—	—	24.2%	
	40～60%未満	7	105	4.8%	—	—	—	17.1%	
	60～80%未満	6	62	1.6%	3.2%	—	—	6.5%	
	80～100%	14	341	0.3%	—	—	1.8%	5.6%	
地域包括ケア病棟・病床全体	0～20%未満	1	29	—	—	—	13.8%	—	
	20～40%未満	3	126	41.3%	—	—	1.6%	4.8%	
	40～60%未満	8	783	28.0%	0.1%	—	0.6%	4.7%	
	60～80%未満	23	2,231	13.5%	—	0.0%	0.7%	2.9%	
	80～100%	70	7,142	10.2%	0.1%	—	0.8%	2.1%	

※前頁図表の続き

		施設数	総退院患者数	自宅	特別養護老人ホーム	居住系施設 (特養を除く)	介護老人保健施設	その他	死亡	
在宅復帰率	介護療養病床 全体	0～20%未満	241	3,878	5.0%	4.5%	1.0%	7.1%	1.5%	46.2%
		20～40%未満	78	1,865	9.1%	8.8%	2.6%	8.0%	0.5%	43.9%
		40～60%未満	53	1,128	22.0%	9.5%	3.3%	5.3%	0.9%	39.1%
		60～80%未満	19	702	21.1%	7.7%	3.7%	2.7%	1.4%	36.2%
		80～100%	20	557	52.4%	7.5%	2.7%	1.3%	0.2%	26.0%
	療養機能 強化型A	0～20%未満	80	1,845	4.0%	3.5%	0.7%	6.3%	1.8%	55.1%
		20～40%未満	37	1,072	6.0%	9.0%	2.5%	5.8%	0.7%	51.1%
		40～60%未満	18	459	13.1%	7.6%	4.8%	5.0%	0.7%	52.5%
		60～80%未満	7	412	13.1%	6.8%	3.6%	2.2%	—	37.4%
		80～100%	6	186	13.4%	11.8%	5.4%	1.1%	—	52.2%
	療養機能 強化型B	0～20%未満	22	544	9.0%	6.1%	0.7%	6.3%	0.7%	38.4%
		20～40%未満	3	72	6.9%	4.2%	1.4%	—	—	55.6%
		40～60%未満	6	165	33.9%	4.8%	2.4%	6.1%	1.2%	28.5%
		60～80%未満	0	—	—	—	—	—	—	—
		80～100%	1	26	3.8%	—	—	—	—	92.3%
	その他 (病院)	0～20%未満	90	1,297	4.3%	5.0%	1.5%	9.2%	1.2%	34.2%
		20～40%未満	31	663	12.7%	8.9%	2.6%	13.0%	0.2%	33.0%
		40～60%未満	23	390	14.4%	15.1%	2.3%	6.9%	0.3%	36.4%
		60～80%未満	9	233	24.9%	10.3%	3.0%	4.3%	3.9%	41.6%
		80～100%	8	337	78.0%	5.9%	0.9%	1.5%	0.3%	6.2%
	療養機能 強化型 (診療所)	0～20%未満	13	44	—	2.3%	—	—	2.3%	75.0%
		20～40%未満	1	8	25.0%	12.5%	—	—	—	50.0%
		40～60%未満	3	92	80.4%	2.2%	—	—	4.3%	2.2%
		60～80%未満	1	43	74.4%	4.7%	9.3%	—	—	—
		80～100%	2	2	50.0%	—	50.0%	—	—	—
	その他 (診療所)	0～20%未満	36	148	11.5%	8.8%	1.4%	4.7%	4.1%	60.1%
		20～40%未満	6	50	28.0%	12.0%	6.0%	2.0%	4.0%	16.0%
		40～60%未満	3	22	9.1%	13.6%	9.1%	—	—	40.9%
		60～80%未満	2	14	28.6%	—	—	—	7.1%	21.4%
		80～100%	2	3	66.7%	—	—	—	—	33.3%
	医療療養病床 全体	0～20%未満	199	5,283	9.2%	2.4%	1.9%	7.3%	0.6%	48.9%
		20～40%未満	130	5,875	12.4%	3.4%	3.3%	6.6%	1.2%	43.5%
		40～60%未満	158	7,954	25.4%	4.4%	4.5%	7.7%	0.9%	34.1%
		60～80%未満	146	7,626	30.7%	6.2%	6.6%	5.6%	0.5%	33.7%
		80～100%	94	4,770	49.7%	5.6%	5.8%	3.8%	0.5%	26.5%
	医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0～20%未満	7	329	12.2%	5.5%	1.5%	13.4%	1.2%	24.6%
		20～40%未満	4	151	13.9%	7.3%	4.6%	2.0%	2.6%	36.4%
		40～60%未満	30	1,995	22.8%	4.4%	5.8%	5.9%	1.0%	31.7%
		60～80%未満	75	3,936	27.5%	6.7%	8.1%	4.5%	0.5%	36.3%
		80～100%	33	1,834	36.8%	6.5%	7.9%	3.8%	0.4%	37.1%
	医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0～20%未満	93	2,731	6.1%	2.0%	1.6%	4.3%	0.3%	55.7%
		20～40%未満	69	2,989	10.2%	2.7%	3.0%	5.0%	0.8%	49.3%
		40～60%未満	73	3,158	20.6%	5.0%	3.9%	6.6%	0.5%	43.7%
		60～80%未満	31	1,847	25.2%	5.4%	5.7%	5.5%	0.5%	40.8%
		80～100%	17	645	22.9%	5.7%	4.3%	4.0%	1.6%	53.8%
	医療療養病床 (25:1)	0～20%未満	61	1,960	12.3%	2.7%	2.6%	10.2%	0.8%	46.3%
		20～40%未満	51	2,491	14.6%	4.0%	3.2%	8.8%	1.6%	37.3%
40～60%未満		48	2,696	32.6%	3.6%	4.3%	10.4%	1.4%	25.0%	
60～80%未満		34	1,781	43.2%	6.1%	4.2%	8.3%	0.4%	20.0%	
80～100%		30	1,950	65.8%	5.1%	5.0%	4.1%	0.3%	10.8%	
医療療養病床 (診療所)	0～20%未満	36	159	22.6%	—	1.3%	14.5%	1.9%	28.9%	
	20～40%未満	4	33	18.2%	9.1%	21.2%	18.2%	6.1%	12.1%	
	40～60%未満	7	105	36.2%	3.8%	5.7%	5.7%	1.9%	24.8%	
	60～80%未満	6	62	30.6%	3.2%	9.7%	3.2%	—	41.9%	
	80～100%	14	341	77.7%	3.8%	2.6%	1.5%	1.2%	7.9%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0～20%未満	1	29	82.8%	—	—	3.4%	—	—	
	20～40%未満	3	126	18.3%	4.0%	7.9%	3.2%	14.3%	4.8%	
	40～60%未満	8	783	29.1%	7.2%	14.6%	9.2%	—	6.5%	
	60～80%未満	23	2,231	57.0%	5.3%	6.3%	7.1%	0.6%	5.6%	
	80～100%	70	7,142	67.4%	4.7%	5.6%	4.7%	0.5%	4.4%	

図表 平均在院日数別 退院先別退院患者数（平成27年5月～10月）

平均在院日数	施設数	総退院患者数	院内転棟	(院外)回復期リハビリテーション病棟	(院外)地域包括ケア病棟	(院外)療養病棟	(院外)その他の病棟		
								～半年	半年超～1年
介護療養病床全体	～半年	80	1,909	26.6%	—	—	0.6%	5.6%	
	半年超～1年	66	1,494	25.6%	—	—	2.3%	8.8%	
	1年超～2年	138	3,041	18.3%	0.1%	0.0%	0.7%	8.7%	
	2年超～3年	90	1,391	22.0%	0.1%	0.1%	0.6%	6.8%	
	3年超～4年	30	518	15.8%	—	—	1.2%	14.1%	
	4年超	18	150	18.7%	—	—	—	4.0%	
	療養機能強化型A	～半年	24	735	29.3%	—	—	0.5%	8.6%
		半年超～1年	25	922	22.0%	—	—	3.3%	10.1%
		1年超～2年	55	1,579	14.4%	—	—	0.4%	9.5%
		2年超～3年	34	702	12.4%	0.1%	0.1%	0.6%	4.6%
		3年超～4年	11	196	7.7%	—	—	0.5%	14.8%
		4年超	7	70	30.0%	—	—	—	4.3%
	療養機能強化型B	～半年	7	146	31.5%	—	—	—	1.4%
		半年超～1年	3	48	12.5%	—	—	—	8.3%
		1年超～2年	13	369	24.4%	—	0.3%	0.5%	5.4%
		2年超～3年	7	134	17.9%	—	—	2.2%	6.7%
		3年超～4年	3	150	30.0%	—	—	1.3%	26.7%
	4年超	2	3	—	—	—	—	66.7%	
	その他(病院)	～半年	31	786	29.1%	—	—	0.9%	2.4%
		半年超～1年	27	479	35.3%	—	—	0.8%	5.8%
		1年超～2年	54	1,024	22.0%	0.3%	—	1.1%	8.6%
		2年超～3年	36	517	36.4%	0.2%	—	0.2%	9.9%
		3年超～4年	11	159	13.8%	—	—	0.6%	1.9%
	4年超	6	71	9.9%	—	—	—	1.4%	
	療養機能強化型(診療所)	～半年	7	147	6.8%	—	—	—	6.1%
		半年超～1年	3	8	25.0%	—	—	—	—
		1年超～2年	4	12	—	—	—	—	33.3%
		2年超～3年	4	16	12.5%	—	—	—	6.3%
		3年超～4年	2	6	—	—	—	—	—
	4年超	0	—	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	～半年	11	95	7.4%	—	—	1.1%	13.7%
		半年超～1年	8	37	8.1%	—	—	—	16.2%
		1年超～2年	12	57	24.6%	—	—	1.8%	7.0%
		2年超～3年	9	22	22.7%	—	—	4.5%	9.1%
		3年超～4年	3	7	—	—	—	28.6%	14.3%
	4年超	2	3	—	—	—	—	—	
	医療療養病床全体	～半年	335	18,198	13.1%	0.2%	0.0%	1.7%	6.1%
		半年超～1年	236	9,228	11.9%	0.1%	0.1%	1.4%	8.5%
		1年超～2年	140	4,626	12.6%	0.1%	0.1%	0.9%	8.9%
		2年超～3年	36	682	16.0%	—	—	1.0%	9.4%
3年超～4年		9	174	26.4%	—	0.6%	1.1%	4.0%	
4年超	9	40	40.0%	—	—	—	10.0%		
医療療養病床(20:1)(加算あり)	～半年	83	5,433	10.6%	0.0%	0.0%	1.2%	5.9%	
	半年超～1年	53	2,381	10.8%	—	0.0%	0.9%	8.8%	
	1年超～2年	11	358	7.0%	—	—	0.3%	12.0%	
	2年超～3年	0	—	—	—	—	—	—	
	3年超～4年	1	39	10.3%	—	—	—	—	
4年超	0	—	—	—	—	—	—		
医療療養病床(20:1)(加算なし)	～半年	93	4,697	18.2%	0.1%	0.1%	2.5%	6.5%	
	半年超～1年	105	4,083	13.3%	0.1%	0.1%	1.9%	8.3%	
	1年超～2年	74	2,701	12.2%	0.1%	0.2%	1.1%	10.0%	
	2年超～3年	19	449	18.3%	—	—	1.6%	7.6%	
	3年超～4年	5	97	15.5%	—	—	2.1%	4.1%	
4年超	6	34	41.2%	—	—	—	11.8%		
医療療養病床(25:1)	～半年	119	7,560	11.9%	0.5%	0.0%	1.7%	5.8%	
	半年超～1年	65	2,439	9.8%	0.1%	—	1.2%	7.9%	
	1年超～2年	45	1,422	15.5%	0.2%	—	0.8%	6.5%	
	2年超～3年	10	156	16.7%	—	—	—	15.4%	
	3年超～4年	2	36	75.0%	—	2.8%	—	5.6%	
4年超	0	—	—	—	—	—	—		
医療療養病床(診療所)	～半年	40	508	8.3%	0.2%	—	1.2%	8.3%	
	半年超～1年	10	69	7.2%	1.4%	—	—	10.1%	
	1年超～2年	9	91	3.3%	—	—	—	9.9%	
	2年超～3年	7	77	1.3%	—	—	—	7.8%	
	3年超～4年	1	2	—	—	—	—	50.0%	
4年超	3	6	33.3%	—	—	—	—		
地域包括ケア病棟・病床全体	～半年	100	9,987	12.4%	0.1%	0.0%	0.9%	2.4%	
	半年超～1年	0	—	—	—	—	—	—	
	1年超～2年	1	—	—	—	—	—	—	
	2年超～3年	0	—	—	—	—	—	—	
	3年超～4年	0	—	—	—	—	—	—	
4年超	0	—	—	—	—	—	—		

※前頁図表の続き

		施設数	総退院患者数	自宅	特別養護老人ホーム	居住系施設 (特養を除く)	介護老人保健施設	その他	死亡	
平均在院日数	介護療養病床 全体	～半年	80	1,909	29.8%	6.9%	2.3%	7.4%	0.4%	20.4%
		半年超～1年	66	1,494	9.0%	8.4%	2.9%	6.8%	0.9%	38.8%
		1年超～2年	138	3,041	8.6%	6.9%	1.7%	5.2%	1.2%	50.2%
		2年超～3年	90	1,391	4.7%	5.6%	1.7%	4.6%	2.2%	52.3%
		3年超～4年	30	518	2.9%	3.1%	1.7%	9.7%	0.8%	54.1%
	療養機能 強化型A	4年超	18	150	3.3%	3.3%	1.3%	1.3%	—	68.0%
		～半年	24	735	13.2%	6.1%	3.4%	7.9%	0.3%	30.6%
		半年超～1年	25	922	8.5%	6.3%	2.7%	5.9%	0.9%	41.9%
		1年超～2年	55	1,579	4.7%	7.1%	1.8%	4.4%	1.2%	56.5%
		2年超～3年	34	702	4.3%	5.6%	2.0%	5.4%	2.1%	62.7%
	療養機能 強化型B	3年超～4年	11	196	4.1%	3.1%	1.0%	1.0%	1.0%	70.4%
		4年超	7	70	4.3%	5.7%	1.4%	2.9%	—	51.4%
		～半年	7	146	14.4%	11.6%	1.4%	12.3%	—	27.4%
		半年超～1年	3	48	10.4%	10.4%	10.4%	10.4%	—	37.5%
		1年超～2年	13	369	18.7%	4.9%	0.8%	2.4%	1.1%	42.8%
	その他 (病院)	2年超～3年	7	134	11.2%	2.2%	—	6.7%	0.7%	52.2%
		3年超～4年	3	150	2.7%	3.3%	—	2.0%	0.7%	33.3%
		4年超	2	3	—	—	—	—	—	33.3%
		～半年	31	786	40.2%	7.3%	1.4%	7.5%	0.1%	10.9%
		半年超～1年	27	479	10.0%	12.5%	2.3%	8.8%	0.2%	32.4%
	療養機能 強化型 (診療所)	1年超～2年	54	1,024	11.0%	7.2%	1.9%	7.8%	1.2%	43.1%
		2年超～3年	36	517	3.3%	5.2%	1.9%	3.3%	2.5%	36.6%
		3年超～4年	11	159	1.9%	3.1%	3.8%	28.3%	0.6%	52.2%
		4年超	6	71	2.8%	1.4%	—	—	—	84.5%
		～半年	7	147	72.8%	2.0%	2.7%	—	2.0%	7.5%
	その他 (診療所)	半年超～1年	3	8	—	—	—	—	12.5%	62.5%
		1年超～2年	4	12	—	—	—	—	—	91.7%
		2年超～3年	4	16	12.5%	18.8%	—	—	6.3%	43.8%
		3年超～4年	2	6	—	—	16.7%	—	—	83.3%
		4年超	0	—	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	～半年	11	95	28.4%	9.5%	2.1%	7.4%	1.1%	29.5%
		半年超～1年	8	37	10.8%	5.4%	8.1%	2.7%	8.1%	40.5%
		1年超～2年	12	57	7.0%	8.8%	3.5%	—	5.3%	42.1%
		2年超～3年	9	22	4.5%	27.3%	—	—	4.5%	95.5%
		3年超～4年	3	7	—	—	—	—	—	57.1%
	医療療養病床 (20:1) (加算あり)	4年超	2	3	—	—	—	—	—	100.0%
		～半年	335	18,198	33.3%	4.9%	5.4%	7.2%	0.7%	27.3%
		半年超～1年	236	9,228	16.1%	4.3%	4.0%	5.8%	0.9%	47.4%
		1年超～2年	140	4,626	12.5%	3.4%	2.8%	5.2%	0.7%	54.3%
		2年超～3年	36	682	14.8%	2.9%	2.1%	2.1%	0.3%	56.5%
	医療療養病床 (20:1) (加算なし)	3年超～4年	9	174	11.5%	6.9%	2.3%	1.1%	—	51.1%
		4年超	9	40	5.0%	—	10.0%	—	—	35.0%
		～半年	83	5,433	30.6%	6.6%	7.7%	5.9%	0.5%	30.9%
		半年超～1年	53	2,381	22.6%	5.4%	6.9%	3.1%	1.0%	40.7%
		1年超～2年	11	358	17.3%	1.7%	2.0%	5.0%	0.8%	53.9%
医療療養病床 (25:1)	2年超～3年	0	—	—	—	—	—	—	—	
	3年超～4年	1	39	28.2%	12.8%	—	—	—	48.7%	
	4年超	0	—	—	—	—	—	—	—	
	～半年	93	4,697	21.0%	4.2%	4.1%	6.5%	0.5%	37.8%	
	半年超～1年	105	4,083	11.4%	2.9%	2.7%	5.4%	0.7%	54.2%	
医療療養病床 (診療所)	1年超～2年	74	2,701	11.5%	3.0%	2.7%	4.0%	0.4%	57.8%	
	2年超～3年	19	449	5.3%	3.1%	2.7%	1.8%	0.4%	59.2%	
	3年超～4年	5	97	9.3%	7.2%	4.1%	2.1%	—	61.9%	
	4年超	6	34	2.9%	—	5.9%	—	—	38.2%	
	～半年	119	7,560	41.4%	4.2%	4.5%	8.8%	0.9%	19.2%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	半年超～1年	65	2,439	17.4%	5.8%	3.5%	9.2%	1.1%	44.0%	
	1年超～2年	45	1,422	10.5%	4.5%	3.4%	7.2%	0.9%	50.4%	
	2年超～3年	10	156	17.3%	2.6%	1.3%	1.9%	—	66.7%	
	3年超～4年	2	36	—	—	—	—	—	25.0%	
	4年超	0	—	—	—	—	—	—	—	
医療療養病床 (診療所)	～半年	40	508	55.5%	3.0%	5.3%	4.7%	2.2%	11.8%	
	半年超～1年	10	69	34.8%	1.4%	—	8.7%	—	36.2%	
	1年超～2年	9	91	37.4%	5.5%	2.2%	9.9%	—	31.9%	
	2年超～3年	7	77	64.9%	2.6%	—	3.9%	—	19.5%	
	3年超～4年	1	2	—	—	—	—	—	50.0%	
医療療養病床 (診療所)	4年超	3	6	16.7%	—	33.3%	—	—	16.7%	
	～半年	100	9,987	61.7%	5.0%	6.3%	5.6%	0.6%	4.8%	
	半年超～1年	0	—	—	—	—	—	—	—	
	1年超～2年	1	—	—	—	—	—	—	—	
	2年超～3年	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	3年超～4年	0	—	—	—	—	—	—	—	
	4年超	0	—	—	—	—	—	—	—	
	～半年	0	—	—	—	—	—	—	—	

図表 在宅復帰率別 認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する者の割合
(平成27年10月31日時点)

		施設数	有効回答の あった施設の 入院患者数 の合計	認知症高齢者の 日常生活自立度 のランクⅢb、Ⅳ又 はⅤに該当する者	
在宅 復帰率	介護療養病床 全体	0～20%未満	222	10,266	67.3%
		20～40%未満	67	4,216	62.3%
		40～60%未満	46	2,006	60.5%
		60～80%未満	16	1,162	62.6%
		80～100%	16	616	62.5%
	療養機能 強化型A	0～20%未満	76	4,875	71.2%
		20～40%未満	35	2,500	68.1%
		40～60%未満	17	1,032	67.4%
		60～80%未満	7	804	63.7%
		80～100%	6	386	61.7%
	療養機能 強化型B	0～20%未満	23	1,520	67.9%
		20～40%未満	3	186	39.2%
		40～60%未満	6	279	49.5%
		60～80%未満	0	—	—
		80～100%	1	80	68.8%
	その他 (病院)	0～20%未満	77	3,406	63.6%
		20～40%未満	25	1,482	56.5%
		40～60%未満	19	644	57.0%
		60～80%未満	8	350	60.3%
		80～100%	5	117	59.0%
	療養機能 強化型 (診療所)	0～20%未満	14	114	71.9%
		20～40%未満	1	14	35.7%
		40～60%未満	2	28	35.7%
		60～80%未満	0	—	—
		80～100%	2	18	94.4%
	その他 (診療所)	0～20%未満	32	351	43.9%
		20～40%未満	3	34	23.5%
		40～60%未満	2	23	8.7%
		60～80%未満	1	8	50.0%
		80～100%	1	12	33.3%
	医療療養病床 全体	0～20%未満	164	7,249	43.7%
		20～40%未満	116	7,352	34.6%
		40～60%未満	127	6,655	32.4%
		60～80%未満	120	5,875	39.9%
		80～100%	69	3,492	36.1%
	医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0～20%未満	6	283	45.9%
		20～40%未満	5	291	47.4%
		40～60%未満	23	1,232	37.1%
		60～80%未満	60	2,963	43.3%
		80～100%	31	1,886	38.5%
	医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0～20%未満	83	4,339	46.6%
		20～40%未満	66	4,363	32.4%
		40～60%未満	59	3,619	33.8%
		60～80%未満	27	1,785	41.9%
		80～100%	15	918	38.3%
	医療療養病床 (25:1)	0～20%未満	50	2,301	34.4%
		20～40%未満	43	2,430	34.0%
		40～60%未満	40	1,749	26.4%
		60～80%未満	29	1,082	28.1%
		80～100%	19	660	25.8%
医療療養病床 (診療所)	0～20%未満	23	118	56.8%	
	20～40%未満	0	—	—	
	40～60%未満	5	55	25.5%	
	60～80%未満	4	45	26.7%	
	80～100%	4	28	39.3%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0～20%未満	0	—	—	
	20～40%未満	2	23	43.5%	
	40～60%未満	6	157	15.9%	
	60～80%未満	15	583	15.6%	
	80～100%	36	695	18.1%	

図表 在宅復帰率別 要介護度の分布

	有効回答数	有効回答の あった施設の 入院患者数 の合計	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	不明・未申請
介護療養病床(在宅復帰率 低い群)	299	13,619	0.0%	1.4%	2.7%	7.6%	33.5%	54.3%	0.5%	0.1%
療養機能強化型A	100	6,491	—	0.5%	1.5%	5.8%	34.0%	57.6%	0.6%	0.0%
療養機能強化型B	24	1,597	—	2.3%	3.7%	9.1%	32.1%	52.2%	0.6%	0.1%
その他(病院)	108	4,886	—	1.9%	3.5%	9.3%	33.9%	51.1%	0.3%	—
療養機能強化型(診療所)	19	160	0.6%	1.3%	5.0%	3.8%	28.1%	58.8%	—	2.5%
その他(診療所)	48	485	—	4.9%	6.4%	10.9%	29.5%	47.6%	0.4%	0.2%
介護療養病床(在宅復帰率 高い群)	130	6,186	0.0%	1.6%	3.0%	8.4%	33.6%	52.3%	0.9%	0.3%
療養機能強化型A	48	3,471	—	1.5%	2.7%	7.5%	33.6%	54.2%	0.5%	—
療養機能強化型B	9	509	—	1.6%	3.3%	10.8%	30.5%	51.5%	2.4%	—
その他(病院)	54	2,033	—	1.3%	3.0%	9.1%	35.3%	50.1%	1.2%	0.1%
療養機能強化型(診療所)	6	56	3.6%	3.6%	3.6%	5.4%	10.7%	46.4%	3.6%	23.2%
その他(診療所)	12	114	—	6.1%	9.6%	14.0%	30.7%	39.5%	—	—
医療療養病床(在宅復帰率 低い群)	374	17,801	1.4%	3.0%	4.6%	6.9%	14.4%	25.2%	1.9%	42.5%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	19	1,119	3.0%	4.8%	5.2%	7.0%	13.0%	23.1%	1.9%	42.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	183	10,233	1.1%	2.2%	3.9%	6.3%	13.9%	26.9%	1.8%	43.9%
医療療養病床(25:1)	115	5,716	1.6%	3.9%	5.8%	8.1%	16.0%	23.4%	2.2%	39.0%
医療療養病床(診療所)	54	290	2.4%	8.6%	8.3%	9.0%	17.6%	21.7%	2.1%	30.3%
医療療養病床(在宅復帰率 高い群)	304	14,507	2.3%	3.6%	5.5%	7.0%	14.5%	22.4%	2.7%	42.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	121	6,548	2.1%	3.9%	5.5%	7.9%	17.1%	26.1%	2.6%	34.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	76	4,542	1.0%	1.7%	3.7%	5.0%	11.2%	19.5%	2.0%	55.8%
医療療養病床(25:1)	89	3,246	3.9%	5.1%	7.6%	7.8%	14.5%	19.2%	3.8%	38.1%
医療療養病床(診療所)	18	171	11.7%	8.8%	9.9%	7.0%	5.8%	14.0%	1.8%	40.9%

※介護療養病床では、在宅復帰率が「30%未満」を「在宅復帰率 低い群」、「30%以上」を「在宅復帰率 高い群」、医療療養病床では在宅復帰率が「50%未満」を「在宅復帰率 低い群」、「50%以上」を「在宅復帰率 高い群」とした。

資料2. ターミナルケアの提供割合の算出について

30 ページでは、「ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数」を「全ての入院患者の入院延べ日数」で割り、「ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合」を算出した。療養機能強化型の算定要件では、「前3月間のターミナルケア対象延べ日数」、「前3月間の入院患者延べ日数」を基準とするため、平均在院日数が90日を超える施設は、「前3月間のターミナルケア対象延べ日数」を「90日×ターミナルケアを提供している入院患者数」、「前3月間の入院患者延べ日数」を「90日×全ての入院患者数」とし、当該割合を算出した。ターミナルケアの提供割合について、30ページの算出と傾向に大きな違いはみられなかった。

図表 ターミナルケアを提供している入院患者数（前3月間に加工）
（平成27年10月31日時点）

	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数
介護療養病床 全体	422	3,080	14.9%	7.3	13.7
療養機能強化型A	169	2,502	21.7%	14.8	21.2
療養機能強化型B	36	286	9.5%	7.9	11.6
その他(病院)	155	228	4.2%	1.5	3.0
療養機能強化型(診療所)	22	57	32.7%	2.6	24.1
その他(診療所)	40	7	1.2%	0.2	1.6
医療療養病床 全体	715	1,833	4.9%	2.6	4.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	140	631	7.6%	4.5	7.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	274	656	3.4%	2.4	3.7
医療療養病床(25:1)	221	480	4.9%	2.2	4.2
医療療養病床(診療所)	75	35	9.3%	0.5	4.7
地域包括ケア病棟・病床 全体	89	56	3.4%	0.6	2.3
地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	7	4	4.2%	0.6	2.0
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0	—	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	71	47	3.4%	0.7	2.4
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	4	4	1.1%	1.0	4.1

資料3. 1人1日当たりの平均単位数とリハビリの目的及び内容について

1人1日当たりの平均単位数とリハビリの目的及び内容でクロス集計を行った。
 なお、回答数の少ないものについては、参考に留め置かれるたい。

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの内容（理学療法士）

		施設数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和(ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練
介護療養病床 全体	0単位数～1単位数以下	112	98.2%	92.0%	82.1%	49.1%	53.6%	84.8%	73.2%	78.6%	28.6%	5.4%	3.6%
	1単位数～2単位数以下	135	99.3%	94.8%	86.7%	55.6%	67.4%	90.4%	80.0%	81.5%	25.9%	10.4%	5.9%
	2単位数～3単位数以下	32	100.0%	90.6%	96.9%	53.1%	71.9%	93.8%	90.6%	78.1%	18.8%	6.3%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	12	91.7%	83.3%	83.3%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	83.3%	16.7%	8.3%	8.3%
	4単位数～5単位数以下	13	100.0%	76.9%	84.6%	46.2%	69.2%	61.5%	76.9%	69.2%	7.7%	7.7%	0.0%
	5単位数超	10	90.0%	90.0%	70.0%	50.0%	70.0%	90.0%	60.0%	90.0%	20.0%	10.0%	0.0%
療養機能 強化型A	0単位数～1単位数以下	43	97.7%	86.0%	83.7%	62.8%	53.5%	83.7%	67.4%	69.8%	32.6%	4.7%	0.0%
	1単位数～2単位数以下	66	100.0%	92.4%	86.4%	54.5%	62.1%	89.4%	78.8%	71.2%	22.7%	6.1%	4.5%
	2単位数～3単位数以下	11	100.0%	100.0%	100.0%	54.5%	72.7%	100.0%	100.0%	81.8%	18.2%	9.1%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	7	85.7%	71.4%	71.4%	42.9%	42.9%	71.4%	71.4%	85.7%	28.6%	14.3%	14.3%
	4単位数～5単位数以下	6	100.0%	83.3%	100.0%	66.7%	83.3%	66.7%	100.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	5単位数超	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
療養機能 強化型B	0単位数～1単位数以下	13	100.0%	100.0%	84.6%	53.8%	61.5%	92.3%	76.9%	92.3%	23.1%	7.7%	7.7%
	1単位数～2単位数以下	15	93.3%	86.7%	73.3%	40.0%	73.3%	80.0%	80.0%	100.0%	26.7%	6.7%	0.0%
	2単位数～3単位数以下	4	100.0%	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	2	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位数超	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(病院)	0単位数～1単位数以下	50	98.0%	94.0%	80.0%	38.0%	48.0%	86.0%	76.0%	82.0%	26.0%	6.0%	4.0%
	1単位数～2単位数以下	52	100.0%	100.0%	90.4%	63.5%	73.1%	96.2%	82.7%	90.4%	28.8%	17.3%	9.6%
	2単位数～3単位数以下	13	100.0%	84.6%	100.0%	61.5%	76.9%	84.6%	76.9%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	3	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	5	100.0%	80.0%	80.0%	20.0%	40.0%	80.0%	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	5単位数超	5	80.0%	100.0%	60.0%	40.0%	60.0%	80.0%	40.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%
療養機能 強化型 (診療所)	0単位数～1単位数以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1単位数～2単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2単位数～3単位数以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4単位数～5単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5単位数超	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (診療所)	0単位数～1単位数以下	5	100.0%	100.0%	80.0%	40.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	1単位数～2単位数以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	2単位数～3単位数以下	3	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4単位数～5単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5単位数超	2	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	0単位数～1単位数以下	88	98.9%	94.3%	79.5%	53.4%	63.6%	89.8%	75.0%	87.5%	26.1%	8.0%	2.3%
	1単位数～2単位数以下	324	98.8%	93.8%	88.6%	65.4%	73.1%	93.2%	82.1%	89.8%	24.4%	6.5%	2.8%
	2単位数～3単位数以下	96	100.0%	96.9%	93.8%	65.6%	72.9%	90.6%	84.4%	88.5%	22.9%	7.3%	1.0%
	3単位数～4単位数以下	35	97.1%	94.3%	80.0%	51.4%	62.9%	85.7%	80.0%	91.4%	11.4%	0.0%	2.9%
	4単位数～5単位数以下	14	100.0%	100.0%	100.0%	64.3%	71.4%	85.7%	71.4%	85.7%	7.1%	0.0%	0.0%
	5単位数超	28	100.0%	100.0%	89.3%	67.9%	75.0%	92.9%	85.7%	92.9%	21.4%	14.3%	3.6%
医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0単位数～1単位数以下	12	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	50.0%	8.3%	0.0%
	1単位数～2単位数以下	75	98.7%	97.3%	88.0%	69.3%	78.7%	92.0%	82.7%	96.0%	25.3%	5.3%	2.7%
	2単位数～3単位数以下	25	100.0%	100.0%	92.0%	84.0%	76.0%	92.0%	80.0%	96.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	6	83.3%	100.0%	83.3%	33.3%	50.0%	83.3%	100.0%	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	5	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	60.0%	100.0%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位数超	9	100.0%	100.0%	77.8%	44.4%	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	11.1%	22.2%	11.1%
医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0単位数～1単位数以下	45	97.8%	91.1%	82.2%	57.8%	66.7%	91.1%	75.6%	84.4%	20.0%	6.7%	2.2%
	1単位数～2単位数以下	134	100.0%	92.5%	89.6%	61.9%	71.6%	94.0%	79.1%	85.8%	24.6%	5.2%	1.5%
	2単位数～3単位数以下	38	100.0%	97.4%	97.4%	55.3%	68.4%	86.8%	81.6%	76.3%	34.2%	5.3%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	16	100.0%	87.5%	81.3%	56.3%	56.3%	81.3%	68.8%	81.3%	6.3%	0.0%	6.3%
	4単位数～5単位数以下	7	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	71.4%	71.4%	57.1%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位数超	10	100.0%	100.0%	100.0%	70.0%	70.0%	80.0%	100.0%	80.0%	30.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 (25:1)	0単位数～1単位数以下	23	100.0%	95.7%	69.6%	43.5%	43.5%	87.0%	60.9%	91.3%	21.7%	8.7%	4.3%
	1単位数～2単位数以下	106	97.2%	93.4%	86.8%	65.1%	70.8%	93.4%	84.9%	90.6%	21.7%	8.5%	3.8%
	2単位数～3単位数以下	30	100.0%	93.3%	90.0%	63.3%	80.0%	96.7%	90.0%	100.0%	20.0%	16.7%	3.3%
	3単位数～4単位数以下	12	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	75.0%	91.7%	83.3%	100.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	5単位数超	7	100.0%	100.0%	85.7%	85.7%	85.7%	100.0%	85.7%	100.0%	14.3%	28.6%	0.0%
医療療養病床 (診療所)	0単位数～1単位数以下	8	100.0%	100.0%	100.0%	62.5%	62.5%	87.5%	87.5%	87.5%	37.5%	12.5%	0.0%
	1単位数～2単位数以下	6	100.0%	83.3%	100.0%	83.3%	66.7%	83.3%	83.3%	83.3%	33.3%	16.7%	16.7%
	2単位数～3単位数以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3単位数～4単位数以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5単位数超	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位数～1単位数以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1単位数～2単位数以下	16	100.0%	100.0%	81.3%	75.0%	75.0%	93.8%	81.3%	93.8%	31.3%	0.0%	0.0%
	2単位数～3単位数以下	52	100.0%	100.0%	88.5%	76.9%	76.9%	96.2%	96.2%	98.1%	26.9%	5.8%	3.8%
	3単位数～4単位数以下	12	100.0%	100.0%	83.3%	75.0%	83.3%	75.0%	58.3%	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	4単位数～5単位数以下	3	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	5単位数超	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※前頁図表の続き

		施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習 (家事・調理・ 買い物等)	用具の適応訓練 (車いす、杖、 補聴器等)	在宅生活の 模範的訓練	記憶機能に 関する訓練	認知機能に 関する訓練	趣味活動 (手工芸、園 芸、編み物等)	介助方法の 指導	その他
介護療養病床 全体	0単位超～1単位以下	112	21.4%	3.6%	28.6%	0.9%	25.9%	5.4%	10.7%	22.3%	1.8%	19.6%	1.8%
	1単位超～2単位以下	135	37.8%	2.2%	26.7%	1.5%	30.4%	12.6%	13.3%	27.4%	8.1%	31.9%	7.4%
	2単位超～3単位以下	32	31.3%	0.0%	28.1%	0.0%	21.9%	3.1%	9.4%	18.8%	3.1%	18.8%	3.1%
	3単位超～4単位以下	12	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	25.0%	8.3%	33.3%	41.7%	8.3%	25.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	13	30.8%	0.0%	46.2%	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	23.1%	0.0%	38.5%	0.0%
5単位超	10	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	60.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	
療養機能 強化型A	0単位超～1単位以下	43	18.6%	4.7%	34.9%	0.0%	30.2%	4.7%	11.6%	25.6%	0.0%	20.9%	4.7%
	1単位超～2単位以下	66	36.4%	3.0%	22.7%	1.5%	30.3%	15.2%	10.6%	25.8%	6.1%	34.8%	10.6%
	2単位超～3単位以下	11	45.5%	0.0%	27.3%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
	3単位超～4単位以下	7	28.6%	0.0%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%
	4単位超～5単位以下	6	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%
5単位超	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
療養機能 強化型B	0単位超～1単位以下	13	23.1%	0.0%	30.8%	7.7%	30.8%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%
	1単位超～2単位以下	15	60.0%	0.0%	26.7%	6.7%	40.0%	13.3%	0.0%	26.7%	13.3%	33.3%	6.7%
	2単位超～3単位以下	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	3単位超～4単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他(病院)	0単位超～1単位以下	50	22.0%	2.0%	24.0%	0.0%	22.0%	2.0%	8.0%	18.0%	4.0%	24.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	52	32.7%	1.9%	32.7%	0.0%	26.9%	9.6%	21.2%	30.8%	9.6%	28.8%	3.8%
	2単位超～3単位以下	13	15.4%	0.0%	38.5%	0.0%	23.1%	7.7%	23.1%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%
	3単位超～4単位以下	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
5単位超	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
療養機能 強化型 (診療所)	0単位超～1単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他 (診療所)	0単位超～1単位以下	5	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医療療養病床 全体	0単位超～1単位以下	88	19.3%	1.1%	27.3%	1.1%	31.8%	11.4%	5.7%	17.0%	5.7%	18.2%	2.3%
	1単位超～2単位以下	324	34.3%	6.2%	32.7%	4.0%	35.8%	20.7%	10.2%	20.4%	5.9%	32.1%	9.9%
	2単位超～3単位以下	96	42.7%	6.3%	31.3%	4.2%	38.5%	24.0%	7.3%	11.5%	4.2%	32.3%	4.2%
	3単位超～4単位以下	35	25.7%	0.0%	31.4%	0.0%	34.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	5.7%
	4単位超～5単位以下	14	42.9%	0.0%	35.7%	0.0%	35.7%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	21.4%	7.1%
5単位超	28	39.3%	10.7%	39.3%	10.7%	42.9%	28.6%	7.1%	17.9%	3.6%	39.3%	3.6%	
医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0単位超～1単位以下	12	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	58.3%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	1単位超～2単位以下	75	29.3%	5.3%	30.7%	1.3%	41.3%	22.7%	5.3%	13.3%	6.7%	38.7%	6.7%
	2単位超～3単位以下	25	44.0%	8.0%	24.0%	0.0%	36.0%	32.0%	4.0%	4.0%	4.0%	16.0%	12.0%
	3単位超～4単位以下	6	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
5単位超	9	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	44.4%	11.1%	
医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0単位超～1単位以下	45	17.8%	2.2%	28.9%	0.0%	24.4%	13.3%	8.9%	22.2%	6.7%	15.6%	2.2%
	1単位超～2単位以下	134	32.1%	6.0%	31.3%	6.0%	32.1%	18.7%	10.4%	21.6%	6.7%	29.9%	11.2%
	2単位超～3単位以下	38	39.5%	2.6%	34.2%	5.3%	31.6%	23.7%	7.9%	13.2%	5.3%	39.5%	2.6%
	3単位超～4単位以下	16	31.3%	0.0%	31.3%	0.0%	18.8%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	6.3%
	4単位超～5単位以下	7	28.6%	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
5単位超	10	40.0%	10.0%	30.0%	0.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
医療療養病床 (25:1)	0単位超～1単位以下	23	13.0%	0.0%	21.7%	4.3%	30.4%	13.0%	4.3%	8.7%	4.3%	26.1%	4.3%
	1単位超～2単位以下	106	38.7%	5.7%	33.0%	2.8%	34.9%	20.8%	13.2%	23.6%	4.7%	29.2%	10.4%
	2単位超～3単位以下	30	46.7%	10.0%	33.3%	6.7%	43.3%	20.0%	6.7%	13.3%	3.3%	33.3%	0.0%
	3単位超～4単位以下	12	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%
	4単位超～5単位以下	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5単位超	7	57.1%	14.3%	42.9%	42.9%	28.6%	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	
医療療養病床 (診療所)	0単位超～1単位以下	8	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	1単位超～2単位以下	6	33.3%	16.7%	66.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%
	2単位超～3単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位超～1単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	16	31.3%	12.5%	43.8%	6.3%	56.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	25.0%
	2単位超～3単位以下	52	65.4%	19.2%	55.8%	15.4%	61.5%	57.7%	15.4%	25.0%	1.9%	51.9%	0.0%
	3単位超～4単位以下	12	58.3%	16.7%	41.7%	8.3%	41.7%	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	3	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの内容（作業療法士）

		施設数	関節可動域 訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和 (ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位 動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練	
介護療養病床 全体	0単位超～1単位以下	63	93.7%	79.4%	76.2%	33.3%	39.7%	61.9%	60.3%	47.6%	34.9%	7.9%	4.8%	
	1単位超～2単位以下	89	94.4%	79.8%	80.9%	43.8%	56.2%	77.5%	74.2%	44.9%	33.7%	12.4%	3.4%	
	2単位超～3単位以下	17	94.1%	76.5%	70.6%	52.9%	35.3%	82.4%	76.5%	41.2%	35.3%	5.9%	11.8%	
	3単位超～4単位以下	7	100.0%	71.4%	71.4%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	4単位超～5単位以下	5	100.0%	80.0%	100.0%	60.0%	60.0%	100.0%	100.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	
	5単位超	5	60.0%	60.0%	60.0%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%	80.0%	40.0%	40.0%	
	療養機能 強化型A	0単位超～1単位以下	37	94.6%	75.7%	81.1%	32.4%	43.2%	51.4%	59.5%	32.4%	35.1%	8.1%	2.7%
		1単位超～2単位以下	48	97.9%	79.2%	79.2%	37.5%	56.3%	79.2%	75.0%	45.8%	27.1%	16.7%	2.1%
		2単位超～3単位以下	10	100.0%	90.0%	70.0%	50.0%	20.0%	80.0%	80.0%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%
		3単位超～4単位以下	3	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		4単位超～5単位以下	3	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
		5単位超	2	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%
	療養機能 強化型B	0単位超～1単位以下	6	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	83.3%	50.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%
		1単位超～2単位以下	12	75.0%	66.7%	75.0%	25.0%	33.3%	66.7%	66.7%	25.0%	41.7%	8.3%	0.0%
		2単位超～3単位以下	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		3単位超～4単位以下	2	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超		1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
その他(病院)	0単位超～1単位以下	20	90.0%	90.0%	80.0%	35.0%	35.0%	75.0%	65.0%	75.0%	40.0%	10.0%	5.0%	
	1単位超～2単位以下	28	96.4%	85.7%	85.7%	64.3%	64.3%	78.6%	75.0%	53.6%	42.9%	7.1%	7.1%	
	2単位超～3単位以下	4	100.0%	75.0%	100.0%	50.0%	75.0%	100.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	3単位超～4単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	4単位超～5単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
	5単位超	2	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	
療養機能 強化型 (診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他 (診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	1単位超～2単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
医療療養病床 全体	0単位超～1単位以下	57	93.0%	80.7%	70.2%	36.8%	42.1%	71.9%	59.6%	43.9%	29.8%	7.0%	10.5%	
	1単位超～2単位以下	253	96.0%	83.4%	79.1%	45.5%	55.3%	74.7%	73.5%	55.7%	30.4%	8.3%	5.9%	
	2単位超～3単位以下	81	97.5%	84.0%	85.2%	46.9%	49.4%	81.5%	66.7%	58.0%	28.4%	11.1%	6.2%	
	3単位超～4単位以下	19	94.7%	68.4%	73.7%	26.3%	47.4%	78.9%	57.9%	47.4%	15.8%	10.5%	10.5%	
	4単位超～5単位以下	6	100.0%	100.0%	83.3%	66.7%	83.3%	100.0%	100.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
	5単位超	14	85.7%	78.6%	78.6%	35.7%	42.9%	64.3%	35.7%	50.0%	21.4%	7.1%	7.1%	
	医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0単位超～1単位以下	9	100.0%	100.0%	77.8%	44.4%	44.4%	77.8%	55.6%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		1単位超～2単位以下	64	93.8%	87.5%	82.8%	45.3%	60.9%	70.3%	75.0%	65.6%	34.4%	4.7%	1.6%
		2単位超～3単位以下	21	95.2%	90.5%	81.0%	38.1%	57.1%	76.2%	61.9%	52.4%	19.0%	9.5%	4.8%
		3単位超～4単位以下	6	83.3%	83.3%	50.0%	16.7%	66.7%	83.3%	50.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
		4単位超～5単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		5単位超	4	75.0%	75.0%	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0単位超～1単位以下	33	97.0%	75.8%	72.7%	36.4%	42.4%	75.8%	63.6%	45.5%	33.3%	6.1%	9.1%
		1単位超～2単位以下	110	97.3%	81.8%	80.9%	40.9%	51.8%	74.5%	67.3%	46.4%	30.0%	8.2%	7.3%
		2単位超～3単位以下	31	100.0%	87.1%	93.5%	48.4%	41.9%	80.6%	67.7%	48.4%	35.5%	9.7%	9.7%
		3単位超～4単位以下	8	100.0%	75.0%	87.5%	37.5%	25.0%	75.0%	62.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%
		4単位超～5単位以下	3	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
5単位超		7	100.0%	85.7%	85.7%	28.6%	57.1%	85.7%	57.1%	71.4%	14.3%	14.3%	14.3%	
医療療養病床 (25:1)	0単位超～1単位以下	13	84.6%	76.9%	61.5%	30.8%	38.5%	53.8%	46.2%	46.2%	23.1%	7.7%	15.4%	
	1単位超～2単位以下	75	96.0%	81.3%	72.0%	49.3%	54.7%	77.3%	80.0%	58.7%	24.0%	12.0%	8.0%	
	2単位超～3単位以下	26	96.2%	73.1%	76.9%	46.2%	50.0%	84.6%	65.4%	73.1%	23.1%	15.4%	3.8%	
	3単位超～4単位以下	4	100.0%	50.0%	75.0%	25.0%	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	
	4単位超～5単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	5単位超	3	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
医療療養病床 (診療所)	0単位超～1単位以下	2	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
	1単位超～2単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位超～1単位以下	3	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
	1単位超～2単位以下	34	97.1%	91.2%	79.4%	52.9%	70.6%	88.2%	79.4%	67.6%	35.3%	8.8%	0.0%	
	2単位超～3単位以下	27	92.6%	96.3%	74.1%	66.7%	59.3%	74.1%	66.7%	66.7%	37.0%	11.1%	3.7%	
	3単位超～4単位以下	3	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	4単位超～5単位以下	4	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	5単位超	2	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

※前頁図表の続き

	施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習 (家事・調理・ 買い物等)	用具の適応訓練 (車いす、杖、 補聴器等)	在宅生活の 模擬的訓練	記憶機能に 関する訓練	認知機能に 関する訓練	趣味活動 (手工芸、園 芸、編み物等)	介助方法の 指導	その他	
介護療養病床 全体	0単位超～1単位以下	63	23.8%	3.2%	31.7%	3.2%	19.0%	6.3%	34.9%	57.1%	41.3%	25.4%	4.8%
	1単位超～2単位以下	89	51.7%	5.6%	59.6%	10.1%	30.3%	16.9%	51.7%	83.1%	50.6%	30.3%	6.7%
	2単位超～3単位以下	17	29.4%	0.0%	47.1%	0.0%	11.8%	5.9%	47.1%	70.6%	70.6%	17.6%	5.9%
	3単位超～4単位以下	7	42.9%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	71.4%	57.1%	14.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	80.0%	0.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	60.0%	100.0%	80.0%	60.0%	0.0%
5単位超	5	60.0%	0.0%	40.0%	20.0%	60.0%	40.0%	20.0%	80.0%	80.0%	40.0%	0.0%	
療養機能 強化型A	0単位超～1単位以下	37	24.3%	5.4%	35.1%	5.4%	13.5%	2.7%	37.8%	54.1%	32.4%	27.0%	5.4%
	1単位超～2単位以下	48	47.9%	4.2%	64.6%	6.3%	33.3%	16.7%	45.8%	79.2%	50.0%	33.3%	8.3%
	2単位超～3単位以下	10	30.0%	0.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	40.0%	70.0%	80.0%	10.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	3	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%
5単位超	2	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
療養機能 強化型B	0単位超～1単位以下	6	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	50.0%	50.0%	16.7%	0.0%
	1単位超～2単位以下	12	83.3%	0.0%	41.7%	25.0%	16.7%	33.3%	50.0%	91.7%	75.0%	33.3%	16.7%
	2単位超～3単位以下	2	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
	3単位超～4単位以下	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他(病院)	0単位超～1単位以下	20	25.0%	0.0%	30.0%	0.0%	35.0%	10.0%	35.0%	65.0%	55.0%	25.0%	5.0%
	1単位超～2単位以下	28	46.4%	10.7%	60.7%	10.7%	32.1%	10.7%	60.7%	85.7%	42.9%	25.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	2	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%
5単位超	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
療養機能 強化型 (診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他 (診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
医療療養病床 全体	0単位超～1単位以下	57	38.6%	3.5%	33.3%	5.3%	17.5%	17.5%	36.8%	49.1%	29.8%	17.5%	3.5%
	1単位超～2単位以下	253	56.5%	12.6%	56.5%	21.7%	32.0%	26.9%	37.5%	63.2%	46.2%	27.7%	9.5%
	2単位超～3単位以下	81	51.9%	9.9%	65.4%	22.2%	30.9%	24.7%	44.4%	76.5%	48.1%	32.1%	1.2%
	3単位超～4単位以下	19	57.9%	15.8%	42.1%	21.1%	10.5%	15.8%	31.6%	42.1%	52.6%	21.1%	5.3%
	4単位超～5単位以下	6	83.3%	33.3%	50.0%	33.3%	33.3%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%	50.0%	16.7%
5単位超	14	50.0%	14.3%	50.0%	35.7%	14.3%	14.3%	57.1%	71.4%	57.1%	28.6%	0.0%	
医療療養病床 (20:1) (加算あり)	0単位超～1単位以下	9	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%
	1単位超～2単位以下	64	68.8%	15.6%	62.5%	26.6%	32.8%	37.5%	40.6%	65.6%	43.8%	31.3%	6.3%
	2単位超～3単位以下	21	57.1%	4.8%	81.0%	28.6%	19.0%	33.3%	33.3%	71.4%	33.3%	23.8%	0.0%
	3単位超～4単位以下	6	66.7%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	50.0%	66.7%	50.0%	33.3%	16.7%	
	4単位超～5単位以下	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
5単位超	4	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
医療療養病床 (20:1) (加算なし)	0単位超～1単位以下	33	36.4%	3.0%	33.3%	3.0%	18.2%	15.2%	27.3%	39.4%	21.2%	18.2%	0.0%
	1単位超～2単位以下	110	47.3%	8.2%	52.7%	20.0%	25.5%	20.0%	37.3%	67.3%	50.0%	24.5%	12.7%
	2単位超～3単位以下	31	41.9%	9.7%	58.1%	19.4%	29.0%	19.4%	45.2%	74.2%	58.1%	41.9%	0.0%
	3単位超～4単位以下	8	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%
	4単位超～5単位以下	3	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%
5単位超	7	85.7%	28.6%	85.7%	57.1%	28.6%	14.3%	71.4%	100.0%	71.4%	57.1%	0.0%	
医療療養病床 (25:1)	0単位超～1単位以下	13	53.8%	0.0%	30.8%	15.4%	23.1%	23.1%	53.8%	61.5%	61.5%	23.1%	7.7%
	1単位超～2単位以下	75	60.0%	17.3%	57.3%	20.0%	38.7%	29.3%	36.0%	54.7%	42.7%	30.7%	8.0%
	2単位超～3単位以下	26	57.7%	15.4%	61.5%	19.2%	38.5%	23.1%	50.0%	80.8%	50.0%	23.1%	3.8%
	3単位超～4単位以下	4	75.0%	50.0%	100.0%	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
5単位超	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
医療療養病床 (診療所)	0単位超～1単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	1単位超～2単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位超～1単位以下	3	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%
	1単位超～2単位以下	34	73.5%	23.5%	82.4%	38.2%	44.1%	52.9%	32.4%	50.0%	50.0%	38.2%	8.8%
	2単位超～3単位以下	27	55.6%	29.6%	63.0%	48.1%	37.0%	48.1%	40.7%	51.9%	44.4%	25.9%	3.7%
	3単位超～4単位以下	3	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	4	100.0%	50.0%	100.0%	25.0%	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	75.0%	75.0%	0.0%
5単位超	2	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの内容（言語聴覚士）

		施設数	関節可動域訓練	筋力増強訓練	筋緊張緩和(ストレッチ等)	持久力訓練	バランス練習	起居/立位動作練習	移乗動作訓練	歩行訓練	体操	摂食・嚥下訓練	言語訓練	
介護療養病床全体	0単位超～1単位以下	42	16.7%	16.7%	35.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	97.6%	88.1%	
	1単位超～2単位以下	65	12.3%	15.4%	40.0%	7.7%	3.1%	4.6%	3.1%	0.0%	21.5%	96.9%	93.8%	
	2単位超～3単位以下	17	29.4%	29.4%	58.8%	5.9%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%	11.8%	94.1%	94.1%	
	3単位超～4単位以下	5	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	60.0%	
	4単位超～5単位以下	4	25.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	75.0%	100.0%	
	5単位超	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	療養機能強化型A	0単位超～1単位以下	23	26.1%	21.7%	47.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.7%	87.0%
		1単位超～2単位以下	38	13.2%	15.8%	36.8%	7.9%	0.0%	7.9%	5.3%	0.0%	21.1%	94.7%	92.1%
		2単位超～3単位以下	10	20.0%	30.0%	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	90.0%	100.0%
		3単位超～4単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%
		4単位超～5単位以下	3	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
	療養機能強化型B	0単位超～1単位以下	4	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		1単位超～2単位以下	8	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%	100.0%
		2単位超～3単位以下	3	66.7%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		3単位超～4単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	その他(病院)	0単位超～1単位以下	15	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%	86.7%
		1単位超～2単位以下	18	16.7%	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	100.0%	100.0%
		2単位超～3単位以下	4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	75.0%
		3単位超～4単位以下	2	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%
4単位超～5単位以下		1	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
療養機能強化型(診療所)	0単位超～1単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	1単位超～2単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	2単位超～3単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	3単位超～4単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
その他(診療所)	0単位超～1単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	1単位超～2単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	2単位超～3単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	3単位超～4単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
医療療養病床全体	0単位超～1単位以下	71	18.3%	9.9%	26.8%	2.8%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	8.5%	91.5%	83.1%	
	1単位超～2単位以下	171	17.5%	18.7%	35.7%	4.7%	1.8%	2.9%	2.9%	2.9%	15.8%	95.9%	91.2%	
	2単位超～3単位以下	45	20.0%	24.4%	46.7%	13.3%	2.2%	4.4%	4.4%	0.0%	17.8%	93.3%	97.8%	
	3単位超～4単位以下	11	9.1%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	81.8%	
	4単位超～5単位以下	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	5単位超	13	0.0%	7.7%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	92.3%	92.3%	
	医療療養病床(加算あり)	0単位超～1単位以下	19	15.8%	10.5%	26.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.7%	78.9%
		1単位超～2単位以下	52	19.2%	21.2%	42.3%	3.8%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	17.3%	94.2%	88.5%
		2単位超～3単位以下	13	30.8%	30.8%	38.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%	100.0%	100.0%
		3単位超～4単位以下	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		4単位超～5単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	医療療養病床(加算なし)	0単位超～1単位以下	35	14.3%	8.6%	22.9%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	14.3%	91.4%	85.7%
		1単位超～2単位以下	75	14.7%	17.3%	34.7%	5.3%	2.7%	5.3%	2.7%	4.0%	16.0%	96.0%	90.7%
		2単位超～3単位以下	21	14.3%	23.8%	52.4%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%	23.8%	85.7%	95.2%
		3単位超～4単位以下	5	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	医療療養病床(25:1)	0単位超～1単位以下	8	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%	100.0%
		1単位超～2単位以下	17	29.4%	11.8%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	88.2%	82.4%
		2単位超～3単位以下	41	17.1%	14.6%	26.8%	4.9%	2.4%	0.0%	4.9%	4.9%	14.6%	97.6%	95.1%
		3単位超～4単位以下	10	10.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
4単位超～5単位以下		2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	
医療療養病床(診療所)	0単位超～1単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	1単位超～2単位以下	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%	
	2単位超～3単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	3単位超～4単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
地域包括ケア病棟・病床全体	0単位超～1単位以下	7	28.6%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%	85.7%	
	1単位超～2単位以下	25	16.0%	12.0%	28.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	16.0%	84.0%	72.0%	
	2単位超～3単位以下	8	0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	100.0%	
	3単位超～4単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	4単位超～5単位以下	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
5単位超	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%		

※前頁図表の続き

		施設数	トイレ訓練	入浴訓練	その他ADL訓練	IADL練習 (家事・調理・ 買い物等)	用具の適応訓練 (車いす、杖、 補聴器等)	在宅生活の 模擬的訓練	記憶機能に 関する訓練	認知機能に 関する訓練	趣味活動 (手工芸、園 芸、編み物等)	介助方法の 指導	その他
介護療養病床 全体	0単位超～1単位以下	42	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	2.4%	42.9%	64.3%	4.8%	19.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	65	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%	4.6%	1.5%	46.2%	73.8%	7.7%	21.5%	7.7%
	2単位超～3単位以下	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	70.6%	0.0%	11.8%	11.8%
	3単位超～4単位以下	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	4単位超～5単位以下	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%
療養機能 強化型A	0単位超	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	23	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	43.5%	73.9%	4.3%	21.7%	0.0%
	1単位超～2単位以下	38	0.0%	0.0%	18.4%	0.0%	5.3%	0.0%	39.5%	68.4%	7.9%	28.9%	7.9%
	2単位超～3単位以下	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	70.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	3単位超～4単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
療養機能 強化型B	4単位超～5単位以下	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
その他(病院)	3単位超～4単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	15	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	53.3%	6.7%	13.3%	0.0%
	1単位超～2単位以下	18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	5.6%	66.7%	88.9%	11.1%	16.7%	5.8%
療養機能 強化型 (診療所)	2単位超～3単位以下	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他 (診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療療養病床 全体	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	71	0.0%	0.0%	4.2%	1.4%	0.0%	1.4%	29.6%	42.3%	4.2%	15.5%	4.2%
	1単位超～2単位以下	171	0.0%	0.0%	6.4%	0.6%	6.4%	4.1%	48.5%	69.0%	8.8%	18.7%	7.6%
	2単位超～3単位以下	45	2.2%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	2.2%	55.6%	77.8%	6.7%	17.8%	8.9%
	3単位超～4単位以下	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%	18.2%
医療療養病床 (20:1) (加算あり)	4単位超～5単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	5単位超	13	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%	23.1%	7.7%
	0単位超～1単位以下	19	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	42.1%	5.3%	10.5%	5.3%
	1単位超～2単位以下	52	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	1.9%	3.8%	48.1%	71.2%	7.7%	21.2%	11.5%
	2単位超～3単位以下	13	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	69.2%	84.6%	15.4%	15.4%	15.4%
医療療養病床 (20:1) (加算なし)	3単位超～4単位以下	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	5単位超	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	35	0.0%	0.0%	5.7%	2.9%	0.0%	2.9%	34.3%	42.9%	5.7%	17.1%	2.9%
	1単位超～2単位以下	75	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	8.0%	5.3%	44.0%	64.0%	8.0%	17.3%	5.3%
医療療養病床 (25:1)	2単位超～3単位以下	21	4.8%	0.0%	23.8%	0.0%	9.5%	4.8%	57.1%	76.2%	4.8%	28.6%	0.0%
	3単位超～4単位以下	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	40.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	25.0%	12.5%
	0単位超～1単位以下	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	41.2%	0.0%	17.6%	5.9%
医療療養病床 (診療所)	1単位超～2単位以下	41	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	7.3%	2.4%	56.1%	73.2%	12.2%	17.1%	7.3%
	2単位超～3単位以下	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	3単位超～4単位以下	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア 病棟・病床 全体	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	71.4%	14.3%	28.6%	0.0%
	1単位超～2単位以下	25	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	0.0%	4.0%	40.0%	76.0%	0.0%	12.0%	12.0%
	2単位超～3単位以下	8	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%	37.5%	0.0%
3単位超～4単位以下	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5単位超	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの目的 (理学療法士)

		施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他
介護療養病床 全体	0単位超～1単位以下	112	78.6%	98.2%	43.8%	11.6%	56.3%	83.9%	26.8%	45.5%	18.8%	0.0%
	1単位超～2単位以下	135	81.5%	97.8%	40.0%	13.3%	60.0%	90.4%	37.0%	41.5%	20.0%	8.9%
	2単位超～3単位以下	32	81.3%	100.0%	37.5%	9.4%	62.5%	96.9%	28.1%	40.6%	12.5%	6.3%
	3単位超～4単位以下	11	100.0%	90.9%	45.5%	9.1%	36.4%	72.7%	36.4%	54.5%	18.2%	0.0%
	4単位超～5単位以下	13	69.2%	92.3%	46.2%	30.8%	53.8%	84.6%	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%
療養機能 強化型A	5単位超	10	70.0%	100.0%	40.0%	0.0%	60.0%	70.0%	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	43	79.1%	95.3%	55.8%	9.3%	51.2%	81.4%	34.9%	51.2%	14.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	66	81.8%	97.0%	36.4%	21.2%	57.6%	89.4%	34.8%	43.9%	19.7%	9.1%
	2単位超～3単位以下	11	72.7%	100.0%	27.3%	9.1%	63.6%	100.0%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%
	3単位超～4単位以下	6	100.0%	83.3%	33.3%	16.7%	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
療養機能 強化型B	4単位超～5単位以下	6	66.7%	100.0%	33.3%	50.0%	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
	5単位超	2	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	13	76.9%	100.0%	38.5%	15.4%	84.6%	76.9%	30.8%	61.5%	30.8%	0.0%
	1単位超～2単位以下	15	80.0%	100.0%	26.7%	6.7%	73.3%	93.3%	46.7%	20.0%	13.3%	6.7%
	2単位超～3単位以下	4	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
その他(病院)	3単位超～4単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	2	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	50	78.0%	100.0%	32.0%	12.0%	52.0%	88.0%	18.0%	36.0%	20.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	52	80.8%	98.1%	50.0%	5.8%	59.6%	92.3%	38.5%	46.2%	23.1%	9.6%
療養機能 強化型 (診療所)	2単位超～3単位以下	13	92.3%	100.0%	46.2%	7.7%	76.9%	100.0%	38.5%	46.2%	15.4%	7.7%
	3単位超～4単位以下	3	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	60.0%	80.0%	60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	5	60.0%	100.0%	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 (診療所)	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床 全体	0単位超～1単位以下	5	100.0%	100.0%	80.0%	20.0%	80.0%	80.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	2	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	3	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療療養病床 (20:1) (加算あり)	5単位超	2	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	88	63.6%	97.7%	46.6%	17.0%	76.1%	79.5%	36.4%	35.2%	13.6%	6.8%
	1単位超～2単位以下	325	78.8%	97.8%	45.8%	17.5%	82.2%	92.3%	43.7%	39.4%	17.5%	3.7%
	2単位超～3単位以下	96	79.2%	99.0%	40.6%	20.8%	85.4%	92.7%	47.9%	29.2%	13.5%	2.1%
	3単位超～4単位以下	36	72.2%	91.7%	33.3%	22.2%	88.9%	88.9%	47.2%	36.1%	11.1%	0.0%
医療療養病床 (20:1) (加算なし)	4単位超～5単位以下	14	85.7%	100.0%	64.3%	14.3%	71.4%	78.6%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
	5単位超	28	92.9%	96.4%	50.0%	21.4%	89.3%	85.7%	42.9%	42.9%	17.9%	0.0%
	0単位超～1単位以下	12	83.3%	100.0%	41.7%	25.0%	75.0%	83.3%	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%
	1単位超～2単位以下	75	76.0%	94.7%	45.3%	16.0%	84.0%	94.7%	56.0%	30.7%	21.3%	1.3%
	2単位超～3単位以下	25	68.0%	100.0%	24.0%	24.0%	88.0%	88.0%	52.0%	16.0%	4.0%	0.0%
医療療養病床 (25:1)	3単位超～4単位以下	6	100.0%	100.0%	16.7%	0.0%	83.3%	83.3%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	60.0%	100.0%	60.0%	0.0%	80.0%	80.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	9	100.0%	100.0%	44.4%	11.1%	77.8%	100.0%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%
	0単位超～1単位以下	45	62.2%	95.6%	53.3%	15.6%	73.3%	77.8%	35.6%	44.4%	20.0%	11.1%
	1単位超～2単位以下	135	80.7%	98.5%	44.4%	17.0%	80.0%	90.4%	35.6%	40.0%	14.1%	5.9%
医療療養病床 (診療所)	2単位超～3単位以下	38	81.6%	97.4%	36.8%	15.8%	78.9%	94.7%	34.2%	23.7%	10.5%	5.3%
	3単位超～4単位以下	17	76.5%	88.2%	47.1%	29.4%	82.4%	94.1%	41.2%	47.1%	17.6%	0.0%
	4単位超～5単位以下	7	100.0%	100.0%	57.1%	14.3%	71.4%	85.7%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
	5単位超	10	90.0%	90.0%	40.0%	20.0%	90.0%	90.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	23	47.8%	100.0%	26.1%	13.0%	78.3%	78.3%	39.1%	21.7%	4.3%	4.3%
地域包括ケア 病棟・病床 全体	1単位超～2単位以下	106	77.4%	99.1%	48.1%	17.9%	83.0%	92.5%	43.4%	44.3%	18.9%	2.8%
	2単位超～3単位以下	30	86.7%	100.0%	53.3%	26.7%	90.0%	93.3%	56.7%	43.3%	23.3%	0.0%
	3単位超～4単位以下	12	50.0%	91.7%	16.7%	25.0%	100.0%	83.3%	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	5単位超	7	100.0%	100.0%	85.7%	28.6%	100.0%	71.4%	42.9%	85.7%	28.6%	0.0%
地域包括ケア 病棟・病床 全体	0単位超～1単位以下	8	87.5%	100.0%	75.0%	25.0%	87.5%	87.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	1単位超～2単位以下	6	83.3%	100.0%	33.3%	16.7%	83.3%	100.0%	50.0%	50.0%	33.3%	0.0%
	2単位超～3単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア 病棟・病床 全体	5単位超	2	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	16	75.0%	100.0%	56.3%	37.5%	93.8%	93.8%	56.3%	25.0%	18.8%	12.5%
	2単位超～3単位以下	52	75.0%	100.0%	50.0%	42.3%	98.1%	84.6%	65.4%	48.1%	15.4%	1.9%
	3単位超～4単位以下	12	66.7%	100.0%	41.7%	33.3%	91.7%	66.7%	50.0%	16.7%	8.3%	8.3%
地域包括ケア 病棟・病床 全体	4単位超～5単位以下	3	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの目的（作業療法士）

		施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他
介護療養病床全体	0単位超～1単位以下	63	82.5%	93.7%	50.8%	7.9%	42.9%	77.8%	20.6%	73.0%	41.3%	1.6%
	1単位超～2単位以下	89	80.9%	93.3%	73.0%	30.3%	58.4%	85.4%	41.6%	87.6%	44.9%	6.7%
	2単位超～3単位以下	17	70.6%	94.1%	58.8%	17.6%	52.9%	88.2%	11.8%	76.5%	41.2%	0.0%
	3単位超～4単位以下	7	71.4%	85.7%	57.1%	42.9%	42.9%	85.7%	0.0%	85.7%	42.9%	0.0%
	4単位超～5単位以下	5	80.0%	100.0%	80.0%	20.0%	60.0%	100.0%	40.0%	100.0%	60.0%	0.0%
療養機能強化型A	0単位超～1単位以下	37	81.1%	91.9%	54.1%	8.1%	40.5%	78.4%	18.9%	70.3%	45.9%	2.7%
	1単位超～2単位以下	48	83.3%	95.8%	70.8%	33.3%	62.5%	83.3%	41.7%	91.7%	39.6%	4.2%
	2単位超～3単位以下	10	90.0%	100.0%	50.0%	20.0%	50.0%	80.0%	20.0%	80.0%	50.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	3	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	3	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	0.0%
療養機能強化型B	0単位超～1単位以下	6	83.3%	100.0%	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	1単位超～2単位以下	12	75.0%	83.3%	75.0%	16.7%	66.7%	91.7%	41.7%	91.7%	50.0%	8.3%
	2単位超～3単位以下	2	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(病院)	0単位超～1単位以下	20	85.0%	95.0%	50.0%	5.0%	50.0%	85.0%	30.0%	80.0%	35.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	28	82.1%	92.9%	75.0%	32.1%	50.0%	85.7%	42.9%	78.6%	53.6%	10.7%
	2単位超～3単位以下	4	50.0%	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	2	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
療養機能強化型(診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1単位超～2単位以下	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療療養病床全体	0単位超～1単位以下	57	66.7%	86.0%	50.9%	21.1%	57.9%	77.2%	17.5%	61.4%	21.1%	7.0%
	1単位超～2単位以下	251	82.1%	96.4%	64.9%	35.9%	78.9%	83.7%	40.2%	76.1%	33.9%	5.6%
	2単位超～3単位以下	81	79.0%	95.1%	58.0%	34.6%	79.0%	87.7%	38.3%	77.8%	37.0%	1.2%
	3単位超～4単位以下	19	78.9%	84.2%	36.8%	31.6%	68.4%	84.2%	21.1%	68.4%	26.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	6	66.7%	100.0%	83.3%	33.3%	83.3%	83.3%	50.0%	83.3%	33.3%	0.0%
医療療養病床(20:1)(加算あり)	0単位超～1単位以下	14	85.7%	100.0%	71.4%	42.9%	71.4%	64.3%	14.3%	78.6%	28.6%	0.0%
	1単位超～2単位以下	9	66.7%	100.0%	55.6%	22.2%	66.7%	66.7%	0.0%	66.7%	22.2%	0.0%
	2単位超～3単位以下	64	82.8%	95.3%	65.6%	39.1%	81.3%	82.8%	42.2%	84.4%	40.6%	1.6%
	3単位超～4単位以下	21	76.2%	100.0%	52.4%	42.9%	81.0%	81.0%	47.6%	71.4%	28.6%	0.0%
	4単位超～5単位以下	6	66.7%	83.3%	16.7%	0.0%	50.0%	83.3%	33.3%	83.3%	33.3%	0.0%
医療療養病床(20:1)(加算なし)	0単位超～1単位以下	2	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	4	100.0%	100.0%	50.0%	25.0%	75.0%	100.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	33	69.7%	81.8%	48.5%	18.2%	51.5%	72.7%	24.2%	60.6%	21.2%	12.1%
	3単位超～4単位以下	109	79.8%	97.2%	62.4%	29.4%	71.6%	80.7%	33.0%	74.3%	28.4%	9.2%
	4単位超～5単位以下	31	80.6%	90.3%	54.8%	29.0%	83.9%	90.3%	32.3%	80.6%	41.9%	0.0%
医療療養病床(25:1)	0単位超～1単位以下	8	87.5%	87.5%	37.5%	37.5%	75.0%	87.5%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	3	66.7%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%
	2単位超～3単位以下	7	71.4%	100.0%	71.4%	57.1%	71.4%	57.1%	0.0%	100.0%	28.6%	0.0%
	3単位超～4単位以下	13	53.8%	84.6%	46.2%	23.1%	69.2%	100.0%	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%
	4単位超～5単位以下	74	83.8%	95.9%	68.9%	43.2%	86.5%	87.8%	47.3%	71.6%	36.5%	4.1%
医療療養病床(診療所)	0単位超～1単位以下	26	80.8%	96.2%	61.5%	34.6%	69.2%	88.5%	34.6%	76.9%	34.6%	3.8%
	1単位超～2単位以下	4	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	25.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	3	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床全体	0単位超～1単位以下	2	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	2	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床全体	0単位超～1単位以下	3	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	34	79.4%	100.0%	55.9%	55.9%	94.1%	91.2%	64.7%	70.6%	41.2%	2.9%
	2単位超～3単位以下	27	77.8%	96.3%	59.3%	59.3%	88.9%	63.0%	55.6%	59.3%	33.3%	0.0%
	3単位超～4単位以下	3	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	4単位超～5単位以下	4	75.0%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%
5単位超	2	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

図表 1人1日当たりの平均単位数別 リハビリの目的（言語聴覚士）

	施設数	生活習慣の維持のため	ADL(起居、移動を含む)維持、改善のため	社会性(他者との交流等)維持、改善のため	IADLの向上のため	機能の回復が見込まれるため	介護負担軽減のため	福祉用具の安全な使用を定着させるため	記憶、認知機能の維持、向上のため	BPSDの軽減、適応のため	その他	
介護療養病床全体	0単位超～1単位以下	40	70.0%	55.0%	57.5%	7.5%	67.5%	50.0%	5.0%	75.0%	25.0%	5.0%
	1単位超～2単位以下	65	64.6%	47.7%	64.6%	10.8%	60.0%	52.3%	6.2%	81.5%	20.0%	15.4%
	2単位超～3単位以下	17	64.7%	47.1%	82.4%	5.9%	52.9%	47.1%	5.9%	82.4%	29.4%	0.0%
	3単位超～4単位以下	4	25.0%	25.0%	75.0%	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%	75.0%	50.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	4	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	75.0%	75.0%	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%
療養機能強化型A	5単位超	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	21	81.0%	47.6%	71.4%	9.5%	76.2%	61.9%	0.0%	85.7%	23.8%	4.8%
	1単位超～2単位以下	38	71.1%	55.3%	63.2%	7.9%	60.5%	65.8%	5.3%	86.8%	18.4%	10.5%
	2単位超～3単位以下	10	60.0%	50.0%	80.0%	10.0%	60.0%	20.0%	10.0%	80.0%	40.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
療養機能強化型B	4単位超～5単位以下	3	33.3%	33.3%	100.0%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	4	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%
	1単位超～2単位以下	8	62.5%	37.5%	75.0%	12.5%	50.0%	50.0%	0.0%	37.5%	12.5%	37.5%
	2単位超～3単位以下	3	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
その他(病院)	3単位超～4単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	15	53.3%	66.7%	40.0%	0.0%	53.3%	40.0%	6.7%	60.0%	20.0%	6.7%
	1単位超～2単位以下	18	50.0%	38.9%	61.1%	16.7%	61.1%	27.8%	11.1%	88.9%	27.8%	16.7%
療養機能強化型(診療所)	2単位超～3単位以下	4	75.0%	25.0%	100.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(診療所)	1単位超～2単位以下	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療療養病床全体	0単位超～1単位以下	72	48.6%	38.9%	50.0%	8.3%	69.4%	38.9%	2.8%	55.6%	13.9%	5.6%
	1単位超～2単位以下	171	57.3%	55.0%	63.7%	10.5%	67.8%	38.6%	7.6%	72.5%	28.1%	5.3%
	2単位超～3単位以下	44	56.8%	56.8%	70.5%	13.6%	65.9%	52.3%	11.4%	79.5%	34.1%	6.8%
	3単位超～4単位以下	11	63.6%	36.4%	54.5%	18.2%	63.6%	54.5%	9.1%	63.6%	18.2%	9.1%
	4単位超～5単位以下	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床(20:1)(加算あり)	5単位超	13	46.2%	61.5%	30.8%	23.1%	84.6%	38.5%	7.7%	53.8%	7.7%	7.7%
	0単位超～1単位以下	19	42.1%	42.1%	52.6%	5.3%	73.7%	42.1%	0.0%	57.9%	21.1%	5.3%
	1単位超～2単位以下	52	50.0%	55.8%	51.9%	11.5%	63.5%	32.7%	0.0%	75.0%	26.9%	3.8%
	2単位超～3単位以下	13	38.5%	53.8%	61.5%	7.7%	53.8%	38.5%	7.7%	84.6%	30.8%	15.4%
	3単位超～4単位以下	3	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
医療療養病床(20:1)(加算なし)	4単位超～5単位以下	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0単位超～1単位以下	36	55.6%	38.9%	41.7%	8.3%	63.9%	38.9%	5.6%	52.8%	11.1%	8.3%
	1単位超～2単位以下	75	61.3%	54.7%	65.3%	5.3%	68.0%	44.0%	13.3%	69.3%	24.0%	6.7%
	2単位超～3単位以下	20	60.0%	50.0%	70.0%	25.0%	75.0%	65.0%	15.0%	80.0%	45.0%	5.0%
医療療養病床(25:1)	3単位超～4単位以下	5	60.0%	40.0%	100.0%	20.0%	40.0%	80.0%	0.0%	100.0%	20.0%	20.0%
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	8	50.0%	62.5%	37.5%	25.0%	87.5%	50.0%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%
	0単位超～1単位以下	17	41.2%	35.3%	64.7%	11.8%	76.5%	35.3%	0.0%	58.8%	11.8%	0.0%
	1単位超～2単位以下	41	56.1%	53.7%	73.2%	14.6%	75.6%	31.7%	7.3%	73.2%	36.6%	2.4%
医療療養病床(診療所)	2単位超～3単位以下	10	70.0%	80.0%	80.0%	0.0%	70.0%	50.0%	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%
	3単位超～4単位以下	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4単位超～5単位以下	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5単位超	3	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%
	0単位超～1単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床全体	1単位超～2単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2単位超～3単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3単位超～4単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4単位超～5単位以下	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5単位超	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料4. 病床規模別の分析

介護療養病床、医療療養病床ともに各病床種別の許可病床数が「50床未満」を「小規模群」、「50床以上」を「大規模群」として集計対象を病院に限定し集計を行った。

介護療養病床では、小規模群 207 施設、大規模群 182 施設、医療療養病床では小規模群 406 施設、大規模群 347 施設であった。

なお、回答数の少ないものについては、参考に留め置かれるたい。

図表 病床規模別 1施設あたりの病床数・入院患者数（平成27年10月31日時点）

	施設数	入院患者数の合計	1施設あたり病床数	1施設あたり入院患者数	病床100床あたり入院患者数
介護療養病床 小規模	203	5,167	29.2	25.5	87.1
療養機能強化型A	74	2,181	32.4	29.5	91.0
療養機能強化型B	17	408	29.2	24.0	82.3
その他(病院)	112	2,578	27.2	23.0	84.8
介護療養病床 大規模	182	15,784	93.8	86.7	92.5
療養機能強化型A	96	8,885	99.7	92.6	92.8
療養機能強化型B	19	1,807	103.7	95.1	91.7
その他(病院)	67	5,092	82.5	76.0	92.1
医療療養病床 小規模	402	12,173	36.3	30.3	83.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	69	2,294	38.9	33.2	85.4
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	157	4,955	36.1	31.6	87.5
医療療養病床(25:1)	173	4,807	35.3	27.8	78.8
医療療養病床 大規模	347	27,348	86.4	78.8	91.2
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	83	5,974	79.2	72.0	90.9
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	167	14,101	91.2	84.4	92.6
医療療養病床(25:1)	94	6,830	82.0	72.7	88.7

図表 病床規模別 平均在院日数（平成27年10月31日時点）

	施設数	平均在院日数	最大値	最小値
介護療養病床 小規模	185	545.8	2,342	5.5
療養機能強化型A	67	579.8	2,162	19
療養機能強化型B	16	594.4	1,714	33.7
その他(病院)	102	515.8	2,342	5.5
介護療養病床 大規模	172	692.9	7,743	23.7
療養機能強化型A	89	696.1	7,743	23.7
療養機能強化型B	19	670.0	1,349	161.0
その他(病院)	64	695.2	2,604	73.5
医療療養病床 小規模	374	266.1	5,900	13.4
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	67	179.8	628	39.0
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	365.5	5,900	21.0
医療療養病床(25:1)	157	206.7	1,383	13.4
医療療養病床 大規模	331	330.0	1,799	14.1
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	83	211.5	1,407	33.5
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	158	385.1	1,799	15.0
医療療養病床(25:1)	88	344.4	1,359	14.1

図表 病床規模別 在宅復帰率の施設別分布

	施設数	0~20% 未満	20~40% 未満	40~60% 未満	60~80% 未満	80~ 100%	不詳
介護療養病床 小規模	181	59.7%	17.1%	14.9%	3.9%	4.4%	0.0%
療養機能強化型A	62	62.9%	22.6%	11.3%	1.6%	1.6%	0.0%
療養機能強化型B	15	73.3%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(病院)	104	55.8%	15.4%	16.3%	5.8%	6.7%	0.0%
介護療養病床 大規模	163	53.4%	24.5%	12.3%	5.5%	4.3%	0.0%
療養機能強化型A	86	47.7%	26.7%	12.8%	7.0%	5.8%	0.0%
療養機能強化型B	18	66.7%	11.1%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%
その他(病院)	59	57.6%	25.4%	10.2%	5.1%	1.7%	0.0%
医療療養病床 小規模	355	23.1%	17.2%	23.1%	20.3%	14.6%	1.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	67	0.0%	0.0%	17.9%	47.8%	25.4%	9.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	140	30.7%	21.4%	27.1%	12.9%	7.9%	0.0%
医療療養病床(25:1)	147	26.5%	20.4%	21.8%	15.0%	16.3%	0.0%
医療療養病床 大規模	314	25.5%	19.7%	22.0%	22.0%	8.9%	1.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	83	0.0%	0.0%	21.7%	51.8%	19.3%	7.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	147	35.4%	27.2%	23.8%	9.5%	4.1%	0.0%
医療療養病床(25:1)	81	32.1%	25.9%	19.8%	14.8%	7.4%	0.0%

図表 病床規模別 要介護度別入院患者割合

	施設数	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	不明・未 申請
介護療養病床 小規模	202	—	1.2%	2.5%	6.8%	33.6%	55.6%	0.4%	0.0%
療養機能強化型A	74	—	0.4%	0.9%	4.5%	33.2%	60.7%	0.2%	—
療養機能強化型B	17	—	1.1%	4.5%	8.1%	33.0%	52.8%	0.2%	0.2%
その他(病院)	111	—	1.8%	3.5%	8.6%	34.0%	51.6%	0.5%	0.0%
介護療養病床 大規模	182	—	1.3%	2.7%	8.0%	33.5%	53.7%	0.7%	0.1%
療養機能強化型A	96	—	0.9%	2.1%	7.0%	33.5%	55.6%	0.7%	0.1%
療養機能強化型B	19	—	2.9%	4.0%	9.9%	30.8%	51.2%	1.2%	—
その他(病院)	67	—	1.5%	3.2%	9.1%	34.5%	51.0%	0.5%	0.1%
医療療養病床 小規模	361	2.6%	3.9%	6.6%	8.2%	15.8%	25.8%	2.8%	34.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	65	2.7%	4.7%	6.4%	9.0%	18.5%	26.4%	2.4%	29.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	142	1.6%	2.5%	5.3%	7.2%	14.5%	31.0%	2.4%	35.5%
医療療養病床(25:1)	151	3.7%	5.0%	8.1%	8.6%	15.6%	19.7%	3.5%	35.8%
医療療養病床 大規模	311	1.4%	2.8%	4.1%	6.3%	14.1%	24.0%	2.0%	45.3%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	77	2.0%	3.8%	5.0%	7.3%	15.7%	25.6%	2.7%	38.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	1.0%	1.9%	3.3%	5.4%	12.7%	23.3%	1.7%	50.6%
医療療養病床(25:1)	83	1.7%	3.8%	5.0%	7.4%	15.7%	24.3%	2.0%	40.1%

図表 病床規模別 認知症高齢者の日常生活自立度別入院患者割合

	施設数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明・未 実施
介護療養病床 小規模	184	0.9%	2.5%	2.9%	6.0%	20.4%	13.5%	43.9%	7.7%	2.4%
療養機能強化型A	68	0.7%	1.4%	1.5%	4.1%	16.3%	14.7%	50.2%	7.7%	3.5%
療養機能強化型B	16	0.5%	4.3%	3.4%	9.2%	16.4%	26.3%	28.9%	6.0%	5.1%
その他(病院)	100	1.1%	3.1%	4.0%	7.0%	24.7%	10.1%	40.9%	8.0%	1.0%
介護療養病床 大規模	176	1.2%	1.7%	2.7%	5.5%	19.0%	17.1%	42.9%	8.4%	1.5%
療養機能強化型A	94	1.1%	1.5%	2.5%	4.8%	17.3%	18.4%	43.6%	9.3%	1.5%
療養機能強化型B	18	2.3%	2.8%	3.4%	5.6%	14.6%	16.3%	45.9%	9.0%	—
その他(病院)	64	0.9%	1.7%	2.8%	6.5%	23.7%	15.1%	40.5%	6.5%	2.2%
医療療養病床 小規模	354	6.5%	5.5%	5.4%	7.1%	13.5%	7.6%	26.8%	7.2%	20.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	64	5.9%	5.6%	5.0%	6.1%	13.5%	7.5%	29.2%	4.6%	22.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	140	5.0%	4.3%	4.2%	6.5%	12.3%	7.1%	31.5%	9.5%	19.6%
医療療養病床(25:1)	146	8.5%	6.8%	7.2%	8.3%	14.9%	8.0%	19.2%	6.3%	20.7%
医療療養病床 大規模	304	3.6%	3.7%	4.1%	6.4%	16.0%	8.0%	24.9%	9.2%	24.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	75	4.6%	4.4%	5.3%	5.9%	16.1%	8.7%	25.1%	7.5%	22.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	143	3.1%	3.1%	3.2%	5.6%	14.3%	7.6%	24.1%	10.6%	28.5%
医療療養病床(25:1)	83	4.0%	4.3%	5.1%	8.7%	19.4%	8.2%	26.8%	7.8%	15.7%

図表 病床規模別 医療区分別入院患者割合

	施設数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
介護療養病床 小規模	153	48.2%	14.1%	2.8%	34.9%
療養機能強化型A	56	46.7%	20.2%	2.4%	30.7%
療養機能強化型B	11	45.0%	10.0%	2.1%	43.0%
その他(病院)	86	49.8%	9.8%	3.2%	37.2%
介護療養病床 大規模	154	53.6%	9.4%	3.4%	33.6%
療養機能強化型A	84	51.6%	10.6%	3.9%	33.9%
療養機能強化型B	16	60.2%	6.6%	4.0%	29.2%
その他(病院)	54	55.0%	8.2%	2.3%	34.5%
医療療養病床 小規模	392	22.4%	44.4%	31.7%	1.5%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	67	11.9%	46.8%	36.9%	4.4%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	153	9.0%	53.3%	37.7%	—
医療療養病床(25:1)	170	41.3%	34.2%	23.0%	1.5%
医療療養病床 大規模	333	18.9%	43.7%	35.2%	2.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	80	12.4%	48.3%	34.6%	4.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	159	11.0%	45.7%	42.0%	1.4%
医療療養病床(25:1)	91	40.8%	35.1%	23.3%	0.9%

図表 病床規模別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の各基準に該当する患者の割合(平成27年10月31日時点)(複数回答)

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者					
			NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの
介護療養病床 小規模	174	4,550	5.7%	2.3%	—	—	—	—
療養機能強化型A	70	2,067	7.5%	3.3%	—	—	—	—
療養機能強化型B	16	383	6.5%	6.0%	—	—	—	—
その他(病院)	88	2,100	3.8%	0.7%	—	—	—	—
介護療養病床 大規模	171	15,091	5.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
療養機能強化型A	93	8,638	6.1%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—
療養機能強化型B	19	1,807	8.0%	0.7%	—	—	—	—
その他(病院)	59	4,646	4.7%	0.4%	0.0%	—	—	0.0%
医療療養病床 小規模	324	9,946	4.3%	2.6%	0.5%	0.4%	0.2%	0.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	57	1,850	4.6%	3.9%	0.3%	0.7%	0.1%	0.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	130	4,149	4.4%	3.4%	0.7%	0.5%	0.3%	0.3%
医療療養病床(25:1)	133	3,830	4.1%	1.3%	0.5%	0.2%	0.0%	0.1%
医療療養病床 大規模	297	23,188	4.4%	4.8%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	71	4,892	5.3%	5.5%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	12,380	3.8%	6.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
医療療養病床(25:1)	75	5,473	5.0%	1.6%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%

※前頁図表の続き

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者				身体合併症を有する認知症高齢者		
			Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、別に掲げるいづれかの疾病(※)と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMIに該当する者
介護療養病床 小規模	174	4,550	0.3%	5.6%	0.0%	1.6%	4.0%	2.9%	66.4%
療養機能強化型A	70	2,067	0.4%	6.2%	—	2.4%	3.9%	2.8%	72.9%
療養機能強化型B	16	383	0.3%	5.7%	—	1.3%	4.2%	2.9%	61.9%
その他(病院)	88	2,100	0.2%	5.0%	0.1%	0.8%	4.1%	3.0%	60.8%
介護療養病床 大規模	171	15,091	0.1%	3.1%	0.0%	1.7%	3.1%	1.6%	65.7%
療養機能強化型A	93	8,638	0.1%	3.3%	—	1.7%	3.5%	1.7%	69.6%
療養機能強化型B	19	1,807	0.1%	0.4%	—	0.6%	2.8%	1.1%	62.5%
その他(病院)	59	4,646	0.1%	3.7%	0.1%	2.0%	2.3%	1.5%	59.7%
医療療養病床 小規模	324	9,946	0.3%	7.2%	0.2%	1.2%	3.1%	6.3%	39.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	57	1,850	0.5%	8.7%	0.5%	1.3%	4.5%	7.1%	36.2%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	130	4,149	0.3%	8.8%	0.3%	1.2%	2.8%	8.1%	47.1%
医療療養病床(25:1)	133	3,830	0.2%	4.8%	—	1.2%	2.7%	4.0%	30.7%
医療療養病床 大規模	297	23,188	0.3%	7.7%	0.2%	1.2%	2.7%	5.4%	35.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	71	4,892	0.3%	6.7%	0.3%	0.7%	2.9%	5.0%	43.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	12,380	0.3%	9.8%	0.1%	1.1%	2.7%	6.1%	34.5%
医療療養病床(25:1)	75	5,473	0.5%	3.8%	0.2%	1.7%	2.6%	4.0%	30.0%

図表 病床規模別 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者に該当する患者の実人数の割合(平成27年10月31日時点)

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	総入院患者に占める該当する入院患者の実人数の割合
介護療養病床 小規模	153	4,010	73.0%
療養機能強化型A	61	1,788	80.7%
療養機能強化型B	12	308	74.7%
その他(病院)	80	1,914	65.5%
介護療養病床 大規模	156	13,879	71.0%
療養機能強化型A	84	7,890	74.5%
療養機能強化型B	19	1,807	70.4%
その他(病院)	53	4,182	64.6%
医療療養病床 小規模	278	8,743	49.9%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	50	1,696	51.8%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	113	3,676	56.5%
医療療養病床(25:1)	113	3,292	39.7%
医療療養病床 大規模	266	20,677	48.5%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	69	4,797	53.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	128	10,748	49.2%
医療療養病床(25:1)	67	4,743	40.4%

図表 病床規模別 総入院患者に占める各処置が必要な入院患者の割合（平成27年10月31日時点）
（複数回答）

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	喀痰吸引を実施している者	喀痰吸引の実施に相当する者	経管栄養（経鼻経管、胃ろう、腸ろう、中心静脈栄養）を実施している者	経管栄養の実施に相当する者	インスリン注射の実施（自ら実施する者は除く）
介護療養病床 小規模	194	5,029	33.1%	7.9%	44.7%	17.5%	3.3%
療養機能強化型A	74	2,181	42.0%	13.0%	55.8%	21.0%	3.7%
療養機能強化型B	16	383	36.3%	0.8%	39.2%	1.3%	3.4%
その他（病院）	104	2,465	24.8%	4.4%	35.7%	17.0%	3.0%
介護療養病床 大規模	180	15,589	30.8%	12.2%	43.9%	19.4%	3.3%
療養機能強化型A	95	8,743	34.9%	14.4%	47.7%	22.9%	3.5%
療養機能強化型B	19	1,807	23.7%	10.8%	35.1%	8.4%	2.9%
その他（病院）	66	5,039	26.4%	8.9%	40.3%	17.1%	3.2%
医療療養病床 小規模	383	11,733	41.8%	9.0%	43.2%	11.6%	7.1%
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算あり）	70	2,294	44.6%	10.2%	45.9%	13.1%	7.7%
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算なし）	148	4,672	51.4%	11.3%	50.7%	14.0%	8.3%
医療療養病床(25:1)	161	4,650	30.2%	5.1%	33.5%	8.0%	5.4%
医療療養病床 大規模	334	26,536	47.4%	8.5%	52.5%	15.0%	7.5%
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算あり）	79	5,796	47.8%	10.6%	49.4%	15.1%	8.7%
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算なし）	161	13,702	52.8%	9.4%	58.9%	17.9%	8.1%
医療療養病床(25:1)	91	6,595	34.6%	5.1%	40.9%	9.8%	5.2%

図表 病床規模別 ターミナルケアを提供している入院患者数（平成27年10月31日時点）

	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数
介護療養病床 小規模	187	590	13.6%	3.2	10.6
療養機能強化型A	74	467	26.2%	6.3	19.5
療養機能強化型B	17	45	9.0%	2.6	9.1
その他（病院）	96	78	1.3%	0.8	2.9
介護療養病床 大規模	173	2,426	11.7%	14.0	14.9
療養機能強化型A	95	2,035	19.4%	21.4	21.7
療養機能強化型B	19	241	11.4%	12.7	12.2
その他（病院）	59	150	1.0%	2.5	3.0
医療療養病床 小規模	346	528	6.4%	1.5	4.1
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算あり）	63	184	12.8%	2.9	7.2
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算なし）	137	166	4.2%	1.2	3.3
医療療養病床(25:1)	143	170	7.4%	1.2	3.3
医療療養病床 大規模	294	1,270	3.1%	4.3	5.0
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算あり）	77	447	2.6%	5.8	7.6
医療療養病床(20:1)（在宅復帰機能強化加算なし）	137	490	3.0%	3.6	3.8
医療療養病床(25:1)	78	310	3.0%	4.0	4.8

図表 病床規模別 回答施設全体のリハビリテーションに係る職種の職員数

		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
		施設数	平均職員数	施設数	平均職員数	施設数	平均職員数
介護療養 小規模	常勤	168	6.8	111	4.8	67	2.9
	非常勤	30	1.2	16	1.1	12	1.3
	常勤換算	80	4.2	50	3.0	33	1.7
	常勤+常勤換算	177	8.4	117	5.9	71	3.5
介護療養 大規模	常勤	151	8.9	120	7.1	95	3.9
	非常勤	42	1.8	31	1.5	18	1.2
	常勤換算	89	6.6	64	4.5	44	2.9
	常勤+常勤換算	159	12.1	125	9.1	99	5.0
医療療養 小規模	常勤	245	5.3	153	3.8	83	2.2
	非常勤	51	1.3	29	1.4	14	1.1
	常勤換算	124	3.4	77	2.6	40	1.5
	常勤+常勤換算	254	6.8	160	4.9	90	2.6
医療療養 大規模	常勤	349	12.0	302	7.9	252	3.8
	非常勤	78	1.8	62	1.5	39	1.3
	常勤換算	176	8.5	146	5.8	112	3.1
	常勤+常勤換算	355	16.0	305	10.6	254	5.2

図表 病床規模別 病床種別別のリハビリテーションに係る職種の職員数（専従+兼務）

	理学療法士(専従+兼務)			作業療法士(専従+兼務)			言語聴覚士(専従+兼務)		
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員
介護療養病床 小規模	198	1.9	6.4	198	0.7	2.4	198	0.3	1.0
療養機能強化型A	70	2.4	7.2	70	1.1	3.3	70	0.4	1.3
療養機能強化型B	17	2.6	9.0	17	1.2	4.1	17	0.7	2.2
その他(病院)	111	1.4	5.3	111	0.4	1.5	111	0.1	0.5
介護療養病床 大規模	179	2.5	2.7	179	1.4	1.5	179	0.7	0.8
療養機能強化型A	94	2.8	2.9	94	1.5	1.5	94	0.8	0.8
療養機能強化型B	19	3.7	3.5	19	2.3	2.2	19	1.4	1.3
その他(病院)	66	1.9	2.2	66	1.0	1.2	66	0.5	0.6
医療療養病床 小規模	379	2.4	6.5	379	1.1	2.9	379	0.4	1.1
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	67	2.7	6.6	67	1.3	3.1	67	0.5	1.2
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	2.2	6.1	148	1.0	2.9	148	0.5	1.3
医療療養病床(25:1)	162	2.3	6.5	162	1.0	2.8	162	0.3	0.9
医療療養病床 大規模	327	3.8	4.3	327	2.0	2.3	327	1.0	1.1
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	81	4.6	5.7	81	2.1	2.7	81	1.0	1.2
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	159	3.8	4.1	159	2.2	2.3	159	1.1	1.2
医療療養病床(25:1)	85	3.0	3.6	85	1.5	1.8	85	0.7	0.8

図表 病床規模別 医療ソーシャルワーカーの職員数（専従+兼務、専従）

	医療ソーシャルワーカー(専従+兼務)			医療ソーシャルワーカー(専従)		
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数
介護療養病床 小規模	198	0.3	1.1	198	0.2	0.7
療養機能強化型A	70	0.4	1.2	70	0.2	0.7
療養機能強化型B	17	0.6	1.9	17	0.3	1.1
その他(病院)	111	0.2	0.9	111	0.2	0.6
介護療養病床 大規模	179	1.0	1.0	179	0.6	0.6
療養機能強化型A	94	1.0	1.0	94	0.6	0.6
療養機能強化型B	19	0.9	0.9	19	0.6	0.6
その他(病院)	66	0.9	1.1	66	0.5	0.6
医療療養病床 小規模	379	0.6	1.5	379	0.3	0.8
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	67	0.7	1.7	67	0.3	0.8
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	0.5	1.5	148	0.3	0.9
医療療養病床(25:1)	162	0.5	1.4	162	0.3	0.7
医療療養病床 大規模	327	1.1	1.2	327	0.6	0.7
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	81	1.1	1.4	81	0.6	0.8
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	159	1.1	1.2	159	0.7	0.7
医療療養病床(25:1)	85	0.9	1.1	85	0.4	0.5

図表 病床規模別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の要件について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
介護療養病床 小規模	178	40.4%	34.3%	36.0%	24.7%	23.6%	2.8%	1.7%
療養機能強化型A	69	66.7%	23.2%	24.6%	17.4%	10.1%	1.4%	0.0%
療養機能強化型B	15	60.0%	26.7%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%
その他(病院)	94	18.1%	43.6%	47.9%	33.0%	35.1%	4.3%	2.1%
介護療養病床 大規模	174	62.6%	27.6%	24.7%	12.6%	13.8%	1.7%	2.3%
療養機能強化型A	93	76.3%	17.2%	12.9%	7.5%	6.5%	1.1%	3.2%
療養機能強化型B	18	66.7%	27.8%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	5.6%
その他(病院)	63	41.3%	42.9%	42.9%	20.6%	25.4%	3.2%	0.0%

図表 病床規模別 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
介護療養病床 小規模	179	48.6%	34.1%	28.5%	15.1%	20.7%	1.7%	1.7%
療養機能強化型A	69	75.4%	15.9%	24.6%	15.9%	7.2%	0.0%	0.0%
療養機能強化型B	15	40.0%	46.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%
その他(病院)	95	30.5%	45.3%	34.7%	15.8%	32.6%	3.2%	2.1%
介護療養病床 大規模	174	67.8%	22.4%	19.5%	6.3%	12.1%	0.6%	2.9%
療養機能強化型A	93	83.9%	11.8%	9.7%	3.2%	6.5%	0.0%	1.1%
療養機能強化型B	18	50.0%	33.3%	5.6%	5.6%	22.2%	0.0%	16.7%
その他(病院)	63	49.2%	34.9%	38.1%	11.1%	17.5%	1.6%	1.6%

図表 病床規模別 ターミナルケアの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他
介護療養病床 小規模	177	31.1%	41.2%	27.7%	14.7%	19.2%	2.8%	12.4%	3.4%
療養機能強化型A	69	53.6%	34.8%	18.8%	13.0%	7.2%	1.4%	7.2%	4.3%
療養機能強化型B	15	20.0%	46.7%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	20.0%	6.7%
その他(病院)	93	16.1%	45.2%	37.6%	17.2%	28.0%	4.3%	15.1%	2.2%
介護療養病床 大規模	175	49.1%	34.3%	19.4%	8.6%	9.7%	1.1%	8.6%	7.4%
療養機能強化型A	93	69.9%	23.7%	7.5%	4.3%	4.3%	0.0%	5.4%	2.2%
療養機能強化型B	18	44.4%	44.4%	16.7%	5.6%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
その他(病院)	64	20.3%	46.9%	37.5%	15.6%	17.2%	3.1%	12.5%	14.1%

図表 病床規模別 リハビリの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションの範囲がわからない	その他
介護療養病床 小規模	174	70.7%	9.8%	11.5%	13.8%	3.4%
療養機能強化型A	69	84.1%	4.3%	2.9%	13.0%	2.9%
療養機能強化型B	15	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
その他(病院)	90	56.7%	15.6%	20.0%	15.6%	4.4%
介護療養病床 大規模	171	77.8%	11.7%	8.8%	5.3%	2.9%
療養機能強化型A	89	86.5%	6.7%	3.4%	2.2%	2.2%
療養機能強化型B	18	88.9%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%
その他(病院)	64	62.5%	20.3%	15.6%	9.4%	3.1%

図表 病床規模別 地域に貢献する活動について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	地域に貢献する活動を必要とされていない	地域に貢献する活動を実施することが、人員体制上厳しい	地域に貢献する活動の範囲がわからない	その他
介護療養病床 小規模	176	51.1%	2.8%	36.4%	25.0%	2.8%
療養機能強化型A	69	65.2%	2.9%	24.6%	18.8%	2.9%
療養機能強化型B	15	93.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
その他(病院)	92	33.7%	3.3%	50.0%	33.7%	3.3%
介護療養病床 大規模	174	62.1%	2.9%	27.6%	21.8%	4.0%
療養機能強化型A	93	73.1%	1.1%	16.1%	19.4%	3.2%
療養機能強化型B	18	72.2%	5.6%	22.2%	22.2%	5.6%
その他(病院)	63	42.9%	4.8%	46.0%	25.4%	4.8%

資料5. 一般病床の有無別の分析

病院では一般病棟（7:1）、（10:1）、（13:1）、（15:1）を有する施設を「一般病床 有」、それ以外の施設を「一般病床 無」、診療所では一般病床を有する施設を「一般病床 有」、それ以外の施設を「一般病床 無」として集計を行った。

介護療養病床では一般病床有 213 施設、一般病床無 249 施設、医療療養病床では一般病床有 422 施設、一般病床無 409 施設であった。

なお、回答数が少ないものについては、参考に留め置かれない。

図表 一般病床有無別 病床数の分布【病院】

総病床数	病院		うち介護療養病床を有する病院		うち医療療養病床を有する病院		
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
一般病床有	20～49床	6	1.7%	2	1.4%	5	1.6%
	50～74床	32	9.2%	14	9.8%	27	8.5%
	75～99床	65	18.6%	24	16.8%	60	19.0%
	100～149床	85	24.4%	32	22.4%	77	24.4%
	150～199床	83	23.8%	33	23.1%	76	24.1%
	200～299床	45	12.9%	21	14.7%	40	12.7%
	300～399床	18	5.2%	10	7.0%	16	5.1%
	400～499床	7	2.0%	1	0.7%	7	2.2%
	500～599床	2	0.6%	2	1.4%	2	0.6%
	600床以上	6	1.7%	4	2.8%	6	1.9%
	計	349	100.0%	143	100.0%	316	100.0%
一般病床無	20～49床	38	9.6%	18	7.9%	35	9.9%
	50～74床	74	18.8%	40	17.5%	62	17.5%
	75～99床	62	15.7%	37	16.2%	58	16.4%
	100～149床	82	20.8%	48	21.1%	71	20.1%
	150～199床	62	15.7%	36	15.8%	57	16.1%
	200～299床	43	10.9%	27	11.8%	40	11.3%
	300～399床	19	4.8%	13	5.7%	19	5.4%
	400～499床	6	1.5%	2	0.9%	5	1.4%
	500～599床	4	1.0%	3	1.3%	3	0.8%
	600床以上	4	1.0%	4	1.8%	4	1.1%
計	394	100.0%	228	100.0%	354	100.0%	

図表 一般病床有無別 1施設あたりの病床数・入院患者数（平成27年10月31日時点）

		施設数	入院患者数の合計	1施設あたり病床数	1施設あたり入院患者数	病床100床あたり入院患者数
一般病床有	介護療養病床 全体	207	6,459	34.7	31.2	90.0
	療養機能強化型A	55	2,782	54.1	50.6	93.4
	療養機能強化型B	12	666	60.6	55.5	91.6
	その他(病院)	75	2,461	37.7	32.8	87.0
	療養機能強化型(診療所)	23	194	10.0	8.4	84.3
	その他(診療所)	42	356	9.9	8.5	86.0
	医療療養病床 全体	401	14,297	41.6	35.7	85.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	54	2,217	46.4	41.1	88.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	152	7,384	54.0	48.6	89.9
	医療療養病床(25:1)	114	3,998	44.4	35.1	78.9
医療療養病床(診療所)	80	544	9.3	6.8	73.0	
一般病床無	介護療養病床 全体	249	14,599	64.3	58.6	91.2
	療養機能強化型A	109	7,819	78.1	71.7	91.8
	療養機能強化型B	20	1,466	82.7	73.3	88.6
	その他(病院)	99	5,042	55.9	50.9	91.1
	療養機能強化型(診療所)	3	34	14.3	11.3	79.1
	その他(診療所)	18	238	15.1	13.2	87.8
	医療療養病床 全体	406	23,733	65.0	58.5	90.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	93	5,822	70.0	62.6	89.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	157	10,480	72.7	66.8	91.8
	医療療養病床(25:1)	134	6,944	58.8	51.8	88.2
医療療養病床(診療所)	18	119	10.3	6.6	64.0	

図表 一般病床有無別 平均在院日数（平成27年10月31日時点）

		施設数	平均在院日数	最大値	最小値
一般病床有	介護療養病床 全体	183	517.1	7,743	5.5
	療養機能強化型A	50	618.9	7,743	19
	療養機能強化型B	12	669.9	1,714	33.7
	その他(病院)	68	454.9	1,479	5.5
	療養機能強化型(診療所)	19	369.1	1,188	14
	その他(診療所)	34	520.5	2,176	22
	医療療養病床 全体	367	307.7	5,900	1.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	53	203.9	628	39
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	144	370.2	5,900	15
	医療療養病床(25:1)	102	205.0	636	13.4
医療療養病床(診療所)	68	410.3	2,800	1.5	
一般病床無	介護療養病床 全体	233	665.7	2,604	23.7
	療養機能強化型A	100	643.0	2,162	23.7
	療養機能強化型B	20	615.8	1,507	86.5
	その他(病院)	94	687.7	2,604	30.0
	療養機能強化型(診療所)	3	950.9	1,411	589.7
	その他(診療所)	16	687.7	1,401	30.0
	医療療養病床 全体	389	301.4	1,799	8.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	92	196.1	1,407	33.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	148	376.4	1,799	34.0
	医療療養病床(25:1)	126	294.7	1,383	14.1
医療療養病床(診療所)	19	259.1	1,303	8.4	

図表 一般病床有無別 在宅復帰率の施設別分布（平成27年10月31日時点）

		施設数	0~20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80~100%	不詳
一般病床 有	介護療養病床 全体	187	59.9%	15.0%	15.5%	5.3%	4.3%	0.0%
	療養機能強化型A	48	58.3%	20.8%	14.6%	6.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	11	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	70	44.3%	20.0%	22.9%	5.7%	7.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	21	71.4%	0.0%	14.3%	4.8%	9.5%	0.0%
	その他(診療所)	37	81.1%	5.4%	5.4%	5.4%	2.7%	0.0%
	医療療養病床 全体	355	32.7%	17.2%	20.6%	17.5%	10.7%	1.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	52	0.0%	0.0%	15.4%	53.8%	21.2%	9.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	135	31.9%	27.4%	22.2%	13.3%	5.2%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	99	23.2%	23.2%	31.3%	11.1%	11.1%	0.0%
医療療養病床(診療所)	68	72.1%	1.5%	5.9%	7.4%	13.2%	0.0%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	222	60.4%	22.1%	9.5%	4.1%	4.1%	0.0%
	療養機能強化型A	94	50.0%	28.7%	11.7%	4.3%	5.3%	0.0%
	療養機能強化型B	19	68.4%	5.3%	21.1%	0.0%	5.3%	0.0%
	その他(病院)	88	65.9%	19.3%	6.8%	5.7%	2.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	18	77.8%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
	医療療養病床 全体	366	26.0%	16.1%	21.3%	21.0%	13.7%	1.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	93	0.0%	0.0%	22.6%	46.2%	23.7%	7.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	139	34.5%	20.9%	28.1%	10.1%	6.5%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	113	33.6%	22.1%	14.2%	16.8%	13.3%	0.0%
医療療養病床(診療所)	18	44.4%	16.7%	11.1%	5.6%	22.2%	0.0%	

図表 一般病床有無別 要介護度別入院患者割合（複数回答）

		施設数	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	不明・未申請
一般病床 有	介護療養病床 全体	206	0.0%	1.1%	2.8%	7.9%	33.3%	53.9%	0.6%	0.3%
	療養機能強化型A	55	—	0.6%	1.8%	7.0%	33.3%	56.8%	0.5%	—
	療養機能強化型B	12	—	3.2%	5.6%	12.0%	31.1%	47.5%	0.5%	0.2%
	その他(病院)	74	—	0.9%	2.6%	7.5%	35.4%	53.0%	0.7%	—
	療養機能強化型(診療所)	23	1.6%	1.0%	4.7%	4.7%	23.6%	54.5%	1.0%	8.9%
	その他(診療所)	42	—	3.4%	6.5%	12.6%	27.8%	49.2%	0.3%	0.3%
	医療療養病床 全体	365	2.2%	3.2%	5.5%	7.5%	13.7%	23.5%	2.6%	41.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	51	2.8%	4.4%	6.0%	9.4%	17.0%	27.2%	2.5%	30.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	137	1.4%	2.2%	4.5%	6.4%	13.2%	24.4%	2.4%	45.6%
	医療療養病床(25:1)	103	2.9%	3.7%	6.7%	8.3%	13.5%	21.2%	3.4%	40.3%
医療療養病床(診療所)	72	5.4%	9.3%	8.5%	7.8%	11.5%	19.4%	1.0%	37.1%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	249	—	1.5%	2.8%	8.0%	33.5%	53.5%	0.6%	0.1%
	療養機能強化型A	109	—	0.9%	1.8%	6.5%	33.8%	56.2%	0.7%	0.1%
	療養機能強化型B	20	—	2.4%	3.7%	8.9%	30.6%	53.1%	1.3%	—
	その他(病院)	99	—	2.0%	3.7%	9.9%	34.0%	49.8%	0.5%	0.1%
	療養機能強化型(診療所)	3	—	5.9%	8.8%	8.8%	14.7%	61.8%	—	—
	その他(診療所)	18	—	7.1%	7.1%	11.8%	31.5%	42.4%	—	—
	医療療養病床 全体	358	1.7%	3.4%	4.7%	6.8%	15.5%	26.2%	2.0%	39.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	87	1.9%	4.0%	5.2%	7.2%	16.2%	25.3%	2.6%	37.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	138	0.9%	2.0%	3.5%	5.9%	14.0%	27.9%	1.5%	44.2%
	医療療養病床(25:1)	116	2.4%	4.7%	6.2%	7.8%	17.2%	24.3%	2.1%	35.5%
医療療養病床(診療所)	14	7.1%	8.1%	10.1%	10.1%	17.2%	13.1%	4.0%	30.3%	

図表 一般病床有無別 認知症高齢者の日常生活自立度別入院患者割合（平成27年10月31日時点）

		施設数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明・未実施
一般病床 有	介護療養病床 全体	188	1.3%	2.6%	3.1%	6.7%	19.1%	13.0%	46.1%	6.3%	1.9%
	療養機能強化型A	51	0.6%	1.9%	2.6%	6.5%	16.0%	15.3%	48.6%	6.3%	2.0%
	療養機能強化型B	12	3.3%	3.9%	4.1%	5.3%	8.1%	14.9%	51.0%	6.3%	3.2%
	その他(病院)	68	0.9%	2.9%	2.8%	6.9%	25.3%	9.6%	45.6%	4.4%	1.5%
	療養機能強化型(診療所)	20	8.1%	2.9%	4.6%	4.0%	21.4%	11.0%	30.6%	17.3%	—
	その他(診療所)	37	1.9%	2.2%	5.7%	10.5%	22.6%	15.6%	26.1%	12.7%	2.5%
	医療療養病床 全体	350	6.1%	5.0%	4.2%	6.9%	13.7%	6.3%	23.8%	7.9%	26.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	49	5.6%	5.2%	5.2%	5.3%	11.8%	6.1%	26.1%	8.1%	26.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	135	5.3%	4.0%	3.1%	6.4%	12.5%	6.9%	26.7%	9.4%	25.7%
	医療療養病床(25:1)	98	7.5%	6.2%	5.4%	8.3%	17.6%	5.5%	18.2%	6.0%	25.3%
医療療養病床(診療所)	66	9.6%	10.5%	7.6%	12.4%	14.0%	7.9%	20.5%	4.4%	13.1%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	233	1.2%	1.7%	2.8%	5.5%	19.8%	18.1%	40.3%	8.9%	1.7%
	療養機能強化型A	105	1.3%	1.4%	2.3%	4.3%	17.7%	19.5%	42.5%	9.2%	1.8%
	療養機能強化型B	19	1.4%	2.6%	3.2%	6.8%	18.5%	19.9%	38.3%	9.3%	—
	その他(病院)	92	1.0%	1.9%	3.3%	6.6%	23.5%	15.7%	37.7%	8.3%	2.0%
	療養機能強化型(診療所)	3	—	2.9%	5.9%	20.6%	17.6%	20.6%	26.5%	5.9%	—
	その他(診療所)	14	1.1%	3.7%	7.5%	13.4%	20.9%	8.0%	32.1%	11.8%	1.6%
	医療療養病床 全体	355	3.8%	4.1%	4.9%	6.7%	16.4%	8.8%	27.1%	9.3%	18.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	87	4.6%	4.4%	5.3%	6.3%	16.8%	9.2%	26.4%	6.1%	20.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	134	2.7%	3.5%	4.0%	5.8%	14.9%	7.9%	27.3%	12.1%	21.8%
	医療療養病床(25:1)	117	4.5%	4.8%	6.0%	8.7%	18.1%	9.7%	26.7%	8.2%	13.2%
医療療養病床(診療所)	13	9.4%	9.4%	5.2%	5.2%	21.9%	8.3%	19.8%	3.1%	17.7%	

図表 一般病床有無別 医療区分別入院患者割合

		施設数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
一般病床有	介護療養病床 全体	154	48.4%	14.4%	3.8%	33.3%
	療養機能強化型A	45	41.3%	14.8%	4.2%	39.7%
	療養機能強化型B	8	58.5%	7.9%	1.6%	32.0%
	その他(病院)	58	56.3%	12.0%	2.4%	29.3%
	療養機能強化型(診療所)	17	28.5%	49.6%	8.0%	13.9%
	その他(診療所)	26	50.0%	23.2%	13.2%	13.6%
	医療療養病床 全体	387	20.6%	41.4%	36.2%	1.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	51	14.1%	45.4%	35.9%	4.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	149	10.6%	44.6%	44.8%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	112	39.0%	33.1%	25.2%	2.7%
医療療養病床(診療所)	73	43.8%	37.5%	11.7%	6.9%	
一般病床無	介護療養病床 全体	198	55.0%	9.3%	3.4%	32.4%
	療養機能強化型A	89	55.5%	10.9%	3.6%	30.0%
	療養機能強化型B	18	57.0%	6.7%	4.4%	31.9%
	その他(病院)	79	53.4%	7.5%	2.7%	36.4%
	療養機能強化型(診療所)	2	20.0%	5.0%	—	75.0%
	その他(診療所)	10	68.7%	8.7%	3.5%	19.1%
	医療療養病床 全体	390	20.2%	45.6%	31.9%	2.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	91	11.6%	48.9%	34.7%	4.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	149	10.6%	50.2%	37.4%	1.8%
	医療療養病床(25:1)	131	41.6%	35.9%	22.2%	0.3%
医療療養病床(診療所)	16	50.9%	39.7%	9.5%	—	

図表 一般病床有無別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の各基準に該当する患者の割合(平成27年10月31日時点)(複数回答)

			重篤な身体疾患を有する者							
			施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者のうち					
					NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	常時低血圧(収縮時血圧が90mmHg以下)	透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの
一般病床有	介護療養病床 全体	164	5,798	7.1%	1.7%	0.0%	0.0%	—	—	
	療養機能強化型A	53	2,732	9.4%	3.0%	0.0%	0.0%	—	—	
	療養機能強化型B	11	641	1.4%	0.8%	—	—	—	—	
	その他(病院)	59	2,039	5.7%	0.4%	—	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	15	138	17.4%	1.4%	—	—	—	—	
	その他(診療所)	26	248	2.8%	1.2%	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	300	11,447	2.5%	2.6%	0.5%	0.6%	0.1%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	46	1,858	2.9%	4.4%	0.6%	0.6%	0.1%	—	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	123	5,835	2.6%	2.9%	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%	
	医療療養病床(25:1)	90	3,321	2.0%	1.2%	0.7%	0.4%	0.0%	0.1%	
医療療養病床(診療所)	39	279	6.1%	1.8%	—	0.7%	—	—		
一般病床無	介護療養病床 全体	222	13,773	5.4%	1.2%	0.0%	—	0.0%	—	
	療養機能強化型A	105	7,558	5.5%	1.8%	—	—	0.0%	—	
	療養機能強化型B	20	1,466	10.2%	0.9%	—	—	—	—	
	その他(病院)	84	4,565	3.8%	0.5%	0.0%	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	3	34	8.8%	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	10	150	—	—	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	338	20,491	5.6%	4.7%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	79	4,728	6.1%	5.5%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	143	9,724	5.1%	6.4%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	
	医療療養病床(25:1)	107	5,625	6.2%	1.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
医療療養病床(診療所)	5	46	2.2%	—	2.2%	—	2.2%	—		

※前頁図表の続き

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者					身体合併症を有する認知症高齢者		
			Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、別に掲げるいづれかの疾病(※)と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はⅤに該当する者	
一般病床 有	介護療養病床 全体	164	5,798	0.1%	4.6%	—	1.2%	4.1%	2.3%	65.0%
	療養機能強化型A	53	2,732	0.1%	5.2%	—	2.1%	4.6%	2.2%	67.8%
	療養機能強化型B	11	641	0.2%	3.1%	—	0.3%	2.5%	2.0%	75.5%
	その他(病院)	59	2,039	0.0%	4.3%	—	0.1%	3.7%	2.0%	60.0%
	療養機能強化型(診療所)	15	138	—	8.0%	—	1.4%	4.3%	5.1%	71.7%
	その他(診療所)	26	248	0.4%	2.8%	—	2.0%	4.8%	4.8%	44.0%
	医療療養病床 全体	300	11,447	0.2%	7.1%	0.2%	1.1%	2.9%	5.2%	35.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	46	1,858	0.5%	10.1%	0.4%	1.4%	3.8%	4.3%	42.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	123	5,835	0.2%	8.0%	0.1%	0.9%	3.1%	6.4%	37.1%
	医療療養病床(25:1)	90	3,321	0.0%	4.4%	0.2%	1.2%	2.1%	3.2%	25.4%
医療療養病床(診療所)	39	279	—	3.2%	0.4%	5.0%	2.9%	10.8%	31.9%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	222	13,773	0.2%	3.4%	0.0%	1.9%	3.0%	1.7%	65.1%
	療養機能強化型A	105	7,558	0.2%	3.5%	—	1.9%	3.2%	1.8%	70.3%
	療養機能強化型B	20	1,466	0.1%	0.7%	—	0.8%	3.3%	0.5%	58.6%
	その他(病院)	84	4,565	0.1%	4.1%	0.1%	2.2%	2.5%	1.9%	59.6%
	療養機能強化型(診療所)	3	34	—	—	—	2.9%	2.9%	2.9%	38.2%
	その他(診療所)	10	150	—	1.3%	—	0.7%	2.0%	0.7%	43.3%
	医療療養病床 全体	338	20,491	0.4%	7.7%	0.2%	1.3%	2.9%	6.1%	38.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	79	4,728	0.3%	6.2%	0.4%	0.6%	3.3%	5.9%	40.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	143	9,724	0.3%	10.3%	0.2%	1.3%	2.7%	7.1%	40.4%
	医療療養病床(25:1)	107	5,625	0.6%	4.2%	0.1%	1.8%	3.0%	4.6%	33.2%
医療療養病床(診療所)	5	46	—	2.2%	—	2.2%	4.3%	2.2%	23.9%	

図表 一般病床有無別 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者に該当する患者の実人数の割合(平成27年10月31日時点)

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	総入院患者に占める該当する入院患者の実人数の割合	
一般病床 有	介護療養病床 全体	150	5,390	68.5%
	療養機能強化型A	48	2,553	73.1%
	療養機能強化型B	10	617	75.7%
	その他(病院)	55	1,855	62.3%
	療養機能強化型(診療所)	14	137	65.0%
	その他(診療所)	23	228	50.9%
	医療療養病床 全体	255	10,029	46.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	39	1,679	55.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	105	5,068	47.5%
	医療療養病床(25:1)	78	2,888	35.5%
医療療養病床(診療所)	32	240	48.3%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	197	12,438	71.6%
	療養機能強化型A	92	6,710	76.6%
	療養機能強化型B	19	1,462	68.9%
	その他(病院)	75	4,118	65.3%
	療養機能強化型(診療所)	3	34	52.9%
	その他(診療所)	8	114	48.2%
	医療療養病床 全体	310	18,664	50.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	77	4,658	51.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	129	8,766	54.6%
	医療療養病床(25:1)	97	4,892	42.5%
医療療養病床(診療所)	4	34	44.1%	

図表 一般病床有無別 総入院患者に占める各処置が必要な入院患者の割合
(平成27年10月31日時点)(複数回答)

	施設数	有効回答の あった施設 の入院患者 数の合計	喀痰吸引を 実施している者	喀痰吸引の 実施に相当 する者	経管栄養(経鼻 経管、胃ろう、 腸ろう、中心静 脈栄養)を実施 している者	経管栄養の 実施に相当 する者	インスリン注 射の実施(自 ら実施する 者は除く)	
一般病床 有	介護療養病床 全体	186	6,252	35.3%	8.4%	44.2%	13.5%	3.3%
	療養機能強化型A	55	2,782	41.4%	12.1%	47.1%	15.9%	3.7%
	療養機能強化型B	11	641	28.4%	4.7%	41.8%	8.0%	2.0%
	その他(病院)	70	2,380	32.4%	4.9%	43.4%	13.5%	3.4%
	療養機能強化型(診療所)	18	1,699	23.7%	10.1%	35.5%	8.9%	3.0%
	その他(診療所)	32	280	22.9%	8.2%	32.9%	6.1%	1.8%
	医療療養病床 全体	359	13,518	45.3%	7.1%	47.0%	11.0%	6.7%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	55	2,217	49.9%	9.0%	46.3%	16.0%	8.3%	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	143	6,991	49.3%	7.7%	51.3%	10.8%	7.1%	
医療療養病床(25:1)	107	3,814	34.0%	5.5%	38.1%	9.5%	4.7%	
医療療養病床(診療所)	52	342	28.7%	4.1%	33.0%	2.9%	6.7%	
一般病床 無	介護療養病床 全体	239	14,312	28.9%	11.4%	43.5%	19.9%	3.2%
	療養機能強化型A	108	7,677	34.3%	13.4%	50.4%	23.5%	3.3%
	療養機能強化型B	20	1,466	24.5%	11.4%	33.3%	7.2%	3.5%
	その他(病院)	95	4,957	21.9%	8.9%	36.0%	19.0%	3.0%
	療養機能強化型(診療所)	3	34	29.4%	—	41.2%	—	—
	その他(診療所)	13	178	20.8%	—	36.0%	—	2.2%
	医療療養病床 全体	382	23,252	45.4%	9.7%	50.4%	15.2%	7.6%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	90	5,665	45.6%	11.5%	49.1%	14.0%	8.2%	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	153	10,368	53.8%	11.6%	59.3%	20.1%	8.6%	
医療療養病床(25:1)	128	6,799	32.3%	5.0%	37.9%	9.0%	5.6%	
医療療養病床(診療所)	7	52	17.3%	34.6%	17.3%	9.6%	—	

図表 一般病床有無別 ターミナルケアを提供している入院患者数(平成27年10月31日時点)

	施設数	ターミナルケアを 提供している入院 患者の人数	ターミナルケアを提供 している入院患者の 入院延べ日数が全ての 入院患者の入院延べ 日数に占める割合	1施設あたり ターミナルケア 提供者数	病床100床あ たりターミナル ケア提供者数	
一般病床 有	介護療養病床 全体	176	765	13.3%	4.3	11.5
	療養機能強化型A	55	609	23.4%	11.1	20.5
	療養機能強化型B	12	50	8.0%	4.2	6.9
	その他(病院)	66	57	0.8%	0.9	2.3
	療養機能強化型(診療所)	17	44	27.3%	2.6	24.2
	その他(診療所)	26	5	0.7%	0.2	1.9
	医療療養病床 全体	328	459	5.2%	1.4	3.3
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	51	176	11.0%	3.5	7.1	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	125	191	5.6%	1.5	2.8	
医療療養病床(25:1)	96	70	1.6%	0.7	1.6	
医療療養病床(診療所)	55	22	5.7%	0.4	4.4	
一般病床 無	介護療養病床 全体	227	2,189	11.2%	9.6	14.5
	療養機能強化型A	108	1,793	19.5%	16.6	21.5
	療養機能強化型B	20	229	12.1%	11.5	13.8
	その他(病院)	86	158	1.2%	1.8	3.2
	療養機能強化型(診療所)	3	7	9.2%	2.3	16.3
	その他(診療所)	10	2	3.0%	0.2	1.4
	医療療養病床 全体	351	1,283	3.6%	3.7	5.6
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	84	436	2.5%	5.2	7.7	
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	138	440	2.6%	3.2	4.4	
医療療養病床(25:1)	112	376	5.6%	3.4	5.7	
医療療養病床(診療所)	13	0	0.0%	0.0	0.0	

図表 一般病床有無別 回答施設全体のリハビリテーションに係る職種の職員数

		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
理学療法士		施設数	平均職員数	施設数	平均職員数	施設数	平均職員数
一般 有	常勤	373	9.5	280	6.2	200	3.3
	非常勤	82	1.8	54	1.4	30	1.2
	常勤換算	176	5.9	124	4.1	82	2.5
	常勤+常勤換算	383	12.0	285	7.9	207	4.2
一般 無	常勤	327	7.6	237	6.5	164	3.5
	非常勤	89	1.4	59	1.5	32	1.3
	常勤換算	189	5.4	133	4.5	83	2.7
	常勤+常勤換算	347	10.1	252	8.5	172	4.7

図表 一般病床有無別 病床種別別のリハビリテーションに係る職種の職員数（専従+兼務）

	理学療法士(専従+兼務)			作業療法士(専従+兼務)			言語聴覚士(専従+兼務)			
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	
一般 有 病床	介護療養病床 全体	191	1.9	5.3	191	0.8	2.3	191	0.4	1.1
	療養機能強化型A	53	3.1	5.7	53	1.5	2.8	53	0.8	1.4
	療養機能強化型B	12	3.8	6.3	12	2.2	3.7	12	1.1	1.9
	その他(病院)	74	1.7	4.7	74	0.6	1.6	74	0.2	0.5
	療養機能強化型(診療所)	18	0.8	8.3	18	0.3	3.3	18	0.2	2.2
	その他(診療所)	34	0.3	3.2	34	0.0	0.2	34	0.1	0.7
	医療療養病床 全体	381	2.4	5.8	381	1.1	2.6	381	0.5	1.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	55	3.1	6.6	55	1.3	2.8	55	0.5	1.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	145	3.0	5.4	145	1.5	2.7	145	0.8	1.4
	医療療養病床(25:1)	106	2.6	5.7	106	1.1	2.4	106	0.5	1.0
医療療養病床(診療所)	75	0.6	7.3	75	0.1	1.3	75	0.0	0.0	
一般 無 病床	介護療養病床 全体	237	2.0	3.1	237	1.0	1.5	237	0.5	0.8
	療養機能強化型A	105	2.5	3.2	105	1.2	1.6	105	0.6	0.8
	療養機能強化型B	20	3.2	3.8	20	1.8	2.2	20	1.2	1.4
	その他(病院)	98	1.5	2.7	98	0.7	1.2	98	0.3	0.6
	療養機能強化型(診療所)	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	その他(診療所)	13	0.9	6.2	13	0.0	0.0	13	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	379	3.0	4.6	379	1.5	2.3	379	0.7	1.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	88	4.2	5.8	88	2.1	2.9	88	0.9	1.3
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	149	2.9	3.9	149	1.6	2.1	149	0.8	1.1
	医療療養病床(25:1)	123	2.5	4.4	123	1.2	2.1	123	0.4	0.7
医療療養病床(診療所)	16	0.1	1.1	16	0.0	0.1	16	0.0	0.0	

図表 一般病床有無別 医療ソーシャルワーカーの職員数（専従+兼務、専従）
（平成27年10月31日時点）

	医療ソーシャルワーカー(専従+兼務)			医療ソーシャルワーカー(専従)			
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	
一般 有 病床	介護療養病床 全体	191	0.4	1.2	191	0.3	0.9
	療養機能強化型A	53	0.7	1.2	53	0.6	1.1
	療養機能強化型B	12	0.8	1.3	12	0.6	0.9
	その他(病院)	74	0.4	1.1	74	0.3	0.8
	療養機能強化型(診療所)	18	0.1	1.1	18	0.1	0.5
	その他(診療所)	34	0.0	0.3	34	0.0	0.3
	医療療養病床 全体	381	0.6	1.3	381	0.4	0.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	55	0.6	1.2	55	0.4	0.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	145	0.8	1.4	145	0.5	1.0
	医療療養病床(25:1)	106	0.6	1.4	106	0.4	0.8
医療療養病床(診療所)	75	0.0	0.3	75	0.0	0.1	
一般 無 病床	介護療養病床 全体	237	0.7	1.0	237	0.3	0.5
	療養機能強化型A	105	0.8	1.1	105	0.4	0.5
	療養機能強化型B	20	0.9	1.1	20	0.5	0.6
	その他(病院)	98	0.5	1.0	98	0.3	0.5
	療養機能強化型(診療所)	1	2.0	12.5	1	1.0	6.3
	その他(診療所)	13	0.1	0.5	13	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	379	0.9	1.3	379	0.4	0.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	88	1.1	1.6	88	0.5	0.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	149	0.9	1.2	149	0.5	0.7
	医療療養病床(25:1)	123	0.7	1.2	123	0.3	0.5
医療療養病床(診療所)	16	0.2	1.8	16	0.1	0.8	

図表 一般病床有無別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の要件について困難と考えられること (複数回答)

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他	
一般病床有	介護療養病床 全体	177	43.5%	29.9%	37.9%	20.9%	22.0%	1.7%	1.7%
	療養機能強化型A	52	80.8%	11.5%	19.2%	7.7%	7.7%	0.0%	1.9%
	療養機能強化型B	11	63.6%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	69	20.3%	46.4%	47.8%	29.0%	27.5%	2.9%	1.4%
	療養機能強化型(診療所)	17	58.8%	17.6%	35.3%	23.5%	11.8%	0.0%	5.9%
	その他(診療所)	28	14.3%	32.1%	57.1%	25.0%	46.4%	3.6%	0.0%
一般病床無	介護療養病床 全体	222	51.4%	33.8%	30.6%	19.4%	20.7%	3.6%	2.3%
	療養機能強化型A	104	69.2%	24.0%	16.3%	12.5%	8.7%	1.0%	1.9%
	療養機能強化型B	18	61.1%	27.8%	16.7%	5.6%	16.7%	0.0%	11.1%
	その他(病院)	86	32.6%	41.9%	44.2%	26.7%	34.9%	4.7%	1.2%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	11	9.1%	63.6%	81.8%	45.5%	27.3%	27.3%	0.0%

図表 一般病床有無別 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施について困難と考えられること (複数回答)

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他	
一般病床有	介護療養病床 全体	177	57.1%	24.3%	27.7%	10.2%	14.7%	0.6%	2.8%
	療養機能強化型A	52	80.8%	5.8%	19.2%	7.7%	5.8%	0.0%	1.9%
	療養機能強化型B	11	63.6%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%
	その他(病院)	69	43.5%	37.7%	31.9%	10.1%	17.4%	1.4%	2.9%
	療養機能強化型(診療所)	17	64.7%	11.8%	35.3%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%
	その他(診療所)	28	39.3%	35.7%	35.7%	10.7%	28.6%	0.0%	0.0%
一般病床無	介護療養病床 全体	223	55.2%	33.6%	26.0%	12.6%	20.2%	2.2%	1.8%
	療養機能強化型A	104	80.8%	17.3%	14.4%	8.7%	7.7%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	18	33.3%	50.0%	5.6%	5.6%	16.7%	0.0%	16.7%
	その他(病院)	87	33.3%	44.8%	39.1%	17.2%	34.5%	3.4%	1.1%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	11	18.2%	63.6%	63.6%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%

図表 一般病床有無別 ターミナルケアの提供について困難と考えられること (複数回答)

	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他	
一般病床有	介護療養病床 全体	177	39.0%	35.0%	27.1%	13.6%	14.1%	2.3%	7.9%	6.8%
	療養機能強化型A	52	65.4%	23.1%	17.3%	7.7%	3.8%	1.9%	3.8%	5.8%
	療養機能強化型B	11	36.4%	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%
	その他(病院)	69	15.9%	46.4%	39.1%	17.4%	17.4%	4.3%	13.0%	10.1%
	療養機能強化型(診療所)	17	64.7%	23.5%	11.8%	17.6%	11.8%	0.0%	5.9%	11.8%
	その他(診療所)	28	32.1%	28.6%	28.6%	10.7%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
一般病床無	介護療養病床 全体	222	42.3%	38.7%	22.1%	10.8%	17.6%	2.3%	9.0%	3.6%
	療養機能強化型A	104	63.5%	31.7%	9.6%	7.7%	6.7%	0.0%	5.8%	1.0%
	療養機能強化型B	18	38.9%	44.4%	5.6%	0.0%	22.2%	0.0%	5.6%	16.7%
	その他(病院)	86	18.6%	46.5%	36.0%	15.1%	29.1%	3.5%	15.1%	4.7%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	11	27.3%	36.4%	54.5%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 一般病床有無別 リハビリの提供について困難と考えられること（複数回答）

		施設数	要件を満たすことに困難はない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士がいない	生活機能を維持改善するリハビリテーションの範囲がわからない	その他
一般病床有	介護療養病床 全体	169	62.1%	10.7%	22.5%	9.5%	4.1%
	療養機能強化型A	49	91.8%	2.0%	0.0%	8.2%	2.0%
	療養機能強化型B	11	90.9%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
	その他(病院)	66	59.1%	13.6%	19.7%	13.6%	6.1%
	療養機能強化型(診療所)	16	18.8%	6.3%	62.5%	12.5%	12.5%
	その他(診療所)	27	29.6%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%
一般病床無	介護療養病床 全体	222	71.6%	11.7%	13.1%	9.5%	2.7%
	療養機能強化型A	103	83.5%	6.8%	4.9%	5.8%	2.9%
	療養機能強化型B	18	88.9%	0.0%	11.1%	5.6%	5.6%
	その他(病院)	87	58.6%	20.7%	17.2%	12.6%	2.3%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	その他(診療所)	11	36.4%	9.1%	54.5%	18.2%	0.0%

図表 一般病床有無別 地域に貢献する活動について困難と考えられること（複数回答）

		施設数	要件を満たすことに困難はない	地域に貢献する活動を必要とされていない	地域に貢献する活動を実施することが、人員体制上厳しい	地域に貢献する活動の範囲がわからない	その他
一般病床有	介護療養病床 全体	175	52.0%	2.9%	38.3%	20.6%	3.4%
	療養機能強化型A	52	76.9%	1.9%	21.2%	15.4%	1.9%
	療養機能強化型B	11	72.7%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%
	その他(病院)	68	38.2%	1.5%	50.0%	26.5%	4.4%
	療養機能強化型(診療所)	16	50.0%	0.0%	37.5%	18.8%	6.3%
	その他(診療所)	28	32.1%	10.7%	50.0%	17.9%	3.6%
一般病床無	介護療養病床 全体	221	55.2%	4.1%	30.8%	25.8%	4.1%
	療養機能強化型A	104	67.3%	1.9%	19.2%	20.2%	3.8%
	療養機能強化型B	18	88.9%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%
	その他(病院)	86	36.0%	5.8%	47.7%	33.7%	3.5%
	療養機能強化型(診療所)	3	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	その他(診療所)	10	40.0%	10.0%	40.0%	30.0%	10.0%

図表 一般病床有無別 他の地域資源との連携状況

一般病床 有 n=500 無 n=436

		頻繁に連携している	連携している	あまり連携していない	全く連携していない	無回答
一般病床 有	三次救急病院	20.4%	42.2%	13.8%	8.6%	15.0%
	急性期病院	31.6%	46.2%	4.4%	1.8%	16.0%
	亜急性期病院	6.6%	38.6%	28.6%	6.2%	20.0%
	精神科病院	4.0%	34.2%	35.8%	13.2%	12.8%
	地域医療支援病院	12.2%	35.2%	23.0%	9.4%	20.2%
	慢性期病院	6.0%	32.2%	27.4%	7.0%	27.4%
	在宅療養患者の主治医	15.4%	42.2%	21.0%	5.0%	16.4%
	介護老人保健施設	22.2%	40.0%	17.4%	4.8%	15.6%
	介護老人福祉施設(特養)	28.4%	41.6%	15.4%	5.0%	9.6%
	認知症グループホーム	12.8%	35.2%	29.2%	8.0%	14.8%
	訪問看護ステーション	21.4%	40.8%	15.0%	4.0%	18.8%
	地域包括支援センター	27.6%	46.0%	10.4%	3.4%	12.6%
	居宅介護支援事業所	29.4%	34.4%	9.6%	3.4%	23.2%
一般病床 無	三次救急病院	10.8%	30.7%	24.5%	18.1%	15.8%
	急性期病院	37.8%	46.3%	4.8%	2.3%	8.7%
	亜急性期病院	10.8%	45.2%	24.8%	7.6%	11.7%
	精神科病院	2.3%	31.7%	37.2%	15.1%	13.8%
	地域医療支援病院	15.1%	32.8%	24.3%	10.3%	17.4%
	慢性期病院	6.7%	35.1%	28.9%	7.8%	21.6%
	在宅療養患者の主治医	8.7%	40.1%	29.1%	10.6%	11.5%
	介護老人保健施設	14.2%	43.8%	20.4%	7.6%	14.0%
	介護老人福祉施設(特養)	18.8%	47.5%	19.3%	5.7%	8.7%
	認知症グループホーム	8.9%	31.7%	32.6%	12.2%	14.7%
	訪問看護ステーション	9.9%	38.8%	25.2%	11.0%	15.1%
	地域包括支援センター	16.3%	47.2%	20.0%	6.4%	10.1%
	居宅介護支援事業所	19.3%	39.4%	17.0%	6.9%	17.4%

資料6. 地域別の分析

地域別に集計を行った。地域の区分方法は以下の通りである。
なお、回答数が少ないものについては、参考に留め置かれるたい。

図表 地域別集計の区分方法

区分	定義
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北関東・甲信	茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県
南関東	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

図表 地域別 病床数の分布

総病床数		病院		うち介護療養病床を有する病院		うち医療療養病床を有する病院		うち地域包括ケア病床・病床を有する病院	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
北海道	20～49床	2	4.8%	1	5.6%	1	2.7%	0	0.0%
	50～74床	8	19.0%	2	11.1%	6	16.2%	0	0.0%
	75～99床	9	21.4%	4	22.2%	8	21.6%	0	0.0%
	100～149床	5	11.9%	2	11.1%	5	13.5%	0	0.0%
	150～199床	9	21.4%	5	27.8%	8	21.6%	3	100.0%
	200～299床	2	4.8%	0	0.0%	2	5.4%	0	0.0%
	300～399床	4	9.5%	2	11.1%	4	10.8%	0	0.0%
	400～499床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	500～599床	1	2.4%	0	0.0%	1	2.7%	0	0.0%
	600床以上	2	4.8%	2	11.1%	2	5.4%	0	0.0%
計	42	100.0%	18	100.0%	37	100.0%	3	100.0%	
東北	20～49床	1	2.1%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
	50～74床	6	12.8%	2	12.5%	5	11.6%	0	0.0%
	75～99床	10	21.3%	6	37.5%	8	18.6%	4	44.4%
	100～149床	12	25.5%	3	18.8%	11	25.6%	2	22.2%
	150～199床	10	21.3%	1	6.3%	10	23.3%	1	11.1%
	200～299床	6	12.8%	3	18.8%	6	14.0%	0	0.0%
	300～399床	1	2.1%	0	0.0%	1	2.3%	1	11.1%
	400～499床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	500～599床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600床以上	1	2.1%	1	6.3%	1	2.3%	1	11.1%
計	47	100.0%	16	100.0%	43	100.0%	9	100.0%	
北関東・甲信	20～49床	3	4.9%	2	8.3%	2	4.0%	0	0.0%
	50～74床	3	4.9%	2	8.3%	2	4.0%	0	0.0%
	75～99床	11	18.0%	2	8.3%	10	20.0%	4	36.4%
	100～149床	16	26.2%	9	37.5%	12	24.0%	2	18.2%
	150～199床	10	16.4%	2	8.3%	10	20.0%	3	27.3%
	200～299床	14	23.0%	5	20.8%	12	24.0%	1	9.1%
	300～399床	2	3.3%	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
	400～499床	2	3.3%	0	0.0%	2	4.0%	1	9.1%
	500～599床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600床以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	61	100.0%	24	100.0%	50	100.0%	11	100.0%	
南関東	20～49床	5	5.3%	2	5.1%	4	4.9%	0	0.0%
	50～74床	10	10.5%	6	15.4%	6	7.3%	0	0.0%
	75～99床	14	14.7%	6	15.4%	11	13.4%	0	0.0%
	100～149床	23	24.2%	10	25.6%	20	24.4%	2	25.0%
	150～199床	22	23.2%	6	15.4%	20	24.4%	3	37.5%
	200～299床	5	5.3%	2	5.1%	5	6.1%	1	12.5%
	300～399床	7	7.4%	3	7.7%	7	8.5%	1	12.5%
	400～499床	6	6.3%	1	2.6%	6	7.3%	1	12.5%
	500～599床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600床以上	3	3.2%	3	7.7%	3	3.7%	0	0.0%
計	95	100.0%	39	100.0%	82	100.0%	8	100.0%	
北陸	20～49床	3	6.3%	2	5.9%	3	6.4%	0	0.0%
	50～74床	5	10.4%	3	8.8%	5	10.6%	1	16.7%
	75～99床	10	20.8%	7	20.6%	10	21.3%	0	0.0%
	100～149床	10	20.8%	9	26.5%	9	19.1%	0	0.0%
	150～199床	12	25.0%	8	23.5%	12	25.5%	3	50.0%
	200～299床	4	8.3%	1	2.9%	4	8.5%	0	0.0%
	300～399床	3	6.3%	3	8.8%	3	6.4%	2	33.3%
	400～499床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	500～599床	1	2.1%	1	2.9%	1	2.1%	0	0.0%
	600床以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	48	100.0%	34	100.0%	47	100.0%	6	100.0%	

※前頁図表の続き

総病床数		病院		うち介護療養病床を有する病院		うち医療療養病床を有する病院		うち地域包括ケア病棟・病床を有する病院	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
東海	20～49床	5	7.4%	1	3.3%	5	8.1%	0	0.0%
	50～74床	6	8.8%	2	6.7%	6	9.7%	0	0.0%
	75～99床	11	16.2%	5	16.7%	11	17.7%	2	22.2%
	100～149床	16	23.5%	4	13.3%	15	24.2%	4	44.4%
	150～199床	10	14.7%	7	23.3%	6	9.7%	1	11.1%
	200～299床	16	23.5%	10	33.3%	15	24.2%	1	11.1%
	300～399床	3	4.4%	1	3.3%	3	4.8%	1	11.1%
	400～499床	1	1.5%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
	500～599床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600床以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	68	100.0%	30	100.0%	62	100.0%	9	100.0%	
近畿	20～49床	2	2.2%	1	2.2%	2	2.5%	0	0.0%
	50～74床	14	15.4%	5	10.9%	11	13.9%	0	0.0%
	75～99床	13	14.3%	8	17.4%	13	16.5%	3	27.3%
	100～149床	22	24.2%	8	17.4%	19	24.1%	1	9.1%
	150～199床	18	19.8%	10	21.7%	16	20.3%	3	27.3%
	200～299床	11	12.1%	8	17.4%	9	11.4%	2	18.2%
	300～399床	5	5.5%	3	6.5%	5	6.3%	0	0.0%
	400～499床	2	2.2%	0	0.0%	1	1.3%	1	9.1%
	500～599床	2	2.2%	2	4.3%	1	1.3%	0	0.0%
	600床以上	2	2.2%	1	2.2%	2	2.5%	1	9.1%
計	91	100.0%	46	100.0%	79	100.0%	11	100.0%	
中国	20～49床	2	2.6%	2	4.9%	2	2.7%	0	0.0%
	50～74床	10	12.8%	4	9.8%	8	10.8%	1	5.0%
	75～99床	14	17.9%	5	12.2%	14	18.9%	5	25.0%
	100～149床	23	29.5%	10	24.4%	22	29.7%	8	40.0%
	150～199床	13	16.7%	8	19.5%	13	17.6%	3	15.0%
	200～299床	8	10.3%	5	12.2%	7	9.5%	2	10.0%
	300～399床	5	6.4%	4	9.8%	5	6.8%	1	5.0%
	400～499床	1	1.3%	1	2.4%	1	1.4%	0	0.0%
	500～599床	1	1.3%	1	2.4%	1	1.4%	0	0.0%
	600床以上	1	1.3%	1	2.4%	1	1.4%	0	0.0%
計	78	100.0%	41	100.0%	74	100.0%	20	100.0%	
四国	20～49床	8	12.1%	3	6.7%	7	12.1%	0	0.0%
	50～74床	15	22.7%	12	26.7%	13	22.4%	0	0.0%
	75～99床	11	16.7%	7	15.6%	10	17.2%	4	40.0%
	100～149床	10	15.2%	9	20.0%	7	12.1%	1	10.0%
	150～199床	15	22.7%	8	17.8%	14	24.1%	3	30.0%
	200～299床	4	6.1%	3	6.7%	4	6.9%	1	10.0%
	300～399床	3	4.5%	3	6.7%	3	5.2%	1	10.0%
	400～499床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	500～599床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	600床以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	66	100.0%	45	100.0%	58	100.0%	10	100.0%	
九州	20～49床	13	8.8%	6	7.7%	13	9.4%	0	0.0%
	50～74床	29	19.7%	16	20.5%	27	19.6%	0	0.0%
	75～99床	24	16.3%	11	14.1%	23	16.7%	3	13.0%
	100～149床	30	20.4%	16	20.5%	28	20.3%	7	30.4%
	150～199床	26	17.7%	14	17.9%	24	17.4%	9	39.1%
	200～299床	18	12.2%	11	14.1%	16	11.6%	3	13.0%
	300～399床	4	2.7%	2	2.6%	4	2.9%	1	4.3%
	400～499床	1	0.7%	1	1.3%	1	0.7%	0	0.0%
	500～599床	1	0.7%	1	1.3%	1	0.7%	0	0.0%
	600床以上	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
計	147	100.0%	78	100.0%	138	100.0%	23	100.0%	

図表 地域別 1施設あたりの病床数・入院患者数（平成27年10月31日時点）

		施設数	入院患者数の合計	1施設あたり病床数	1施設あたり入院患者数	病床100床あたり入院患者数
北海道	介護療養病床 全体	23	1,550	73.9	67.4	91.2
	療養機能強化型A	10	804	86.3	80.4	93.2
	療養機能強化型B	2	369	213.0	184.5	86.6
	その他(病院)	6	308	55.5	51.3	92.5
	療養機能強化型(診療所)	2	27	14.5	13.5	93.1
	その他(診療所)	3	42	16.0	14.0	87.5
	医療療養病床 全体	46	2,911	69.5	63.3	91.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	711	97.9	88.9	90.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	20	1,297	69.9	64.9	92.8
	医療療養病床(25:1)	13	692	59.2	53.2	89.9
	医療療養病床(診療所)	3	24	14.3	8.0	55.8
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	79	32.7	26.3	80.6
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	79	32.7	26.3	80.6	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	33	1,045	34.4	31.7	92.1
	療養機能強化型A	6	458	79.7	76.3	95.8
	療養機能強化型B	1	48	50.0	48.0	96.0
	その他(病院)	11	382	39.0	34.7	89.0
	療養機能強化型(診療所)	5	43	10.0	8.6	86.0
	その他(診療所)	10	114	12.8	11.4	89.1
	医療療養病床 全体	62	2,539	48.3	41.0	84.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	293	66.4	58.6	88.3
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	1,285	59.0	53.5	90.7
	医療療養病床(25:1)	21	846	52.0	40.3	77.5
	医療療養病床(診療所)	11	77	10.1	7.0	69.4
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	204	22.3	18.5	83.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	14	16.0	14.0	87.5
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	187	24.6	20.8	84.6	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	3	8.0	3.0	37.5	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	32	1,336	45.9	41.8	90.9
	療養機能強化型A	6	370	63.2	61.7	97.6
	療養機能強化型B	2	42	32.0	21.0	65.6
	その他(病院)	18	835	51.2	46.4	90.6
	療養機能強化型(診療所)	1	16	19.0	16.0	84.2
	その他(診療所)	5	73	17.2	14.6	84.9
	医療療養病床 全体	61	2,481	49.3	40.7	82.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	273	52.0	45.5	87.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	26	1,277	54.3	49.1	90.4
	医療療養病床(25:1)	25	907	49.8	36.3	72.9
	医療療養病床(診療所)	4	24	9.5	6.0	63.2
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	167	23.9	16.7	69.9
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	10	167	23.9	16.7	69.9	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	43	2,876	72.1	66.9	92.8
	療養機能強化型A	25	1,945	82.2	77.8	94.6
	療養機能強化型B	3	150	51.7	50.0	96.8
	その他(病院)	15	781	59.3	52.1	87.8
	療養機能強化型(診療所)	0	0	—	—	—
	その他(診療所)	0	0	—	—	—
	医療療養病床 全体	95	6,369	75.3	67.0	89.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	19	1,179	70.3	62.1	88.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	3,877	90.2	80.8	89.6
	医療療養病床(25:1)	22	1,254	63.8	57.0	89.3
	医療療養病床(診療所)	6	59	14.7	9.8	67.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	222	33.0	27.8	84.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	44	47.0	44.0	93.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	172	35.2	28.7	81.5	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	6	6.0	6.0	100.0	
北陸	介護療養病床 全体	39	1,800	48.8	46.2	94.5
	療養機能強化型A	14	829	62.1	59.2	95.4
	療養機能強化型B	3	104	37.3	34.7	92.9
	その他(病院)	18	841	48.8	46.7	95.8
	療養機能強化型(診療所)	0	0	—	—	—
	その他(診療所)	4	26	11.3	6.5	57.8
	医療療養病床 全体	56	2,812	55.2	50.2	90.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	253	46.7	42.2	90.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	25	1,699	72.0	68.0	94.4
	医療療養病床(25:1)	20	797	46.8	39.9	85.2
	医療療養病床(診療所)	4	17	6.0	4.3	70.8
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	173	37.0	28.8	77.9
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	13	17.0	13.0	76.5
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	160	41.0	32.0	78.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	

※前頁図表の続き

	施設数	入院患者数の合計	1施設あたり病床数	1施設あたり入院患者数	病床100床あたり入院患者数	
東海	介護療養病床 全体	37	1,855	57.2	50.1	87.6
	療養機能強化型A	13	760	70.1	58.5	83.4
	療養機能強化型B	4	275	73.8	68.8	93.2
	その他(病院)	13	755	64.2	58.1	90.5
	療養機能強化型(診療所)	1	14	16.0	14.0	87.5
	その他(診療所)	6	51	10.3	8.5	82.3
	医療療養病床 全体	76	3,943	57.1	51.9	90.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	12	577	53.8	48.1	89.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	35	2,353	72.3	67.2	92.9
	医療療養病床(25:1)	23	984	49.1	42.8	87.2
	医療療養病床(診療所)	6	29	6.0	4.8	80.6
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	151	20.9	16.8	80.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	140	21.6	17.5	80.9
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	55	3,396	68.8	61.7	89.8
	療養機能強化型A	27	2,121	87.2	78.6	90.1
	療養機能強化型B	5	583	130.2	116.6	89.6
	その他(病院)	16	640	44.6	40.0	89.6
	療養機能強化型(診療所)	2	13	8.0	6.5	81.3
	その他(診療所)	5	39	9.6	7.8	81.3
	医療療養病床 全体	97	5,223	60.7	53.8	88.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	23	1,464	70.7	63.7	90.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	41	2,360	63.8	57.6	90.2
	医療療養病床(25:1)	29	1,370	55.7	47.2	84.8
	医療療養病床(診療所)	4	29	8.3	7.3	87.9
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	235	29.8	21.4	71.6
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	19	28.0	19.0	67.9
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	127	23.4	15.9	67.9
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	5	5.0	5.0	100.0	
中国	介護療養病床 全体	48	2,286	54.1	47.6	88.0
	療養機能強化型A	15	797	59.3	53.1	89.7
	療養機能強化型B	3	198	72.0	66.0	91.7
	その他(病院)	22	1,227	64.1	55.8	87.0
	療養機能強化型(診療所)	3	24	10.3	8.0	77.4
	その他(診療所)	5	40	10.4	8.0	76.9
	医療療養病床 全体	91	4,759	58.8	52.3	88.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	1,398	60.8	53.8	88.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	1,192	67.0	62.7	93.6
	医療療養病床(25:1)	36	2,111	67.1	58.6	87.4
	医療療養病床(診療所)	10	58	8.1	5.8	71.6
	地域包括ケア病棟・病床 全体	20	357	22.9	17.9	78.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	15	18.0	15.0	83.3
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	17	301	22.5	17.7	78.8
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	33	48.0	33.0	68.8	
四国	介護療養病床 全体	56	2,129	40.6	38.0	93.6
	療養機能強化型A	18	1,003	58.4	55.7	95.4
	療養機能強化型B	3	164	59.0	54.7	92.7
	その他(病院)	25	872	37.8	34.9	92.4
	療養機能強化型(診療所)	4	33	10.5	8.3	78.6
	その他(診療所)	6	57	10.0	9.5	95.0
	医療療養病床 全体	76	2,535	37.6	33.4	88.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	10	371	39.4	37.1	94.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	31	1,186	43.3	38.3	88.4
	医療療養病床(25:1)	21	650	36.0	31.0	86.1
	医療療養病床(診療所)	13	93	9.8	7.2	73.2
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	167	22.7	18.6	81.9
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	49	51.0	49.0	96.1
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	91	19.3	15.2	78.4
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	6	16.0	6.0	37.5	
九州	介護療養病床 全体	114	3,574	34.9	31.4	89.9
	療養機能強化型A	36	1,979	58.8	55.0	93.4
	療養機能強化型B	10	282	32.0	28.2	88.1
	その他(病院)	35	1,029	34.7	29.4	84.6
	療養機能強化型(診療所)	10	69	8.2	6.9	84.1
	その他(診療所)	23	215	10.4	9.3	90.0
	医療療養病床 全体	195	6,698	39.5	34.3	86.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	37	1,749	53.2	47.3	88.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	55	2,530	50.5	46.0	91.1
	医療療養病床(25:1)	57	2,026	42.9	35.5	82.9
	医療療養病床(診療所)	45	339	9.9	7.5	75.8
	地域包括ケア病棟・病床 全体	22	437	23.7	19.9	83.7
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	57	33.5	28.5	85.1
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	23	30.0	23.0	76.7
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	14	296	24.9	21.1	85.1
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	43	17.0	14.3	84.3	

図表 地域別 平均在院日数（平成27年10月31日時点）

	施設数	平均在院日数	最大値	最小値	
北海道	介護療養病床 全体	20	636.5	2,597	44.9
	療養機能強化型A	9	504.7	1,126	44.9
	療養機能強化型B	2	882.5	1,200	565
	その他(病院)	5	771.6	2,597	155
	療養機能強化型(診療所)	2	680.4	771	589.7
	その他(診療所)	2	602.0	642	562
	医療療養病床 全体	40	341.4	1,042	29.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	252.0	494	96.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	402.1	1,042	128
	医療療養病床(25:1)	10	302.0	923	29.6
	医療療養病床(診療所)	3	387.8	967	72
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	31.7	39	19.2
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0.0	0	0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0
東北	介護療養病床 全体	30	554.1	1,411	24.0
	療養機能強化型A	6	769.9	1,243	422.0
	療養機能強化型B	1	172.5	173	172.5
	その他(病院)	11	421.5	1,198	24.0
	療養機能強化型(診療所)	4	903.6	1,411	360.0
	その他(診療所)	8	447.4	1,017	30.0
	医療療養病床 全体	58	235.7	1,520	20.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	160.0	243	103.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	23	284.1	1,304	45.6
	医療療養病床(25:1)	20	187.9	523	32.5
	医療療養病床(診療所)	10	257.6	1,520	20.6
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	31.5	60	15.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	43.1	43	43.1
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
北関東・甲信	介護療養病床 全体	26	684.1	7,743	17.4
	療養機能強化型A	4	2,202.1	7,743	50.4
	療養機能強化型B	2	158.8	161	156.5
	その他(病院)	15	406.1	1,161	17.4
	療養機能強化型(診療所)	1	35.0	35	35.0
	その他(診療所)	4	633.5	1,401	117.0
	医療療養病床 全体	59	245.2	955	7.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	186.7	282	111.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	25	282.3	955	40.0
	医療療養病床(25:1)	24	247.0	943	17.4
	医療療養病床(診療所)	4	90.6	175	7.5
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	30.1	53	18.8
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0.0	0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
南関東	介護療養病床 全体	41	679.2	2,604	87.2
	療養機能強化型A	24	662.7	2,162	145.0
	療養機能強化型B	3	1,042.7	1,507	699.0
	その他(病院)	14	629.7	2,604	87.2
	療養機能強化型(診療所)	0	0.0	0	0.0
	その他(診療所)	0	0.0	0	0.0
	医療療養病床 全体	87	327.0	2,877	16.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	18	170.7	350	58.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	45	418.9	2,877	34.0
	医療療養病床(25:1)	19	283.4	888	32.3
	医療療養病床(診療所)	5	229.0	630	16.5
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	34.3	51	13.0
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	40.6	41	40.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
北陸	介護療養病床 全体	36	648.2	1,783	30.0
	療養機能強化型A	12	776.2	1,783	84.6
	療養機能強化型B	3	533.0	689	400.0
	その他(病院)	18	581.5	1,479	30.0
	療養機能強化型(診療所)	0	0.0	0	0.0
	その他(診療所)	3	651.7	1,018	99.0
	医療療養病床 全体	53	332.0	1,466	16.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	178.4	246	71.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	25	396.5	1,466	107.0
	医療療養病床(25:1)	19	275.0	960	16.4
	医療療養病床(診療所)	3	280.2	640	65.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	18.1	20	16.0
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	16.6	17	16.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0

※前頁図表の続き

		施設数	平均在院日数	最大値	最小値
東海	介護療養病床 全体	36	567.7	1,389	15.5
	療養機能強化型A	13	552.6	952	52.8
	療養機能強化型B	4	699.0	1,082	280.0
	その他(病院)	13	616.0	1,389	15.5
	療養機能強化型(診療所)	1	852.0	852	852.0
	その他(診療所)	5	319.7	920	30.0
	医療療養病床 全体	74	329.1	1,359	15.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	208.2	476	51.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	33	301.5	781	46.0
	医療療養病床(25:1)	22	363.8	1,359	42.6
	医療療養病床(診療所)	6	616.3	1,303	15.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	31.8	60	18.4
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0.0	0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	31.6	60	18.4	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0.0	0	0.0	
近畿	介護療養病床 全体	52	687.7	2,342	6.7
	療養機能強化型A	26	657.0	1,812	23.7
	療養機能強化型B	5	828.2	1,349	367.9
	その他(病院)	14	730.7	2,342	6.7
	療養機能強化型(診療所)	2	30.5	31	30.0
	その他(診療所)	5	849.2	2,176	131.2
	医療療養病床 全体	91	288.7	1,295	15.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	22	177.9	539	42.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	40	338.4	1,295	15.0
	医療療養病床(25:1)	26	293.7	1,034	51.1
	医療療養病床(診療所)	3	394.0	781	144.1
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	27.4	44	19.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	30.2	30	30.2
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	23.6	33	19.1	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	38.8	39	38.8	
中国	介護療養病床 全体	45	454.7	1,918	5.5
	療養機能強化型A	13	599.2	1,918	19.0
	療養機能強化型B	3	195.0	460	33.7
	その他(病院)	22	460.7	1,210	5.5
	療養機能強化型(診療所)	3	68.9	149	28.0
	その他(診療所)	4	436.2	1,062	30.0
	医療療養病床 全体	84	260.4	1,915	28.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	221.9	628	33.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	217.9	661	66.0
	医療療養病床(25:1)	34	222.6	921	28.7
	医療療養病床(診療所)	7	690.3	1,915	31.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	18	25.9	43	16.7
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	16.7	17	16.7
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	16	26.8	43	20.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0.0	0	0.0	
四国	介護療養病床 全体	53	520.4	1,591	29.7
	療養機能強化型A	16	453.6	1,136	29.7
	療養機能強化型B	3	478.3	727	82.8
	その他(病院)	24	610.5	1,591	31.0
	療養機能強化型(診療所)	4	445.5	790	202.0
	その他(診療所)	6	409.7	703	88.0
	医療療養病床 全体	70	304.6	1,407	13.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	10	307.4	1,407	49.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	29	365.9	1,346	47.5
	医療療養病床(25:1)	19	248.2	564	13.4
	医療療養病床(診療所)	11	244.5	662	23.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	30.9	41	23.0
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	39.0	39	39.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0.0	0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	30.1	41	23.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	27.0	27	27.0	
九州	介護療養病床 全体	97	605.0	1,898	14.0
	療養機能強化型A	33	554.5	1,418	99.7
	療養機能強化型B	9	700.1	1,714	86.5
	その他(病院)	30	673.7	1,862	44.0
	療養機能強化型(診療所)	7	503.6	993	14.0
	その他(診療所)	18	574.7	1,898	22.0
	医療療養病床 全体	182	335.8	5,900	1.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	37	168.6	569	49.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	51	540.3	5,900	55.9
	医療療養病床(25:1)	52	221.4	1,383	14.1
	医療療養病床(診療所)	41	378.9	2,800	1.5
	地域包括ケア病棟・病床 全体	20	53.6	517	17.7
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	31.9	32	31.8
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	40.5	41	40.5
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	14	61.8	517	17.7	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	2	34.0	49	19.0	

図表 地域別 在宅復帰率の施設別分布（平成27年10月31日時点）

		施設数	0～20% 未満	20～ 40%未満	40～ 60%未満	60～ 80%未満	80～ 100%	不詳
北海道	介護療養病床 全体	20	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	8	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	38	39.5%	10.5%	26.3%	5.3%	13.2%	5.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	70.6%	5.9%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	8	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%
医療療養病床(診療所)	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	3	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
東北	介護療養病床 全体	33	69.7%	9.1%	6.1%	6.1%	9.1%	0.0%
	療養機能強化型A	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	11	54.5%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	その他(診療所)	10	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	55	21.8%	25.5%	21.8%	21.8%	7.3%	1.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	23	21.7%	30.4%	26.1%	21.7%	0.0%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	19	15.8%	36.8%	26.3%	15.8%	5.3%	0.0%
医療療養病床(診療所)	8	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	11	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	59.3%	22.2%	11.1%	3.7%	3.7%	0.0%
	療養機能強化型A	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	15	46.7%	33.3%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	58	24.1%	19.0%	25.9%	24.1%	6.9%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	26	26.9%	11.5%	34.6%	23.1%	3.8%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	22	13.6%	36.4%	22.7%	18.2%	9.1%	0.0%
医療療養病床(診療所)	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	9	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	
南関東	介護療養病床 全体	40	52.5%	22.5%	17.5%	7.5%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	23	52.2%	26.1%	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	14	50.0%	21.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	0.0%
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	0.0%
	医療療養病床 全体	81	29.6%	19.8%	14.8%	23.5%	11.1%	1.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	18	0.0%	0.0%	5.6%	66.7%	22.2%	5.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	39	30.8%	28.2%	20.5%	12.8%	7.7%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	18	44.4%	22.2%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%
医療療養病床(診療所)	6	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	8	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	62.5%	0.0%	
北陸	介護療養病床 全体	37	59.5%	27.0%	5.4%	0.0%	8.1%	0.0%
	療養機能強化型A	13	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	療養機能強化型B	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	18	61.1%	22.2%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	0.0%
	その他(診療所)	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	医療療養病床 全体	49	30.6%	24.5%	22.4%	14.3%	8.2%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	27.3%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	18	38.9%	33.3%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%
医療療養病床(診療所)	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	6	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	

※前頁図表の続き

		施設数	0～20% 未満	20～ 40%未満	40～ 60%未満	60～ 80%未満	80～ 100%	不詳
東海	介護療養病床 全体	34	61.8%	23.5%	5.9%	5.9%	2.9%	0.0%
	療養機能強化型A	12	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型B	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	11	63.6%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	68	33.8%	14.7%	20.6%	19.1%	10.3%	1.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	0.0%	0.0%	23.1%	46.2%	23.1%	7.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	31	38.7%	19.4%	25.8%	16.1%	0.0%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	18	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	16.7%	0.0%
医療療養病床(診療所)	6	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	9	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
近畿	介護療養病床 全体	49	53.1%	24.5%	12.2%	4.1%	6.1%	0.0%
	療養機能強化型A	24	54.2%	16.7%	20.8%	8.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	5	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	その他(病院)	13	46.2%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	その他(診療所)	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	86	25.6%	15.1%	23.3%	20.9%	14.0%	1.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	22	0.0%	0.0%	27.3%	40.9%	27.3%	4.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	36	25.0%	27.8%	27.8%	8.3%	11.1%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	25	48.0%	12.0%	16.0%	20.0%	4.0%	0.0%
医療療養病床(診療所)	3	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	11	0.0%	18.2%	9.1%	36.4%	36.4%	0.0%	
中国	介護療養病床 全体	43	53.5%	23.3%	14.0%	7.0%	2.3%	0.0%
	療養機能強化型A	14	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	19	57.9%	10.5%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	3	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	82	18.3%	22.0%	19.5%	18.3%	17.1%	4.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	0.0%	0.0%	11.5%	42.3%	30.8%	15.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	23.5%	41.2%	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	31	19.4%	32.3%	25.8%	6.5%	16.1%	0.0%
医療療養病床(診療所)	8	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	20	5.0%	0.0%	0.0%	30.0%	65.0%	0.0%	
四国	介護療養病床 全体	53	67.9%	17.0%	5.7%	3.8%	5.7%	0.0%
	療養機能強化型A	16	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	24	62.5%	20.8%	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	医療療養病床 全体	71	36.6%	12.7%	29.6%	9.9%	11.3%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	28	25.0%	21.4%	35.7%	3.6%	14.3%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	21	52.4%	9.5%	19.0%	19.0%	0.0%	0.0%
医療療養病床(診療所)	12	66.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	10	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	50.0%	0.0%	
九州	介護療養病床 全体	95	61.1%	9.5%	21.1%	4.2%	4.2%	0.0%
	療養機能強化型A	28	46.4%	14.3%	17.9%	10.7%	10.7%	0.0%
	療養機能強化型B	9	55.6%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	32	53.1%	9.4%	31.3%	3.1%	3.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	18	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療療養病床 全体	173	32.9%	11.6%	15.6%	23.1%	15.6%	1.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	37	0.0%	0.0%	16.2%	64.9%	13.5%	5.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	43.8%	27.1%	14.6%	6.3%	8.3%	0.0%
	医療療養病床(25:1)	48	16.7%	10.4%	25.0%	20.8%	27.1%	0.0%
医療療養病床(診療所)	39	69.2%	5.1%	5.1%	7.7%	12.8%	0.0%	
地域包括ケア病棟・病床 全体	21	0.0%	4.8%	9.5%	4.8%	81.0%	0.0%	

図表 地域別 要介護度別入院患者割合

		施設数	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	不明・未 申請
北海道	介護療養病床 全体	23	—	2.2%	2.6%	4.8%	26.7%	63.2%	0.5%	—
	療養機能強化型A	10	—	0.4%	0.2%	2.6%	26.2%	69.7%	0.9%	—
	療養機能強化型B	2	—	6.8%	7.9%	11.7%	32.0%	41.7%	—	—
	その他(病院)	6	—	1.1%	1.4%	2.1%	22.1%	72.9%	0.4%	—
	療養機能強化型(診療所)	2	—	7.4%	11.1%	3.7%	11.1%	66.7%	—	—
	その他(診療所)	3	—	—	4.8%	4.8%	28.6%	61.9%	—	—
	医療療養病床 全体	36	1.5%	3.7%	5.6%	6.1%	13.0%	21.4%	1.8%	46.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	7	3.0%	6.1%	8.2%	8.4%	13.3%	17.7%	3.4%	39.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	1.1%	2.2%	4.8%	6.0%	15.3%	26.6%	0.6%	43.3%
	医療療養病床(25:1)	8	0.7%	5.4%	5.2%	5.7%	11.8%	21.6%	3.4%	46.2%
	医療療養病床(診療所)	3	8.3%	4.2%	20.8%	—	—	4.2%	4.2%	58.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	8.9%	10.1%	12.7%	11.4%	11.4%	12.7%	5.1%	27.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	8.9%	10.1%	12.7%	11.4%	11.4%	12.7%	5.1%	27.8%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	33	—	1.7%	4.7%	10.2%	36.8%	46.2%	0.5%	—
	療養機能強化型A	6	—	2.4%	3.1%	8.1%	41.5%	44.1%	0.9%	—
	療養機能強化型B	1	—	—	2.1%	—	20.8%	77.1%	—	—
	その他(病院)	11	—	0.3%	5.4%	14.6%	38.9%	40.9%	—	—
	療養機能強化型(診療所)	5	—	—	2.3%	—	18.6%	79.1%	—	—
	その他(診療所)	10	—	5.3%	10.6%	11.5%	24.8%	46.9%	0.9%	—
	医療療養病床 全体	59	1.9%	3.2%	4.8%	6.4%	15.6%	27.0%	3.8%	37.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	1.3%	3.0%	2.6%	7.4%	17.8%	27.4%	0.4%	40.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	1.0%	2.3%	3.7%	6.1%	15.4%	27.5%	3.7%	40.2%
	医療療養病床(25:1)	19	2.8%	4.3%	7.3%	6.7%	15.2%	25.5%	5.0%	33.2%
	医療療養病床(診療所)	11	10.1%	7.2%	5.8%	5.8%	17.4%	30.4%	2.9%	20.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	4.9%	6.4%	8.4%	7.4%	11.8%	13.8%	12.3%	35.0%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	—	14.3%	7.1%	21.4%	42.9%	14.3%	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	5.4%	7.0%	7.5%	7.5%	10.8%	11.8%	11.8%	38.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	—	—	33.3%	—	33.3%	—	33.3%	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	32	—	1.1%	2.0%	6.7%	28.1%	60.2%	1.5%	0.5%
	療養機能強化型A	6	—	0.8%	0.3%	1.9%	21.0%	72.6%	3.5%	—
	療養機能強化型B	2	—	—	4.8%	19.0%	19.0%	57.1%	—	—
	その他(病院)	18	—	0.7%	2.4%	8.0%	31.5%	56.8%	0.6%	—
	療養機能強化型(診療所)	1	—	12.5%	—	18.8%	18.8%	6.3%	12.5%	31.3%
	その他(診療所)	5	—	5.5%	4.1%	6.8%	32.9%	49.3%	—	1.4%
	医療療養病床 全体	51	1.4%	2.3%	4.7%	6.9%	11.4%	20.8%	2.4%	49.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	1.8%	2.3%	5.9%	8.6%	14.4%	30.2%	0.9%	36.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	1.1%	1.8%	4.2%	5.4%	9.3%	18.9%	2.9%	56.5%
	医療療養病床(25:1)	23	1.8%	3.1%	5.1%	8.6%	13.0%	20.7%	2.3%	45.4%
	医療療養病床(診療所)	1	—	—	—	—	50.0%	50.0%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	7.5%	5.0%	10.7%	11.3%	8.2%	6.3%	5.0%	45.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	7.5%	5.0%	10.7%	11.3%	8.2%	6.3%	5.0%	45.9%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	42	—	1.3%	2.1%	6.9%	30.4%	58.9%	0.3%	0.0%
	療養機能強化型A	25	—	1.3%	2.6%	7.7%	28.2%	59.7%	0.4%	—
	療養機能強化型B	3	—	—	—	5.3%	31.3%	63.3%	—	—
	その他(病院)	14	—	1.4%	1.3%	5.4%	35.7%	55.9%	0.1%	0.1%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	80	0.6%	1.7%	2.9%	4.4%	12.1%	26.7%	2.3%	49.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	16	0.7%	3.1%	5.0%	5.6%	18.5%	35.5%	2.5%	29.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	41	0.4%	1.1%	2.3%	3.5%	9.5%	23.8%	2.2%	57.3%
	医療療養病床(25:1)	20	1.3%	2.0%	2.6%	5.8%	13.4%	26.9%	2.5%	45.5%
	医療療養病床(診療所)	3	—	5.6%	—	11.1%	27.8%	33.3%	—	22.2%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	6.8%	11.7%	14.4%	11.3%	12.6%	15.3%	2.7%	25.2%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	9.1%	27.3%	18.2%	6.8%	18.2%	18.2%	—	2.3%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	6.4%	8.1%	13.4%	12.8%	11.6%	13.4%	2.9%	31.4%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	—	—	16.7%	—	—	50.0%	16.7%	16.7%	
北陸	介護療養病床 全体	39	—	0.2%	1.4%	7.6%	34.8%	55.0%	1.0%	—
	療養機能強化型A	14	—	—	1.6%	3.3%	32.7%	62.2%	0.2%	—
	療養機能強化型B	3	—	—	1.0%	7.7%	31.7%	54.8%	4.8%	—
	その他(病院)	18	—	0.2%	1.3%	11.8%	36.9%	48.5%	1.3%	—
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	—	3.8%	3.8%	11.5%	46.2%	34.6%	—	—
	医療療養病床 全体	50	1.6%	2.9%	4.4%	9.1%	17.7%	26.0%	2.3%	36.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	2.0%	2.8%	4.0%	8.7%	17.4%	22.5%	1.6%	41.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	23	1.4%	2.5%	3.7%	7.7%	14.9%	23.9%	1.7%	44.2%
	医療療養病床(25:1)	17	2.0%	4.1%	5.9%	11.1%	23.7%	31.5%	3.2%	18.5%
	医療療養病床(診療所)	3	—	6.3%	12.5%	37.5%	—	6.3%	12.5%	25.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	6.4%	8.7%	13.9%	5.8%	11.6%	5.8%	4.0%	43.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	15.4%	—	15.4%	7.7%	—	—	7.7%	53.8%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	5.6%	9.4%	13.8%	5.6%	12.5%	6.3%	3.8%	43.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	

※前頁図表の続き

		施設数	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	不明・未 申請
東海	介護療養病床 全体	37	—	2.6%	5.3%	10.1%	36.6%	44.2%	1.1%	0.1%
	療養機能強化型A	13	—	0.8%	2.7%	7.0%	40.6%	48.1%	0.8%	—
	療養機能強化型B	4	—	3.6%	5.7%	13.3%	26.5%	46.6%	4.3%	—
	その他(病院)	13	—	4.1%	7.7%	12.5%	36.6%	38.5%	0.3%	0.3%
	療養機能強化型(診療所)	1	—	—	7.1%	14.3%	14.3%	64.3%	—	—
	その他(診療所)	6	—	3.9%	9.8%	7.8%	29.4%	47.1%	2.0%	—
	医療療養病床 全体	71	2.2%	4.2%	5.8%	8.3%	16.4%	23.3%	2.7%	37.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	3.7%	4.8%	6.0%	10.4%	16.2%	23.6%	3.2%	32.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	31	1.5%	3.2%	5.1%	8.0%	15.8%	26.5%	2.2%	37.8%
	医療療養病床(25:1)	22	2.4%	5.9%	7.3%	7.5%	17.2%	16.8%	3.4%	39.7%
	医療療養病床(診療所)	5	—	8.3%	—	—	50.0%	16.7%	—	25.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	5.0%	7.5%	13.3%	10.0%	10.0%	11.7%	4.2%	38.3%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	4.6%	7.3%	11.9%	10.1%	9.2%	11.9%	4.6%	40.4%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	55	0.1%	0.9%	1.8%	7.6%	33.9%	55.6%	0.2%	—
	療養機能強化型A	27	—	0.3%	1.5%	7.1%	35.5%	55.5%	0.2%	—
	療養機能強化型B	5	—	2.6%	3.7%	8.5%	31.7%	53.4%	0.2%	—
	その他(病院)	16	—	0.5%	1.1%	8.1%	32.4%	57.6%	0.3%	—
	療養機能強化型(診療所)	2	20.0%	—	—	—	—	80.0%	—	—
	その他(診療所)	5	—	10.3%	5.1%	15.4%	12.8%	56.4%	—	—
	医療療養病床 全体	88	1.5%	2.6%	4.2%	6.6%	13.9%	25.9%	2.4%	42.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	22	1.2%	3.1%	3.9%	6.5%	13.3%	21.6%	4.3%	46.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	36	1.1%	1.7%	3.5%	6.7%	13.7%	30.1%	1.6%	41.5%
	医療療養病床(25:1)	26	2.1%	3.2%	5.5%	6.4%	14.7%	24.4%	1.6%	42.0%
	医療療養病床(診療所)	4	20.7%	10.3%	6.9%	10.3%	20.7%	17.2%	—	13.8%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	0.8%	4.8%	7.3%	8.9%	7.3%	5.6%	7.3%	58.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	—	15.8%	42.1%	15.8%	5.3%	—	21.1%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	1.0%	3.0%	6.0%	3.0%	6.0%	6.0%	8.0%	67.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	—	60.0%	—	—	—	—	20.0%	20.0%	
中国	介護療養病床 全体	48	—	2.0%	3.1%	9.6%	35.2%	49.0%	0.4%	0.7%
	療養機能強化型A	15	—	0.5%	1.8%	8.1%	36.2%	52.3%	0.3%	0.9%
	療養機能強化型B	3	—	1.5%	4.0%	6.6%	31.3%	55.1%	1.5%	—
	その他(病院)	22	—	2.9%	3.6%	11.0%	35.6%	46.5%	0.3%	0.1%
	療養機能強化型(診療所)	3	—	—	—	—	16.7%	50.0%	—	33.3%
	その他(診療所)	5	—	7.5%	12.5%	15.0%	32.5%	32.5%	—	—
	医療療養病床 全体	84	2.0%	4.0%	6.5%	8.0%	16.2%	24.9%	1.9%	36.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	24	2.2%	4.5%	6.1%	7.4%	18.0%	28.4%	2.0%	31.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	1.3%	2.9%	5.2%	6.2%	14.0%	25.7%	0.8%	44.0%
	医療療養病床(25:1)	33	2.1%	4.1%	7.6%	9.3%	16.6%	22.8%	2.6%	34.9%
	医療療養病床(診療所)	8	10.2%	18.4%	4.1%	10.2%	8.2%	2.0%	—	46.9%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	18	13.3%	7.5%	13.3%	9.3%	6.5%	7.5%	5.0%	37.6%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	6.7%	—	6.7%	13.3%	20.0%	—	—	53.3%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	16	14.1%	8.2%	14.1%	9.4%	5.9%	8.2%	5.5%	34.8%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
四国	介護療養病床 全体	56	—	1.2%	2.6%	5.9%	30.5%	59.4%	0.3%	0.1%
	療養機能強化型A	18	—	0.9%	1.7%	5.7%	30.5%	60.9%	0.2%	0.1%
	療養機能強化型B	3	—	—	1.2%	6.7%	30.5%	60.4%	0.6%	0.6%
	その他(病院)	25	—	1.7%	4.0%	5.6%	30.4%	57.8%	0.5%	—
	療養機能強化型(診療所)	4	—	—	3.0%	3.0%	36.4%	57.6%	—	—
	その他(診療所)	6	—	1.7%	1.7%	13.6%	27.1%	55.9%	—	—
	医療療養病床 全体	68	2.0%	3.2%	3.8%	6.2%	15.8%	29.4%	1.0%	38.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	2.0%	4.8%	4.4%	8.8%	20.1%	22.4%	—	37.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	30	1.5%	2.9%	3.1%	5.2%	14.9%	32.4%	1.3%	38.7%
	医療療養病床(25:1)	16	1.5%	2.6%	4.8%	6.4%	17.2%	23.1%	1.3%	43.0%
	医療療養病床(診療所)	13	4.2%	5.3%	6.3%	6.3%	8.4%	29.5%	1.1%	38.9%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	7.5%	7.5%	7.5%	14.3%	13.7%	19.9%	3.1%	26.7%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	10.2%	4.1%	18.4%	18.4%	34.7%	—	14.3%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	5.9%	5.9%	10.6%	14.1%	14.1%	16.5%	5.9%	27.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	33.3%	16.7%	—	16.7%	—	16.7%	—	16.7%	
九州	介護療養病床 全体	115	0.0%	1.3%	3.4%	8.7%	36.7%	48.9%	0.8%	0.1%
	療養機能強化型A	36	—	1.0%	2.2%	7.8%	37.6%	50.4%	1.0%	—
	療養機能強化型B	10	—	1.1%	3.9%	12.5%	37.9%	44.6%	—	—
	その他(病院)	35	—	1.4%	3.8%	8.1%	36.6%	49.2%	1.0%	—
	療養機能強化型(診療所)	10	1.4%	—	8.7%	8.7%	33.3%	42.0%	—	5.8%
	その他(診療所)	24	—	4.5%	9.4%	15.2%	29.1%	41.7%	—	—
	医療療養病床 全体	177	3.2%	4.5%	6.5%	7.8%	14.7%	20.6%	1.8%	40.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	37	3.2%	4.5%	6.0%	8.8%	17.5%	25.7%	2.2%	31.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	47	1.7%	1.8%	4.8%	5.9%	13.4%	21.0%	1.5%	50.0%
	医療療養病床(25:1)	50	5.4%	7.0%	8.5%	8.8%	14.6%	15.7%	2.0%	37.9%
	医療療養病床(診療所)	41	2.9%	10.0%	11.0%	9.0%	11.0%	15.5%	1.0%	39.7%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	21	7.9%	9.6%	11.2%	12.1%	11.4%	11.9%	6.8%	29.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	3.5%	12.3%	17.5%	10.5%	8.8%	19.3%	3.5%	24.6%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	8.7%	4.3%	21.7%	21.7%	17.4%	17.4%	8.7%	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	13	9.0%	10.4%	10.1%	10.4%	10.4%	8.7%	8.3%	32.6%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	7.0%	4.7%	7.0%	23.3%	18.6%	9.3%	2.3%	27.9%	

図表 地域別 認知症高齢者の日常生活自立度別入院患者割合

		施設数	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明・未実施
北海道	介護療養病床 全体	22	0.9%	1.1%	2.3%	6.3%	19.3%	13.1%	47.3%	9.3%	0.4%
	療養機能強化型A	10	0.4%	0.2%	1.4%	3.7%	19.2%	10.0%	57.5%	6.8%	0.7%
	療養機能強化型B	2	2.2%	3.8%	3.3%	9.8%	22.3%	17.2%	31.6%	9.8%	—
	その他(病院)	6	0.8%	—	3.6%	8.4%	14.3%	14.3%	44.2%	14.3%	—
	療養機能強化型(診療所)	2	—	3.7%	3.7%	22.2%	25.9%	33.3%	7.4%	3.7%	—
	その他(診療所)	2	—	—	3.4%	—	20.7%	17.2%	24.1%	34.5%	—
	医療療養病床 全体	42	3.5%	3.1%	4.7%	8.7%	16.5%	6.9%	28.2%	5.7%	22.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	3.5%	2.4%	5.9%	11.5%	14.7%	5.8%	29.8%	3.7%	22.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	3.1%	2.7%	3.5%	5.9%	19.2%	9.0%	35.0%	9.6%	12.1%
	医療療養病床(25:1)	11	5.4%	4.8%	6.5%	13.4%	18.5%	6.4%	18.5%	2.7%	23.9%
	医療療養病床(診療所)	3	—	25.0%	16.7%	4.2%	16.7%	4.2%	—	—	33.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	30.4%	8.9%	3.8%	17.7%	8.9%	3.8%	24.1%	2.5%	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	30.4%	8.9%	3.8%	17.7%	8.9%	3.8%	24.1%	2.5%	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	27	1.4%	2.7%	4.0%	7.6%	16.9%	15.6%	40.6%	10.6%	0.5%
	療養機能強化型A	6	2.6%	3.5%	3.7%	8.5%	11.6%	19.2%	34.7%	15.7%	0.4%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(病院)	10	—	2.6%	4.2%	6.6%	24.0%	11.6%	45.4%	5.0%	0.5%
	療養機能強化型(診療所)	4	—	—	2.9%	2.9%	17.6%	29.4%	38.2%	8.8%	—
	その他(診療所)	7	1.3%	—	5.1%	8.9%	13.9%	7.6%	53.2%	8.9%	1.3%
	医療療養病床 全体	56	5.0%	5.0%	2.9%	7.0%	18.1%	9.6%	26.0%	5.0%	21.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	1.3%	3.8%	2.9%	6.7%	23.3%	3.3%	37.9%	—	20.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	23	3.9%	2.2%	1.9%	4.2%	14.8%	11.8%	30.8%	3.2%	27.3%
	医療療養病床(25:1)	17	8.5%	10.1%	4.3%	12.6%	22.5%	6.9%	14.0%	10.7%	10.4%
	医療療養病床(診療所)	11	4.7%	10.9%	9.4%	6.3%	18.8%	18.8%	9.4%	1.6%	20.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	19.1%	6.0%	10.1%	5.5%	9.5%	10.1%	17.6%	1.0%	21.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	7.1%	—	—	—	—	7.1%	85.7%	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	20.3%	6.6%	11.0%	5.5%	9.9%	9.9%	12.6%	1.1%	23.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	—	—	—	33.3%	33.3%	33.3%	—	—	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	30	1.0%	2.6%	3.0%	6.4%	21.5%	15.2%	37.3%	12.8%	0.2%
	療養機能強化型A	6	0.3%	1.3%	0.3%	3.2%	7.5%	16.1%	39.2%	32.0%	—
	療養機能強化型B	2	—	—	—	9.5%	11.9%	45.2%	31.0%	2.4%	—
	その他(病院)	17	1.2%	2.7%	3.5%	6.7%	28.9%	13.0%	39.0%	5.1%	—
	療養機能強化型(診療所)	1	12.5%	18.8%	25.0%	18.8%	12.5%	—	—	12.5%	—
	その他(診療所)	4	—	7.3%	10.9%	18.2%	21.8%	21.8%	16.4%	—	3.6%
	医療療養病床 全体	54	5.3%	4.2%	3.7%	6.1%	12.3%	5.8%	21.4%	7.8%	33.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	1.4%	3.3%	2.8%	4.2%	8.0%	4.2%	16.5%	7.1%	52.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	3.3%	4.1%	3.2%	5.4%	14.1%	5.2%	25.7%	10.9%	28.1%
	医療療養病床(25:1)	24	9.3%	4.7%	4.5%	7.5%	10.7%	7.2%	16.5%	3.4%	36.1%
	医療療養病床(診療所)	1	—	—	—	—	50.0%	—	50.0%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	19.2%	13.5%	9.0%	9.6%	5.1%	5.8%	6.4%	—	31.4%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	19.2%	13.5%	9.0%	9.6%	5.1%	5.8%	6.4%	—	31.4%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	41	1.3%	0.8%	1.3%	4.0%	16.4%	14.7%	47.9%	9.9%	3.8%
	療養機能強化型A	24	1.8%	1.1%	1.1%	4.3%	17.2%	15.3%	46.9%	9.6%	2.8%
	療養機能強化型B	3	—	—	1.3%	1.3%	6.0%	26.0%	60.0%	5.3%	—
	その他(病院)	14	0.4%	0.4%	1.8%	3.8%	16.6%	11.0%	48.0%	11.3%	6.7%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	75	2.1%	2.2%	2.1%	4.8%	9.8%	7.4%	24.2%	14.5%	32.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	16	3.4%	3.0%	4.3%	8.4%	19.2%	7.8%	24.7%	8.2%	20.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	38	1.6%	1.7%	1.5%	3.5%	5.7%	7.6%	18.3%	15.3%	45.0%
	医療療養病床(25:1)	18	2.4%	3.3%	2.0%	5.1%	13.0%	6.5%	41.3%	17.8%	8.6%
	医療療養病床(診療所)	3	—	—	—	—	27.8%	—	33.3%	38.9%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	11.5%	7.7%	6.6%	10.4%	13.2%	11.5%	17.6%	6.6%	14.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	22.7%	4.5%	4.5%	9.1%	4.5%	9.1%	6.8%	2.3%	36.4%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	7.6%	8.3%	7.6%	11.4%	16.7%	11.4%	20.5%	8.3%	8.3%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	16.7%	16.7%	—	—	—	33.3%	33.3%	—	—	
北陸	介護療養病床 全体	36	0.8%	1.5%	1.9%	4.6%	26.0%	17.8%	44.0%	2.6%	0.8%
	療養機能強化型A	13	—	0.9%	1.6%	1.5%	21.1%	22.9%	49.9%	2.1%	—
	療養機能強化型B	2	—	2.7%	—	8.1%	23.0%	27.0%	37.8%	1.4%	—
	その他(病院)	18	1.7%	1.9%	2.5%	7.5%	31.2%	11.8%	38.7%	3.0%	1.7%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	3	—	6.3%	—	6.3%	31.3%	6.3%	37.5%	12.5%	—
	医療療養病床 全体	47	3.3%	3.9%	7.7%	8.4%	27.7%	10.2%	29.4%	4.8%	4.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	0.8%	1.2%	8.3%	4.7%	28.1%	3.2%	37.5%	0.8%	15.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	20	3.6%	3.9%	8.4%	9.5%	30.4%	10.6%	25.3%	5.0%	3.2%
	医療療養病床(25:1)	17	3.9%	5.2%	6.5%	8.2%	23.2%	11.0%	32.7%	6.2%	3.1%
	医療療養病床(診療所)	3	6.3%	—	18.8%	6.3%	37.5%	6.3%	—	—	25.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	35.4%	6.9%	1.7%	11.4%	4.0%	—	4.0%	—	36.6%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	30.8%	—	—	—	—	—	—	—	69.2%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	35.8%	7.4%	1.9%	12.3%	4.3%	—	4.3%	—	34.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※前頁図表の続き

		施設数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明・未 実施
東海	介護療養病床 全体	36	0.9%	1.8%	2.6%	6.4%	16.7%	23.2%	40.1%	7.4%	1.0%
	療養機能強化型A	13	0.5%	2.0%	2.1%	4.4%	16.7%	18.3%	45.9%	8.1%	2.0%
	療養機能強化型B	4	1.8%	1.4%	2.9%	6.2%	19.6%	25.0%	37.3%	5.8%	—
	その他(病院)	12	0.4%	1.8%	3.0%	8.8%	15.5%	28.4%	35.0%	6.9%	0.3%
	療養機能強化型(診療所)	1	—	—	—	14.3%	21.4%	—	57.1%	7.1%	—
	その他(診療所)	6	10.0%	2.0%	6.0%	4.0%	16.0%	26.0%	10.0%	—	—
	医療療養病床 全体	69	3.3%	3.7%	4.6%	6.9%	15.4%	6.5%	28.1%	5.7%	25.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	12	6.1%	4.1%	7.7%	6.1%	22.5%	6.0%	30.3%	3.8%	13.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	31	1.7%	3.8%	3.1%	6.6%	13.0%	5.9%	28.5%	5.4%	31.9%
	医療療養病床(25:1)	21	4.4%	3.3%	5.4%	8.0%	15.1%	8.3%	25.5%	7.6%	22.5%
	医療療養病床(診療所)	5	16.7%	—	—	8.3%	8.3%	—	33.3%	—	33.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	14.7%	5.2%	8.6%	8.6%	7.8%	18.1%	6.9%	3.4%	26.7%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	15.6%	5.5%	7.3%	9.2%	7.3%	19.3%	3.7%	3.7%	28.4%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	49	1.3%	2.5%	2.5%	5.7%	21.2%	15.4%	44.7%	6.0%	0.7%
	療養機能強化型A	26	1.3%	1.9%	1.6%	5.7%	22.6%	18.1%	41.3%	7.3%	0.4%
	療養機能強化型B	5	1.8%	5.1%	4.8%	5.0%	13.3%	13.8%	52.3%	3.9%	—
	その他(病院)	14	0.9%	2.1%	3.0%	5.3%	24.5%	8.3%	50.0%	3.3%	2.6%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	—	—	3.2%	25.8%	35.5%	6.5%	12.9%	16.1%	—
	医療療養病床 全体	84	6.4%	4.7%	4.0%	5.1%	13.6%	7.4%	23.2%	5.9%	29.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	20	5.2%	4.4%	2.7%	3.3%	12.6%	9.6%	19.0%	4.5%	38.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	37	7.1%	4.5%	3.3%	6.2%	13.6%	6.5%	26.5%	7.2%	25.0%
	医療療養病床(25:1)	23	6.5%	5.1%	6.8%	5.0%	14.9%	6.1%	22.4%	5.0%	28.0%
	医療療養病床(診療所)	4	6.9%	17.2%	13.8%	13.8%	6.9%	13.8%	13.8%	13.8%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	26.4%	5.2%	4.7%	6.7%	3.1%	11.4%	16.6%	—	25.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	—	—	—	100.0%	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	21.3%	5.3%	8.5%	3.2%	5.3%	—	3.2%	—	53.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	80.0%	—	20.0%	—	—	—	—	—	—	
中国	介護療養病床 全体	46	1.8%	2.2%	4.0%	5.4%	21.7%	15.0%	41.1%	6.0%	2.9%
	療養機能強化型A	14	0.3%	0.9%	2.5%	4.1%	14.7%	20.1%	54.0%	2.5%	0.9%
	療養機能強化型B	3	4.1%	1.0%	2.5%	5.6%	6.6%	11.2%	34.5%	23.9%	10.7%
	その他(病院)	21	1.8%	3.1%	4.4%	6.1%	28.5%	13.1%	34.8%	5.2%	3.1%
	療養機能強化型(診療所)	3	33.3%	—	8.3%	—	16.7%	—	41.7%	—	—
	その他(診療所)	5	—	5.3%	23.7%	10.5%	31.6%	2.6%	18.4%	7.9%	—
	医療療養病床 全体	81	5.1%	4.4%	5.0%	8.5%	17.9%	8.4%	25.9%	8.4%	16.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	23	5.3%	5.0%	3.5%	6.5%	13.0%	9.1%	28.5%	10.0%	18.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	5.8%	3.8%	4.6%	6.7%	16.0%	5.0%	26.5%	15.4%	16.1%
	医療療養病床(25:1)	34	4.3%	4.1%	6.0%	10.2%	21.8%	9.8%	24.1%	4.0%	15.7%
	医療療養病床(診療所)	7	20.8%	12.5%	2.1%	18.8%	10.4%	10.4%	22.9%	2.1%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	18	34.8%	14.7%	9.7%	5.0%	10.0%	12.5%	5.4%	1.1%	6.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	40.0%	40.0%	6.7%	6.7%	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	16	35.5%	13.7%	10.2%	5.1%	10.5%	13.7%	5.9%	1.2%	4.3%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
四国	介護療養病床 全体	50	0.5%	2.3%	3.5%	5.9%	19.5%	18.7%	40.9%	7.9%	0.8%
	療養機能強化型A	16	0.5%	2.2%	4.1%	4.4%	14.7%	24.7%	40.2%	7.7%	1.6%
	療養機能強化型B	3	0.6%	2.4%	7.3%	3.7%	11.0%	18.9%	41.5%	14.6%	—
	その他(病院)	21	0.4%	2.4%	2.2%	7.3%	25.8%	12.2%	43.4%	6.2%	0.1%
	療養機能強化型(診療所)	4	—	6.1%	—	—	33.3%	12.1%	39.4%	9.1%	—
	その他(診療所)	6	1.7%	—	3.3%	21.7%	28.3%	11.7%	18.3%	13.3%	1.7%
	医療療養病床 全体	65	5.6%	6.7%	4.2%	6.4%	15.5%	8.2%	34.4%	10.9%	8.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	9.2%	12.0%	6.3%	6.6%	10.9%	6.6%	36.7%	4.9%	6.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	4.5%	5.1%	4.1%	5.9%	15.0%	9.3%	33.8%	14.9%	7.3%
	医療療養病床(25:1)	16	5.1%	6.4%	4.0%	6.6%	16.3%	7.5%	34.8%	4.0%	15.4%
	医療療養病床(診療所)	12	8.8%	11.0%	6.6%	8.8%	14.3%	5.5%	24.2%	12.1%	8.8%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	12.6%	10.1%	11.8%	5.9%	21.0%	9.2%	16.8%	5.0%	7.6%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	8.2%	6.1%	14.3%	10.2%	32.7%	6.1%	22.4%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	14.1%	12.5%	10.9%	3.1%	10.9%	12.5%	12.5%	9.4%	14.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	33.3%	16.7%	—	—	33.3%	—	16.7%	—	—	
九州	介護療養病床 全体	107	1.5%	2.2%	3.9%	6.6%	16.6%	14.3%	39.7%	12.1%	3.1%
	療養機能強化型A	34	1.4%	1.6%	4.2%	5.8%	14.2%	16.0%	40.6%	11.4%	4.8%
	療養機能強化型B	10	3.6%	3.2%	1.8%	8.6%	15.7%	16.4%	41.4%	9.3%	—
	その他(病院)	31	1.1%	2.8%	3.8%	7.5%	21.7%	11.1%	38.5%	12.7%	0.8%
	療養機能強化型(診療所)	10	5.7%	—	2.9%	2.9%	15.7%	5.7%	35.7%	31.4%	—
	その他(診療所)	22	0.5%	4.2%	4.2%	8.0%	17.8%	13.1%	36.2%	12.7%	3.3%
	医療療養病床 全体	169	6.2%	6.1%	6.5%	6.9%	13.3%	8.3%	21.5%	10.3%	20.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	36	6.3%	6.3%	7.5%	4.0%	13.2%	11.7%	23.9%	9.9%	17.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	3.6%	4.3%	3.8%	6.5%	10.0%	5.5%	24.4%	13.4%	28.4%
	医療療養病床(25:1)	48	8.1%	7.7%	8.9%	9.0%	17.5%	8.8%	15.7%	9.3%	15.2%
	医療療養病床(診療所)	35	10.7%	9.0%	6.6%	13.8%	13.8%	6.9%	23.5%	1.7%	13.8%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	20	18.3%	9.0%	8.2%	14.2%	19.4%	6.0%	11.7%	2.5%	10.7%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	—	14.0%	3.5%	17.5%	17.5%	3.5%	19.3%	7.0%	17.5%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	8.7%	4.3%	21.7%	8.7%	26.1%	—	26.1%	4.3%	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	12	21.3%	10.2%	8.4%	13.3%	22.7%	8.0%	5.8%	1.3%	8.9%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	30.2%	—	7.0%	20.9%	4.7%	4.7%	16.3%	2.3%	14.0%	

図表 地域別 医療区分別入院患者割合

		施設数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
北海道	介護療養病床 全体	19	53.3%	6.4%	0.4%	39.9%
	療養機能強化型A	8	38.7%	7.6%	0.3%	53.4%
	療養機能強化型B	2	80.5%	3.5%	0.5%	15.4%
	その他(病院)	6	56.0%	8.4%	0.4%	35.2%
	療養機能強化型(診療所)	1	—	—	—	100.0%
	その他(診療所)	2	62.1%	—	3.4%	34.5%
	医療療養病床 全体	44	22.8%	40.2%	37.0%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	13.5%	44.9%	41.5%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	8.7%	45.1%	46.2%	—
	医療療養病床(25:1)	13	61.2%	20.8%	17.9%	—
	医療療養病床(診療所)	3	66.7%	16.7%	16.7%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	58.2%	13.9%	8.9%	19.0%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	58.2%	13.9%	8.9%	19.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	23	50.2%	16.2%	1.9%	31.7%
	療養機能強化型A	6	28.4%	15.6%	1.4%	54.5%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—
	その他(病院)	9	77.1%	13.7%	2.0%	7.3%
	療養機能強化型(診療所)	4	52.9%	26.5%	8.8%	11.8%
	その他(診療所)	4	39.6%	33.3%	—	27.1%
	医療療養病床 全体	58	19.9%	37.5%	42.5%	0.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	9.6%	49.1%	41.3%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	8.8%	38.7%	52.5%	—
	医療療養病床(25:1)	20	39.0%	32.2%	28.8%	—
	医療療養病床(診療所)	9	50.9%	26.3%	17.5%	5.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	25.4%	8.8%	6.3%	59.5%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	6.3%	75.0%	18.8%	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	27.4%	3.2%	5.4%	64.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	—	—	—	100.0%	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	24	39.7%	15.5%	3.2%	41.5%
	療養機能強化型A	5	27.9%	15.0%	—	57.1%
	療養機能強化型B	2	11.9%	4.8%	—	83.3%
	その他(病院)	13	46.8%	13.9%	3.6%	35.8%
	療養機能強化型(診療所)	1	25.0%	56.3%	—	18.8%
	その他(診療所)	3	36.8%	39.5%	23.7%	—
	医療療養病床 全体	60	21.3%	41.1%	37.4%	0.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	11.8%	38.2%	48.5%	1.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	25	8.4%	46.2%	45.4%	—
	医療療養病床(25:1)	25	41.8%	35.4%	22.7%	0.1%
	医療療養病床(診療所)	4	12.5%	29.2%	58.3%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	23.5%	2.4%	1.2%	72.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	23.5%	2.4%	1.2%	72.9%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	34	47.4%	13.7%	2.5%	36.4%
	療養機能強化型A	21	46.4%	14.6%	2.4%	36.6%
	療養機能強化型B	2	31.5%	4.5%	—	64.0%
	その他(病院)	11	52.9%	12.7%	3.1%	31.2%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	91	16.2%	44.0%	37.7%	2.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	17	12.1%	53.5%	34.4%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	11.0%	45.3%	40.6%	3.1%
	医療療養病床(25:1)	22	36.6%	31.0%	32.3%	0.2%
	医療療養病床(診療所)	4	4.2%	95.8%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	3.8%	11.4%	11.4%	73.3%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	25.0%	25.0%	50.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	2	—	—	—	100.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	66.7%	16.7%	16.7%	—	
北陸	介護療養病床 全体	30	72.1%	8.8%	6.1%	13.0%
	療養機能強化型A	12	81.8%	12.6%	5.6%	—
	療養機能強化型B	1	96.4%	3.6%	—	—
	その他(病院)	14	58.0%	4.5%	7.2%	30.4%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—
	その他(診療所)	3	94.1%	—	—	5.9%
	医療療養病床 全体	51	23.8%	39.9%	33.9%	2.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	11.5%	41.7%	46.8%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	13.7%	43.8%	38.7%	3.8%
	医療療養病床(25:1)	20	45.7%	32.7%	21.1%	0.5%
	医療療養病床(診療所)	3	93.8%	—	6.3%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	60.8%	23.0%	6.1%	10.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	23.1%	53.8%	23.1%	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	64.4%	20.0%	4.4%	11.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	

※前頁図表の続き

		施設数	医療区分1	医療区分2	医療区分3	不明・未実施
東海	介護療養病床 全体	33	44.2%	13.7%	3.7%	38.3%
	療養機能強化型A	11	50.0%	27.3%	6.1%	16.6%
	療養機能強化型B	4	60.7%	2.5%	1.8%	34.9%
	その他(病院)	13	34.4%	4.9%	1.2%	59.6%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—
	その他(診療所)	5	16.3%	18.6%	23.3%	41.9%
	医療療養病床 全体	73	18.3%	47.9%	32.3%	1.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	9.5%	56.5%	26.7%	7.3%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	33	9.6%	50.9%	39.4%	—
	医療療養病床(25:1)	21	41.2%	35.0%	23.9%	—
	医療療養病床(診療所)	6	58.6%	41.4%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	11.7%	6.7%	—	81.7%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	—	—	—	100.0%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	42	53.7%	12.8%	4.2%	29.3%
	療養機能強化型A	23	53.2%	11.6%	4.4%	30.7%
	療養機能強化型B	5	55.4%	13.3%	6.0%	25.3%
	その他(病院)	11	55.3%	16.7%	1.2%	26.8%
	療養機能強化型(診療所)	1	12.5%	62.5%	25.0%	—
	その他(診療所)	2	41.7%	8.3%	—	50.0%
	医療療養病床 全体	94	16.9%	46.0%	31.9%	5.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	21	10.0%	39.4%	31.7%	19.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	41	10.2%	51.4%	38.3%	—
	医療療養病床(25:1)	29	34.9%	43.6%	21.5%	—
	医療療養病床(診療所)	3	38.1%	38.1%	23.8%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	46.3%	11.6%	12.6%	29.5%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	75.0%	10.0%	15.0%	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	38.7%	12.0%	12.0%	37.3%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
中国	介護療養病床 全体	37	48.8%	5.8%	3.6%	41.7%
	療養機能強化型A	11	58.9%	9.2%	3.0%	29.0%
	療養機能強化型B	2	25.4%	1.6%	27.0%	46.0%
	その他(病院)	19	45.7%	2.9%	2.7%	48.7%
	療養機能強化型(診療所)	2	5.6%	94.4%	—	—
	その他(診療所)	3	31.3%	—	6.3%	62.5%
	医療療養病床 全体	90	26.5%	37.8%	34.5%	1.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	16.0%	42.9%	37.5%	3.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	9.0%	42.4%	48.7%	—
	医療療養病床(25:1)	36	42.6%	31.9%	25.2%	0.4%
	医療療養病床(診療所)	9	52.6%	40.4%	7.0%	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	15	36.7%	15.1%	7.3%	40.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	73.3%	26.7%	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	13	35.6%	14.8%	8.1%	41.5%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
四国	介護療養病床 全体	39	59.1%	10.2%	5.1%	25.6%
	療養機能強化型A	13	59.9%	10.8%	7.4%	21.9%
	療養機能強化型B	2	28.2%	0.8%	2.4%	68.5%
	その他(病院)	15	64.4%	10.5%	1.9%	23.1%
	療養機能強化型(診療所)	3	42.9%	47.6%	9.5%	—
	その他(診療所)	6	71.2%	5.1%	3.4%	20.3%
	医療療養病床 全体	73	17.0%	53.6%	26.9%	2.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	7.4%	56.0%	36.6%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	29	11.7%	58.7%	29.6%	—
	医療療養病床(25:1)	21	27.8%	45.7%	19.4%	7.1%
	医療療養病床(診療所)	13	43.2%	25.3%	15.8%	15.8%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	22.7%	2.1%	3.1%	72.2%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	—	—	—	100.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	45.8%	4.2%	6.3%	43.8%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	
九州	介護療養病床 全体	88	52.1%	9.4%	2.8%	35.7%
	療養機能強化型A	30	45.5%	6.6%	3.0%	44.9%
	療養機能強化型B	7	60.2%	12.7%	2.7%	24.4%
	その他(病院)	29	63.8%	9.3%	1.1%	25.7%
	療養機能強化型(診療所)	9	25.0%	42.9%	10.7%	21.4%
	その他(診療所)	13	58.3%	29.6%	9.6%	2.6%
	医療療養病床 全体	184	22.8%	47.0%	28.0%	2.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	36	13.6%	53.6%	32.8%	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	53	11.1%	52.9%	36.0%	—
	医療療養病床(25:1)	54	42.1%	36.6%	17.8%	3.6%
	医療療養病床(診療所)	39	43.0%	41.7%	9.7%	5.5%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	17	43.4%	9.5%	12.0%	35.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	—	—	—	100.0%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	17.4%	17.4%	65.2%	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	10	53.6%	10.4%	9.8%	26.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	2	65.7%	5.7%	11.4%	17.1%	

図表 地域別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の各基準に該当する患者の割合（平成27年10月31日時点）（複数回答）

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者						
			NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	Hugh-Jones分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する1週間以上人工呼吸器を必要としている状態	常時低血圧（取縮時血圧が90mmHg以下）	透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	出血性消化器病変を有するもの	骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	
北海道	介護療養病床 全体	21	1,485	7.1%	0.7%	—	—	—	—
	療養機能強化型A	10	804	7.8%	0.5%	—	—	—	—
	療養機能強化型B	2	369	10.8%	1.6%	—	—	—	—
	その他(病院)	5	256	0.8%	—	—	—	—	—
	療養機能強化型(診療所)	2	27	3.7%	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	29	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	34	2,073	2.9%	1.7%	0.0%	—	0.0%	0.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	7	437	4.8%	2.1%	—	—	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	16	917	1.4%	1.6%	0.1%	—	0.1%	—
	医療療養病床(25:1)	9	532	5.1%	2.1%	—	—	—	0.2%
	医療療養病床(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	79	19.0%	5.1%	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	79	19.0%	5.1%	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	22	850	2.8%	0.9%	—	—	—	—
	療養機能強化型A	5	439	5.2%	1.6%	—	—	—	—
	療養機能強化型B	1	48	—	—	—	—	—	—
	その他(病院)	7	263	—	—	—	—	—	—
	療養機能強化型(診療所)	4	34	2.9%	2.9%	—	—	—	—
	その他(診療所)	5	66	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	45	2,128	1.5%	3.9%	0.1%	0.5%	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	240	2.5%	2.5%	0.8%	—	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	20	1,135	1.5%	6.4%	—	0.4%	—	—
	医療療養病床(25:1)	16	685	0.6%	0.7%	—	0.9%	—	—
	医療療養病床(診療所)	4	30	13.3%	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	155	5.8%	—	0.6%	1.3%	0.6%	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	14	50.0%	—	7.1%	14.3%	7.1%	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	141	1.4%	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	29	1,215	7.2%	—	—	—	—	—
	療養機能強化型A	5	320	5.9%	—	—	—	—	—
	療養機能強化型B	2	42	—	—	—	—	—	—
	その他(病院)	16	764	8.9%	—	—	—	—	—
	療養機能強化型(診療所)	1	16	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	5	73	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	45	1,810	1.3%	2.7%	0.9%	0.6%	0.2%	0.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	3	163	3.1%	7.4%	1.8%	—	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	983	0.7%	3.0%	1.4%	1.0%	0.4%	1.2%
	医療療養病床(25:1)	19	660	1.7%	1.2%	—	—	—	0.2%
	医療療養病床(診療所)	1	4	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	57	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	57	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	39	2,775	2.8%	1.3%	—	—	—	0.1%
	療養機能強化型A	23	1,862	2.3%	1.5%	—	—	—	—
	療養機能強化型B	3	150	—	—	—	—	—	—
	その他(病院)	13	763	4.7%	0.9%	—	—	—	0.3%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	81	5,957	5.5%	4.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	17	1,064	4.7%	1.5%	0.2%	0.1%	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	41	3,732	3.3%	5.7%	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%
	医療療養病床(25:1)	20	1,131	13.3%	1.3%	—	0.1%	—	—
	医療療養病床(診療所)	3	30	6.7%	—	16.7%	3.3%	6.7%	10.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	134	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	44	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	84	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	6	—	—	—	—	—	—	
北陸	介護療養病床 全体	35	1,735	5.1%	1.9%	—	—	—	—
	療養機能強化型A	14	829	3.3%	1.0%	—	—	—	—
	療養機能強化型B	3	104	10.6%	17.3%	—	—	—	—
	その他(病院)	17	797	6.3%	0.9%	—	—	—	—
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	1	5	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	47	2,482	7.9%	5.5%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	208	3.8%	2.4%	—	—	—	—
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	1,643	7.3%	7.5%	0.4%	0.1%	0.4%	0.2%
	医療療養病床(25:1)	16	578	11.1%	1.6%	—	—	—	0.2%
	医療療養病床(診療所)	1	7	—	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	158	—	1.3%	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	13	—	7.7%	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	145	—	0.7%	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	

※前頁図表の続き

		施設数	有効回答の あった施設 の入院患者 数の合計	重篤な身体疾患を有する者						
				NYHA分類Ⅲ 以上の慢性心 不全の状態	Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の 呼吸困難の状 態又は連続す る1週間以上 人工呼吸器を 必要としている 状態	常時低血圧 (収縮時血圧 が90mmHg以 下)	透析アミロイ ド 症で手根管症 候群や運動機 能障害を呈す るもの	出血性消化器 病変を有するも の	骨折を伴う二 次性副甲狀腺 機能亢進症の もの	各週2日以上的人工腎臓の実施が必要である者のうち
東海	介護療養病床 全体	35	1,834	5.1%	3.4%	0.1%	—	—	—	—
	療養機能強化型A	13	760	7.0%	7.0%	0.1%	—	—	—	—
	療養機能強化型B	4	275	4.7%	0.7%	—	—	—	—	—
	その他(病院)	12	742	3.2%	1.1%	—	—	—	—	—
	療養機能強化型(診療所)	1	14	14.3%	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	5	43	4.7%	—	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	55	2,804	3.6%	1.9%	0.7%	0.2%	0.4%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	11	470	6.0%	4.3%	0.6%	0.2%	0.2%	0.4%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	1,620	3.2%	1.7%	0.1%	0.4%	0.6%	—	
	医療療養病床(25:1)	15	710	2.8%	0.8%	2.1%	—	—	—	
	医療療養病床(診療所)	2	4	25.0%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	117	0.9%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	117	0.9%	—	—	—	—	—		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—		
近畿	介護療養病床 全体	42	2,987	8.9%	1.2%	—	—	—	—	
	療養機能強化型A	26	1,979	12.1%	1.3%	—	—	—	—	
	療養機能強化型B	5	583	3.8%	0.7%	—	—	—	—	
	その他(病院)	8	400	1.3%	1.0%	—	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	1	8	12.5%	12.5%	—	—	—	—	
	その他(診療所)	2	17	—	—	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	84	4,693	4.2%	4.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	20	1,232	5.0%	3.0%	—	—	—	0.2%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	37	2,200	2.9%	6.6%	0.4%	0.1%	0.2%	0.1%	
	医療療養病床(25:1)	25	1,244	5.5%	1.5%	0.5%	0.2%	0.1%	0.1%	
	医療療養病床(診療所)	2	17	5.9%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	166	1.2%	0.6%	—	0.6%	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	82	2.4%	1.2%	—	1.2%	—	—		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—		
中国	介護療養病床 全体	41	2,169	5.0%	0.3%	—	—	—	—	
	療養機能強化型A	15	797	2.8%	0.1%	—	—	—	—	
	療養機能強化型B	2	173	32.9%	1.7%	—	—	—	—	
	その他(病院)	20	1,161	2.1%	0.2%	—	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	1	10	50.0%	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	3	28	—	—	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	69	3,611	3.8%	4.5%	0.2%	0.5%	0.1%	0.0%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	18	920	6.4%	11.7%	0.4%	1.3%	0.1%	—	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	16	962	6.0%	4.9%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	
	医療療養病床(25:1)	28	1,685	1.2%	0.5%	0.1%	0.2%	—	—	
	医療療養病床(診療所)	7	44	2.3%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	197	0.5%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	197	0.5%	—	—	—	—	—		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—		
四国	介護療養病床 全体	49	1,940	9.4%	2.5%	—	0.1%	—	—	
	療養機能強化型A	17	972	8.6%	4.3%	—	0.1%	—	—	
	療養機能強化型B	3	164	9.1%	1.8%	—	—	—	—	
	その他(病院)	20	720	11.1%	0.4%	—	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	3	27	7.4%	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	6	57	1.8%	—	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	62	2,092	8.5%	6.6%	0.0%	0.0%	—	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	352	2.0%	16.8%	—	—	—	—	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	1,061	12.9%	6.4%	—	—	—	0.2%	
	医療療養病床(25:1)	15	371	7.8%	3.2%	0.3%	0.3%	—	—	
	医療療養病床(診療所)	10	73	5.5%	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	97	11.3%	4.1%	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	49	22.4%	8.2%	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	48	—	—	—	—	—	—		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—		
九州	介護療養病床 全体	94	3,294	4.6%	1.7%	0.0%	—	0.0%	—	
	療養機能強化型A	35	1,943	5.6%	2.7%	—	—	0.1%	—	
	療養機能強化型B	10	282	3.9%	—	—	—	—	—	
	その他(病院)	29	880	0.9%	—	0.1%	—	—	—	
	療養機能強化型(診療所)	7	47	36.2%	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	13	142	3.5%	2.1%	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	150	5,876	3.6%	4.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	34	1,656	6.2%	4.3%	0.1%	—	0.6%	0.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	2,276	2.9%	7.2%	0.3%	0.6%	0.1%	0.2%	
	医療療養病床(25:1)	45	1,707	2.1%	2.3%	0.1%	0.1%	0.1%	—	
	医療療養病床(診療所)	21	183	5.5%	2.7%	—	1.1%	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	13	274	0.4%	1.1%	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	221	0.5%	0.9%	—	—	—	—		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	43	—	2.3%	—	—	—	—		

※前頁図表の続き

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者					身体合併症を有する認知症高齢者			
			Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	現に終口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、別に掲げるいすれかの疾病(※)と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はⅤに該当する者		
北海道	介護療養病床 全体	21	1,485	0.1%	1.3%	—	0.7%	3.4%	0.8%	66.9%	
	療養機能強化型A	10	804	—	2.4%	—	0.7%	2.6%	0.9%	77.7%	
	療養機能強化型B	2	369	—	—	—	0.8%	6.0%	—	56.4%	
	その他(病院)	5	256	0.4%	—	—	0.4%	2.0%	2.0%	50.0%	
	療養機能強化型(診療所)	2	27	—	3.7%	—	—	7.4%	—	40.7%	
	その他(診療所)	2	29	—	—	—	—	—	—	72.4%	
	医療療養病床 全体	34	2,073	0.0%	5.5%	0.0%	0.6%	2.4%	6.5%	43.3%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	7	437	—	6.2%	0.2%	—	2.5%	14.6%	46.0%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	16	917	—	6.8%	—	1.2%	2.6%	5.6%	40.5%	
	医療療養病床(25:1)	9	532	0.2%	3.8%	—	0.2%	2.6%	3.0%	26.3%	
	医療療養病床(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	79	—	8.9%	—	—	6.3%	—	34.2%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	79	—	8.9%	—	—	6.3%	—	34.2%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
東北	介護療養病床 全体	22	850	—	5.4%	—	0.6%	2.1%	1.5%	57.2%	
	療養機能強化型A	5	439	—	5.0%	—	0.2%	1.8%	1.6%	53.3%	
	療養機能強化型B	1	48	—	—	—	—	—	—	100.0%	
	その他(病院)	7	263	—	4.9%	—	—	3.4%	0.4%	58.2%	
	療養機能強化型(診療所)	4	34	—	23.5%	—	8.8%	—	8.8%	76.5%	
	その他(診療所)	5	66	—	4.5%	—	1.5%	1.5%	3.0%	37.9%	
	医療療養病床 全体	45	2,128	0.1%	8.0%	0.1%	1.7%	3.9%	3.3%	34.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	240	—	4.2%	—	2.5%	2.5%	—	45.0%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	20	1,135	0.3%	11.8%	0.2%	0.1%	3.5%	3.1%	35.0%	
	医療療養病床(25:1)	16	685	—	3.9%	—	3.9%	5.1%	4.5%	31.2%	
	医療療養病床(診療所)	4	30	—	—	—	10.0%	3.3%	10.0%	23.3%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	155	—	3.2%	—	5.8%	3.9%	2.6%	28.4%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	14	—	7.1%	—	50.0%	7.1%	7.1%	28.6%	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	141	—	2.8%	—	1.4%	3.5%	2.1%	28.4%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
北関東・甲信	介護療養病床 全体	29	1,215	—	5.0%	—	0.7%	5.0%	2.9%	59.4%	
	療養機能強化型A	5	320	—	11.9%	—	2.5%	4.1%	5.3%	76.3%	
	療養機能強化型B	2	42	—	—	—	—	4.8%	—	78.6%	
	その他(病院)	16	764	—	3.0%	—	0.1%	5.9%	1.8%	55.0%	
	療養機能強化型(診療所)	1	16	—	—	—	—	—	12.5%	25.0%	
	その他(診療所)	5	73	—	—	—	—	1.4%	2.7%	28.8%	
	医療療養病床 全体	45	1,810	0.1%	9.9%	—	0.6%	3.1%	4.3%	31.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	3	163	1.2%	20.9%	—	0.6%	4.3%	1.2%	22.7%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	983	—	9.0%	—	0.6%	2.2%	5.4%	33.9%	
	医療療養病床(25:1)	19	660	—	8.8%	—	0.5%	4.1%	3.3%	28.9%	
	医療療養病床(診療所)	1	4	—	—	—	—	—	—	50.0%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	57	—	—	—	—	1.8%	—	22.8%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	57	—	—	—	—	1.8%	—	22.8%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
南関東	介護療養病床 全体	39	2,775	0.2%	6.8%	0.1%	0.7%	3.1%	2.6%	75.3%	
	療養機能強化型A	23	1,862	0.2%	5.8%	—	0.8%	3.6%	2.7%	74.4%	
	療養機能強化型B	3	150	—	1.3%	—	—	1.3%	2.0%	82.0%	
	その他(病院)	13	763	0.4%	10.5%	0.3%	0.5%	2.2%	2.6%	76.1%	
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	医療療養病床 全体	81	5,957	0.4%	9.7%	0.3%	1.4%	2.1%	4.8%	33.6%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	17	1,064	—	4.5%	0.9%	1.2%	2.2%	4.4%	32.8%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	41	3,732	0.4%	12.9%	0.1%	0.9%	2.1%	5.8%	34.5%	
	医療療養病床(25:1)	20	1,131	1.0%	4.3%	0.3%	3.2%	1.7%	2.2%	31.5%	
	医療療養病床(診療所)	3	30	—	—	—	—	10.0%	—	33.3%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	134	—	—	—	0.7%	1.5%	3.0%	11.2%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	44	—	—	—	2.3%	2.3%	4.5%	2.3%	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	84	—	—	—	—	1.2%	2.4%	14.3%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	6	—	—	—	—	—	—	33.3%		
北陸	介護療養病床 全体	35	1,735	0.1%	4.1%	0.1%	3.5%	2.7%	1.2%	65.3%	
	療養機能強化型A	14	829	0.1%	3.1%	—	0.4%	4.2%	1.4%	74.7%	
	療養機能強化型B	3	104	—	1.9%	—	1.0%	1.0%	—	49.0%	
	その他(病院)	17	797	—	5.5%	0.3%	7.0%	1.3%	1.0%	57.8%	
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他(診療所)	1	5	—	—	—	—	—	—	40.0%	
	医療療養病床 全体	47	2,482	0.3%	5.9%	0.1%	1.2%	3.8%	5.9%	40.5%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	208	1.0%	1.9%	0.5%	0.5%	5.3%	8.7%	42.8%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	1,643	0.4%	7.0%	0.1%	1.0%	4.1%	5.6%	38.1%	
	医療療養病床(25:1)	16	578	—	4.7%	—	2.1%	2.6%	6.2%	43.6%	
	医療療養病床(診療所)	1	7	—	—	—	—	—	—	14.3%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	158	—	—	—	1.3%	1.3%	1.3%	2.5%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	13	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	145	—	—	—	1.4%	1.4%	1.4%	2.8%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		

※前頁図表の続き

	施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	重篤な身体疾患を有する者					身体合併症を有する認知症高齢者			
			Child-Pugh分類C以上の肝機能障害の状態	連続する3日以上、JCS100以上の意識障害が継続している状態	単一の凝固因子活性が40%未満の凝固異常の状態	現に終口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	認知症であって、別に掲げられず、いずれかの疾病(※)と診断された者	認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はⅤに該当する者		
東海	介護療養病床 全体	35	1,834	0.1%	3.7%	0.1%	1.9%	2.2%	1.4%	67.7%	
	療養機能強化型A	13	760	0.1%	6.3%	—	2.5%	3.0%	2.4%	79.1%	
	療養機能強化型B	4	275	0.4%	—	—	—	1.5%	0.7%	65.5%	
	その他(病院)	12	742	—	—	0.1%	2.2%	0.9%	0.5%	59.7%	
	療養機能強化型(診療所)	1	14	—	—	—	—	7.1%	—	35.7%	
	その他(診療所)	5	43	—	—	—	—	11.6%	2.3%	27.9%	
	医療療養病床 全体	55	2,804	0.2%	9.2%	0.2%	2.0%	3.2%	5.0%	38.9%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	11	470	0.9%	10.6%	1.1%	2.8%	7.0%	5.3%	48.5%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	1,620	0.2%	10.9%	0.1%	2.5%	2.3%	5.9%	39.1%	
	医療療養病床(25:1)	15	710	—	4.6%	—	0.4%	3.0%	2.5%	31.7%	
	医療療養病床(診療所)	2	4	—	—	—	—	—	—	75.0%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	117	0.9%	0.9%	—	—	2.6%	—	20.5%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	117	0.9%	0.9%	—	—	2.6%	—	20.5%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
近畿	介護療養病床 全体	42	2,987	0.2%	2.2%	—	1.8%	3.2%	2.3%	63.1%	
	療養機能強化型A	26	1,979	0.3%	2.8%	—	1.9%	3.7%	2.5%	63.3%	
	療養機能強化型B	5	583	—	0.5%	—	—	1.5%	2.2%	64.5%	
	その他(病院)	8	400	—	1.8%	—	3.8%	2.8%	1.8%	61.5%	
	療養機能強化型(診療所)	1	8	—	—	—	—	25.0%	—	87.5%	
	その他(診療所)	2	17	—	—	—	—	5.9%	—	11.8%	
	医療療養病床 全体	84	4,693	0.4%	6.1%	0.3%	0.8%	2.7%	4.8%	35.9%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	20	1,232	0.7%	2.8%	0.3%	1.1%	3.4%	3.2%	38.0%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	37	2,200	0.3%	9.1%	0.0%	0.4%	2.9%	5.8%	38.2%	
	医療療養病床(25:1)	25	1,244	0.2%	4.3%	0.6%	1.4%	1.8%	4.8%	29.5%	
	医療療養病床(診療所)	2	17	—	—	—	—	—	—	41.2%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	166	0.6%	1.2%	—	1.2%	1.8%	2.4%	15.1%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	82	1.2%	—	—	—	3.7%	4.9%	18.3%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
中国	介護療養病床 全体	41	2,169	0.0%	1.1%	—	1.8%	3.0%	1.1%	60.3%	
	療養機能強化型A	15	797	—	0.3%	—	3.6%	2.0%	1.0%	75.5%	
	療養機能強化型B	2	173	—	4.0%	—	0.6%	5.8%	0.6%	36.4%	
	その他(病院)	20	1,161	0.1%	1.3%	—	0.7%	3.4%	1.2%	54.3%	
	療養機能強化型(診療所)	1	10	—	—	—	—	—	—	90.0%	
	その他(診療所)	3	28	—	—	—	—	3.6%	—	10.7%	
	医療療養病床 全体	69	3,611	0.7%	6.7%	0.2%	0.9%	3.4%	7.3%	38.2%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	18	920	0.3%	10.0%	0.7%	0.4%	5.2%	6.7%	49.1%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	16	962	0.2%	6.7%	0.3%	1.1%	2.8%	10.3%	36.1%	
	医療療養病床(25:1)	28	1,685	1.2%	5.0%	—	0.9%	2.7%	5.5%	33.5%	
	医療療養病床(診療所)	7	44	—	2.3%	—	—	2.3%	22.7%	34.1%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	197	—	1.5%	—	0.5%	0.5%	1.5%	11.7%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	197	—	1.5%	—	0.5%	0.5%	1.5%	11.7%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
四国	介護療養病床 全体	49	1,940	0.3%	4.3%	—	0.5%	3.9%	1.9%	63.5%	
	療養機能強化型A	17	972	0.1%	2.9%	—	0.6%	4.0%	0.7%	64.1%	
	療養機能強化型B	3	164	0.6%	7.3%	—	1.8%	6.7%	1.2%	73.2%	
	その他(病院)	20	720	0.4%	5.7%	—	0.1%	3.3%	2.9%	61.7%	
	療養機能強化型(診療所)	3	27	—	3.7%	—	—	3.7%	11.1%	59.3%	
	その他(診療所)	6	57	—	3.5%	—	—	1.8%	7.0%	50.9%	
	医療療養病床 全体	62	2,092	0.1%	6.8%	0.1%	0.9%	2.3%	7.1%	43.6%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	352	—	5.7%	—	0.3%	1.4%	7.4%	42.9%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	1,061	0.3%	6.4%	0.3%	1.0%	2.9%	7.2%	46.4%	
	医療療養病床(25:1)	15	371	—	2.7%	—	0.8%	1.1%	6.2%	30.5%	
	医療療養病床(診療所)	10	73	—	2.7%	—	5.5%	5.5%	4.1%	31.5%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	97	—	3.1%	—	2.1%	3.1%	3.1%	22.7%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	49	—	6.1%	—	4.1%	—	4.1%	2.0%	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	48	—	—	—	—	6.3%	2.1%	43.8%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
九州	介護療養病床 全体	94	3,294	0.3%	3.5%	—	2.8%	3.9%	2.5%	65.7%	
	療養機能強化型A	35	1,943	0.4%	3.4%	—	3.9%	4.5%	1.6%	68.6%	
	療養機能強化型B	10	282	—	1.4%	—	2.8%	1.8%	3.5%	58.5%	
	その他(病院)	29	880	—	4.0%	—	0.6%	3.2%	4.1%	61.9%	
	療養機能強化型(診療所)	7	47	—	2.1%	—	—	2.1%	—	95.7%	
	その他(診療所)	13	142	0.7%	4.9%	—	3.5%	4.9%	3.5%	52.8%	
	医療療養病床 全体	150	5,876	0.2%	6.8%	0.1%	1.6%	2.5%	6.9%	35.3%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	34	1,656	0.4%	10.4%	—	0.2%	2.5%	5.6%	41.7%	
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	48	2,276	0.2%	8.3%	0.3%	2.0%	2.5%	10.8%	39.2%	
	医療療養病床(25:1)	45	1,707	0.1%	1.9%	—	1.4%	2.3%	3.0%	23.4%	
	医療療養病床(診療所)	21	183	—	4.4%	0.5%	4.4%	3.3%	8.7%	33.9%	
	地域包括ケア病棟・病床 全体	13	274	0.4%	—	—	2.2%	4.0%	2.6%	17.5%	
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	221	—	—	—	1.4%	4.5%	2.7%	14.0%		
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	43	2.3%	—	—	7.0%	—	—	20.9%		

図表 地域別 総入院患者に占める重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する
認知症高齢者に該当する患者の実人数の割合（平成27年10月31日時点）

		施設数	有効回答のあった 施設の入院 患者数の合計	総入院患者に占める 該当する入院患者の 実人数の割合
北海道	介護療養病床 全体	19	1,341	64.6%
	療養機能強化型A	9	745	65.1%
	療養機能強化型B	2	369	64.2%
	その他(病院)	4	171	64.3%
	療養機能強化型(診療所)	2	27	48.1%
	その他(診療所)	2	29	72.4%
	医療療養病床 全体	26	1,708	50.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	7	437	50.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	12	736	52.3%
	医療療養病床(25:1)	5	348	22.1%
	医療療養病床(診療所)	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	79	41.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	79	41.8%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	18	768	66.7%
	療養機能強化型A	4	398	65.1%
	療養機能強化型B	1	48	100.0%
	その他(病院)	7	263	61.2%
	療養機能強化型(診療所)	4	34	85.3%
	その他(診療所)	2	25	60.0%
	医療療養病床 全体	38	1,714	47.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	240	55.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	894	50.2%
	医療療養病床(25:1)	13	554	39.5%
	医療療養病床(診療所)	3	26	50.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	139	32.4%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	14	50.0%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	125	30.4%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	23	872	60.3%
	療養機能強化型A	3	153	81.7%
	療養機能強化型B	2	42	81.0%
	その他(病院)	13	605	56.9%
	療養機能強化型(診療所)	1	16	18.8%
	その他(診療所)	4	56	35.7%
	医療療養病床 全体	37	1,484	49.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	3	163	41.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	806	54.0%
	医療療養病床(25:1)	15	511	43.8%
	医療療養病床(診療所)	1	4	50.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	2	29	27.6%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	2	29	27.6%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	36	2,545	79.2%
	療養機能強化型A	21	1,651	78.5%
	療養機能強化型B	3	150	84.7%
	その他(病院)	12	744	79.7%
	療養機能強化型(診療所)	—	—	—
	その他(診療所)	—	—	—
	医療療養病床 全体	73	5,675	46.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	15	983	44.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	39	3,657	45.8%
	医療療養病床(25:1)	17	1,011	51.5%
	医療療養病床(診療所)	2	24	87.5%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	134	14.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	44	9.1%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	84	16.7%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	6	33.3%	
北陸	介護療養病床 全体	31	1,602	70.0%
	療養機能強化型A	13	783	71.4%
	療養機能強化型B	2	74	74.3%
	その他(病院)	16	745	68.2%
	療養機能強化型(診療所)	—	—	—
	その他(診療所)	—	—	—
	医療療養病床 全体	40	2,171	50.5%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	208	59.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	1,379	48.1%
	医療療養病床(25:1)	15	538	50.4%
	医療療養病床(診療所)	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	145	6.2%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	145	6.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	

※前頁図表の続き

		施設数	有効回答のあった施設の入院患者数の合計	総入院患者に占める該当する入院患者の 実人数の割合
東海	介護療養病床 全体	31	1,758	76.8%
	療養機能強化型A	11	721	92.9%
	療養機能強化型B	4	275	73.5%
	その他(病院)	11	713	64.4%
	療養機能強化型(診療所)	1	14	57.1%
	その他(診療所)	4	35	31.4%
	医療療養病床 全体	49	2,545	52.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	440	63.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	25	1,504	54.9%
	医療療養病床(25:1)	13	597	40.0%
	医療療養病床(診療所)	2	4	100.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	117	23.1%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	117	23.1%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	36	2,618	73.5%
	療養機能強化型A	21	1,614	77.4%
	療養機能強化型B	4	579	68.0%
	その他(病院)	8	400	67.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	8	100.0%
	その他(診療所)	2	17	17.6%
	医療療養病床 全体	78	4,233	46.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	20	1,232	46.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	32	1,758	50.1%
	医療療養病床(25:1)	24	1,226	42.3%
	医療療養病床(診療所)	2	17	47.1%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	82	32.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	82	32.9%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
中国	介護療養病床 全体	38	1,994	67.0%
	療養機能強化型A	14	786	78.1%
	療養機能強化型B	2	173	85.5%
	その他(病院)	18	997	56.2%
	療養機能強化型(診療所)	1	10	90.0%
	その他(診療所)	3	28	14.3%
	医療療養病床 全体	59	3,139	52.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	17	901	67.6%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	14	890	56.2%
	医療療養病床(25:1)	24	1,318	39.2%
	医療療養病床(診療所)	4	30	30.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	186	12.9%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	186	12.9%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
四国	介護療養病床 全体	46	1,872	67.9%
	療養機能強化型A	15	913	71.0%
	療養機能強化型B	3	164	56.7%
	その他(病院)	19	711	69.2%
	療養機能強化型(診療所)	3	27	25.9%
	その他(診療所)	6	57	56.1%
	医療療養病床 全体	59	2,048	50.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	352	51.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	1,061	54.9%
	医療療養病床(25:1)	13	339	34.8%
	医療療養病床(診療所)	9	61	44.3%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	92	41.3%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	49	32.7%
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	2	43	51.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	—	—	—	
九州	介護療養病床 全体	83	3,072	69.8%
	療養機能強化型A	34	1,914	73.8%
	療養機能強化型B	8	241	68.0%
	その他(病院)	25	747	61.3%
	療養機能強化型(診療所)	5	39	87.2%
	その他(診療所)	11	131	56.5%
	医療療養病床 全体	126	5,029	47.8%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	30	1,537	52.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	37	1,739	55.7%
	医療療養病床(25:1)	41	1,593	32.5%
	医療療養病床(診療所)	18	160	55.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	228	26.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	175	21.7%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	43	32.6%	

図表 地域別 総入院患者に占める各処置が必要な入院患者の割合（平成27年10月31日時点）
（複数回答）

	施設数	有効回答の あった施設 の入院患者 数の合計	喀痰吸引を 実施している者	喀痰吸引の 実施に相当 する者	経管栄養（経鼻 腸ろう、中心静 脈栄養）を実施 している者	経管栄養の 実施に相当 する者	インスリン注 射の実施（自 ら実施する 者は除く）	
北海道	介護療養病床 全体	23	1,550	30.3%	13.9%	53.8%	32.1%	4.5%
	療養機能強化型A	10	804	40.0%	14.3%	67.7%	41.3%	4.7%
	療養機能強化型B	2	369	14.1%	—	32.8%	—	4.6%
	その他（病院）	6	308	25.0%	32.5%	43.5%	53.6%	3.9%
	療養機能強化型（診療所）	2	27	18.5%	—	44.4%	—	—
	その他（診療所）	3	42	31.0%	—	54.8%	—	4.8%
	医療療養病床 全体	41	2,726	47.7%	8.1%	53.4%	17.4%	6.5%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	8	711	41.4%	10.4%	44.2%	25.9%	6.5%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	19	1,202	56.0%	4.2%	63.9%	13.8%	7.9%
	医療療養病床（25:1）	10	614	23.5%	8.0%	31.8%	15.8%	3.7%
	医療療養病床（診療所）	2	12	75.0%	133.3%	75.0%	33.3%	25.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	79	21.5%	—	13.9%	1.3%	2.5%
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	3	79	21.5%	—	13.9%	1.3%	2.5%	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	0	—	—	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	31	1,024	26.8%	2.6%	41.3%	11.2%	3.8%
	療養機能強化型A	6	458	29.7%	0.9%	40.0%	4.8%	4.6%
	療養機能強化型B	1	48	22.9%	20.8%	22.9%	4.2%	—
	その他（病院）	10	377	26.3%	0.8%	45.9%	20.4%	4.0%
	療養機能強化型（診療所）	5	43	27.9%	18.6%	51.2%	25.6%	2.3%
	その他（診療所）	9	98	16.3%	2.0%	34.7%	3.1%	2.0%
	医療療養病床 全体	55	2,440	46.4%	5.5%	53.5%	12.7%	5.2%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	5	293	47.4%	6.8%	54.3%	20.5%	5.8%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	23	1,230	57.1%	7.2%	65.8%	12.8%	5.7%
	医療療養病床（25:1）	20	833	32.2%	0.4%	35.7%	11.0%	4.4%
	医療療養病床（診療所）	6	46	19.6%	4.3%	37.0%	2.2%	2.2%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	165	21.8%	5.5%	15.2%	3.6%	3.0%
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	1	14	57.1%	35.7%	35.7%	28.6%	7.1%
地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	7	151	18.5%	2.6%	13.2%	1.3%	2.6%	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	0	—	—	—	—	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	31	1,326	35.7%	10.0%	41.9%	17.5%	3.2%
	療養機能強化型A	6	370	54.6%	17.6%	51.4%	25.1%	2.4%
	療養機能強化型B	2	42	38.1%	4.8%	35.7%	28.6%	2.4%
	その他（病院）	18	835	28.7%	7.2%	39.6%	15.2%	3.6%
	療養機能強化型（診療所）	1	16	—	—	6.3%	—	6.3%
	その他（診療所）	4	63	25.4%	7.9%	30.2%	—	1.6%
	医療療養病床 全体	57	2,283	45.6%	5.8%	43.4%	12.1%	5.0%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	5	262	48.4%	6.0%	40.5%	11.5%	7.1%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	24	1,105	51.9%	8.8%	48.9%	12.9%	5.0%
	医療療養病床（25:1）	25	907	37.0%	2.2%	36.9%	11.5%	4.5%
	医療療養病床（診療所）	3	19	42.1%	—	73.7%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	109	22.9%	—	11.0%	4.6%	3.7%
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	6	109	22.9%	—	11.0%	4.6%	3.7%	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	0	—	—	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	41	2,823	35.4%	21.0%	48.0%	32.9%	3.3%
	療養機能強化型A	25	1,945	37.1%	27.4%	48.4%	41.2%	3.6%
	療養機能強化型B	3	150	36.7%	8.7%	57.3%	10.0%	2.0%
	その他（病院）	13	728	30.6%	6.6%	44.9%	15.4%	2.6%
	療養機能強化型（診療所）	0	0	—	—	—	—	—
	その他（診療所）	0	0	—	—	—	—	—
	医療療養病床 全体	86	6,192	54.4%	12.8%	60.1%	15.5%	7.6%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	18	1,109	51.3%	20.6%	55.0%	21.4%	9.6%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	45	3,813	58.2%	13.1%	62.9%	17.7%	8.1%
	医療療養病床（25:1）	21	1,245	46.2%	4.9%	56.9%	3.6%	4.4%
	医療療養病床（診療所）	2	25	16.0%	20.0%	16.0%	12.0%	8.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	222	16.7%	5.0%	9.5%	5.0%	3.2%
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	1	44	20.5%	20.5%	13.6%	13.6%	2.3%
地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	6	172	15.1%	1.2%	7.6%	1.7%	3.5%	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	1	6	33.3%	—	33.3%	33.3%	—	
北陸	介護療養病床 全体	37	1,783	24.5%	3.2%	41.0%	11.4%	3.3%
	療養機能強化型A	14	829	23.8%	4.1%	44.5%	12.1%	2.5%
	療養機能強化型B	3	104	26.9%	5.8%	25.0%	1.9%	1.9%
	その他（病院）	17	825	24.7%	2.1%	39.5%	12.4%	4.2%
	療養機能強化型（診療所）	0	0	—	—	—	—	—
	その他（診療所）	3	25	32.0%	—	40.0%	—	4.0%
	医療療養病床 全体	52	2,780	42.7%	6.3%	49.3%	12.2%	8.0%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	6	253	45.1%	—	49.4%	7.5%	4.7%
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	25	1,699	48.7%	7.8%	56.9%	15.4%	8.5%
	医療療養病床（25:1）	19	778	30.1%	4.4%	34.3%	6.4%	8.2%
	医療療養病床（診療所）	1	4	25.0%	—	25.0%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	4	145	9.7%	1.4%	6.9%	—	4.8%
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	0	—	—	—	—	—	
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	4	145	9.7%	1.4%	6.9%	—	4.8%	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	0	—	—	—	—	—	

※前頁図表の続き

	施設数	有効回答の あった施設 の入院患者 数の合計	喀痰吸引を 実施している者	喀痰吸引の 実施に相当 する者	経管栄養(経鼻 経管、胃ろう、 腸ろう、中心静 脈栄養)を実施 している者	経管栄養の 実施に相当 する者	インスリン注 射の実施(自 ら実施する 者は除く)	
東海	介護療養病床 全体	35	1,846	37.6%	3.4%	46.4%	5.9%	4.1%
	療養機能強化型A	13	760	49.7%	2.5%	63.4%	2.6%	5.3%
	療養機能強化型B	4	275	33.5%	5.8%	37.5%	—	4.4%
	その他(病院)	13	755	28.2%	3.7%	33.8%	11.4%	3.2%
	療養機能強化型(診療所)	1	14	28.6%	—	35.7%	—	—
	その他(診療所)	4	42	19.0%	—	28.6%	4.8%	—
	医療療養病床 全体	70	3,786	40.3%	8.3%	45.8%	15.8%	6.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	12	524	47.9%	13.7%	47.9%	15.3%	16.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	33	2,282	42.4%	7.4%	47.3%	17.0%	6.1%
	医療療養病床(25:1)	22	972	31.2%	7.4%	40.9%	13.4%	4.0%
	医療療養病床(診療所)	3	8	62.5%	—	62.5%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	119	18.5%	5.9%	12.6%	4.2%	5.0%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	108	18.5%	6.5%	13.0%	3.7%	4.6%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	50	3,219	30.6%	9.4%	41.7%	11.8%	2.5%
	療養機能強化型A	26	1,979	32.5%	10.1%	47.2%	15.8%	2.6%
	療養機能強化型B	5	583	22.5%	9.1%	31.9%	5.3%	2.9%
	その他(病院)	15	637	31.4%	8.0%	33.9%	5.8%	1.6%
	療養機能強化型(診療所)	2	13	38.5%	—	30.8%	—	15.4%
	その他(診療所)	2	7	57.1%	—	28.6%	—	—
	医療療養病床 全体	93	5,090	44.8%	12.5%	50.2%	16.3%	9.0%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	23	1,464	42.8%	9.1%	48.3%	13.5%	9.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	39	2,282	49.8%	15.2%	56.1%	17.7%	11.0%
	医療療養病床(25:1)	28	1,319	39.0%	11.1%	42.8%	17.4%	5.5%
	医療療養病床(診療所)	3	25	12.0%	24.0%	20.0%	—	4.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	211	14.2%	3.3%	7.1%	6.2%	4.7%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	127	18.9%	5.5%	11.8%	5.5%	6.3%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	—	—	
中国	介護療養病床 全体	43	2,232	26.7%	8.0%	37.3%	11.9%	3.1%
	療養機能強化型A	15	797	37.3%	10.4%	45.4%	12.8%	3.4%
	療養機能強化型B	2	173	25.4%	20.8%	28.3%	16.2%	2.3%
	その他(病院)	21	1,222	20.0%	4.8%	33.3%	11.1%	3.1%
	療養機能強化型(診療所)	1	10	60.0%	—	80.0%	—	—
	その他(診療所)	4	30	16.7%	—	20.0%	—	—
	医療療養病床 全体	82	4,696	41.7%	6.5%	46.5%	12.5%	7.1%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	1,398	49.7%	6.3%	51.2%	11.4%	7.4%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	1,192	53.7%	10.3%	60.2%	23.7%	9.4%
	医療療養病床(25:1)	34	2,099	29.5%	4.5%	35.6%	6.8%	5.6%
	医療療養病床(診療所)	3	7	57.1%	—	28.6%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	288	13.2%	11.5%	10.1%	10.8%	6.6%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	247	11.3%	4.9%	10.5%	4.9%	5.3%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	33	21.2%	54.5%	3.0%	54.5%	15.2%	
四国	介護療養病床 全体	53	2,045	29.1%	13.0%	45.8%	30.6%	3.6%
	療養機能強化型A	18	1,003	32.9%	16.1%	50.6%	32.8%	5.0%
	療養機能強化型B	3	164	30.5%	10.4%	49.4%	28.7%	1.8%
	その他(病院)	23	794	25.4%	10.5%	39.9%	29.7%	2.3%
	療養機能強化型(診療所)	3	27	18.5%	3.7%	44.4%	14.8%	—
	その他(診療所)	6	57	14.0%	7.0%	31.6%	17.5%	3.5%
	医療療養病床 全体	69	2,302	40.5%	8.8%	41.8%	10.3%	8.2%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	10	371	39.1%	17.0%	35.0%	7.5%	5.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	29	1,122	43.9%	10.1%	45.4%	13.1%	9.6%
	医療療養病床(25:1)	18	495	25.7%	4.6%	30.9%	7.9%	4.4%
	医療療養病床(診療所)	11	79	32.9%	5.1%	32.9%	24.1%	7.6%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	124	28.2%	4.8%	25.8%	4.0%	3.2%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	49	55.1%	4.1%	53.1%	4.1%	4.1%
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	75	10.7%	5.3%	8.0%	4.0%	2.7%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	—	—	
九州	介護療養病床 全体	102	3,491	31.9%	14.4%	42.3%	16.5%	2.9%
	療養機能強化型A	36	1,979	37.2%	16.6%	44.2%	17.8%	2.9%
	療養機能強化型B	10	282	31.2%	16.0%	37.9%	6.7%	2.1%
	その他(病院)	34	1,023	23.4%	10.4%	41.4%	19.6%	3.4%
	療養機能強化型(診療所)	7	60	31.7%	13.3%	25.0%	—	1.7%
	その他(診療所)	15	147	22.4%	9.5%	36.7%	3.4%	1.4%
	医療療養病床 全体	175	6,414	45.0%	6.6%	44.5%	11.6%	7.7%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	36	1,715	48.7%	9.2%	46.8%	10.4%	7.9%
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	53	2,447	57.5%	8.1%	56.0%	19.4%	8.8%
	医療療養病床(25:1)	55	1,983	28.3%	3.4%	29.8%	4.4%	6.0%
	医療療養病床(診療所)	29	215	29.3%	1.9%	24.7%	1.4%	6.0%
	地域包括ケア病棟・病床 全体	16	356	17.7%	4.2%	13.8%	4.2%	4.8%
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	12	125.0%	—	100.0%	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	23	13.0%	8.7%	—	—	4.3%
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	10	268	11.2%	0.4%	7.8%	1.9%	5.2%	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	43	20.9%	16.3%	20.9%	18.6%	2.3%	

図表 地域別 ターミナルケアを提供している入院患者数（平成27年10月31日時点）

	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数	
北海道	介護療養病床 全体	19	266	26.6%	14.0	17.5
	療養機能強化型A	10	184	29.9%	18.4	21.3
	療養機能強化型B	2	42	11.3%	21.0	9.9
	その他(病院)	4	36	0.0%	9.0	19.1
	療養機能強化型(診療所)	2	4	9.7%	2.0	13.8
	その他(診療所)	1	0	0.0%	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	34	188	9.7%	5.5	7.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	8	149	16.2%	18.6	19.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	17	15	0.3%	0.9	1.4
	医療療養病床(25:1)	6	24	24.0%	4.0	5.5
	医療療養病床(診療所)	2	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	0	0.0%	0.0	0.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
東北	介護療養病床 全体	26	109	13.6%	4.2	10.6
	療養機能強化型A	6	62	16.8%	10.3	13.0
	療養機能強化型B	1	9	21.4%	9.0	18.0
	その他(病院)	9	21	5.1%	2.3	5.4
	療養機能強化型(診療所)	5	17	32.4%	3.4	34.0
	その他(診療所)	5	0	0.0%	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	52	178	12.0%	3.4	6.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	4	6	1.0%	1.5	2.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	23	105	15.2%	4.6	7.7
	医療療養病床(25:1)	19	62	9.5%	3.3	6.1
	医療療養病床(診療所)	6	5	29.0%	0.8	8.9
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	12	7.3%	1.7	7.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	2	15.4%	2.0	12.5
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	10	6.7%	1.7	6.5	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	163	8.7%	6.0	13.5
	療養機能強化型A	6	116	23.0%	19.3	30.6
	療養機能強化型B	2	5	3.0%	2.5	7.8
	その他(病院)	15	42	1.3%	2.8	6.0
	療養機能強化型(診療所)	1	0	—	0.0	0.0
	その他(診療所)	3	0	0.0%	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	50	84	6.3%	1.7	3.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	9	5.9%	1.8	3.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	21	12	0.4%	0.6	1.1
	医療療養病床(25:1)	21	61	10.6%	2.9	5.7
	医療療養病床(診療所)	3	2	15.4%	0.7	6.7
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	7	5.6%	1.0	3.4
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	7	5.6%	1.0	3.4	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	39	518	12.0%	13.3	17.7
	療養機能強化型A	25	468	13.4%	18.7	22.8
	療養機能強化型B	3	12	18.1%	4.0	7.7
	その他(病院)	11	38	1.8%	3.5	5.4
	療養機能強化型(診療所)	0	0	—	—	—
	その他(診療所)	0	0	—	—	—
	医療療養病床 全体	75	389	2.3%	5.2	6.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	17	187	4.3%	11.0	13.3
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	38	104	1.7%	2.7	2.9
	医療療養病床(25:1)	17	95	1.3%	5.6	8.8
	医療療養病床(診療所)	3	3	0.0%	1.0	5.6
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	4	0.5%	0.6	1.6
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	1	4.4%	1.0	2.1
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	3	0.0%	0.6	1.5	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	0	0.0%	0.0	0.0	
北陸	介護療養病床 全体	37	195	7.7%	5.3	10.4
	療養機能強化型A	14	155	13.6%	11.1	17.8
	療養機能強化型B	3	12	10.6%	4.0	10.7
	その他(病院)	18	28	3.1%	1.6	3.2
	療養機能強化型(診療所)	0	0	—	—	—
	その他(診療所)	2	0	0.0%	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	48	50	0.4%	1.0	1.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	10	1.9%	2.0	4.3
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	22	19	0.1%	0.9	1.1
	医療療養病床(25:1)	18	13	0.6%	0.7	1.5
	医療療養病床(診療所)	2	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	5	2	2.1%	0.4	1.2
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	4	2	2.5%	0.5	1.3	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	

※前頁図表の続き

	施設数	ターミナルケアを提供している入院患者の人数	ターミナルケアを提供している入院患者の入院延べ日数が全ての入院患者の入院延べ日数に占める割合	1施設あたりターミナルケア提供者数	病床100床あたりターミナルケア提供者数	
東海	介護療養病床 全体	36	239	9.8%	6.6	11.3
	療養機能強化型A	13	178	41.8%	13.7	19.5
	療養機能強化型B	4	56	5.8%	14.0	19.0
	その他(病院)	13	2	0.0%	0.2	0.2
	療養機能強化型(診療所)	1	3	12.9%	3.0	18.8
	その他(診療所)	5	0	0.0%	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	65	125	3.2%	1.9	3.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	12	57	5.6%	4.8	8.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	29	26	2.9%	0.9	1.2
	医療療養病床(25:1)	20	42	2.9%	2.1	4.2
	医療療養病床(診療所)	4	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	7	3	3.2%	0.4	1.8
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	0	—	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	3	3.7%	0.5	2.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	50	605	18.8%	12.1	17.0
	療養機能強化型A	26	500	27.6%	19.2	23.0
	療養機能強化型B	5	93	17.2%	18.6	14.3
	その他(病院)	15	11	0.3%	0.7	1.6
	療養機能強化型(診療所)	2	0	—	0.0	0.0
	その他(診療所)	2	1	4.8%	0.5	5.0
	医療療養病床 全体	85	357	3.5%	4.2	7.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	22	81	3.4%	3.7	6.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	33	235	5.0%	7.1	11.1
	医療療養病床(25:1)	27	37	0.5%	1.4	2.5
	医療療養病床(診療所)	3	4	1.4%	1.3	14.3
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	1	3.5%	0.1	0.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	0	—	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	0	0.0%	0.0	0.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
中国	介護療養病床 全体	44	303	7.7%	6.9	12.0
	療養機能強化型A	15	270	34.4%	18.0	30.4
	療養機能強化型B	3	17	8.1%	5.7	7.9
	その他(病院)	21	12	0.3%	0.6	0.9
	療養機能強化型(診療所)	2	3	14.6%	1.5	15.8
	その他(診療所)	3	1	21.3%	0.3	2.9
	医療療養病床 全体	79	136	2.6%	1.7	2.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	22	35	3.9%	1.6	2.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	38	4.6%	2.1	3.1
	医療療養病床(25:1)	31	61	1.3%	2.0	2.9
	医療療養病床(診療所)	8	2	0.0%	0.3	3.1
	地域包括ケア病棟・病床 全体	17	10	3.0%	0.6	2.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	14	7	3.1%	0.5	2.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	3	—	3.0	6.3	
四国	介護療養病床 全体	50	219	9.7%	4.4	10.1
	療養機能強化型A	18	176	19.6%	9.8	16.7
	療養機能強化型B	3	15	12.4%	5.0	8.5
	その他(病院)	21	11	0.5%	0.5	1.3
	療養機能強化型(診療所)	3	15	40.5%	5.0	41.7
	その他(診療所)	5	2	4.9%	0.4	4.2
	医療療養病床 全体	62	106	2.6%	1.7	4.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	9	8	0.1%	0.9	2.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	27	39	1.0%	1.4	3.3
	医療療養病床(25:1)	17	30	0.4%	1.8	4.7
	医療療養病床(診療所)	8	6	4.3%	0.8	10.7
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	0	0.0%	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	0	—	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	0	0.0%	0.0	0.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	0	—	—	—	
九州	介護療養病床 全体	94	463	11.9%	4.9	12.7
	療養機能強化型A	36	393	18.2%	10.9	18.6
	療養機能強化型B	10	25	5.9%	2.5	7.8
	その他(病院)	28	27	1.1%	1.0	2.7
	療養機能強化型(診療所)	6	15	36.4%	2.5	28.8
	その他(診療所)	14	3	0.4%	0.2	2.0
	医療療養病床 全体	165	220	5.3%	1.3	3.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	36	89	6.7%	2.5	4.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	46	63	6.7%	1.4	2.7
	医療療養病床(25:1)	45	55	1.1%	1.2	3.0
	医療療養病床(診療所)	36	13	10.6%	0.4	3.3
	地域包括ケア病棟・病床 全体	17	14	5.4%	0.8	3.4
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	1	100.0%	1.0	5.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	0	0.0%	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	11	12	6.4%	1.1	4.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	2	1	0.9%	0.5	2.3	

図表 地域別 回答施設全体のリハビリテーションに係る職種の職員数

		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
		施設数	平均職員数	施設数	平均職員数	施設数	平均職員数
北海道	常勤	34	9.5	21	12.1	19	6.6
	非常勤	8	1.3	6	1.3	3	1.7
	常勤換算	19	5.9	13	7.7	9	4.0
	常勤+常勤換算	35	12.4	22	16.1	19	8.5
東北	常勤	42	8.6	33	7.2	23	2.7
	非常勤	6	1.0	5	0.8	1	1.0
	常勤換算	17	6.8	13	5.8	9	2.0
	常勤+常勤換算	42	11.4	34	9.2	23	3.5
・北 甲 信 東	常勤	54	9.4	50	5.7	31	3.7
	非常勤	19	1.7	14	1.6	6	1.0
	常勤換算	32	5.5	27	4.2	16	2.6
	常勤+常勤換算	58	11.8	52	7.7	33	4.7
南 関 東	常勤	82	10.3	55	7.5	45	4.0
	非常勤	21	1.5	14	1.4	8	0.9
	常勤換算	48	5.5	29	4.8	21	3.5
	常勤+常勤換算	88	12.6	59	9.4	48	5.3
北 陸	常勤	42	6.3	32	4.5	19	3.2
	非常勤	11	1.3	7	1.4	2	1.5
	常勤換算	24	4.4	19	3.5	8	4.2
	常勤+常勤換算	44	8.4	36	5.8	20	4.7
東 海	常勤	65	9.7	51	5.2	38	3.0
	非常勤	26	2.1	12	2.0	12	1.3
	常勤換算	38	5.3	20	4.0	16	2.6
	常勤+常勤換算	67	12.4	52	6.6	41	3.8
近 畿	常勤	87	10.0	57	6.8	50	3.0
	非常勤	25	1.9	13	1.5	4	1.0
	常勤換算	48	6.7	32	4.3	22	2.4
	常勤+常勤換算	92	12.9	59	8.9	50	4.1
中 国	常勤	76	8.7	61	6.3	45	2.9
	非常勤	14	1.3	12	1.3	7	1.3
	常勤換算	36	4.6	28	3.9	19	1.7
	常勤+常勤換算	77	10.7	61	8.1	45	3.6
四 国	常勤	63	5.9	41	5.1	22	2.6
	非常勤	16	1.6	12	1.6	7	1.4
	常勤換算	35	2.9	24	3.4	13	1.4
	常勤+常勤換算	66	7.2	43	6.8	24	3.2
九 州	常勤	155	7.9	116	6.0	72	3.5
	非常勤	25	1.5	18	1.2	12	1.3
	常勤換算	68	7.3	52	4.1	32	2.5
	常勤+常勤換算	161	10.7	119	7.7	76	4.4

図表 地域別 病床種別別のリハビリテーションに係る職種の職員数（専従＋兼務）

	理学療法士(専従＋兼務)			作業療法士(専従＋兼務)			言語聴覚士(専従＋兼務)			
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	
北海道	介護療養病床 全体	19	2.5	2.9	19	1.6	2.0	19	0.6	0.7
	療養機能強化型A	9	2.3	2.6	9	2.3	2.7	9	0.5	0.6
	療養機能強化型B	2	7.5	3.5	2	4.5	2.1	2	2.5	1.2
	その他(病院)	6	1.5	2.7	6	0.2	0.3	6	0.4	0.7
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	その他(診療所)	2	1.2	6.3	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	38	3.1	4.7	38	2.0	3.0	38	0.9	1.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	7	3.0	2.8	7	1.9	1.8	7	0.4	0.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	19	3.6	5.1	19	2.7	3.8	19	1.3	1.9
	医療療養病床(25:1)	8	1.5	2.9	8	0.4	0.8	8	0.3	0.6
	医療療養病床(診療所)	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	3.5	10.8	3	2.6	8.0	3	0.8	2.3
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	3	3.5	10.8	3	2.6	8.0	3	0.8	2.3	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	0	—	—	0	—	—	
東北	介護療養病床 全体	28	0.7	1.8	28	0.4	1.0	28	0.1	0.3
	療養機能強化型A	6	0.8	0.9	6	1.1	1.4	6	0.3	0.4
	療養機能強化型B	1	2.5	5.0	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	その他(病院)	11	0.7	1.9	11	0.4	0.9	11	0.1	0.4
	療養機能強化型(診療所)	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他(診療所)	7	0.6	4.9	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	51	2.9	5.5	51	1.9	3.5	51	0.5	1.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	1.3	1.9	5	0.9	1.4	5	0.3	0.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	20	4.4	6.9	20	2.7	4.2	20	0.8	1.3
	医療療養病床(25:1)	19	2.8	5.4	19	1.9	3.7	19	0.5	0.9
	医療療養病床(診療所)	6	0.0	0.0	6	0.0	0.4	6	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	2.2	10.0	11	0.8	3.5	11	1.0	4.4
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	1.0	6.3	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	9	2.5	10.0	9	1.0	3.9	9	1.2	4.9	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	1.5	18.8	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	30	1.3	2.7	30	0.8	1.7	30	0.4	0.9
	療養機能強化型A	6	1.0	1.6	6	0.9	1.4	6	0.3	0.5
	療養機能強化型B	2	1.1	3.3	2	0.9	2.7	2	0.3	0.8
	その他(病院)	18	1.3	2.5	18	0.7	1.3	18	0.3	0.6
	療養機能強化型(診療所)	1	7.5	39.5	1	6.0	31.6	1	4.0	21.1
	その他(診療所)	3	0.1	0.8	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	61	1.6	3.3	61	0.8	1.6	61	0.4	0.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	6	0.9	1.8	6	0.7	1.3	6	0.3	0.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	26	1.8	3.3	26	1.1	2.1	26	0.6	1.1
	医療療養病床(25:1)	25	1.6	3.2	25	0.6	1.2	25	0.3	0.5
	医療療養病床(診療所)	4	1.5	15.8	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	2.7	11.3	10	1.0	4.2	10	0.3	1.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	10	2.7	11.3	10	1.0	4.2	10	0.3	1.1	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	0	—	—	0	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	42	1.6	2.2	42	0.7	0.9	42	0.4	0.5
	療養機能強化型A	25	1.8	2.2	25	0.8	1.0	25	0.5	0.6
	療養機能強化型B	3	2.6	5.0	3	1.0	2.0	3	0.7	1.3
	その他(病院)	14	1.0	1.6	14	0.3	0.5	14	0.2	0.3
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	医療療養病床 全体	92	3.2	4.2	92	1.3	1.7	92	0.6	0.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	18	4.7	6.5	18	2.0	2.8	18	1.1	1.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	47	3.4	3.7	47	1.4	1.5	47	0.6	0.7
	医療療養病床(25:1)	19	2.4	3.5	19	0.9	1.4	19	0.5	0.7
	医療療養病床(診療所)	8	0.4	3.1	8	0.1	1.0	8	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	2.1	6.3	8	0.9	2.7	8	0.5	1.6
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	6.0	12.8	1	5.0	10.6	1	2.0	4.3
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	6	1.6	4.5	6	0.4	1.0	6	0.4	1.1	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	1.0	16.7	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
北陸	介護療養病床 全体	38	1.6	3.2	38	0.8	1.6	38	0.3	0.5
	療養機能強化型A	13	1.6	2.4	13	0.8	1.2	13	0.1	0.1
	療養機能強化型B	3	1.0	2.7	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他(病院)	19	1.7	3.7	19	1.0	2.1	19	0.5	1.0
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	その他(診療所)	3	1.5	13.8	3	0.4	3.8	3	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	52	2.6	4.6	52	1.1	1.9	52	0.5	0.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	5	3.0	5.8	5	0.5	0.9	5	0.2	0.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	24	3.5	4.8	24	1.5	2.1	24	1.0	1.4
	医療療養病床(25:1)	20	1.7	3.7	20	0.8	1.7	20	0.1	0.3
	医療療養病床(診療所)	3	1.0	14.3	3	0.7	9.5	3	0.1	1.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	7.8	21.2	6	2.8	7.6	6	1.5	4.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	26.0	152.9	1	8.0	47.1	1	6.0	35.3
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	5	4.2	10.2	5	1.8	4.3	5	0.6	1.6	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	0	—	—	0	—	—	

※前頁図表の続き

	理学療法士(専従+兼務)			作業療法士(専従+兼務)			言語聴覚士(専従+兼務)			
	施設数	1施設あたり 職員数	病床100床 あたり職員数	施設数	1施設あたり 職員数	病床100床 あたり職員数	施設数	1施設あたり 職員数	病床100床 あたり職員数	
東海	介護療養病床 全体	35	2.0	3.3	35	0.9	1.5	35	0.6	1.0
	療養機能強化型A	13	2.6	3.8	13	1.1	1.5	13	0.8	1.1
	療養機能強化型B	4	3.8	5.2	4	2.9	4.0	4	1.9	2.6
	その他(病院)	13	1.5	2.3	13	0.4	0.7	13	0.2	0.3
	療養機能強化型(診療所)	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	その他(診療所)	4	0.4	4.1	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	70	4.0	6.7	70	1.8	3.0	70	0.9	1.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	4.3	7.3	13	1.8	3.0	13	0.8	1.4
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	34	4.5	6.1	34	2.1	2.9	34	1.1	1.5
	医療療養病床(25:1)	19	3.6	7.2	19	1.7	3.4	19	0.8	1.6
	医療療養病床(診療所)	4	1.6	36.5	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	3.1	14.6	9	0.5	2.4	9	0.2	0.9
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	3.2	14.7	8	0.4	2.0	8	0.1	0.6
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	0	—	—	0	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	52	2.4	3.4	52	0.8	1.2	52	0.6	0.9
	療養機能強化型A	26	3.2	3.6	26	1.0	1.1	26	0.9	1.0
	療養機能強化型B	5	3.6	2.8	5	1.8	1.4	5	1.3	1.0
	その他(病院)	15	1.5	3.4	15	0.6	1.3	15	0.2	0.5
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
	その他(診療所)	4	0.8	8.4	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	96	3.2	5.3	96	1.2	1.9	96	0.7	1.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	23	4.1	5.8	23	1.0	1.4	23	0.6	0.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	40	3.5	5.4	40	1.7	2.6	40	1.0	1.6
	医療療養病床(25:1)	28	2.6	4.5	28	0.8	1.4	28	0.4	0.8
	医療療養病床(診療所)	5	0.8	9.8	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	2.0	6.8	11	0.3	1.1	11	0.1	0.5
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	3.0	10.7	1	1.5	5.4	1	1.0	3.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	2.0	8.7	8	0.3	1.1	8	0.1	0.3
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	1.0	20.0	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
中国	介護療養病床 全体	48	2.5	4.6	48	1.4	2.7	48	0.7	1.3
	療養機能強化型A	14	2.4	3.8	14	1.8	3.0	14	1.1	1.8
	療養機能強化型B	3	5.6	7.7	3	3.8	5.3	3	2.0	2.8
	その他(病院)	23	2.6	4.2	23	1.4	2.2	23	0.5	0.9
	療養機能強化型(診療所)	3	2.0	19.4	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他(診療所)	5	0.7	6.2	5	0.0	0.2	5	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	89	3.0	5.1	89	1.8	3.0	89	0.7	1.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	4.2	6.9	26	2.8	4.5	26	1.0	1.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	2.1	3.0	18	1.8	2.6	18	0.8	1.1
	医療療養病床(25:1)	35	3.2	4.7	35	1.6	2.3	35	0.6	0.8
	医療療養病床(診療所)	10	0.9	12.0	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	20	3.3	14.2	20	1.4	6.0	20	0.6	2.5
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	19.0	105.6	1	8.0	44.4	1	4.6	25.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	17	2.1	9.4	17	0.9	4.0	17	0.3	1.3
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	8.0	16.7	1	4.0	8.3	1	2.0	4.2	
四国	介護療養病床 全体	55	2.1	5.0	55	0.7	1.8	55	0.3	0.8
	療養機能強化型A	18	3.4	5.8	18	1.6	2.7	18	0.7	1.2
	療養機能強化型B	3	1.8	3.1	3	0.2	0.3	3	0.0	0.0
	その他(病院)	25	1.9	4.9	25	0.4	1.2	25	0.2	0.5
	療養機能強化型(診療所)	3	0.4	3.3	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他(診療所)	6	0.0	0.0	6	0.1	0.7	6	0.0	0.3
	医療療養病床 全体	69	2.5	6.5	69	1.1	2.8	69	0.5	1.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	10	4.4	11.2	10	1.8	4.5	10	0.5	1.2
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	28	2.2	4.8	28	1.0	2.2	28	0.6	1.3
	医療療養病床(25:1)	20	2.9	8.2	20	1.3	3.7	20	0.6	1.6
	医療療養病床(診療所)	10	0.7	7.4	10	0.0	0.5	10	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	3.7	17.8	10	1.7	8.2	10	0.7	3.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	8.5	16.7	1	4.0	7.8	1	1.6	3.1
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	3.8	22.2	7	1.9	10.8	7	0.7	4.1
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	1.0	6.3	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
九州	介護療養病床 全体	103	2.0	5.8	103	0.9	2.5	103	0.4	1.1
	療養機能強化型A	34	3.6	6.7	34	1.7	3.2	34	0.7	1.3
	療養機能強化型B	10	2.9	8.9	10	1.7	5.3	10	0.9	2.9
	その他(病院)	33	1.4	4.0	33	0.4	1.1	33	0.1	0.3
	療養機能強化型(診療所)	8	0.2	2.6	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0
	その他(診療所)	18	0.3	3.7	18	0.0	0.1	18	0.1	1.3
	医療療養病床 全体	188	2.0	5.1	188	1.0	2.7	188	0.4	1.1
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	35	3.2	6.0	35	1.7	3.2	35	0.9	1.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	51	2.1	4.3	51	1.2	2.4	51	0.5	1.1
	医療療養病床(25:1)	54	2.4	5.6	54	1.2	2.8	54	0.3	0.8
	医療療養病床(診療所)	47	0.4	4.1	47	0.1	1.5	47	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	22	3.1	12.9	22	2.0	8.4	22	0.6	2.4
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	1.9	5.7	2	1.4	4.0	2	0.8	2.2
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1.0	3.3	1	1.0	3.3	1	0.5	1.7
	地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	14	3.4	13.7	14	2.2	8.8	14	0.4	1.6
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	4.0	23.7	3	2.7	15.9	3	1.4	8.0	

図表 地域別 医療ソーシャルワーカーの職員数（専従＋兼務、専従）

	医療ソーシャルワーカー（専従＋兼務）			医療ソーシャルワーカー（専従）			
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	
北海道	介護療養病床 全体	19	0.8	1.0	19	0.5	0.5
	療養機能強化型A	9	0.8	0.9	9	0.5	0.6
	療養機能強化型B	2	3.0	1.4	2	1.5	0.7
	その他（病院）	6	0.4	0.7	6	0.2	0.4
	療養機能強化型（診療所）	0	—	—	0	—	—
	その他（診療所）	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	38	0.9	1.3	38	0.5	0.8
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	7	1.0	1.0	7	0.6	0.6
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	19	1.0	1.4	19	0.6	0.8
	医療療養病床（25:1）	8	0.5	1.0	8	0.3	0.5
	医療療養病床（診療所）	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	3	1.3	4.1	3	1.0	3.1
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	3	1.3	4.1	3	1.0	3.1	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	—	—	0	—	—	
東北	介護療養病床 全体	28	0.3	0.7	28	0.2	0.5
	療養機能強化型A	6	0.7	0.9	6	0.6	0.7
	療養機能強化型B	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	その他（病院）	11	0.3	0.8	11	0.1	0.4
	療養機能強化型（診療所）	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他（診療所）	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	51	0.5	0.9	51	0.3	0.5
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	5	0.3	0.5	5	0.3	0.5
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	20	0.5	0.9	20	0.3	0.5
	医療療養病床（25:1）	19	0.6	1.2	19	0.3	0.7
	医療療養病床（診療所）	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	0.7	3.0	11	0.3	1.4
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	9	0.8	3.3	9	0.4	1.5	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
北関東・甲信	介護療養病床 全体	30	0.4	0.7	30	0.2	0.4
	療養機能強化型A	6	0.3	0.5	6	0.2	0.3
	療養機能強化型B	2	0.5	1.6	2	0.0	0.0
	その他（病院）	18	0.4	0.8	18	0.3	0.5
	療養機能強化型（診療所）	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
	その他（診療所）	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	61	0.4	0.8	61	0.2	0.5
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	6	0.2	0.4	6	0.2	0.4
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	26	0.6	1.1	26	0.3	0.6
	医療療養病床（25:1）	25	0.3	0.6	25	0.2	0.4
	医療療養病床（診療所）	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	0.7	2.9	10	0.5	2.1
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	10	0.7	2.9	10	0.5	2.1	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	—	—	0	—	—	
南関東	介護療養病床 全体	42	0.9	1.3	42	0.6	0.8
	療養機能強化型A	25	1.0	1.3	25	0.7	0.9
	療養機能強化型B	3	0.2	0.3	3	0.2	0.3
	その他（病院）	14	0.9	1.5	14	0.5	0.9
	療養機能強化型（診療所）	0	—	—	0	—	—
	その他（診療所）	0	—	—	0	—	—
	医療療養病床 全体	92	1.1	1.5	92	0.7	0.9
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	18	1.2	1.6	18	0.9	1.2
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	47	1.3	1.4	47	0.8	0.9
	医療療養病床（25:1）	19	1.0	1.5	19	0.3	0.5
	医療療養病床（診療所）	8	0.1	0.5	8	0.1	0.5
	地域包括ケア病棟・病床 全体	8	0.5	1.6	8	0.4	1.2
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	1	1.0	2.1	1	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	6	0.5	1.3	6	0.5	1.3	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	1	0.3	5.0	1	0.3	5.0	
北陸	介護療養病床 全体	38	0.2	0.4	38	0.1	0.3
	療養機能強化型A	13	0.1	0.2	13	0.1	0.2
	療養機能強化型B	3	0.3	0.9	3	0.0	0.0
	その他（病院）	19	0.3	0.6	19	0.2	0.4
	療養機能強化型（診療所）	0	—	—	0	—	—
	その他（診療所）	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	52	0.6	1.1	52	0.4	0.7
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算あり）	5	0.3	0.6	5	0.3	0.6
	医療療養病床（20:1）（在宅復帰機能強化加算なし）	24	1.0	1.4	24	0.7	0.9
	医療療養病床（25:1）	20	0.3	0.6	20	0.2	0.4
	医療療養病床（診療所）	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	6	2.4	6.4	6	1.5	4.1
	地域包括ケア病棟・病床1（医療療養）	1	10.0	58.8	1	5.0	29.4
	地域包括ケア病棟・病床2（医療療養）	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1（一般病床）	5	0.8	2.0	5	0.8	2.0	
地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）	0	—	—	0	—	—	

※前頁図表の続き

	医療ソーシャルワーカー(専従+兼務)			医療ソーシャルワーカー(専従)			
	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	施設数	1施設あたり職員数	病床100床あたり職員数	
東海	介護療養病床 全体	35	0.8	1.4	35	0.5	0.9
	療養機能強化型A	13	1.1	1.5	13	0.8	1.1
	療養機能強化型B	4	1.1	1.5	4	0.6	0.8
	その他(病院)	13	0.6	1.0	13	0.4	0.6
	療養機能強化型(診療所)	1	2.0	12.5	1	1.0	6.3
	その他(診療所)	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	70	1.0	1.7	70	0.6	1.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	13	1.1	1.8	13	0.4	0.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	34	1.1	1.5	34	0.8	1.0
	医療療養病床(25:1)	19	0.9	1.9	19	0.5	1.1
	医療療養病床(診療所)	4	0.5	11.8	4	0.3	5.9
	地域包括ケア病棟・病床 全体	9	0.6	2.7	9	0.2	1.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	0	—	—	0	—	—
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	0.5	2.3	8	0.3	1.2	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	0	—	—	0	—	—	
近畿	介護療養病床 全体	52	0.7	1.0	52	0.3	0.4
	療養機能強化型A	26	1.0	1.2	26	0.4	0.5
	療養機能強化型B	5	0.6	0.5	5	0.6	0.5
	その他(病院)	15	0.4	1.0	15	0.2	0.4
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
	その他(診療所)	4	0.0	0.0	4	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	96	0.9	1.5	96	0.4	0.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	23	1.5	2.1	23	0.5	0.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	40	1.0	1.6	40	0.5	0.7
	医療療養病床(25:1)	28	0.5	0.9	28	0.1	0.2
	医療療養病床(診療所)	5	0.0	0.2	5	0.0	0.2
	地域包括ケア病棟・病床 全体	11	0.7	2.3	11	0.3	1.1
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	1.0	3.6	1	1.0	3.6
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	8	0.6	2.4	8	0.3	1.3	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0	
中国	介護療養病床 全体	48	0.9	1.6	48	0.5	1.0
	療養機能強化型A	14	1.0	1.7	14	0.5	0.9
	療養機能強化型B	3	1.3	1.8	3	1.3	1.8
	その他(病院)	23	0.9	1.4	23	0.5	0.9
	療養機能強化型(診療所)	3	0.7	6.5	3	0.3	3.2
	その他(診療所)	5	0.2	1.9	5	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	89	0.9	1.5	89	0.5	0.9
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	26	1.0	1.7	26	0.6	1.0
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	18	0.9	1.3	18	0.6	0.8
	医療療養病床(25:1)	35	1.0	1.5	35	0.6	0.9
	医療療養病床(診療所)	10	0.3	3.3	10	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	20	0.9	4.0	20	0.6	2.5
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	3.0	16.7	1	3.0	16.7
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	17	0.7	3.3	17	0.4	2.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	1.0	2.1	1	0.0	0.0	
四国	介護療養病床 全体	55	0.3	0.7	55	0.2	0.5
	療養機能強化型A	18	0.4	0.6	18	0.3	0.4
	療養機能強化型B	3	0.3	0.5	3	0.3	0.5
	その他(病院)	25	0.4	1.0	25	0.2	0.5
	療養機能強化型(診療所)	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
	その他(診療所)	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	医療療養病床 全体	69	0.5	1.2	69	0.2	0.5
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	10	0.6	1.6	10	0.3	0.8
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	28	0.6	1.3	28	0.3	0.6
	医療療養病床(25:1)	20	0.3	1.0	20	0.1	0.4
	医療療養病床(診療所)	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床 全体	10	0.4	1.7	10	0.2	0.7
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	1	1.0	2.0	1	0.0	0.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	0	—	—	0	—	—
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	7	0.2	1.0	7	0.2	1.0	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	1	0.3	1.9	1	0.3	1.9	
九州	介護療養病床 全体	103	0.4	1.0	103	0.2	0.6
	療養機能強化型A	34	0.6	1.1	34	0.3	0.6
	療養機能強化型B	10	0.7	2.1	10	0.4	1.2
	その他(病院)	33	0.3	0.9	33	0.2	0.5
	療養機能強化型(診療所)	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0
	その他(診療所)	18	0.1	0.6	18	0.1	0.6
	医療療養病床 全体	188	0.4	1.1	188	0.2	0.6
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	35	0.7	1.2	35	0.4	0.7
	医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算なし)	51	0.4	0.8	51	0.3	0.6
	医療療養病床(25:1)	54	0.7	1.6	54	0.3	0.7
	医療療養病床(診療所)	47	0.0	0.1	47	0.0	0.1
	地域包括ケア病棟・病床 全体	22	0.7	2.9	22	0.3	1.2
	地域包括ケア病棟・病床1(医療療養)	2	1.0	3.0	2	1.0	3.0
	地域包括ケア病棟・病床2(医療療養)	1	1.0	3.3	1	0.0	0.0
地域包括ケア病棟・病床1(一般病床)	14	0.7	2.9	14	0.2	0.9	
地域包括ケア病棟・病床2(一般病床)	3	0.5	3.1	3	0.2	1.2	

図表 地域別 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の要件について
困難と考えられること（複数回答）

		施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者が少ない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
北海道	介護療養病床 全体	22	50.0%	40.9%	40.9%	27.3%	31.8%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	10	90.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	16.7%	83.3%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
東北	介護療養病床 全体	22	40.9%	45.5%	50.0%	13.6%	27.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	4	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	0.0%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	33.3%	50.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	37.0%	29.6%	33.3%	25.9%	14.8%	7.4%	3.7%
	療養機能強化型A	5	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	その他(病院)	16	43.8%	25.0%	31.3%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%
南関東	介護療養病床 全体	39	71.8%	10.3%	17.9%	12.8%	5.1%	2.6%	2.6%
	療養機能強化型A	24	75.0%	8.3%	12.5%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%
	療養機能強化型B	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	12	58.3%	16.7%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	介護療養病床 全体	8	62.5%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	7	57.1%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—	—	—
その他(病院)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
北陸	介護療養病床 全体	38	47.4%	36.8%	28.9%	26.3%	15.8%	5.3%	2.6%
	療養機能強化型A	14	57.1%	35.7%	35.7%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	19	42.1%	36.8%	21.1%	31.6%	21.1%	0.0%	5.3%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
東海	介護療養病床 全体	34	55.9%	35.3%	20.6%	14.7%	20.6%	2.9%	2.9%
	療養機能強化型A	13	69.2%	30.8%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	その他(病院)	13	53.8%	38.5%	30.8%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
近畿	介護療養病床 全体	45	57.8%	28.9%	24.4%	17.8%	6.7%	4.4%	0.0%
	療養機能強化型A	25	84.0%	12.0%	12.0%	8.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	13	7.7%	61.5%	38.5%	30.8%	7.7%	15.4%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
中国	介護療養病床 全体	40	37.5%	50.0%	35.0%	20.0%	15.0%	2.5%	2.5%
	療養機能強化型A	15	80.0%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	20	5.0%	65.0%	50.0%	20.0%	30.0%	5.0%	5.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国	介護療養病床 全体	51	52.9%	19.6%	35.3%	13.7%	29.4%	3.9%	0.0%
	療養機能強化型A	18	83.3%	5.6%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	21	23.8%	38.1%	52.4%	14.3%	47.6%	9.5%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	16.7%	16.7%	66.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
九州	介護療養病床 全体	97	38.1%	32.0%	44.3%	24.7%	29.9%	2.1%	3.1%
	療養機能強化型A	34	61.8%	26.5%	26.5%	17.6%	14.7%	2.9%	5.9%
	療養機能強化型B	10	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	31	19.4%	38.7%	61.3%	38.7%	41.9%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	9	22.2%	33.3%	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%
	その他(診療所)	13	15.4%	38.5%	69.2%	30.8%	61.5%	0.0%	0.0%

図表 地域別 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施について困難と考えられること
(複数回答)

		施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者が少ない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	その他
北海道	介護療養病床 全体	22	54.5%	31.8%	27.3%	18.2%	22.7%	4.5%	0.0%
	療養機能強化型A	10	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	33.3%	50.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
東北	介護療養病床 全体	22	50.0%	36.4%	40.9%	9.1%	22.7%	0.0%	4.5%
	療養機能強化型A	4	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他(病院)	6	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	33.3%	50.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	59.3%	25.9%	14.8%	11.1%	14.8%	3.7%	0.0%
	療養機能強化型A	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	16	56.3%	25.0%	18.8%	12.5%	18.8%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
南関東	介護療養病床 全体	39	74.4%	10.3%	17.9%	7.7%	7.7%	2.6%	0.0%
	療養機能強化型A	24	83.3%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	12	50.0%	25.0%	33.3%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	介護療養病床 全体	8	50.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	7	57.1%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—	—	—
その他(病院)	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
北陸	介護療養病床 全体	38	50.0%	42.1%	23.7%	15.8%	18.4%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	14	64.3%	35.7%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	19	47.4%	42.1%	15.8%	15.8%	26.3%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東海	介護療養病床 全体	34	61.8%	32.4%	17.6%	11.8%	11.8%	0.0%	2.9%
	療養機能強化型A	13	84.6%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	その他(病院)	13	61.5%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
近畿	介護療養病床 全体	46	65.2%	26.1%	23.9%	4.3%	4.3%	2.2%	0.0%
	療養機能強化型A	25	88.0%	8.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	14	21.4%	57.1%	57.1%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中国	介護療養病床 全体	40	52.5%	42.5%	20.0%	7.5%	15.0%	2.5%	7.5%
	療養機能強化型A	15	93.3%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他(病院)	20	30.0%	60.0%	40.0%	10.0%	30.0%	5.0%	5.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国	介護療養病床 全体	51	56.9%	25.5%	29.4%	7.8%	23.5%	2.0%	2.0%
	療養機能強化型A	18	83.3%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	21	28.6%	42.9%	38.1%	4.8%	42.9%	4.8%	4.8%
	療養機能強化型(診療所)	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
九州	介護療養病床 全体	97	46.4%	27.8%	36.1%	16.5%	24.7%	0.0%	3.1%
	療養機能強化型A	34	67.6%	14.7%	26.5%	14.7%	11.8%	0.0%	2.9%
	療養機能強化型B	10	30.0%	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	31	29.0%	38.7%	51.6%	22.6%	35.5%	0.0%	3.2%
	療養機能強化型(診療所)	9	44.4%	22.2%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%
	その他(診療所)	13	46.2%	23.1%	38.5%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%

図表 地域別 ターミナルケアの提供について困難と考えられること（複数回答）

地域	施設数	要件を満たすことに困難はない	要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない)	要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい	要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい	以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規の患者の受け入れが困難	要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない	ターミナルケアの定義がわからない	その他			
北海道	介護療養病床	全体	22	45.5%	36.4%	18.2%	13.6%	18.2%	4.5%	4.5%	9.1%	
		療養機能強化型A	10	70.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	
		療養機能強化型B	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
		その他(病院)	6	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	
		療養機能強化型(診療所)	2	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(診療所)	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
東北	介護療養病床	全体	22	45.5%	27.3%	36.4%	18.2%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	
		療養機能強化型A	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
		療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	6	0.0%	50.0%	83.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
		療養機能強化型(診療所)	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
		その他(診療所)	6	50.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
北関東・甲信	介護療養病床	全体	27	33.3%	40.7%	25.9%	11.1%	11.1%	3.7%	7.4%	14.8%	
		療養機能強化型A	5	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		療養機能強化型B	2	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
		その他(病院)	16	25.0%	43.8%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	18.8%	
		療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		その他(診療所)	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
南関東	介護療養病床	全体	40	50.0%	17.5%	20.0%	10.0%	7.5%	2.5%	12.5%	7.5%	
		療養機能強化型A	24	62.5%	12.5%	12.5%	4.2%	8.3%	0.0%	8.3%	12.5%	
		療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	13	23.1%	23.1%	38.5%	23.1%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	
		療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	東京23区	介護療養病床	全体	8	50.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
			療養機能強化型A	7	57.1%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
			療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—	—	—	—
			その他(病院)	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
北陸	介護療養病床	全体	38	34.2%	50.0%	21.1%	18.4%	15.8%	0.0%	13.2%	0.0%	
		療養機能強化型A	14	50.0%	35.7%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	
		療養機能強化型B	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	19	21.1%	63.2%	10.5%	15.8%	21.1%	0.0%	15.8%	0.0%	
		療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
東海	介護療養病床	全体	34	38.2%	52.9%	17.6%	5.9%	14.7%	0.0%	14.7%	5.9%	
		療養機能強化型A	13	53.8%	46.2%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	
		療養機能強化型B	4	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
		その他(病院)	13	30.8%	53.8%	30.8%	0.0%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%	
		療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(診療所)	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
近畿	介護療養病床	全体	45	60.0%	20.0%	20.0%	6.7%	6.7%	4.4%	4.4%	4.4%	
		療養機能強化型A	25	88.0%	4.0%	12.0%	4.0%	0.0%	4.0%	8.0%	0.0%	
		療養機能強化型B	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	13	7.7%	46.2%	46.2%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%	
		療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
中国	介護療養病床	全体	40	37.5%	55.0%	20.0%	7.5%	5.0%	2.5%	10.0%	2.5%	
		療養機能強化型A	15	60.0%	53.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		療養機能強化型B	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	20	15.0%	60.0%	35.0%	5.0%	10.0%	5.0%	20.0%	5.0%	
		療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
四国	介護療養病床	全体	51	35.3%	27.5%	29.4%	7.8%	29.4%	5.9%	7.8%	3.9%	
		療養機能強化型A	18	66.7%	27.8%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
		療養機能強化型B	3	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(病院)	21	4.8%	28.6%	52.4%	9.5%	47.6%	14.3%	19.0%	9.5%	
		療養機能強化型(診療所)	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(診療所)	6	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
九州	介護療養病床	全体	96	34.4%	38.5%	29.2%	17.7%	21.9%	0.0%	9.4%	4.2%	
		療養機能強化型A	34	55.9%	35.3%	20.6%	11.8%	8.8%	0.0%	2.9%	2.9%	
		療養機能強化型B	10	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	
		その他(病院)	30	20.0%	46.7%	43.3%	26.7%	33.3%	0.0%	13.3%	6.7%	
		療養機能強化型(診療所)	9	22.2%	44.4%	22.2%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	
		その他(診療所)	13	38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 地域別 リハビリの提供について困難と考えられること（複数回答）

	施設数	要件を満たすことに困難はない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者が少ない	生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士が少ない	生活機能を維持改善するリハビリテーションの範囲がわからない	その他	
北海道	介護療養病床 全体	20	65.0%	10.0%	25.0%	10.0%	5.0%
	療養機能強化型A	9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	療養機能強化型(診療所)	2	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
東北	介護療養病床 全体	21	42.9%	19.0%	28.6%	9.5%	0.0%
	療養機能強化型A	4	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	その他(診療所)	5	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%
北関東・甲信	介護療養病床 全体	25	64.0%	12.0%	20.0%	12.0%	0.0%
	療養機能強化型A	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	その他(病院)	15	73.3%	6.7%	20.0%	13.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
南関東	介護療養病床 全体	39	76.9%	10.3%	10.3%	5.1%	2.6%
	療養機能強化型A	24	75.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型B	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	12	75.0%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—
	介護療養病床 全体	9	55.6%	77.8%	88.9%	77.8%	100.0%
	療養機能強化型A	8	62.5%	75.0%	87.5%	75.0%	100.0%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—
	その他(病院)	1	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—	
その他(診療所)	0	—	—	—	—	—	
北陸	介護療養病床 全体	37	54.1%	21.6%	13.5%	8.1%	2.7%
	療養機能強化型A	14	64.3%	14.3%	0.0%	14.3%	7.1%
	療養機能強化型B	3	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	その他(病院)	18	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
東海	介護療養病床 全体	32	78.1%	9.4%	12.5%	12.5%	3.1%
	療養機能強化型A	12	91.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%
	療養機能強化型B	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	その他(病院)	12	58.3%	25.0%	16.7%	25.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
近畿	介護療養病床 全体	44	70.5%	6.8%	13.6%	11.4%	4.5%
	療養機能強化型A	24	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	4.2%
	療養機能強化型B	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	14	50.0%	14.3%	28.6%	14.3%	7.1%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
中国	介護療養病床 全体	39	82.1%	7.7%	5.1%	10.3%	0.0%
	療養機能強化型A	14	92.9%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	療養機能強化型B	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	20	75.0%	5.0%	10.0%	15.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国	介護療養病床 全体	51	66.7%	7.8%	21.6%	7.8%	9.8%
	療養機能強化型A	18	88.9%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	療養機能強化型B	3	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	21	61.9%	0.0%	19.0%	14.3%	14.3%
	療養機能強化型(診療所)	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%
	その他(診療所)	6	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
九州	介護療養病床 全体	98	65.3%	11.2%	22.4%	9.2%	2.0%
	療養機能強化型A	35	91.4%	5.7%	2.9%	5.7%	2.9%
	療養機能強化型B	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	30	53.3%	26.7%	16.7%	20.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	9	22.2%	0.0%	77.8%	0.0%	11.1%
	その他(診療所)	14	28.6%	7.1%	64.3%	7.1%	0.0%

図表 地域別 地域に貢献する活動について困難と考えられること（複数回答）

		施設数	要件を満たすことに困難はない	地域に貢献する活動を必要とされていない	地域に貢献する活動を実施することが、人員体制上厳しい	地域に貢献する活動の範囲がわからない	その他
北海道	介護療養病床 全体	21	61.9%	9.5%	23.8%	23.8%	0.0%
	療養機能強化型A	10	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	33.3%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	2	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
東北	介護療養病床 全体	22	59.1%	4.5%	27.3%	22.7%	0.0%
	療養機能強化型A	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	療養機能強化型B	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	6	16.7%	16.7%	50.0%	66.7%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
北関東・甲信	介護療養病床 全体	27	55.6%	0.0%	40.7%	14.8%	0.0%
	療養機能強化型A	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	その他(病院)	16	50.0%	0.0%	50.0%	18.8%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	4	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
南関東	介護療養病床 全体	37	70.3%	2.7%	27.0%	8.1%	0.0%
	療養機能強化型A	23	82.6%	0.0%	13.0%	8.7%	0.0%
	療養機能強化型B	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	11	45.5%	9.1%	54.5%	9.1%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	0	—	—	—	—	—
	介護療養病床 全体	8	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型A	7	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
	療養機能強化型B	0	—	—	—	—	—
	その他(病院)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
北陸	介護療養病床 全体	38	47.4%	2.6%	34.2%	34.2%	7.9%
	療養機能強化型A	14	57.1%	7.1%	21.4%	28.6%	7.1%
	療養機能強化型B	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	その他(病院)	19	47.4%	0.0%	36.8%	36.8%	10.5%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
東海	介護療養病床 全体	33	60.6%	6.1%	27.3%	33.3%	3.0%
	療養機能強化型A	13	61.5%	0.0%	23.1%	30.8%	0.0%
	療養機能強化型B	4	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	その他(病院)	12	58.3%	0.0%	33.3%	41.7%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	その他(診療所)	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
近畿	介護療養病床 全体	44	54.5%	2.3%	36.4%	25.0%	2.3%
	療養機能強化型A	25	72.0%	0.0%	24.0%	24.0%	0.0%
	療養機能強化型B	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	13	15.4%	7.7%	61.5%	38.5%	7.7%
	療養機能強化型(診療所)	0	—	—	—	—	—
	その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
中国	介護療養病床 全体	40	50.0%	2.5%	27.5%	25.0%	7.5%
	療養機能強化型A	15	73.3%	0.0%	13.3%	13.3%	6.7%
	療養機能強化型B	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	20	30.0%	5.0%	45.0%	35.0%	5.0%
	療養機能強化型(診療所)	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(診療所)	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
四国	介護療養病床 全体	51	49.0%	2.0%	35.3%	23.5%	9.8%
	療養機能強化型A	18	77.8%	0.0%	11.1%	16.7%	11.1%
	療養機能強化型B	3	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
	その他(病院)	21	33.3%	4.8%	52.4%	19.0%	9.5%
	療養機能強化型(診療所)	3	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%
	その他(診療所)	6	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%
九州	介護療養病床 全体	98	48.0%	4.1%	40.8%	22.4%	2.0%
	療養機能強化型A	35	54.3%	5.7%	34.3%	22.9%	2.9%
	療養機能強化型B	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他(病院)	31	35.5%	3.2%	51.6%	29.0%	0.0%
	療養機能強化型(診療所)	9	22.2%	0.0%	66.7%	11.1%	11.1%
	その他(診療所)	13	38.5%	7.7%	46.2%	30.8%	0.0%

図表 地域別 他の地域資源との連携状況

北海道 n=51 東北 n=69 北関東・甲信 n=71 南関東 n=104 北陸 n=52

		頻繁に連携している	連携している	あまり連携していない	全く連携していない	無回答
北海道	三次救急病院	7.8%	33.3%	11.8%	25.5%	21.6%
	急性期病院	29.4%	45.1%	3.9%	3.9%	17.6%
	亜急性期病院	5.9%	31.4%	29.4%	11.8%	21.6%
	精神科病院	2.0%	37.3%	31.4%	11.8%	17.6%
	地域医療支援病院	3.9%	31.4%	19.6%	17.6%	27.5%
	慢性期病院	3.9%	25.5%	33.3%	15.7%	21.6%
	在宅療養患者の主治医	0.0%	37.3%	27.5%	15.7%	19.6%
	介護老人保健施設	11.8%	31.4%	19.6%	15.7%	21.6%
	介護老人福祉施設(特養)	29.4%	41.2%	13.7%	5.9%	9.8%
	認知症グループホーム	15.7%	33.3%	21.6%	11.8%	17.6%
	訪問看護ステーション	7.8%	45.1%	13.7%	13.7%	19.6%
	地域包括支援センター	13.7%	39.2%	19.6%	9.8%	17.6%
居宅介護支援事業所	9.8%	35.3%	15.7%	11.8%	27.5%	
東北	三次救急病院	14.5%	42.0%	17.4%	10.1%	15.9%
	急性期病院	33.3%	49.3%	4.3%	1.4%	11.6%
	亜急性期病院	8.7%	34.8%	36.2%	2.9%	17.4%
	精神科病院	8.7%	34.8%	40.6%	7.2%	8.7%
	地域医療支援病院	13.0%	39.1%	27.5%	2.9%	17.4%
	慢性期病院	8.7%	39.1%	24.6%	1.4%	26.1%
	在宅療養患者の主治医	15.9%	43.5%	24.6%	5.8%	10.1%
	介護老人保健施設	33.3%	36.2%	17.4%	4.3%	8.7%
	介護老人福祉施設(特養)	31.9%	46.4%	11.6%	2.9%	7.2%
	認知症グループホーム	11.6%	39.1%	26.1%	11.6%	11.6%
	訪問看護ステーション	24.6%	37.7%	23.2%	7.2%	7.2%
	地域包括支援センター	26.1%	49.3%	15.9%	2.9%	5.8%
居宅介護支援事業所	21.7%	44.9%	17.4%	2.9%	13.0%	
北関東・甲信	三次救急病院	29.6%	32.4%	8.5%	11.3%	18.3%
	急性期病院	36.6%	40.8%	5.6%	1.4%	15.5%
	亜急性期病院	12.7%	38.0%	18.3%	7.0%	23.9%
	精神科病院	7.0%	38.0%	32.4%	8.5%	14.1%
	地域医療支援病院	22.5%	26.8%	25.4%	4.2%	21.1%
	慢性期病院	14.1%	32.4%	19.7%	7.0%	26.8%
	在宅療養患者の主治医	22.5%	40.8%	21.1%	5.6%	9.9%
	介護老人保健施設	28.2%	42.3%	9.9%	2.8%	16.9%
	介護老人福祉施設(特養)	33.8%	38.0%	14.1%	2.8%	11.3%
	認知症グループホーム	15.5%	38.0%	32.4%	5.6%	8.5%
	訪問看護ステーション	28.2%	36.6%	15.5%	2.8%	16.9%
	地域包括支援センター	32.4%	46.5%	7.0%	5.6%	8.5%
居宅介護支援事業所	36.6%	31.0%	7.0%	2.8%	22.5%	
南関東	三次救急病院	22.1%	44.2%	17.3%	11.5%	4.8%
	急性期病院	38.5%	51.0%	2.9%	2.9%	4.8%
	亜急性期病院	4.8%	48.1%	31.7%	6.7%	8.7%
	精神科病院	1.9%	33.7%	35.6%	21.2%	7.7%
	地域医療支援病院	15.4%	37.5%	26.9%	9.6%	10.6%
	慢性期病院	9.6%	44.2%	24.0%	7.7%	14.4%
	在宅療養患者の主治医	20.2%	44.2%	18.3%	9.6%	7.7%
	介護老人保健施設	20.2%	47.1%	18.3%	7.7%	6.7%
	介護老人福祉施設(特養)	24.0%	46.2%	17.3%	7.7%	4.8%
	認知症グループホーム	6.7%	26.9%	43.3%	14.4%	8.7%
	訪問看護ステーション	17.3%	40.4%	18.3%	9.6%	14.4%
	地域包括支援センター	16.3%	41.3%	26.9%	3.8%	11.5%
居宅介護支援事業所	20.2%	40.4%	22.1%	6.7%	10.6%	
北陸	三次救急病院	11.5%	38.5%	15.4%	19.2%	15.4%
	急性期病院	30.8%	44.2%	5.8%	1.9%	17.3%
	亜急性期病院	17.3%	36.5%	19.2%	5.8%	21.2%
	精神科病院	0.0%	32.7%	34.6%	15.4%	17.3%
	地域医療支援病院	7.7%	34.6%	21.2%	13.5%	23.1%
	慢性期病院	3.8%	32.7%	30.8%	7.7%	25.0%
	在宅療養患者の主治医	5.8%	42.3%	26.9%	13.5%	11.5%
	介護老人保健施設	11.5%	40.4%	21.2%	3.8%	23.1%
	介護老人福祉施設(特養)	19.2%	40.4%	26.9%	1.9%	11.5%
	認知症グループホーム	7.7%	28.8%	42.3%	7.7%	13.5%
	訪問看護ステーション	11.5%	30.8%	32.7%	9.6%	15.4%
	地域包括支援センター	21.2%	48.1%	13.5%	5.8%	11.5%
居宅介護支援事業所	26.9%	26.9%	19.2%	3.8%	23.1%	

※前頁図表の続き

東海 n=76 近畿 n=103 中国 n=98 四国 n=83 九州 n=229

		頻りに連携している	連携している	あまり連携していない	全く連携していない	無回答
東海	三次救急病院	17.1%	28.9%	17.1%	18.4%	18.4%
	急性期病院	47.4%	30.3%	3.9%	5.3%	13.2%
	亜急性期病院	9.2%	38.2%	28.9%	5.3%	18.4%
	精神科病院	2.6%	19.7%	48.7%	15.8%	13.2%
	地域医療支援病院	14.5%	27.6%	23.7%	11.8%	22.4%
	慢性期病院	3.9%	27.6%	30.3%	6.6%	31.6%
	在宅療養患者の主治医	10.5%	44.7%	27.6%	3.9%	13.2%
	介護老人保健施設	17.1%	48.7%	14.5%	2.6%	17.1%
	介護老人福祉施設(特養)	19.7%	50.0%	19.7%	1.3%	9.2%
	認知症グループホーム	6.6%	34.2%	34.2%	6.6%	18.4%
	訪問看護ステーション	10.5%	38.2%	23.7%	7.9%	19.7%
地域包括支援センター	21.1%	46.1%	10.5%	5.3%	17.1%	
居宅介護支援事業所	25.0%	38.2%	9.2%	3.9%	23.7%	
近畿	三次救急病院	14.6%	40.8%	21.4%	13.6%	9.7%
	急性期病院	37.9%	44.7%	2.9%	1.0%	13.6%
	亜急性期病院	9.7%	51.5%	20.4%	4.9%	13.6%
	精神科病院	3.9%	30.1%	39.8%	14.6%	11.7%
	地域医療支援病院	12.6%	35.9%	22.3%	13.6%	15.5%
	慢性期病院	10.7%	44.7%	18.4%	5.8%	20.4%
	在宅療養患者の主治医	12.6%	44.7%	23.3%	6.8%	12.6%
	介護老人保健施設	23.3%	43.7%	17.5%	3.9%	11.7%
	介護老人福祉施設(特養)	21.4%	49.5%	14.6%	7.8%	6.8%
	認知症グループホーム	10.7%	29.1%	31.1%	16.5%	12.6%
	訪問看護ステーション	17.5%	43.7%	19.4%	6.8%	12.6%
地域包括支援センター	20.4%	43.7%	15.5%	10.7%	9.7%	
居宅介護支援事業所	27.2%	39.8%	12.6%	5.8%	14.6%	
中国	三次救急病院	22.4%	30.6%	17.3%	9.2%	20.4%
	急性期病院	38.8%	40.8%	4.1%	1.0%	15.3%
	亜急性期病院	13.3%	37.8%	18.4%	12.2%	18.4%
	精神科病院	4.1%	31.6%	34.7%	12.2%	17.3%
	地域医療支援病院	17.3%	25.5%	20.4%	12.2%	24.5%
	慢性期病院	6.1%	24.5%	34.7%	6.1%	28.6%
	在宅療養患者の主治医	19.4%	44.9%	15.3%	3.1%	17.3%
	介護老人保健施設	21.4%	41.8%	11.2%	5.1%	20.4%
	介護老人福祉施設(特養)	24.5%	51.0%	9.2%	3.1%	12.2%
	認知症グループホーム	14.3%	36.7%	21.4%	6.1%	21.4%
	訪問看護ステーション	24.5%	36.7%	12.2%	4.1%	22.4%
地域包括支援センター	32.7%	35.7%	12.2%	5.1%	14.3%	
居宅介護支援事業所	33.7%	24.5%	12.2%	4.1%	25.5%	
四国	三次救急病院	8.4%	38.6%	25.3%	9.6%	18.1%
	急性期病院	25.3%	55.4%	8.4%	1.2%	9.6%
	亜急性期病院	6.0%	37.3%	38.6%	4.8%	13.3%
	精神科病院	1.2%	28.9%	42.2%	13.3%	14.5%
	地域医療支援病院	10.8%	34.9%	25.3%	12.0%	16.9%
	慢性期病院	1.2%	16.9%	39.8%	12.0%	30.1%
	在宅療養患者の主治医	3.6%	33.7%	38.6%	4.8%	19.3%
	介護老人保健施設	13.3%	38.6%	27.7%	3.6%	16.9%
	介護老人福祉施設(特養)	19.3%	41.0%	25.3%	6.0%	8.4%
	認知症グループホーム	7.2%	30.1%	36.1%	7.2%	19.3%
	訪問看護ステーション	7.2%	33.7%	33.7%	7.2%	18.1%
地域包括支援センター	15.7%	57.8%	12.0%	3.6%	10.8%	
居宅介護支援事業所	16.9%	42.2%	13.3%	2.4%	25.3%	
九州	三次救急病院	12.2%	36.7%	23.1%	11.8%	16.2%
	急性期病院	30.1%	50.7%	4.8%	1.7%	12.7%
	亜急性期病院	5.7%	45.4%	27.1%	7.0%	14.8%
	精神科病院	2.2%	37.6%	31.4%	15.3%	13.5%
	地域医療支援病院	13.1%	38.4%	23.1%	7.0%	18.3%
	慢性期病院	3.5%	36.2%	28.4%	7.0%	24.9%
	在宅療養患者の主治医	9.2%	38.4%	26.6%	9.2%	16.6%
	介護老人保健施設	12.2%	41.5%	23.6%	8.7%	14.0%
	介護老人福祉施設(特養)	22.3%	40.6%	19.2%	7.4%	10.5%
	認知症グループホーム	12.7%	36.2%	26.2%	9.6%	15.3%
	訪問看護ステーション	12.7%	44.5%	16.2%	7.0%	19.7%
地域包括支援センター	22.3%	51.5%	14.0%	1.7%	10.5%	
居宅介護支援事業所	24.5%	38.4%	9.2%	5.7%	22.3%	

資料7. 医療療養病床が療養機能強化型の要件を満たす件数について

医療療養病床のうち、療養機能強化型 A、B の算定要件を満たしている施設数を算出した。なお、療養機能強化型の要件を、以下の通り番号を振った。

- ① 重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者
- ② 喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施
- ③ ターミナルケアの提供
- ④ 生活機能を維持改善するリハビリテーション
- ⑤ 地域に貢献する活動

なお、④の実施の有無について直接的に回答を求めた設問がないため、三職種の特掲診療料として請求したリハビリの単位数が0より大きい場合に実施あり、とした。

図表 医療療養病床が療養機能強化型の要件を満たす割合

病院		①～⑤全要件を満たす件数・割合				①の要件を満たす件数・割合				②の要件を満たす件数・割合				①・②の要件を満たす件数・割合				①・②・③の要件を満たす件数・割合				
		有効回答数	A該当	B該当	その他	有効回答数	A該当	B該当	その他	有効回答数	A該当	B該当	その他	有効回答数	A該当	B該当	その他	有効回答数	A該当	B該当	その他	
医療療養病床(病院)	施設数	753	420	23	12	385	578	258	0	320	701	601	57	43	577	238	11	327	470	30	16	424
	割合			5.5%	2.9%	91.7%		44.6%	0.0%	55.4%		85.7%	8.1%	6.1%		41.4%	1.9%	56.7%		6.4%	3.4%	90.2%
	病床数	44767	25234	1756	603	22875	35031	15198	0	19833	41820	36844	3436	1540	35021	14497	448	20076	28068	1992	798	25278
	割合			7.0%	2.4%	90.7%		43.4%	0.0%	56.6%		88.1%	8.2%	3.7%		41.4%	1.3%	57.3%		7.1%	2.8%	90.1%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化加算あり)	施設数	153	98	10	2	86	121	61	0	60	142	131	7	4	121	61	0	60	105	11	4	90
	割合			10.2%	2.0%	87.8%		50.4%	0.0%	49.6%		92.3%	4.9%	2.8%		50.4%	0.0%	49.6%		10.5%	3.8%	85.7%
	病床数	9379	5961	659	86	5216	7476	4024	0	3452	8798	8245	395	158	7476	4024	0	3452	6310	675	209	5426
	割合			11.1%	1.4%	87.5%		53.8%	0.0%	46.2%		93.7%	4.5%	1.8%		53.8%	0.0%	46.2%		10.7%	3.3%	86.0%
医療療養病床(20:1)(在宅復帰機能強化なし)	施設数	323	183	8	6	189	249	126	0	123	301	283	10	8	248	122	1	125	200	12	7	181
	割合			4.4%	3.3%	92.3%		50.6%	0.0%	49.4%		94.0%	3.3%	2.7%		49.2%	0.4%	50.4%		6.0%	3.5%	90.5%
	病床数	20860	11870	733	326	10811	16278	7548	0	8730	19467	18290	868	309	16268	7396	32	8840	13158	857	358	11943
	割合			6.2%	2.7%	91.1%		46.4%	0.0%	53.6%		94.0%	4.5%	1.6%		45.5%	0.2%	54.3%		6.5%	2.7%	90.8%
医療療養病床(25:1) (医療区分2-3該当者5割以上)	施設数	163	86	3	2	81	127	52	0	75	180	135	15	10	127	43	5	79	99	5	2	92
	割合			3.5%	2.3%	94.2%		40.9%	0.0%	59.1%		84.4%	9.4%	6.3%		33.9%	3.9%	62.2%		5.1%	2.0%	92.9%
	病床数	8573	4288	80	78	4122	6731	2526	0	4205	8252	7415	556	281	6731	2194	214	4323	4901	184	78	4639
	割合			2.1%	1.8%	96.1%		37.5%	0.0%	62.5%		89.9%	6.7%	3.4%		32.6%	3.2%	64.2%		3.8%	1.6%	94.7%
医療療養病床(25:1) (医療区分2-3該当者5割未満)	施設数	102	51	1	2	48	77	16	0	61	94	49	25	20	77	10	5	62	63	1	3	59
	割合			2.0%	3.9%	94.1%		20.8%	0.0%	79.2%		52.1%	26.6%	21.3%		13.0%	6.5%	80.5%		1.6%	4.8%	93.7%
	病床数	5233	2839	36	113	2690	4028	657	0	3372	4786	2451	1617	718	4028	440	202	3387	3349	36	153	3160
	割合			1.3%	4.0%	94.6%		16.3%	0.0%	83.7%		51.2%	33.8%	15.0%		10.9%	5.0%	84.1%		0.0%	4.6%	95.4%

診療所		①～⑤全要件を満たす件数・割合		①を満たす件数・割合		②を満たす件数・割合		①・②を満たす件数・割合		①・②・③を満たす件数・割合	
		有効回答数	B該当	有効回答数	B該当	有効回答数	B該当	有効回答数	B該当	有効回答数	B該当
医療療養病床(診療所)	施設数	127	15	1	60	26	72	45	56	17	34
	割合			6.7%		43.3%		62.5%		30.4%	8.8%
	病床数	1147	168	10	614	260	730	450	578	169	348
	割合			6.0%		42.3%		61.6%		29.2%	4.9%

資料8. アンケート調査における自由回答全文

(1) 「地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割」についての自由回答

No.	事例の内容	介	医
1	各施設や在宅療養の難しい患者に対しての受血的な役割	—	○
2	夜間、休日等の診療を要する突発的発症や重態化を未然に防ぐ意味でも意義ありと考える。要医療の患者が特養や有料ホーム等にて療養する事は、医師として常に疑問を感じている。在宅を含めて更に頑張らねばと思っている。	○	○
3	ここ数年療養病床のあり方が施設とあまり変わらない状況になっています。結局、療養を利用する患者様は看取りまでいてもいいと思っており、自宅へ帰れる状態であっても戻ろうとしません。施設を促しますが、療養病床を持ち出され、制度がなくなるなら出ます！といった状況です。私たちもそもそもの療養病床って何だろ？と思う時があります。施設よりは料金は安い、具合悪くなってもすぐ対処してくれる。ホテル代わりに利用している方もいるような気がします。看護師なのにヘルパーのような仕事をしているのも事実です。療養病床のあり方を今一度見直し、私たちは看護をする職をしたいのです。	—	○
4	在宅看取りを国は推進しているが現実には困難と思われる。当院ではその様な事態での受け皿になることを考えている。	○	—
5	療養方針決定（自宅か、施設入所かなど）までのつなぎ	—	○
6	療養型入院報酬がスタート時の半以下となり経営が苦しく、間もなく閉鎖予定である。	—	○
7	在宅では不可能な方々が実際にはかなり多いと思われます。その中で、状態の比較的安定している方を引き受けるのが療養病床の役割と考えます。	○	—
8	①当診療所は山間部過疎地にあり、当地域において医療・介護連携の中心的な役割を担っている。地域包括ケアシステムを構築する上で有床診療所および療養病床の役割は大きい。特に介護を必要とする高齢者が安定した病状であれば良いが、嚥下機能の低下など医療上の管理が必要な場合には療養病床の存在はかかせないものとする。（個人的には老健の方が制度上無理があるように感じる）	—	○
9	当クリニックは介護老人保健施設に併設しております。老健施設と連携したターミナルケアの役割も担うことも可能です。	—	○
10	地域の病院、施設との連携により患者様利用者様の希望にお答えできる病床でありたいと思います。	—	○
11	終末期に必要な病床と考えられる。	—	○
12	在宅療養患者の容態悪化時の受け皿あるいはいわゆるレスパイトの受け入れ先として。	—	○
13	高齢者住宅が増えているがそこでは本来の在宅では賄えない人がほとんどで、介護の他、医療も要し、訪問介護、看護では包括的な対応は出来ない。医療と介護がミックスした病床が必要です！	○	—
14	在宅困難例に必要	—	○
15	在宅療養が困難及び不能な場合の代替としての役割や急性期治療と在宅療養との中間施設としての役割があると考えています。また在宅での看取りが困難な場合も療養病床の役割を考えています。	○	—
16	病状の安定した、濃厚な治療を要しない高齢者の療養の場所と思われます。ADL障害度にもよりますが、重度の認知症患者の受け入れは困難と思われます。	—	○
17	有床診の介護療養病床の存在は今後地域包括ケアシステムの核となると思われる。居宅介護、在宅療養の要になると思われる。	○	—
18	診療所での病床運営はこのままの基準ではやっていけないので、病床運営が出来るための政策をつくってほしい。	—	○
19	当院の入院患者様は、インシュリン等の医療費が高く介護保険施設へ入れない方、介護施設で嚥下障害になり肺炎を繰り返す様になり介護保険下で診れなくなった方が療養病床を利用するケースが多いです。また、骨折や外傷で入院した方はリハビリし在宅へ戻り、地域の方で在宅のターミナルケアが困難なケースを入院で受け入れて対応しています。	—	○
20	有床診の診療報酬再評価を前提として、急性期病院から在宅療養へ移るドレナージ病床としての役割、在宅療養の後方支援病床としての役割、特に一時あずかり（レスパイト入院）いずれも短期入院を目的とするものであるからこの場合は複雑な介護保険の取り扱いをやめ、医療保険一括で考えたらいかがですか。	—	○
21	急性期病院からの受け皿としての役割また、在宅への橋渡しの役割として、患者や患者家族	—	○

No.	事例の内容	介	医
	にとって非常に重要な位置づけであると考えます。		
22	介護サービスを受けられる形が望ましく、グループホームでも医療が大部分で老健でも対応困難な方の受け皿となるべきと思います。	—	○
23	感染症及び運動機能低下、一般状態の低下、手術後及び骨折の急性期から居宅・社会復帰へのステップとして役割を演じられると思う。	—	○
24	「在宅で老人（要介護、要医療）をケアする機能がない家庭」の要介護者、要医療者を「死ぬまでの間」面倒をみる事が仕事である。	—	○
25	医療依存度が高いが、治療が必要でない患者、自己ケアをしっかりしていれば療養できる患者は一定数います。介護施設での受け入れが難しいと思われれます。そのような患者を療養病床が担う役割はあると思います。急変時もよっぽどのことがない限りその病床で看取することも視野に置いていけば救急医療のレベルも軽減すると思います。	○	—
26	高齢化が進み要介護度が4～5の在宅療養困難なケースが増えています。とても個々の家庭の対応が難しいため、入院となっています。今後も療養病床の存続が必要と思います。	○	○
27	国家財政の状況、政策から考えて、当地で病棟を維持するのは経済、人的資源の観点から可能であるという確信がもてないため休床としている。地域のニーズとしては、入院を必要とする方の数に季節的変動があり、療養病床または老健施設でそれを吸収するのが望ましいと考えている。	—	—
28	在宅が困難な医療ニーズのある患者を対象に看取りまでの対応。現に、当院の入院患者さんは19人中5～6名が100才前後である。	○	—
29	診療所における療養病床は常時医師、看護師が利用者に対応できるというメリットがある。利用者の安心、安全が得られている現況です。	○	—
30	一般病院からの軽快後の受け皿として加療をしながら、在宅等へつなぐ位置づけ。	○	—
31	現段階の医療療養は急性期からの中間施設として軽度から重度まで多様な患者を見ている。医療区分、ADL区分のしぼりのある中で看護体制は厳しく実際に看護の必要な方と医療が結びつかない矛盾を感じる部分もある。医療区分2・3だからいつまでも療養に入院できるというのでは一部の人たちはいつまでも病院生活を好み在宅での生活を考えない。今後、地域包括に向けてみんなが病院の持つ役割を理解して地域で働きかけていき、安心できる環境であることを分かってもらうことが大切だと思います。	○	○
32	今の時点では具体的に想定する事は極めて困難であると考えます。他施設とのコミュニケーションを除いて情報は殆んど無く、国や厚労省の方向性や施策案には現場の実態と整合しない部分が非常に多いと感じています。「問題である」とか「課題が多い」とかいうのはよく聞きますが、日々高齢者の方々と接している我々にとって、具体的に見える方向性は皆無であり、自施設の経営合理化の視点から考えざるを得ないような状況。今後、施設の利用を制限される方々の増加が見込まれそのような方々への受け皿として貢献出来るような方向も考える必要があると認識しています。	—	○
33	急性期から在宅や介護施設等へ移行するためのパイプ役	—	○
34	一人暮らしの老人が、認知症とか病を起した場合、家族がいて、老人であるとか、家庭の仕事、子供の面倒をみるとかで、介護が出来ない場合が多いと思います。どうしても長期入院が必要になる場合があります。従って長期入院が必要な療養型病床はどうしても必要ではないかと思えます。	—	○
35	・急性期や回復期病院からの在宅療養困難患者の受入れと継続治療、状態により在宅復帰を支援。在宅復帰後の在宅療養継続支援。・在宅で穏やかな死をむかえるための支援、訪問看護師との連携支援、ショート受入れ。・高齢者の尊厳を大切にしたターミナル期にふさわしい医療も含めた総合的なケアのあり方の指導的役割を担うとともに在宅における本人・家族・サービス事業者等への機能を生かした支援を行う。	○	○
36	医療行為が必要で在宅生活を送ることができない高齢者を受け入れ、またその報酬が見合ったものであることが必要かと思われれます。	○	○
37	役割は2つあると考える。ひとつめは、一定の広い地域をイメージしますが、慢性期医療機関がこれまで担ってきた、地域の中で「長期入院が可能」という役割。「ときどき入院ほぼ在宅」といっても長期に入院が必要な方への質の高い医療の提供ができるという役割がある。また、ふたつめには在宅への退院促進と生活地域と呼ばれる地域の中で、在宅生活者の受入れを行う「在宅医療・介護の支援が可能」という役割を担う必要があると考える。	—	○
38	後方支援が地域にない。患者を在宅で見ることが多い。老健、特養の施設数、ベッド数も少なく待機者が病院に長期入院するようなことになっている。	—	○
39	地方の僻地が都会と同等の基準を求められるのはおかしい。僻地規制の緩和	—	○
40	医療区分の高い慢性期入院患者の受け皿としての役割に期待しております。	—	○

No.	事例の内容	介	医
41	後方連携としての機能はもちろんのこと、一定程度の医療の継続が必要な患者の入院又は軽症な患者の一時的な入院等、急性期病院の入院治療対象からはずれるような場合の受血的役割。	—	○
42	軽症患者の治療（肺炎、UTI等）、看取り対応	—	○
43	医療処置等があり、どうしても在宅生活が難しい方の入院。病気はあるが積極的な治療を希望しない方・治療を行っても回復の見込みがない方を安楽に看取る。	○	○
44	急性治療が終了しても合併症や障害などですぐに退院できない患者に対して、退院支援機能や介護との連携を強化した援助を行える病床とする必要がある。	○	○
45	当地域は高齢化率も高く（40%弱）高齢の単身、夫婦のみ世帯も年々増加している。そのような高齢者が病気になると地域の基幹病院である県立病院に入院することになるが、一ヶ月も経たない内に退院を促される。病状は様々であるが自宅での看護や介護は難しく施設に入れたくても空きがない状況。当院の療養病棟はそのような方々の受け皿にもなっている。	—	○
46	様々な地域資源と連携し、在宅への復帰が困難な事情を抱えている人へは、施設等へ送る役割がこれからの療養病床の担う役割だと思う。	—	○
47	その役割は、ますます重要度を増すと思われる。	—	○
48	当院の療養病棟（25：1）の概要は次のとおりで、在宅復帰を支援しています。1年365日リハビリテーションを提供、入院患者1人1日平均リハ4.0単位、平均在院日数70日～80日、在宅復帰率50%回復期リハ病棟対象患者以外にもリハビリテーションの必要な患者は多くおりますので、それらの患者を支援するのは療養病床の役割だと考えます。	—	○
49	・地域で往診できるクリニックの先生が少ない。クリニックはたくさんあるが全て、営業しているだけで診療終了後（夜間）は、他市の住居へ行ってしまうためである。・都市郊外（田舎）地区の病院は医師が少ないため往診ができず困っています。クリニックの医師は、夜の呼出が無いように遠方に住所をかまえます。夜間二次救急病院は患者対応に苦慮しています。・このような状況下、在宅復帰後の往診での「みとり」は非常にきびしいと思います。机上の素晴らしい理論よりも実態を知っていただきたい。その上で地域包括ケアシステムを再構築しないと利用できない、活動できないシステムになってしまいます。	—	○
50	在宅に帰せない医療が必要な患者や重度の認知症患者の受け入れ。緩和ケア病棟や施設のない地域での患者の受け入れ。	—	○
51	急性期の治療が終了しても、症状が安定しなく医療ニーズの高い高齢者や人生の最終段階の方も緩和ケアが必要な方など在宅や特養などでは受け入れが困難なケースがあります。地域包括ケアシステムの中で療養病棟がなかったら十分な医療が提供されず「在宅ときどき病院」ではなく「在宅すぐに病院」になってしまいます。	○	○
52	地域包括ケアシステム構築に向け、地域の医療機関、老健施設等の協力を得て将来を見据えた病床転換を考えています。	—	○
53	在宅ケアと言っても、家族によってはなかなか難しい問題が沢山あります。地域で社会資源を利用してとよく耳にする言葉ですが、そう簡単な事ではありません。療養病床の担う役割は利用者はもとより、家庭介護ができない家族の支えになっている事が大きいと思われる。	○	—
54	急性期から慢性期への移行に際し受け皿として高い必要性が感じられます。	○	○
55	①対症療法の継続が必要なガン患者の療養先の選択肢となること。例えば、末期肝臓がんでは、在宅（高齢者向け住宅等含む）や介護保険施設では対応困難な状態像を呈する。急性期病院での受入れにも限界があり、制度のはざまにある。但し、現行の医療区分制度内容の変更が必須である。②回復期リハビリ病院、地域包括ケア病棟の制度対象とならない患者のリハビリテーション継続と地域への退院支援	○	○
56	地域との連携をスムーズにはかり、今後も協力していきたいと思えます。	—	○
57	ベッドの空きを常に持ち、柔軟に受け入れられるようにしていく必要があると思えます。病院の経営を考えるとベッドの空きは極力抑えたいので、現実的には困難であると考えています。	○	—
58	・急性期病院と在宅の間の療養を担う役割 ・急性期後、在宅復帰が不可能な方の療養を担う役割	○	○
59	地方では医師数が少なく、在支診も少ないので往診、訪問診療に協力することやかかりつけ医との連携を密に行う。	○	○
60	慢性期の患者さんの生活支援も含めた長期的な医療のケア	○	○
61	療養はどうしても入院が長期化してしまうので、ショートステイ的な使い方をしていくのはどうかと思います。3週間病院入院→1週間自宅のような使い方ができれば家に帰る方もでくるのではとも思ったりします。（その方の病状にもよりますが）	—	○
62	在宅の患者さんや介護施設の入所者が、入院医療が必要になったときのスムーズな受け入れが役割の1つとなると思われる。一方、急性期治療後の患者さんを在宅につなげる事も重要な	○	○

No.	事例の内容	介	医
	と思われる。		
63	地域における療養病棟の位置づけは、地域包括ケアシステムにとってなくてはならない物ではないかと考えております。超急性期病院・急性期病院・回復期病院よりお引き受けした患者さんをスムーズに引き受け、速やかに在宅へ返す調整（診療所・介護保険担当者等への連絡・調整）や、療養の継続を行う判断が療養病院にこそできる機能ではないかと思えます。	—	○
64	急性期病院からの受入だけでなく、地域住民の積極的な受け入れ及び訪問診療等の在宅患者への積極的な関わり	—	○
65	在宅診療の対象患者が主治医のオーダーにより、一旦当院の急性期病床へ入院後、退院が延びた場合に療養病床に転床させる。	—	○
66	療養病棟入院基本料Ⅰ（20：1）について患者の重症度、看護必要度が増加しており、現状の看護配置数では運営できない。10：1等の一般病床との違いが無くなりつつあり、現場の負担は大きくなるばかりである。医療区分2・3の割合を80%→60%に下げただけでも、地域包括ケアシステムが円滑になっていくと思う。	—	○
67	一般病棟に代わって療養病棟が医療依存度の高い患者の為にフォローするといった位置付けになるかと思われます。	—	○
68	・急性期や回復期での治療が終了しても医療ニーズの高い患者は決して少なくない。確かに在院期間は長くなりがちであるが、医療費削減を理由に在院期間が長い＝医療費を飲むとレッテルが貼られて病床削除の一番手に挙げられるのは如何か。慢性期でも有料老人ホームや在宅復帰に数多く繋げている事例も多いはず。（療養病棟でも回復期や包括ケア並の機能が発揮できる機関もあると思う）・脳血管疾患や大腿骨頭骨折の地域連携パスで療養だけ加算算定ができないのは如何か。コストに反映されて地域連携パスの活用によって在宅復帰に繋がるケースが増加すれば従事者のモチベーションも上がるし、それこそ医療費削減にも繋がるのではないか。或いは施設入所や在宅に戻った時に退院時に加算を認めるということでも良いのでは。・介護療養型医療施設も、医療法に準じた医師数を配置するとともに療養機能強化型の基準が今年度の改定で整備され、政策的な観点からも必要とされる役割を果たしている。平成29年度末の廃止を撤廃すべき。	○	○
69	急性期病院の大切な機能を守るため、後方支援を行う。在宅・地域の高齢者の慢性期救急を平日、日中は、急性期病院と協力してうけいれていく。	○	○
70	地域完結のシステムは、西多摩地区は療養・精神病床が多くあり受皿として従来は機能していた。1年を通して空床の比率が年々高くなっている。	○	○
71	レスパイト目的の短期入院や、在宅準備のための入院ができる病床。（しかし、その場合、医療区分1該当の可能性が高く、コストの問題は出ると思います。）	—	—
72	各地域の自治体主体での取組や診療報酬の改定が必須と考えます。	—	○
73	幅広い病状の引き受け、患者を選ばない対応等	—	○
74	在宅療養をすすめるという国策において、実際在宅での介護をしてみたが継続出来ないという時に療養病床が対応できるように診療報酬含め一定の実績をつみあげている療養病床に対しての補助が必要になると思います。	—	○
75	地域包括ケアの病棟編成を検討中だが当院の病棟種別を新しく編成し直す意味があまりはつきりしない。現状で充分機能出来たものを壊して地域包括ケアに移行する必要性が見い出せない。連携先の医療機関も地域包括だから連携したいということもないので改定状況をみたい。	—	○
76	療養病床においても地域包括ケアよりのHPと、介護病床よりのHPがある。療養病床から地域包括ケアへの転換を前向きに考えたいが人材確保や施設基準などのハードルが高く思われ、まよところである。	—	○
77	地域包括ケアシステムを構築する必要性が最も高いのは、要介護高齢者である。認知症や要介護高齢者に発症した身体合併症の場合、現体制では救急車を要請したり、在宅診療医を呼ぶことになる。もしも入院が必要となると、受け入れ先を探すのは簡単ではない。三次救急病院・地域医療支援病院・急性期病院では、平均在院日数の短縮を目指しているのが早々に退院させられる。しかし、次の受け皿が見つからない。急性期病院は介護スタッフがおらず、認知症ケアのノウハウも持っていないことが多い。入院期間の長期化は患者にとっても望ましくない。その様な場合、早々に地域療養病床に転院させることにより、ADLを低下させることなく、身体合併症の回復を待つことができる。介護も認知症ケアもできるので、高齢者はスムーズに在宅復帰が可能となる。高齢者の救急や慢性疾患の急性増悪に対し、療養型病床が果たす役割はますます大きくなるだろう。	○	—
78	若い世代が少数になっていくので介護病床による医療の提供は必要。在宅復帰だけでなく老健、特養への移動も在宅復帰としてカウントすべき。	○	—
79	介護療養病床の役割こそが、地域に求められていると思う。理由として要介護4 or 5、在宅困難、看取りの場としての機能が挙げられる。この機能は、現在の介護施設では対応が困難で	○	—

No.	事例の内容	介	医
	あり、病院機能として残っていく事が使命だと思う。		
80	・急性期での治療後退院を目指しリハビリが必要な方・自宅や施設で療養中に肺炎や発熱、脱水、骨折、けがなど急性期よりもリハビリを重視した入院が望ましい方・自宅や施設で療養中の方で、誤嚥予防やADL向上のためのリハビリが必要な方 この様な方を重症にならないよう早期に受け入れる病床の役割	○	—
81	老健、特養で対応できない医療行為がある方の入院相談を多く受けます。しかし、医療行為が重度ではなく、救急病院、医療療養型に入院はできない方なので、今後も介護療養型は必要不可欠です。	○	—
82	ご自宅（在宅医療）と急性期病院の間の橋渡し役と考えています（下記）・急性期治療を終了された患者様のご自宅（or施設）への帰宅が可能な状態に持っていく（リハビリetc）・在宅患者さまの治療（入院含む）及び対応できない場合の急性期病院への転院・紹介etc。地域の方々の健康相談、通所リハビリの場の提供etcを通して地域へ貢献する。	○	○
83	地域包括ケアシステムにおいて、今在宅システムがまだ不十分である以上、療養病床は必要である。また、在宅、施設からの患者に対する入院病床の提供、いわゆるサブアキュートの病床として対応可能である。今後、高齢者の増加に伴い、医療必要度の高い慢性的な疾患が増えることから、療養病床のような機能は必要不可欠である。	—	○
84	療養病床は今後も急性期病床などからの受け皿として必要。その上で、「医療療養」は医療必要度の高い患者、「介護療養」は一定の医療処置が必要であり、かつターミナルケアを必要とする患者の受け皿となるのではないか。	○	○
85	急性期病院からの回復期・慢性期患者の受入において、在宅へのリハビリ、状態のさらなる安定にむけた治療、看取りにいたるまで、多様な役割を地域の実情に合わせて担うべきと考えます。在宅からの受入についても上記のような役割を担うことも想定すべきと考えます。急性期病院や在宅医療、介護施設では担えない患者の受入をしていくことが必要であると思います。診療報酬上においては、在宅復帰、生活リハビリ、看取り等に一定の取組みを認めていただき（加算等）各病院が地域での役割がはたせるような仕組みを望みます。	○	○
86	①重症で医療度が高く、在宅での看護が難しい患者様。②急性期からすぐ在宅への復帰が難しい患者様。③指導、治療、リハビリにより、在宅復帰が可能な患者様。上記①～③に対し、急性期と在宅の橋渡しの役割と考える。	○	○
87	慢性期から終末期を担う高齢者介護の砦として、療養病床の役割はこれからも重要であると考えます。	○	○
88	・病院で死ぬという文化を世の中の人々がもちつづけるならそのまま・当院の特徴で精神科病院で高齢化した患者様をうけいれてくれるところが少ない。	—	○
89	それぞれの地域の中で、患者さんが急性期から在宅医療や介護施設へ移行する前に比較的長期入院する通過地点的な役割を果たしている。	○	○
90	医療療養病床の役割は、高度急性期、急性期、地域包括ケア病床等からの、医療必要度が高く、在宅（居住系含）や施設等で支援が得られにくい方々たちの受け皿機能と考えます。さらに、医療の中間施設として引き続き在宅・生活復帰を目指す方々の支援機能も担います。一方、介護療養病床の役割は、高度急性期、急性期、地域包括ケア病床からの医療必要度は低いが、重度要介護度の身体合併症をもつ認知症やターミナルケアを中心とした方々の療養機能と考えます。また、看取りが中心ならば医師の配置は不要です。日本慢性期医療協会が提唱しているSNWの考え方は、費用をかけずに効率よくサービスを提供できるので優れていると思います。いずれにしても、地域包括ケアシステムの中で、切れ目のない医療介護を提供していく上では、療養病床の位置づけはとても重要であると考えます。	○	○
91	単身・高齢者世帯が今後も増える中で、施設入居を希望する人は多い。また、医療依存度が高く、自宅で介護するのも困難なケースである。そのような患者の受け皿として療養病床の担う役割は大きいと考える。	○	○
92	介護保険制度において、施設で可能な医療があいまいであることが課題と考えられます。医療を実施することは、生活するうえで必要不可欠ですが、特養や老健、GHでの看護配置と医療行為が制限内で出来ないため、有料老人ホームが増えた要因です。医療の住み分けを明確にする上で、施設で医療を無理矢理行うのではなく、医療機関で医療を行うべきと考えます。療養病床は、高齢者の医療と生活を支える場であり、施設は生活の場です。施設で医療を行うべきではなく、その枠組みを見直すことで、療養病床の役割は明確になると考えます。	—	○
93	全ての病床に期限や医療度をはじめとする区分等を設け、枠内に治めようとして、より複雑なシステムを構築しているが、中身は変わっていないように思える。シンプルに長期療養（回復見込み無し）から看取りまでを医療療養・介護療養が担う形で良いのではないのでしょうか。細かなサービスを作る度に、コストが分散して、余計にお金がかかっているように思えます。国もムダなコストを出さず、点数調整のみでいいのでは？	○	○

No.	事例の内容	介	医
94	・療養病床として可能なポストアキュート及びサブアキュート・病を含む重度な長期療養患者の受け入れ・患者へのリハビリテーションの実施・レスパイト機能を含む在宅支援・認知症患者への対応	—	○
95	在宅療養支援のサービスを充実させても、在宅療養が継続できない医療依存度の高い患者は出てくる。その為、療養病床は、必要だと考える。	○	○
96	医療療養病床のあり方（生き残る為の対応策、病床再編など）を考えているところです。2016年の診療報酬改定の最新動向に合わせて喫緊の課題とはらはらしています。地域のニーズに添った病床のあり方模索中です。	—	○
97	医療ニーズの高い重度患者の看取りやターミナルケアを中心とした在宅療養や介護施設で対応困難な方の受入施設。	—	○
98	急性期治療後の医療依存度の高い患者の受け入れや、在宅復帰に必要な環境調整のための期間を担う役割があると考えます。	—	○
99	これからの療養病床は、急性期医療から在宅医療への移行がスムーズに行われるための、医療を提供する機能が求められると思います。また、在宅患者が入院医療を必要になったときは、患者の状況により受け入れできる機能を備えた療養病床を築くことが、地域包括ケアシステムにおける役割と考えます。このような役割を担い質のある医療提供できる療養病床は、急性期病床と在宅療養の中間に位置付けられると考えます。	○	○
100	医療を必要とする患者に対して在宅への橋渡的存在。特にレスパイトケアにおいて在宅での介護の限界時における受入先	○	○
101	高齢化社会において、療養病床は、今後更に必要な病床である。在宅医療へのシフトが行われようとしているが、在宅での看護が十分にできるか疑問である。診療報酬削減で、病院（療養病床）は、苦境にある。社会保障システムや、国財政を徹底して見直し、国民が安心できる環境を構築してほしい。	—	○
102	急性期医療から慢性期へと経過した患者で医療処置をしながら在宅退院が困難な患者を受け入れ、在宅に変えるお手伝いを行う。不可能な患者に対しては経過を追って支援していく。	—	○
103	ポストアキュート、サブアキュート、レスパイト入院、看取り機能を持った病院	—	○
104	介護療養病床は、①在宅生活を送られている要介護認定者の緊急時の受入（治療）②BPSDを有する認知症高齢者の受入（認知症ケア）③人生の最終段階の医療（看取りケア）④通過型・往復型のリハビリテーション等、幅広くかつ円滑に対応できる施設であり、地域包括ケアシステムの構築に必要不可欠と考えている。例えばA市の現状では、地域包括ケア病棟は今年度2病院で1病棟ずつ開設されたが、地域包括ケア病棟の機能の1つであるサブアキュートが機能していない状況で、緊急時の入院に時間を要してしまう現状にある。介護療養病床は地域のかかりつけ医と連携し円滑な受入ができる強みを持っている。	○	—
105	医療依存度が高い方で在宅療養をされる方を対象として、介護者のレスパイトや介護者不在の時に柔軟に受け入れが出来る施設として必要と思われます。特に現行制度の中では、老健施設の数のうえでも、体制のうえでも受け入れの難しい利用者があるため療養病床の機能を充実させたいと、受け入れの間口を広げていけると良いと思います。	○	○
106	急性期、亜急性期をすぎた方の受け皿として、介護施設、自宅へ行けない方の受け皿として、地域に必要な病床と考える	○	○
107	在宅復帰の役割を担う。	—	○
108	医療におけるニッチな部分をになっている状況。老々介護、自宅に対応できない患者様の受入れ等、うば捨て山一歩手前状況です。	—	○
109	当院は透析に特化した病院で、週3回、外来通院している透析患者が多くいる。高齢化の影響で3回/weekの通院が困難な患者がかなり増えてきた。通院困難が理由の入院も受け入れられるようにすべき。	—	○
110	急性期治療終了後、在宅・施設では対応困難あるいは不可能な医療行為を必要とする患者の受皿。	—	○
111	病診連携・病病連携を通じて在宅医療を推進すると共に、医療処置が継続的に必要な患者や在宅での「みとり」が困難な患者の入院治療において大きな役割を担っている。	○	○
112	・在宅退院が困難な患者を対象とする役割、医療的な要素が高いとどうしても老健や在宅受け入れは困難になる。薬価の問題等 ・家族の認識も変えていく必要がある。どうしても病院の方が安心だからといわれ、退院調整が困難。入院日数が増えると負担費用も増加するなどにならないと、いつまでも入院している方がいる。	—	○
113	最後の受け皿 高齢社会において、高齢者をかかえる家族の救い手	○	○
114	医療的なニーズのある方の多くが行き先に困られています。中長期的に療養できる病床は、家族介護の難しさから必要性が高いと考えます。	○	○

No.	事例の内容	介	医
115	・慢性疾患をもつ重度障害者（精神も含む）や要介護者（3-5）を専門的ケアのもとサポートする ・タイムリーなうけ入れ体制をとって地域と連携していく	○	—
116	常時医療ケアが必要な方が安心して過ごすことができる、医療・福祉・介護の提供が可能な多機能（柔軟な）病床であると考えます。	—	—
117	ターミナル期から看取りへ今高齢化の中で、介護療養型の病院での役割と使命が増々はっきりして来ました。地域の医療介護の中心的な役割として今後も必要で有ると思います。	○	—
118	地域包括ケアシステムについては、制度が1人歩きしている部分を感じられる。現状療養病床の受皿としての在宅もなかなか連携が進まない部分もある。	○	○
119	3次救急からの受入について、ダイレクトで受入れる必要性あり。療養病床の使命として、3次救急施設が重症新入院を受入れる責務があるとするなら、医療療養として速やかに受入れる責務がある。※他の地域に流れない、流れさせない事が重要。	○	○
120	地域と、在宅、急性期とのパイプになりたい。昔からの、地域ニーズにこたえたい。	○	○
121	居宅では対応できない医療療養対象者の長期入院可能施設。しかし、医療制度上おそらく制約が多くなり、変質していくことになる。	—	○
122	①医療区分の低い方でも、在宅、福祉サービスの利用が難しい場合もあります。その場合は、医療区分にとらわれずゆっくり療養できる環境を必要とするのではないのでしょうか。②専門的な治療を要する患者の入院対応に苦慮しているが、今後はそのような場合も対応できるよう、レベルを上げないといけないと考えます。	—	○
123	回復期リハ病棟の対象にならない急性期後ケアの必要な患者や慢性期の患者にリハニーズがあると感じています。	—	○
124	75歳以上の高齢者が増えることにより、多くの疾患と愁訴を抱えた要支援・要介護の高齢者を対象とする医療需要が急激に増加する。高齢者は傷病のみに着目して治療目的を定めるのではなく、全体の病態や患者の生活などを総合的に考慮した治療目標を設定して対処することが必要であるため、従来型の急性期医療体制ではなく、療養病床が担うべきだと考える。	—	○
125	医療必要度の高い患者さまだけでなく、社会背景が原因で在宅困難な患者さまも含めて、受入れ対応していける制度、しくみ作りが必要。	—	○
126	急性期病院からの受け皿となるため、人工呼吸器を装着した患者であっても病態が安定していれば受け入れる体制を整える。	—	○
127	地域における高齢者の方々の生活常態維持支援（医療、介護、QOL補助等々）	—	○
128	患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や医療と介護の間の連携強化を通じて、より効果的なサービス提供が必要と考えます。	—	○
129	在宅患者（訪問診療中）の軽・中度症状の受皿、急性期（亜急性）病院よりの回復機能。外来診療機能の充実（急性期病院外来集中の緩和）。施設系の要医療患者の受入れ。在宅・施設入所困難な医療を要する患者の受入れ（医療必要度の多い患者）	—	○
130	長期療養の患者以外のある程度医療密度の高い患者の受入体制が必要。地域包括ケア病棟あるいは在支病の機能を併せ持つ必要がある。	—	○
131	療養病床に流れてくる患者様がスムーズに受け入れられる体制やシステムが必要と思われる。※介護療養病棟施設で、在宅復帰を目指す患者を積極的に受け入れると諸問題を解決していかななくてはならないので無理がある	○	—
132	急性期から慢性期、在宅から急性期慢性期への治療の流れの中で、慢性期医療を行う病床は今後も必要と考えます。在宅医療は診療所が主となって担っていますが、患者急変時の受け入れは急性期病床を持つ病院です。（受け入れ可能かどうかは個々の病院の体制によると思いますが）患者の高齢化により急性期から直接在宅への移行が難しい中、慢性期を扱う療養病床を持つ病院は重要だと思います。患者の実情や地域に合った病床の在り方を検討するべきだと思います。	○	—
133	医療と介護と間に立ち、橋渡し役を担うべきであると考えています。	—	○
134	在宅での療養に対する不安の解消や家族の負担軽減	—	○
135	・在宅医療をされているクリニックの先生方がバックベッドとして利用してもらいたい。・療養病床であっても在宅復帰に向けたリハビリを実施し、在支病としての役割をはたしていく。	—	○
136	post acute と subacute の役割をそれぞれの地域の実情に合わせてどう担っていくかだと思いますが、特に在宅系との良好な連携をつくる事が大切ですが、その難しさも実感しています。又年齢に関係なく長期医療の必要な方、在宅看取りの困難な方の対応も重要だと思います。	○	○
137	在宅に帰れない重度の患者の受入れとターミナルケア	○	—
138	在宅生活を支える面で療養病床は訪問看護、訪問介護と共にとても重要な立場にあると思います。在宅で療養生活を継続するためには家族さん（又本人さん）の不安を感じているところを	○	○

No.	事例の内容	介	医
	相談にて解消してあげることと急変時の対応が十分にできる（入院等）ということかと思えます。時々入院するけれど基本は在宅で生活できているという形がとれればと考えています。		
139	現実的に、自宅介護が難しい方…とはいえ施設入居が難しい方もおられる。その患者さんの療養の場がない現状がある。医療管理かできる高齢者アパート（サ高住）もあるがまだまだ対応できる施設は少ない。	○	○
140	患者様がどこで療養生活を送りたいと思っているのか、この事が大切であり、患者家族様の気持ちもふまえ、今後の療養生活を支える必要があると思えます。	○	○
141	在宅療養に係る物理的負担（介護する家族）。経済的負担に耐えられない方々のために療養病床は必要です。	○	○
142	地域による違いがあると思うが、療養病床の現状としては施設待機、終の棲家となり長期入院がやむを得ずといったところ。受け入れが整備されないと在宅復帰型も難しく、また高齢者の負担能力にも影響される。下流老人といった言葉が出ているようにサ高住等敷居が高い。	—	○
143	・在宅復帰への橋わたし役・在宅からの一時預り役・リハビリテーション施術による運動機能の補完による在宅復帰までのモラトリアム機能等	—	○
144	在宅ケアでは対応しきれない患者への医療提供	—	○
145	・急性期病院からの受け入れ（在宅へ復帰するまで）・医療管理が必要で在宅では管理できない患者の受け入れ。	○	○
146	現実の問題として必要と思えます。独居、寝たきりの老人は多く、借家の集合住宅等、貸し主も困っているケースも多い。疾患を抱えた介護難民の受け皿は必要	○	○
147	急性期病院から直接自宅へ帰ることが難しい方を受け入れ、在宅復帰に向けての支援を行う。支援の充実を図っていく。もの忘れ外来において、できるだけ在宅介護が続けられるよう支援を行う。（社会資源の紹介、活用、服薬調整のための短期入院、レスパイト入院の受入など）	○	○
148	実際の臨床の場にいると医療処置などが多く、自宅、施設では対応が困難で療養病床でないに対応が困難な患者様も多くおられます。	○	○
149	在宅復帰に向けたリハビリや生活環境（サービス利用等）を整えることを地域の関係者と連携し、入院中に行うこと。	○	○
150	在宅へ向けた地域包括ケアシステムを構築するにあたり当院の医療病棟では退院の出来ない重症患者の比率が高いことが課題である。療養病床として重症をみていく役割をはたしていきたいし評価してもらいたい。	—	○
151	在宅への復帰のワンステップの場として、地域との連携に力を入れ、”療養から在宅へ”を目標に努力しています。独居老人が多くスムーズです。退院へ結びつかない中でのケアシステムの構築に前向きに取り組んでいます。	—	○
152	在宅にあっても医療の多い気管切開患者等のレスパイト入院等を受ける役割がある。	—	○
153	在宅復帰が困難で医療資源を要する症状の改善なき方の受け皿として重要な位置づけと考えられる（人工呼吸器、ターミナル、在宅療養が困難な方）	—	○
154	従前の様な長期療養病床ではなく、急性期から在宅への橋渡しの機能としての位置づけとなるものと認識している。	○	○
155	在宅医療、介護が困難な方にとって療養病床はなくてはならない病床だと思います。地域包括ケアシステムだけで支えられる場合ばかりでないので、地域には療養病床が大事な役割を果たすと思えます。	○	○
156	急性期病院の後方支援病院としての役割が大きいと考える。	—	○
157	医療的処置を有する方に対するレスパイトケア。高齢者の慢性疾患による急性増悪時の入院受け入れ。	○	○
158	在宅を希望される人たちも入院を希望される人もその身体的状態、精神的状態、経済的な事情、家族関係等、様々な要因によって、その時に必要なケアが必要な場所で受ける事ができるよう、療養病床も、必要な時期に、役割を分担できればよいと思っています。人それぞれちがうので、決めてしまうのは適切ではないと思っています。	—	○
159	在宅は無理、施設も受けてもらえない、医療区分が低く医療療養も受けてもらえない。という「医療」が必要な介護難民の受け皿。その意味では今回設けられた「療養機能強化型」介護病床に入所している方がまさに該当すると思えます。	○	—
160	地域的な差異が大きく、都市における療養型のベットの必要性和、中山間地域における必要性は同じ尺度では計れない。中山間地域では、住みなれた地域で住みつづけたくても住めない理由があります。療養病床は、介護する人がいなくなったり、利用出来る社会資源がない場合の住み家となっています。しかし、その住み家でよりその人らしく生きるための環境を整え、提供することが、療養病床が存在する意味になると思えます。	○	○
161	看取りの場として位置づけられるべきと思われる。夜間Nsのいない特養では看取りは大変困難	—	○

No.	事例の内容	介	医
	と思われるので。		
162	当院においても、日に日に重度化した患者の対応に追われる日々が続いています。投薬、注射の量のみを取っても10年前とは比する事ができない量になり特に看ゴの業務量が増す一方です。	○	○
163	当院の地域での役割は”精一杯在宅で支援していたが、今回の入院でのレベル低下、医療依存度の高さ、家族の介護力、地域の資源を考慮しても在宅困難となったので受け入れしてもらえないだろうか…”という様な、人生のターミナルの方を受け入れています。施設で看取れる方もいらっしゃると思いますが、病院でないと過ごせない方もいらっしゃるの、最終的な受け入れ先と思っています。疾患、家族状況、限られた地域資源、色々な事が複雑にからみあつての在宅困難事例を受入れています。	○	○
164	特養、在宅では担えない多くの患者がいます。医療行為を積極的に行っていくわけではないが、重要な役割を担っていると思います。終末期において、まだまだ、学んだり教育そしてをしていかねばならないし、特化できる努力をしていかねばならないと思います。	○	—
165	在宅療養につながるための医院支援の充実。在宅療養者のレスパイト入院	○	○
166	社会的要因により在宅がむずかしく医療ケアの濃い患者の紹介が大半です。(有料老人ホーム・特養・老健いずれにも断わられての紹介)	○	○
167	医療療養、介護療養両方共社会的入院と位置付けられる方が多くなっているが現場では、受入困難な方々ばかりである。受入れとしては療養病棟が現時点では必要であると思う。	○	○
168	高齢者の増加の為、地域包括ケアシステムの構築は必須となる。地域、社会福祉法人などとの連携、情報支援ネットワークの構築をして、高齢者の生活実態に合わせて必要な医療が必要時に提供出来る様に医療機関として受け入れ体制の強化と地域生活への早期復帰を目指す事が必要。医療的処置の必要性、介護の必要性、リハビリの必要性等を明確にし、医療→介護→在宅の流れを確立する事が役割と考える。	—	○
169	核家族、高齢者世帯が増え医療入院の入院日数短期化と共に療養病床の需要はあるのに、全体的な医療費、福祉費削減の為に単純にベッドを減らすというのはどうかと思います。大切な家族を預けられる方々と面談すると、高額な利用料を払ってでも利用したいというそれなりの理由が皆様にはあります。経営の為に介護度の高い方優先ですが、患者様一人一人の背景をみるとそれだけでは決められない。介護度5の人より1の人の方がより介助者の年をとっていることは多々あります。基本料(基準単価)は、オムツ利用、投薬を受けている利用者がほとんどなのでもっと見直してほしいと思います。介護度の低い患者で在宅でみれないことの一因に上がるのが排泄介助だと言われますので…。	○	—
170	当院は医療療養病床を有するが、医療区分1の患者は5%未満である。他は吸引やCVによる輸液管理等の医療行為を必要とする患者は大半である。区分1の患者は病状によって、他機関との連携により在宅・施設へと他退院が可能ではあるが、現実的には胃ろうなどでなかなか在宅復帰は難しい。今後、療養型病床は医療の必要な患者を受け入れることが役割であり、胃ろうの患者などは施設で受け入れていくべきだと感じている。	—	○
171	在宅患者、有料老人ホーム等の在宅型施設への後方支援。(レスパイト入院や医療介入が必要な時の日中、夜間、休日問わず緊急的な対応)	—	○
172	療養病棟(25対1)で医療区分が低い患者さんを在宅等に移行することが課題であるが、訪問診療、訪問看護、訪問介護等で24時間対応できない患者さんも多く、老健、特養、グループホーム等の整備が急務である。	—	○
173	医療だけでなく、介護、福祉、生活支援など広範囲取得ができるのは療養病院だと思います。単一機能ばかり求められる今の流れは本来の主旨に逆行しているように感じます。	—	○
174	入院時の初期加算がないと受け入れ時の諸検査が実施しがたく受け入れが難しい。	○	○
175	・急性期での治療後、自宅で自立した生活がおくれる様な状態まで支援する病棟 ・レスパイト入院の受け入れ	—	○
176	・在宅復帰率の向上・リハビリテーションの充実・在院日数の短縮	○	○
177	病院から在宅への中間地点であり、在宅をみすえての訓練、調整の場所。現在も立場は同じであるが、1人の患者さんが自分が帰るべき場所は施設ではなく住みなれた地域でありそこをいかにスムーズに帰すための場所と考える為、その役割は大きいものと考えます。	○	○
178	・気管切開や人工呼吸、経管栄養、中心静脈栄養など重度の患者様、急性期治療では十分回復しない治療の患者様などの治療及びターミナルケアを急性期医療から継続して医療を提供する。・在宅医療のサポート(自宅・施設)・かかりつけ医との連携	—	○
179	”医療”と”介護”の橋渡し役。療養病床に入院されている患者に医療福祉介護ともに今後も支援が必要と思われる。療養病床を退院し在宅もしくは高齢者等の入所施設での生活となった場合でもそれぞれの従事者が協力して患者を支援、対応できるような橋渡し(流れ)を作ること	—	○

No.	事例の内容	介	医
	を意識して頂きたい。		
180	・医療必要度の高い患者様の長期療養・地域の神経難病患者様への長期的支援及び介護サービス提供者への神経疾患患者様への助言・協力	—	○
181	地域のニーズに合わせて在宅と施設、医療機関の中から最適の場と選択（身体・病状によって変化する）ができる様療養病棟は、急性期にも対応しながら生活を支える幅広い機態を有し、密接に深く地域と関わっていく必要があると考えます。	○	○
182	要介護度は低い、一定の医療処置を必要とする患者、急性増悪した在宅患者、家族の協力が得られない等で在宅療養が困難な患者などの受け皿として、療養病床は今後も必要と考えている。	○	○
183	在宅患者は急病や体調不良時に三次救急病院や急性期病院に入院となりますが、急性期療養が一段落したが直ぐに在宅医療に移行するにはリスクを伴う患者や身体機能回復の前に一度リハビリテーションを実施して在宅へ移行する間の橋渡しの医療を担うものとして考えています。	○	—
184	・在宅療養者が急変したり重症化した場合、爾後再び在宅「復帰」は困難になるケースを多々経験しています。これら患者の療養先は先張り療養病床しかありません。当地での当院での依存度は高いと感じています。・3次救急からの依頼も受け皿機能を果しています。レスピレーター装着のままの患者の受け入れ等積極的に。重症化（余病）した透析患者も然りです。	○	○
185	・医療ニーズの高い患者の受け入れ・看取りの場所・レスパイト入院の受入れ	○	○
186	医療行為が必要な方、施設対応困難な患者の受け入れ先	○	○
187	1. 医療ニーズの高い中重度の患者への対応、看取り及びターミナルケア等、長期療養を担い、喀痰吸引、経管栄養等の医療処置を実施する機能を有する事、重篤な身体疾患を有する患者、身体合併症を有する認知症高齢者の受け皿を担う。	○	○
188	・医療区分の3及2の重症患者の受け入れ。・質の高いリハビリテーションの提供（認知症リハビリテーションも含む）・認知症患者の受け入れ・急性期病院等の後方支援	○	○
189	高齢、少子化が進む中で療養病床は必要であると思う。（子、孫が在宅で親の療養ができる環境ができるか）①経済面②精神面	○	○
190	・医療区分2、3の患者様の受け入れ・在宅復帰（在宅支援）・リハビリテーション・ターミナルケアを含めた緩和ケア	—	○
191	B 医療圏では、人口密度が低く医療資源も乏しい状況です。その為、在宅医療を十分に提供できるとはいい難しく、今後とも、高齢者医療にとっては、重要な役割を想い続けると考えられます。	—	○
192	医療的な措置が必要であり、長期の療養が必要な患者は今後も存在すると思われる。	○	○
193	・高齢者の慢性期医療（その中での急性変化）・慢性期を中心としたリハビリテーション・終末期医療・在宅医療の支援・認知症の治療・慢性期からの継続医療 上記のことから地域包括ケアシステムの中心は慢性期医療にあると考える。	—	○
194	今後超高齢化が急速に進む中で、高齢者の患者の数は、増々増加し在宅では限界があると思われる。医療を必要とし、長期療養が必要な人を在宅で看るとなると家族の負担となり家庭の崩壊をきたしかねない。従い医療を必要とする患者を集約的に治療介護を行った方が在宅での事故、事件（孤独死）等を含む、社会的問題の減少にもつながるのではないのでしょうか。	—	○
195	医療区分2、3対象者の療養支援	—	○
196	急性期治療を終えたばかりの患者をすみやかに受入れられる役割が今後益々求められると思う。その為には医療の質はもちろん人材の育成を図り、質の良い人材の確保も重要となるのではないかと。又、地域との連携を図り、在宅支援に積極的に取り組むためにも看護師配置人員の見直しは急務であると考え。これまでの療養病床のイメージを変えていくためにも質を求めていくことが必要。	○	○
197	・地域の方々が受ける医療が滞らないようにするために、慢性期治療力を高め、救急・急性期医療や回復期医療と連携をとり受入れて、受け入れ後は、療養者本人のより適切な環境を考えて、在宅医療や介護、住宅系施設等ともチームを組み、地域の方々を支えられる働きができるように努める。・現状では在宅や介護施設では受け入れが難しいと思われる療養者であっても、在宅や介護施設での療養を目標に課題を抽出して、その課題の改善に向けて取り組む。	—	—

(2) 「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件等」についてのご意見

No.	事例の内容	施設 サービス費
1	特養、有料老人ホーム等にて手に余る重症化した医療を要する高齢者が年々増加しているのを膚で感じます。介護療養(要医療)の役目を行使し特養や有床診療所の役目は今後増々増大すると思います。	強化型(診)
2	非現実的です。	他(診)
3	縛りが多すぎる。	強化型(診)
4	一般に有床診療所においては機能強化型はハードルが高すぎるように思います。	強化型(診)
5	改定内容決定から施行までの期間が短すぎて対応が難しい。	A
6	介護療養病床は必要だと考えます。私どもの地域では若者が都会に出て、老老介護・認知介護が増加しており、豪雪地区という事も重なり、雪片付けの問題をはじめ、在宅での介護は難しい患者様も多い状況であります。また、現在入院頂いている患者様でも、介護施設では入居が難しい事例が多い状況にあります。患者様と病院経営、どちらにも良い方向に導いてもらわないと、「良質な慢性期医療」の実現は難しいのではないかと考えます。	他(病院)
7	2000年に介護保険制度創設以降、いわゆる社会的入院者は介護療養型医療施設である当院に今までほとんどありません。93床の病院で、介護保険創設以前は年間20名弱(月1~2名程度)だった看取り患者が今では年間50~60名で週に1名程度となっております。(内容は老衰4割、肺炎など感染症3割、ガン2割、その他脳卒中、心不全1割)医療保険における療養病床より少ない人数で同等の看取りを行っています。救急病院、有床診療所、老健、特養から入院依頼があります。地域医療のなかで確実にニーズがあり、財政上も効率がよいのに縦割行政の面子のために廃止するのは道理に合っているものとは思えません。スプリングラー補助金申請も初年度から却下され続けているのも残念なことです。	A
8	介護療養型病院は在宅困難の患者様や医療機関からの紹介患者様で、看取りを含め医療依存度も高い患者様が入院されてきます。高齢者が多くなり、医療と介護の隔たりの中で、経管栄養の際に医療入院では拘束ができませんが介護保険では拘束ができません。そのために経管栄養の患者様にはかなりの見守りによる人的パワーが必要ですし、場合によっては同様なケースの急性期からの患者様の受け入れにも対応が困難な場合があります。一部この部分だけでも、医療入院と同じミトン使用などの要件が追加・緩和されればと考えます。また、たくさん書類準備や実態調査などの手続きあって入院されても、短期間に死亡退院されるケースがあります。そのような場合への人件費等も考慮していただき、点数による加算等の検討も願いたい。	B
9	・重篤な身体疾患を有する患者の受け入れに関して疾患の重症度が高すぎる。現行制度の体制基準はこのような状態像の患者受け入れを想定したものではないと考える。よって、設備構造上、人員体制上、また報酬上(薬剤、検査等含む)の観点から非常に困難である。・ターミナルケア、リハビリ、地域貢献の各要件の具体的なガイドラインを提示していただきたい。現在のところ、明確な基準や考え方が示されておらず、機関の自主的な判断で実施している実情がある。	B
10	当院のような小規模病院では各割合を維持することが難しいです。	他(病院)
11	重篤な身体疾患はほとんどいないです。認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲb以上しか該当しません。	B
12	少し中途半端な制度であるように思われます。	A
13	今改定への対応は基より、介護療養型医療施設の存在意義をアピールすべく院内各部門一体となって取り組んできました。療養機能強化型Aを取得して地域包括ケアシステムの一部を担っているつもりです。当院のみならず療養機能強化型Aを取得した医療機関も同様のはずです。平成30年度以降も介護療養型医療改定を存続させるべきです。	A
14	「重篤な身体疾患を有する者」の条件は通常、介護保険で入院することは想定できない状態の患者であると思います。	A
15	地域に貢献する活動については、どのような活動が地域貢献活動に該当するのかが明確であるとは感じていません。又、「療養機能強化型介護療養型医療施設」だからできる又は、だからこそできる活動も考えていく必要もあるのではないかと思います。	A
16	・作業療法士を系列の「老健」から異動させれば、算定要件が全て満たされるのだが、果たしてその事が患者さんに必要なことなのでしょうか。・リハビリを行えば「生活レベル」が上がるとは考えられない。むしろ患者、家族にとって、不自然な結果をもたらすのでは	他(病院)

No.	事例の内容	施設 サービス費
	ないでしょうか。・当院では当面「生活機能を維持、改善するリハビリテーション」は行わず、算定する気はありません。	
17	生活機能を維持改善するリハビリテーションにおける作業療法士の配置要件が明確でない。	B
18	条件が厳しく感じます。	他（病院）
19	「重篤な身体疾患を有する者」の基準は介護療養病棟の人員体制（介護報酬）で看られる患者病態ではない。	A
20	実際にお口から食べて最後を安楽に向かえることは難しい。肺炎となり苦痛を与えてしまうことになってしまう。本当に安楽な最期に配慮していただき、医療行為の必要性和加算の検討をおねがいしたいと思います。	A
21	ターミナル期のとらえ方、期間に迷いがある。身体合併症を有する認知症高齢者で喀痰吸引、経管栄養を実施している寝たきり状態（C2）の患者が半数以上おり、当院での看取りを希望される方が大部分であり、その希望に添えるようケアしていても医師個人の判断によりターミナルケア加算の算定開始が決定される。意思に対して、個人判断だけでなくもう少し明確なとらえ方ができる指針を出してほしい。	B
22	診療の結果、喀痰吸引、経管栄養をはずす成果をあげているのにそのような患者（吸引、経管を必要とする患者）が増えれば、点数が上がることに矛盾を感じます。医療の質の向上にはつながらないと思います。	他（病院）
23	・介護療養病床では死亡退院率が高く、ターミナルケアも実際に行っているが、医師がターミナルと判断される前に亡くなる患者様も多い現状である。また、介護療養病床は人生の最終段階の方ばかりが入院される訳ではなく、リハビリテーションにて在宅復帰を目指す方、BPSDを有する認知症患者なども多く入院されているため、療養機能強化型Aの算定要件である10%について厳しい値と感じている（算定要件は満たしているが）。・在宅復帰については現状の在宅復帰支援機能加算では死亡退院者の数も退院者数に含まれているため、死亡退院者が母数に入ってしまうと、当然在宅復帰率の割合は低値になってしまうため、在宅復帰支援を積極的に行っても数字としては表れず報酬も得られにくい現状にある。	A
24	重篤な身体疾患の基準としてNYHAやHugh-Jones等があげられているが、そもそもADL全介助で自発的に動ける方が少なく、判定する基準として現実にはそっていないと思った。	A
25	喀痰吸引、経管栄養などの医療処置には対応できる体制にはあるが、重篤な身体疾患に対しては、人員配置、設備の面から受け入れが難しいと考える。	他（病院）
26	新設された療養機能強化型（A-B）については、病院単位ではなく、特に病床の多い病院には、病棟単位での許可をお願いしたい。	B
27	算定要件を満たす患者を抽出するシステムがなく、時間を要する。DPCコードの記載必要性に対する疑問	B
28	医療必要度の高い要介護高齢者（吸引、経管栄養等）やターミナルケアの実施割合等が要件化されたが、改定前より低い単位数となり重症患者に対応する人件費や医療コスト（点滴、吸入、O2等）等に見合わない現状です。人員体制を整えることも厳しい現状であり、医療ニーズの高い患者さんの受入れを行うかたわら、地域貢献活動を実施することは難しく、患者サービスにしわ寄せがくるのではと不安を感じています。ターミナルは割合ではなく加算としていただきたい。	他（病院）
29	内科的重症者のみを算定要件にあらっている。精神科の重症ケア者が対象にないのは不平等と感じる	他（病院）
30	療養型病院としての機能の分化が国（行政）としてもはっきりして来ており医療＋介護の必要な方の増加が在宅での介助する方にも及ぶという大変厳しい高齢化社会が生んだ状況になってまいりました。療養機能強化型を選び推進している当院も前年の4月より患者様の重症化して来た入院受入の状況でターミナルや看取りの方が増えて来ております。国の方針ではひたすら在宅へとのことですがもし自宅へ戻られても介助する方がおらず又、その方が要介助のような家庭状況も無視できません。その受け皿としての療養型病院が必要で有ると考えます。医療はもちろんですが介護療養型の行く先も十分に選議して頂きたいと存じます。全ての患者様とご家族が安心して生きて行く上で大変重度な役割を我々慢性期の病院や施設は信託されていると自負します。	A
31	時期により、多くなったり少なくなったりするがほぼみたされている。	A
32	重篤な身体疾患を有する患者の算定要件について、現実的には重篤であれば様々な治療が	他（病院）

No.	事例の内容	施設 サービス費
	必要となり医療の要素が増えてしまう為一般病棟に転棟しているケースが多い。また重篤な状態の患者を介護療養病棟で対応する場合には比較的早期に死亡退院に至るケースが多い。以上から、現状では常時要件となる割合まで患者を集めることが困難である。	
33	地域に貢献する活動は、他の要件に該当する利用者には無意味（参加不可）の状態であるので外していただきたい。	A
34	療養機能強化型Aの算定要件である”地域に貢献する活動”の必要について違和感を感じる。重篤者・認知症・ターミナルケア等の患者割合数を高めることとの関連性が不明である。	A
35	当院は介護療養病床（介護保険41床）の他に医療療養病床（医療保険17床）を併設しているため重篤な身体疾患を有する方は医療療養病床優先になってしまうため、介護病床単体では算定基準を満たす事が困難な状況である。	他（病院）
36	①生活機能維持改善するリハビリテーションを行う要員に看護師のみでも可能にしてほしい。何故なら現在当院には理学療法士、作業療法士の雇用はなく簡易リハビリを医師指導下に看護師が行っているため。②地域に貢献する活動として介護療養病棟が地域に存在する事そのものが地域貢献に値するものと思います。	A
37	・現在の算定要件が厳しく強化型を算定することはハードルが高い。・算定要件に該当する患者を集めることが困難・重篤な身体疾患等の患者が多くなると看護要員等の人材を増員しなければむづかしい（看護要員の研修等が必要）	他（病院）
38	「ターミナル」の定義についての明確化	A
39	強化型Aで重症度を求めているにも関わらず生活機能を維持するリハビリが必要な患者も必要でその割合が難しい事もある。両極端な患者の援助という事で忙しさは増して行く中で終末期援助をどう行っていくかが現在の課題	A
40	・ターミナルケアの定義を明確にして頂きたい。（計画や必要帳票まで）・長期入院患者の多くが退院が見込めず、必要要件の割合確保の調整が困難。人員配置上も、重度者を多く受け入れられず、介護報酬もマイナス改定によりこれ以上の手厚い介護経営は困難。	他（病院）
41	当院の夜勤体制はNs1名、介護士1名の2人夜勤のため重篤な身体疾患を有したり頻回な喀痰吸引等が必要な患者が多くなるとNsに身体的・精神的負担がかなりかかり離職の原因となる。介護士は投薬や喀痰吸引等の医療行為は一切行っていないため、重傷者がいる時はNsは休憩が取れない事もある。（Ns2名介護士1名の3人体制を整備中）また、現在入院中の患者の多くが在宅への退院が困難であり当院で最期を迎えたいと望まれる方が多い（御家族も含めて）他の介護施設に入所していても状態が悪化した時にすぐに対応してもらえるからと当院への入所を希望される方もいる。療養機能強化型に移行できれば良いが、地域の方へのニーズを考えると難しい。	他（病院）
42	ターミナルケアの書面による通知による家族の戸惑いに懸念を抱く	他（病院）
43	・小規模なケアミックス病院では人員の費用対効果が少ない。・地域貢献の定義が、住民を集めて何かしら行うことに片寄っている。地域によって出来ることや住民の要望は様々であり、地味な取組も認めてほしい。（救急病院や災害時の救護病院としての活動やそれに対する体制作りにも人的・経費的な負担は大きい地域貢献として要件とはならないのか？）	他（病院）
44	地域性もあるのですが（独居の方が多）在宅へ復帰の方向で進めていくと、受皿としての機能が現段階ではありません。医療処置、特に今回の吸引の要件が強化型で入っていますが特養等へ転所の方向で動いても受入困難な状況。経管栄養も同様で、経鼻（マーゲンチューブの方は）困難。胃ろうなら療養型から次の受皿がありません。4月からターミナルケアにとりくんでおりますが「その人らしく」よりよいケアで最後をと従来型個室の算定要件を考慮していただけないでしょうか。	A
45	当院は、B市の奥地にあります。地域の方は元々炭鉱に集まってきた方が多く生活の基盤があるのは自営（農業）ぐらいです。つまり、動ける多くの方は炭鉱閉山のちに少し離れた地域に移住ないし勤務されております。生活水準も低い方が多いです。アクセスに関して以前は鉄道が通っていたのですが廃線となり、現在はバスが数本あるぐらいです。高齢化が進行しております。当院は介護療養病床36床、医療療養病床12床、緊急病床2床あります。現在、介護病床廃止方針が徐々に浸透し、介護病床への転院を好まれない傾向にあり医療療養病床の患者さんが増えてきました。長期入院患者も多く、高齢者で医療に加え介護がほぼ必要なのですが、経済的な問題もあり介護病床あるいは在宅への移行も望まれないことも多々あります。特に、医療保護受給者、障害認定者に関しては言うまでもありません。医療提供に関してですが、例えば肺炎、心不全といった治療を行っても、必ずしも医療区分2の算定条件を満たすことができないことも多く、認知症があったりとそ	他（病院）

No.	事例の内容	施設 サービス費
	<p>他の併存疾患あるいはADLにより手がかかることが多くなります。それでもなお医療区分1としても治療を行っております。さらに入院加療を行い、その疾患を軽快させたとしても高齢によりADLが低下し、帰宅できない患者さんも多くいます。帰宅できないとは家族の受け入れができないということです。つまり老夫婦世帯、独居世帯が多く、御家族も日中は仕事で居ません。このため在宅介護力はほぼないと思われず。経済的に余裕のある御家庭なら施設検討となるのでしょうかが稀です。また、人口が少ないことからひいては介護人材.もちろん看護人材にも乏しく、無理に集めようとするれば、『他人のために』という資質に問題が出てきます。これだけ高齢者が多いにもかかわらず、当地に介護系施設等の新設もないことは経済、人材、今後の人口減少といったそれらの問題がわかっているからだろうと思います。機能強化型といいますが.近所に連携できる急性期、回復期の病院が多く、入居施設も多く、介護にかかわる人材も多く、ある程度の経済力のある患者さん(家族)がいるような都会のお話であって、当院のように限られた人員の中で、行き場のない患者さんが多く、癌もあり、看取りもあり、急変すれば診療所の一般病床ともさほど変わらない程度の医療を介護療養病床、医療療養病床で行っている私共にとっては、何が強化なのかよくわかりません。</p>	
46	<p>特養のように社会的な問題をかかえかつ医療ケアのこゆい患者(すなわち福祉施設での受け入れが困難な患者)の紹介が非常に多くなってきておりこの点の評価をして頂きたい。(退院が社会的にできない患者の紹介が多い)介護療養は病院なのでターミナルケアはあたり前であり、これ以上書類をふやすのはやめて頂きたい。</p>	A
47	<p>設備、人員体制上、重篤な身体疾患を有する患者が受け入れられない為、身体合併症を有する認知症患者とターミナル期患者を積極的に受け入れ、現状でやっとA型がとれているが、患者の移り変わりと共にB型になる可能性も大きいので、要件を常に満たすことが困難である。地域性から医療や福祉機関が多い為医療療養型のある病院は介護療養型ベットを削減していく方向性を出している所も多いが、特養や有料ホーム等が介護度のたかい人を受け入れる様にもなっており患者の取り合いの様にも思える現状があります。</p>	A
48	<p>ターミナルケア要件が微妙です。「死ね」といっているように思えるくらい</p>	B
49	<p>喀痰吸引や経管栄養の患者を受け入れることで医療度が高くなり、ターミナルケアの患者も100分の10以上であると介護病棟とはいえ、看護師の数も少なく患者に対し安全で安楽な看護が提供ができないと考えます。人員配置基準を考えていただきたい。</p>	A
50	<p>現在の算定要件なら問題ないが視点が変わっておりハードルが上がれば困難が十分想定されます。一度決まった方針を猫の目の様に頻繁に変えられると本当に現場は混乱すると考えます。</p>	A
51	<p>ターミナル期の定義「医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない」と曖昧な表現であり「ターミナル=癌」と捉えるべきか?また、日本病院協会等では「認知症で寝たきり意思疎通が取れない患者もターミナル」と捉えている述が新聞等でも掲載されている。このような状態もターミナル期と捉えると強化型ABの届出もすぐに可能な施設も多数あると考えられる。ぜひ、慢性期医療協会等でこのような事例の解釈の説明会や強化型ABの届出を行っている事例の紹介を研修等で実施してほしい。</p>	他(病院)
52	<p>医療療養病棟の方が医療区分を高くとれるので、中々対象者を集めにくい。⇒状態が悪化した際には、すぐ急性期病棟へ移動できる介護療養は入退所手続きや判断など難しい。小さな施設では対象となる患者を集めることすら困難</p>	他(病院)

資料9. ヒアリング調査結果概要

事例①：医療療養・介護療養型医療施設（A病院）

ヒアリング日時	2015年9月3日
施設概要	開設主体：医療法人社団 病床数：医療療養 150床・介護療養 162床 現在の併設施設の状況：一般病棟（146床）・回復期リハビリテーション病棟（医療療養）（100床）・精神科病棟（70床）

（1）病院の概要について

- ・首都圏近郊に立地。
- ・入院患者数は医療療養が150人、介護療養が162人。
- ・平均在院日数は医療療養が238日、介護療養が217日。介護療養に比べて医療療養に重症度の高い患者が多いため、医療療養の平均在院日数が全国平均より長い傾向にある。この傾向は昨年度以前から変わらない。
- ・医療療養、介護療養共に入院患者の重症化が進んでいる。さらに、平成27年度の介護報酬改定により、従来よりも重症度の少し高い患者を医療療養から介護療養に受け入れるようになった。
- ・ハード面、マンパワーの面から考えると重症度の高い患者は医療療養で見る必要があるが、医療療養の患者が重症化しているため、相対的に重症度の低い患者（重症度の少し高い患者）は介護療養で見るようになっている。

（2）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・介護療養では、「重篤な身体疾患を有する者」は入院患者の2割程度を占めている。特に「NYHA分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態の者」が全体の1割強を占めている。
- ・「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」は多く、入院患者の半数以上を占めている。「認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者」も1割弱を占めている。
- ・「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」の入院は、強化型Aを算定する以前から多かった。
- ・「認知症高齢者の日常生活自立度」のランクMの患者は少ないが、ⅢbやⅣなど昼夜に関わらず目を離せない患者が多い。それに伴い、介護の提供量が増加している。

（3）算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について

- ・喀痰吸引および経管栄養の実施患者数は、以前から算定要件を満たす規模が入院していた。
- ・喀痰吸引は、1日に2～3回実施している患者が多い。
- ・経管栄養法を用いている場合に、喀痰吸引を行っている患者が多い。そのため、経管栄養と喀痰吸引の実施患者数がほぼ同じになっている（入院患者に占める割合は経管栄養、喀痰吸引のいずれも3割強）。
- ・インスリン注射を必要とする患者はこれまで医療療養に入院していたが、インスリン注射以外の容態が安定している患者（医療区分が1～2など）は、介護療養で受け入れる流れが生まれつつある。

(4) 算定要件③「ターミナルケア」について

- ・以前からターミナルケアに関する書類を病院内で運用しており、書式は存在した。
- ・算定要件となるようなターミナルケア（計画を作成した上でターミナルケアを行う）は以前から実施していたが、すべての患者を対象とはしていなかった。強化型 A の算定にあたって入院患者の状態を確認し直したところ、ターミナルケアの対象となるが計画は未作成であった患者が数名いた。これらのケースについても計画を作成し、本人または家族に説明・同意を得ることで、算定要件となる割合が満たされた。
- ・以前は介護療養の患者がターミナル期に入ると医療療養へ転棟させていた。それは介護療養を在宅への復帰を目指す病棟と位置づけていたためである。しかし、医療処置を多く必要としない介護メインの患者であっても他の介護施設等ではターミナル期の対応が難しいこと、また、積極的治療ではなく自然な形での看取りの要望が増えていることから、介護療養でも看取りを担うようになった。
- ・ターミナルケアのカンファレンスの参加職種は、本人（参加できる場合）、家族、医師、看護師、リハビリ職（理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST））、介護職など、病棟で患者に関わる全職種である。ケースによっては病棟外から、医療相談員、薬剤師、管理栄養士などの職種が参加する。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・PT、OT、ST が個別にリハビリに関わっている。
- ・1人の患者に平均すると月に17～18単位の個別リハを提供している。
- ・リハビリは、主治医によって必要と指示された場合に提供される。関わる職種や内容、期間については、カンファレンスを開き継続的に判断している。
- ・リハビリの内容は、PTが関わる場合には、離床や座位姿勢の保持といった身体機能訓練が中心となる。重症度の上昇に伴い拘縮予防の関節運動や床ずれ予防の姿勢調整が必要となってくる。OTが関わる場合には、ADLの向上を目指した内容となり、食事や排泄に関わる訓練、作品づくり等のレクリエーションを行っている。STが関わる場合には、認知機能訓練や摂食機能訓練を行っている。近年は重症度が上がったことにより、摂食機能訓練の需要が高まっている。
- ・慢性期病床におけるリハビリの目的のひとつとして、身体能力の維持（要介護度を上げないこと）があり、重要な要素だと考えている。要介護度が上がると、患者一人にかかる介護時間が増加し、より人員が必要になる。介護の人員を増やさずに済むように、リハビリ職が介護職と連携しながら患者の現状を維持することが重要である。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・地域の方々へ医療、看護、介護を分かりやすく説明し在宅等での家族介護の助けになるよう「介護者講習会」を開催し、家族を対象に、家庭でできる介助の基本を身につけるための講習会「生き生き介護教室」を20年以上にわたり実施している。病院の看護部門・理学療法・作業療法・言語聴覚療法の各部門、さらに訪問看護部門が持ち回りで主催している。

(7) 人員配置について

- ・強化型 A を算定する前後で、入院患者の状態像は大幅には変わっていないため、人員配置等の厳しさが増したという印象はない。もともと重症化が進んでいるので、求められている人員配置基準よりも看護職・介護職を少し多く配置している。また、配膳、ベッド周りの環境整備、清潔行為等、医療職でなくても実施可能な業務には、介護福祉士などの資格を持っていない人（ヘルパー2級や介護福祉士などを含む）を投入するなど、業務の分担を工夫している。
- ・あくまでギリギリのマンパワーでやりくりをしている点に留意が必要である。
- ・認知症の方が多いため、見守りの必要量が増えてきている。また、重症化により医療職が関わるべき患者へのケア量が増えてきている。そのため、医師、看護師さえいれば療養病床は成り立つといった状況にはなく、医療職がより専門的な仕事を行えるよう、非医療職のサポートが必須となっている。
- ・病棟ごとに入院患者の構成はできる限り同じにしている。ベッドに空きが出た順番に入院を受け入れているため、例えば認知症の重い患者を一つの病棟に固める等の調整は行っていない。そのため人員配置も病棟間でほぼ同じとなっている。
- ・患者の重症化の影響で、看取りの実施件数は昨年度比で医療療養、介護療養共に増加している。したがって、マンパワーを現状より減らすことはできない。

(8) 療養病床の役割について

- ・高齢化の進行により、高齢者の救急搬送が増加している。そのため、急性期の病棟がパンクしないように、すぐに退院できない患者は早めに療養病床に転院・転棟させ、療養病床でリハビリを行い、在宅復帰を目指す仕組みが必要である。急性期と慢性期の病院が連携し、病状が落ち着いたら早めに療養病床で受け入れるという、循環型の仕組みの一端を療養病床が担う。
- ・在宅療養中の患者の容態が悪化した際に、救急病院ではなく、療養病床が直接入院を受け入れて在宅支援のサポートをするという慢性期救急の役割を担うことも重要と考える。
- ・当院では、重症度の高い患者であっても、医療療養で受け入れるという流れができています。介護療養は、以前の在宅への復帰を目指す役割だけではなく、医療ニーズがあり他の介護施設等では受け入れることのできない患者に、療養から看取りまでを提供する役割を担う。
- ・療養病床としての役割は、単に患者を受け入れて療養させるだけではなく、慢性期疾患を支える機能（悪性腫瘍、リハビリ、神経難病の患者をサポートする体制など）といった $+ \alpha$ の機能が今後は必要になってくるのではないかと。

(9) 医療療養病床及び介護療養病床の相違点について

- ・医療療養には重篤な身体疾患を有する者が多く、介護療養には重い認知症や身体合併症を有する認知症高齢者が多いという特徴がある。
- ・医療療養と介護療養では、ケアの視点が違う。医療療養では医療行為、看護行為、治療行為にウェイトをおいた療養を行っている。介護療養では、ケア、介護、メンタル的なサポートなどにウェイトをおいた療養を行っている。したがって、強化型 A を算定しており医療行為を多く行っている介護療養であっても、介護の面のウェイトの方が大きい患者が介護療養に入院している。
- ・医療療養では、一般病床での入院日数が長い患者が転棟してきているため、非常に重篤で病状

の不安定な患者が増えてきている。こういった患者に医療療養（20:1）で対応するには、重篤な患者を中心に見ていかざるを得ず、命に直接の影響がない場合の対応（例えば不安を訴える患者へのメンタル的なサポート等）が後回しになってしまう現状がある。一方、介護療養では、比較的状态の落ち着いた患者を受け入れているため、命に直接の影響はないが時間をかけて医療職が対応すべき事例（例えば前述のメンタル的なサポート）に十分に対応できる体制がある。医療療養、介護療養がそれぞれに現在の機能を維持していく必要がある。

- いずれの療養病床も医療ニーズは高くなっている。

（10）在宅療養と療養病床の関わり

- 在宅療養を支える機能が不足している。老老介護や独居の高齢者が増加しているなど、在宅で介護を提供する家族の力は低下している。一方で、そのような背景の患者を支えるサービスは不足している。
- 介護療養では強化型 A の要件を満たしたことで、在宅や他の介護施設等に帰れない医療ニーズの高い患者が増加している。以前より、重症度の高い患者を看ているため、無理に在宅復帰させても、すぐに肺炎等で救急搬送されることが想定される患者が多い。
- 在宅療養中の患者が増えた分、救急搬送も増えている。八王子市では在宅療養中の患者の容態が悪くなった場合に、救急車を呼ぶのではなく、主治医から慢性期病棟に連絡し、直接慢性期病棟が患者を受け入れることを前提に同一法人である南多摩病院が運用する病院救急車を活用し搬送するという取り組みを行っている。119 番に頼らない救急対応の仕組みを作ることが必要かつ重要と考える。
- また、介護療養への入院が長期化するケースとしては、患者家族の希望も大きい。在宅療養や介護施設での療養を薦めても、家族は医師、看護師といった医療職が 24 時間 365 日患者のそばにいる安心感を求めることがある。確かに、病状が不安定な患者では、医師、看護師が常駐し、リアルタイムに必要なケアを提供できる介護療養の体制が期待されている。他の介護施設等では医師が常駐しておらず、必要な場合には外部から呼ぶか、病院へ搬送するため、受診までにタイムラグが発生してしまう。
- 特養、老健といった介護施設から、入所者の状態の悪化により自施設で看ることが難しいので、慢性期病棟で見てほしいといった相談がよくあったが、今では併設の老健では看取りを行うようになっていくし、特養でも積極的に取り組み始めている。

（11）その他のご意見

- 財源の都合に合わせて制度を変更することが優先されている印象がある。高齢者が増加し、サポートする世代が減少する時代の中で、必要な医療に最低限の担保をした上での財源の割り振りを考えるべきである。

以上

事例②：介護療養型医療施設（B病院）

ヒアリング日時	2015年9月16日
施設概要	開設主体：医療法人社団 病床数：介護療養 169 床 現在の併設施設の状況：転換型老健（60 床）

（1）病院の概要について

- ・政令指定都市に立地。
- ・入院患者は、病院から半径 5 キロ圏内の患者が多く、地域に根付いた病院である。
- ・入院患者数は 158 人。病床あたりの入院数は、平成 21 年度から平成 26 年度にかけて増加傾向にある。その要因として、患者の重篤化により病床回転率が上がっていることが考えられる。
- ・平均在院日数は、これまで 300 日前後で推移してきたが、直近 3 か月の実績では 212 日まで下がっている。
- ・病床あたりの在宅への退院数は増加傾向にある。
- ・病床あたりの救急搬送件数は減少傾向にあり、平成 26 年度はわずか 7 件であった。救急搬送の事例としては、骨折等の整形疾患が多く、約 9 割の患者が手術を経て B 病院へ再入院している。
- ・病床あたりの医療療養病床（他院）への転院者数は減少傾向にあり、平成 26 年度はわずか 2 件であった。2 件の転院理由は、料金が安い・家が近い等の理由によるものであり、重症化等の医療上の理由により医療療養に転院した患者ではない。
- ・救急搬送件数、医療療養への転院者数が減少している原因として、B 病院の院長の尽力により、院内で提供できる医療の幅が広がっていることが考えられる。また、近隣の医療療養で行われている治療が限定的であり、患者を転院させる理由がない場合もある。
- ・年間の看取り件数は、100 床あたり約 80 人であり、全国平均と比較して多い。

（2）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・「重篤な身体疾患を有する者」は入院患者の 3 割程度を占めている。特に「NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態の者」が入院患者全体の約 15%を占めている。
- ・「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又は M に該当する者」が全体の約 70%を占めている。
- ・「重篤な身体疾患を有する者」を含めて、入院患者のうちほとんどが認知機能に問題を抱えている。
- ・日常生活自立度別の分布をみると、ランクⅣに該当する患者が最も多い。

（3）算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について

- ・喀痰吸引は、入院患者のほぼ半数が必要としている。1 日に 2～5 回実施している患者が多いが、20 回以上実施している者もいる。現在の算定要件には回数の制限はないが、今後も制限を設ける必要はないと考える。
- ・経管栄養を実施している者は入館患者の約 3 割。経管栄養の実施方法としては、経鼻経管の患者の割合が高い。胃ろうがある場合では、入院前から胃ろうを造設していた者と B 病院で新たに造設した者はほぼ同数である。

- ・インスリン注射を実施している患者は8人おり、毎食後に管理が必要である。

(4) 算定要件③「ターミナルケア」について

- ・ターミナルケアに係る計画の様式は作成したものの、現在のところ病棟では使用されていない。従来使用されてきた個別のケアプランの中にターミナルケアに係る計画を追加するという運用を行っている。
- ・家族と話し合いをした上で、ターミナルケアに係る計画をケアプランに追加している。家族との話し合いには院内の関係する職種もすべて参加している。
- ・ターミナル期にある患者が入院患者のうち約1割おり、ターミナル期と判断してから亡くなるまでの期間は平均すると約23日である。
- ・ターミナルケアの算定基準である1割を常に満たし続けるのは厳しいと感じている。
- ・ターミナルケアに対する職員の反応は、概ね前向きに捉えられている。看護師はターミナルケアを実施しなければならないという意識を持っており、看取りに関する研修を行うなど、関心度は高い。
- ・近隣の特養や老健では、施設内のすべての患者の看取りに対応することが難しいような印象を受けている。介護療養病床はターミナルケアを支える拠点となりうるのではないかと。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・リハビリに関わる職種のスタッフ数は、PTが7名、OTが4名、STが2名である。他に歯科衛生士が4名おり、口腔ケア・嚥下機能の改善のために手厚い体制をとっている。
- ・嚥下機能の改善に積極的に取り組んでおり、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士が関わっている。
- ・嚥下機能改善のリハビリテーションにより、平成26年度には4人が経管栄養から3食経口食が可能に、14人が少量の経口食が可能になるなど、経管栄養からの脱却への取組が進められている。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・地域の老人会に出向いて、健康講話を行っている。
- ・バスの本数が少なく、B病院までの交通手段が限られるため、院内で開催することよりも、公民館等に医師が出向いて行うことの方が多い。
- ・講話に出向くことで、医師と地域住民が顔の見える関係になり、それが縁で外来患者として通院している者もいる。
- ・また、地域の小中学校の生徒の病院見学を受け入れたり、地域のお祭りに協力したりもしている。

(7) 人員配置について

- ・景気が良くなり、介護人材が工場等の賃金の高い仕事へ移ってしまう中、近隣の特養、有料老人ホーム等の増加により、介護職員等の争奪戦となっている。募集しても人が集まらず、ギリギリの人員配置で運営している。

(8) 療養病床の役割について

- ・緊急入院（相談を受けてから 48 時間以内に受け入れを行うことと定義）を介護療養の一つの役割として捉えて取り組みを強化している。緊急入院総数は、平成 21 年度の 7 人に対し、平成 26 年度は 52 人へと増加しており、平成 27 年度も増加傾向は継続する見込みである。
- ・緊急入院の依頼は、患者の主治医から自法人のケアマネジャーや訪問看護ステーションを通じて相談が来る場合と、直接相談が来る場合がある。直接連絡のある事例は、勉強会等を通じて医師同士が顔見知りの関係となっている場合であり、頼みやすい雰囲気生まれていることによる。
- ・緊急入院前に患者がいた場所を見ると、特養や老健等の施設が在宅より多い。しかし、在宅からの緊急入院数は増加傾向にあり、今後は在宅からの患者の方が多くなると考えられる。
- ・自法人のケアマネジャーや訪問看護等のつながりで緊急入院する場合でも、B 病院の医師が緊急入院する患者の情報を事前に知っているケースはほとんどない。しかし、緊急入院の依頼があった患者は、基本的に断らず全て受け入れている。
- ・緊急入院する患者の状態としては、肺炎・胆嚢炎等の感染症や熱中症、経口摂食ができなくなった事例、家族が疲弊して在宅でのケアが継続できなくなった事例などが多く、患者の半数近くがターミナル期にある。
- ・特養からの緊急入院では、B 病院と同グループの特養からの緊急入院が多いが、他法人の特養からの緊急入院もある。B 病院の近隣では特養が増加しており、今後は他法人の特養からも積極的に緊急入院を受け入れていく方針である。
- ・特養の入所者が救急病院や急性期病院に救急搬送されると、無事退院できたとしても、元の特養には戻れず B 病院に入院するというケースが多い。そもそも、特養からの救急搬送は、経口で摂食が出来ない場合や肺炎の場合など、相対的に軽症な場合が多い。患者にとっての負担を考えると、軽症な疾患の場合には、特養から救急病院を経ることなく、直接紹介を受けて B 病院で受け入れたほうが良いのではないかと考えている。
- ・また、急性期病院から退院の流れをスムーズに進めることも重要である。急性期病院から元の特養や在宅にスムーズに退院できない場合、急性期病院に長期入院することになりがちである。急性期病院では高齢患者の全身管理という観点が弱いため、長期入院により褥瘡ができる割合が高いという印象をもっている。また、急性期病院自体も他の救急が受け入れられなくなる等の問題を抱えることとなる。
- ・「介護療養での治療後に老健に退院する」という以前想定されていた流れを経る患者数はかなり減少している。
- ・在宅や特養、老健等の施設では、患者の疾患によっては苦痛なく看取ることが難しいこともある。そのため、在宅や他の介護施設の入所者を看取り直前で介護療養に受け入れて、十分な鎮静を行いながら穏やかに看取る、という高齢者のホスピスのような役割を担うことが必要であると考えている。
- ・在宅で介護を行っている場合、患者が亡くなる 2 週間前ごろからが、家族も本人も苦しい時期になる。そのため、その時期だけ介護療養で受け入れて看取りを行うという役割もある。

(9) 医療療養病床及び介護療養病床の違いについて

- ・ B 病院には医療療養病床がないため、重症な患者も介護療養に入院している。しかし、もし医療療養を持っていた場合、重症な患者を医療療養に転棟させることが考えられるため、療養機能強化型 A の算定は厳しくなると考えられる。

(10) その他のご意見

- ・ 重症な入院患者が増加すると薬剤の使用量が増加するため、経営的には厳しくなる。
- ・ 療養機能強化型の申請は、病棟単位としてほしい。
- ・ 日本では、がん患者のターミナルに麻薬を使った場合には保険請求できるが、非がん患者に使用する場合には病院からの持ち出しになる。閉塞性動脈硬化症や心不全のターミナルの患者に、鎮痛や呼吸困難の介助として麻薬を使用したいケースが多い。今後ターミナル期の患者が増加することを考えれば、麻薬の使用を広い範囲で認めるべきではないか。現在のターミナルケアの制度は、がん患者に特化しすぎている印象がある。

以上

事例③：医療療養・介護療養型医療施設（C病院）

ヒアリング日時	2015年10月6日
施設概要	開設主体：社会福祉法人 病床数：介護療養（104床） 現在の併設施設の状況：回復期リハビリテーション病棟（医療療養）（32床）・一般病棟（15:1）（43床）・緩和ケア病棟（20床）・特別養護老人ホーム・特定有料老人ホーム

（1）病院の概要について

- ・首都圏近郊に立地。
- ・入院患者数は、介護療養が103人。一年を通じてほぼ満床の状態であり、入院待機患者も存在する。
- ・平均在院日数は、介護療養が417日と全国平均（308.6日）より長い。介護療養では、転病棟や転院ありきではなく看取りまでを見据えたケアを実施しているため、平均在院日数が長くなる傾向にある。したがって、介護療養の退院者は約70%が死亡退院である。
- ・介護療養の入院患者の平均要介護度は4.51と要介護度の高い入院患者が多い。特に寝たきりの患者の割合が高い。
- ・入院までのプロセスは、病院近隣在住者の外来入院の場合と、近隣の急性期病院からの転院の場合に大別される。いずれの入院プロセスにおいても、まず一般病床で入院患者を受け入れ、患者の疾患や症状に応じて介護療養や緩和ケア病棟に振り分けている。そのため、介護療養に直接入院となるケースはほとんどない。
- ・介護療養は3病棟あり、そのうち1病棟（36床）を認知症専門として運用している。一般病棟を含め、入院患者の状態に合わせて病院内で転棟を行い、空床がないよう調整している。
- ・一般病棟では、半年を入院の期限としており、患者の状態によっては院内への転棟だけでなく、老健や在宅への退院も行っている。
- ・院内には緩和ケア病棟があるが、麻薬を使用しないがん患者は、介護療養に入院している場合もある。疼痛コントロールのため、麻薬を使用する場合は、介護療養では行わず、緩和ケア病棟か一般病棟へ転棟する。
- ・転棟の際には、ソーシャルワーカーが患者及び家族へ説明を行い、納得いただいた上で転棟することとしている。
- ・介護療養の入院患者が誤嚥性肺炎等により容態が悪化した場合、状態によって一般病棟に転棟することもあるが、軽症の場合等介護療養で治療できる場合は、介護療養内で治療を行う。その際の薬剤は、病院からの持ち出しとして運用している。

（2）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・介護療養では、「重篤な身体疾患を有する者」は2名おり、介護療養の入院患者に占める割合は約2%である。「重篤な身体疾患に有する者」に該当する患者は、一般病棟に入院しているため、介護療養における割合は低い。
- ・「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」が全体の約50%を占めている。ただし、この割合は月によってバラツ

きがある。

- ・介護療養 3 病棟のうち 1 病棟を認知症専門として運用しているが、他の 2 病棟においても入院患者のうち 8 割が認知機能に問題を抱えている。
- ・一般病棟の入院患者にも認知症高齢者が多く、患者の状態や喀痰吸引、経管栄養等の処置のバランスに応じて、一般病棟、認知症病棟、介護療養 2 病棟間での患者の転棟を行っている。
- ・認知症専門の病棟でも、スタッフ配置は他の介護療養 2 病棟と同様である。認知症病棟は構造に特徴があり、デイルームや廊下を広くし、入院患者が歩き回れる構造になっている。一般病棟で問題行動等のあった入院患者であっても、認知症病棟に入院すると落ち着くケースが多い。
- ・現在、療養機能強化型は算定していない。その要因として、「重篤な身体疾患を有する者」に該当する患者が介護療養ではなく一般病棟に入院していること、「身体合併症を有する認知症高齢者」に該当する患者の割合が療養機能強化型の算定基準である 50%を安定して超えないことが挙げられる。
- ・今後算定を考えているが、入院患者の退院先の見通しが立たないため、比較的軽症な入院患者の退院を促進できない。介護療養の入院患者のうち独居者が約 44%、夫婦のみの世帯が約 22%と、約 66%の入院患者が退院後に家族による介護が見込めない。
- ・運営主体が社会福祉法人のため、無料低額診療事業を実施している。そのため、生活保護（水準）の患者を受け入れており、現在介護療養の入院患者の約 1 割を占めているが、療養機能強化型の算定要件を満たすほどの重篤な患者ではない場合が多い。
- ・近隣には、同法人が運営する特養、老人ホーム、サ高住、グループホームがあるが、いずれも定員を満たしている。

（3）算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について

- ・喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射を実施している入院患者の割合は約 40%であり、療養機能強化型 B の算定要件は満たしている。
- ・喀痰吸引は、入院患者のうち 23%が必要としている。実施回数には日に数回から頻回まで幅がある。
- ・経管栄養を実施している者は、入院患者の 18%を占める。経管栄養の実施方法としては、大半が胃ろうである。また、入院前から胃ろうを造設していた者と C 病院で新たに造設した者では、入院前から胃ろうを造設していた者の方が多い。C 病院で胃ろうを造設する場合は、一般病棟で処置を行い、患者の状態に応じて介護療養に転棟を行っている。
- ・インスリン注射を実施している患者は、2 人と介護療養の入院患者に占める割合は低い。

（4）算定要件③「ターミナルケア」について

- ・看取りを積極的に実施している。昨年度は介護療養の退院患者のうち、69%が死亡退院であった。月単位に換算すると毎月約 15 人の入院患者の看取りを行っている。
- ・ターミナルケア計画専用の様式はないが、個別のケアプランに書き込む運用を行っている。
- ・ターミナルの定義は病院ごとに異なる。C 病院では、経口食が不可能となった時点でターミナルとする場合が多いが、経口で摂食できず経管栄養を実施していた患者で三食経口食が可能にまで回復した症例もあり、家族との話し合いや多職種でのカンファレンスを経て、個々のケースでターミナルケアを開始する時期を判断している。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・寝たきりの患者が多いため、PT、OT、STが患者を巡回しリハビリを行っている。
- ・制度的にリハビリが縮小された場合、摂食のできなくなった患者に嚥下のリハビリを行わず、摂食ができなくなったら看取りという状況が生まれると考えられる。しかし、その場合には、摂食ができなくなったら最期という国民の意識の醸成が不可欠である。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・病院内で月に1~2回程度、無料の健康相談を実施している。
- ・がんカフェ等のイベントに医師や看護師が出向く取り組みも行っている。
- ・近隣中学校の生徒に職場体験の場を提供している。職場体験後に生徒が医療職を目指す等の影響も見られる。

(7) 人員配置について

- ・医師、看護師の離職が発生すると、病院としての機能を保つ上で死活問題となる。診療報酬、介護報酬共に下げ基調にあるが、その結果として職員の給与が下がると特に医師及び看護師の離職につながり、人数を確保することが困難になる。必要な職種を確保するための財源は、介護報酬、診療報酬において配慮すべき問題である。
- ・現在は、特に医師と看護師の確保が難しいが、近隣に特養、サ高住が増加していることから、今後は介護職員の確保も困難になると考えている。
- ・介護職員は職務上重労働になるため、人員の入れ替わりが激しい。そのため、常時安定した人員の介護福祉士を確保することが厳しくなっており、サービス提供強化加算の算定にもハードルがある。

(8) 地域包括ケアシステムにおけるC病院の役割について

- ・地域包括ケアシステムの構築にあたり、その前段階として法人内での包括ケアの構築に取り組んでいる。C病院の立地市内には同法人の運営する特養、老人ホーム、サ高住、グループホーム、デイケアセンター、在宅介護支援センターがあり、これらの利用者への途切れのない介護、医療の提供を目指し、その中心としてC病院は機能している。
- ・例えば、法人内の夜間救急の受付に取り組み始めた。これは、同法人の運営する特養、老人ホーム、サ高住、グループホームの利用者の容態が悪化した場合には、救急搬送や他院の急性期病棟への入院ではなく、まずはC病院で対応するという取り組みである。病院の夜間の当直医は非常勤医であることが多く、一般患者の夜間外来は受け入れていないが、法人内の利用者の場合のみ特別に対応することとしている。流れとしては、まず病院の当直医が電話連絡を受けて状況を確認し、対応できる程度の軽症であれば当直医が対応する。当院では対応できないような外科的な処置や重篤な疾患である場合のみ急性期の病院への搬送を行う。
- ・法人内施設からの入院は、介護療養ではなく一般病棟で受け入れる。介護療養では空床の見込みがないため、新規の入院は受け入れていない。
- ・地域包括ケアシステム構築の視点では、地域住民への健康相談や健診を通じて地域住民の病院への間口を広げ、市内の慢性期患者を多く受け入れることで、地域包括ケアシステムの一翼を担う方針である。

(9) 今後の介護療養病床の在り方について

- ・療養機能強化型 A の算定を目指しているが、空床の見込みがなく入院患者の入れ替えを行うことが難しく、算定開始時期は未定である。
- ・今後介護療養が廃止され、今ある介護療養を転換するとしたら、転換先としては医療療養が候補となる。C 病院には緩和ケア病棟が 20 床あるが、入院希望が多く待機待ちとなっている。院内の一般病床にがんの緩和ケアチームがあるため、ぎりぎりまで一般病床で療養して、最後に緩和ケア病棟へ転棟するケースが多くある。緩和ケア病棟では 1 週間に 3 人が亡くなるなど、看取りも多く実践している。今後も病院として緩和ケアやホスピスの機能を強化していくとすれば、緩和ケア病棟に入院する前の受け皿として医療療養が適していると考ええる。鎮痛や呼吸困難の介助等のケアが介護療養よりも手厚く行えるからである。ただし、介護療養より人員配置を増やす必要があるため、人員の確保が課題になる。

(10) その他のご意見

- ・療養病床では、他院（他施設）でできた褥瘡の改善や、経管栄養の患者への嚥下機能回復リハビリの提供により部分的にであっても経口食を可能にする取組を行っているが、そうしたケアが十分に評価されていないと感じている。
- ・C 病院では認知症患者であっても身体拘束は行わないようにしている。ベッドに縛らないことで患者が怪我をするリスクや、職員が殴られたり蹴られたりするリスクがあるが、見守りや介護に多大な労力をかけて対応している。しかし、この取り組みを十分に評価されていないと考えている。
- ・今後、無料低額診療事業の基準が引き上げられた場合、生活保護（水準）の患者をさらに多く受け入れることが見込まれる。無料低額診療事業は社会福祉法人の病院として担うべき大事な機能であると考えているが、一方で病床の回転率は悪くなるため、療養機能強化型の要件を満たすことはより一層困難になる。

以上

事例④：医療療養・介護療養型医療施設（D病院）

ヒアリング日時	2015年10月28日
施設概要	介護療養病床を有する病院 介護療養（100～150床）、医療療養（20：1）（150～200床） 他、一般病棟（10：1）等あり。

（１）病院の概要について

- ・医療療養の平均在院日数が介護療養より短い、その要因として、医療区分2・3の入院患者の死亡率が高いことが考えられる。
- ・介護療養の入院患者が、「行動全般に安全管理が求められる重度の認知症患者」と「ADL 全介助の患者」に二極化している。
- ・入院患者は近隣の患者が多いが、病院全体としてリハビリの提供を主としているため、遠方のリハビリ患者も受け入れている。

（２）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・介護療養では、「重篤な身体疾患を有する者」は入院患者の約8%を占めている。「重篤な身体疾患を有する者」に該当する患者は、看護師を配置する必要性から医療療養に入院しているため、介護療養における割合は低い。
- ・介護療養では、「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」が入院患者の62%を占めている。
- ・介護療養に認知症高齢者が多いのは、経口で栄養摂取できないことが理由として大きい。グループホームを含め他の介護施設では、ゼリー食や経管栄養を実施している認知症高齢者を受け入れられないため、介護療養で受け入れている。

（３）算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射」について

- ・喀痰吸引は入院患者のうち、4%が必要としている。
- ・経管栄養を実施している者は、入院患者の59%を占める。経管栄養の実施方法としては、経鼻経管栄養が最も多い。
- ・介護療養入院患者における経管栄養利用者はすべて、介護療養への入院以前から経管栄養の利用者である。外部の病院の入院時から利用している場合と、D病院の介護療養以外の病棟の入院中に嚥下機能評価を行い、胃ろうや経鼻経管栄養の実施の決定を行う場合がある。
- ・経管栄養は、他の介護施設等で提供することが難しいことが多い。介護療養が廃止された場合、経管栄養を必要とする患者の受け入れ先が大きな問題になると考えている。
- ・療養機能強化型Aの算定要件で入院患者像として必要としている医療内容が明確化されたことにより、介護療養では経管栄養を必要とする入院患者数は増加傾向にある。また、経管栄養の実施患者が増加したと連動して、喀痰吸引を必要とする入院患者数も増加している。
- ・インスリン注射の必要な患者は医療療養に入院しているため、介護療養には入院していない。

（４）算定要件③「ターミナルケア」について

- ・介護療養の8月中の実利用者のうち、13.3%にターミナルケアを提供している。
- ・ターミナルケア専用の様式はなく、個別のケアプランに追記する運用を行っている。

- ・ターミナルケアプラン作成時には、各入院患者のサービス担当者会議に院内の関係職種と家族が集まりケアカンファレンスを実施している。その際に、家族の意向を聞きケアプランに反映させている。
- ・ターミナルケアの定義があいまいであり、患者及びその家族に「回復の見込みがない」ことをどのように説明するかに困難を感じている。また、看取りや経管栄養に関する国民の理解が進む必要があると考えている。D 病院では健康セミナー等を開催するなかで、地域住民に対して終末期についても情報提供しているが、それだけでは死生観が十分に根付くことはないと感じている。国全体として、診療報酬・介護報酬等で病院に取り組みを促すだけでなく、もっと国民にターミナルの迎え方等について理解を深めさせるような取り組みを進めてほしい。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・介護療養の 8 月中の実利用者のうち、98.4%にリハビリを提供している。
- ・介護療養では 1 人の患者に平均すると月に 13 単位のリハビリを提供している。
- ・回復期に比べて医療療養、介護療養では実施できる単位数が少ないため、看護師やソーシャルワーカーと緊密な連絡を取り合い、普段の入院生活で、適切に見守り、身体を動かせるよう連携することとしている。
- ・リハ職の病棟配置は、専従は PT、OT が各 2 名、ST が 1 名。病棟専従の職員が全体のマネジメントをしながら、兼務の職員と連携してリハビリを提供している。
- ・PT が介護療養の入院患者に対して立位動作練習や関節可動域訓練など基本動作のリハビリを行う目的としては、入院患者の状態に合わせた生活の改善がある。例えば、関節可動域訓練では、更衣やおむつ交換の際の動き方を念頭に置き、介護する側・される側の双方がスムーズに動作を行えるようリハビリを実施している。
- ・療養病棟では、特養や老健等の介護者のいる施設に退院する機会が多いため、介護者の下で快適な生活を送れることを目標に、退院先の施設職員との連携も含めた形でリハビリを実施している。在宅復帰を目指す患者が多く、自立を目標にリハビリを実施している回復期リハビリテーション病棟とはリハビリの性格が異なる。
- ・地域連携を深める観点、病院の効率化の観点から、地域連携室にリハ職を加え、転院前訪問を実施している。患者の受け入れ前に転入前の病院でのリハビリの提供状況を把握することで、入院後も継続性のあるリハビリが提供できる。
- ・リハビリの専門医が入退院前訪問を行うことができると、訪問の効果はさらに高まると考えているがリハビリの専門医が少ないことから、病棟を担当しながらの訪問は非常に困難な状況である。
- ・地域連携を通じて、医師の間でコミュニケーションを図ることができるようになってきた。こうしたコミュニケーションを通じて急性期病院から心血管疾患のリハビリの要望があったため、昨年からは当該リハビリを開始した。
- ・今後の地域連携におけるリハビリでは、他の事業所に訪問リハを依頼した際に、病院の指示通りにリハビリが実施されているかのチェック機能を設けることが必要になると考えている。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・地域住民の健康増進に寄与することを目的に、「健康セミナー」を開催している。
- ・町内会が開催する「健康フェスタ」に看護師を派遣し、地域住民の健康チェックコーナーを設

置している。

- ・入院患者の敬老を祝い、院内でおまつりを開催している。屋台や健康相談チェックコーナー等を設け、入院患者、家族、地域住民との交流を図っている。

(7) 人員配置について

- ・介護療養は、病棟あたりの夜間配置は看護師 1 名、介護職 2 名の配置で運用している。患者の重篤化が進行していること、療養機能強化型 A の算定に経管栄養やターミナルケアの実施が必要であることを考えると今の人員配置は非常に厳しい。一方で、強化型 A を算定しても加算が非常に小さいため、人員配置を増やすことは困難である。
- ・夜間は、1 人の入院患者への処置が必要になった場合、他の入院患者の経管栄養や喀痰吸引等の対応が困難な状況になっている。そのため、介護職員による喀痰吸引に関する資格の取得や研修の受講による人材への投資を考えているが、それでも人員配置は厳しい。
- ・経管栄養を実施する入院患者数が増加したため、夜勤看護師による経管栄養の注入業務が増大しており、人員配置は厳しさを増している。

(8) 地域包括ケアシステムにおける D 病院の役割について

- ・療養病床の役割としては、急性期病院からの受け入れ、在宅や介護施設等からの急病者の受け入れ、ターミナルケア、難病や身体合併症を有する認知症高齢者へのケア、維持期のリハビリ、医師による医療観察、医療処置を必要とする重度の要介護者の療養、が挙げられる。以上の役割を果たすにあたり、D 病院では在宅療養の支援や在宅、介護施設等からの急病者の受け入れの充実が課題になる。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けては、急性期、回復期、慢性期、在宅の医療機能分化の推進と円滑な情報共有の仕組みづくりを進める中で、紹介元と紹介先をどのように活用するかが重要になると考えている。
- ・急性期病院等からの受け入れでは、病状が安定していない状態での受け入れの依頼も多く、ニーズに合わせた受け入れをしている。また、地域医療連携室を通じて、地域の急性期病院も D 病院が受け入れ可能な患者像を認識している。
- ・在宅療養患者の精査や看取りに使用するためのオープンベッド機能や医療ニーズの高い在宅療養患者のレスパイト目的の入院の受け入れの必要性を感じているが、介護療養はほぼ満床で推移しているため、ショートステイの運用は現実的には難しい。

(9) 医療療養病床及び介護療養病床の相違点について

- ・医療療養と介護療養の入院患者の相違点は、医療区分 2・3 の該当の有無にあり、ADL に大きな違いはない。したがって、介護療養の入院患者も病状が悪化し医療区分が上がった場合には、医療療養の入院対象となる。
- ・療養病棟入院基本料 1 の算定には医療区分 2・3 の入院患者の割合が 8 割以上である必要があるため、医療療養では IVH 管理、神経難病、酸素療法、気管切開術後のケア、喀痰吸引 1 日 8 回以上、血糖測定等の医療処置が必要な患者が多い。D 病院の医療療養では、入院患者のうち 9 割以上が医療区分 2・3 に該当している。一方、介護療養では、経管栄養、点滴、ゼリー食等の摂食に関する対応が必要な患者が多い。

(10) 在宅療養と療養病床の関わり

- ・近年、胃ろうの新規造設は減少しているものの、経管栄養の実施が必要な患者は増えている。一方で、他の介護施設では、経管栄養を実施できる十分な体制がとられていない。
- ・急性期病院からの入院患者の受け入れは、一般病棟等で主に行っている。患者・家族と継続的なカンファレンスを行い、入院時から在宅復帰を目標とした医療やリハビリテーションを提供している。多くの患者が在宅復帰を達成しているが、この過程において経管栄養を含む医療処置の必要性や認知症の重度化等により在宅療養が困難と診断された場合に介護療養に転棟する患者が多い。
- ・介護療養の入院患者の平均年齢は約 86 歳であり、介護者となりうる同居家族も高齢化しているため、在宅で介護を提供できる家族の力が低下している。
- ・地域の介護施設は、大動脈瘤等の突然死のリスクのある疾病を抱える患者の受け入れに積極的でなく、当該患者の退院を促進できない。
- ・在宅や施設での療養を推進するには、ターミナル期についての家族の理解が進む必要があるが、現在はそれを家族に説明する医師の負担が大きい。在宅療養患者や介護施設の入所者が急性期の疾患を発症した際に救急搬送されている現状は望ましくないが、救急搬送は家族の要望によるところが大きい。入院/入所前の事前訪問や入院/入所時の説明により家族が終末期への理解を深められる工夫を行う必要があると同時に、国民のターミナル期への理解の促進が不可欠と感じている。

(11) 今後の介護療養病床の在り方について

- ・D 病院では、以前からの入院患者が療養機能強化型 A の算定要件を満たしていたものの、算定要件が妥当な指標であるかには疑問がある。
- ・療養機能強化型の算定要件からは、介護療養の廃止後に入院患者をどこが受け入れるのかといった点が見えてこない。
- ・医療区分 2・3 に該当しないが ADL が C2 ランクの患者、ADL 全介助の患者、経管栄養の患者は、介護、看護の手間がかかるが、介護報酬では十分に評価されていないと感じている。
- ・在宅や介護施設等で看取りを行うには、看護師等の人員不足や医療機器の未整備の問題があり、こうした点を考慮した介護報酬の改定が必要である。
- ・地域に外科医が少ないため、介護療養の入院患者の肺炎には救急搬送ではなく自院で対応しなければ、地域の医療は回らない。しっかりとした介護療養ではこうした取組を進めているが、入院患者を寝たきりにさせている介護療養があるのも事実である。介護療養廃止の問題は、後者から発生した問題であると考えており、前者が十分に評価される制度を再編すべきである。

(12) その他のご意見

- ・在宅療養を支える訪問診療の医師が不足している。
- ・医療や介護の必要度が高まっており、看護職員や介護職員の人員不足が深刻な問題になっている。

以上

事例⑤：医療療養・介護療養型医療施設（E 病院）

ヒアリング日時	2016年1月28日
施設概要	開設主体：医療法人社団 病床数：介護療養 81 床 現在の併設施設の状況：医療療養（20:1） 71 床

（1）病院の概要について

- ・東京都心に立地。道路を隔てて介護療養と医療療養が併設している。
- ・E 病院は、急性期病院から特例許可老人病院に移行し、介護保険導入時に介護療養に転換した。その後、介護療養廃止の方針が示される中で、在宅や介護施設からの身体合併症を有する認知症高齢者の緊急入院やBPSDへの救急的な対応等の介護療養では対応できないニーズの高まりから、2年前に一部病床を医療療養に戻した。
- ・入院患者数は介護療養が72人、医療療養が63人。
- ・医療療養は71床で入院患者数が63人と空床が多い。これは差額ベッド代のかかる個室への入院患者が少ないためであり、差額のかからない病床は満床である。病院を満床として維持したければ差額ベッド代をなくせばよいのだが、都心の病院の多くは差額ベッド代で経営を賄っており、そうすることで逆に病院の経営は困難となる。
- ・入院患者のうち、23区内の患者は半分ほどである。基幹病院からの紹介の患者が多いため、23区外や東京都外の患者も受け入れている。
- ・平均在院日数は、介護療養が595日、医療療養が172日。医療療養は、転換後に、平均在院日数が急激に縮小した。最近では医療療養においては入院後1か月以内に退院する患者が多い。
- ・医療療養を有する併設の病院では外来機能も有しており、内科、脳神経外科のほか、週2日の認知症外来も完全予約制で実施している。1日当たり20人ほどの予約をとっている。認知症外来は需要が高く、診療日以外でも在宅医や他の介護施設からの要請で受け入れを行うこともある。
- ・認知症疾患医療センターは、外来のコマは多いが入院の受け入れは少ないため、E病院のように入院もできる認知症対応の病院が必要と考える。

（2）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・「重篤な身体疾患を有する者」は介護療養には入院していない。「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又はMに該当する者」が全体の約98.6%を占めており、介護療養は認知症に特化している。

（3）算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について

- ・介護療養の入院患者の72.2%に喀痰吸引を実施している。介護療養で在院日数が長くなる患者は看取りを目的にしている場合が多く、終末期には喀痰吸引を必要とする状態になる。
- ・経管栄養を実施している者は入院患者の約3割である。近年、胃ろう利用者が減少傾向にあり、経鼻経管利用者が増加傾向にある。近年、胃ろうは悪い医療というような偏った認識が広まり、急性期病院が胃ろうを造設しなくなったり、患者や家族から胃ろうを造設する同意が得られない場合も増加している。

- ・胃ろうであれば摂食嚥下訓練が実施でき、経口摂取に復帰できる患者がいる。経鼻経管では、チューブを伝って水が流れるため、誤嚥性肺炎等の危険が伴い、摂食嚥下訓練を実施できない。

(4) 算定要件③「ターミナルケア」について

- ・介護療養の退院患者のうち、約半数が死亡退院であり、月に3名ほどの看取りを行っている。
- ・医療療養には BPSD 等の症状が重度で E 病院しか受け入れ先がなかった者が入院を希望してくるケースが多い。入院時には差額のある個室でも入院を希望されることが多いが、E 病院での治療を経て症状が落ち着くと費用がさらに安い特養等の介護施設に退院していく。退院後に再度重度化し、再入院後 E 病院で看取りまで行う場合も多い。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・作業療法士、言語聴覚士がいない。募集しているが集まらない。
- ・認知症リハビリという概念を提唱している。認知症に対する薬物療法は BPSD を改善するが、環境が変化すると再度悪化する。これまでの認知症高齢者に対するリハビリは目的があいまいであったが、BPSD の改善を維持するリハビリのプログラムを組むことによって、BPSD が再度悪化することを予防できれば、患者本人が楽になるし医療費も減少するのではないかと考えている。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・地域の看護師や介護士、リハ職等のコメディカル向けに E 病院が中心となって、認知症に関する勉強会を10年以上継続して実施している。その結果、認知症に対応する地域のレベルが上がっていると感じている。今後は地区の医師会でも同様の取組を実施する予定である。
- ・病院の所在する区で入院医療の協議会を立ち上げ、地域の民間病院の院長らで各病院の病棟、病床数、当直体制、機能等情報を共有する活動を中心となって進めている。地域に必要な医療資源や自院の強み・弱みを把握できていることで、各病院が今後目指すべき機能分化の方向を検討することができ、制度の変化にも柔軟に対応できるようになったと感じている。

(7) 地域包括ケアシステムにおける E 病院の役割について

- ・認知症の患者が安心して入院できる施設が少ないのが課題である。E 病院では近隣の急性期病院と連携し、急性期病院で認知症患者の処置を実施後、速やかに E 病院で受け入れている。急性期病院は受け入れ先が確保できているため、認知症患者の救急を安心して受け入れることができる。また、E 病院としても急性期病院での処置が必要な際には、急性期病院に依頼し、処置後は再度受け入れるというギブアンドテイクの関係を構築している。
- ・E 病院は認知症に特化して慢性期救急の一翼を担う役割があると考えている。病院規模が小さく急性期機能を増やすことができないため、急性期病院とドッキングし、急性期機能を担いつつ、急性期病院が担うことのできない認知症のケアを E 病院で引き受けることを考えている。急性期と慢性期が一体となった医療を提供することで、身体合併症を有する認知症高齢者や BPSD が現れている認知症患者が急性期病院で治療を必要とする際も、急性期病院が安心して、積極的に患者を受け入れられる。また、在宅や介護施設で療養する認知症高齢者の状態悪化時にサポートすることもできるので、地域における後方支援病院として機能することができる。

(8) 医療療養病床及び介護療養病床の相違点について

- ・介護療養のみで運営していた頃は、体制上の理由から、外来患者や他の介護施設の入所者の急変時の受け入れを断っていたが、片方を医療療養に転換後は急変患者を受け入れているため、患者像が大きく変わった。また、在宅医からの紹介が増え、BPSD が現れている認知症高齢者や身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れている。
- ・医療療養では1ヶ月以内で退院できる場合が多く、回転率が高い。介護療養では入院期間が長期化するため医療費の負担が大きいと患者家族に捉えられていたところもあったが、医療療養では1ヶ月以内の短期入院が多く、費用負担の抵抗なく入院されている、という事例もある。
- ・医療療養に転換直後は、入院患者のうち、重症者を医療療養、軽症者を介護療養に振り分けて運営していた。その後、医療療養では院外からの受け入れ患者が増加したため、介護療養は、医療療養に入院しているが退院までに時間を要する患者の受け皿としての機能を果たしている。
- ・医療療養の入院患者のうち、在宅や施設からの受け入れは約3割である。特にBPSDを治療してほしいというニーズが増えている。
- ・BPSDの重症度が高い患者は医療療養に入院している。BPSDが治まっても認知症は継続しているため介護は必要であり、家族が在宅で看られない患者を介護療養で受け入れる場合が多い。
- ・介護療養の入院患者のうち、医療療養からの受け入れは約3割である。

(9) 介護療養の今後の算定について

- ・介護療養を医療療養(20:1)に転換するためには改修費用がかかる。今後の回収の見込みが立たないため、医療療養(20:1)への転換は難しい。
- ・介護療養が廃止となる平成30年以降の選択肢としてはSNW(Skilled Nursing Ward)や医療付きメディカルホームのような医療外付け型の施設も選択肢の一つである。医療療養が、肺炎等の急変時に対応できる体制となっており、現在でも介護療養の入院患者が急変した際には医療療養に転棟する対応をとっているためである。ただし、施設改修の必要性の程度や採算がとれるかが不明であるため、検討中である。

以上

事例⑥：医療療養・介護療養型医療施設（F 病院）

ヒアリング日時	2016年1月29日
施設概要	開設主体：医療法人社団 病床数：介護療養 60 床・医療療養（20:1）110 床(稼働は 91 床) 現在の併設施設の状況：回復期リハビリテーション病棟（医療療養）（30 床） ・介護老人保健施設・訪問看護ステーション

（１）病院の概要について

- ・地方都市に立地。
- ・入院患者数は介護療養が 56 人、医療療養が 71 人。
- ・スタッフの不足のため、介護療養 79 床、医療療養 91 床から介護療養 60 床、医療療養 110 床とし医療療養のうち 19 床が休床中となっている。
- ・医療療養（91 床）の病床稼働率は 8 割程度である。理由としてはスタッフの不足により入院を受けられないことがあり、特に看護師の確保が厳しい。
- ・療養機能強化型が新設された平成 27 年 4 月時点は療養機能強化型 B であったが、9 月から A を算定している。ターミナルケアに係る計画の書類が未整備であったため、患者像に変化はない。
- ・入院患者は、地域の方か家族が病院近隣に住んでいる方が大半である。
- ・平均在院日数は、介護療養が 483 日、医療療養が 151 日。特養等の介護施設の入所者の受け入れでは短期間の治療で退院できるため、医療療養の回転率は高い。1 ヶ月に平均 6～8 名の患者を受け入れている。
- ・併設の介護老人保健施設からは肺炎の患者を医療療養で受け入れることが多い。医療療養は医療区分 2・3 の構成割合が 8 割以上のため、退院できる状態に落ち着いたらすぐに老健へ退院する。
- ・介護療養は、在宅復帰が難しい患者が入院している。患者の状態に応じて、併設する老健への退院を検討するが、基本的には長期療養者が多く、患者の入れ替わりは少ない。
- ・介護療養に入院する場合は、まず医療療養で患者の状態像を確認してから、介護療養に転棟する。
- ・医療療養の入院患者の 35%の要介護度が「不明・未申請」である。65 歳未満の患者が入院していることに加え、患者の病状が重度で介護療養に転棟する見込みがなければ要介護度の申請・更新を行っていない。

（２）算定要件①「重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者」について

- ・介護療養では「重篤な身体疾患を有する者」のうち、「NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態」の患者が入院患者の 16.1%、「Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する 1 週間以上人工呼吸器を必要としている状態」の患者が 7.1%を占めている。
- ・介護療養では「身体合併症を有する認知症高齢者」のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ、Ⅴに該当する患者」が入院患者の 60.7%を占めている。
- ・医療療養では「NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態」の患者が 7 割おり、医療処置が必要な患者は医療療養に入院している。重度の認知症の患者は医療処置の必要度よりも長期療養が主

な目的となるため、介護療養に多く入院している。

- ・認知症の患者は環境の変化に弱く、介護療養では同じ環境での長期療養が可能であるため、病状が安定しやすい。医療療養では患者の受け入れの際に性別への配慮や急変時の対応、個室への移動等、病室を移動する場合があります、環境の変化が生まれやすい。

(3) 算定要件②「喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の実施」について

- ・介護療養の入院患者の3.6%に喀痰吸引を実施している。吸引回数が1日8回以上の重症患者は医療療養に入院し、1日5回以下の患者は介護療養で対応している。
- ・経管栄養は入院患者の50.0%に実施している。経管栄養の実施方法としては経鼻経管が多く、入院前からチューブを挿入していた患者がほとんどである。F病院での新規の使用はほとんどない。
- ・胃ろうの造設は減少している。F病院の入院患者への胃ろうの造設やメンテナンスを引き受ける急性期病院を探すのに苦労している。

(4) 算定要件③「ターミナルケア」について

- ・ターミナルケアを入院患者56人のうち、9人(16.0%)に提供している。
- ・ターミナルケアに係る計画は個別のケアプランに書き込む運用を行っている。
- ・ターミナルケアの提供を開始する際には多職種によるカンファレンスで話し合い、家族に説明を行う。家族へはリハビリの提供状況や病状の急変等、日頃から患者の状態像を連絡している。
- ・家族が遠方に住んでいる場合は電話で病状を説明した後、面会に訪れた際に改めて面談を行い、同意を得ている。
- ・入院時に連絡先を3段階に分けて聞いているため、家族への連絡はスムーズに行えている。
- ・入院時にリビングウィルの書類により、ターミナル期に入った際の処置に関する意思確認を行っている。また、病状が悪化した際に、再度家族に病状を説明し意向を確認している。
- ・「ターミナルケア」の算定要件では、ターミナルケアに係る計画の作成が必要であるが、入院患者は高齢であるため、急変後1週間ほどの短期間で亡くなる場合があり、ターミナルケア提供件数よりも実際の看取りの件数の方が多い。計画の作成を要件とすることについて検討が必要ではないか。

(5) 算定要件④「リハビリテーション」について

- ・病院全体では、リハビリに係る職種は31名在籍しており体制が充実している。
- ・医療療養は1日2単位、介護療養は1日1単位程度の実施であり、制度の枠組み上、回復期リハビリテーション病棟の1日9単位とは大きく異なっている。
- ・介護療養に入院している方でも、リハビリが少なくなると拘縮が進んでしまう現状もある。介護療養だからという理由でリハビリを制限するのではなく、必要な方には実施したほうが良いのではないかと感じている。
- ・地域に対しても、病院からの訪問リハビリと併設する訪問看護ステーションからの訪問リハビリを提供している。

(6) 算定要件⑤「地域に貢献する活動」について

- ・毎月1回、地域住民対象の「いきいき健康教室」出前講座を開催し、リハビリに係る職種や医師が健康増進、介護予防リハビリテーションの重要性を解説し、予防体操等の指導を行っている。
- ・病院までの交通手段が限られるため、院内での活動は実施していない。集会所等、地域住民が集まる場所に出向いて実施している。
- ・市と理学療法士協会、作業療法士協会が実施する介護予防事業に病院のスタッフを派遣している。市が熱心な取り組みを展開しており、その取り組みを専門職の立場から支えている。

(7) 地域包括ケアシステムにおけるF病院の役割について

- ・F病院では基幹病院からの受け入れが多い。
- ・F病院の役割は、身体合併症を有する認知症患者の受け入れと、ターミナルケアの提供であると考えている。特に認知症患者の急変時への対応は療養病床の役割であると考えている。
- ・関連法人の特養の入所者の急変時には、直接の受け入れ、夜間対応を含めた連携体制を構築している。
- ・他法人の老健、特養の入所者の急変時には、急性期病院での処置後に受け入れを行い、F病院で療養後、紹介元の特養に退院させる機能を担っている。
- ・地域で介護療養病床のある病院はF病院のみである。地域の介護が必要な長期療養患者の受け皿としての機能を発揮している。

(8) 介護療養の今後の算定について

- ・介護療養では点数設定が低く、病棟の建て替え等の設備の更新ができない。経営が成り立つことが大前提である。
- ・新類型への移行する場合にも雇用の調整は困難であるため、経過措置が必要である。

以上

日本慢性期医療協会実施

平成27年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方 に関する調査 調査票【施設票】

本調査票は、療養病床を有する医療機関のうち、無作為に抽出された施設にお送りしております。

＜ご回答の方法＞

1. ご記入に先立ち、同封の「調査説明資料」を必ずお読み下さい。
2. 調査票は「施設票」「介護療養病床票」「医療療養病床票」「地域包括ケア病棟票」に分かれています。「施設票」はすべての医療機関がご回答ください。その他の調査票は、貴院の有する病床種別に合わせて、該当する票にご回答ください。
3. 不明点などにつきましては、下記の問合せ先にて受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいませよう願ひ致します。
4. お忙しいところ恐縮ですが、平成27年11月13日（金）までに調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒を用いて調査事務局にご返送ください。

【お問合せ先】

「医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方に関する調査研究事業」

調査事務局（一般社団法人日本慢性期医療協会）

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シヤトレ市ヶ谷2階

T E L : 03-3355-3120（受付時間：平日9時30分～18時00分）

F A X : 03-3355-3122

法人名	
施設名	
所在地	〒
担当者のお名前	
担当者の部署・役職	
ご連絡先（tel）	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

○設問上にて特に断りのない限り、平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点の状況をお答えください。

I. 貴院の概要

問 1 貴院の**施設形態**について、該当するもの**1つ**に○をつけてください。

01 病院

02 診療所

問 2 貴院の**開設主体**について、該当するもの**1つ**に○をつけてください。

01 医療法人

02 社会福祉法人

03 地方公共団体

04 公的・社会保険関係団体

05 個人

06 その他 ()

問 3 **【病院】** 貴院における、病棟種別毎の**許可病床数**をご記入ください。※休床を除く

総病床数		床		
①医療療養病床			③一般病床	
療養病棟 (20:1)	床		一般病棟 (7:1) ※経過措置 7:1 を含む	床
療養病棟 (25:1)	床		一般病棟 (10:1)	床
回復期リハビリテーション病棟	床		一般病棟 (13:1)	床
地域包括ケア病棟 ※病室を含む	床		一般病棟 (15:1)	床
②介護療養型医療施設			回復期リハビリテーション病棟	床
介護療養病床 (療養機能強化型 A)	床		地域包括ケア病棟 ※病室を含む	床
介護療養病床 (療養機能強化型 B)	床		その他の一般病床	床
介護療養病床 (その他)	床		④上記①～③以外の病床	床
老人性認知症疾患療養病棟	床			

※地域包括ケア病棟を病室として有する場合は、病棟の病床数に重複して計上しないようにしてください。

問 4 **【診療所】** 貴院における、病床種別毎の**許可病床数**をご記入ください。※休床を除く

総病床数		床		
①一般病床	床	③介護療養病床 (療養機能強化型)	床	
②医療療養病床	床	④介護療養病床 (その他)	床	

問 5 貴院における、以下の**職員数**をご記入ください。

	常勤	人	非常勤	人	常勤換算	人
理学療法士						
作業療法士						
言語聴覚士						
医療ソーシャルワーカー (MSW)						

※ここでは 1 週間の所定労働時間が 32 時間を上回る場合は「常勤」、その他を「非常勤」と分類してください。

※「常勤換算」人数は、**非常勤職員**について、1 週間の所定労働時間を 32 時間を分母として割り、小数第 1 位まで計算してご記入ください。(例：週 3 日 24 時間勤務の場合、 $24 \div 32 = 0.75 \rightarrow 0.8$ 人)

Ⅱ. 地域に貢献する活動の取組

問6 貴院として実施している**地域に貢献する活動**として、どのようなものがありますか。該当するもの**全てに**○をつけてください。

- 01 地域住民への健康教室（介護予防を含む）の実施
- 02 地域住民への介護教室の実施
- 03 地域住民からの健康相談の受付
- 04 認知症カフェの運営
- 05 地域住民を招いてのイベント（お祭り等）の開催
- 06 地域住民ボランティアによるイベント（コンサート等）の開催
- 07 地域で開催されるイベント（お祭り等）への参加・協力
- 08 地域の小中高生へ職業体験等の場の提供
- 09 地域包括ケアセンターの開催する地域ケア会議への出席
- 10 “地域に貢献する活動”は特に実施していない
- 11 その他（ _____ ）

問7 上記の設問で回答した**取組に主に従事**しているのはどのような職種ですか。該当するもの**全てに**○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------------|----------|
| 01 医師 | 02 看護職員 | 03 薬剤師 |
| 04 理学療法士 | 05 作業療法士 | 05 言語聴覚士 |
| 07 管理栄養士 | 08 介護福祉士 | 09 生活相談員 |
| 10 事務職員 | 11 その他（ _____ ） | |

問8 上記の設問で回答した**取組はいつから実施**されていますか。該当するもの**1つに**○をつけてください。複数の取組を実施している場合には、最も古くから取り組んでいる内容についてご回答ください。

- 01 今年度（平成27年度）から実施
- 02 過去5年以内（平成22年度～平成26年度）から実施
- 03 過去10年以内（平成17年度～平成21年度）から実施
- 04 10年以上前（平成16年以前）から実施
- 05 その他（ _____ ）

Ⅲ. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

問9 貴院の想定する地域包括ケアシステムとしての圏域内において、**他の地域資源との連携**はどの程度取れていると思いますか。貴院の状況として各項目別に当てはまると思うものに○を付けてください。
 (他法人との連携について選択番号1～4に○をつけて回答してください。加えて、自法人が有している場合は選択番号8に、地域に該当する資源がない場合には選択番号9に○をつけてください。)

	他法人との連携（1つに○）				その他(該当する場合には○)	
	1. 頻繁に連携している	2. 連携している	3. あまり連携していない	4. 全く連携していない	8. 自院(自法人)が有している	9. 地域に該当する資源がない
① 三次救急病院 (救急救命センター・高度救命救急センター)	1	2	3	4	8	9
② 急性期病院	1	2	3	4	8	9
③ 亜急性期(回復期)病院	1	2	3	4	8	9
④ 精神科病院(病床)	1	2	3	4	8	9
⑤ 地域医療支援病院	1	2	3	4	8	9
⑥ 慢性期病院(療養病床)	1	2	3	4	8	9
⑦ 在宅療養患者の主治医(診療所)	1	2	3	4	8	9
⑧ 介護老人保健施設(老健)	1	2	3	4	8	9
⑨ 介護老人福祉施設(特養)	1	2	3	4	8	9
⑩ 認知症グループホーム	1	2	3	4	8	9
⑪ 訪問看護ステーション	1	2	3	4	8	9
⑫ 地域包括支援センター	1	2	3	4	8	9
⑬ 居宅介護支援事業所	1	2	3	4	8	9

問10 今後の療養病床の在り方について国を中心に議論が進められています。
地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割として、どのような位置づけが考えられると思われますか。ご自由にご意見をお聞かせください。

○ご協力いただき、まことにありがとうございました。調査の〆切は平成27年11月13日です。
 ○貴院の有する病床種別に合わせて、「介護療養病床票」「医療療養病床票」「地域包括ケア病床票」にもご回答いただき、返信用封筒にて調査事務局まで本施設票と併せてご返送ください。

平成27年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方 に関する調査 調査票【介護療養病床票】

＜ご回答の方法＞

1. ご記入に先立ち、同封の「調査説明資料」を必ずお読み下さい。
2. 設問上にて特に断りのない限り、平成27年10月31日24時時点の状況をお答えください。
3. 貴院が有する介護療養病床が「老人性認知症疾患療養病棟」の場合にはご回答は不要です。
4. 不明点などにつきましては、下記の間合せ先にて受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い致します。
5. お忙しいところ恐縮ですが、平成27年11月13日（金）までに調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒を用いて、「施設票」とあわせて調査事務局にご返送ください。

【お問合せ先】

「医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方に関する調査研究事業」
調査事務局（一般社団法人日本慢性期医療協会）
〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シヤトレ市ヶ谷2階
TEL：03-3355-3120（受付時間：平日9時30分～18時00分）
FAX：03-3355-3122

法人名	
施設名	
担当者のお名前	
担当者の部署・役職	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

施設サービス費の種類 (1つに○)	01 療養機能強化型 A	02 療養機能強化型 B
	03 療養機能強化型 (診療所)	04 その他

I. 貴院の介護療養病床の概要

問1 平成27年10月31日24時時点の介護療養病床の許可病床数（休床除く）と入院患者数、平均在院日数、在宅復帰率をご記入下さい。

許可病床数（休床除く）	床	平均在院日数	日
入院患者数	人	在宅復帰率	%

※「在宅復帰率」は診療報酬上の計算方法に準じるものとし、以下の式により求めてください。（○番号は問4に対応）
在宅復帰率=Aに掲げる数÷(①-⑫)×100

A. ①-(②+③+④+⑤+⑥+⑩+⑪+⑫)の患者の中で、退院した患者の在宅での生活が1ヶ月以上継続する見込みであることが確認できた患者数

問2 介護療養病床での業務に従事している、以下の職員数をご記入ください。

理学療法士	専従	人	他の病棟との兼務(介護療養病床への従事換算人数)	. 人
作業療法士	専従	人	他の病棟との兼務(介護療養病床への従事換算人数)	. 人
言語聴覚士	専従	人	他の病棟との兼務(介護療養病床への従事換算人数)	. 人
医療ソーシャルワーカー (MSW)	専従	人	他の病棟との兼務(介護療養病床への従事換算人数)	. 人

※介護療養病床への従事換算人数は、他の病棟と兼務している職員が週32時間勤務することを1人とし、按分して小数点第1位までご回答ください。（例：介護療養病床に週16時間程度関わる場合、16÷32=0.5人）

問3 問1で回答した入院患者の内訳として、患者の状態像（要介護度・認知症高齢者の日常生活自立度・医療区分）別に人数をご記入ください。

要介護度別		認知症高齢者の日常生活自立度別		医療区分別	
要支援1・2	人	自立	人	医療区分1	人
要介護1	人	I	人	医療区分2	人
要介護2	人	II a	人	医療区分3	人
要介護3	人	II b	人	不明・未実施	人
要介護4	人	III a	人		
要介護5	人	III b	人		
申請中	人	IV	人		
不明・未申請	人	M	人		
		不明・未実施	人		

問4 平成27年5月～10月の6か月間の介護療養病床からの総退院患者数(①)(当該病棟の入院期間が1ヶ月以上の患者のうち、再入院患者を除く)と退院先の内訳(②～⑫)をご記入ください。

①総退院患者数	②院内転棟	③(院外)回復期リハビリテーション病棟	④(院外)地域包括ケア病棟	⑤(院外)療養病棟	⑥(院外)その他の病棟	⑦自宅
人	人	人	人	人	人	人
	⑧特別養護老人ホーム	⑨居住系施設(特養を除く)	⑩介護老人保健施設	⑪その他	⑫死亡	
	人	人	人	人	人	

※③～⑥は他院とし、院内転棟者数を含めないでください。

Ⅱ. 「療養機能強化型」の算定要件にかかる状況

以下では平成 27 年 4 月に創設された「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件にかかる状況をお伺いします。療養病床全体の共通点と相違点を把握するため、「介護療養病床（その他）」を算定している医療機関においてもご回答ください。

(1) 入院患者への医療の提供状況

問5 平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点の入院患者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者（厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入院患者数をご記入ください。※1（同一の患者が複数の状態にあてはまる場合、 <u>あてはまる状態全てにカウントしてください。</u> ）※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入院患者の実人数をご記入ください。		
重篤な身体疾患を有する者		
①NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態		人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する 1 週間以上人工呼吸器を必要としている状態		人
③各週 2 日以上的人工腎臓の実施が必要である者（※3）のうち		
常時低血圧（収縮時血圧が 90mmHg 以下）		人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの		人
出血性消化器病変を有するもの		人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの		人
④Child-Pugh 分類 C 以上の肝機能障害の状態		人
⑤連続する 3 日以上、JCS100 以上の意識障害が継続している状態		人
⑥単一の凝固因子活性が 40%未満の凝固異常の状態		人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態		人
身体合併症を有する認知症高齢者		
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者		人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病（※4）と診断された者		人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又は M に該当する者		人
上記の状態にあてはまる入院患者の実人数（1 つ以上の項目にあてはまった人数）		人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各状態に当てはまる入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点」の人数としてご回答ください。

※2：「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっていますが、本調査では入院患者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。

※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。

※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

問6 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の処置を実施している入院患者数をご記入ください。※1 (同一の患者に複数の処置を実施している場合、<u>当てはまる処置全てにカウントしてください。</u>) ※2	
喀痰吸引を実施している者	人
喀痰吸引の実施に相当する者 ※3	人
経管栄養（経鼻経管、胃ろう、腸ろう、中心静脈栄養）を実施している者	人
経管栄養の実施に相当する者 ※4	人
インスリン注射の実施（自ら実施する者は除く）	人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各処置を実施している入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成27年10月31日24時時点」の人数としてご回答ください。

※2：例えば、「喀痰吸引」及び「経管栄養」の両方を実施している患者が1人いる場合、「喀痰吸引を実施している者」に1人、「経管栄養を実施している者」に1人をそれぞれ計上してください。

※3：「喀痰吸引の実施に相当する者」とは、過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、口腔衛生管理加算又は口腔衛生管理体制加算を算定されている者を指します。

※4：「経管栄養の実施に相当する者」とは、過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、経口維持加算又は栄養マネジメント加算を算定されている者を指します。

問7 問6で回答した「喀痰吸引を実施している者」について、実施頻度の内訳をご記入ください。	
1日に1～3回程度実施	人
1日に4～7回程度実施	人
1日に8～12回程度実施（2～3時間に1回程度）	人
1日に13～24回程度実施（1～2時間に1回程度）	人
1日に25回以上実施（1時間に数回程度）	人

問8 問6で回答した「経管栄養を実施している者」について、実施内容と経緯の内訳をご記入ください。		
経鼻経管栄養	現在の介護療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の介護療養に入院した後に開始	人
胃ろう経管栄養	現在の介護療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の介護療養に入院した後に開始	人
腸ろう経管栄養	現在の介護療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の介護療養に入院した後に開始	人
中心静脈栄養	現在の介護療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の介護療養に入院した後に開始	人

(2) ターミナルケアの取組

<p>問9 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者（ターミナル期のケアを提供している入院患者）の人数と延べ入院日数をご記入下さい。</p> <p>① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。 ② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。 ③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。</p>	
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の人数	人
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の延べ入院日数	日
すべての入院患者の延べ入院日数	日

<p>問10 ターミナル期のケアの取り組み状況等について、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。</p>				
	1. ほぼ全てに当てはまる	2. 半数以上に当てはまる	3. 一部に当てはまる	4. ほとんど当てはまらない
①ターミナル期のケアや看取りを実施する上で、貴院として特定のガイドラインを使用している	1	2	3	4
②多職種によるターミナル期のケアのカンファレンスを実施している	1	2	3	4
③ターミナル期のケアに係る独立した計画等の書式を整えている	1	2	3	4
④スタッフに対してターミナル期のケアや看取りに関する教育の場を提供している	1	2	3	4
⑤ターミナル期のケアや看取り等に応じて、院内のスタッフの配置を調整している	1	2	3	4
⑥看取りの方針について、患者・家族との連絡調整を密に行っている	1	2	3	4
⑦在宅療養中の患者のターミナル期の受け入れを行っている（レスパイトを含む）	1	2	3	4
⑧患者の死亡後に患者・家族への特別なケア（死に水をとる、死化粧を施す、お別れの会を開催する等）を実施している	1	2	3	4
⑨死亡退院後のデス・カンファレンスを実施している	1	2	3	4

(3) リハビリテーション（リハビリ）の取組

<p>問11 貴院の介護療養病床に入院している患者について、平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、特定診療費として請求した延べ対象人数と延べ単位数をご回答ください。また、入院基本料に包括されており、請求には結びついていないリハビリについても、同期間の延べ対象人数と1日1人あたりの実施時間をご回答ください。</p>				
	特定診療費として請求したリハビリ		請求を行っていないリハビリ	
	1週間の延べ対象人数	延べ単位数	1週間の延べ対象人数	1日1人あたりの平均実施時間
理学療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
作業療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
言語聴覚士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分

※単位数は、リハビリの実施者・内容を問わず、20分を1単位として算出してください。

問 1 2 リハビリに取り組む場合のプロセスについて、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。				
	1. ほぼ全てに 当てはまる	2. 半数以上に 当てはまる	3. 一部に 当てはまる	4. ほとんど 当てはまらない
① リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している	1	2	3	4
② リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している	1	2	3	4
③ 定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している	1	2	3	4
④ 退院先となる自宅や介護施設、ケアマネジャー等と連携している	1	2	3	4
⑤ リハビリ実施後の患者・家族の満足度を把握している	1	2	3	4

問 1 3 貴院の介護療養病床に入院している患者に提供されるリハビリの内容として、どのようなものがありますか。平成 27 年 10 月 25 日～31 日の 1 週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって 5 名を選び、該当するもの <u>全て</u> に○をつけてください。			
理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	
01 関節可動域訓練	01 関節可動域訓練	01 関節可動域訓練	
02 筋力増強訓練	02 筋力増強訓練	02 筋力増強訓練	
03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	
04 持久力訓練	04 持久力訓練	04 持久力訓練	
05 バランス練習	05 バランス練習	05 バランス練習	
06 起居/立位動作練習	06 起居/立位動作練習	06 起居/立位動作練習	
07 移乗動作訓練	07 移乗動作訓練	07 移乗動作訓練	
08 歩行訓練	08 歩行訓練	08 歩行訓練	
09 体操	09 体操	09 体操	
10 摂食・嚥下訓練	10 摂食・嚥下訓練	10 摂食・嚥下訓練	
11 言語訓練	11 言語訓練	11 言語訓練	
12 トイレ訓練	12 トイレ訓練	12 トイレ訓練	
13 入浴訓練	13 入浴訓練	13 入浴訓練	
14 その他 ADL 訓練	14 その他 ADL 訓練	14 その他 ADL 訓練	
15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	
16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	
17 在宅生活の模擬的訓練	17 在宅生活の模擬的訓練	17 在宅生活の模擬的訓練	
18 記憶機能に関する訓練	18 記憶機能に関する訓練	18 記憶機能に関する訓練	
19 認知機能に関する訓練	19 認知機能に関する訓練	19 認知機能に関する訓練	
20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	
21 介助方法の指導	21 介助方法の指導	21 介助方法の指導	
22 その他()	22 その他()	22 その他()	

問14 貴院の介護療養病床に入院している患者に提供されるリハビリの目的として、どのようなものがありますか。問13で回答した専門職別の5名ずつの患者について、該当するもの全てに○をつけてください。

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
01 生活習慣の維持のため	01	01	01
02 ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため	02	02	02
03 社会性（他者との交流等）維持、改善のため	03	03	03
04 IADLの向上のため	04	04	04
05 機能の回復が見込まれるため	05	05	05
06 介護負担軽減のため	06	06	06
07 福祉用具の安全な使用を定着させるため	07	07	07
08 記憶、認知機能の維持、向上のため	08	08	08
09 BPSDの軽減、適応のため	09	09	09
10 その他（ ）	10	10	10

問15 貴院の介護療養病床に入院している患者に提供されるリハビリ（請求を行っていないリハビリ）の内容として、どのようなものがありますか。平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、該当するもの全てに○をつけてください。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
00 請求を行っていないリハビリは実施していない	00 請求を行っていないリハビリは実施していない	00 請求を行っていないリハビリは実施していない
01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導
02 集団で行う活動・指導等 { 内容： } { } { }	02 集団で行う活動・指導等 { 内容： } { } { }	02 集団で行う活動・指導等 { 内容： } { } { }
03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導
04 家族への指導	04 家族への指導	04 家族への指導
05 その他 { 内容： } { } { }	05 その他 { 内容： } { } { }	05 その他 { 内容： } { } { }

Ⅲ. 療養機能強化型の算定について

問 16 貴院の介護療養病床では、“療養機能強化型A”介護療養型医療施設の各要件を満たすうえで、**困難と考えられることはありますか。該当するもの全てに○をつけてください。**
(診療所の場合は診療所の要件に対してお考えください。)

<p>1 入院患者等のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の占める割合が100分の50以上であること。(療養病床を有する診療所は100分の40)</p>	<p>01 要件を満たすことに困難はない 02 要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない) 03 要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい 04 要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい 05 以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難 06 要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない 07 その他(_____)</p>
<p>2 入院患者等のうち、喀痰吸引、経管栄養又はインスリン注射が実施された者の占める割合が100分の50以上であること。(療養病床を有する診療所は100分の20)</p>	<p>01 要件を満たすことに困難はない 02 要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない) 03 要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい 04 要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい 05 以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難 06 要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない 07 その他(_____)</p>
<p>3 入院患者等のうち、ターミナルケアを提供している者の占める割合が100分の10以上であること。</p>	<p>01 要件を満たすことに困難はない 02 要件となる割合まで患者を集めることが難しい(該当する患者がいない) 03 要件となる患者を受け入れることが、夜勤帯の人員体制上厳しい 04 要件となる患者を受け入れることが、設備構造上厳しい 05 以前から入院している患者は要件に合致しないが、退院が見込めないために新規に重度の患者の受け入れが困難 06 要件となる状態の患者を受け入れるつもりはない 07 ターミナルケアの定義がわからない 08 その他(_____)</p>
<p>4 生活機能を維持改善するリハビリテーションを行っていること。</p>	<p>01 要件を満たすことに困難はない 02 生活機能を維持改善するリハビリテーションを必要とする患者がいない 03 生活機能を維持改善するリハビリテーションを実施する療法士がいない 04 生活機能を維持改善するリハビリテーションの範囲がわからない 05 その他(_____)</p>
<p>5 地域に貢献する活動を行っていること。</p>	<p>01 要件を満たすことに困難はない 02 地域に貢献する活動を必要とされていない 03 地域に貢献する活動を実施することが、人員体制上厳しい 04 地域に貢献する活動の範囲がわからない 05 その他(_____)</p>

問 17 【療養機能強化型を算定している医療機関・診療所にお伺いします】

今年度算定を行うにあたり、貴院の中で**取り組んだこと**はありますか。該当するもの**全てに**○をつけてください。

- 01 特に何も取り組んでいない(昨年度以前の入院患者の状態が既に算定要件を満たしていた)
- 02 医療ニーズの低い患者の退院促進
- 03 医療ニーズの高い患者の受入促進
- 04 職員配置の見直し
- 05 ターミナルケアに係る計画の作成
- 06 生活機能を維持改善するリハビリテーションの取組
- 07 地域に貢献する活動の導入
- 08 その他 (_____)

問 18 今後貴院の**介護療養病床の届出を変更する予定**はありますか。該当するもの**全てに**○をつけ、予定している時期をご記入ください。

- 01 現在の算定を継続する
- 02 療養機能強化型 A を算定予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 03 療養機能強化型 B を算定予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 04 療養機能強化型(診療所)を算定予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 05 医療療養病床(20:1)に転換予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 06 医療療養病床(25:1)に転換予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 07 介護療養型老人保健施設に転換予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 08 従来型介護老人保健施設に転換予定 → (平成 _____ 年 _____ 月ごろ)
- 09 その他 (_____)

問 19 “療養機能強化型” 介護療養型医療施設の**算定要件等**について、ご意見があればご記入ください。

IV. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割

問20 貴院の介護療養病床において現在貴院が受け入れている患者、今後積極的に受け入れようと考えている患者について、各項目別に当てはまると思うものそれぞれ1つに○を付けてください。

	現在の受け入れ状況			今後の方針		
	1. 概ね 当てはまる	2. まあ 当てはまる	3. あまり 当てはま らない	a. 概ね 当てはまる	b. まあ 当てはまる	c. あまり 当てはま らない
①在宅復帰を目指す患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
②リハビリを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
③BPSDが現れている認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
④身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑤麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑥人工呼吸器を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑦経管栄養を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑧在宅・介護施設等からの救急搬送患者を直接受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑨他院(他病棟)で救急搬送後の処置を終えた患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑩在宅療養患者の急変時に積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑪ターミナル期の患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c

◆ 以上で終了です。ご協力いただき、まことにありがとうございました ◆

平成27年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方 に関する調査 調査票【医療療養病床票】

＜ご回答の方法＞

1. ご記入に先立ち、同封の「調査説明資料」を必ずお読み下さい。
2. 設問上にて特に断りのない限り、平成27年10月31日24時時点の状況をお答えください。
3. 貴院が有する医療療養病床が「回復期リハビリテーション病棟」の場合にはご回答は不要です。
4. 貴院が有する医療療養病床が「地域包括ケア病棟」の場合には「地域包括ケア病棟票」にご回答ください。「地域包括ケア病棟」を病室単位で申請されている場合は、この調査票には「地域包括ケア病棟」を含めないでご記入ください。
5. 不明点などにつきましては、下記の間合せ先にて受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいませようお願い致します。
6. お忙しいところ恐縮ですが、平成27年11月13日（金）までに調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒を用いて、「施設票」とあわせて調査事務局にご返送ください。

【お問合せ先】

「医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方に関する調査研究事業」

調査事務局（一般社団法人日本慢性期医療協会）

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シヤトレ市ヶ谷2階

T E L : 03-3355-3120（受付時間：平日9時30分～18時00分）

F A X : 03-3355-3122

法人名	
施設名	
担当者のお名前	
担当者の部署・役職	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

病床種別 (1つに○) ※	01 医療療養病床 (20:1) (在宅復帰機能加算あり)
	02 医療療養病床 (20:1) (在宅復帰機能加算なし)
	03 医療療養病床 (25:1)
	04 医療療養病床 (診療所)

※上記のうち、複数の病床種別を有する場合は、お手数ですが本調査票をコピーし、それぞれの病棟種別でご回答ください。（上記設問は本調査票にてご回答いただく病床種別のみ1つに○をつけてください。）

I. 貴院の医療療養病床の概要

問1 平成27年10月31日24時時点の前頁の当該病床種別の許可病床数（休床除く）と入院患者数、平均在院日数、在宅復帰率をご記入下さい。

許可病床数（休床除く）	床	平均在院日数	日
入院患者数	人	在宅復帰率	%

※「在宅復帰率」は診療報酬上の計算方法に準じるものとし、以下の式により求めてください。（○番号は問4に対応）
在宅復帰率=Aに掲げる数÷(①-⑫)×100

A. ①-(②+③+④+⑤+⑥+⑩+⑪+⑫)の患者の中で、退院した患者の在宅での生活が1ヶ月以上継続する見込みであることが確認できた患者数

問2 医療療養病床での業務に従事している、以下の職員数をご記入ください。

理学療法士	専従	人	他の病棟との兼務(医療療養病床への従事換算人数)	人
作業療法士	専従	人	他の病棟との兼務(医療療養病床への従事換算人数)	人
言語聴覚士	専従	人	他の病棟との兼務(医療療養病床への従事換算人数)	人
医療ソーシャルワーカー (MSW)	専従	人	他の病棟との兼務(医療療養病床への従事換算人数)	人

※医療療養病床への従事換算人数は、他の病棟と兼務している職員が週32時間勤務することを1人とし、按分して小数点第1位までご回答ください。（例：医療療養病床に週16時間程度関わる場合、 $16 \div 32 = 0.5$ 人）

問3 問1で回答した入院患者の内訳として、患者の状態像（要介護度・認知症高齢者の日常生活自立度・医療区分）別に人数をご記入ください。

要介護度別		認知症高齢者の日常生活自立度別		医療区分別	
要支援1・2	人	自立	人	医療区分1	人
要介護1	人	I	人	医療区分2	人
要介護2	人	II a	人	医療区分3	人
要介護3	人	II b	人	不明・未実施	人
要介護4	人	III a	人		
要介護5	人	III b	人		
申請中	人	IV	人		
不明・未申請	人	M	人		
		不明・未実施	人		

問4 平成27年5月～10月の6か月間の医療療養病床からの総退院患者数(①)(当該病棟の入院期間が1ヶ月以上の患者のうち、再入院患者を除く)と退院先の内訳(②～⑫)をご記入ください。

①総退院患者数	②院内転棟	③(院外)回復期リハビリテーション病棟	④(院外)地域包括ケア病棟	⑤(院外)療養病棟	⑥(院外)その他の病棟	⑦自宅
人	人	人	人	人	人	人
	⑧特別養護老人ホーム	⑨居住系施設(特養を除く)	⑩介護老人保健施設	⑪その他	⑫死亡	
	人	人	人	人	人	

※③～⑥は他院とし、院内転棟者数を含めないでください。

Ⅱ. 「療養機能強化型」の算定要件にかかる状況

以下では平成 27 年 4 月に創設された「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件にかかる状況をお伺いします。療養病床全体の共通点と相違点を把握するため、お手数ですが「医療療養病床」についてもご回答ください。

(1) 入院患者への医療の提供状況

問5 平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点の入院患者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者（厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入院患者数をご記入ください。※1（同一の患者が複数の状態にあてはまる場合、 <u>あてはまる状態全てにカウントしてください。</u> ）※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入院患者の実人数をご記入ください。	
重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する 1 週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週 2 日以上的人工腎臓の実施が必要である者（※3）のうち	
常時低血圧（収縮時血圧が 90mmHg 以下）	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh 分類 C 以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する 3 日以上、JCS100 以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が 40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病（※4）と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又は M に該当する者	人
上記の状態にあてはまる入院患者の実人数（1 つ以上の項目にあてはまった人数）	人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各状態に当てはまる入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点」の人数としてご回答ください。

※2：「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方のみ含めるものとなっていますが、本調査では入院患者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。

※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。

※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

問6 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の処置を実施している入院患者数をご記入ください。※1 (同一の患者に複数の処置を実施している場合、 <u>当てはまる処置全てにカウントしてください。</u>)※2	
喀痰吸引を実施している者	人
喀痰吸引の実施に相当する者 ※3	人
経管栄養（経鼻経管、胃ろう、腸ろう、中心静脈栄養）を実施している者	人
経管栄養の実施に相当する者 ※4	人
インスリン注射の実施（自ら実施する者は除く）	人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各処置を実施している入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成27年10月31日24時時点」の人数としてご回答ください。

※2：例えば、「喀痰吸引」及び「経管栄養」の両方を実施している患者が1人いる場合、「喀痰吸引を実施している者」に1人、「経管栄養を実施している者」に1人をそれぞれ計上してください。

※3：「喀痰吸引の実施に相当する者」とは、過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、i) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入院患者に対し口腔ケアを月4回以上行っている場合、又はii) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対し口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合を指します。

※4：「経管栄養の実施に相当する者」とは、過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、i) 摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入院患者に対して、多職種で入院患者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、経口による継続的な食事の摂取を進めるための計画を作成し栄養管理を行っている場合、又はii) 管理栄養士が継続的に入院患者ごとの栄養管理を行っている場合を指します。

問7 問6で回答した「 喀痰吸引を実施している者 」について、 実施頻度の内訳 をご記入ください。	
1日に1～3回程度実施	人
1日に4～7回程度実施	人
1日に8～12回程度実施（2～3時間に1回程度）	人
1日に13～24回程度実施（1～2時間に1回程度）	人
1日に25回以上実施（1時間に数回程度）	人

問8 問6で回答した「 経管栄養を実施している者 」について、 実施内容と経緯の内訳 をご記入ください。		
経鼻経管栄養	現在の医療療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の医療療養に入院した後に開始	人
胃ろう経管栄養	現在の医療療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の医療療養に入院した後に開始	人
腸ろう経管栄養	現在の医療療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の医療療養に入院した後に開始	人
中心静脈栄養	現在の医療療養に入院する前からの継続実施	人
	現在の医療療養に入院した後に開始	人

(2) ターミナルケアの取組

<p>問9 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者（ターミナル期のケアを提供している入院患者）の人数と延べ入院日数をご記入下さい。</p> <p>① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。 ② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。 ③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。</p>	
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の 人数	人
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の 延べ入院日数	日
すべての入院患者の 延べ入院日数	日

<p>問10 ターミナル期のケアの取り組み状況等について、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。</p>				
	1. ほぼ全てに当てはまる	2. 半数以上に当てはまる	3. 一部に当てはまる	4. ほとんど当てはまらない
①ターミナル期のケアや看取りを実施する上で、貴院として特定のガイドラインを使用している	1	2	3	4
②多職種によるターミナル期のケアのカンファレンスを実施している	1	2	3	4
③ターミナル期のケアに係る独立した計画等の書式を整えている	1	2	3	4
④スタッフに対してターミナル期のケアや看取りに関する教育の場を提供している	1	2	3	4
⑤ターミナル期のケアや看取り等に応じて、院内のスタッフの配置を調整している	1	2	3	4
⑥看取りの方針について、患者・家族との連絡調整を密に行っている	1	2	3	4
⑦在宅療養中の患者のターミナル期の受け入れを行っている（レスパイトを含む）	1	2	3	4
⑧患者の死亡後に患者・家族への特別なケア（死に水をとる、死化粧を施す、お別れの会を開催する等）を実施している	1	2	3	4
⑨死亡退院後のデス・カンファレンスを実施している	1	2	3	4

(3) リハビリテーション（リハビリ）の取組

<p>問11 貴院の医療療養病床に入院している患者について、平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、特掲診療料として請求した延べ対象人数と延べ単位数をご回答ください。また、入院基本料に包括されており、請求には結びついていないリハビリについても、同期間の延べ対象人数と1日1人あたりの実施時間をご回答ください。</p>				
	特掲診療料として請求したリハビリ		請求を行っていないリハビリ	
	1週間の延べ対象人数	延べ単位数	1週間の延べ対象人数	1日1人あたりの平均実施時間
理学療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
作業療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
言語聴覚士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分

※単位数は、リハビリの実施者・内容を問わず、20分を1単位として算出してください。

問 1 2 リハビリに取り組む場合のプロセスについて、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。				
	1. ほぼ全てに 当てはまる	2. 半数以上に 当てはまる	3. 一部に 当てはまる	4. ほとんど 当てはまらない
① リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している	1	2	3	4
② リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している	1	2	3	4
③ 定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している	1	2	3	4
④ 退院先となる自宅や介護施設、ケアマネジャー等と連携している	1	2	3	4
⑤ リハビリ実施後の患者・家族の満足度を把握している	1	2	3	4

問 1 3 貴院の医療療養病床に入院している患者に提供されるリハビリの内容として、どのようなものがありますか。平成 27 年 10 月 25 日～31 日の 1 週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって 5 名を選び、該当するもの全てに○をつけてください。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
01 関節可動域訓練	01 関節可動域訓練	01 関節可動域訓練
02 筋力増強訓練	02 筋力増強訓練	02 筋力増強訓練
03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03 筋緊張緩和（ストレッチ等）
04 持久力訓練	04 持久力訓練	04 持久力訓練
05 バランス練習	05 バランス練習	05 バランス練習
06 起居/立位動作練習	06 起居/立位動作練習	06 起居/立位動作練習
07 移乗動作訓練	07 移乗動作訓練	07 移乗動作訓練
08 歩行訓練	08 歩行訓練	08 歩行訓練
09 体操	09 体操	09 体操
10 摂食・嚥下訓練	10 摂食・嚥下訓練	10 摂食・嚥下訓練
11 言語訓練	11 言語訓練	11 言語訓練
12 トイレ訓練	12 トイレ訓練	12 トイレ訓練
13 入浴訓練	13 入浴訓練	13 入浴訓練
14 その他 ADL 訓練	14 その他 ADL 訓練	14 その他 ADL 訓練
15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）
16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）
17 在宅生活の模擬的訓練	17 在宅生活の模擬的訓練	17 在宅生活の模擬的訓練
18 記憶機能に関する訓練	18 記憶機能に関する訓練	18 記憶機能に関する訓練
19 認知機能に関する訓練	19 認知機能に関する訓練	19 認知機能に関する訓練
20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）
21 介助方法の指導	21 介助方法の指導	21 介助方法の指導
22 その他()	22 その他()	22 その他()

問14 貴院の医療療養病床に入院している患者に提供されるリハビリの目的として、どのようなものがありますか。問13で回答した専門職別の5名ずつの患者について、該当するもの全てに○をつけてください。

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
01 生活習慣の維持のため	01	01	01
02 ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため	02	02	02
03 社会性（他者との交流等）維持、改善のため	03	03	03
04 IADLの向上のため	04	04	04
05 機能の回復が見込まれるため	05	05	05
06 介護負担軽減のため	06	06	06
07 福祉用具の安全な使用を定着させるため	07	07	07
08 記憶、認知機能の維持、向上のため	08	08	08
09 BPSDの軽減、適応のため	09	09	09
10 その他（ ）	10	10	10

問15 貴院の医療療養病床に入院している患者に提供されるリハビリ（請求を行っていないリハビリ）の内容として、どのようなものがありますか。平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、該当するもの全てに○をつけてください。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
00 請求を行っていないリハビリを実施していない	00 請求を行っていないリハビリを実施していない	00 請求を行っていないリハビリを実施していない
01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導
02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕	02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕	02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕
03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導
04 家族への指導	04 家族への指導	04 家族への指導
05 その他 〔内容：〕	05 その他 〔内容：〕	05 その他 〔内容：〕

Ⅲ. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割

問 16 貴院の医療療養病床において現在貴院が受け入れている患者、今後積極的に受け入れようと考えている患者について、各項目別に当てはまると思うものそれぞれ1つに○を付けてください。

	現在の受け入れ状況			今後の方針		
	1. 概ね 当てはまる	2. まあ 当てはまる	3. あまり 当てはま らない	a. 概ね 当てはまる	b. まあ 当てはまる	c. あまり 当てはま らない
①在宅復帰を目指す患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
②リハビリを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
③BPSDが現れている認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
④身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑤麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑥人工呼吸器を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑦経管栄養を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑧在宅・介護施設等からの救急搬送患者を直接受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑨他院(他病棟)で救急搬送後の処置を終えた患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑩在宅療養患者の急変時に積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑪ターミナル期の患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c

◆ 以上で終了です。ご協力いただき、まことにありがとうございました ◆

平成27年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方 に関する調査 調査票【地域包括ケア病棟・病床票】

＜ご回答の方法＞

1. ご記入に先立ち、同封の「調査説明資料」を必ずお読み下さい。
2. 設問上にて特に断りのない限り、平成27年10月31日24時時点の状況をお答えください。
3. 「地域包括ケア病棟」を病室単位で申請されている場合は、この調査票には「地域包括ケア病棟・病床」として届けている病室についてのみご記入ください。
4. 不明点などにつきましては、下記の間合せ先にて受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い致します。
5. お忙しいところ恐縮ですが、平成27年11月13日（金）までに調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒を用いて、「施設票」とあわせて調査事務局にご返送ください。

【お問合せ先】

「医療が必要な要介護高齢者のための長期療養施設の在り方に関する調査研究事業」

調査事務局（一般社団法人日本慢性期医療協会）

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シヤトレ市ヶ谷2階

T E L : 03-3355-3120（受付時間：平日9時30分～18時00分）

F A X : 03-3355-3122

法人名	
施設名	
担当者のお名前	
担当者の部署・役職	

※ 施設名、および記入者のお名前・ご連絡先は必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。調査票をご返送いただいた後、事務局より記入内容について問い合わせをさせていただく場合がございます。

病床種別 (1つに○)	01 地域包括ケア病棟・病床1（医療療養） 02 地域包括ケア病棟・病床2（医療療養） 03 地域包括ケア病棟・病床1（一般病床） 04 地域包括ケア病棟・病床2（一般病床）
----------------	--

I. 貴院の地域包括ケア病棟・病床の概要

問1 平成27年10月31日24時時点の前頁の当該病床種別の許可病床数（休床除く）と入院患者数、平均在院日数、在宅復帰率をご記入下さい。

許可病床数（休床除く）	床	平均在院日数	日
入院患者数	人	在宅復帰率	%

※「在宅復帰率」は診療報酬上の計算方法に準じるものとし、以下の式により求めてください。（○番号は問4に対応）
在宅復帰率=Aに掲げる数÷（①-⑫）×100

A. ①-（②+③+④+⑤+⑥+⑩+⑪+⑫）の患者の中で、退院した患者の在宅での生活が1ヶ月以上継続する見込みであることが確認できた患者数

問2 地域包括ケア病棟での業務に従事している、以下の職員数をご記入ください。

理学療法士	専従	人	他の病棟との兼務(地域包括ケア病棟への従事換算人数)	. 人
作業療法士	専従	人	他の病棟との兼務(地域包括ケア病棟への従事換算人数)	. 人
言語聴覚士	専従	人	他の病棟との兼務(地域包括ケア病棟への従事換算人数)	. 人
医療ソーシャルワーカー（MSW）	専従	人	他の病棟との兼務(地域包括ケア病棟への従事換算人数)	. 人

※地域包括ケア病棟への従事換算人数は、他の病棟と兼務している職員が週32時間勤務することを1人とし、按分して小数点第1位までご回答ください。（例：地域包括ケア病棟に週16時間程度関わる場合、16÷32=0.5人）

問3 問1で回答した入院患者の内訳として、患者の状態像（要介護度・認知症高齢者の日常生活自立度・医療区分）別に人数をご記入ください。

要介護度別		認知症高齢者の日常生活自立度別		医療区分別	
要支援1・2	人	自立	人	医療区分1	人
要介護1	人	I	人	医療区分2	人
要介護2	人	II a	人	医療区分3	人
要介護3	人	II b	人	不明・未実施	人
要介護4	人	III a	人		
要介護5	人	III b	人		
申請中	人	IV	人		
不明・未申請	人	M	人		
		不明・未実施	人		

問4 平成27年5月～10月の6か月間の地域包括ケア病棟からの総退院患者数（①）（当該病棟の入院期間が1ヶ月以上の患者のうち、再入院患者を除く）と退院先の内訳（②～⑫）をご記入ください。

①総退院患者数	②院内転棟	③(院外)回復期リハビリテーション病棟	④(院外)地域包括ケア病棟	⑤(院外)療養病棟	⑥(院外)その他の病棟	⑦自宅
人	人	人	人	人	人	人
	⑧特別養護老人ホーム	⑨居住系施設(特養を除く)	⑩介護老人保健施設	⑪その他	⑫死亡	
	人	人	人	人	人	

※③～⑥は他院とし、院内転棟者数を含めないでください。

Ⅱ. 「療養機能強化型」の算定要件にかかる状況

以下では平成 27 年 4 月に創設された「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件にかかる状況をお伺いします。療養病床全体の共通点と相違点を把握するため、お手数ですが「地域包括ケア病棟・病床」についてもご回答ください。

(1) 入院患者への医療の提供状況

問 5 平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点の入院患者のうち、重篤な身体疾患を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者（厚生労働省が示す基準による）について、各状態にあてはまる入院患者数をご記入ください。※1（同一の患者が複数の状態にあてはまる場合、 <u>あてはまる状態全てにカウントしてください。</u> ）※2 併せて、最下欄に下記の状態にあてはまる入院患者の実人数をご記入ください。	
重篤な身体疾患を有する者	
①NYHA 分類Ⅲ以上の慢性心不全の状態	人
②Hugh-Jones 分類Ⅳ以上の呼吸困難の状態又は連続する 1 週間以上人工呼吸器を必要としている状態	人
③各週 2 日以上的人工腎臓の実施が必要である者（※3）のうち	
常時低血圧（収縮時血圧が 90mmHg 以下）	人
透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈するもの	人
出血性消化器病変を有するもの	人
骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症のもの	人
④Child-Pugh 分類 C 以上の肝機能障害の状態	人
⑤連続する 3 日以上、JCS100 以上の意識障害が継続している状態	人
⑥単一の凝固因子活性が 40%未満の凝固異常の状態	人
⑦現に経口により食事を摂取している者であって、著しい摂食機能障害を有し、造影撮影又は内視鏡検査により誤嚥が認められる状態	人
身体合併症を有する認知症高齢者	
①認知症であって、悪性腫瘍等と診断された者	人
②認知症であって、別に掲げるいずれかの疾病（※4）と診断された者	人
③認知症高齢者の日常生活自立度のランクⅢb、Ⅳ又は M に該当する者	人
上記の状態にあてはまる入院患者の実人数（1 つ以上の項目にあてはまった人数）	人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各状態に当てはまる入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成 27 年 10 月 31 日 24 時時点」の人数としてご回答ください。

※2：「療養機能強化型」介護療養型医療施設の算定要件上は、同一の者について「重篤な身体疾患を有する者」の基準及び「身体合併症を有する認知症高齢者」の基準のいずれにも当てはまる場合は、いずれか一方にのみ含めるものとなっていますが、本調査では入院患者の状態像を把握するため、当てはまる状態全てにカウントしてください。

※3：「人工腎臓の実施」は他科受診によるものであっても構いません。

※4：「別に掲げる疾病」とは、厚生労働省の示す基準に則り、以下の疾病を指します。

パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、広範脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、悪性関節リウマチ

問6 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、喀痰吸引、経管栄養、インスリン注射の処置を実施している入院患者数をご記入ください。※1 (同一の患者に複数の処置を実施している場合、 <u>当てはまる処置全てにカウントしてください。</u>)※2	
喀痰吸引を実施している者	人
喀痰吸引の実施に相当する者 ※3	人
経管栄養（経鼻経管、胃ろう、腸ろう、中心静脈栄養）を実施している者	人
経管栄養の実施に相当する者 ※4	人
インスリン注射の実施（自ら実施する者は除く）	人

※1：「療養機能強化型」の算定においては、各処置を実施している入院患者を「末日算定方式」もしくは「延べ人数算定方式」のいずれかで届け出ることとなっていますが、本調査では「平成27年10月31日24時時点」の人数としてご回答ください。

※2：例えば、「喀痰吸引」及び「経管栄養」の両方を実施している患者が1人いる場合、「喀痰吸引を実施している者」に1人、「経管栄養を実施している者」に1人をそれぞれ計上してください。

※3：「喀痰吸引の実施に相当する者」とは、過去1年間に喀痰吸引が実施されていた者であって、i) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入院患者に対し口腔ケアを月4回以上行っている場合、又はii) 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対し口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合を指します。

※4：「経管栄養の実施に相当する者」とは、過去1年間に経管栄養が実施されていた者であって、i) 摂食機能障害を有し、誤嚥が認められる入院患者に対して、多職種で入院患者の栄養管理をするための食事の観察及び会議等を行い、経口による継続的な食事の摂取を進めるための計画を作成し栄養管理を行っている場合、又はii) 管理栄養士が継続的に入院患者ごとの栄養管理を行っている場合を指します。

問7 問6で回答した「 喀痰吸引を実施している者 」について、 実施頻度の内訳 をご記入ください。	
1日に1～3回程度実施	人
1日に4～7回程度実施	人
1日に8～12回程度実施（2～3時間に1回程度）	人
1日に13～24回程度実施（1～2時間に1回程度）	人
1日に25回以上実施（1時間に数回程度）	人

問8 問6で回答した「 経管栄養を実施している者 」について、 実施内容と経緯の内訳 をご記入ください。		
経鼻経管栄養	現在の地域包括ケア病棟に入院する前からの継続実施	人
	現在の地域包括ケア病棟に入院した後に開始	人
胃ろう経管栄養	現在の地域包括ケア病棟に入院する前からの継続実施	人
	現在の地域包括ケア病棟に入院した後に開始	人
腸ろう経管栄養	現在の地域包括ケア病棟に入院する前からの継続実施	人
	現在の地域包括ケア病棟に入院した後に開始	人
中心静脈栄養	現在の地域包括ケア病棟に入院する前からの継続実施	人
	現在の地域包括ケア病棟に入院した後に開始	人

(2) ターミナルケアの取組

<p>問9 平成27年10月31日24時時点の入院患者のうち、以下の①～③の条件全てに適合する入院患者（ターミナル期のケアを提供している入院患者）の人数と延べ入院日数をご記入下さい。</p> <p>① 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者である。 ② 入院患者等又はその家族等の同意を得て、入院患者等のターミナルケアに係る計画が作成されている。 ③ 医師、看護師、介護職員等が共同して、入院患者等の状態又は家族の求め等に応じ随時、本人又はその家族への説明を行い、同意を得てターミナルケアが行われている。</p>	
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の人数	人
ターミナルケアを提供している入院患者（①～③の条件全てに適合する入院患者）の延べ入院日数	日
すべての入院患者の延べ入院日数	日

<p>問10 ターミナル期のケアの取り組み状況等について、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。</p>				
	1. ほぼ全てに当てはまる	2. 半数以上に当てはまる	3. 一部に当てはまる	4. ほとんど当てはまらない
①ターミナル期のケアや看取りを実施する上で、貴院として特定のガイドラインを使用している	1	2	3	4
②多職種によるターミナル期のケアのカンファレンスを実施している	1	2	3	4
③ターミナル期のケアに係る独立した計画等の書式を整えている	1	2	3	4
④スタッフに対してターミナル期のケアや看取りに関する教育の場を提供している	1	2	3	4
⑤ターミナル期のケアや看取り等に応じて、院内のスタッフの配置を調整している	1	2	3	4
⑥看取りの方針について、患者・家族との連絡調整を密に行っている	1	2	3	4
⑦在宅療養中の患者のターミナル期の受け入れを行っている（レスパイトを含む）	1	2	3	4
⑧患者の死亡後に患者・家族への特別なケア（死に水をとる、死化粧を施す、お別れの会を開催する等）を実施している	1	2	3	4
⑨死亡退院後のデス・カンファレンスを実施している	1	2	3	4

(3) リハビリテーション（リハビリ）の取組

<p>問11 貴院の地域包括ケア病棟に入院している患者について、平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、疾患別・がん患者リハビリとして実施した延べ対象人数と延べ単位数をご回答ください。また、前述以外のリハビリについても、同期間の延べ対象人数と1日1人あたりの実施時間をご回答ください。</p>				
	疾患別・がん患者リハビリ		左記以外のリハビリ	
	1週間の延べ対象人数	延べ単位数	1週間の延べ対象人数	1日1人あたりの平均実施時間
理学療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
作業療法士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分
言語聴覚士が実施したリハビリ	人日	単位	人日	分

※単位数は、リハビリの実施者・内容を問わず、20分を1単位として算出してください。

問 1 2 リハビリに取り組む場合のプロセスについて、各項目別に当てはまるもの1つに○を付けてください。				
	1. ほぼ全てに 当てはまる	2. 半数以上に 当てはまる	3. 一部に 当てはまる	4. ほとんど 当てはまらない
① リハビリ実施の目的を患者・家族と相談のうえ決定している	1	2	3	4
② リハビリ内容の検討にあたっては、多職種によるカンファレンスを開催している	1	2	3	4
③ 定期的にあセスメントを実施し、リハビリ内容を決定している	1	2	3	4
④ 退院先となる自宅や介護施設、ケアマネジャー等と連携している	1	2	3	4
⑤ リハビリ実施後の患者・家族の満足度を把握している	1	2	3	4

問 1 3 貴院の地域包括ケア病棟に入院している患者に提供されるリハビリの内容として、どのようなものがありますか。平成 27 年 10 月 25 日～31 日の 1 週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって 5 名を選び、該当するもの全てに○を付けてください。			
理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	
01 関節可動域訓練	01 関節可動域訓練	01	関節可動域訓練
02 筋力増強訓練	02 筋力増強訓練	02	筋力増強訓練
03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03 筋緊張緩和（ストレッチ等）	03	筋緊張緩和（ストレッチ等）
04 持久力訓練	04 持久力訓練	04	持久力訓練
05 バランス練習	05 バランス練習	05	バランス練習
06 起居/立位動作練習	06 起居/立位動作練習	06	起居/立位動作練習
07 移乗動作訓練	07 移乗動作訓練	07	移乗動作訓練
08 歩行訓練	08 歩行訓練	08	歩行訓練
09 体操	09 体操	09	体操
10 摂食・嚥下訓練	10 摂食・嚥下訓練	10	摂食・嚥下訓練
11 言語訓練	11 言語訓練	11	言語訓練
12 トイレ訓練	12 トイレ訓練	12	トイレ訓練
13 入浴訓練	13 入浴訓練	13	入浴訓練
14 その他 ADL 訓練	14 その他 ADL 訓練	14	その他 ADL 訓練
15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15 IADL 練習（家事・調理・買い物等）	15	IADL 練習（家事・調理・買い物等）
16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16 用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）	16	用具の適応訓練（車いす、杖、補聴器等）
17 在宅生活の模擬的訓練	17 在宅生活の模擬的訓練	17	在宅生活の模擬的訓練
18 記憶機能に関する訓練	18 記憶機能に関する訓練	18	記憶機能に関する訓練
19 認知機能に関する訓練	19 認知機能に関する訓練	19	認知機能に関する訓練
20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20 趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）	20	趣味活動（手工芸、園芸、編み物等）
21 介助方法の指導	21 介助方法の指導	21	介助方法の指導
22 その他()	22 その他()	22	その他()

問14 貴院の地域包括ケア病棟に入院している患者に提供されるリハビリの目的として、どのようなものがありますか。問13で回答した専門職別の5名ずつの患者について、該当するもの全てに○をつけてください。

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
01 生活習慣の維持のため	01	01	01
02 ADL（起居、移動を含む）維持、改善のため	02	02	02
03 社会性（他者との交流等）維持、改善のため	03	03	03
04 IADLの向上のため	04	04	04
05 機能の回復が見込まれるため	05	05	05
06 介護負担軽減のため	06	06	06
07 福祉用具の安全な使用を定着させるため	07	07	07
08 記憶、認知機能の維持、向上のため	08	08	08
09 BPSDの軽減、適応のため	09	09	09
10 その他（ ）	10	10	10

問15 貴院の地域包括ケア病棟に入院している患者に提供されるリハビリ（疾患別・がん患者リハビリ以外のリハビリ）の内容として、どのようなものがありますか。平成27年10月25日～31日の1週間に実施したリハビリのうち、実施した専門職別に、最後に実施した患者からさかのぼって5名を選び、該当するもの全てに○をつけてください。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
00 疾患別・がん患者リハビリ以外のリハビリを実施していない	00 疾患別・がん患者リハビリ以外のリハビリを実施していない	00 疾患別・がん患者リハビリ以外のリハビリを実施していない
01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導	01 患者個人に対し病棟で行うADL等の指導
02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕	02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕	02 集団で行う活動・指導等 〔内容：〕
03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導	03 他職種へのポジショニング等の指導
04 家族への指導	04 家族への指導	04 家族への指導
05 その他 〔内容：〕	05 その他 〔内容：〕	05 その他 〔内容：〕

Ⅲ. 地域包括ケアシステムを構築するにあたって療養病床の担う役割

問 16 貴院の地域包括ケア病棟において現在貴院が受け入れている患者、今後積極的に受け入れようと考えている患者について、各項目別に当てはまると思うものそれぞれ1つに○を付けてください。

	現在の受け入れ状況			今後の方針		
	1. 概ね 当てはまる	2. まあ 当てはまる	3. あまり 当てはま らない	a. 概ね 当てはまる	b. まあ 当てはまる	c. あまり 当てはま らない
①在宅復帰を目指す患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
②リハビリを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
③BPSDが現れている認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
④身体合併症を有する認知症高齢者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑤麻薬による疼痛コントロールを必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑥人工呼吸器を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑦経管栄養を必要とする患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑧在宅・介護施設等からの救急搬送患者を直接受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑨他院(他病棟)で救急搬送後の処置を終えた患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑩在宅療養患者の急変時に積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c
⑪ターミナル期の患者を積極的に受け入れる	1	2	3	a	b	c

◆ 以上で終了です。ご協力いただき、まことにありがとうございました ◆